

2019.4 - 2019.9

# 研修サービスガイド



## COURSE

### 日立製品 講座

JP1  
uCosminexus Application Server  
HiRDB OpenTP1  
VOS3/VOS1/VOSK XDM/PDMII  
Hitachi Advanced Data Binder  
日立ストレージ Pentahoソフトウェア

### デジタルトランスフォーメーション 講座

IT活用 イノベーション IoT/AI/Lumada  
ビッグデータ データ分析 サイバーセキュリティ

### クラウド/サーバ仮想化 講座

### ITサービスマネジメント 講座

### システム基盤 講座

オープンソースソフトウェア(OSS)  
Linux Microsoft ネットワーク  
セキュリティ データベース

### IT戦略・IS企画/システム設計 講座

IT戦略・IS企画 システム設計

### アプリケーション開発 講座

Webアプリケーション スマートデバイス  
オブジェクト指向/UML 言語

### IT基本 講座

IT基本 ハードウェア 情報処理資格

### 情報リテラシ 講座

### プロジェクトマネジメント 講座

### コンプライアンス 講座

### ビジネス/ヒューマン 講座

### グローバル 講座

### Topics 1 現場起点で進める

デジタルトランスフォーメーションを  
人財育成で支援します

### Topics 2 セキュリティ脅威に対応できる

セキュリティ人財創出のための  
講座ご紹介

### Topics 3 PMBOK®ガイド 第6版セミナーを

2時間版eラーニングコースで  
ご提供します!

### Topics 4 メンバーの満足度に影響を与え、

プロジェクトやチームの成果を上げる!

### Topics 5 時間を有効活用し、業務の生産性を高める!

ワークライフバランスを実現するためには、  
現在の働き方の見直しが必要です

## はじめに

平素は、株式会社 日立製作所(以下、「日立」といいます。)および人財育成サービス会社である株式会社 日立インフォメーションアカデミー (以下、「日立IA」といいます。)の各種研修サービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

日立および日立IAは、経済産業省が策定する社会経済全体におけるIT利用の拡大と価値創造者としての高度人財育成のための、各種スキル標準に対応する研修体系に基づき、本ガイドでご案内する研修サービス(以下、「日立講習会」といいます。)にてお客様の人財育成をご支援いたします。

本ガイドは、日立および日立IAが提供する2019年4月から2019年9月までの研修サービスをご紹介します。人財の可能性と価値を最大限に引き出すために、豊富なメニューをご用意しております。

お客様の人財育成に本研修サービスをご活用いただければ幸いです。

2019年1月  
株式会社 日立製作所  
株式会社 日立インフォメーションアカデミー

研修サービスに関するお問い合わせ先：  
株式会社 日立インフォメーションアカデミー

|       |                  |                  |
|-------|------------------|------------------|
| 東京地区  | TEL 03-5471-8962 | FAX 03-5471-2564 |
| 大阪地区  | TEL 06-4797-7360 | FAX 06-4797-7361 |
| 名古屋地区 | TEL 052-269-8940 | FAX 052-261-8276 |
| 広島地区  | TEL 082-546-6172 | FAX 082-546-6173 |
| 福岡地区  | TEL 092-844-7522 | FAX 092-844-7580 |

### 日立講習会開催時間のお知らせ

※コースカリキュラムの備考欄に開催時間をご案内しています。  
正式には、ご受講前に送付いたします「日立講習会受講ご案内」(受講券)をご確認ください。



(株)日立インフォメーションアカデミーの学習サービス全般について、学習サービス事業者向け国際規格 ISO29990 の認証を JAMOTE (一般社団法人人財育成と教育サービス協議会) より取得しています。

本ガイドに記載している内容および金額は、2019年1月時点のものであり、将来変更する場合があります。

## CONTENTS

### Topics

- Topics 1 現場起点で進めるデジタルトランスフォーメーションを人財育成で支援します
- Topics 2 セキュリティ脅威に対応できるセキュリティ人財創出のための講座ご紹介
- Topics 3 PMBOK®ガイド第6版セミナーを2時間版eラーニングコースでご提供します!
- Topics 4 メンバーの満足度に影響を与え、プロジェクトやチームの成果を上げる!
- Topics 5 時間を有効活用し、業務の生産性を高める!ワークライフバランスを実現するためには、現在の働き方の見直しが必要です

|   |                              |     |
|---|------------------------------|-----|
| 1 | 体系的にIT技術修得を進めるための日立講習会コース活用例 | 14  |
| 2 | 開催コース/スケジュール一覧               | 20  |
| 3 | 講座別コースフロー/コースカリキュラム          | 62  |
| 4 | 研修会場                         | 268 |
| 5 | お申込方法                        | 270 |
| 6 | 受講規約                         | 272 |

本ガイドで紹介する研修サービスは、お客様のご要望に合わせてカスタマイズできるオーダー研修サービスもございます。研修の実施だけでなく、研修企画、開発実施、アフターフォローまでワンストップでご提供も可能です。詳しくはお問い合わせください。

### 最新のコース開催情報・お薦めコースのご案内

<https://www.hitachi-ia.co.jp/>

日立インフォメーションアカデミーのホームページでは、最新のコース開催情報・お薦めコースを掲載しております。また、コースのお申し込みはホームページから行うことができますので、ぜひご利用ください。



- コース最新情報
- お薦めコース
- 臨時開催コース
- 話題のコース
- 人気コースランキング
- 講座別コース紹介 (PDFファイル)
- スキル標準対応研修コースマップ
- iCD対応研修コースマップ

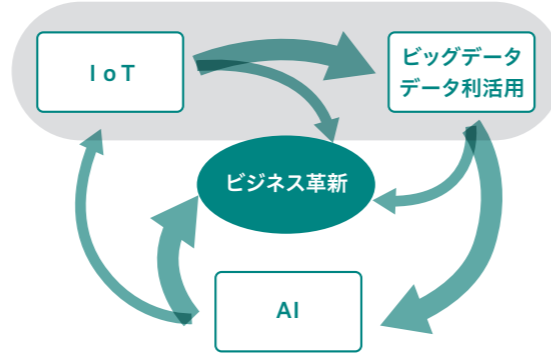
## 現場起点で進める デジタルトランスフォーメーションを 人財育成で支援します

デジタル技術とデータを活用し、業務やビジネスそのものを変革する「デジタルトランスフォーメーション」。実世界のデータをIoTにより収集し、仮想空間のIoTサービスによるデータ処理や分析をフィードバックして付加価値を高める循環をつくる。データを可視化、予測、意思決定に昇華させ価値の発見をもたらす。まさにデータ駆動型でビジネスを革新することが求められています。

### 1 IoTにより収集したデータを現場やビジネスシステムへ実装するための推奨コース群

IoTが実社会をビッグデータとして捉え、ビッグデータがAIの高精度化に貢献し、AIがビッグデータを整理・分析して価値あるデータに変換し、IoTを通して実社会にフィードバックする。このデータ駆動の相互連携と、コース群との位置付けを右図にて示します。●で示した範囲が各頁でご紹介するコース分野です。

IoTによるデータ収集の具体化、現場への適用方法を早分かりしたい方、IoTからのデータ処理の定石やコツを理解したい方には、本頁「現場での実装」および「ビジネスシステムへの実装」欄のコースをお薦めします。



#### ビジネス革新のテーマ

|                   |                    |                  |
|-------------------|--------------------|------------------|
| 売上・シェア拡大・収益性向上    | 新事業・新製品・新サービスの開発   | 生産性/効率向上・改善      |
| 品質向上・現場力の強化       | 顧客満足度/ブランド力の向上     | グローバル化・事業基盤の強化   |
| 異常検知<br>故障予知      | 最適運転<br>安全管理       | 遠隔監視<br>事故回避     |
| 決済と<br>セキュリティ連携   | 移動追跡<br>在庫管理       | 見える化で節電<br>省エネ対策 |
| 業務自動化<br>自動運転     | 監視による<br>防犯、追跡     | 生育状況<br>収穫量調査    |
| 健康診断<br>ログ収集 体調管理 | 位置情報と<br>混雑対策 周辺娯楽 | etc...           |

**ビッグデータについての分析**

- HSJ109：データ分析手法の理論と適用 - ビジネスにおける統計的手法活用の広がり -
- HSJ162：BI・マイニング事例で学ぶデータ分析提案の進め方

**AI（機械学習）**

- DBJ088：体感！機械学習-ビッグデータ時代のシステムを支える技術-
- DBJ110：NVIDIA Deep Learning Institute (DLI) 認定コース 1日できるディープラーニング-画像認識入門-

**クラウド**

- CLJ014：実機で学ぶ！クラウドコンピューティング入門
- CLJ003：クラウドコンピューティング技術解説

**データ加工・統合関連機能（ETL）※1**

- DBJ081：ビッグデータ概説
- CLJ002：Hadoop入門 -インストールと操作体験-
- DBJ106：ビッグデータにおけるシステム設計実践 -多様なデータを統合しビッグデータとして活用する-
- IOJ018：IoTにおけるイベント駆動型システム開発入門 - Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC) ※2による故障予知診断を例にして-
- IOJ017：IoTにおけるイベント駆動型システム開発実践 - Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC) ※2によるアプリケーション、システム開発演習を通して-

**スマートフォン向けアプリケーション開発**

- NWJ142：HTML5プログラミング
- NWJ129：体験！iPhone・iPadアプリケーションの開発
- NWJ131：体験！SwiftではじめるiPhoneアプリケーションの開発
- NWJ135：体験！Androidアプリケーションの開発

**アプリケーション開発**

- DBJ107：0から始めるPython入門-データ分析での活用をテーマとして-
- CLJ012：クラウドアプリケーション開発

**アプリケーション開発環境**

- SPJ060：体験！最新OSSを使用したDevOps入門 - Lumadaにおけるアプリケーション開発の流れ -
- SPJ059：(PDU)実践！DevOpsによるアジャイル開発 - お客様に素早く価値を届けるために -

**ワークフロー記述**  
(IoTデバイス→データストア→ダッシュボードなど)

- IOJ016：体験！Node-REDによるIoTシステム入門 - Raspberry Piを使用した風車のリアルタイム監視から予防診断まで -

**サイバーセキュリティ管理**

- IOJ012：IoT技術解説 - セキュリティ編 -
- SCE703：<eラーニング>【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎 - 要素技術(暗号、認証)編 -
- SCE705：<eラーニング>【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎 - ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編 -
- SCJ044：ネットワークセキュリティ対策実習

**IoTプラットフォームとの通信**

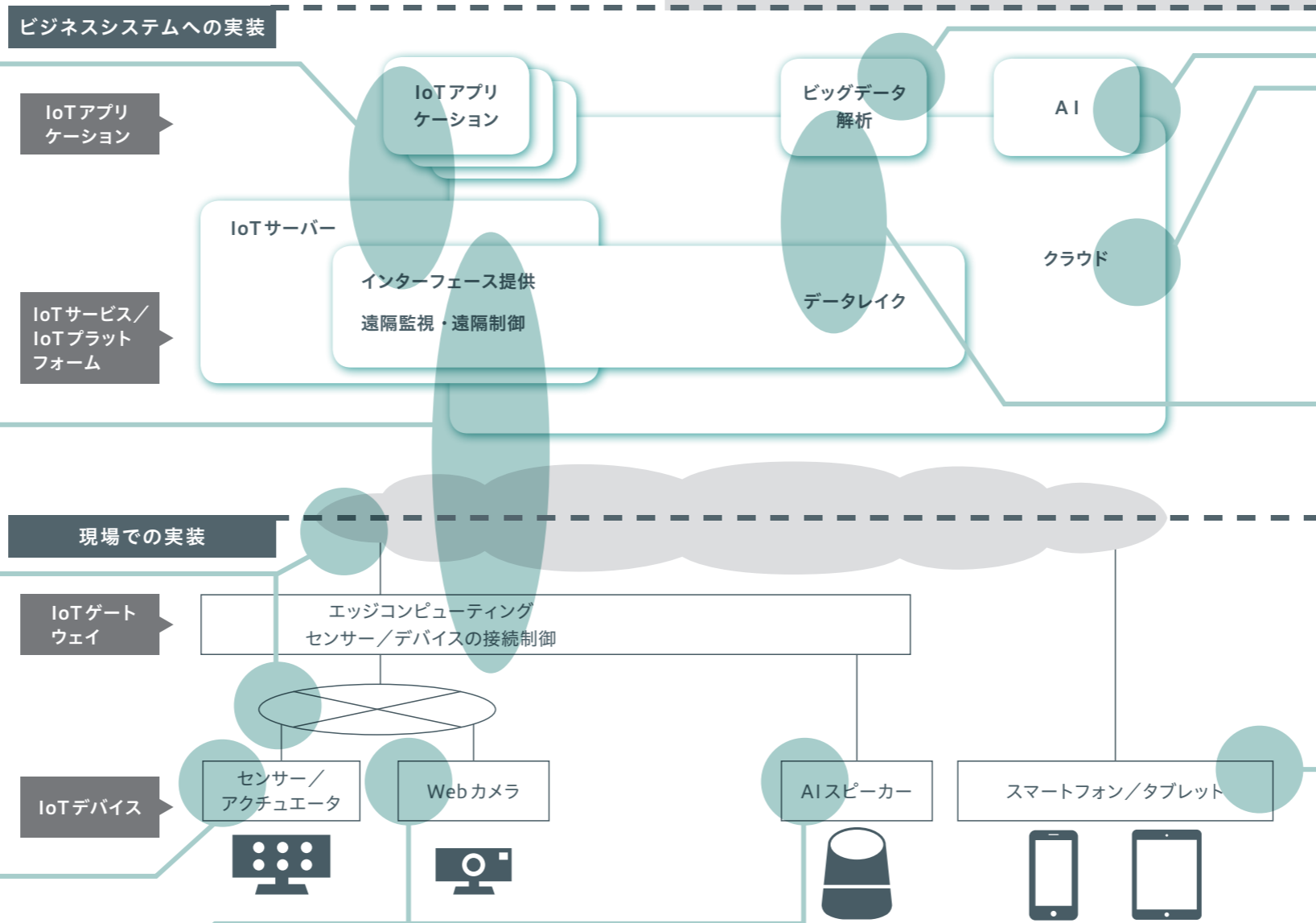
- IOJ013：IoT技術解説 - IoTネットワーク編 -
- IOJ019：IoT技術解説 5G編

**センサー制御**

- IOJ014：IoT技術解説 - センサ編 -

**AIスピーカー/ Webカメラ**

- IOJ011：スマートスピーカーの最新動向と社会インフラ適用の可能性

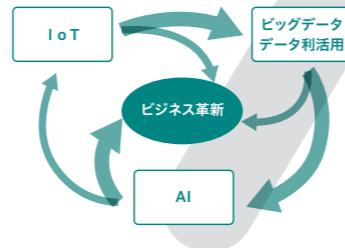


※1 ETL: Extract, Transform, Loadの略で、IoTや既存システム等複数個所からデータを抽出し、抽出したデータを変換/加工/統合した上でデータレイク等へ追加する処理、およびそれを支援するソフトウェア  
 ※2 HAF/EDC: 日立ミドルソフト。データ「格納」「分析」「参照」において高速に分散処理を行う

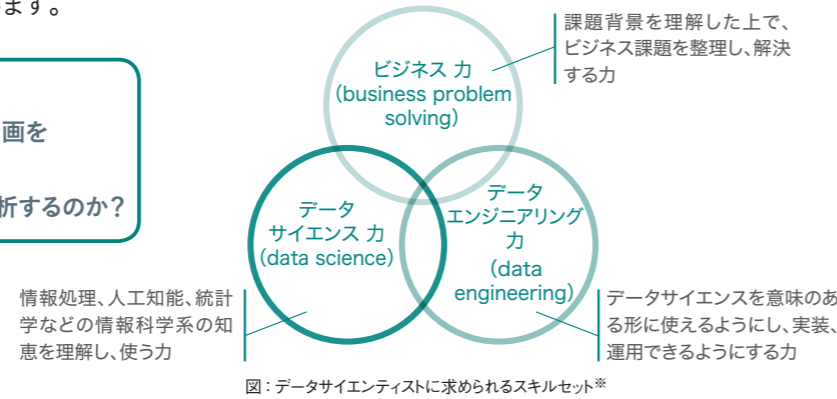
## 2 仮説検証/価値検証の推進者および関連する営業、エンジニアに求められるデータ分析

データ活用するためには、分析手法を理解して分析モデルを設計する能力と、AIやBIなどの分析ツールを活用して、実際に価値を検証する能力、および分析モデルに従って、有効なデータを用意する能力などが必要です。

実際の現場での経験を踏まえ、試行錯誤を行いながら分析や可視化による実務をイメージした、新たな価値を発見するためのデータ分析・利活用を学ぶコースをメニュー化しています。



データ分析力とは何か？  
どのような手順で分析計画を考えるのか？  
どのように掘り下げて分析するのか？



図：データサイエンティストに求められるスキルセット\*

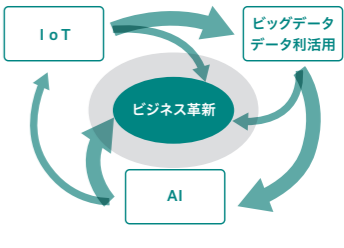
営業・企画者向け    営業・企画者・エンジニア共通    エンジニア向け

| 対象               | 分類               | コースコード | コース名   | 日数/標準学習時間 |
|------------------|------------------|--------|--|-----------|
| 中心のビジネス領域        | 中心のビジネス領域        | HSJ175 | データ利活用のパターンとビジネス着想   | 0.5日      |
|                  |                  | HSJ108 | 定量分析のスキル-問題解決の精度を高める-  | 2日        |
|                  |                  | HSJ112 | 仮説構築と調査検証-仮説構築の考え方を学び、仮説に沿った調査手法を選択し、調査結果を読み解く-                  | 2日        |
| データサイエンス領域中心のコース | データサイエンス領域中心のコース | OAJ048 | Excelによるデータ可視化-Excelでビジュアルに強くなる-                                 | 1日        |
|                  |                  | OAJ047 | Excelによる売上データ分析-Excelではじめるデータ活用の第一歩-                             | 1日        |
|                  |                  | HSJ162 | BI・マイニング事例で学ぶデータ分析提案の進め方   | 2日        |
|                  |                  | HSJ109 | データ分析手法の理論と適用-ビジネスにおける統計的手法活用の広がり-                               | 2日        |
|                  |                  | HSE116 | ＜eラーニング＞データ分析手法の理論と適用  | 14時間      |
|                  |                  | DBE037 | ＜eラーニング＞流れを体験！予測モデル構築のプロセス（基礎知識編）<br>-初めてでもOK！データ分析を身近に-         | 9時間       |
|                  |                  | DBJ117 | ＜eラーニング＞流れを体験！予測モデルの構築プロセス（ケーススタディ編）<br>-データのバリューアップから結果説明に至るまで- | 2日        |
|                  |                  | DBJ100 | データビジュアライゼーション基礎   | 1日        |
|                  |                  | DBJ112 | 試行錯誤から学ぶ！統計理論抜きで学ぶRによる統計的手法のハンズオン                                | 1日        |
|                  |                  | DBD057 | ＜eラーニング＞Rによる統計解析-分析結果を統計的に正しく理解し、次の意思決定に向けた提案へ-                  | 2.5日      |
| データサイエンス領域中心のコース | データサイエンス領域中心のコース | DBJ111 | 試行錯誤から学ぶ！Rによるデータ可視化のハンズオン  | 1日        |
|                  |                  | DBJ115 | ＜eラーニング＞データビジュアライゼーション実装 地図上への可視化編                               | 1日        |
|                  |                  | DBJ116 | ＜eラーニング＞データビジュアライゼーション実装 ネットワークの可視化編                             | 1日        |
|                  |                  | DBJ088 | 体験！機械学習-ビッグデータ時代のシステムを支える技術-                                     | 1日        |
|                  |                  | DBD059 | ＜eラーニング＞機械学習による問題解決実践-機械学習で大量データを分析し、データからビジネス価値を創出-             | 2日        |
|                  |                  | DBJ090 | データ分析に使えるSQL-SQLでビッグデータに立ち向かう-                                   | 1日        |
|                  |                  | DBD058 | ＜eラーニング＞SQLによる集計・分析-分析の基本的なプロセスを修得し、自社DBデータの活用へ-                 | 1.5日      |
|                  |                  | DBJ107 | 0から始めるPython入門-データ分析での活用をテーマとして-                                 | 2日        |
|                  |                  | DBE038 | ＜eラーニング＞【スキル定着】Pythonでのデータ可視化-オープン環境を活用した実装力の磨き方                 | 4時間       |

\* 一般社団法人データサイエンティスト協会 資料 <http://www.datascientist.or.jp/news/2014/pdf/1210.pdf> より引用

## 3 デジタルトランスフォーメーションを企画・推進・提案するためのスキルセット

ビジネスで新たな価値を創出するには、イノベティブに考えるための思考技法、価値あるビジネスモデルを構想するプロセスとメソッド、サービスとしてn倍化することを実践できるツールを、スキルとして使いこなすことが必要です。新たなデジタルビジネスを企画・設計するためのスキルセット修得にご活用ください。



| 分類                     | コースコード | コース名  | 日数/標準学習時間 | コース概要  |
|------------------------|--------|---|-----------|--|
| イノベティブ思考               | HSJ163 | クリエイティブシンキング  | 1日        | イノベーションを切り開くために必須となる、クリエイティブなアイデアを閃くためのプロセスを実践演習を通して体感・学習します。  |
|                        | HSJ157 | システムシンキング基礎<br>-問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化する-                                   | 2日        | システムとは、ITシステムではなく、より広い「系」を指します。社会・企業・人間集団を構成する要素の相互作用を捉え、「系」の全体最適で且つサステナブルな問題解決のアプローチを学びます。                            |
|                        | HSJ170 | イノベティブ思考-単なるアイデアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた-                               | 2日        | イノベティブ思考が従来の思考と違う点を対比させながら、イノベティブな発想に必要な進め方、手法を演習主体で学習します。   |
| ビジネス構想                 | HSJ158 | イノベーションプロセスを強化するシナリオプランニング  | 1日        | 顧客ビジネスや要素技術の将来動向と捉え、顧客の真のニーズを引き出すために、シナリオプランニングの具体的な考え方・手法について学習します。   |
|                        | HSJ182 | ＜eラーニング＞(PDU)<br>ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向<br>-イノベーション実現のために-                          | 1日        | ポジショニングやリソースベストビュー等の事業・企業戦略論を、自らの事業に適用できるようになるまで理解します。またITビジネスとして戦略上踏まえておくべき最新動向を紹介します。                                |
|                        | CTJ055 | IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方  | 1日        | DX(デジタルトランスフォーメーション)・AI・IoT...など、ITを全面的に活用することで新しいビジネスモデルを実現する取り組みを進めるうえでの実践的な最重要ポイントを、ビジネス系システムを中心にお伝えします。            |
|                        | CTJ056 | 新時代に向けたビジネスモデル創造の進め方  | 2日        | 斬新なCX(カスタマーエクスペリエンス)を生み出すビジネスモデルをデザインする方法(プロセス・メソッドロジー・ツール)を、ワークショップを通して学習します。   |
|                        | CTJ057 | これからのIT技術者のための超上流要求開発入門<br>-いま、必要とされるサービスデザインメソッドロジー-                             | 2日        | 顧客に対する提供価値をアイデア発想し、新たなCX(カスタマーエクスペリエンス)を生み出すサービスをデザインする方法(プロセス・メソッドロジー・ツール)をワークショップで学びます。                              |
| サービス企画・設計(ビジネスモデルデザイン) | HSJ159 | 顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン   | 2日        | ビジネスモデルキャンパスを活用し、ビジネスモデルを可視化することで新たな価値の発見につなげます。お客さまの潜在的価値発見の部分に重点を置き、ビジネスモデルを検討します。                                   |
|                        | HSJ178 | 新規事業における利益の健全性評価と収益性の高いビジネスモデルのデザイン<br>-不確実性の高いビジネスにおける仮説検証、価値ベースのプライシングを身に付ける-   | 1日        | ビジネスモデルが失敗する大きな原因の1つである「財務上の収支が合わない」点に焦点を当てます。「仮説指向型計画」というアプローチを活用しながら、新規事業における不確実性要素を見つけ、次にプライシング戦略についてケーススタディで学習します。 |
|                        | HSJ176 | 顧客との関係を深め続けられる顧客接点のビジネスモデルデザイン-モバイル時代の消費者行動の変化を捉え、経験価値をデザインする-                    | 1日        | 新しい消費者行動を描きながら、消費者のニーズに対する仮説を立て、このニーズを逃がさず新たなビジネス機会を獲得するために必要なチャネルやタッチポイント、それらの上で確立すべき顧客との関係や獲得すべきエンゲージメントについて考えます。    |
|                        | HSJ177 | 実現可能性を高める！ユーザーの言葉を使って解決する成果志向型のサービスデザイン<br>-事業開発の失敗リスクを最小化するための事業・競争環境、内部プロセスの検討- | 1日        | サービスを実現するための内部プロセスを、ダブルダイヤモンド、ジョブ理論の考え方をベースにサービス実現上の課題解決をデザインします。  |

# セキュリティ脅威に対応できる

「情報セキュリティ10大脅威 2018」\*1 (独立行政法人 情報処理推進機構 (以下 IPA) 発表)において、「脅威に対応するためのセキュリティ人材の不足」が、「組織」における脅威の5位にランクインしました (2017年はランク外)。情報システムに対する攻撃手法がより高度化・多様化するなか、セキュリティ人材の育成はますます重要となっています。

このような状況を踏まえ、当社では、①ホワイトハッカー養成コース、②組織でサイバー攻撃に対応するためのコース、③職場でのセキュリティ対策をリードする人材を育成するコースを拡充し、体系化しています。ぜひこの機会に、セキュリティ人材を育成するための研修をご活用ください。

## 最新動向コース

「セキュリティ最新動向」は情報セキュリティ分野の第一人者\*2である東京電機大学 佐々木 良一教授を講師に迎え、毎期、最新の内容にブラッシュアップして提供しております。本コースはセキュリティに対応する全ての方にお薦めする研修です。

| コースコード | コース名       | 日数   | コース概要                            |
|--------|------------|------|----------------------------------|
| SCJ041 | セキュリティ最新動向 | 0.5日 | セキュリティの基本概念からセキュリティ対策の最新動向を学びます。 |

## ① ホワイトハッカー養成コース

「CEH (Certified Ethical Hacker)」は、ホワイトハッカーの養成コースで、非常に高度なセキュリティ技術を修得します。

| コースコード | コース名                           | 日数 | コース概要                     |
|--------|--------------------------------|----|---------------------------|
| SCD001 | CEH (Certified Ethical Hacker) | 5日 | 最新のセキュリティ脅威、ハッキング技術を学びます。 |

## ② サイバー攻撃対応コース

近年、標的型攻撃やゼロデイ攻撃などのサイバー攻撃が増加しており、侵入を防ぐ事前対策に加え、侵入を許してしまった際の事後対応についても必要性が増しています。

このような状況に対応するため、組織のサイバー攻撃に対する意識を高め、セキュリティ・インシデントが発生した際に報告・連絡・相談を迅速に行うためには、研修などにより、訓練を積んでおくことが重要です。

本研修により、サイバー攻撃に対する堅牢な組織の構築をご支援します。

| コースコード | コース名                                      | 日数/標準学習時間 | コース概要   |
|--------|---|-----------|---|
| SCE011 | <b>New</b> <eラーニング><br>サイバー攻撃対応基礎 (知識修得編) | 3時間       | セキュリティインシデントが発生した際に知っておくべき基礎的なセキュリティ知識 (攻撃手法、脆弱性情報の収集方法など)、その現象体験、インシデント発生時の行動について、学びます。      |
| SCJ045 | <b>New</b> サイバー攻撃対応コミュニケーション訓練 (実習編)      | 0.5日      | サイバー攻撃への対応を疑似体験するコースです。セキュリティインシデントのボードゲームを使用し、インシデント発生時の迅速な意思決定、関係者とのコミュニケーションをグループワークで学びます。 |

\*1 出典 独立行政法人 情報処理推進機構 <https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2018.html>  
\*2 内閣官房情報セキュリティセンター 情報セキュリティ補佐官

# セキュリティ人材創出のための講座ご紹介

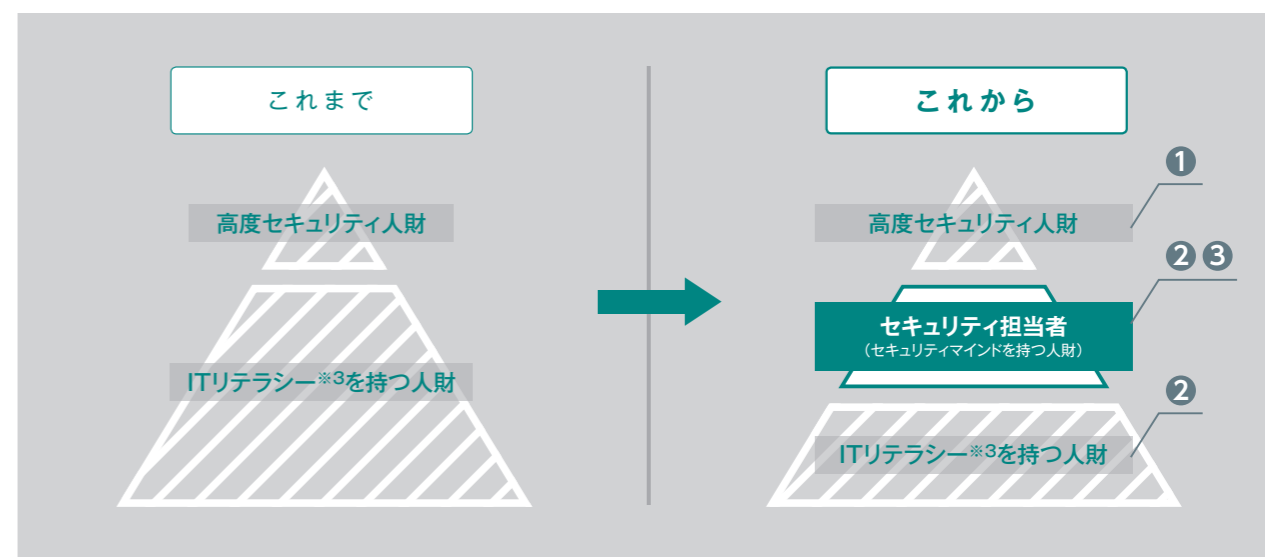
## ③ 職場でのセキュリティ対策をリードする人材を育成するコース

セキュリティ人材が不足していると言われる中、今後は、自組織の特性を理解し、高度なセキュリティ人材と一般社員の間を橋渡ししながら、組織のセキュリティ対策を推進する人材 (下図の「セキュリティ担当者」) の育成が必要です。

そのような人材を皆様の組織内で育成いただくことができる、「サイバーセキュリティマインドセット」コース、「経営視点で学ぶサイバーセキュリティ」コースを新たにご提供します。

これらのコースでは、組織のセキュリティ担当者の意識を向上させること、さらにセキュリティ担当者が組織の責任者や経営層に対してセキュリティ対策の重要性を説くために必要となった知識やスキルを身につけることで、組織全体のセキュリティ対策の加速をめざします。

## 「高度セキュリティ人材」と「ITリテラシーを持つ人材」との間をつなぐ役割を担う



| コースコード     | コース名                         | コース概要  |
|------------|------------------------------|--|
| オーダー研修専用*4 | <b>New</b> サイバーセキュリティマインドセット | 各職場のセキュリティ担当者に自組織のセキュリティレベルを認識してもらうことで、組織全体のセキュリティマインドを向上させます。本コースでは、IPAが提供している「5分できる!情報セキュリティ自社診断」を使用し、各組織のセキュリティレベルを明らかにします。その後、自組織の結果を他組織と比較することで自組織の弱点を把握し、今後の改善を促します。 |
| オーダー研修専用*4 | <b>New</b> 経営視点で学ぶサイバーセキュリティ | サイバーセキュリティ経営ガイドラインをベースに、サイバー攻撃から企業を守るための基本原則や重点項目を学びます。セキュリティ担当者が、組織の責任者・経営層にセキュリティ対策を提案する際の一助となる効果が期待できます。  |

\*3 「ITリテラシー」とは、情報機器やネットワーク等ITを使いこなす能力のことをいいます。  
\*4 開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

# PMBOK®ガイド第6版セミナーを 2時間版eラーニングコースで ご提供します!

# メンバーの満足度に影響を与え、 プロジェクトやチームの成果を上げる!

2018年1月、プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードであるPMBOK®ガイド第6版 日本語版が発行されました。

これまでのPMBOK®ガイドは、〈計画駆動型〉でした。事前にしっかり計画を立てて、計画を逸脱しないように監視・コントロールすることに主眼が置かれていました。

しかし、ビジネスの変革スピードは加速しており、当初決めた計画どおりに遂行することが、ともすればリリース時には既に時代遅れを招いてしまいかねないため、臨機応変に計画を見直すことも重要視されています。

PMBOK®ガイド第6版は、それらの動向をとらえ、〈変化駆動型〉に変容しました。

日立講習会では、皆様にこの変化駆動型にいち早く対応していただけるよう、新たにPMBOK®ガイド第6版対応コースを細分化したeラーニングとしてご提供します。

## ● PMBOK®ガイド第6版対応コース一覧

eラーニングでは、2日間の集合研修の内容を章ごとの2時間コースに分割してご提供します。(全12章構成)

| コースコード | コース名   | 日数/<br>標準学習時間 | コース概要   |
|--------|--|---------------|---|
| PMJ063 | (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー   | 2日            | プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「PMBOK®ガイド」の内容を学習します。本コースは、PMP®対策講座受講の前提講座となります。                                     |
| PMJ064 | (PDU) PMBOK®ガイド第5版と第6版の差分講座<br>一half日でわかる第6版                             | 0.5日          | PMBOK®第6版では、アジャイルマネジメントなど新たな考え方が入ってきます。PMBOK®第5版と比較してどの程度改訂され、どのような新しい内容が組み入れられたかを、両版の知識エリアを中心に比較し、わかりやすく解説します。 |
| PME013 | <b>New</b> <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー<br>プロジェクトとは                    | 2時間           | PMBOK®ガイド第6版の全体構成について学習します。   |
| PME014 | <b>New</b> <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー<br>プロジェクトの運営環境とプロジェクト・マネジャーの役割 | 2時間           | PMBOK®ガイド第6版をどのような場面に適用するかについて学習します。  |
| PME018 | <b>New</b> <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー<br>統合マネジメント                    | 2時間           | プロジェクトの中央管制塔として取りまとめる統合マネジメントについて学習します。   |
| PME011 | <b>New</b> <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー<br>スコープ・マネジメント                 | 2時間           | プロジェクトの作業を過不足なく含めるためのスコープ・マネジメントについて学習します。  |
| PME010 | <b>New</b> <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー<br>スケジュール・マネジメント               | 2時間           | プロジェクトを所定の時期に完了させるためのスケジュール・マネジメントについて学習します。  |
| PME008 | <b>New</b> <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー<br>コスト・マネジメント                  | 2時間           | プロジェクトを承認済みの予算内で完了させるためのコスト・マネジメントについて学習します。  |
| PME019 | <b>New</b> <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー<br>品質マネジメント                    | 2時間           | プロジェクトの品質要求を満たすための品質マネジメントについて学習します。  |
| PME016 | <b>New</b> <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー<br>資源マネジメント                    | 2時間           | プロジェクトに必要な資源を獲得し、活用するための資源マネジメントについて学習します。  |
| PME009 | <b>New</b> <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー<br>コミュニケーション・マネジメント            | 2時間           | プロジェクト内の適切な情報伝達をするためのコミュニケーション・マネジメントについて学習します。   |
| PME015 | <b>New</b> <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー<br>リスク・マネジメント                  | 2時間           | プロジェクトの不測の事態に事前に対応するためのリスク・マネジメントについて学習します。   |
| PME017 | <b>New</b> <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー<br>調達マネジメント                    | 2時間           | プロジェクトに必要なプロダクト、サービスなどを外部から獲得する調達マネジメントについて学習します。   |
| PME012 | <b>New</b> <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー<br>ステークホルダー・マネジメント             | 2時間           | プロジェクトのステークホルダーの期待や影響力を適切にマネジメントするためのステークホルダー・マネジメントについて学習します。  |

PMP® : Project Management Professionalの略で、米国PMI® (Project Management Institute) が認定する国際資格です。

PDU : Professional Development Unitの略で、PMP®資格維持に必要な単位です。

PMBOK®ガイドはプロジェクトマネジメント協会発行のA Guide to the Project Management Body of knowledgeの略称です。

PMI®, PMP®, PMBOK®ガイド, PM Network®, PMI Today®, PMCDF®, R.E.P.ロゴは、プロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。

## 部下や後輩の育成に自信はありますか?

プロジェクトやチームでリーダーとしての役割を担っている皆様は、リーダーとして、メンバーがやりたいことを把握されていますか。

メンバーの話に耳を傾けたり、意見を求めているでしょうか。メンバーを観察して、彼らのスキルや意欲を引き出すような関わりができていますか。

リーダーがメンバーにどう関わっていくかによって、プロジェクトやチームの成果が変わります。リーダーは、メンバーに求められる役割を共有し、彼らのキャリアを考えたうえで、中長期的な目標とアクションプランを作成する必要があります。

では、メンバーのニーズを適切に把握するにはどうしたら良いでしょうか。メンバーのモチベーションが低いとき、どのような関わりが必要でしょうか。日立講習会では、これらのお悩みや課題の解決にお役立ていただける研修を多数ご用意しています。

特に、以下の方にお薦めの研修です。メンバーのパフォーマンス向上のためにもぜひご活用ください。

メンバーの能力や可能性を  
最大限に引き出したいと  
考えている方

メンバーの  
モチベーションを上げたいと  
考えている方

| コースコード | コース名  | 日数/<br>標準学習時間 | コース概要   |
|--------|---|---------------|---|
| HSJ186 | <b>New</b> 部下のパフォーマンスを高めるOne on One<br>ミーティングとフィードバック | 1日            | メンバーが話したいことを話すミーティングとは何か、またメンバーの自主性が上がっていく会話とは何か、をロールプレイングを通して体系的に学習します。  |
| HSJ179 | <b>New</b> 半日でレベルアップ! コーチング実習                         | 0.5日          | コーチングセッション時につまずきやすいポイントをGROWのフレームを意識しながら、再確認します。信頼関係の構築、傾聴、承認、質問、フィードバック、提案の基本スキルも学び直します。                                   |
| HSJ079 | コーチング基礎   | 1日            | コーチングのさまざまなスキルを活用した、部下指導に役立つ演習を中心とした内容です。部下または新規配属者などを指導する立場の方が、OJTを効果的に進めるためのポイントを学習します。                                   |
| HSJ147 | (PDU) 目標達成のためのコーチング実践                                 | 2日            | メンバーの目標達成を支援するためのコーチングのスキルを学習します。また、キャリアコーチングを学習することで、メンバーの中長期的キャリア達成を支援できます。   |
| HSE047 | <eラーニング><br>【学び直し】コーチング基礎                             | 4時間           | 部下または新規配属者などを指導する立場の方が、OJTを効果的に進めるためのポイントを学習します。コーチングのさまざまなスキルを活用した、部下指導に役立つ内容です。集合研修(HSJ079: コーチング基礎)のエッセンスをeラーニングで学習できます。 |
| HSE097 | <b>New</b> <eラーニング><br>コーチングマニュアル                     | 1時間           | コーチング技術を活用してコーチング時に何をすればよいか、ガイドとして確認できます。相手のモチベーションを上げ、目標を明確にし、自らが解決策を導き出すための後押しになります。                                      |

# 時間を有効活用し、業務の生産性を高める！ ワークライフバランスを実現するためには、 現在の働き方の見直しが必要です

会議の  
効率化 にむけて

コミュニケーションの  
円滑化 にむけて

資料作成の  
時間短縮化 にむけて

生産性向上  
の第一歩

日々、次から次へと「会議のはしご」で一日が会議で終わってしまったり、コミュニケーションの齟齬が発生し予想以上に打ち合わせに時間がかかったり、会議の資料作りに追われたりすることはありませんか。

働き方改革が求められる中、会議の効率化、コミュニケーションの改善が重要課題となっています。当社では、業務の効率化や生産性向上をめざす研修を多数ご用意しています。ぜひご活用ください。

## 会議の効率化にむけて

効率的な会議運営にはファシリテーション・スキルが必要です。ファシリテーションは、チームを率いて成果を生み出すリーダーシップの一つのスタイルであり、決断を担うリーダーのために欠かせない重要なスキルです。この機会にファシリテーション・スキルを高め、会議の効率化にお役立てください。



| コースコード | コース名   | 日数 | コース概要   |
|--------|--|----|---|
| HSJ148 | (PDU)会議/プロジェクトを円滑に進めるためのファシリテーション・スキル向上                    | 2日 | 効率的、効果的な会議/プロジェクトを運営するために有効である、ミーティング・コミュニケーションと対応法を学習します。さらに、生産的会議に必要なファシリテーション・スキルを理解し、適切なコミュニケーション技術を修得できます。 |
| HSJ174 | (PDU)ストラクチャード・コミュニケーション<br>—会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える— | 1日 | 限られた時間の中で、有効な情報を引き出し、整理し、考えを伝えることが求められる状況において、相手とのコミュニケーションによる情報を構造化し、図で表現するために必要な知識を学びます。                      |

## コミュニケーションの円滑化にむけて



工作中、自分の考えを整理できず、相手に分かってもらえなかったり、整理できたとしても、相手に誤解を与えてしまったりなど、思うようにコミュニケーションがとれないことはありませんか。

コミュニケーションの行き違いの原因のひとつには、間接的で回りくどい表現や、相手のストライクゾーンにあった表現ができていないことなどがあります。そのような状況を招かないためには、相互尊重の精神で自分の考えを率直に伝えるアサーティブ・コミュニケーションやリスニング力を高めることが有効です。

| コースコード | コース名   | 日数 | コース概要  |
|--------|--|----|--|
| HSJ124 | リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップ<br>—職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上— | 1日 | 対話のスキルとして重要な2つの要素「傾聴」と「アサーション」のうち、「傾聴」を中心に学習します。       |
| HSJ125 | (PDU)アサーティブ・コミュニケーション<br>—職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上—     | 1日 | 自己尊重のマインドに基づいて、自分の考えや気持ちを明快に伝えるアサーティブ・コミュニケーションを学習します。 |

## 資料作成の時間短縮化にむけて

業務が多いのに仕事が早い、どんな資料を作らせても分かりやすい。そのようなビジネスパーソンが身につけているスキルとは何でしょうか。

当社では、効率よく資料をまとめるために、Excelスキルを向上させるための研修をご用意しました。ぜひご活用ください。



| コースコード | コース名                                     | 日数 | コース概要   |
|--------|--|----|---|
| OAJ046 | Excelで業務データを使いこなす<br>—関数とピボットテーブルを利用して—  | 1日 | 関数を使用してExcelにインポートしたダウンロードデータを整形する方法、ピボットテーブルを使用してデータの集計や分析をする方法を学習します。     |
| OAJ047 | Excelによる売上データ分析<br>—Excelではじめるデータ活用の第一歩— | 1日 | 業務で利用するデータをどのように分析するか、一連の分析プロセスを理解しながら、Excelの分析機能を活用してその手順を、マシン操作を通して学習します。 |
| OAJ048 | Excelによるデータ可視化<br>—Excelでビジュアルに強くなる—     | 1日 | データを利活用するための第一歩はデータの可視化です。Excelを使用して、データを図やグラフに可視化する手順についてマシン操作を通して学習します。   |

## 生産性向上の第一歩



IT化に限らず現状業務の改善を推進するには、現行業務の見える化と正しい問題の把握が不可欠です。分業における業務の構造は業務プロセスとなりますが、そのフローが見える化されてこそ、評価することが可能になり、正しく問題を発見することができます。

個人の努力が報われないのは、全体の構造に問題があるケースが殆どです。見える化から取り組んでみませんか。RPA導入の前にも取り組んでおきたいテーマです。

| コースコード | コース名                                | 日数 | コース概要   |
|--------|-------------------------------------|----|---|
| CTJ053 | 現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法     | 1日 | 現場で取り組み易く、時間を掛けず、精度の高い業務の見える化を実現するための方法を、演習により修得します。RPAを導入する職場におススメです。  |
| CTJ054 | IT活用による業務改善を実現するための問題分析と新業務プロセス設計技法 | 1日 | 生産性を向上するためにはITを活用した業務改善が重要になりますが、期待したほどの成果を得られないケースも度々です。本当に取り組むべき問題をどのようにして発見し、IT化によって解決する考え方について演習を通して学びます。 |

# 1 体系的にIT技術修得を進めるための日立講習会コース活用例

日立講習会では、企業や組織で必要となるITの修得に適したコースを各種ご用意しています。階層別研修とともに、IT研修の企画立案の際に日立講習会のコースをぜひご活用ください。

IT修得に必要な一連のコースをご用意しています!!

## ● 情報システム部門の方向け推奨 IT 研修体系

企業における情報システムの役割は、合理化・効率化を進めるツールから、他社との差別化・競争力強化を図るツールへと変遷しました。ITは、経営戦略や事業戦略を成功に導く重要な要素になりました。

これらの背景から、情報システム部門は、システムの実装技術だけでなく、戦略に結び付くITサービスを企画立案/開発し、継続して提供し続けるスキルが求められます。

日立講習会では、システム化戦略策定から運用管理や実装技術まで一連のIT修得に対応したコースをご用意しています。下記は、日立講習会を活用した情報システム部門の研修体系の一例です。

### 日立講習会を活用したIT修得コースマップの例

| 項目                       | 初 級  | 中 級   | 上 級   |
|--------------------------|--|---|---|
| IS 戦略<br>IS 戦略評価         | HSJ181 / 1日間<br>(PDU)ソリューション提案のための経営と情報戦略<br>-経営・事業・情報戦略のあるべき関係性-  | CTJ016 / 1日間<br>(PDU) IT投資対効果の考え方<br>-IT投資マネジメントの基礎-  | HSJ017 / 1日間<br>(PDU) IT戦略の立案<br>-IT-BSCの活用による-<br>SPJ008 / 2日間<br>(PDU) IT投資の評価手法<br>-IT投資の種類、パターンから効果を考える-<br>CTJ062 / 2日間<br>(PDU)エンタープライズ・ビジネスアナリシス   |
| IS 企画<br>IS 企画評価         |  | CTJ055 / 1日間<br>IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方<br>CTJ050 / 1日間<br>情報システム導入の社内企画・準備、外部委託先選定の業務 | CTJ060 / 2日間<br>(PDU)要求の引き出しとマネジメント<br>CTJ005 / 2日間<br>(PDU)トラブルを防止する調達要件の分析<br>-RFPの作成と提案書の評価を中心に-<br>SPJ036 / 2日間<br>システム化要求を実現するための業務設計<br>CTJ057 / 2日間<br>これらのIT技術者のための超上流要求開発入門<br>-いま、必要とされるサービスデザインメソッド-                                 |
| システム開発                   | SJE707 / 4時間<br>eL【ナビ機能付き】システム開発の基礎<br>SPJ058 / 2日間<br>演習で学ぶ!情報システムの役割と開発の進め方  | SPJ037 / 2日間<br>システムのニーズ分析  | CTJ046 / 1日間<br>情報システム導入を成功させる要件定義とベンダー折衝の実践ポイント<br>CTJ026 / 1日間<br>情報システムのユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備業務   |
| 要件定義                     | SPJ024 / 2日間<br>システムの要件定義技法<br>CTJ053 / 1日間<br>現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法   | CTJ052 / 2日間<br>現行システムのリリース/改修における現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法  | SPJ054 / 1日間<br>後工程で慌てないユーザー/業務要件の漏れを未然に防ぐ業務設計と要件定義のコツ<br>CTJ018 / 1日間<br>非機能要求の考え方<br>CTJ051 / 1日間<br>ビジネス要求引き出しのための業務課題抽出のテクニック<br>CTJ058 / 2日間<br>ビジネスモデリングからはじめる要求分析モデリング   |
| 設計技法                     | NWJ139 / 2日間<br>Webアプリケーション設計の基礎   | SPE017 / 5時間<br>eL 構造化モデリングによるシステムの機能抽出   | SPJ056 / 1日間<br>開発での手戻りを最小限にする要件品質チェックのポイントと基本設計の肝  |
| アプリケーション開発               | CBE006 / 16時間<br>eL アルゴリズムの基礎<br>-フローチャート編-<br>SPJ028 / 1日間<br>品質確保のためのソフトウェアテスト<br>SPE019 / 3時間<br>eL 速習! Webシステムテストのポイント<br>プログラミング言語ごとのコース群 | SPE016 / 8時間<br>eL 実践! テストケース設計<br>(テスト技法演習編)   | SPJ051 / 1日間<br>実践! テストケース設計<br>(テスト設計実践編)<br>SPJ038 / 2日間<br>アプリケーション・アーキテクチャ策定演習  |
| システム基盤                   | UXE003 / 4時間<br>eL クラウドコンピューティング入門<br>サーバ製品ごとのコース群   | CLJ005 / 1日間<br>実機で学ぶ! サーバ仮想化入門<br>-VMware vSphere, Microsoft Hyper-V, KVM-                       | CLJ014 / 1日間<br>実機で学ぶ! クラウドコンピューティング入門<br>CLD001 / 2日間<br>事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理-Cloud Essentials-   |
| セキュリティ                   | SCE708 / 4時間<br>eL【ナビ機能付き】情報セキュリティテラシー<br>-セキュリティの必要性と対策-<br>SCE706 / 8時間<br>eL【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説<br>-セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-           | SCE705 / 6時間<br>eL【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-ネットワーク構成技術システム保護の概要編-                              | SCJ038 / 1日間<br>情報セキュリティマネジメント運用<br>SCJ039 / 1日間<br>情報セキュリティマネジメントの評価と改善<br>SCJ047 / 1日間<br>ケーススタディから学ぶ<br>情報セキュリティリスクマネジメント  |
| ネットワーク                   | NWJ103 / 2日間<br>ネットワーク基礎<br>NWE715 / 8時間<br>eL【ナビ機能付き】LANの技術-高可用ネットワーク-<br>NWE717 / 8時間<br>eL【ナビ機能付き】WANの技術-VPNサービスへの変遷-                       | NWJ099 / 2日間<br>TCP/IPプロトコル解析   | NWE704 / 6時間<br>eL【ナビ機能付き】ネットワーク管理解説<br>NWE028 / 4時間<br>eL ネットワーク設計基礎<br>NWJ084 / 2日間<br>ネットワークトラブル解決   |
| データベース                   | DBJ045 / 1日間<br>データベース入門<br>-解説と操作体験-<br>DBJ055 / 1日間<br>速習! 1日でわかるデータベース設計の基礎<br>データベース製品ごとのコース群  | DBJ054 / 2日間<br>データベース設計技法と演習   |   |
| プロジェクトマネジメント             | PMJ065 / 2日間<br>プロジェクトマネジメント基礎   | PMJ066 / 2日間<br>(PDU)ワークショップで学ぶ<br>プロジェクトマネジメント実践   | CTJ022 / 2日間<br>情報システム部門のための開発<br>工程におけるベンダー・マネジメント<br>プロジェクトマネージャ向けのコース群<br>CTJ037 / 2日間<br>(PDU) SEのための<br>ベンダーマネジメント<br>PMJ067 / 1日間<br>(PDU) PMO視点からのプロジェクト<br>運営の勘所(アセスメント)<br>PMD009 / 2日間<br>(PDU)プログラムマネジメント-より価値の<br>高いプロジェクトを提供するために- |
| IT サービスマネジメント<br>運用管理・保守 | ITJ008 / 1日間<br>情報システム運用入門<br>-運用からITサービスへ-<br>ITJ009 / 1日間<br>IT運用における<br>ヒューマンエラー予防  | ITJ012 / 3日間<br>(PDU) ITIL® ファンデーション<br>(認定試験付)   | ITJ004 / 2日間<br>システム運用の現状分析・<br>設計力養成ワークショップ<br>SPJ033 / 1日間<br>保守開発における<br>トラブル対策の考え方<br>HSJ062 / 1日間<br>事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方<br>-高信頼性システム実現のために-  |
| システム監査                   |  | HSJ018 / 2日間<br>システムトラブルの予防と是正<br>-ISMS・システム監査の視点から-  | HSJ105 / 2日間<br>システム監査で学ぶ<br>開発・保守とリスク評価  |



# ● SI 企業 / IT 開発ベンダ向け推奨 IT 研修体系

現在のIT産業は、ハードウェアやソフトウェアといったプロダクトの提供だけではなく、顧客企業がめざす経営戦略や事業戦略を実現する IT サービスの提供が重要です。これを実現するために、高い専門性を持つ人財の必要性が高まっています。そのため、企業の競争力強化に向けた体系的な人財育成が重要です。

高い専門性を身につける「基礎体力」として、IT の基本をしっかりと身につけることが重要です。日立講習会では、JP1 や HiRDB といった製品技術修得のコースに留まらず、IT 基本、情報セキュリティ、ネットワークやデータベースといった汎用的な IT の修得に対応したコースをご用意しています。下記は、日立講習会を活用した研修体系の一例です。

日立講習会を活用した情報システム/ソフトウェア開発技術者のITスキル(ITの基礎体力)修得コースマップの例

| 項目                      | 初級  | 中級  | 上級   |
|-------------------------|---|---|--|
| IT 基本                   | <p>コンピュータ科学基礎、コンピュータシステムの構成</p> <p>SJJ009 / 5日間<br/>コンピュータ基礎</p> <p>SJE701 / 8時間<br/>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-ハードウェア編-</p> <p>SJE702 / 8時間<br/>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-ソフトウェア編-</p> <p>SJE703 / 4時間<br/>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-情報の基礎理論編-</p> <p>SJE704 / 4時間<br/>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-情報システム編-</p> <p>セキュリティ、ネットワーク、データベースの基本</p> <p>SCE701 / 4時間<br/>【ナビ機能付き】情報セキュリティ入門-セキュリティの必要性と対策-</p> <p>NWJ103 / 2日間<br/>ネットワーク基礎</p> <p>DBJ045 / 1日間<br/>データベース入門-解説と操作体験-</p>   |   |  |
| クラウド / サーバ仮想化           | <p>仮想化技術</p> <p>CLJ005 / 1日間<br/>実機で学ぶ！サーバ仮想化入門-VMware vSphere, Microsoft Hyper-V, KVM-</p> <p>CLJ007 / 1日間<br/>実機で学ぶ！デスクトップ仮想化入門-Citrix XenDesktopとVMware vSphere-</p> <p>クラウド</p> <p>UXE003 / 4時間<br/>【ナビ機能付き】クラウドコンピューティング入門</p> <p>CLJ003 / 1日間<br/>クラウドコンピューティング技術解説</p> <p>CLJ014 / 1日間<br/>実機で学ぶ！クラウドコンピューティング入門</p>   | <p>仮想化製品提供ベンダーごとのコース群</p> <p>CLD001 / 2日間<br/>事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理-Cloud Essentials-</p> <p>SPJ040 / 0.5日間<br/>クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向</p> <p>クラウドサービス提供ベンダーごとのコース群</p>  |  |
| システム基盤                  | <p>サーバOS</p> <p>UNIX/Linux</p> <p>UXJ061 / 2日間<br/>UNIX/Linux 基礎-コマンド編-</p> <p>UXJ049 / 2日間<br/>UNIX/Linux 基礎-シェルスクリプト編-</p> <p>UXJ029 / 2日間<br/>Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム ネットワーク管理の基礎-</p> <p>UXJ030 / 2日間<br/>Linuxシステム管理 後編-Linux起動の仕組みとディスク管理技術-</p> <p>UXE004 / 3時間<br/>【ナビ機能付き】オープンソースソフトウェア(OSS)概説</p> <p>Windows</p> <p>MSJ042 / 2日間<br/>Windows Server 2016 管理概説</p> <p>MSE305 / 13時間<br/>【ナビ機能付き】【マシンプラグイン】Windows Server 2012 管理概説</p> <p>Windows Serverの運用目的に応じたコース群</p>  | <p>UXJ062 / 2日間<br/>Linuxトラブルシューティング</p> <p>Windows Serverの運用目的に応じたコース群</p>   |  |
| データベース                  | <p>データベース設計、実装技術</p> <p>DBJ055 / 1日間<br/>速習1日でわかるデータベース設計の基礎</p> <p>DBJ043 / 2日間<br/>基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-</p> <p>DBE706 / 4時間<br/>【ナビ機能付き】データベース概要</p> <p>データベース製品ごとのコース群</p>   | <p>DBJ047 / 1日間<br/>脱初心者のためのSQL-SQLでここまでできる-</p> <p>DBJ054 / 2日間<br/>データベース設計技法と演習</p> <p>データベース製品ごとのコース群</p>   |  |
| ネットワーク                  | <p>ネットワークシステムの要素技術</p> <p>NWE715 / 8時間<br/>【ナビ機能付き】LANの技術-高可用ネットワーク</p> <p>NWE717 / 8時間<br/>【ナビ機能付き】WANの技術-VPNサービスへの変遷-</p> <p>NWJ147 / 1日間<br/>ネットワークインフラ構築-基礎編-</p> <p>ネットワーク設計</p> <p>NWE028 / 4時間<br/>【ナビ機能付き】ネットワーク設計基礎</p> <p>NWE703 / 12時間<br/>【ナビ機能付き】IPv6の基礎と移行技術</p>  | <p>NWJ133 / 2日間<br/>ネットワークインフラ構築-スイッチ編-</p> <p>NWJ138 / 2日間<br/>ネットワークインフラ構築-ルータ編-</p> <p>NWJ120 / 2日間<br/>ネットワークインフラ構築-冗長化・負荷分散編-</p> <p>NWE708 / 4時間<br/>【ナビ機能付き】Software Defined Networking (SDN)概説-ネットワーク仮想化-</p>   |  |
| セキュリティ                  | <p>要素技術、セキュリティ計画、リスクマネジメント</p> <p>SCE706 / 8時間<br/>【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説-セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-</p> <p>SCE703 / 6時間<br/>【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-要素技術(暗号、認証)編-</p> <p>SCE705 / 6時間<br/>【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編-</p> <p>SCE704 / 4時間<br/>【ナビ機能付き】データベースセキュリティ概説</p> <p>SCJ038 / 1日間<br/>情報セキュリティマネジメント運用</p> <p>SCJ039 / 1日間<br/>情報セキュリティマネジメントの評価と改善</p> <p>SCD001 / 5日間<br/>CEH (Certified Ethical Hacker)</p> <p>SCJ047 / 1日間<br/>ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスクマネジメント</p>  |   |  |
| システム設計 / システム開発         | <p>ソフトウェアエンジニアリング</p> <p>SJE707 / 4時間<br/>【ナビ機能付き】システム開発の基礎</p> <p>SPJ088 / 2日間<br/>演習で学ぶ！情報システムの役割と開発の進め方</p> <p>ニーズ分析、要件定義</p> <p>SPJ024 / 2日間<br/>システムの要件定義技法</p> <p>CTJ052 / 1日間<br/>【ナビ機能付き】現行システムのリプレイス/改修における現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法</p> <p>SPJ037 / 2日間<br/>システムのコース分析</p> <p>システム設計、業務アプリケーション設計</p> <p>NWJ139 / 2日間<br/>Webアプリケーション設計の基礎</p> <p>NWJ144 / 1日間<br/>【ナビ機能付き】スマートフォンの特性を踏まえたWebアプリケーション設計の考え方</p> <p>SPE017 / 5時間<br/>【ナビ機能付き】構造化モデリングによるシステムの機能抽出</p> <p>モデリング / オブジェクト指向</p> <p>OJJ024 / 2日間<br/>UMLによるオブジェクト指向モデリング</p> <p>アプリケーション開発</p> <p>Javaテクノロジー</p> | <p>PMJ006 / 1日間<br/>ソフトウェア開発の品質管理と信頼性-日立の取り組み紹介-</p> <p>CTJ018 / 1日間<br/>非機能要求の考え方</p> <p>SPJ054 / 1日間<br/>【ナビ機能付き】後工程で使えないユーザー/業務要件の漏れを未然に防ぐ業務設計と要件定義のコツ</p> <p>CTJ059 / 2日間<br/>【ナビ機能付き】(PDU)ビジネスアナリシスの基礎</p> <p>CTJ051 / 1日間<br/>【ナビ機能付き】ビジネス要求引き出しのための業務課題抽出のテクニック</p> <p>CTJ060 / 2日間<br/>【ナビ機能付き】(PDU)要求の引き出しとマネジメント</p> <p>CTJ062 / 2日間<br/>【ナビ機能付き】(PDU)エンタープライズ・ビジネスアナリシス</p> <p>SPJ038 / 2日間<br/>アプリケーション・アーキテクチャ策定演習</p> <p>SPJ036 / 2日間<br/>【ナビ機能付き】システム化要求を実現するための業務設計</p> <p>SPJ056 / 1日間<br/>【ナビ機能付き】開発での手戻りを最小限にする要件品質チェックのポイントと基本設計の肝</p> <p>SPJ039 / 0.5日間<br/>事例から学ぶSaaS活用提案のポイント</p> <p>CLJ012 / 2日間<br/>クラウドアプリケーション開発</p> <p>SPJ040 / 1日間<br/>【ナビ機能付き】体験最新OSSを活用したDevOps入門-Lumadaにおけるアプリケーション開発の進化-</p> <p>SPJ057 / 1日間<br/>【ナビ機能付き】(PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発-お客様に素早く価値を届けるために-</p> |  |
| プログラミング                 | <p>アルゴリズム / プログラミング</p> <p>CBJ001 / 2日間<br/>アルゴリズムの基礎-フローチャート編-</p> <p>CBE006 / 13時間<br/>【ナビ機能付き】アルゴリズムの基礎-フローチャート編-</p> <p>プログラミング言語ごとのコース群</p> <p>テスト技法</p> <p>SPE701 / 4時間<br/>【ナビ機能付き】プログラムのテスト技法</p> <p>SPJ028 / 4日間<br/>品質確保のためのソフトウェアテスト</p> <p>SPE016 / 8時間<br/>【ナビ機能付き】実践! テストケース設計(テスト技法演習編)</p> <p>SPJ051 / 4日間<br/>【ナビ機能付き】実践! テストケース設計(テスト設計実践編)</p>   | <p>SPE019 / 2時間<br/>【ナビ機能付き】速習! Webシステムテストのポイント</p> <p>SPJ042 / 1日間<br/>【ナビ機能付き】Javaによるテスト駆動開発演習</p> <p>SPJ025 / 1日間<br/>【ナビ機能付き】SeleniumによるWebアプリケーションテスト自動化演習</p>   |  |
| 評価、改善、信頼性向上 / リスクマネジメント |   | <p>SPJ033 / 1日間<br/>【ナビ機能付き】保守開発におけるトラブル対策の考え方</p> <p>HSJ062 / 1日間<br/>【ナビ機能付き】事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方-高信頼性システム実現のために-</p>   | <p>HSJ018 / 2日間<br/>【ナビ機能付き】システムトラブルの予防と是正-ISMS・システム監査の視点から-</p>   |
| プロジェクトマネジメント            | <p>PMJ045 / 2日間<br/>プロジェクトマネジメント基礎</p>  | <p>PMJ066 / 2日間<br/>【ナビ機能付き】(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践</p> <p>CTJ037 / 2日間<br/>【ナビ機能付き】SEのためのベンダーマネジメント</p> <p>知識エリアごとのコース群</p>  | <p>PMJ067 / 1日間<br/>【ナビ機能付き】(PDU)PMO視点からのプロジェクト運営の勘所(アセスメント)</p> <p>PMD009 / 2日間<br/>【ナビ機能付き】(PDU)プログラママネジメント-より価値の高いプログラマを育てるために-</p> |

日立講習会を活用したITサービス企画/開発/運用管理技術者のITスキル(ITの基礎体力)修得コースマップの例

| 分野               | ITサービス企画/開発/運用管理技術者のITスキル(ITの基礎体力)修得コースマップの例 |        |         |      |        |        |                    | 項目   | 初級   | 中級   | 上級   |  |   |  |
|------------------|--|--------|---------|------|--------|--------|--------------------|--|--|--|--|--|---|--|
|                  | ITサービス戦略                                     | システム構想 | システム化計画 | 業務設計 | 業務詳細設計 | テスト・移行 | 投資対効果              |  |  |  |  |  |   |  |
| 新事業・サービスの創成      |  |        |         |      |        |        |                    | 戦略/マーケティング                                     |  | HSJ181 / 1日間<br>(PDU)ソリューション提案のための経営と情報戦略<br>-経営・事業・情報戦略のあるべき関係性-                                | HSJ182 / 1日間<br>(PDU)ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向<br>-イノベーション実現のために-                   | HSJ017 / 1日間<br>(PDU) IT戦略の立案<br>-IT-BSCの活用による-                              | CTD006 / 2日間<br>IT経営ストラテジ                                 |  |
|                  |  |        |         |      |        |        |                    | イノベーション  | HSJ163 / 1日間<br>クリエイティブシンキング                               | HSJ157 / 2日間<br>システムシンキング基礎<br>-問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化する-                                  | HSJ170 / 2日間<br>イノベティブ思考-単なるアイデアで終わらせないための<br>ロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた-        | HSJ159 / 2日間<br>顧客価値発見と<br>ビジネスモデルのデザイン                                      | CTJ056 / 2日間<br>新時代に向けた<br>ビジネスモデル創造の進め方                  | HSJ158 / 1日間<br>イノベーションプロセスを強化する<br>シナリオプランニング |
|                  |  |        |         |      |        |        |                    | 超上流工程  |  | CTJ059 / 2日間<br>(PDU) ビジネスアナリシスの<br>基礎   | SPJ037 / 2日間<br>システムのニーズ分析   | CTJ051 / 1日間<br>(PDU) ビジネス要求引き出しのための<br>業務課題抽出のテクニック                         | CTJ040 / 2日間<br>(PDU) 要求の引き出しと<br>マネジメント                  | CTJ062 / 2日間<br>(PDU) エンタープライズ・<br>ビジネスアナリシス   |
| サービス企画/開発        |  |        |         |      |        |        |                    | サービスプロデュース                                     |  | HSJ177 / 1日間<br>実現可能性を高めるユーザーの言葉を使って解決する成果志向型のサービスデザイン<br>-事業開発の失敗リスクを最小化するための事業・競争環境・内部プロセスの検討- | CTJ055 / 1日間<br>IT主導で攻めのビジネスを実現する<br>ための構想立案とIT化企画の作り方                         |  | CTJ058 / 2日間<br>ビジネスモデリングから始める<br>要求分析モデリング               |  |
|                  |  |        |         |      |        |        |                    | サービスレベル設計                                      | ITE006 / 4時間<br>eL SLAにおける<br>サービスレベル設計の基礎                 |  | CTJ018 / 1日間<br>非機能要求の考え方  |  |   |  |
| システム化企画/導入       |  |        |         |      |        |        |                    | システム企画   | SPJ058 / 2日間<br>演習で学ぶ!情報システムの<br>役割と開発の進め方                 | CTJ054 / 1日間<br>IT活用による業務改善を実現するための<br>問題分析と新業務プロセス設計技法  | SPJ036 / 2日間<br>システム化要求を<br>実現するための業務設計  |  |   |  |
|                  |  |        |         |      |        |        |                    | 要件定義   | CTJ053 / 1日間<br>現場主導で現状業務の見える化を<br>推進するための業務フロー作成技法        | CTJ052 / 1日間<br>現行システムのリリース/改修における現状洗い<br>出しを確実にするための業務フロー作成技法                                   | SPJ024 / 2日間<br>システムの要件定義技法  | CTJ018 / 1日間<br>非機能要求の考え方  |   |  |
|                  |  |        |         |      |        |        |                    | 運用テスト・移行                                       | SPJ028 / 1日間<br>品質確保のための<br>ソフトウェアテスト                      | CTJ026 / 1日間<br>情報システムのユーザーテストと<br>移行・切替・本番稼働の準備実務   |  |  |   |  |
| ITサービス運用         |  |        |         |      |        |        |                    | ITシステム運用                                       | ITJ008 / 1日間<br>情報システム運用入門<br>-運用からITサービスへ-                | ITJ009 / 1日間<br>IT運用における<br>ヒューマンエラー予防   | ITE006 / 4時間<br>eL SLAにおける<br>サービスレベル設計の基礎                                     |  |   |  |
|                  |  |        |         |      |        |        |                    | クラウド   | UXE003 / 4時間<br>eL クラウドコンピューティング<br>入門                     | CLJ014 / 1日間<br>実践で学ぶ!<br>クラウドコンピューティング入門  | CLD001 / 2日間<br>事業と技術の観点から検討するクラウド<br>への移行と管理-Cloud Essentials-                | SPJ040 / 0.5日間<br>クラウドコンピューティングで読み解く<br>ITサービスの最新動向                          | SPJ039 / 0.5日間<br>事例から学ぶ<br>SaaS活用提案のポイント                 |  |
|                  |  |        |         |      |        |        |                    | セキュリティ   | SCE708 / 4時間<br>eL [ナビ機能付き]情報セキュリティテラシー<br>-セキュリティの必要性と対策- | SCE706 / 8時間<br>eL [ナビ機能付き]情報セキュリティマネジメント概説<br>-セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-                         | SCJ038 / 1日間<br>情報セキュリティマネジメント運用   | SCJ047 / 1日間<br>ケーススタディから学ぶ<br>情報セキュリティリスクマネジメント                             |   |  |
|                  |  |        |         |      |        |        |                    | ネットワーク   | NWJ103 / 2日間<br>ネットワーク基礎                                   | NWE715 / 8時間<br>eL [ナビ機能付き]<br>LANの技術-高可用ネットワーク-   | NWJ099 / 2日間<br>TCP/IPプロトコル解析  | NWE704 / 6時間<br>eL [ナビ機能付き]<br>ネットワーク管理解説                                    | NWJ084 / 2日間<br>ネットワークトラブル解決                              |  |
|                  |  |        |         |      |        |        |                    | UNIX/Linuxサーバ                                  | UXJ041 / 2日間<br>UNIX/Linux 基礎<br>-コマンド編-                   | UXJ049 / 2日間<br>UNIX/Linux 基礎<br>-シェルスクリプト編-   | UXJ029 / 2日間<br>Linuxシステム管理 前編<br>-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-               | UXJ030 / 2日間<br>Linuxシステム管理 後編<br>-システム起動の仕組みとディスク管理技術-                      | UXJ042 / 2日間<br>Linuxトラブルシューティング                          |  |
|                  |  |        |         |      |        |        |                    | Windowsサーバ                                     | MSJ042 / 2日間<br>Windows Server 2016<br>管理概説                | MSJ045 / 2日間<br>実践! Active Directoryの基礎<br>-Windows Server 2016編-                                | MSJ047 / 1日間<br>実践! Windows PowerShellを用いたシステム<br>管理の効率化-Windows Server 2016編- | MSJ048 / 2日間<br>実践! Windows Server 2016によるインフラ<br>構築演習-Windows Server 2016編- |   |  |
|                  |  |        |         |      |        |        |                    | DB   | DBJ045 / 1日間<br>データベース入門<br>-解説と操作体験-                      | DBJ063 / 2日間<br>基礎から学ぶSQL<br>-現場で使える力をつける-   | SCE704 / 4時間<br>eL [ナビ機能付き]<br>データベースセキュリティ概説                                  | データベース製品ごとの<br>コース群  |   |  |
|                  |  |        |         |      |        |        |                    | IT投資評価   |  | CTJ016 / 1日間<br>(PDU) IT投資対効果の考え方<br>-IT投資マネジメントの基礎-   |  |  | SPJ008 / 2日間<br>(PDU) IT投資の評価手法<br>-IT投資の種類・パターンから効果を考える- |  |
|                  |  |        |         |      |        |        | ITサービスの品質向上        |  | HSJ062 / 1日間<br>事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方<br>-高信頼性システム実現のために-   |  |  | HSJ018 / 2日間<br>システムトラブルの予防と是正<br>-ISMS・システム監査の視点から-                         |   |  |
| ITサービスのライフサイクル全体 |  |        |         |      |        |        | ITサービスのグローバルスタンダード | ITJ012 / 3日間<br>(PDU) ITIL®ファンデーション<br>(認定試験付) | ITJ004 / 2日間<br>システム運用の現状分析・<br>設計力養成ワークショップ               |  |  |  |   |  |

eL eラーニング : コース内で主に扱う工程 : コース内で概要もしくは副次的に扱う工程

TOPICS

1 日立講習会  
コース活用例

2 開催コース/  
スケジュール一覧

3 講座別コースフロー/  
コースカリキュラム

4 研修会場

5 お申込方法

6 受講規約

1 日立講習会  
コース活用例

日立講習会は下記の通り「日立製品研修」と「IT／ビジネス研修」からなり、ITの利活用に必要なコースを多数取り揃えております。

「日立製品研修」、「IT／ビジネス研修」の概要および提供するコースをご紹介します。

## 日立製品研修

### 日立製品

日立製作所のオープンミドルウェア、プラットフォームソフトウェアなどを扱うために必要な技術が修得できます。

#### ● JP1

統合システム運用管理ソフトウェアJP1を扱うために必要となる機能や操作、設定方法等の技術が修得できます。

#### ● uCosminexus Application Server

uCosminexus Application Serverを使用したアプリケーション開発やシステム構築を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

## IT／ビジネス研修

### デジタルトランスフォーメーション

デジタル化の波に対応するための要素技術やデジタルビジネスに必要なスキルが修得できます。

#### ● IT利活用

デジタルソリューション (IoT/AI/Lumada) の概要を理解し、ビジネスを展開するためのスキルが修得できます。

#### ● イノベーション

イノベーションのプロセス、思考技法、必要な事業戦略の知識が修得できます。

#### ● IoT/AI/Lumada

IoTやAIなどのデジタル化に必要なシステム開発技術が修得できます。

#### ● ビッグデータ

ビッグデータの概要と、関連する要素技術や活用手法の概要が修得できます。

#### ● データ分析

データ可視化、統計的機械学習手法の計画の立て方、手法、考察の仕方が修得できます。

#### ● サイバーセキュリティ

サイバー攻撃に伴う予防およびインシデント発生時の初動の対応するためのスキルが修得できます。

### クラウド／サーバ仮想化

サーバ仮想化やクラウドという最新システムについての基礎知識と技術が修得できます。

### ITサービスマネジメント

情報システムを活用し、ビジネスを支援するITサービスの業務プロセスを管理・改善するITサービスマネジメントの基礎知識・手法が修得できます。

### システム基盤

ネットワーク、データベースやOSなどのシステム基盤構築、管理するために必要な技術が修得できます。

#### ● オープンソースソフトウェア (OSS)

OSSの概要や活用方法を理解し、OSSによるシステム運用やサーバ構築に関する技術が修得できます。

#### ● HiRDB

データベースマネジメントシステムであるHiRDBのシステム運用やアプリケーション開発を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

#### ● OpenTP1

TPモニタであるOpenTP1システムの構築や運用、およびアプリケーションを開発するうえで必要となる知識と技術が修得できます。

#### ● VOS3 / VOS1 / VOSK

日立メインフレームOSであるVOS3、VOS1、VOSKの使用法や機能、システム運用管理技術が修得できます。

#### ● XDM / PDM II

日立メインフレームDB/DCであるXDM、PDM IIの機能や設定、システム運用管理技術が修得できます。

#### ● Linux

Linuxの機能や操作方法を理解し、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

#### ● Microsoft

Windows ServerなどのMicrosoft製品を使用した、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

#### ● ネットワーク

ネットワークの構成を理解し、LANおよびWANに接続したシステム設計・構築・運用管理に関する技術が修得できます。

#### ● セキュリティ

個人情報保護や情報セキュリティに関する基礎知識、セキュリティを考慮したシステム構築・管理に必要な技術が修得できます。

#### ● データベース

データベースの概念を理解し、データベースシステムを構築するための技術が修得できます。

### IT戦略・IS企画／システム設計

システム計画／システム設計を行うために必要な知識・技術が修得できます。

#### ● IT戦略・IS企画

IT戦略・企画立案やプロセス評価、BA (Business Analysis) に関する知識や手法が修得できます。

#### ● システム設計

情報システムの開発に必要な基礎知識や、開発手順、分析、設計技法が修得できます。

### アプリケーション開発

システム開発／アプリケーション開発を行うために必要な技術が修得できます。

#### ● Webアプリケーション

各種プログラミング言語を使用したWebアプリケーションの開発技術が修得できます。

#### ● スマートデバイス

スマートデバイスをビジネスに活用するための基礎知識や、アプリケーションを設計開発する技術が修得できます。

#### ● オブジェクト指向／UML

オブジェクト指向の基本概念やUMLによるシステム分析、設計、プログラミングが修得できます。

#### ● Hitachi Advanced Data Binder

情報系システム向け超高速データベースエンジン、Hitachi Advanced Data Binderのアーキテクチャや導入までのWBS、設計や構築・運用管理に必要なスキルが修得できます。

#### ● 日立ストレージ

日立ブロックストレージに関する製品・機能について必要な知識やスキルを修得できます。

#### ● Pentahoソフトウェア

データ統合・分析基盤であるPentahoソフトウェアを使用したデータの統合処理や、分析・可視化に必要な機能や操作等の技術が修得できます。

#### ● 言語

各種プログラミング言語を使用したプログラム開発を行うために必要な基本文法や、プログラミング技術が修得できます。

### IT基本

社会人としての基本動作、IT基礎力および情報処理資格取得のために必要な知識や技術が修得できます。

#### ● IT基本

IT技術者の前提として求められる知識が修得できます。

#### ● ハードウェア

サーバ・ストレージシステムの構築・活用に有効なハードウェア技術が修得できます。

#### ● 情報処理資格

資格取得に向け、知識や解答技法が修得できます。

### 情報リテラシー

情報の扱い方、特にコンピュータを利用して業務を行うための基礎的な知識や技術が修得できます。

### プロジェクトマネジメント

情報システム開発プロジェクトの計画・実行を行うために必要な知識や手順、技法が修得できます。

### コンプライアンス

個人情報保護や情報セキュリティ、内部統制といった、コンプライアンス意識向上に不可欠な知識が修得できます。

### ビジネス／ヒューマン

仕事を進めるうえで必要となるスキル(ロジカルシンキング、コミュニケーション、ライティング、リーダシップ、業務知識など)が修得できます。

### グローバル

グローバルでビジネスを進めるうえで必要となるスキル(グローバルマインドセット、各国の動機付け要因、反発要因など)が修得できます。


**新設コース**

| 分野                                      | コースコード              | コース名  | 日数 <sup>※</sup>             |    |
|---|---------------------|---|-----------------------------|----|
| ● 日立製品（コースコード末尾に「T」を表示しているコースは「試験付」です。） |                     |   |                             |    |
| JP1                                     | JPJ235              | JP1操作入門 (Version 12)                            | 1日                          |    |
|   | JPJ236<br>(JPJ236T) | JP1エンジニア機能概説- (Version 12)                      | 1日                          |    |
|   | JPJ237              | JP1プロフェッショナル 統合管理1-システム監視- (Version 12)         | 2日                          |    |
|   | JPJ238<br>(JPJ238T) | JP1プロフェッショナル 統合管理2-システム設定- (Version 12)         | 2日                          |    |
|   | JPJ239<br>(JPJ239T) | JP1プロフェッショナル 統合管理セットコース (Version 12)            | 4日                          |    |
|   | JPJ240<br>(JPJ240T) | JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 12)             | 2日                          |    |
|   | JPJ241              | JP1プロフェッショナル ジョブ管理1-ジョブ定義・監視- (Version 12)      | 2日                          |    |
|   | JPJ242<br>(JPJ242T) | JP1プロフェッショナル ジョブ管理2-システム設定・運用管理- (Version 12)   | 2日                          |    |
|   | JPJ243<br>(JPJ243T) | JP1プロフェッショナル ジョブ管理セットコース (Version 12)           | 4日                          |    |
|   | JPJ244              | JP1プロフェッショナル IT運用自動化 (Version 12)               | 2日                          |    |
|   | JPJ246              | JP1プロフェッショナル ネットワーク管理1-ネットワーク管理基盤- (Version 12) | 2日                          |    |
|   | JPJ247<br>(JPJ247T) | JP1プロフェッショナル ネットワーク管理2-システムリソース管理- (Version 12) | 1日                          |    |
|   | JPJ248<br>(JPJ248T) | JP1プロフェッショナル ネットワーク管理セットコース (Version 12)        | 3日                          |    |
|   | JPJ249              | JP1プロフェッショナル 資産・配布管理1-資産管理編- (Version 12)       | 1日                          |    |
|   | JPJ250              | JP1プロフェッショナル 資産・配布管理2-セキュリティ管理編- (Version 12)   | 1日                          |    |
|   | JPJ251<br>(JPJ251T) | JP1プロフェッショナル 資産・配布管理3-配布管理編- (Version 12)       | 1日                          |    |
|   | JPJ276<br>(JPJ276T) | JP1プロフェッショナル 資産・配布管理セットコース (Version 12)         | 3日                          |    |
|   | JPJ252<br>(JPJ252T) | JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 (Version 12)              | 1日                          |    |
|   | JPJ245<br>(JPJ245T) | JP1プロフェッショナル バックアップ管理 (Version 12)              | 1日                          |    |
|   | JPJ255              | JP1コンサルタント ジョブ管理-システム設計編- (Version 12)          | 1日                          |    |
|   | JPJ256<br>(JPJ256T) | JP1コンサルタント ジョブ管理-チューニング編- (Version 12)          | 1日                          |    |
|   | JPJ257<br>(JPJ257T) | JP1コンサルタント 資産・配布管理 (Version 12)                 | 1日                          |    |
|   | JPJ253<br>(JPJ253T) | JP1コンサルタント 統合管理 (Version 12)                    | 1日                          |    |
|   | JPJ254<br>(JPJ254T) | JP1コンサルタント パフォーマンス管理 (Version 12)               | 1日                          |    |
|   | JPJ258<br>(JPJ258T) | JP1コンサルタント ネットワーク管理 (Version 12)                | 1日                          |    |
|   | JPJ259              | 【日立パートナー様 限定コース】 JP1セールスコーディネーター (Version 12)   | 1日                          |    |
|   | 日立ストレージ             | SPL063  | 日立ストレージ製品概要-ストレージ基礎・製品紹介編-  | 1日 |
|   |                     | SPL064  | 日立ストレージハードウェア-ミッドレンジストレージ編- | 1日 |
|   |                     | SPL070  | 日立ストレージハードウェア-ハイエンドストレージ編-  | 1日 |

※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。

（スマートデバイス対応）：パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。

●●●：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。

| 分野                 | コースコード | コース名   | 日数 <sup>※</sup>                        |    |
|--------------------|--------|--|--|----|
| 日立ストレージ            | SPL066 | 日立ストレージ機能-バックアップ編-   | 1日                                     |    |
|                    | SPL067 | 日立ストレージ機能-仮想化編-  | 1日                                     |    |
|                    | SPL068 | 日立ストレージ機能-リモートコピー編-  | 1日                                     |    |
|                    | SPL069 | 日立ストレージ機能-無停止運用管理編-  | 1日                                     |    |
|                    | SPL071 | REST APIを使用したストレージ運用・管理  | 1日                                     |    |
| ● デジタルトランスフォーメーション |        |  |  |    |
| IoT/AI/Lumada      | IOJ019 | IoT技術解説 5G編  | 0.5日                                   |    |
| データ分析              | DBE037 | <eラーニング>流れを体験! 予測モデル構築のプロセス(基礎知識編)<br>-初めてでもOK! データ分析を身近に-         | 9時間                                    |    |
|                    | DBJ117 | 流れを体験! 予測モデルの構築プロセス(ケーススタディ編)<br>-データのバリューアップから結果説明に至るまで-          | 2日                                     |    |
|                    | DBJ115 | データビジュアライゼーション実装 地図上への可視化編   | 1日                                     |    |
|                    | DBJ116 | データビジュアライゼーション実装 ネットワークの可視化編                                       | 1日                                     |    |
|                    | DBE038 | <eラーニング>【スキル定着】Pythonでのデータ可視化<br>-オープン環境を活用した実装力の磨き方- (スマートデバイス対応) | 4時間                                    |    |
| ● クラウド / サーバ仮想化    |        |  |  |    |
| クラウド / サーバ仮想化      | CLE002 | <eラーニング>Cloud beginnerのためのインフラストラクチャ基礎                             | 6時間                                    |    |
| ● システム基盤           |        |  |  |    |
| ネットワーク             | NWJ146 | ネットワーク設計基礎と演習  | 1日                                     |    |
| データベース             | Oracle | DBD060   | Oracle Database 12c R2 管理クイック・スタート     | 2日 |
|                    |        | DBD061   | Oracle Database 12c R2 管理ネクスト・ステップ     | 3日 |
|                    |        | DBD062   | Oracle Database 実例から学ぶ! パフォーマンス・チューニング | 1日 |
| ● IT戦略・IS企画/システム設計 |        |  |  |    |
| IT戦略・IS企画          | CTD008 | (PDU) CBAP® 試験対策コース (PDU)  | 3日                                     |    |
|                    | CTJ064 | 業務参照モデルを利用したバリューチェーンの紐解き方  | 1日                                     |    |
|                    | CTJ063 | ビジネスアナリシス体験-源流と超上流をつなげる-   | 1日                                     |    |
| システム設計             | CTD009 | ビジネスプロセスの分析と設計   | 1日                                     |    |
|                    | SPJ063 | ソフトウェアテストの管理手法   | 1日                                     |    |
|                    | NWJ149 | 実践! Webシステムの性能テスト  | 1日                                     |    |
| ● アプリケーション開発       |        |  |  |    |
| オブジェクト指向/UML       | OJJ027 | 定石から学ぶオブジェクト指向設計   | 2日                                     |    |
| 言語                 | Java   | NWJ145   | システムを危険から守る! セキュアプログラミング               | 1日 |
|                    |        | OJJ028   | Javaによる保守開発のためのリファクタリング                | 2日 |
| ● IT基本             |        |  |  |    |
| ハードウェア             | SJE028 | <eラーニング>SCSI入門-ストレージインタフェースを理解するために-                               | 2時間                                    |    |

| 分野             | コースコード   | コース名   | 日数 <sup>※</sup>  |        |                        |
|----------------|--|--|--|--------|------------------------|
| 情報処理資格         | 秋期実施試験対策   | SJD002   | 応用情報技術者試験【AP】対策講座(合格に必要な知識と解答力を養う)                     | 3日     |                        |
|                |  | SJD003   | 応用情報技術者試験【AP】対策講座(試験直前に模擬試験で得点をUPする)                   | 1日     |                        |
|                |  | SJD006   | 情報処理安全確保支援士試験【SC】対策講座(合格に必要な知識と解答力を養う)                 | 3日     |                        |
|                |  | SJD007   | 情報処理安全確保支援士試験【SC】対策講座(試験直前に模擬試験で得点をUPする)               | 1日     |                        |
|                |  | SJD008   | ネットワークスペシャリスト試験【NW】対策講座(合格に必要な知識と解答力を養う)               | 3日     |                        |
|                |  | SJD009   | ネットワークスペシャリスト試験【NW】対策講座(試験直前に模擬試験で得点をUPする)             | 1日     |                        |
|                |  | SJD001   | 高度試験受験者向け 論文の書き方-問題文の読み方から論文構成方法まで-                    | 1日     |                        |
|                |  | SJD010   | 秋期高度試験【SM】【SA】【ST】対策講座 実践! 論文を書く-添削指導で合格するための論述力を養成する- | 2日     |                        |
|                |  | ● 情報リテラシ   |  |        |                        |
|                |  | 情報リテラシ   | Office 2016  | OAE027 | <eラーニング>Excel 2016 基礎編 |
| OAE028         | <eラーニング>Excel 2016 応用編                               |  |  | 2時間    |                        |
| OAE029         | <eラーニング>Word 2016 基礎編                                |  |  | 2時間    |                        |
| OAE030         | <eラーニング>Word 2016 応用編                                |  |  | 2時間    |                        |
| OAE031         | <eラーニング>PowerPoint 2016 基礎編                          |  |  | 2時間    |                        |
| OAE032         | <eラーニング>PowerPoint 2016 応用編                          |  |  | 2時間    |                        |
| ● プロジェクトマネジメント |  |  |  |        |                        |
| プロジェクトマネジメント   | PMJ069   | (PDU) プロジェクト・マネージャ・コンピテンシ指向トレーニング(PMCOT)<br>-プロジェクト・マネージャに必要な行動・思考の気付きと振り返り- (PDU) | 2日   |        |                        |
|                | PMJ070   | (PDU) プロジェクト・マネージャのためのメンタリングスキルトレーニング<br>-頼りにされるプロジェクト・マネージャになるためのメンタリング入門- (PDU)  | 2日   |        |                        |
|                | PMJ068   | (PDU) プロジェクトマネジメントのリスクマネジメント (PDU)   | 2日   |        |                        |
|                | PME013   | <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー プロジェクトとは (PDU)                                      | 2時間  |        |                        |
|                | PME014   | <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー プロジェクトの運営環境とプロジェクト・マネジャーの役割 (PDU)                   | 2時間  |        |                        |
|                | PME018   | <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー 統合マネジメント (PDU)                                      | 2時間  |        |                        |
|                | PME011   | <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー スコープ・マネジメント (PDU)                                   | 2時間  |        |                        |
|                | PME010   | <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー スケジュール・マネジメント (PDU)                                 | 2時間  |        |                        |
|                | PME008   | <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー コスト・マネジメント (PDU)                                    | 2時間  |        |                        |
|                | PME019   | <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー 品質マネジメント (PDU)                                      | 2時間  |        |                        |
|                | PME016   | <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー 資源マネジメント (PDU)                                      | 2時間  |        |                        |
|                | PME009   | <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー コミュニケーション・マネジメント (PDU)                              | 2時間  |        |                        |
| PME015         | <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー リスク・マネジメント (PDU)      | 2時間  |  |        |                        |
| PME017         | <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー 調達マネジメント (PDU)        | 2時間  |  |        |                        |
| PME012         | <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー ステークホルダー・マネジメント (PDU) | 2時間  |  |        |                        |

※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。  
 (スマートデバイス対応) パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。  
 (PDU) : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

| 分野                  | コースコード            | コース名  | 日数*  |
|---------------------|-------------------|---|------|
| <b>● ビジネス/ヒューマン</b> |                   |   |      |
| ビジネス/<br>ヒューマン      | セールス              | HSJ 180 顧客協創を促すディスカッションペーパーの作成・活用の仕方                | 1日   |
|                     | ネゴシエーション          | HSJ 185 行動経済学を応用したパースェイション(説得)のスキルーハーバード流交渉術を越えてー   | 1日   |
|                     | 2Way<br>コミュニケーション | HSE 117 <eラーニング>(PDU)リーダ向け報連相 <b>PDU</b>            | 4時間  |
|                     |                   | HSJ 188 わたしを活かすキャリアデザイナーー人生100年時代のキャリアを考えるー         | 1日   |
|                     | リーダーシップ           | HSJ 179 半日でレベルアップ!コーチング実習                           | 0.5日 |
|                     |                   | HSE 097 <eラーニング>コーチングマニュアル                          | 1時間  |
|                     |                   | HSJ 186 部下のパフォーマンスを高めるOne on Oneミーティングとフィードバック      | 1日   |
|                     |                   | HSJ 187 共に勝つ人生戦略 ウィナーシップ研修ービジネスパーソンとして「本気づくり」に挑戦するー | 1日   |

\*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。

【スマートデバイス対応】パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。

**PDU** : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

## 改訂コース

コース内容の大幅な変更(改訂)と、コース名称を変更したものは下記の通りです。改訂したコースについては、表右側の「改訂のポイント」をご覧ください。

| 分野  | コースコード   | コース名  | 日数*      | 改訂のポイント           |
|---|--|---|----------|-------------------|
| <b>● 日立製品</b>   |  |   |          |                   |
| JP 1  | JPE 016  | <eラーニング> JP 1機能概説 (Version 11)  | 6時間      | コース名称の変更          |
|   |  | 旧コースコードおよび名称>> JPE 015 <eラーニング> JP 1エンジニアー機能概説ー (Version 11)                      |          |                   |
|   | JPE 017  | <eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP 1 /IM管理1ーシステム監視ー (version 11)                       | 12時間     | コース名称の変更          |
|   |  | 旧コースコードおよび名称>> JPE 315 <eラーニング>【マシン演習付き】 JP 1プロフェッショナル統合管理 1ーシステム監視ー (Version 11) |          |                   |
|   | JPE 018  | <eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP 1 /IM管理2ーシステム設定ー (version 11)                       | 12時間     | コース名称の変更          |
| 旧コースコードおよび名称>> JPE 316 <eラーニング>【マシン演習付き】 JP 1プロフェッショナル統合管理 2ーシステム設定ー (Version 11) |  |   |          |                   |
| JPE 019   | <eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP 1 /PFM (Version 11)                            | 12時間  | コース名称の変更 |                   |
|   | 旧コースコードおよび名称>> JPE 321 <eラーニング>【マシン演習付き】 JP 1プロフェッショナルパフォーマンス管理 (Version 11) |   |          |                   |
| Hitachi Advanced Data Binder  | DBJ 118  | Hitachi Advanced Data Binder 概説   | 0.5日     | コース名称の変更、および内容の改訂 |
|   |  | 旧コースコードおよび名称>> DBJ 101 Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム 概説                   |          |                   |

## ● デジタルトランスフォーメーション

|   |   |  |          |                     |
|---|---|--|----------|---------------------|
| データ分析   | HSE 116   | <eラーニング>データ分析手法の理論と適用  | 14時間     | 現場で「よく利用される分析手法」を追加 |
|   |   | 旧コースコードおよび名称>> HSE 048 <eラーニング>データ分析手法の理論と適用                                   |          |                     |
|   | DBD 057   | Rによる統計解析ー分析結果を統計的に正しく理解し、次の意思決定に向けた提案へー  | 2.5日     | コース名称の変更            |
|   |   | 旧コースコードおよび名称>> DBD 046 データサイエンティスト入門研修 Rによる統計解析ー分析結果を統計的に正しく理解し、次の意思決定に向けた提案へー |          |                     |
|   | DBD 059   | 機械学習による問題解決実践ー機械学習で大量データを分析し、データからビジネス価値を創出ー                                   | 2日       | コース名称の変更            |
| 旧コースコードおよび名称>> DBD 053 データサイエンティスト入門研修 機械学習による問題解決実践ー機械学習で大量データを分析し、データからビジネス価値を創出ー |   |  |          |                     |
| DBD 058   | SQLによる集計・分析ー分析の基本的なプロセスを修得し、自社DBデータの活用へー  | 1.5日   | コース名称の変更 |                     |
|   | 旧コースコードおよび名称>> DBD 047 データサイエンティスト入門研修 SQLによる集計・分析ー分析の基本的なプロセスを修得し、自社DBデータの活用へー |  |          |                     |

## ● クラウド / サーバ仮想化

|               |         |   |    |                 |
|---------------|---------|---|----|-----------------|
| クラウド / サーバ仮想化 | CLJ 014 | 実機で学ぶ!クラウドコンピューティング入門   | 1日 | AzureとAWSの内容を拡充 |
|               |         | 旧コースコードおよび名称>> CLJ 008 実機で学ぶ!クラウドコンピューティング入門ーVMware vSphere, OpenStack, Microsoft Azure, AWSー |    |                 |

## ● システム基盤

|                     |         |   |     |                 |
|---------------------|---------|---|-----|-----------------|
| オープンソースソフトウェア (OSS) | UXE 004 | <eラーニング>オープンソースソフトウェア (OSS) 概説                | 3時間 | 最新の内容をeラーニングで提供 |
|                     |         | 旧コースコードおよび名称>> UXJ 068 オープンソースソフトウェア (OSS) 概説 |     |                 |

\*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。

【スマートデバイス対応】パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。

**PDU** : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

| 分野     | コースコード   | コース名   | 日数*  | 改訂のポイント |       |
|--------|----------|--|--|---------|-------|
| ネットワーク | NWE717   | <eラーニング>【ナビ機能付き】WANの技術-VPNサービスへの変遷-<br>旧コースコードおよび名称>> NWE716 <eラーニング>【ナビ機能付き】WANの技術-VPNサービスへの変遷- | 8時間  | 内容の改訂   |       |
|        | NWJ148   | インターネットプロトコル(DNS、メール、HTTP)解説とサーバ構築<br>旧コースコードおよび名称>> NWJ085 インターネットプロトコル(DNS、メール、HTTP)解説とサーバ構築   | 2日   | 開催時間の変更 |       |
|        | NWJ147   | ネットワークインフラ構築-基礎編-<br>旧コースコードおよび名称>> NWJ117 ネットワークインフラ構築-基礎編-                                     | 1日   | 開催時間の変更 |       |
| セキュリティ | 情報セキュリティ | SCJ047   | ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスクマネジメント<br>旧コースコードおよび名称>> SCJ032 ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスクマネジメント | 1日      | 内容の改訂 |

● IT基本

| 情報処理資格 | 春秋期実施試験対策 | コースコード   | コース名   | 日数*    | 改訂のポイント  |       |          |
|--------|-----------|----------|--|--------|--|-------|----------|
| 情報処理資格 | 春秋期実施試験対策 | SJE284   | <eラーニング>集中演習 2019年 秋期 IT/パスポート試験【IP】<br>旧コースコードおよび名称>> SJE020 <eラーニング>集中演習 2019年 春期 IT/パスポート試験【IP】             | 80時間   | コース名称の変更   |       |          |
|        |           | SJE286   | <eラーニング>集中演習 2019年 秋期 基本情報技術者試験【FE】<br>旧コースコードおよび名称>> SJE022 <eラーニング>集中演習 2019年 春期 基本情報技術者試験【FE】               | 200時間  | コース名称の変更   |       |          |
|        |           | SJE287   | <eラーニング>集中演習 2019年 秋期 応用情報技術者試験【AP】<br>旧コースコードおよび名称>> SJE023 <eラーニング>集中演習 2019年 春期 応用情報技術者試験【AP】               | 162時間  | コース名称の変更   |       |          |
|        |           | SJE285   | <eラーニング>集中演習 2019年 秋期 情報セキュリティマネジメント試験【SG】<br>旧コースコードおよび名称>> SJE021 <eラーニング>集中演習 2019年 春期 情報セキュリティマネジメント試験【SG】 | 162時間  | コース名称の変更   |       |          |
|        |           | SJE288   | <eラーニング>集中演習 2019年 秋期 情報処理安全確保支援士試験【SC】<br>旧コースコードおよび名称>> SJE024 <eラーニング>集中演習 2019年 春期 情報処理安全確保支援士試験【SC】       | 162時間  | コース名称の変更   |       |          |
|        |           | 秋期実施試験対策 | 秋期実施試験対策   | SJE289 | <eラーニング>集中演習 2019年 秋期 ネットワークスペシャリスト試験【NW】<br>旧コースコードおよび名称>> SJE280 <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 ネットワークスペシャリスト試験【NW】 | 162時間 | コース名称の変更 |
|        |           |          |  | SJE290 | <eラーニング>集中演習 2019年 秋期 ITストラテジスト試験【ST】<br>旧コースコードおよび名称>> SJE281 <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 ITストラテジスト試験【ST】         | 162時間 | コース名称の変更 |
|        |           |          |  | SJE291 | <eラーニング>集中演習 2019年 秋期 システムアーキテクト試験【SA】<br>旧コースコードおよび名称>> SJE282 <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 システムアーキテクト試験【SA】       | 162時間 | コース名称の変更 |
|        |           |          |  | SJE292 | <eラーニング>集中演習 2019年 秋期 ITサービスマネージャ試験【SM】<br>旧コースコードおよび名称>> SJE283 <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 ITサービスマネージャ試験【SM】     | 162時間 | コース名称の変更 |

\*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。  
 【スマートデバイス対応】パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。  
 PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

| 分野             | コースコード     | コース名  | 日数*  | 改訂のポイント  |             |
|----------------|------------|---|--|----------|-------------|
| ● プロジェクトマネジメント |            |   |  |          |             |
| プロジェクトマネジメント   | PMJ067     | (PDU) PMO視点からのプロジェクト運営の勘所(アセスメント) PDU<br>旧コースコードおよび名称>> PMJ057 (PDU) PMO視点からのプロジェクト運営改善(アセスメント) PDU | 1日   | コース名称の変更 |             |
| ● ビジネス/ヒューマン   |            |   |  |          |             |
| ビジネス/ヒューマン     | 戦略・マーケティング | HSE107  | <eラーニング>(PDU)知っておくべきビジネスモデルの基本-顧客のビジネスをより理解するために- PDU<br>旧コースコードおよび名称>> HSE093 <eラーニング>(PDU)知っておくべきビジネスモデルの基本-顧客のビジネスをより理解するために- PDU         | 10時間     | 受講料の改訂      |
|                |            | HSJ181  | (PDU)ソリューション提案のための経営と情報戦略-経営・事業・情報戦略のあるべき関係性- PDU<br>旧コースコードおよび名称>> HSJ156 ソリューション提案のための経営と情報戦略-経営・事業・情報戦略のあるべき関係性- PDU                      | 1日       | PDU対象コースに改訂 |
|                |            | HSJ182  | (PDU)ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向-イノベーション実現のために- PDU<br>旧コースコードおよび名称>> HSJ165 ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向-イノベーション実現のために- PDU                                | 1日       | PDU対象コースに改訂 |
|                | 業務知識       | HSE118  | <eラーニング>(PDU)よくわかるビジネス・ミクロ経済1-経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論- PDU<br>旧コースコードおよび名称>> HSE085 <eラーニング>(PDU)よくわかるビジネス・ミクロ経済1-経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論- PDU | 6時間      | 受講料の改訂      |
|                |            | HSE098  | <eラーニング>(PDU)よくわかるビジネス・ミクロ経済2-不完全な情報、期待効用、行動経済学- PDU<br>旧コースコードおよび名称>> HSE086 <eラーニング>(PDU)よくわかるビジネス・ミクロ経済2-不完全な情報、期待効用、行動経済学- PDU           | 4時間      | 受講料の改訂      |
|                |            | HSE099  | <eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済1-効率性と公平性、アダムスミスとケインズ- PDU<br>旧コースコードおよび名称>> HSE094 <eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済1-効率性と公平性、アダムスミスとケインズ- PDU                 | 4時間      | 受講料の改訂      |
|                |            | HSE100  | <eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済2-GDP、為替、財政- PDU<br>旧コースコードおよび名称>> HSE077 <eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済2-GDP、為替、財政- PDU                                     | 6時間      | 受講料の改訂      |
|                |            | HSE101  | <eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済3-金融政策、ハイエク、フリードマン、シュンペーター- PDU<br>旧コースコードおよび名称>> HSE087 <eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済3-金融政策、ハイエク、フリードマン、シュンペーター- PDU       | 4時間      | 受講料の改訂      |
|                |            | HSE102  | <eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済4-景気循環、経済成長、格差社会と少子高齢化- PDU<br>旧コースコードおよび名称>> HSE088 <eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済4-景気循環、経済成長、格差社会と少子高齢化- PDU               | 6時間      | 受講料の改訂      |
|                |            | HSE103  | <eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス1-投資の判断、リスクとリターン- PDU<br>旧コースコードおよび名称>> HSE089 <eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス1-投資の判断、リスクとリターン- PDU                         | 4時間      | 受講料の改訂      |
|                |            | HSE104  | <eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス2-企業価値評価- PDU<br>旧コースコードおよび名称>> HSE090 <eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス2-企業価値評価- PDU   | 4時間      | 受講料の改訂      |
|                |            | HSE105  | <eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス3-資金調達の方法- PDU<br>旧コースコードおよび名称>> HSE091 <eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス3-資金調達の方法- PDU                                       | 6時間      | 受講料の改訂      |

| 分野         | コースコード  | コース名  | 日数*    | 改訂のポイント |
|------------|---|---|--------|---------|
| ビジネス/ヒューマン | 業務知識  | HSE106 <eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス4 -M&A、コーポレートガバナンス、財務計画- <b>PDU</b><br>旧コースコードおよび名称>> HSE092 <eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス4 -M&A、コーポレートガバナンス、財務計画- <b>PDU</b> | 6時間    | 受講料の改訂  |
|            |   | HSE115 <eラーニング>(PDU)中国古典に見る指導者の条件 <b>PDU</b><br>旧コースコードおよび名称>> HSE095 <eラーニング>(PDU)中国古典に見る指導者の条件 <b>PDU</b>   | 10時間   | 受講料の改訂  |
|            | HSE113 <eラーニング>(PDU)「貞観政要」に学ぶリーダーの心得 <b>PDU</b><br>旧コースコードおよび名称>> HSE083 <eラーニング>(PDU)「貞観政要」に学ぶリーダーの心得 <b>PDU</b>                 | 10時間  | 受講料の改訂 |         |
|            | HSE114 <eラーニング>(PDU)「書経」に学ぶリーダーの心得 <b>PDU</b><br>旧コースコードおよび名称>> HSE084 <eラーニング>(PDU)「書経」に学ぶリーダーの心得 <b>PDU</b>                     | 10時間  | 受講料の改訂 |         |
|            | HSE112 <eラーニング>(PDU)「韓非子」のリーダー学 <b>PDU</b><br>旧コースコードおよび名称>> HSE082 <eラーニング>(PDU)「韓非子」のリーダー学 <b>PDU</b>                           | 10時間  | 受講料の改訂 |         |
|            | HSE109 <eラーニング>経世済民の哲学としての朱子学<br>旧コースコードおよび名称>> HSE081 <eラーニング>経世済民の哲学としての朱子学   | 10時間  | 受講料の改訂 |         |
|            | HSE111 <eラーニング>(PDU)孫子の兵法を現代に役立てる方法 <b>PDU</b><br>旧コースコードおよび名称>> HSE079 <eラーニング>(PDU)孫子の兵法を現代に役立てる方法 <b>PDU</b>                   | 10時間  | 受講料の改訂 |         |
|            | HSE110 <eラーニング>(PDU)リーダーに必要な人間力 三国志から学ぶリーダー学 <b>PDU</b><br>旧コースコードおよび名称>> HSE076 <eラーニング>(PDU)リーダーに必要な人間力 三国志から学ぶリーダー学 <b>PDU</b> | 10時間  | 受講料の改訂 |         |

● グローバル

| 分野    | コースコード   | コース名 | 日数*    | 改訂のポイント |
|-------|--|------|--------|---------|
| グローバル | GBE023 <eラーニング>(PDU)中国ビジネスの鉄則 <b>PDU</b><br>旧コースコードおよび名称>> GBE017 <eラーニング>(PDU)中国ビジネスの鉄則 1-社会や産業の特徴- <b>PDU</b> 、および GBE018 <eラーニング>(PDU)中国ビジネスの鉄則 2-国営企業、民間企業、外資系企業- <b>PDU</b> | 10時間 | 受講料の改訂 |         |
|       | GBE024 <eラーニング>(PDU)インドビジネスの鉄則 <b>PDU</b><br>旧コースコードおよび名称>> GBE015 <eラーニング>(PDU)インドビジネスの鉄則 1-歴史と文化- <b>PDU</b> 、および GBE016 <eラーニング>(PDU)インドビジネスの鉄則 2-人材、交渉- <b>PDU</b>           | 10時間 | 受講料の改訂 |         |

## 学び直しシリーズ eラーニング

| 分野         | コースコード  | コース名  | 日数* | 改訂のポイント     |
|------------|---------|---|-----|-------------|
| ビジネス/ヒューマン | リーダーシップ | HSE108 <eラーニング>【学び直し】リーダーシップの原理・原則<br>旧コースコードおよび名称>> HSE046 <eラーニング>【学び直し】リーダーシップの原理・原則 | 4時間 | スライド解説型にて提供 |

\*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。  
 【スマートデバイス対応】パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。  
**PDU**：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

## 廃止コース

新設コースの実施や大幅な内容改訂を図り、ニーズの高いコース・お役に立てるコースの充実に努めております。そのため、大変ご迷惑をお掛けしますが、次のコースを廃止とさせていただきます。なお、下記廃止コースのうち、内容が同等または類似のコースがある場合は、廃止コース名の下段に対象のコース名をご紹介します。コースの詳細は日立インフォメーションアカデミーのホームページをご覧ください。

| 分野                                       | コースコード           | コース名  | 日数*   |    |
|--|------------------|---|---|----|
| ● 日立製品 (コースコード末尾に「T」を表示しているコースは「試験付」です。) |                  |   |   |    |
| JP1                                      | JPJ085T          | JP1エンジニア機能概説-(Version 11) (試験付)                         | 1日  |    |
|  | JPJ087T          | JP1プロフェッショナル 統合管理 2-システム設定-(Version 11)-(試験付)           | 2日  |    |
|  | JPJ088T          | JP1プロフェッショナル 統合管理セットコース(Version 11) (試験付)               | 4日  |    |
|  | JPJ091T          | JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2-システム設定・運用管理-(Version 11) (試験付)     | 2日  |    |
|  | JPJ092T          | JP1プロフェッショナル ジョブ管理セットコース(Version 11) (試験付)              | 4日  |    |
|  | JPJ097T          | JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2-システムリソース管理-(Version 11) (試験付)   | 1日  |    |
|  | JPJ098T          | JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース(Version 11) (試験付)          | 3日  |    |
|  | JPJ094T          | JP1プロフェッショナル 資産・配布管理(Version 11) (試験付)                  | 2日  |    |
|  | JPJ101T          | JP1プロフェッショナル セキュリティ管理(Version 11) (試験付)                 | 1日  |    |
|  | JPJ089T          | JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理(Version 11) (試験付)                | 2日  |    |
|  | JPJ100T          | JP1プロフェッショナル バックアップ管理(Version 11) (試験付)                 | 1日  |    |
|  | JPJ211 (JPJ211T) | JP1コンサルタント ジョブ管理-チューニング編-(Version 11)                   | 1日  |    |
|  | JPJ210           | JP1コンサルタント ジョブ管理-システム設計編-(Version 11)                   | 1日  |    |
|  | JPJ212 (JPJ212T) | JP1コンサルタント 資産・配布管理(Version 11)                          | 1日  |    |
|  | JPJ208 (JPJ208T) | JP1コンサルタント 統合管理(Version 11)                             | 1日  |    |
|  | JPJ209 (JPJ209T) | JP1コンサルタント パフォーマンス管理(Version 11)                        | 1日  |    |
|  | JPJ213 (JPJ213T) | JP1コンサルタント ネットワーク管理(Version 11)                         | 1日  |    |
|  | JPE302           | <eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ!JP1/AJS3-ジョブ定義・監視-(Version 9) | 12時間  |    |
|  | HIRDB            | DBJ093  | HIRDBアプリケーションプログラミング<br>>>同等または類似のコースコードおよび名称>> DBE306 <eラーニング>【マシン演習付き】HIRDB アプリケーションプログラミング | 1日 |
|  |                  | DBJ095  | HIRDBアプリケーションチューニング<br>>>同等または類似のコースコードおよび名称>> DBE318 <eラーニング>【マシン演習付き】HIRDB アプリケーションチューニング   | 2日 |

● システム基盤

| 分野        | コースコード              | コース名   | 日数* |
|-----------|---------------------|--|-----|
| Microsoft | Windows Server 2016 | MSJ043 ここが新しい!Windows Server 2016新機能                             | 1日  |
|           |                     | MSJ039 Microsoftフェールオーバークラスター構築                                  | 2日  |
|           |                     | MSE302 <eラーニング>【マシン演習付き】Windows PowerShellの基礎-Windowsシステム管理の効率化- | 6時間 |
|           | Windows 10          | MSJ046 Windows 10機能概説  | 1日  |



| 分野                  | コースコード   | コース名   | 日数*   |
|---------------------|--|--|-------|
| Microsoft           | Windows  | MSE001 <eラーニング>Windowsサーバー管理入門   | 8時間   |
|                     | MSJ044   | 実践! WindowsとLinux混在環境におけるプラットフォーム構築実習<br>-Active Directory, DNS, Samba, Apache, ワイヤレスネットワーク-             | 2日    |
| ネットワーク              | NWE030   | <eラーニング>モバイル技術とデータセンタネットワーク  | 4時間   |
| データベース              | Oracle   | DBD049 Oracle Database 12c 管理 クイック・スタート  | 2日    |
|                     | DBD050   | Oracle Database 12c 管理 ネットワーク・ステップ   | 3日    |
| <b>● アプリケーション開発</b> |  |  |       |
| オブジェクト指向/UML        | OJE007   | <eラーニング>OCUPファンダメンタル資格対策から学ぶUML  | 16時間  |
| 言語                  | XML  | XME001 <eラーニング>XML基礎   | 8時間   |
|                     | XME002   | <eラーニング>XMLデータ的设计  | 8時間   |
|                     | XME003   | <eラーニング>XMLデータの利用  | 8時間   |
| <b>● IT基本</b>       |  |  |       |
| 情報処理資格              | 春期実施試験対策   | SJE025 <eラーニング>集中演習 2019年 春期 データベーススペシャリスト試験【DB】   | 162時間 |
|                     | SJE026   | <eラーニング>集中演習 2019年 春期 プロジェクトマネージャ試験【PM】  | 162時間 |
|                     | SJE027   | <eラーニング>集中演習 2019年 春期 システム監査技術者試験【AU】  | 162時間 |
| <b>● 情報リテラシ</b>     |  |  |       |
| 情報リテラシ              | Office 2010  | OAE018 <eラーニング>2時間でわかる! Excel 2010 基礎編<br>.....<br>>>同等または類似のコースコードおよび名称>> OAE027 <eラーニング>Excel 2016 基礎編 | 2時間   |
|                     | OAE019 <eラーニング>2時間でわかる! Excel 2010 応用編<br>.....<br>>>同等または類似のコースコードおよび名称>> OAE028 <eラーニング>Excel 2016 応用編           | 2時間  |       |
|                     | OAE020 <eラーニング>2時間でわかる! Word 2010 基礎編<br>.....<br>>>同等または類似のコースコードおよび名称>> OAE029 <eラーニング>Word 2016 基礎編             | 2時間  |       |
|                     | OAE021 <eラーニング>2時間でわかる! Word 2010 応用編<br>.....<br>>>同等または類似のコースコードおよび名称>> OAE030 <eラーニング>Word 2016 応用編             | 2時間  |       |
|                     | OAE022 <eラーニング>2時間でわかる! Access 2010  | 2時間  |       |
|                     | OAE023 <eラーニング>2時間でわかる! PowerPoint 2010 基礎編<br>.....<br>>>同等または類似のコースコードおよび名称>> OAE031 <eラーニング>PowerPoint 2016 基礎編 | 2時間  |       |
|                     | OAE024 <eラーニング>2時間でわかる! PowerPoint 2010 応用編<br>.....<br>>>同等または類似のコースコードおよび名称>> OAE032 <eラーニング>PowerPoint 2016 応用編 | 2時間  |       |

\*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。

【スマートデバイス対応】パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

| 分野                  | コースコード            | コース名   | 日数*  |
|---------------------|-------------------|--|------|
| <b>● コンプライアンス</b>   |                   |  |      |
| コンプライアンス            | HSD011            | (半日研修)コンプライアンス研修~組織における不祥事防止                                   | 0.5日 |
|                     | HSD012            | (半日研修)コンプライアンス研修~個人情報保護、情報セキュリティ、SNSのリスクを知る編                   | 0.5日 |
| <b>● ビジネス/ヒューマン</b> |                   |  |      |
| ビジネス/ヒューマン          | 2Way<br>コミュニケーション | HSJ056 (PDU)リーダ向け チームを活性化するコミュニケーション~対人関係における思い込みの視点を取り除く- PDU | 1日   |
|                     | 戦略・マーケティング        | CTJ061 マーケティング基礎   | 1日   |
|                     | 業務知識              | HSJ122 WHYで学ぶアカウンティング(実践演習編)                                   | 1日   |

## 学び直しシリーズ eラーニング

| 分野                        | コースコード | コース名   | 日数* |
|---------------------------|--------|--|-----|
| <b>● デジタルトランスフォーメーション</b> |        |  |     |
| データ分析                     | DBE027 | <eラーニング>【学び直し】R入門-Rによるデータ分析-                     | 8時間 |
| <b>● クラウド / サーバ仮想化</b>    |        |  |     |
| クラウド / サーバ仮想化             | VME001 | <eラーニング>【学び直し】VMware vSphereシステム構築技術[v5.5]-基礎編-  | 4時間 |
|                           | VME002 | <eラーニング>【学び直し】VMware vSphereシステム構築技術[v5.5]-高信頼編- | 4時間 |

開催コース/スケジュール一覧

日立製品 (コースコード末尾に「T」を表示しているコースは「試験付」です。「試験」は研修終了後に実施します。)

| コースコード                | 開催区分 | コース名  | 受講料(税込)*            | 日数/平均学習時間 | 学習形態  | 開催地区                | 4月    | 5月    | 6月           | 7月    | 8月         | 9月                           | (eラーニング) サービス有効期間 / 学習終了日 |
|-----------------------|------|---|---------------------|-----------|-------|---------------------|-------|-------|--------------|-------|------------|------------------------------|---------------------------|
| JP 1 (掲載ページ: P. 64 ~) |      |   |                     |           |       |                     |       |       |              |       |            |                              |                           |
| JPJ235                | New  | JP1操作入門 (Version 12)                            | ¥43,200             | 1日        | マシン演習 | 東京(大森)              | 19    |       | 10           | 22    | 26         |                              | -                         |
| JPJ236 (JPJ236T)      | New  | JP1エンジニア機能概説 (Version 12)                       | ¥43,200 (¥49,680)   | 1日        | マシン演習 | 東京(大森)              | 18    | 20    |              | 3     | 2          | 2                            | -                         |
| JPJ237                | New  | JP1プロフェッショナル 統合管理1 -システム監視 (Version 12)         | ¥108,000            | 2日        | マシン演習 | 東京(大森)<br>大阪        |       | 21~22 | 24~25        | 30~31 |            | 3~4<br>24~25                 | -                         |
| JPJ238 (JPJ238T)      | New  | JP1プロフェッショナル 統合管理2 -システム設定 (Version 12)         | ¥108,000 (¥116,640) | 2日        | マシン演習 | 東京(大森)              |       | 23~24 | 26~27        |       | 1~2        | 5~6                          | -                         |
| JPJ239 (JPJ239T)      | New  | JP1プロフェッショナル 統合管理 セットコース (Version 12)           | ¥194,400 (¥203,040) | 4日        | マシン演習 | 東京(大森)              |       | 21~24 | 24~27        | 30~   | 2          | 3~6                          | -                         |
| JPJ240 (JPJ240T)      | New  | JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 12)             | ¥108,000 (¥116,640) | 2日        | マシン演習 | 東京(大森)              |       | 13~14 |              | 4~5   |            | 9~10                         | -                         |
| JPJ241                | New  | JP1プロフェッショナル ジョブ管理1 -ジョブ定義・監視 (Version 12)      | ¥108,000            | 2日        | マシン演習 | 東京(大森)<br>大阪<br>名古屋 | 22~23 | 27~28 | 11~12, 24~25 | 23~24 | 5~6, 27~28 | 9~10, 24~25<br>3~4<br>24~25  | -                         |
| JPJ242 (JPJ242T)      | New  | JP1プロフェッショナル ジョブ管理2 -システム設定・運用管理 (Version 12)   | ¥108,000 (¥116,640) | 2日        | マシン演習 | 東京(大森)<br>大阪<br>名古屋 | 24~25 | 29~30 | 13~14, 26~27 | 25~26 | 7~8, 29~30 | 11~12, 26~27<br>5~6<br>26~27 | -                         |
| JPJ243 (JPJ243T)      | New  | JP1プロフェッショナル ジョブ管理 セットコース (Version 12)          | ¥194,400 (¥203,040) | 4日        | マシン演習 | 東京(大森)<br>大阪<br>名古屋 | 22~25 | 27~30 | 11~14, 24~27 | 23~26 | 5~8, 27~30 | 9~12, 24~27<br>3~6<br>24~27  | -                         |
| JPJ244                | New  | JP1プロフェッショナル IT運用自動化 (Version 12)               | ¥108,000            | 2日        | マシン演習 | 東京(大森)              |       |       |              | 11~12 |            |                              | -                         |
| JPJ246                | New  | JP1プロフェッショナル ネットワーク管理1 -ネットワーク管理基礎 (Version 12) | ¥108,000            | 2日        | マシン演習 | 東京(大森)              |       | 21~22 | 17~18        | 23~24 | 27~28      |                              | -                         |
| JPJ247 (JPJ247T)      | New  | JP1プロフェッショナル ネットワーク管理2 -システムリソース管理 (Version 12) | ¥54,000 (¥62,640)   | 1日        | マシン演習 | 東京(大森)              |       | 23    | 19           | 25    | 29         |                              | -                         |
| JPJ248 (JPJ248T)      | New  | JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース (Version 12)       | ¥140,400 (¥149,040) | 3日        | マシン演習 | 東京(大森)              |       | 21~23 | 17~19        | 23~25 | 27~29      |                              | -                         |
| JPJ249                | New  | JP1プロフェッショナル 資産・配布管理1 -資産管理編 (Version 12)       | ¥54,000             | 1日        | マシン演習 | 東京(大森)              |       |       |              | 2     | 20         |                              | -                         |
| JPJ250                | New  | JP1プロフェッショナル 資産・配布管理2 -セキュリティ管理編 (Version 12)   | ¥54,000             | 1日        | マシン演習 | 東京(大森)              |       |       |              | 3     | 21         |                              | -                         |
| JPJ251 (JPJ251T)      | New  | JP1プロフェッショナル 資産・配布管理3 -配布管理編 (Version 12)       | ¥54,000 (¥62,640)   | 1日        | マシン演習 | 東京(大森)              |       |       |              | 4     | 22         |                              | -                         |
| JPJ276 (JPJ276T)      | New  | JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース (Version 12)        | ¥140,400 (¥149,040) | 3日        | マシン演習 | 東京(大森)              |       |       |              | 2~4   | 20~22      |                              | -                         |
| JPJ252 (JPJ252T)      | New  | JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 (Version 12)              | ¥54,000 (¥62,640)   | 1日        | マシン演習 | 東京(大森)              |       |       |              |       | 23         |                              | -                         |
| JPJ245 (JPJ245T)      | New  | JP1プロフェッショナル バックアップ管理 (Version 12)              | ¥54,000 (¥62,640)   | 1日        | マシン演習 | 東京(大森)              |       |       |              |       | 23         |                              | -                         |
| JPJ255                | New  | JP1コンサルタント ジョブ管理 -システム設計編 (Version 12)          | ¥54,000             | 1日        | マシン演習 | 東京(大森)              |       |       | 20           |       |            | 3                            | -                         |
| JPJ256 (JPJ256T)      | New  | JP1コンサルタント ジョブ管理 -チューニング編 (Version 12)          | ¥54,000 (¥64,800)   | 1日        | マシン演習 | 東京(大森)              |       |       | 21           |       |            | 4                            | -                         |
| JPJ257 (JPJ257T)      | New  | JP1コンサルタント 資産・配布管理 (Version 12)                 | ¥54,000 (¥64,800)   | 1日        | マシン演習 | 東京(大森)              |       |       |              |       |            | 11                           | -                         |
| JPJ253 (JPJ253T)      | New  | JP1コンサルタント 統合管理 (Version 12)                    | ¥54,000 (¥64,800)   | 1日        | マシン演習 | 東京(大森)              |       |       |              |       |            | 12                           | -                         |

\*受講料(税込)は、2019年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の新税率を適用した金額となります。  
 \*日立製品講座のJP1の認定試験付コースおよびクラウド/サーバ仮想化講座のAWSの受験/パウチャケット付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表記しています。  
 \*学習テキストの受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。  
 \*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

| コースコード           | 開催区分    | コース名   | 受講料(税込)*          | 日数/平均学習時間 | 学習形態            | 開催地区   | 4月            | 5月            | 6月            | 7月                | 8月        | 9月    | (eラーニング) サービス有効期間 / 学習終了日   |
|------------------|---------|--|-------------------|-----------|-----------------|--------|---------------|---------------|---------------|-------------------|-----------|-------|-----------------------------|
| JPJ254 (JPJ254T) | New     | JP1コンサルタント パフォーマンス管理 (Version 12)                                  | ¥54,000 (¥64,800) | 1日        | マシン演習           | 東京(大森) |               |               |               |                   |           | 6     | -                           |
| JPJ258 (JPJ258T) | New     | JP1コンサルタント ネットワーク管理 (Version 12)                                   | ¥54,000 (¥64,800) | 1日        | マシン演習           | 東京(大森) |               |               |               |                   |           | 5     | -                           |
| JPJ259           | New     | 【日立パートナー様 限定コース】 JP1セールスコーディネーター (Version 12)                      | ¥24,840           | 1日        | マシン演習           | 東京(大森) |               | 10            |               |                   | 1         |       | -                           |
| JPE016           | Renewal | <eラーニング> JP1機能概説 (Version 11)                                      | ¥30,240           | 6時間       | eラーニング          | 学習開始日  | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26 | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11 | 開始日にかかわらず 学習終了日は9月30日 になります |
| JPE017           | Renewal | <eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /IM管理1 -システム監視 (version 11)        | ¥108,000          | 12時間      | eラーニング<br>マシン演習 | 学習開始日  | 12            | 17            | 7             | 5                 | 2         | 2     | サービス有効期間は 21日間です            |
| JPE018           | Renewal | <eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /IM管理2 -システム設定 (version 11)        | ¥108,000          | 12時間      | eラーニング<br>マシン演習 | 学習開始日  | 12            | 17            | 7             | 5                 | 2         | 2     | サービス有効期間は 21日間です            |
| JPJ090           |         | JP1プロフェッショナル ジョブ管理1 -ジョブ定義・監視 (Version 11)                         | ¥108,000          | 2日        | マシン演習           | 東京(大森) |               | 13~14         |               |                   | 9~10      |       | -                           |
| JPJ091           |         | JP1プロフェッショナル ジョブ管理2 -システム設定・運用管理 (Version 11)                      | ¥108,000          | 2日        | マシン演習           | 東京(大森) |               | 15~16         |               |                   | 11~12     |       | -                           |
| JPJ092           |         | JP1プロフェッショナル ジョブ管理セットコース (Version 11)                              | ¥194,400          | 4日        | マシン演習           | 東京(大森) |               | 13~16         |               |                   | 9~12      |       | -                           |
| JPE313           |         | <eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル ジョブ管理1 -ジョブ定義・監視 (Version 11)       | ¥108,000          | 12時間      | eラーニング<br>マシン演習 | 学習開始日  | 12            | 17            | 7             | 5                 | 2         | 2     | サービス有効期間は 21日間です            |
| JPE314           |         | <eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル ジョブ管理2 -システム設定・運用管理 (Version 11)    | ¥108,000          | 12時間      | eラーニング<br>マシン演習 | 学習開始日  | 12            | 17            | 7             | 5                 | 2         | 2     | サービス有効期間は 21日間です            |
| JPJ102           |         | JP1/AJS3 エキスパート育成講座 -開発編-  | ¥54,000           | 1日        | マシン演習           | 東京(大森) |               |               |               |                   | 19        |       | -                           |
| JPJ103           |         | JP1/AJS3 エキスパート育成講座 -運用編-  | ¥54,000           | 1日        | マシン演習           | 東京(大森) |               |               |               |                   | 18        |       | -                           |
| JPE019           | Renewal | <eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /PFM (Version 11)                  | ¥108,000          | 12時間      | eラーニング<br>マシン演習 | 学習開始日  | 12            | 17            | 7             | 5                 | 2         | 2     | サービス有効期間は 21日間です            |
| JPE308           |         | <eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /IM 管理1 -システム監視 (Version 10)       | ¥86,400           | 12時間      | eラーニング<br>マシン演習 | 学習開始日  | 12            | 17            | 7             | 5                 | 2         | 2     | サービス有効期間は 21日間です            |
| JPE309           |         | <eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /IM 管理2 -システム設定 (Version 10)       | ¥86,400           | 12時間      | eラーニング<br>マシン演習 | 学習開始日  | 12            | 17            | 7             | 5                 | 2         | 2     | サービス有効期間は 21日間です            |
| JPE310           |         | <eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /PFM (Version 10)                  | ¥86,400           | 12時間      | eラーニング<br>マシン演習 | 学習開始日  | 12            | 17            | 7             | 5                 | 2         | 2     | サービス有効期間は 21日間です            |
| JPE006           |         | <eラーニング> JP1機能概説 (Version 10)                                      | ¥27,540           | 6時間       | eラーニング          | 学習開始日  | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26 | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11 | 開始日にかかわらず 学習終了日は9月30日 になります |
| JPE311           |         | <eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理1 -ジョブ定義・監視 (Version 10)    | ¥86,400           | 12時間      | eラーニング<br>マシン演習 | 学習開始日  | 12            | 17            | 7             | 5                 | 2         | 2     | サービス有効期間は 21日間です            |
| JPE312           |         | <eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理2 -システム設定・運用管理 (Version 10) | ¥86,400           | 12時間      | eラーニング<br>マシン演習 | 学習開始日  | 12            | 17            | 7             | 5                 | 2         | 2     | サービス有効期間は 21日間です            |

uCosminexus Application Server (掲載ページ: P. 80 ~)

|        |  |  |         |      |                 |       |    |    |   |   |   |   |                  |
|--------|--|--|---------|------|-----------------|-------|----|----|---|---|---|---|------------------|
| CSE302 |  | <eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 入門 -構築基礎-         | ¥32,400 | 6時間  | eラーニング<br>マシン演習 | 学習開始日 | 12 | 17 | 7 | 5 | 2 | 2 | サービス有効期間は 21日間です |
| CSE303 |  | <eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 実践1 -設計・構築-       | ¥86,400 | 12時間 | eラーニング<br>マシン演習 | 学習開始日 | 12 | 17 | 7 | 5 | 2 | 2 | サービス有効期間は 21日間です |
| CSE304 |  | <eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 実践2 -トラブルシューティング- | ¥43,200 | 6時間  | eラーニング<br>マシン演習 | 学習開始日 | 12 | 17 | 7 | 5 | 2 | 2 | サービス有効期間は 21日間です |

New : 新設コース    Update : 改訂コース    休講 : 今期の定期開催はありません  
 \*スマートデバイス対応 : ハンコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。    PDU : PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。  
 学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.63)を参照ください。

Table with columns: Course Code, Opening Area, Course Name, Fee, Duration, Learning Format, Opening Region, Dates (Apr-Sep), and Notes. Includes course CSE001 and a footer with contact information.

HiRDB (掲載ページ: P. 82 ~)

Table listing HiRDB courses (DBJ064, DBE338, DBE307, DBE015, DBJ092, DBE305, DBE306, DBE026, DBE318, DBE330, DBE329) with details on fees, durations, and schedules.

OpenTP1 (掲載ページ: P. 86 ~)

Table listing OpenTP1 courses (DBJ009, DBE709, DBJ041, DBE023, DBE014) with details on fees, durations, and schedules.

VOS3/VOS1/VOSK (掲載ページ: P. 88 ~)

Table listing VOS3/VOS1/VOSK courses (-, VSJ016, VSE003, VSJ015, VSE004) with details on fees, durations, and schedules.

※受講料(税込)は、2019年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時点の最新税率を適用した金額となります。

Table listing VOS courses (VSJ011, VSJ017, VSJ018, -, -, -, -, -) with details on fees, durations, and schedules.

XDM/PDM II (掲載ページ: P. 92 ~)

Table listing XDM/PDM II courses (DBE016, DBE017, DBE018, DBJ104, DBE024, DBJ105, DBE025, DBJ103, DBE028, -, -, -, -, -, -, -, -) with details on fees, durations, and schedules.

Hitachi Advanced Data Binder (掲載ページ: P. 98 ~)

Table listing Hitachi Advanced Data Binder course (DBJ118) with details on fee, duration, and schedule.

New : 新設コース, 改訂コース, 休講 : 今期の定期開催はありませぬ, スマートデバイス対応 : ハンコ・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。PDU : PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

| コースコード                        | 開催区分 | コース名                            | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態  | 開催地区   | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | (eラーニング)サービス有効期間/学習終了日 |
|-------------------------------|------|---------------------------------|----------|-----------|-------|--------|----|----|----|----|----|----|------------------------|
| <b>日立ストレージ(掲載ページ:P. 99 ~)</b> |      |                                 |          |           |       |        |    |    |    |    |    |    |                        |
| SPL063                        | New  | 日立ストレージ製品概要<br>-ストレージ基礎・製品紹介編-  | ¥24,840  | 1日        | レクチャ  | 東京(大森) |    | 21 |    | 5  |    |    | -                      |
| SPL064                        | New  | 日立ストレージハードウェア<br>-ミッドレンジストレージ編- | ¥37,800  | 1日        | レクチャ  | 東京(大森) |    | 24 |    | 26 | 30 |    | -                      |
| SPL070                        | New  | 日立ストレージハードウェア<br>-ハイエンドストレージ編-  | ¥37,800  | 1日        | レクチャ  | 東京(大森) |    |    | 7  |    |    | 2  | -                      |
| SPL066                        | New  | 日立ストレージ機能-バックアップ編-              | ¥37,800  | 1日        | レクチャ  | 東京(大森) |    |    | 12 | 18 |    | 3  | -                      |
| SPL067                        | New  | 日立ストレージ機能-仮想化編-                 | ¥37,800  | 1日        | レクチャ  | 東京(大森) |    |    | 13 | 19 |    | 4  | -                      |
| SPL068                        | New  | 日立ストレージ機能-リモートコピー編-             | ¥37,800  | 1日        | レクチャ  | 東京(大森) |    |    | 14 |    |    | 5  | -                      |
| SPL069                        | New  | 日立ストレージ機能-無停止運用管理編-             | ¥37,800  | 1日        | レクチャ  | 東京(大森) |    |    |    |    |    | 6  | -                      |
| SPL071                        | New  | REST APIを使用したストレージ運用・管理         | ¥37,800  | 1日        | マシン演習 | 東京(大森) |    |    |    |    |    | 11 | -                      |

| <b>Pentahoソフトウェア(掲載ページ:P. 102 ~)</b> |    |   |          |    |       |  |            |  |  |  |  |  |   |
|--------------------------------------|----|---|----------|----|-------|--|------------|--|--|--|--|--|---|
| PTD001                               |    | (Pentaho認定)<br>ビジネスアナリティクス ユーザーコンソール    | ¥108,000 | 1日 | マシン演習 |  | 別途ご案内いたします |  |  |  |  |  | - |
| PTD002                               |    | (Pentaho認定)<br>ビジネスアナリティクス レポートデザイナー    | ¥205,200 | 2日 | マシン演習 |  | 別途ご案内いたします |  |  |  |  |  | - |
| PTD003                               |    | (Pentaho認定)<br>ビジネスアナリティクス データモデリング     | ¥205,200 | 2日 | マシン演習 |  | 別途ご案内いたします |  |  |  |  |  | - |
| PTD004                               |    | (Pentaho認定)<br>CToolsの基本                | ¥205,200 | 2日 | マシン演習 |  | 別途ご案内いたします |  |  |  |  |  | - |
| PTD005                               |    | (Pentaho認定)<br>データ統合の基本                 | ¥302,400 | 3日 | マシン演習 |  | 別途ご案内いたします |  |  |  |  |  | - |
| PTD006                               | 休講 | (Pentaho認定)<br>PentahoとHadoopフレームワークの基本 | ¥205,200 | 2日 | マシン演習 |  | 別途ご案内いたします |  |  |  |  |  | - |

## デジタルトランスフォーメーション

| コースコード | 開催区分 | コース名                               | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態   | 開催地区 | 4月            | 5月            | 6月            | 7月                | 8月        | 9月    | (eラーニング)サービス有効期間/学習終了日           |
|--------|------|------------------------------------|----------|-----------|--------|------|---------------|---------------|---------------|-------------------|-----------|-------|----------------------------------|
| IOE001 |      | <eラーニング><br>デジタルソリューションで活用するIT技術概説 | ¥19,440  | 8時間       | eラーニング |      | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26 | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11 | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>にります |

## インベーション(掲載ページ:P. 105 ~)

|        |  |  |         |      |        |                     |    |      |       |       |        |              |   |
|--------|--|--|---------|------|--------|---------------------|----|------|-------|-------|--------|--------------|---|
| HSJ170 |  | イノベーション思考<br>-単なるアイデアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた- | ¥95,040 | 2日   | グループ演習 | 東京(大森)              |    | 9~10 |       | 22~23 | 26~27  | 24~25, 26~27 | - |
| HSJ163 |  | クリエイティブシンキング   | ¥43,200 | 1日   | グループ演習 | 東京(大森)<br>大阪        | 19 | 22   | 18    | 17    | 20, 28 |              | - |
| HSJ158 |  | イノベーションプロセスを強化する<br>シナリオプランニング                           | ¥48,600 | 1日   | グループ演習 | 東京(大森)              | 11 |      | 19    |       |        |              | - |
| HSJ157 |  | システムシンキング基礎<br>-問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化する-          | ¥95,040 | 2日   | グループ演習 | 東京(大森)              |    |      | 25~26 | 11~12 |        | 17~18        | - |
| HSJ175 |  | データ活用のパターンとビジネス着想  | ¥28,080 | 0.5日 | レクチャ   | 東京(大森)<br>大阪<br>名古屋 |    |      | 3     | 4     | 30     |              | - |

\*受講料(税込)は、2019年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時点の最新税率を適用した金額となります。  
 \*日立製品講座のJP1の認定試験付コースおよびクラウド/サーバ仮想化講座のAWSの受験/バッチャケット付コース(コースコード末尾「TJ」)の受講料はカッコ内に表示しています。  
 \*学習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。  
 \*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

|        |  |   |         |    |        |        |  |      |       |    |  |       |   |
|--------|--|---|---------|----|--------|--------|--|------|-------|----|--|-------|---|
| HSJ159 |  | 顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン   | ¥64,800 | 2日 | グループ演習 | 東京(大森) |  | 9~10 | 18~19 |    |  | 10~11 | - |
| HSJ177 |  | 実現可能性を高める!ユーザーの言葉を使って<br>解決する成果志向型のサービスデザイン<br>-事業開発の失敗リスクを最小化するための事業・競争環境、内部プロセスの検討-   | ¥37,800 | 1日 | グループ演習 | 東京(大森) |  |      |       | 30 |  |       | - |
| HSJ178 |  | 新規事業における利益の健全性評価と<br>収益性の高いビジネスモデルのデザイン<br>-不確実性の高いビジネスにおける仮説検証、<br>価値ベースのプライシングを身に付ける- | ¥37,800 | 1日 | グループ演習 | 東京(大森) |  |      | 31    |    |  |       | - |
| HSJ176 |  | 顧客との関係を深め続けられる顧客接点の<br>ビジネスモデルデザイン<br>-モバイル時代の消費者行動の変化を捉え、<br>経験価値をデザインする-              | ¥37,800 | 1日 | グループ演習 | 東京(大森) |  |      | 27    |    |  |       | - |

## IoT/AI/Lumada(掲載ページ:P. 108 ~)

|        |     |   |         |      |       |                           |            |    |        |       |    |       |       |
|--------|-----|---|---------|------|-------|---------------------------|------------|----|--------|-------|----|-------|-------|
| IOJ001 |     | IoT概説   | ¥20,520 | 0.5日 | レクチャ  | 東京(大森)<br>大阪<br>名古屋       | 26         | 30 |        | 22    | 21 |       | -     |
| IOJ012 |     | IoT技術解説-セキュリティ編-  | ¥28,080 | 0.5日 | レクチャ  | 東京(大森)<br>大阪<br>名古屋       |            | 31 |        | 31    | 28 |       | -     |
| IOJ013 |     | IoT技術解説-IoTネットワーク編-   | ¥28,080 | 0.5日 | レクチャ  | 東京(大森)<br>大阪              |            |    |        | 3     | 29 |       | -     |
| IOJ019 | New | IoT技術解説 5G編   | ¥28,080 | 0.5日 | レクチャ  | 東京(大森)                    |            |    |        |       | 23 | 17    | -     |
| IOJ014 |     | IoT技術解説-センサ編-   | ¥28,080 | 0.5日 | マシン演習 | 東京(大森)<br>大阪              |            |    | 14     | 31    |    |       | -     |
| IOJ008 |     | [IoTシステム技術検定(基礎検定)]対策講座   | ¥32,400 | 1日   | レクチャ  | 東京(大森)                    |            |    | 16, 24 | 3, 10 |    |       | -     |
| IOJ015 |     | [IoTシステム技術検定(中級)]対策講座   | ¥90,720 | 2日   | レクチャ  | 東京(大森)<br>大阪              |            |    | 22~23  | 18~19 |    |       | -     |
| IOJ016 |     | 体験!Node-REDによるIoTシステム入門<br>-Raspberry Piを使用した<br>風車のリアルタイム監視から予兆診断まで-   | ¥41,040 | 1日   | マシン演習 |                           | 別途ご案内いたします |    |        |       |    |       | -     |
| SPJ060 |     | 体験!最新OSSを活用したDevOps入門<br>-Lumadaにおけるアプリケーション開発の流れ-  | ¥43,200 | 1日   | マシン演習 |                           | 別途ご案内いたします |    |        |       |    |       | -     |
| SPJ059 |     | (PDU)実践!DevOpsによるアジャイル開発<br>-お客様に早く価値を届けるために- <b>PDU</b>  | ¥43,200 | 1日   | マシン演習 | 東京(大森)<br>大阪              |            |    | 11     |       |    |       | 19    |
| IOJ018 |     | IoTにおけるイベント駆動型システム開発入門<br>-Hitachi Application Framework/<br>Event Driven Computing(HAF/EDC)による<br>故障予知診断を例にして-           | ¥21,600 | 0.5日 | レクチャ  | 東京(大森)<br>大阪<br>名古屋       |            |    | 10     |       | 19 |       | 4     |
| IOJ017 |     | IoTにおけるイベント駆動型システム開発実践<br>-Hitachi Application Framework/<br>Event Driven Computing(HAF/EDC)による<br>アプリケーション、システム開発演習を通して- | ¥82,080 | 2日   | マシン演習 | 東京(大森)                    |            |    |        | 17~18 |    |       | 12~13 |
| DBJ088 |     | 体感!機械学習<br>-ビッグデータ時代のシステムを支える技術-  | ¥43,200 | 1日   | マシン演習 | 東京(大森)<br>大阪<br>名古屋<br>広島 |            |    |        | 29    | 21 | 24    |       |
| DBJ110 |     | NVIDIA Deep Learning Institute(DLI)<br>認定コース 1日できるディープラーニング<br>-画像認識入門-   | ¥86,400 | 1日   | マシン演習 | 東京(大森)                    |            |    |        | 8, 25 | 7  | 2, 25 | -     |
| IOJ011 |     | スマートスピーカの最新動向と<br>社会インフラ適用の可能性  | ¥39,960 | 0.5日 | レクチャ  | 東京(大森)                    |            |    | 27     |       |    |       | 9     |

New: 新設コース    改訂コース    休講: 今期の定期開催はありません  
**スマートデバイス対応**: ハンコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 **PDU**: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。  
 学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.63)を参照ください。

| コースコード                          | 開催区分 | コース名  | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態   | 開催地区                | 4月           | 5月           | 6月           | 7月               | 8月       | 9月   | (eラーニング)サービス有効期間/学習終了日            |
|---------------------------------|------|---|----------|-----------|--------|---------------------|--------------|--------------|--------------|------------------|----------|------|-----------------------------------|
| <b>ビッグデータ (掲載ページ: P. 113 ~)</b> |      |   |          |           |        |                     |              |              |              |                  |          |      |                                   |
| DBJ081                          |      | ビッグデータ概説  | ¥21,600  | 0.5日      | レクチャ   | 東京(大森)<br>大阪<br>名古屋 | 23           |              |              | 22<br>19         |          | 9    | -                                 |
| DBE701                          |      | <eラーニング>【ナビ機能付き】<br>ビッグデータ概説                    | ¥19,440  | 8時間       | eラーニング | 学習開始日               | 3.10, 17, 24 | 8.15, 22, 29 | 5.12, 19, 26 | 3.10, 17, 24, 31 | 7.21, 28 | 4.11 | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| DBJ089                          |      | NoSQL入門<br>-ビッグデータ時代のデータベース-                    | ¥32,400  | 1日        | マシン学習  | 東京(大森)              |              |              |              | 8                | 2        |      | -                                 |
| CLJ002                          |      | Hadoop入門<br>-インストールと操作体験-                       | ¥37,800  | 1日        | マシン学習  | 東京(大森)              |              | 17           |              |                  |          |      | -                                 |
| DBE706                          |      | <eラーニング>【ナビ機能付き】<br>データウェアハウス概説                 | ¥21,600  | 6時間       | eラーニング | 学習開始日               | 3.10, 17, 24 | 8.15, 22, 29 | 5.12, 19, 26 | 3.10, 17, 24, 31 | 7.21, 28 | 4.11 | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| DBE705                          |      | <eラーニング>【ナビ機能付き】<br>データウェアハウスにおけるデータモデリング解説     | ¥21,600  | 6時間       | eラーニング | 学習開始日               | 3.10, 17, 24 | 8.15, 22, 29 | 5.12, 19, 26 | 3.10, 17, 24, 31 | 7.21, 28 | 4.11 | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| DBJ106                          |      | ビッグデータにおけるシステム設計実践<br>-多様なデータを統合しビッグデータとして活用する- | ¥47,250  | 1日        | グループ演習 | 東京(大森)              |              |              |              | 26               |          | 19   | -                                 |

| コースコード                         | 開催区分    | コース名  | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態   | 開催地区                            | 4月           | 5月           | 6月                | 7月               | 8月           | 9月              | (eラーニング)サービス有効期間/学習終了日            |
|--------------------------------|---------|---|----------|-----------|--------|---------------------------------|--------------|--------------|-------------------|------------------|--------------|-----------------|-----------------------------------|
| <b>データ分析 (掲載ページ: P. 118 ~)</b> |         |   |          |           |        |                                 |              |              |                   |                  |              |                 |                                   |
| HSJ108                         |         | 定量分析のスキル<br>-問題解決の精度を高める-                                     | ¥81,000  | 2日        | グループ演習 | 東京(大森)<br>大阪<br>名古屋<br>広島<br>福岡 |              | 20~21, 29~30 | 4~5, 20~21, 27~28 | 30~31            | 22~23        | 3~4, 5~6, 12~13 | -                                 |
| OAJ048                         |         | Excelによるデータ可視化<br>-Excelでビジュアルに強くなる-                          | ¥36,720  | 1日        | マシン学習  | 東京(大森)<br>大阪                    |              |              |                   |                  | 30           | 6               | -                                 |
| OAJ047                         |         | Excelによる売上データ分析<br>-Excelではじめるデータ活用の第一歩-                      | ¥36,720  | 1日        | マシン学習  | 東京(大森)<br>大阪                    |              |              |                   | 17<br>19         |              |                 | -                                 |
| HSJ112                         |         | 仮説構築と調査検証<br>-仮説構築の考え方を学び、<br>仮説に沿った調査手法を選択し、<br>調査結果を読み解く-   | ¥81,000  | 2日        | グループ演習 | 東京(大森)<br>大阪<br>名古屋             |              |              | 4~5, 17~18        | 17~18            |              | 9~10, 19~20     | -                                 |
| HSJ162                         |         | BI・マイニング事例で学ぶ<br>データ分析提案の進め方                                  | ¥81,000  | 2日        | グループ演習 | 東京(大森)                          |              | 6~7          | 8~9               |                  | 12~13        |                 | -                                 |
| HSJ109                         |         | データ分析手法の理論と適用<br>-ビジネスにおける統計的手法活用の広がりを-                       | ¥81,000  | 2日        | マシン学習  | 東京(大森)<br>大阪<br>名古屋             |              | 30~31        | 3~4, 27~28        |                  | 22~23, 29~30 |                 | -                                 |
| HSE116                         | Renewal | <eラーニング>データ分析手法の理論と適用   | ¥35,640  | 14時間      | eラーニング | 学習開始日                           | 3.10, 17, 24 | 8.15, 22, 29 | 5.12, 19, 26      | 3.10, 17, 24, 31 | 7.21, 28     | 4.11            | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| DBJ100                         |         | データビジュアライゼーション基礎  | ¥52,920  | 1日        | マシン学習  | 東京(大森)                          |              | 17           |                   | 19               |              |                 | -                                 |
| DBE037                         | New     | <eラーニング>流れを体験!<br>予測モデル構築のプロセス(基礎知識編)<br>-初めてでもOK!データ分析を身近に-  | ¥38,880  | 9時間       | eラーニング | 学習開始日                           | 3.10, 17, 24 | 8.15, 22, 29 | 5.12, 19, 26      | 3.10, 17, 24, 31 | 7.21, 28     | 4.11            | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| DBJ117                         | New     | 流れを体験! 予測モデルの構築プロセス<br>(ケーススタディ編)<br>-データのレビューアップから結果説明に至るまで- | ¥106,920 | 2日        | マシン学習  | 東京(大森)                          |              |              |                   |                  | 21~22        | 17~18           | -                                 |
| DBJ115                         | New     | データビジュアライゼーション実装<br>地図上への可視化編                                 | ¥37,800  | 1日        | マシン学習  | 東京(大森)                          |              |              |                   |                  |              | 19              | -                                 |
| DBJ116                         | New     | データビジュアライゼーション実装<br>ネットワークの可視化編                               | ¥37,800  | 1日        | マシン学習  | 東京(大森)                          |              |              |                   |                  |              | 20              | -                                 |
| DBJ112                         |         | 試行錯誤から学ぶ! 統計理論抜きで学ぶ<br>Rによる統計的手法のハンズオン                        | ¥37,800  | 1日        | マシン学習  | 東京(大森)<br>大阪                    |              |              |                   | 1<br>12          | 2            |                 | -                                 |

\*受講料(税込)は、2019年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の新税率を適用した金額となります。  
 \*日立製品講座のJP1の認定試験付コースおよびクラウド/サーバ仮想化講座のAWSの受講料(パッケージ付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。  
 \*自習テキストの受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。  
 \*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

| コースコード | 開催区分    | コース名   | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態   | 開催地区           | 4月 | 5月 | 6月 | 7月    | 8月  | 9月          | (eラーニング)サービス有効期間/学習終了日            |
|--------|---------|--|----------|-----------|--------|----------------|----|----|----|-------|-----|-------------|-----------------------------------|
| DBJ111 |         | 試行錯誤から学ぶ!<br>Rによるデータ可視化のハンズオン  | ¥37,800  | 1日        | マシン学習  | 東京(大森)         |    |    |    | 10    |     |             | -                                 |
| DBJ107 |         | 0から始めるPython入門<br>-データ分析での活用をテーマとして-                                   | ¥75,600  | 2日        | マシン学習  | 東京(大森)<br>名古屋  |    |    |    | 8~9   | 1~2 | 12~13, 9~10 | -                                 |
| DBE038 | New     | <eラーニング>【スキル定着】<br>Pythonでのデータ可視化-オープン環境を<br>活用した実装力の磨き方- (スマートデバイス対応) | ¥10,800  | 4時間       | eラーニング | 学習開始日          |    |    |    |       |     | 4.11        | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| DBD057 | Renewal | Rによる統計解析<br>-分析結果を統計的に正しく理解し、<br>次の意思決定に向けた提案へ-                        | ¥216,000 | 2.5日      | マシン学習  | 白金台 (BrainPad) |    |    |    | 17~19 |     |             | -                                 |
| DBD059 | Renewal | 機械学習による問題解決実践<br>-機械学習で大量データを分析し、<br>データからビジネス価値を創出-                   | ¥216,000 | 2日        | マシン学習  | 白金台 (BrainPad) |    |    |    | 20~21 |     |             | -                                 |
| DBD058 | Renewal | SQLによる集計・分析<br>-分析の基本的なプロセスを修得し、<br>自社DBデータの活用へ-                       | ¥129,600 | 1.5日      | マシン学習  | 白金台 (BrainPad) |    |    |    | 13~14 |     |             | -                                 |

クラウド/サーバ仮想化

| コースコード                               | 開催区分    | コース名  | 受講料(税込)*            | 日数/平均学習時間 | 学習形態   | 開催地区                | 4月           | 5月           | 6月           | 7月               | 8月             | 9月      | (eラーニング)サービス有効期間/学習終了日            |
|--------------------------------------|---------|---|---------------------|-----------|--------|---------------------|--------------|--------------|--------------|------------------|----------------|---------|-----------------------------------|
| <b>クラウド/サーバ仮想化 (掲載ページ: P. 124 ~)</b> |         |   |                     |           |        |                     |              |              |              |                  |                |         |                                   |
| CLE703                               |         | <eラーニング>【ナビ機能付き】<br>ストレージ関連者向けサーバ仮想化技術概説                    | ¥9,720              | 3時間       | eラーニング | 学習開始日               | 3.10, 17, 24 | 8.15, 22, 29 | 5.12, 19, 26 | 3.10, 17, 24, 31 | 7.21, 28       | 4.11    | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| CLJ005                               |         | 実機で学ぶ! サーバ仮想化入門<br>-VMware vSphere, Microsoft Hyper-V, KVM- | ¥37,800             | 1日        | マシン学習  | 東京(大森)              |              | 17           |              |                  | 18             | 22      | -                                 |
| CLJ007                               |         | 実機で学ぶ! デスクトップ仮想化入門<br>-Citrix XenDesktopとVMware vSphere-    | ¥37,800             | 1日        | マシン学習  | 東京(大森)              |              |              | 31           | 10               | 8              | 30      | -                                 |
| CLJ014                               | Renewal | 実機で学ぶ! クラウドコンピューティング入門                                      | ¥37,800             | 1日        | マシン学習  |                     | 別途ご案内いたします   |              |              |                  |                |         | -                                 |
| CLE702                               |         | <eラーニング>【ナビ機能付き】<br>デスクトップ仮想化概説                             | ¥11,880             | 4時間       | eラーニング | 学習開始日               | 3.10, 17, 24 | 8.15, 22, 29 | 5.12, 19, 26 | 3.10, 17, 24, 31 | 7.21, 28       | 4.11    | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| UXE003                               |         | <eラーニング><br>クラウドコンピューティング入門                                 | ¥7,560              | 4時間       | eラーニング | 学習開始日               | 3.10, 17, 24 | 8.15, 22, 29 | 5.12, 19, 26 | 3.10, 17, 24, 31 | 7.21, 28       | 4.11    | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| CLE002                               | New     | <eラーニング> Cloud beginnerのための<br>インフラストラクチャ基礎                 | ¥19,440             | 6時間       | eラーニング | 学習開始日               | 3.10, 17, 24 | 8.15, 22, 29 | 5.12, 19, 26 | 3.10, 17, 24, 31 | 7.21, 28       | 4.11    | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| CLJ003                               |         | クラウドコンピューティング技術解説   | ¥37,800             | 1日        | レクチャ   | 東京(大森)<br>大阪        |              |              |              | 3                |                | 20<br>5 | -                                 |
| CLJ012                               |         | クラウドアプリケーション開発  | ¥81,000             | 2日        | マシン学習  | 東京(大森)              |              |              |              | 24~25            |                | 25~26   | -                                 |
| CLD001                               |         | 事業と技術の観点から検討する<br>クラウドへの移行と管理-Cloud Essentials-             | ¥118,800            | 2日        | グループ演習 | 東京(大森)              |              |              |              |                  | 5~6            |         | -                                 |
| CLJ011                               |         | Microsoft Azure概説   | ¥37,800             | 1日        | マシン学習  | 東京(大森)<br>大阪<br>名古屋 |              |              | 4            |                  | 23<br>22<br>30 | 10      | -                                 |
| CLJ009                               |         | Microsoft Azureを用いたWebアプリ開発入門                               | ¥37,800             | 1日        | マシン学習  | 東京(大森)              |              |              |              |                  |                | 25      | -                                 |
| CLD010                               |         | AWS Technical Essentials                                    | ¥151,200            | 2日        | マシン学習  |                     | 別途ご案内いたします   |              |              |                  |                |         | -                                 |
| CLD005 (CLD005T)                     |         | Architecting on AWS   | ¥226,800 (¥243,000) | 3日        | マシン学習  |                     | 別途ご案内いたします   |              |              |                  |                |         | -                                 |
| CLD006 (CLD006T)                     |         | Systems Operations on AWS                                   | ¥226,800 (¥243,000) | 3日        | マシン学習  |                     | 別途ご案内いたします   |              |              |                  |                |         | -                                 |
| CLD007 (CLD007T)                     |         | Developing on AWS   | ¥226,800 (¥243,000) | 3日        | マシン学習  | 東京(大森)              |              |              |              |                  | 30~            | 1       | -                                 |

New: 新設コース    Renewal: 改訂コース    休講: 今期の定期開催はありません  
 \*スマートデバイス対応: ハンコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。    PDU: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。  
 学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.63)を参照ください。

| コースコード | 開催区分 | コース名  | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態  | 開催地区   | 4月         | 5月   | 6月    | 7月    | 8月       | 9月    | (eラーニング)サービス有効期間/学習終了日 |
|--------|------|---|----------|-----------|-------|--------|------------|------|-------|-------|----------|-------|------------------------|
| CLD009 |      | AWS認定試験準備ワークショップ: ソリューションアーキテクトアソシエイト             | ¥37,800  | 0.5日      | レクチャ  |        | 別途ご案内いたします |      |       |       |          |       | -                      |
| CLD011 |      | AWS Security Fundamental                          | ¥75,600  | 1日        | マシン演習 |        | 別途ご案内いたします |      |       |       |          |       | -                      |
| VMJ006 |      | VMware vSphere システム構築実習 [V6.5] -実装編-              | ¥108,000 | 2日        | マシン演習 | 東京(大森) |            | 9~10 |       | 11~12 |          | 12~13 | -                      |
| VMD007 |      | VMware vSphere: Install, Configure, Manage [V6.5] | ¥534,600 | 5日        | マシン演習 | 東京(大森) |            |      | 17~21 | 29~   | 2, 19~23 |       | -                      |

## ITサービスマネジメント

| コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | (eラーニング)サービス有効期間/学習終了日 |
|--------|------|------|----------|-----------|------|------|----|----|----|----|----|----|------------------------|
|--------|------|------|----------|-----------|------|------|----|----|----|----|----|----|------------------------|

### ITサービスマネジメント(掲載ページ: P. 131 ~)

| 共通     |  |  |          |     |        |              |               |               |               |                   |           |         |                           |
|--------|--|--|----------|-----|--------|--------------|---------------|---------------|---------------|-------------------|-----------|---------|---------------------------|
| ITE701 |  | <eラーニング>【ナビ機能付き】運用管理概説                 | ¥20,520  | 6時間 | eラーニング | 学習開始日        | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26 | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11   | 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります |
| ITJ008 |  | 情報システム運用入門 -運用からITサービスへ-               | ¥32,400  | 1日  | グループ演習 | 東京(大森)       |               |               |               | 29                |           |         | -                         |
| ITJ009 |  | IT運用におけるヒューマンエラー予防                     | ¥43,200  | 1日  | グループ演習 | 東京(大森)<br>大阪 |               |               | 7             | 12                |           | 9<br>13 | -                         |
| ITE006 |  | <eラーニング>SLAにおけるサービスレベル設計の基礎            | ¥10,800  | 4時間 | eラーニング | 学習開始日        | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26 | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11   | 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります |
| ITIL®  |  |  |          |     |        |              |               |               |               |                   |           |         |                           |
| ITJ004 |  | システム運用の現状分析・設計力養成ワークショップ               | ¥82,080  | 2日  | グループ演習 | 東京(大森)       |               |               | 13~14         |                   |           |         | -                         |
| ITJ012 |  | (PDU) ITIL® ファンデーション(認定試験付) <b>POU</b> | ¥168,480 | 3日  | レクチャ   | 東京(大森)       | 10~12         |               | 4~6           | 22~24             | 28~30     | 9~11    | -                         |

## システム基盤

| コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | (eラーニング)サービス有効期間/学習終了日 |
|--------|------|------|----------|-----------|------|------|----|----|----|----|----|----|------------------------|
|--------|------|------|----------|-----------|------|------|----|----|----|----|----|----|------------------------|

### オープンソースソフトウェア(OSS)(掲載ページ: P. 134 ~)

|        |         |  |         |      |                 |        |               |               |               |                   |           |       |                           |
|--------|---------|--|---------|------|-----------------|--------|---------------|---------------|---------------|-------------------|-----------|-------|---------------------------|
| UXE004 | Renewal | <eラーニング>オープンソースソフトウェア(OSS)概説                                   | ¥9,720  | 3時間  | eラーニング          | 学習開始日  | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26 | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11 | 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります |
| UXJ064 |         | Linuxで実現! Zabbixによるシステム監視                                      | ¥81,000 | 2日   | マシン演習           | 東京(大森) |               |               |               | 4~5               |           |       | -                         |
| UXJ071 |         | Linuxで構築するクラウド基盤 -OpenStack編-                                  | ¥90,720 | 2日   | マシン演習           | 東京(大森) |               |               |               | 22~23             |           |       | -                         |
| UXJ076 |         | Linuxにおけるコンテナ環境の管理 -Kubernetes編-                               | ¥43,200 | 1日   | マシン演習           | 東京(大森) |               |               | 7             |                   | 23        |       | -                         |
| UXJ074 |         | <研修室自習型>Linuxで構築するKVM仮想化環境                                     | ¥37,800 | 1日   | 研修室自習           | 東京(大森) |               |               |               | 2                 | 18        |       | -                         |
| UXJ073 |         | <研修室自習型>Linuxで実現! DNS、Webサーバの構築 - BIND、Apache編 -               | ¥37,800 | 1日   | 研修室自習           | 東京(大森) |               |               |               | 2                 | 18        |       | -                         |
| UXJ075 |         | Linuxで実現! 社内ネットワークサーバの構築 -LDAP/SambaによるWindowsネットワークとの統合-      | ¥81,000 | 2日   | マシン演習           | 東京(大森) |               |               |               | 18~19             |           |       | -                         |
| UXJ028 |         | OSSによるWebシステム構築 -Linux、Apache、PostgreSQL、PHP-                  | ¥75,600 | 2日   | マシン演習           | 東京(大森) |               |               |               | 26~27             | 26~27     |       | -                         |
| UXE302 |         | <eラーニング>【マシン演習付き】OSSによるWebシステム構築 -Linux、Apache、PostgreSQL、PHP- | ¥75,600 | 13時間 | eラーニング<br>マシン演習 | 学習開始日  | 12            | 17            | 7             | 5                 | 2         | 2     | サービス有効期間は21日間です           |

\*受講料(税込)は、2019年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時点の最新税率を適用した金額となります。  
 ※白立製品講座のJP1の認定試験付コースおよびクラウド/サーバ仮想化講座のAWSの受験/バッチャケット付コース(コースコード末尾「TJ」)の受講料はカッコ内に表示しています。  
 ※自習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。  
 ※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

| コースコード | 開催区分 | コース名                    | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態  | 開催地区   | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月    | (eラーニング)サービス有効期間/学習終了日 |
|--------|------|-------------------------|----------|-----------|-------|--------|----|----|----|----|----|-------|------------------------|
| UXJ072 |      | OSS-DB PostgreSQL 導入と運用 | ¥86,400  | 2日        | マシン演習 | 東京(大森) |    |    |    |    |    | 19~20 | -                      |

### Linux(掲載ページ: P. 138 ~)

|        |  |  |         |     |                 |        |    |       |       |            |       |      |                 |
|--------|--|--|---------|-----|-----------------|--------|----|-------|-------|------------|-------|------|-----------------|
| UXJ061 |  | UNIX/Linux 基礎-コマンド編-                         | ¥64,800 | 2日  | マシン演習           | 東京(大森) |    |       | 11~12 |            |       |      | -               |
| UXJ049 |  | UNIX/Linux 基礎-シェルスクリプト編-                     | ¥64,800 | 2日  | マシン演習           | 東京(大森) |    | 9~10  | 24~25 | 10~11, 31~ | 1     |      | -               |
| UXE303 |  | <eラーニング>【ナビ機能付き】【マシン演習付き】UNIX/Linux 基本使用法    | ¥37,800 | 8時間 | eラーニング<br>マシン演習 | 学習開始日  | 12 | 17    | 7     | 5          | 2     | 2    | サービス有効期間は21日間です |
| UXJ069 |  | UNIX/Linux実践シェルスクリプト -sed awk編-              | ¥75,600 | 2日  | マシン演習           | 東京(大森) |    |       |       | 22~23      |       |      | -               |
| UXJ029 |  | Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎- | ¥75,600 | 2日  | マシン演習           | 東京(大森) |    | 14~15 | 3~4   | 18~19      | 22~23 | 9~10 | -               |
| UXJ030 |  | Linuxシステム管理 後編 -システム起動の仕組みとディスク管理技術-         | ¥75,600 | 2日  | マシン演習           | 東京(大森) |    |       | 17~18 | 11~12      | 20~21 | 3~4  | -               |
| UXJ062 |  | Linuxトラブルシューティング                             | ¥86,400 | 2日  | マシン演習           | 東京(大森) |    |       |       | 25~26      |       | 9~10 | -               |
| UXJ063 |  | Linuxで実現! セキュリティ対策手法の解説と実装実習                 | ¥81,000 | 2日  | マシン演習           | 東京(大森) |    |       |       | 8~9        |       |      | -               |

### Microsoft(掲載ページ: P. 141 ~)

| Windows Server 2016 |  |  |          |      |                 |                           |               |               |                |                   |           |            |                           |
|---------------------|--|--|----------|------|-----------------|---------------------------|---------------|---------------|----------------|-------------------|-----------|------------|---------------------------|
| MSJ042              |  | Windows Server 2016管理概説                                      | ¥81,000  | 2日   | マシン演習           | 東京(大森)<br>大阪<br>名古屋       |               |               | 24~25<br>25~26 |                   |           | 11~12      | -                         |
| MSE306              |  | <eラーニング>【ナビ機能付き】【マシン演習付き】Windows Server 2016管理概説             | ¥81,000  | 13時間 | eラーニング<br>マシン演習 | 学習開始日                     | 12            | 17            | 7              | 5                 | 2         | 2          | サービス有効期間は21日間です           |
| MSJ045              |  | 実践! Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-               | ¥75,600  | 2日   | マシン演習           | 東京(大森)<br>大阪<br>名古屋<br>福岡 |               |               | 10~11<br>13~14 |                   |           | 1~2<br>3~4 | -                         |
| MSE701              |  | <eラーニング>【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-   | ¥21,600  | 6時間  | eラーニング          | 学習開始日                     | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26  | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11      | 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります |
| MSE307              |  | <演習環境> Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-            | ¥21,600  | 4時間  | 演習環境            | 学習開始日                     | 12            | 17            | 7              | 5                 | 2         | 2          | サービス有効期間は21日間です           |
| SCE707              |  | <eラーニング>【ナビ機能付き】グループポリシーを使用したセキュリティ強化 -Windows Server 2016編- | ¥9,720   | 4時間  | eラーニング          | 学習開始日                     | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26  | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11      | 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります |
| MSE308              |  | <演習環境>グループポリシーを使用したセキュリティ強化 -Windows Server 2016編-           | ¥21,600  | 4時間  | 演習環境            | 学習開始日                     | 12            | 17            | 7              | 5                 | 2         | 2          | サービス有効期間は21日間です           |
| MSJ047              |  | 実践! Windows PowerShellを用いたシステム管理の効率化 -Windows Server 2016編-  | ¥37,800  | 1日   | マシン演習           | 東京(大森)                    |               |               |                | 29                |           | 3          | -                         |
| CLJ010              |  | 実践! Hyper-Vのインストールから可用性向上まで -Windows Server 2016編-           | ¥37,800  | 1日   | マシン演習           | 東京(大森)<br>大阪<br>名古屋       |               |               | 21             |                   |           | 23<br>6    | -                         |
| MSJ048              |  | 実践! Windows Server 2016によるインフラ構築演習-Windows Server 2016編-     | ¥91,800  | 2日   | マシン演習           | 東京(大森)<br>大阪              |               |               |                |                   | 26~27     | 12~13      | -                         |
| MSJ049              |  | 【短縮版】Windows Server 2016のセキュリティ                              | ¥108,000 | 2日   | マシン演習           | 東京(大森)                    |               |               | 5~6            |                   | 29~30     |            | -                         |
| Windows Server 2012 |  |  |          |      |                 |                           |               |               |                |                   |           |            |                           |
| MSE305              |  | <eラーニング>【ナビ機能付き】【マシン演習付き】Windows Server 2012管理概説             | ¥81,000  | 13時間 | eラーニング<br>マシン演習 | 学習開始日                     | 12            | 17            | 7              | 5                 | 2         | 2          | サービス有効期間は21日間です           |

New: 新設コース    改訂コース    休講: 今期の定期開催はありません  
 ※スマートデバイス対応: ハンコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。    PDU: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。  
 学習形態: 3. 「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.63)を参照ください。

Table with columns: Course Code, Division, Course Name, Fee, Days, Learning Format, Region, Months (Apr-Sep), and End Date. Includes courses MSE304 and OAE026.

ネットワーク (掲載ページ: P. 145 ~)

Main table for Network courses. Columns include Course Code, Division, Course Name, Fee, Days, Learning Format, Region, Months (Apr-Sep), and End Date. Includes courses like NWJ103, NWE706, NWE707, etc.

※受講料(税込)は、2019年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時点の新税率を適用した金額となります。

Table with columns: Course Code, Division, Course Name, Fee, Days, Learning Format, Region, Months (Apr-Sep), and End Date. Includes courses NWE708 and NWE712.

セキュリティ (掲載ページ: P. 152 ~)

Table for Security courses. Columns include Course Code, Division, Course Name, Fee, Days, Learning Format, Region, Months (Apr-Sep), and End Date. Includes courses like SCE708, SCE011, SCJ045, etc.

セキュリティ技術

Table for Security Technology courses. Columns include Course Code, Division, Course Name, Fee, Days, Learning Format, Region, Months (Apr-Sep), and End Date. Includes courses like SCE703, SCE705, SCJ044, etc.

データベース (掲載ページ: P. 159 ~)

Table for Database courses. Columns include Course Code, Division, Course Name, Fee, Days, Learning Format, Region, Months (Apr-Sep), and End Date. Includes courses like DBJ045 and DBE711.

※新設コース: スマートデバイス対応: パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 PDU: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

TOPICS

1 日 立講習会

2 開催コース/スケジュール一覧

3 講座別コースプロフィール

4 研修会場

5 お申込方法

6 受講規約

2 開催コース/スケジュール一覧

| コースコード            | 開催区分       | コース名   | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態    | 開催地区                | 4月            | 5月            | 6月            | 7月                | 8月        | 9月    | (eラーニング)サービス有効期間/学習終了日            |
|-------------------|------------|--|----------|-----------|---------|---------------------|---------------|---------------|---------------|-------------------|-----------|-------|-----------------------------------|
| DBJ063            |            | 基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-                             | ¥64,800  | 2日        | マシン演習   | 東京(大森)<br>大阪<br>名古屋 |               | 20~21         |               |                   | 26~27     | 17~18 | -                                 |
| DBE703            |            | <eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門                              | ¥19,440  | 8時間       | eラーニング  | 学習開始日               | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26 | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11 | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| DBE339            |            | <演習環境>SQL操作入門                                      | ¥21,600  | 3時間       | 演習環境    | 学習開始日               | 12            | 17            | 7             | 5                 | 2         | 2     | サービス有効期間は<br>21日間です               |
| DBJ055            |            | 速習!1日でわかるデータベース設計の基礎                               | ¥32,400  | 1日        | Webチャット | 東京(大森)<br>大阪<br>名古屋 |               | 31            |               |                   |           | 19    | -                                 |
| DBE710            |            | <eラーニング>【ナビ機能付き】データベース概説-入門・設計・SQL編-               | ¥38,880  | 12時間      | eラーニング  | 学習開始日               | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26 | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11 | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| DBE708            |            | <eラーニング>【ナビ機能付き】速習!1日でわかるデータベース設計の基礎               | ¥29,700  | 6時間       | eラーニング  | 学習開始日               | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26 | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11 | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| DBJ054            |            | データベース設計技法と演習                                      | ¥71,280  | 2日        | Webチャット | 東京(大森)<br>大阪<br>名古屋 |               |               | 11~12         |                   | 6~7       |       | -                                 |
| DBE707            |            | <eラーニング>【ナビ機能付き】データベース設計基礎                         | ¥21,600  | 6時間       | eラーニング  | 学習開始日               | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26 | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11 | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| DBE304            |            | <eラーニング>【マシン演習付き】SQLによる標準データベースプログラミング-体感!埋め込みSQL- | ¥32,400  | 6時間       | マシン演習   | 学習開始日               | 12            | 17            | 7             | 5                 | 2         | 2     | サービス有効期間は<br>21日間です               |
| DBJ067            |            | 脱初心者のためのSQL-SQLでここまでする-                            | ¥43,200  | 1日        | マシン演習   | 東京(大森)<br>大阪<br>名古屋 |               |               |               | 3, 9              | 5         |       | -                                 |
| DBJ090            |            | データ分析に使えるSQL-SQLでビッグデータに立ち向かう-                     | ¥43,200  | 1日        | マシン演習   | 東京(大森)<br>大阪        |               |               | 19            | 17                | 28        | 20    | -                                 |
| DBE704            |            | <eラーニング>【ナビ機能付き】OLTP概説                             | ¥21,600  | 7時間       | eラーニング  | 学習開始日               | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26 | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11 | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| <b>SQL Server</b> |            |  |          |           |         |                     |               |               |               |                   |           |       |                                   |
| DBE337            |            | <eラーニング>【マシン演習付き】SQL Server 2016 データベース管理          | ¥81,000  | 14時間      | マシン演習   | 学習開始日               | 12            | 17            | 7             | 5                 | 2         | 2     | サービス有効期間は<br>21日間です               |
| DBJ113            |            | SQL Server 2016 データベース管理                           | ¥86,400  | 2日        | マシン演習   | 東京(大森)              |               |               |               |                   | 19~20     |       | -                                 |
| <b>Oracle</b>     |            |  |          |           |         |                     |               |               |               |                   |           |       |                                   |
| DBE344            |            | <eラーニング>【マシン演習付き】MySQL データベース管理I/II                | ¥275,400 | 35時間      | eラーニング  | 学習開始日               | 11            | 9             | 6             | 4                 | 1         | 12    | サービス有効期間は<br>90日間です               |
| DBE345            |            | <eラーニング>【マシン演習付き】MySQL パフォーマンス・チューニング              | ¥308,448 | 28時間      | eラーニング  | 学習開始日               | 11            | 9             | 6             | 4                 | 1         | 12    | サービス有効期間は<br>90日間です               |
| DBE316            |            | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c 新機能           | ¥385,560 | 35時間      | eラーニング  | 学習開始日               | 11            | 9             | 6             | 4                 | 1         | 12    | サービス有効期間は<br>90日間です               |
| DBD048            |            | Oracle Database 12c 入門 SQL基礎I                      | ¥231,336 | 3日        | マシン演習   | 東京(大森)<br>大阪<br>名古屋 |               | 23~25         |               |                   | 30~1      |       | -                                 |
| DBE333            |            | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c SQL基礎II       | ¥154,224 | 14時間      | eラーニング  | 学習開始日               | 11            | 9             | 6             | 4                 | 1         | 12    | サービス有効期間は<br>90日間です               |
| DBD060            | <b>New</b> | Oracle Database 12c R2 管理ウィック・スタート                 | ¥154,224 | 2日        | マシン演習   | 東京(大森)<br>大阪<br>名古屋 |               |               | 23~24         |                   | 6~7       | 25~26 | -                                 |
| DBD061            | <b>New</b> | Oracle Database 12c R2 管理ネクスト・ステップ                 | ¥231,336 | 3日        | マシン演習   | 東京(大森)<br>大阪        |               |               |               |                   | 27~29     | 2~4   | -                                 |
| DBE332            |            | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c PL/SQL基礎      | ¥154,224 | 14時間      | eラーニング  | 学習開始日               | 11            | 9             | 6             | 4                 | 1         | 12    | サービス有効期間は<br>90日間です               |

\*受講料(税込)は、2019年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の新税率を適用した金額となります。  
 \*日立製品講座のJP1の認定試験付コースおよびクラウド/サーバ仮想化講座のAWSの受験/バウチャケット付コース(コースコード末尾「TJ」)の受講料はカッコ内に表記しています。  
 \*学習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。  
 \*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

| コースコード | 開催区分       | コース名   | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態    | 開催地区         | 4月 | 5月 | 6月 | 7月             | 8月 | 9月 | (eラーニング)サービス有効期間/学習終了日 |
|--------|------------|--|----------|-----------|---------|--------------|----|----|----|----------------|----|----|------------------------|
| DBE309 |            | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c PL/SQLプログラム開発                 | ¥231,336 | 21時間      | マシン演習   | 学習開始日        | 11 | 9  | 6  | 4              | 1  | 12 | サービス有効期間は<br>90日間です    |
| DBD052 |            | Oracle Database 12c SQLチューニングワークショップ                               | ¥231,336 | 3日        | マシン演習   | 東京(大森)<br>大阪 |    |    |    | 22~24<br>24~26 |    |    | -                      |
| DBE308 |            | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c バックアップ・リカバリ                   | ¥385,560 | 35時間      | マシン演習   | 学習開始日        | 11 | 9  | 6  | 4              | 1  | 12 | サービス有効期間は<br>90日間です    |
| DBE310 |            | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c パフォーマンス・チューニング                | ¥385,560 | 35時間      | マシン演習   | 学習開始日        | 11 | 9  | 6  | 4              | 1  | 12 | サービス有効期間は<br>90日間です    |
| DBD062 | <b>New</b> | Oracle Database 実例から学ぶ!パフォーマンス・チューニング                              | ¥77,112  | 1日        | Webチャット | 東京(大森)       |    |    |    |                |    | 17 | -                      |
| DBE311 |            | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c インストール&アップグレード                | ¥154,224 | 14時間      | マシン演習   | 学習開始日        | 11 | 9  | 6  | 4              | 1  | 12 | サービス有効期間は<br>90日間です    |
| DBE315 |            | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 11g R2 管理 ワークショップII               | ¥385,560 | 35時間      | マシン演習   | 学習開始日        | 11 | 9  | 6  | 4              | 1  | 12 | サービス有効期間は<br>90日間です    |
| DBE319 |            | <eラーニング>【マシン演習付き】Exadata Database Machine 管理ワークショップ                | ¥642,600 | 35時間      | マシン演習   | 学習開始日        | 11 | 9  | 6  | 4              | 1  | 12 | サービス有効期間は<br>90日間です    |
| DBE322 |            | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c Clusterware 管理                | ¥385,344 | 28時間      | マシン演習   | 学習開始日        | 11 | 9  | 6  | 4              | 1  | 12 | サービス有効期間は<br>90日間です    |
| DBE331 |            | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c RAC管理                         | ¥385,344 | 28時間      | マシン演習   | 学習開始日        | 11 | 9  | 6  | 4              | 1  | 12 | サービス有効期間は<br>90日間です    |
| DBE321 |            | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c ASM 管理                        | ¥192,672 | 14時間      | マシン演習   | 学習開始日        | 11 | 9  | 6  | 4              | 1  | 12 | サービス有効期間は<br>90日間です    |
| DBE324 |            | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c セキュリティ                        | ¥481,680 | 35時間      | マシン演習   | 学習開始日        | 11 | 9  | 6  | 4              | 1  | 12 | サービス有効期間は<br>90日間です    |
| DBE323 |            | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c Database Vault                | ¥154,224 | 14時間      | マシン演習   | 学習開始日        | 11 | 9  | 6  | 4              | 1  | 12 | サービス有効期間は<br>90日間です    |
| DBE325 |            | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c マルチテナント・アーキテクチャ               | ¥154,224 | 14時間      | マシン演習   | 学習開始日        | 11 | 9  | 6  | 4              | 1  | 12 | サービス有効期間は<br>90日間です    |
| DBE341 |            | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c R2 新機能 for 12c R1 管理者         | ¥385,560 | 35時間      | マシン演習   | 学習開始日        | 11 | 9  | 6  | 4              | 1  | 12 | サービス有効期間は<br>90日間です    |
| DBE343 |            | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Enterprise Manager Cloud Control 12c による管理 | ¥289,008 | 21時間      | マシン演習   | 学習開始日        | 11 | 9  | 6  | 4              | 1  | 12 | サービス有効期間は<br>90日間です    |
| DBE019 |            | <eラーニング> Oracleではじめる統計入門   | ¥77,112  | 7時間       | マシン演習   | 学習開始日        | 11 | 9  | 6  | 4              | 1  | 12 | サービス有効期間は<br>90日間です    |
| DBE342 |            | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c データ・マイニング手法                   | ¥154,224 | 14時間      | マシン演習   | 学習開始日        | 11 | 9  | 6  | 4              | 1  | 12 | サービス有効期間は<br>90日間です    |
| DBE029 |            | <eラーニング>資格試験準備セミナー: ORACLE MASTER Bronze 12c(受験チケット付)              | ¥72,144  | 7時間       | マシン演習   | 学習開始日        | 11 | 9  | 6  | 4              | 1  | 12 | サービス有効期間は<br>180日間です   |
| DBE030 |            | <eラーニング>資格試験準備セミナー: ORACLE MASTER Silver 12c(受験チケット付)              | ¥57,456  | 7時間       | マシン演習   | 学習開始日        | 11 | 9  | 6  | 4              | 1  | 12 | サービス有効期間は<br>180日間です   |
| DBE031 |            | <eラーニング>資格試験準備セミナー: ORACLE MASTER Gold 12c(受験チケット付)                | ¥57,456  | 7時間       | マシン演習   | 学習開始日        | 11 | 9  | 6  | 4              | 1  | 12 | サービス有効期間は<br>180日間です   |
| DBE340 |            | <eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Unlimited Product Learning Subscription    | ¥906,552 | -         | マシン演習   | 学習開始日        | 11 | 9  | 6  | 4              | 1  | 12 | サービス有効期間は<br>365日間です   |

**New** : 新設コース **Updated** : 改訂コース **休講** : 今期の定期開催はありません  
**Smart Device対応** : ハンコ・スマートデバイスでも学習できるタイプのeラーニングです。 **PDU** : PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。  
 学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.63)を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

TOPICS

1 日立講習会  
コース活用例

2 開催コース/  
スケジュール一覧

3 講座別コースフロー/  
コースカリキュラム

4 研修会場

5 お申込み方法

6 受講規約

2 開催コース/  
スケジュール一覧



IT戦略・IS企画/システム設計

Table with columns: Course Code, Division, Course Name, Tuition (Tax Inclusive), Days/Average Study Time, Learning Format, Region, and Months 4-9. Includes sub-header 'IT戦略・IS企画(掲載ページ:P.175~)'. Rows include courses like HSJ017, SPJ008, CTJ016, etc.

\*受講料(税込)は、2019年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の新税率を適用した金額となります。

Table with columns: Course Code, Division, Course Name, Tuition (Tax Inclusive), Days/Average Study Time, Learning Format, Region, and Months 4-9. Includes sub-header 'システム設計(掲載ページ:P.183~)'. Rows include courses like SPJ058, SJE707, SPJ037, etc.

New: 新設コース, 改訂コース, 休講: 今期の定期開催はありません, スマートデバイス対応: ハンコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。

TOPICS 1 日立講習会 コース活用例 2 開催コース/スケジュール一覧 3 講座別コースフロー コースカリキュラム 4 研修会場 5 お申込方法 6 受講規約

開催コース/スケジュール一覧

| コースコード | 開催区分 | コース名                           | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態   | 開催地区   | 4月           | 5月           | 6月           | 7月               | 8月       | 9月   | (eラーニング)サービス有効期間/学習終了日    |
|--------|------|--------------------------------|----------|-----------|--------|--------|--------------|--------------|--------------|------------------|----------|------|---------------------------|
| SPJ035 |      | SeleniumによるWebアプリケーションテスト自動化演習 | ¥32,400  | 1日        | マシン演習  | 東京(大森) |              |              |              |                  |          | 24   | -                         |
| SPE701 |      | <eラーニング>【ナビ機能付き】プログラムのテスト技法    | ¥20,520  | 7時間       | eラーニング | 学習開始日  | 3.10, 17, 24 | 8.15, 22, 29 | 5.12, 19, 26 | 3.10, 17, 24, 31 | 7.21, 28 | 4.11 | 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります |

## アプリケーション開発

| コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | (eラーニング)サービス有効期間/学習終了日 |
|--------|------|------|----------|-----------|------|------|----|----|----|----|----|----|------------------------|
|--------|------|------|----------|-----------|------|------|----|----|----|----|----|----|------------------------|

### Webアプリケーション(掲載ページ: P. 191 ~)

| 共通     |  |                                       |          |     |        |              |              |              |              |                  |          |            |                           |
|--------|--|---------------------------------------|----------|-----|--------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------------|----------|------------|---------------------------|
| NWE711 |  | <eラーニング>【ナビ機能付き】Webシステム入門             | ¥20,520  | 6時間 | eラーニング | 学習開始日        | 3.10, 17, 24 | 8.15, 22, 29 | 5.12, 19, 26 | 3.10, 17, 24, 31 | 7.21, 28 | 4.11       | 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります |
| NWJ139 |  | Webアプリケーション設計の基礎                      | ¥64,800  | 2日  | レクチャ   | 東京(大森)<br>大阪 |              |              |              | 10~11<br>31~     |          | 26~27<br>1 | -                         |
| コンテンツ  |  |                                       |          |     |        |              |              |              |              |                  |          |            |                           |
| NWE709 |  | <eラーニング>【ナビ機能付き】CSSによるWebコンテンツ制作      | ¥20,520  | 8時間 | eラーニング | 学習開始日        | 3.10, 17, 24 | 8.15, 22, 29 | 5.12, 19, 26 | 3.10, 17, 24, 31 | 7.21, 28 | 4.11       | 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります |
| NWE710 |  | <eラーニング>【ナビ機能付き】HTMLによるWebコンテンツ制作     | ¥20,520  | 8時間 | eラーニング | 学習開始日        | 3.10, 17, 24 | 8.15, 22, 29 | 5.12, 19, 26 | 3.10, 17, 24, 31 | 7.21, 28 | 4.11       | 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります |
| NWJ141 |  | JavaScriptプログラミング -ECMAScript 2015対応- | ¥75,600  | 2日  | マシン演習  | 東京(大森)       | 22~23        |              |              |                  | 5~6      |            | -                         |
| NWJ142 |  | HTML5プログラミング                          | ¥37,800  | 1日  | マシン演習  | 東京(大森)       |              | 15           |              |                  |          | 27         | -                         |
| NWJ140 |  | HTML5/JavaScriptによるWebアプリケーション開発実践    | ¥108,000 | 2日  | マシン演習  | 東京(大森)       |              |              |              |                  | 29~30    | 17~18      | -                         |

### スマートデバイス(掲載ページ: P. 195 ~)

|        |  |                                  |         |     |        |        |              |              |              |                  |          |      |                           |
|--------|--|----------------------------------|---------|-----|--------|--------|--------------|--------------|--------------|------------------|----------|------|---------------------------|
| NWE029 |  | <eラーニング>スマートデバイス活用システムの提案概説      | ¥10,800 | 3時間 | eラーニング | 学習開始日  | 3.10, 17, 24 | 8.15, 22, 29 | 5.12, 19, 26 | 3.10, 17, 24, 31 | 7.21, 28 | 4.11 | 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります |
| NWJ144 |  | スマートフォンの特性を踏まえたWebアプリケーション設計の考え方 | ¥32,400 | 1日  | マシン演習  | 東京(大森) |              |              |              |                  | 5        |      | -                         |
| NWJ135 |  | 体験! Androidアプリケーションの開発           | ¥32,400 | 1日  | マシン演習  | 東京(大森) |              |              |              |                  |          | 11   | -                         |
| NWJ129 |  | 体験! iPhone・iPadアプリケーションの開発       | ¥37,800 | 1日  | マシン演習  | 東京(大森) |              |              |              | 24               |          | 26   | -                         |
| NWJ131 |  | 体験! SwiftではじめるiPhoneアプリケーションの開発  | ¥37,800 | 1日  | マシン演習  | 東京(大森) |              |              |              | 25               |          |      | -                         |

### オブジェクト指向/UML(掲載ページ: P. 197 ~)

|        |            |                            |         |     |        |        |              |              |              |                  |          |      |                           |
|--------|------------|----------------------------|---------|-----|--------|--------|--------------|--------------|--------------|------------------|----------|------|---------------------------|
| OJE701 |            | <eラーニング>【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説 | ¥20,520 | 6時間 | eラーニング | 学習開始日  | 3.10, 17, 24 | 8.15, 22, 29 | 5.12, 19, 26 | 3.10, 17, 24, 31 | 7.21, 28 | 4.11 | 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります |
| OJE005 |            | <eラーニング>UML2.0入門           | ¥7,560  | 6時間 | eラーニング | 学習開始日  | 3.10, 17, 24 | 8.15, 22, 29 | 5.12, 19, 26 | 3.10, 17, 24, 31 | 7.21, 28 | 4.11 | 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります |
| OJJ024 |            | UMLによるオブジェクト指向モデリング        | ¥64,800 | 2日  | グループ演習 | 東京(大森) |              |              |              |                  | 30~31    |      | -                         |
| OJJ025 |            | UMLによるオブジェクト指向設計とプログラミング   | ¥64,800 | 2日  | マシン演習  | 東京(大森) |              |              |              |                  | 5~6      |      | -                         |
| OJJ027 | <b>New</b> | 定石から学ぶオブジェクト指向設計           | ¥75,600 | 2日  | マシン演習  | 東京(大森) |              |              |              |                  | 11~12    |      | -                         |

| コースコード | 開催区分 | コース名 | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態 | 開催地区 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | (eラーニング)サービス有効期間/学習終了日 |
|--------|------|------|----------|-----------|------|------|----|----|----|----|----|----|------------------------|
|--------|------|------|----------|-----------|------|------|----|----|----|----|----|----|------------------------|

### 言語(掲載ページ: P. 199 ~)

| 共通     |            |   |          |       |                 |                           |              |              |              |                       |              |                                |                           |
|--------|------------|---|----------|-------|-----------------|---------------------------|--------------|--------------|--------------|-----------------------|--------------|--------------------------------|---------------------------|
| CBJ001 | 休講         | アルゴリズムの基礎-フローチャート編-                               | ¥54,000  | 2日    | レクチャ            |                           |              |              |              |                       |              |                                | -                         |
| CBE006 |            | <eラーニング>アルゴリズムの基礎-フローチャート編-                       | ¥11,016  | 16時間  | eラーニング          | 学習開始日                     | 3.10, 17, 24 | 8.15, 22, 29 | 5.12, 19, 26 | 3.10, 17, 24, 31      | 7.21, 28     | 4.11                           | 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります |
| Java   |            |   |          |       |                 |                           |              |              |              |                       |              |                                |                           |
| OJJ016 |            | Javaプログラミング1(基本文法編)                               | ¥97,200  | 3日    | マシン演習           | 東京(大森)<br>名古屋<br>福岡       |              |              |              | 17~19<br>10~12        | 26~28<br>5~7 |                                | -                         |
| OJE702 |            | <eラーニング>【ナビ機能付き】Javaプログラミング1(基本文法編)               | ¥59,400  | 24時間  | eラーニング          | 学習開始日                     | 3.10, 17, 24 | 8.15, 22, 29 | 5.12, 19, 26 | 3.10, 17, 24, 31      | 7.21, 28     | 4.11                           | 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります |
| OJE020 |            | <eラーニング>【スキル定着】Javaプログラミング1(前編) <b>スマートデバイス対応</b> | ¥10,800  | 4時間   | eラーニング          | 学習開始日                     | 3.10, 17, 24 | 8.15, 22, 29 | 5.12, 19, 26 | 3.10, 17, 24, 31      | 7.21, 28     | 4.11                           | 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります |
| OJE021 |            | <eラーニング>【スキル定着】Javaプログラミング1(後編) <b>スマートデバイス対応</b> | ¥10,800  | 4時間   | eラーニング          | 学習開始日                     | 3.10, 17, 24 | 8.15, 22, 29 | 5.12, 19, 26 | 3.10, 17, 24, 31      | 7.21, 28     | 4.11                           | 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります |
| OJJ017 |            | Javaプログラミング2(基本クラス編)                              | ¥64,800  | 2日    | マシン演習           | 東京(大森)<br>名古屋<br>広島       |              |              |              | 22~23<br>26~27<br>31~ |              | 5~6,<br>19~20<br>1             | -                         |
| OJE703 |            | <eラーニング>【ナビ機能付き】Javaプログラミング2-基本クラス編-              | ¥39,960  | 16時間  | eラーニング          | 学習開始日                     | 3.10, 17, 24 | 8.15, 22, 29 | 5.12, 19, 26 | 3.10, 17, 24, 31      | 7.21, 28     | 4.11                           | 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります |
| OJJ021 |            | ハンズオン Java8/9新機能                                  | ¥75,600  | 2日    | マシン演習           | 東京(大森)                    |              |              |              |                       | 6~7          |                                | -                         |
| OJJ026 |            | Javaによるデータベース・プログラミング                             | ¥64,800  | 2日    | マシン演習           | 東京(大森)                    |              |              |              |                       | 1~2          | 12~13                          | -                         |
| OJJ018 |            | サーバサイドJavaプログラミング(Servlet/JSP編)                   | ¥97,200  | 3日    | マシン演習           | 東京(大森)<br>大阪<br>名古屋<br>福岡 |              |              |              |                       |              | 24~26<br>26~28<br>4~6<br>18~20 | -                         |
| OJJ020 |            | 実践!Javaプログラミング                                    | ¥64,800  | 2日    | マシン演習           | 東京(大森)                    |              |              |              |                       | 29~30        | 17~18                          | -                         |
| NWJ145 | <b>New</b> | システムを危険から守る!セキュアプログラミング                           | ¥43,200  | 1日    | マシン演習           | 東京(大森)                    |              |              |              |                       |              | 2, 11                          | -                         |
| OJJ028 | <b>New</b> | Javaによる保守開発のためのリファクタリング                           | ¥75,600  | 2日    | マシン演習           | 東京(大森)                    |              |              |              |                       |              | 19~20                          | -                         |
| OJE025 |            | <eラーニング>【マシン演習付き】Java SE 7 パフォーマンス・チューニング         | ¥289,008 | 21時間  | eラーニング<br>目標コース | 学習開始日                     | 11           | 9            | 6            | 4                     | 1            | 12                             | サービス有効期間は90日間です           |
| OJE022 |            | <eラーニング>資格試験準備セミナー: OCJP Bronze SE 7/8(受験チケット付)   | ¥43,416  | 7時間   | eラーニング<br>目標コース | 学習開始日                     | 11           | 9            | 6            | 4                     | 1            | 12                             | サービス有効期間は180日間です          |
| OJE023 |            | <eラーニング>資格試験準備セミナー: OCJP Silver SE 8(受験チケット付)     | ¥57,456  | 7時間   | eラーニング<br>目標コース | 学習開始日                     | 11           | 9            | 6            | 4                     | 1            | 12                             | サービス有効期間は180日間です          |
| OJE024 |            | <eラーニング>資格試験準備セミナー: OCJP Gold SE 8(受験チケット付)       | ¥57,456  | 7時間   | eラーニング<br>目標コース | 学習開始日                     | 11           | 9            | 6            | 4                     | 1            | 12                             | サービス有効期間は180日間です          |
| COBOL  |            |   |          |       |                 |                           |              |              |              |                       |              |                                |                           |
| -      |            | PAD入門(自習テキスト)                                     | ¥1,620   | 平均6時間 | 自習テキスト          |                           |              |              |              |                       |              |                                | -                         |
| CBJ002 |            | COBOLプログラミング基礎編(PAD)                              | ¥81,000  | 3日    | マシン演習           | 東京(大森)                    |              |              |              |                       |              | 17~19                          | -                         |
| CBJ004 | 休講         | COBOLプログラミング応用編(PAD)                              | ¥105,840 | 4日    | マシン演習           |                           |              |              |              |                       |              |                                | -                         |

\*受講料(税込)は、2019年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の新税率を適用した金額となります。  
 \*日立製品講座のJP1の認定試験付コースおよびクラウド/サーバ仮想化講座のAWSの受験/バウチャット付コース(コースコード末尾「TJ」)の受講料はカッコ内に表示しています。  
 \*自習テキストの受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。  
 \*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

**New**: 新設コース **Revised**: 改訂コース **休講**: 今期の定期開催はありません  
**スマートデバイス対応**: ハンズオン・スマートデバイスどちらも学習できるタイプのeラーニングです。 **PDU**: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。  
 学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.63)を参照ください。



Table with columns: Course Code, Opening Area, Course Name, Tuition (Tax Inclusive)\*, Days/Average Learning Time, Learning Format, Opening Area, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, (e-Learning) Service Validity Period / Learning End Date.

情報リテラシ

Table with columns: Course Code, Opening Area, Course Name, Tuition (Tax Inclusive)\*, Days/Average Learning Time, Learning Format, Opening Area, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, (e-Learning) Service Validity Period / Learning End Date.

情報リテラシ(掲載ページ: P. 222 ~)

Table with columns: Course Code, Opening Area, Course Name, Tuition (Tax Inclusive)\*, Days/Average Learning Time, Learning Format, Opening Area, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, (e-Learning) Service Validity Period / Learning End Date.

プロジェクトマネジメント

Table with columns: Course Code, Opening Area, Course Name, Tuition (Tax Inclusive)\*, Days/Average Learning Time, Learning Format, Opening Area, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, (e-Learning) Service Validity Period / Learning End Date.

プロジェクトマネジメント(掲載ページ: P. 225 ~)

Table with columns: Course Code, Opening Area, Course Name, Tuition (Tax Inclusive)\*, Days/Average Learning Time, Learning Format, Opening Area, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, (e-Learning) Service Validity Period / Learning End Date.

\*受講料(税込)は、2019年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時点の最新税率を適用した金額となります。

Table with columns: Course Code, Opening Area, Course Name, Tuition (Tax Inclusive)\*, Days/Average Learning Time, Learning Format, Opening Area, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, (e-Learning) Service Validity Period / Learning End Date.

New: 新設コース | 改訂コース | 休講: 今期の定期開催はありません | スマートデバイス対応: ハンコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 | PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



Table with columns: Course Code, Opening Area, Course Name, Fee (tax included), Days/Average Learning Time, Learning Format, Opening Area, and dates from April to September. Includes sections for '意思決定', 'セールス', 'ネゴシエーション', '2Wayコミュニケーション', and 'リーダーシップ'.

※受講料(税込)は、2019年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の新税率を適用した金額となります。

Table with columns: Course Code, Opening Area, Course Name, Fee (tax included), Days/Average Learning Time, Learning Format, Opening Area, and dates from April to September. Includes sections for '戦略・マーケティング' and '業務知識'.

※受講料(税込)は、2019年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の新税率を適用した金額となります。

TOPICS 1 日 立講習会 / コース活用例 2 開催コース / スケジュール一覧 3 講座別コースフロー / コースカリキュラム 4 研修会場 5 お申込方法 6 受講規約

2 開催コース / スケジュール一覧

| コースコード     | 開催区分    | コース名                                      | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態            | 開催地区  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | (eラーニング)サービス有効期間/学習終了日            |
|------------|---------|---|----------|-----------|-----------------|-------|----|----|----|----|----|----|-----------------------------------|
| ビジネス/ヒューマン |         |   |          |           |                 |       |    |    |    |    |    |    |                                   |
| HSE115     | Renewal | <eラーニング>(PDU)中国古典に見る指導者の条件 PDU            | ¥32,400  | 10時間      | eラーニング<br>録音コース | 学習開始日 | 11 | 9  | 6  | 4  | 1  | 12 | サービス有効期間は56日間です                   |
| HSE113     | Renewal | <eラーニング>(PDU)「貞観政要」に学ぶリーダーの心得 PDU         | ¥32,400  | 10時間      | eラーニング<br>録音コース | 学習開始日 | 11 | 9  | 6  | 4  | 1  | 12 | サービス有効期間は56日間です                   |
| HSE114     | Renewal | <eラーニング>(PDU)「書経」に学ぶリーダーの心得 PDU           | ¥32,400  | 10時間      | eラーニング<br>録音コース | 学習開始日 | 11 | 9  | 6  | 4  | 1  | 12 | サービス有効期間は56日間です                   |
| HSE112     | Renewal | <eラーニング>(PDU)「韓非子」のリーダー学 PDU              | ¥32,400  | 10時間      | eラーニング<br>録音コース | 学習開始日 | 11 | 9  | 6  | 4  | 1  | 12 | サービス有効期間は56日間です                   |
| HSE109     | Renewal | <eラーニング>経世済民の哲学としての朱子学                    | ¥32,400  | 10時間      | eラーニング<br>録音コース | 学習開始日 | 11 | 9  | 6  | 4  | 1  | 12 | サービス有効期間は56日間です                   |
| HSE111     | Renewal | <eラーニング>(PDU)孫子の兵法を現代に役立てる方法 PDU          | ¥32,400  | 10時間      | eラーニング<br>録音コース | 学習開始日 | 11 | 9  | 6  | 4  | 1  | 12 | サービス有効期間は56日間です                   |
| HSE110     | Renewal | <eラーニング>(PDU)リーダーに必要な人間力 三国志から学ぶリーダー学 PDU | ¥32,400  | 10時間      | eラーニング<br>録音コース | 学習開始日 | 11 | 9  | 6  | 4  | 1  | 12 | サービス有効期間は56日間です                   |
| 英語         |         |   |          |           |                 |       |    |    |    |    |    |    |                                   |
| HSE006     | 休講      | <eラーニング>TOEIC® TEST 完全達成 470              | ¥12,960  | 40時間      | eラーニング          |       |    |    |    |    |    |    | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| HSE007     | 休講      | <eラーニング>TOEIC® TEST 完全達成 650              | ¥12,960  | 40時間      | eラーニング          |       |    |    |    |    |    |    | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| HSE008     | 休講      | <eラーニング>TOEIC® TEST 完全達成 730              | ¥12,960  | 40時間      | eラーニング          |       |    |    |    |    |    |    | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |

グローバル

| コースコード               | 開催区分    | コース名   | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態            | 開催地区   | 4月            | 5月            | 6月            | 7月                | 8月        | 9月    | (eラーニング)サービス有効期間/学習終了日            |
|----------------------|---------|--|----------|-----------|-----------------|--------|---------------|---------------|---------------|-------------------|-----------|-------|-----------------------------------|
| グローバル(掲載ページ:P. 265~) |         |  |          |           |                 |        |               |               |               |                   |           |       |                                   |
| GBE010               |         | <eラーニング>(PDU)グローバルビジネスの基礎 -ビジネスルールと多様性-(基本セット) PDU | ¥21,600  | 4時間       | eラーニング          | 学習開始日  | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26 | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11 | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| GBE006               |         | <eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) A.アジア編                 | ¥5,400   | 3時間       | eラーニング          | 学習開始日  | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26 | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11 | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| GBE007               |         | <eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) B.ロシア、インド、イスラム編        | ¥5,400   | 3時間       | eラーニング          | 学習開始日  | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26 | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11 | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| GBE008               |         | <eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) C.ヨーロッパ編               | ¥5,400   | 3時間       | eラーニング          | 学習開始日  | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26 | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11 | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| GBE009               |         | <eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) D.アメリカ、オセアニア編          | ¥5,400   | 3時間       | eラーニング          | 学習開始日  | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26 | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11 | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| GBD001               |         | 情理と論理のグローバルコミュニケーション -日本文化に根ざし、人間力で考える戦略思考-        | ¥54,000  | 1日        | グループ演習          | 東京(大森) |               | 8             |               |                   |           |       | -                                 |
| GBE023               | Renewal | <eラーニング>(PDU)中国ビジネスの鉄則 PDU                         | ¥32,400  | 10時間      | eラーニング<br>録音コース | 学習開始日  | 11            | 9             | 6             | 4                 | 1         | 12    | サービス有効期間は56日間です                   |
| GBE024               | Renewal | <eラーニング>(PDU)インドビジネスの鉄則 PDU                        | ¥32,400  | 10時間      | eラーニング<br>録音コース | 学習開始日  | 11            | 9             | 6             | 4                 | 1         | 12    | サービス有効期間は56日間です                   |

\*受講料(税込)は、2019年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の新税率を適用した金額となります。  
 \*日立製品講座のJP1の認定試験付コースおよびクラウド/サーバ仮想化講座のAWSの受験/バウチャケット付コース(コースコード末尾「TJ」)の受講料はカッコ内に表示しています。  
 \*自習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。  
 \*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

学び直しシリーズ eラーニング

| コースコード        | 開催区分    | コース名  | 受講料(税込)* | 日数/平均学習時間 | 学習形態   | 開催地区  | 4月            | 5月            | 6月            | 7月                | 8月        | 9月    | (eラーニング)サービス有効期間/学習終了日            |
|---------------|---------|---|----------|-----------|--------|-------|---------------|---------------|---------------|-------------------|-----------|-------|-----------------------------------|
| ビジネス/ヒューマン    |         |   |          |           |        |       |               |               |               |                   |           |       |                                   |
| 思考法           |         |   |          |           |        |       |               |               |               |                   |           |       |                                   |
| HSE035        |         | <eラーニング>【学び直し】ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント- | ¥18,360  | 8時間       | eラーニング | 学習開始日 | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26 | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11 | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| プレゼンテーション     |         |   |          |           |        |       |               |               |               |                   |           |       |                                   |
| HSE039        |         | <eラーニング>【学び直し】ロジカルプレゼンテーション基礎                 | ¥18,360  | 8時間       | eラーニング | 学習開始日 | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26 | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11 | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| 2Wayコミュニケーション |         |   |          |           |        |       |               |               |               |                   |           |       |                                   |
| HSE041        |         | <eラーニング>【学び直し】報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎          | ¥9,720   | 4時間       | eラーニング | 学習開始日 | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26 | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11 | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| HSE042        |         | <eラーニング>【学び直し】リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップ       | ¥10,800  | 4時間       | eラーニング | 学習開始日 | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26 | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11 | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| HSE043        |         | <eラーニング>【学び直し】アサーティブ・コミュニケーション                | ¥10,800  | 4時間       | eラーニング | 学習開始日 | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26 | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11 | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| リーダーシップ       |         |   |          |           |        |       |               |               |               |                   |           |       |                                   |
| HSE045        |         | <eラーニング>【学び直し】メンバーシップとチームワーク                  | ¥8,640   | 4時間       | eラーニング | 学習開始日 | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26 | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11 | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| HSE108        | Renewal | <eラーニング>【学び直し】リーダーシップの原理・原則                   | ¥10,800  | 4時間       | eラーニング | 学習開始日 | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26 | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11 | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |
| HSE047        |         | <eラーニング>【学び直し】コーチング基礎                         | ¥10,800  | 4時間       | eラーニング | 学習開始日 | 3, 10, 17, 24 | 8, 15, 22, 29 | 5, 12, 19, 26 | 3, 10, 17, 24, 31 | 7, 21, 28 | 4, 11 | 開始日にかかわらず<br>学習終了日は9月30日<br>になります |

New : 新設コース    Renewal : 改訂コース    休講 : 今期の定期開催はありません

【スマートデバイス対応】: パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 PDU : PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

学習形態: 3. 「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.63)を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.com.jp/>

## eラーニングコースのご紹介

ビジネススタイルやライフスタイルが多様化する中、自分の空いた時間を有効活用して知識やスキルを修得できる「eラーニング」は、非常に有効な研修方法です。

| オリジナルeラーニング   | マシン演習付き<br>オリジナルeラーニング | 提携コースeラーニング  |
|---|------------------------|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>ナビ機能付きeラーニング</li> <li>スキル定着を支援するeラーニング</li> <li>動画型eラーニング</li> <li>学び直しシリーズeラーニング</li> </ul> |                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>Oracleトレーニング・オンデマンド eラーニング</li> <li>アイテック社 情報処理技術者試験対策 eラーニング</li> <li>SBI大学院 eラーニング</li> <li>ライトワークス社 Microsoft Officeシリーズ eラーニング</li> </ul> |

種類やコースによってサービス提供期間や学習利用環境(PCおよびWeb環境)が異なります。サービス提供期間については、「開催コース/スケジュール一覧」(P.32～)または当社のホームページでご確認ください。学習利用環境については、当社のホームページでご確認いただけます。

## ナビ機能付きeラーニング

1つのコースを細かく複数の学習コンテンツ(チャンク)に分離し、プレテストで学習の必要度を判断しながら学習を進められるeラーニングです(既に理解しているチャンクは、スキップが可能)。また、学習コンテンツへのメモ書き込みやブックマーク保存、キーワードのWeb検索機能により、受講者の学習を支援します。

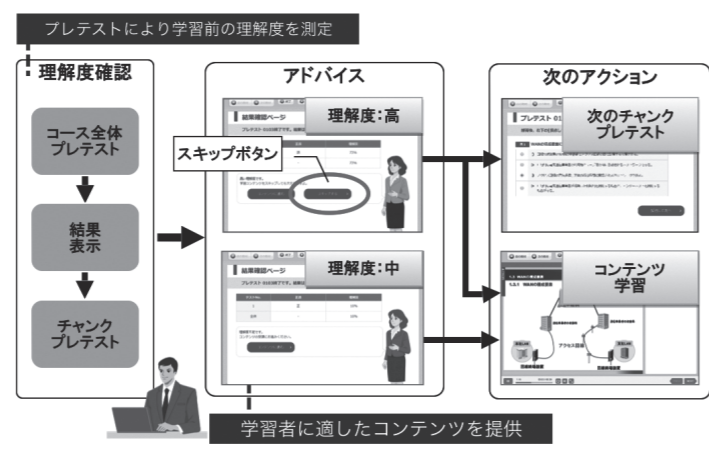
### ナビ機能付きeラーニングの特長

学習者毎に学習内容を最適化し、提供するeラーニングです。学習をチャンク\*と呼ばれる短い単位で区切ることで、細かく理解度を測りながら段階的に学習を進めることができます。

また、修了試験の結果から、理解度が不十分な箇所のみ、再学習できるようになっています。

\*チャンク: 5~15分程度の短い学習コンテンツ

- Point 1** 学習前の知識レベルに応じて必要な学習内容を判断しながら進めるため、学習時間を短縮できます。
- Point 2** 学習前に自分の理解度を知ることで、学習への動機が明確になります。



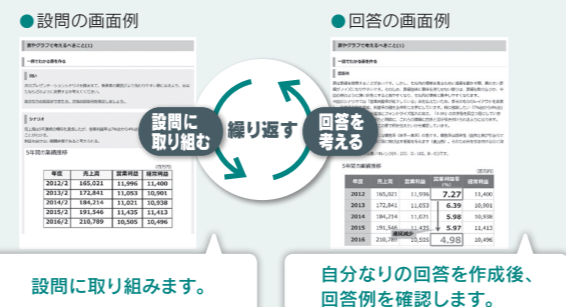
## スキル定着を支援するeラーニング

「知識(わかる)」を「スキル(できる)」に! スキル定着を支援するeラーニングです。

### スキル定着を支援するeラーニングの特長

学習者の「知識(わかる)」を「スキル(できる)」にレベルアップさせる学習経験の機会を拡大し、さらなる主体的、継続的な学習や「実践力(使える)」の養成に向けたスキル定着のプロセスを支援します。

- Point 1** 繰り返し設問に取り組むことにより、知識がスキルとして定着することを支援します。
- Point 2** 実務ベースで起こりうるシーンを設問に取り入れているため、すぐに業務に活用できます。



さらなるレベルアップをめざした継続的な学習や実践力養成をめざしたスキル定着を支援するeラーニング!

## 動画型eラーニング

講義のプレゼンテーション画面や業務用アプリケーションなどのソフトウェア操作画面を、講師の説明音声とともに、動画にて学習できるeラーニングです。

## 学び直しシリーズ eラーニング

すでに業務で実践経験があり、知識・スキルを体系的に学ぶことにより、さらに意識を高めたり、業務の効果・効率を向上したい方のためのeラーニングです。

## マシン演習付きオリジナルeラーニング

従来のコンテンツによる学習やテストに加え、クラウド上のマシン環境で操作演習できるeラーニングです。

### マシン演習付きオリジナルeラーニングの特長

学習者主体の学びが実現できるeラーニングに、クラウド上のマシン演習環境を合わせてご提供いたします。eラーニングで理解した内容をクラウド上のマシンで操作演習し、知識とスキルを定着させます。

- Point 1** Webブラウザとインターネット環境があれば、実機演習を用いた学習をすぐに開始できます。  
\*学習教材はPDFファイルにて提供いたします。
- Point 2** ご自身のペースで実機演習に取り組みます。
- Point 3** 受講期間中は、何度でもマシン演習環境を利用できます。

## 提携コースeラーニング

提携コースeラーニングは、各社に委託し提供しているeラーニングとなります。このeラーニングは、提携各社のサービスを利用します。(学習利用環境、学習要領など提携コースごとに異なりますので、あらかじめご了承ください)

- 提携コースeラーニングには、以下のコースがあります。
- Oracleトレーニング・オンデマンド eラーニング
  - アイテック社 情報処理技術者試験対策 eラーニング
  - SBI大学院 eラーニング
  - ライトワークス社 Microsoft Officeシリーズ eラーニング

## eラーニングの学習利用環境

eラーニングのコースによって学習利用環境が異なります。

学習利用環境 学習利用環境については、下記のページをご確認ください。  
<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/el/index.html>

## eラーニングシステム変更についてのお知らせ

2019年4月からeラーニングシステムの環境が新しく変わります。これに伴う変更点は下記のとおりです。

### (1) オリジナルeラーニングのサービス提供期間終了日

開始日にかかわらずサービス提供期間終了日は各期の当社最終営業日となります。(9月末または3月末) 開始日によっては従来のサービス期間3ヶ月から、最大6ヶ月まで期間が延長されますが、期末に近い開始日では学習期間が短くなりますので、お申し込み時に確認をお願いいたします。なお、マシン演習付きオリジナルeラーニングと提携コースeラーニングのサービス提供期間は、従来どおりコースごとに設定された期間で変更はございません。

### (2) ご利用時間

メンテナンス日を除き、サービスの提供時間は24時間365日となります。メンテナンスの日程は当社のホームページでお知らせします。

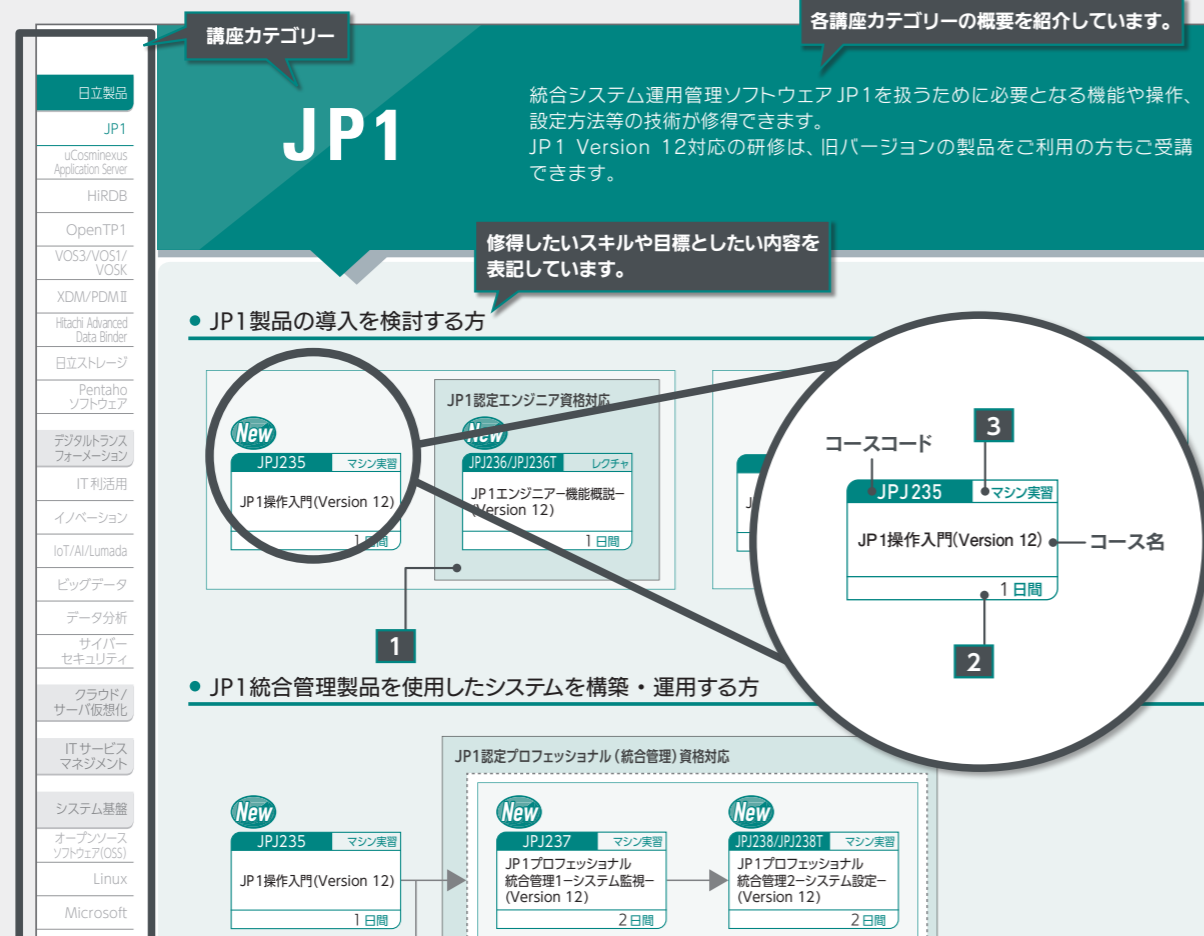
## 受講レベル確認サービスのご紹介

いつでもどなたでもご利用できるサービスです。事前にコースの前提知識を確認することにより、効果的に受講することができます。また、実力の把握などに活用することもできます。詳細は、当社のホームページからご利用ください。



お客様の人財育成に役立てていただけるよう適切な体系を考え、また各種スキル標準に沿ったかたちで、さまざまなカリキュラムをご用意しています。37の講座カテゴリーに分類し、体系的に学習し、効率的なスキルアップを図れるよう、コースフローを紹介しています。

コースフロー参照の **POINT!**



講座カテゴリー

日立製品研修

- 日立製品
- ・ JP1
- ・ uCosminexus Application Server
- ・ HiRDB
- ・ OpenTP1
- ・ VOS3/VOS1/VOSK
- ・ XDM/PDM II
- ・ Hitachi Advanced Data Binder
- ・ 日立ストレージ
- ・ Pentaho ソフトウェア

IT/ビジネス研修

- デジタルトランスフォーメーション
- ・ IT 活用
- ・ イノベーション
- ・ IoT/AI/Lumada
- ・ ビッグデータ
- ・ データ分析
- ・ サイバーセキュリティ
- クラウド / サーバ仮想化
- IT サービスマネジメント
- システム基盤
- ・ オープンソースソフトウェア (OSS)
- ・ Linux
- ・ Microsoft
- ・ ネットワーク
- ・ セキュリティ
- ・ データベース
- IT 戦略・IS 企画 / システム設計
- ・ IT 戦略・IS 企画
- ・ システム設計
- アプリケーション開発
- ・ Web アプリケーション
- ・ スマートデバイス
- ・ オブジェクト指向 /UML
- ・ 言語
- IT 基本
- ・ IT 基本
- ・ ハードウェア
- ・ 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス / ヒューマン
- グローバル

コースカリキュラム参照の **POINT!**

**コースコード**

JPJ235 JP1

**コース名**

JP1操作入門 (Version 12) New

1日間

3

2

JP1の代表的な5製品の基本操作を、マシン実習を通して学習します。

**到達目標**

- ・ JP1の主要5製品の特徴を説明できる。
- ・ JP1/Automatic Job Management System3 (ジョブ管理)で業務を自動実行するための基本操作ができる。
- ・ JP1/IT Desktop Management2(資産・配布管理)で資産管理をするための基本操作ができる。
- ・ JP1/Network Node Manager i(ネットワーク管理)でネットワークの監視をするための基本操作ができる。
- ・ JP1/Performance Management (パフォーマンス管理)で稼働情報を監視するための基本操作ができる。
- ・ JP1/Integrated Management Manager (統合管理)でシステム監視するための基本操作ができる。

**対象者**

- ・ JP1を使用してシステム運用管理をする方。
- ・ JP1の導入を検討する方。

**前提知識**

オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語をご存知で、かつMicrosoft Windowsの操作経験があること。

**内容**

1. システム運用管理とJP1
2. ジョブ管理の操作入門
3. 資産・配布管理の操作入門
4. ネットワーク管理の操作入門
5. パフォーマンス管理の操作入門
6. 統合管理の操作入門

**備考**

- ・ このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・ このコースは、JP1 Version 12対応です。
- ・ JP1 Version 11をご利用の方でもご受講できます。
- ・ マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

**分野名**

JPE016 JP1

**<eラーニング>**

JP1機能概説 (Version 11) Renewal

平均6時間

2

1

すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。

**到達目標**

- ・ JP1製品の特徴が説明できる。
- ・ 各管理製品にどのような製品があるか説明できる。
- ・ 各管理の主要製品の主な機能を説明できる。

**対象者**

- ・ JP1製品の導入を検討する方。
- ・ JP1のシステム構築・販売をする方。

**前提知識**

オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語をご存知のこと。

**内容**

1. JP1の基礎知識
2. オートメーション
3. モニタリング
4. コンプライアンス
5. 修了試験

**備考**

- ・ 終了日は9月30日になります。
- ・ このコースは、JP1 Version 11対応です。
- ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

アイコン凡例

1 開催区分

- New 新設コース
- Renewal 改訂コース
- 休講 今期の定期開催はありません

2 開催日数/平均学習時間

コースの開催日数となります。  
eラーニング、自習テキスト・演習環境の場合は平均学習時間を表記しています。

3 学習形態

学習形態により学習利用環境が異なりますので、ホームページをご参照のうえ、事前に環境をご確認ください。

【集合研修】

- 原則として1人1台のマシンを使用しながらの研修
- グループ演習を中心とした研修
- 座学による研修

【演習環境】

- 職場・ご自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習

【研修室自習型】

- 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習

【自習テキスト】

- 職場・ご自宅など自習テキストによる自己学習

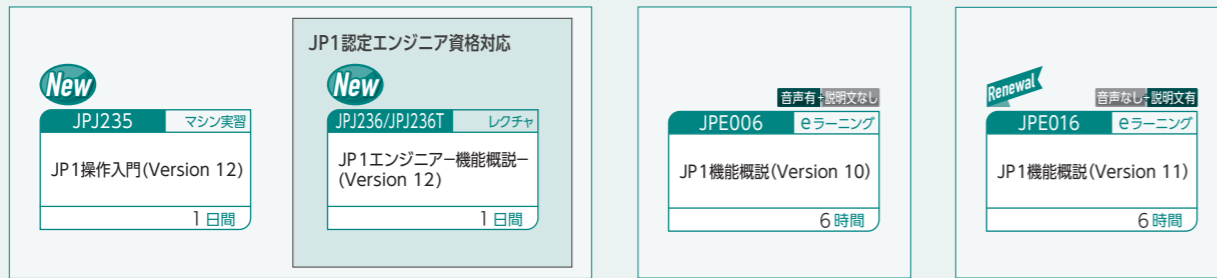
【eラーニング】

- オリジナルeラーニング**
  - ・ ナビ機能付き eラーニング
  - ・ スキル定着 eラーニング
  - ・ 動画型 eラーニング
  - ・ 学び直しシリーズ eラーニング
- マシン演習付きオリジナルeラーニング**
- 提携コースeラーニング**
  - ・ Oracleトレーニング・オンデマンド eラーニング
  - ・ アイテック社 情報処理技術者試験対策 eラーニング
  - ・ SBI大学院 eラーニング
  - ・ ライトワークス社 Microsoft Officeシリーズ eラーニング

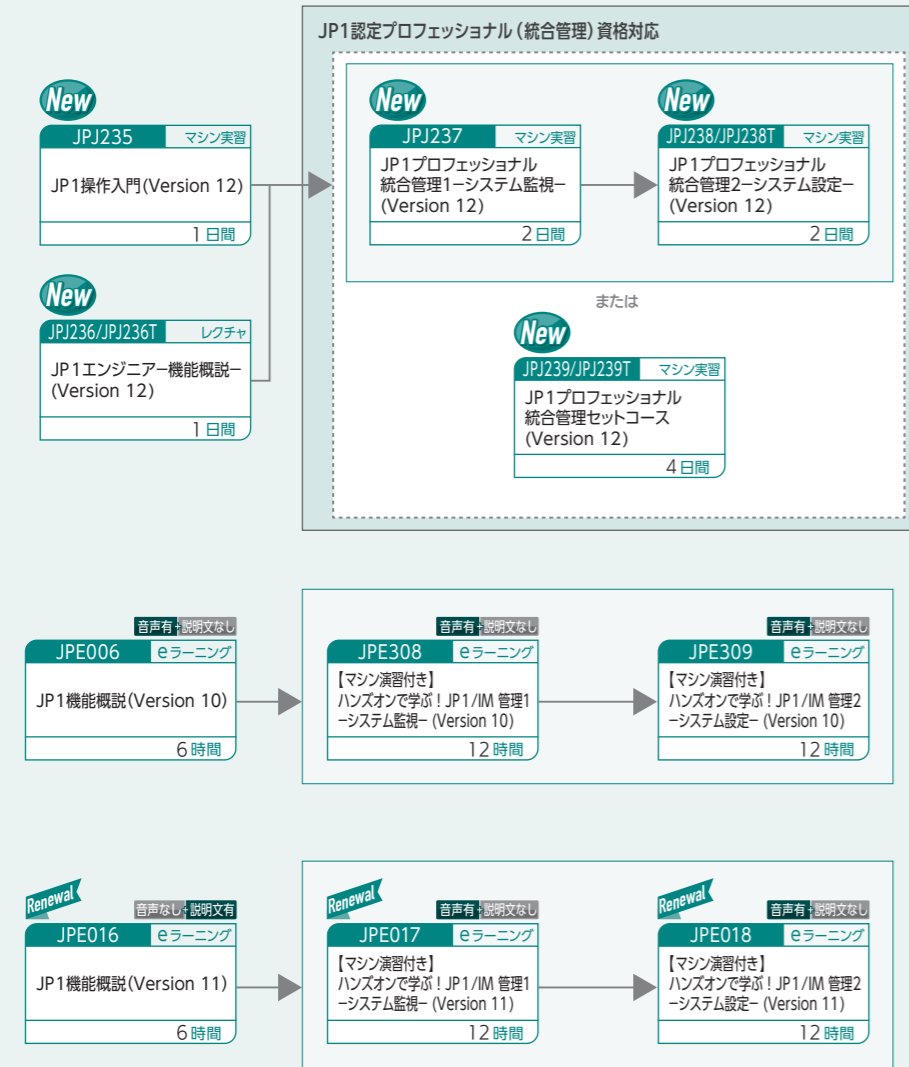
# JP1

統合システム運用管理ソフトウェア JP1 を扱うために必要となる機能や操作、設定方法等の技術が修得できます。JP1 Version 12 対応の研修は、旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

### ● JP1 製品の導入を検討する方



### ● JP1 統合管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



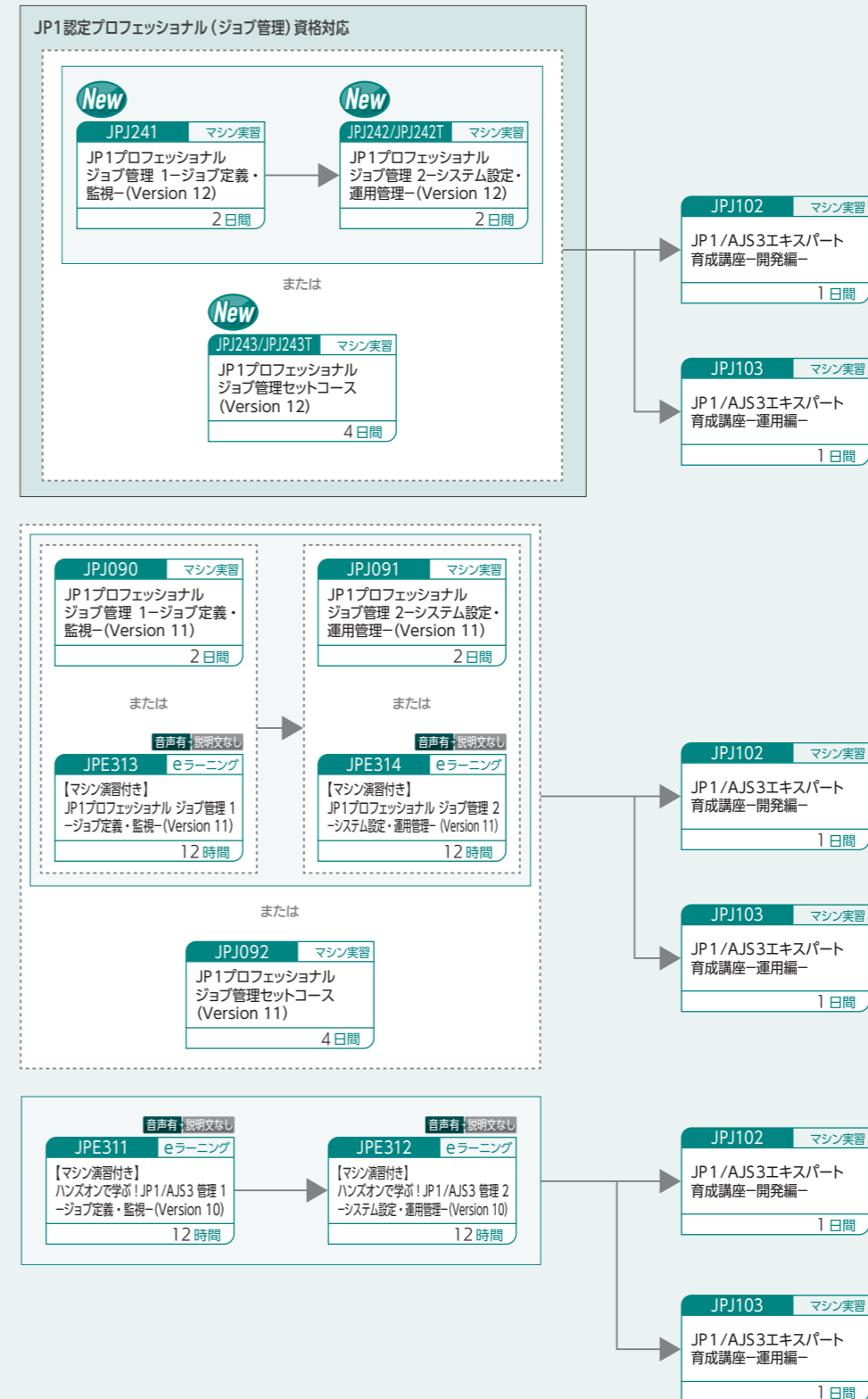
**音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。  
**音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。  
**音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におススメ** : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

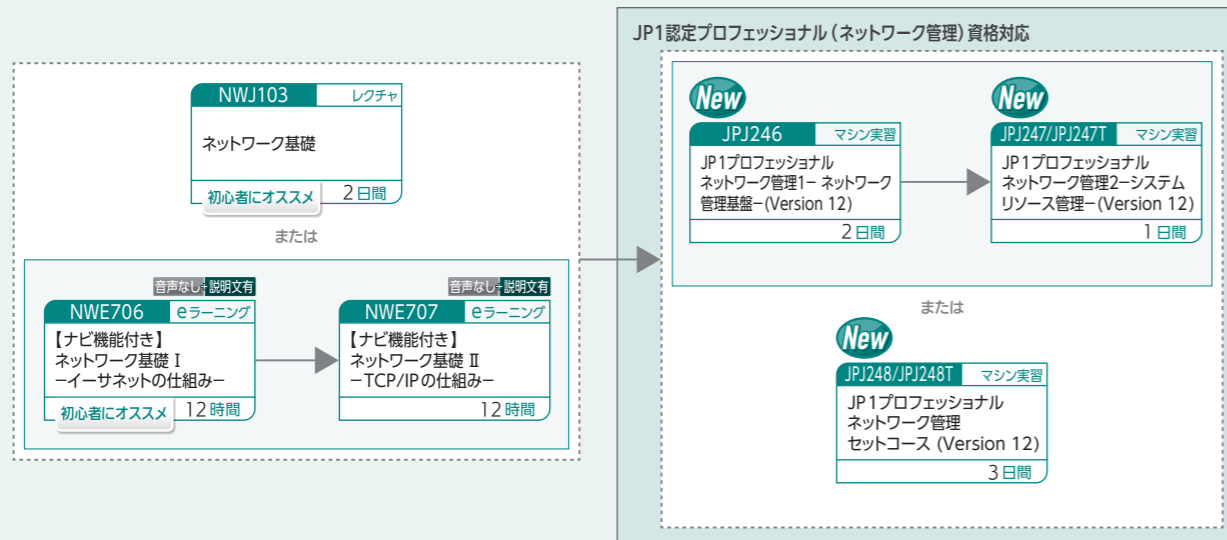
### ● JP1 IT運用自動化製品を使用したシステムを構築・運用する方

**New**  
JPJ244 マシニング  
JP1プロフェッショナル  
IT運用自動化  
(Version 12)  
2日間

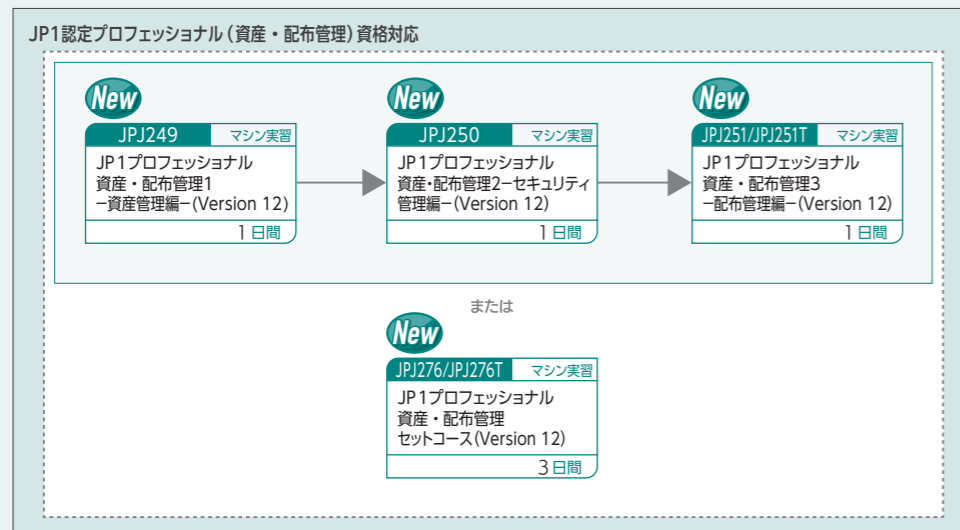
### ● JP1 ジョブ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



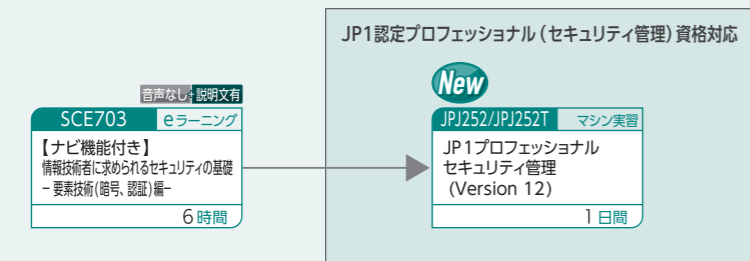
● JP1 ネットワーク管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



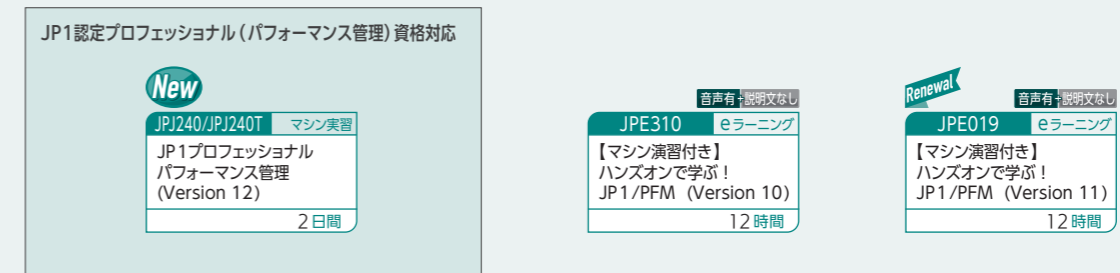
● JP1 資産・配布管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



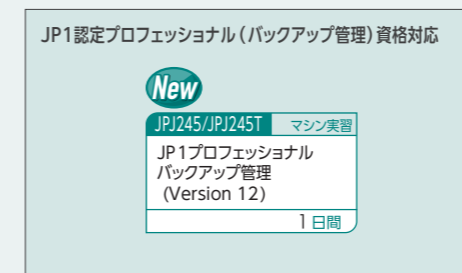
● JP1 セキュリティ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



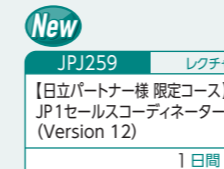
● JP1 パフォーマンス管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



● JP1 バックアップ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



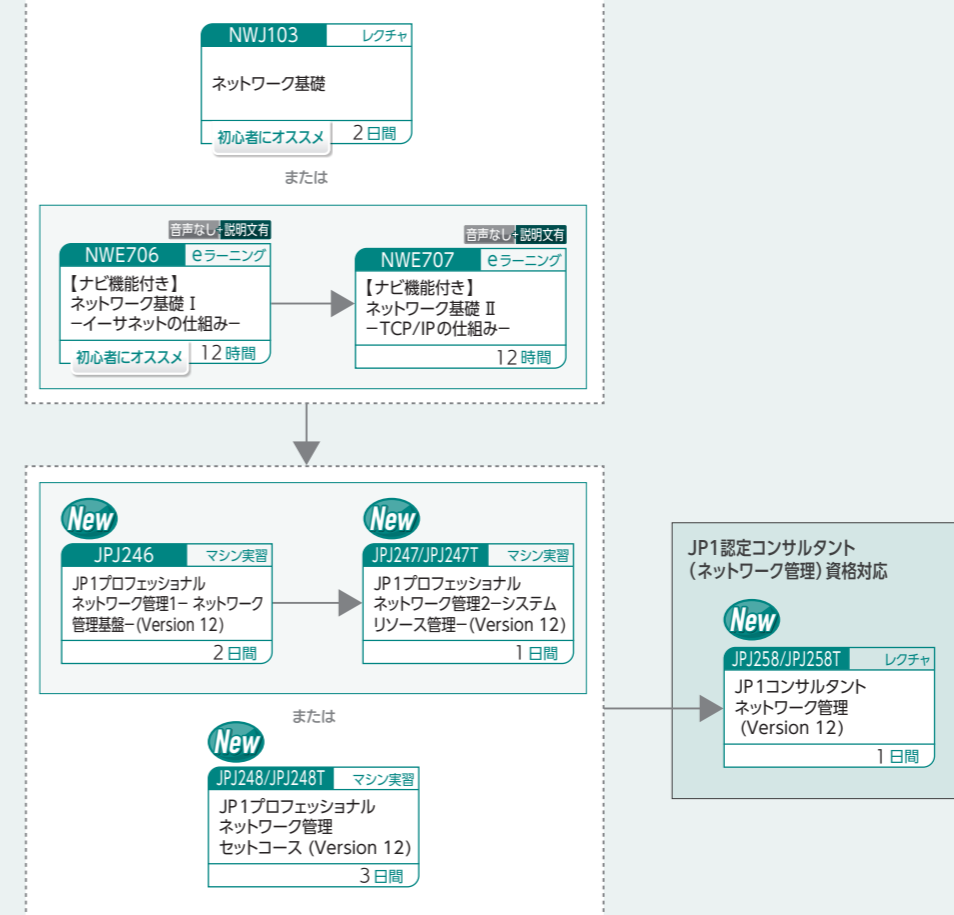
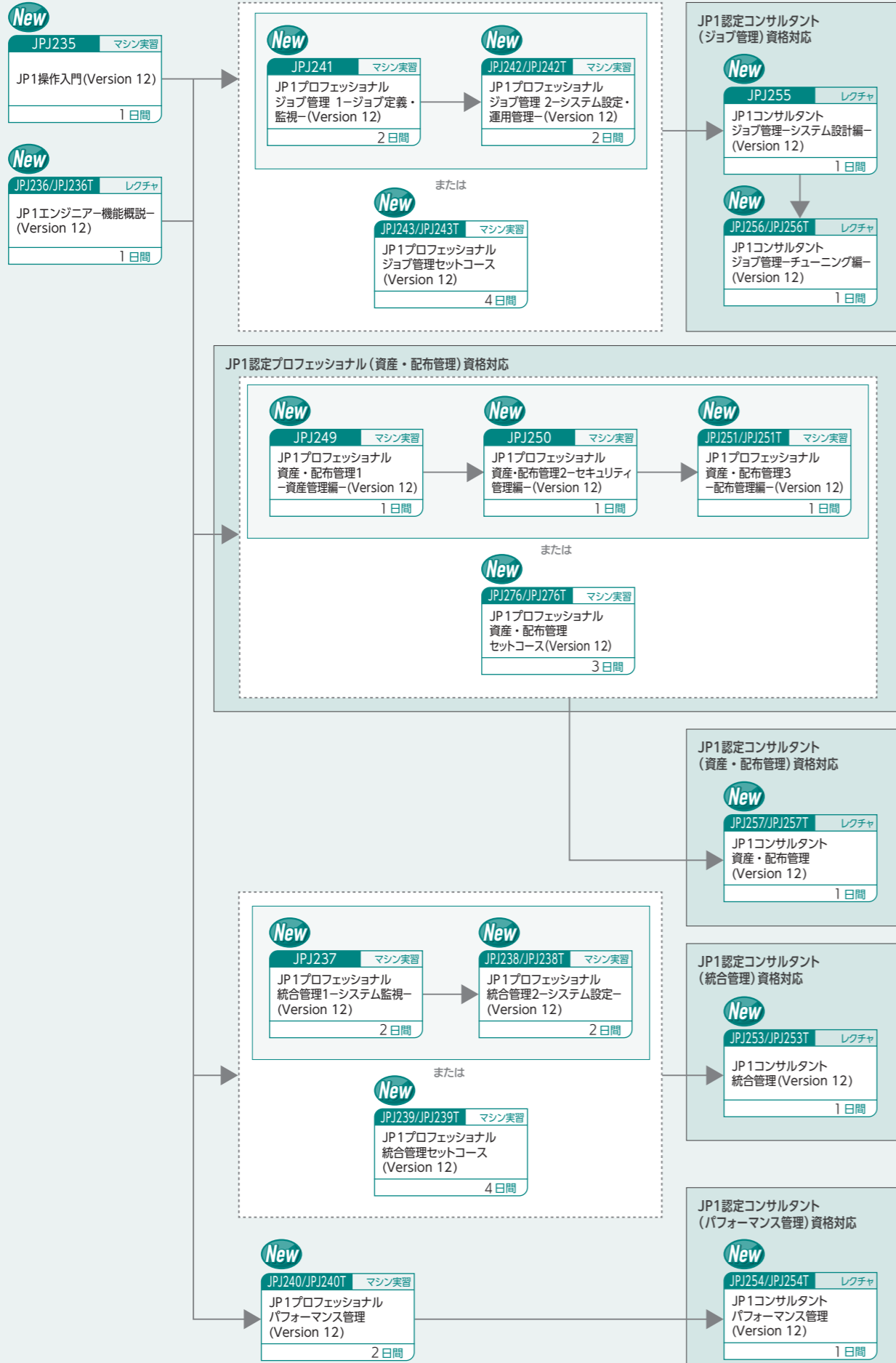
● JP1 の販売に携わる方



音声有+説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。  
 音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。  
 音声なし+説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● JP1 の各カテゴリ製品のシステム設計をする方



音声有+説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。  
 音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。  
 音声なし+説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

# 日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度 — オープンミドルウェア編

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度(オープンミドルウェア編)は、JP1製品を対象に、一定以上のスキルを有する技術者を日立が認定する制度です。セールスからシステム構築・運用、アプリケーション開発まで目的ごと、さらにレベルごとに資格を設け、「試験」により、厳格・公正な評価基準でそのスキルレベルを認定します。

## 資格取得をサポート

試験合格をサポートする学習コース「講座」もご用意しております。講座は、試験に準拠した内容となっており、かつ高度な知識やノウハウを体系的・効率的に学べる、と大変好評をいただいております。

## 信頼と安心の技術者資格認定

資格取得者は、そのスキルレベルを客観的に示すことができ、日立オープンミドルウェア各製品をご利用いただくお客様、ソリューションやサービスを提供する方々から高い信頼と評価を得ることができます。また、人材育成や技術者のテクニカルスキルをはかる尺度としても活用できます。

## 資格取得者の特典

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度では、資格取得者に対して専用のWebサイトをご用意し、資格のバージョンアップや継続してスキルアップを図るための技術情報をご提供しております。(ご希望の方にはメールでもご案内しております。)

また、認定証や名刺に貼ってご利用いただける認定ロゴシールや印刷して使用できるロゴも資格者専用の会員サイトにてご提供しております。

### <受験にあたってのお願い>

- ・受験当日は、ご本人を確認できる顔写真付き証明書(免許証、従業員証、パスポートなど)を忘れずにご持参ください。ご持参いただかない場合は、受験が無効になることがありますので、ご注意ください。
- ・認定試験はマークシート方式のため、鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック製消しゴムをご持参ください。
- ・試験付コースをお申し込みの場合は、お申し込みの情報を日立オープンミドルウェア技術者認定センターに提供いたします。

## JP1 技術者資格認定試験一覧

| 試験名                                   | 試験内容    | 認定基準    | 試験時間 |
|---------------------------------------|---------|---------|------|
| <b>JP1認定エンジニア</b>                     | 試験問題20問 | 70%以上正解 | 40分  |
| <b>JP1認定プロフェッショナル</b><br>(各カテゴリ別認定)   | 試験問題30問 | 70%以上正解 | 60分  |
| <b>JP1認定コンサルタント</b><br>(各カテゴリ別認定)     | 試験問題30問 | 70%以上正解 | 60分  |
| <b>JP1認定セールスコーディネーター</b> <sup>※</sup> | 試験問題20問 | 70%以上正解 | 30分  |

**CBT** CBT試験サービス会社で受験できる試験 **日立** 当社で研修とともに受験できる試験

※日立パートナー様のみ受験可能です。

資格認定試験は、(株)日立製作所が提供するものです。

運営は、(株)日立インフォメーションアカデミーおよびCBT試験サービス会社に委託しています。

※受験可能なCBT試験サービス会社は下記のホームページでお確かめください。

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度サイト ▶▶ **JP1** <http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/jp1/event/cert/index.html>

### ● JP1 技術者資格認定制度の詳細・最新情報について

<http://www.hitachi.co.jp/products/it/cert/middleware/index.html>

### ● (株)日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 日立オープンミドルウェア技術者認定センター お問い合わせ窓口

[https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert\\_contact/form.jsp](https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert_contact/form.jsp)

マシ学習 マシンを使用しながらの研修 | グループ学習 グループ演習を中心とした研修 | レクチャ 座学による研修 | 演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習 | 研修室自習型 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 | eラーニング インターネット接続による自己学習

# JP1技術者資格認定制度 (Version 12対応)

※Version 11については日立オープンミドルウェア技術者認定センターまでお問い合わせください。

JP1技術者資格認定制度は、JP1の一定以上のスキルを有する技術者を日立が認定する制度です。

セールスからシステム構築・運用まで目的ごと、さらにレベルごとに資格を設け、「JP1試験」により、厳格・公正な評価基準でそのスキルレベルを認定します。

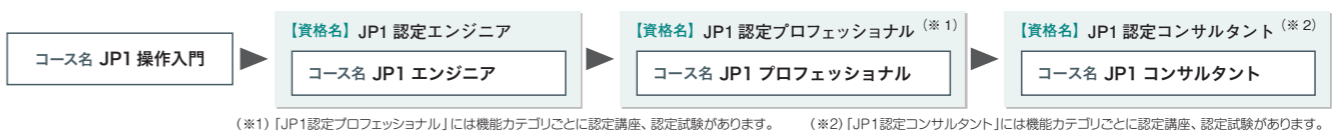
## JP1 技術者資格認定一覧

| 資格名   | 認定スキル  |
|---|--|
| <b>JP1認定エンジニア</b> <Certified JP1 Engineer>                              | JP1全般の理解、および運用に必要なテクニカルスキルを修得したエンジニアを認定します。                      |
| <b>JP1認定プロフェッショナル</b> <Certified JP1 Professional>                      | JP1各カテゴリ製品の導入とシステム構築ができるテクニカルスキルを修得したエンジニアをカテゴリごとに認定します。         |
| <b>JP1認定コンサルタント</b> <Certified JP1 Consultant>                          | JP1各カテゴリ製品について、最適なコンサルテーションができるテクニカルスキルを修得したエンジニアを、カテゴリごとに認定します。 |
| <b>JP1認定セールスコーディネーター</b> <Certified JP1 Sales Coordinator> <sup>※</sup> | お客様に対し最適なJP1の提案・見積もりができるセールススキルを修得したエンジニアを認定します。                 |

※日立パートナー様のみ受験可能です。

## JP1 技術者資格認定制度の体系

### 構築・運用エンジニア JP1の構築・運用に携わる方



### セールスエンジニア JP1の販売に携わる方



## JP1 技術者資格認定制度における出題範囲

| 試験名                            | 試験の出題範囲   |
|--------------------------------|---|
| JP1認定エンジニア                     | 「JP1エンジニア機能概説- (Version 12)」(コースコード: JPJ236)のテキスト内容から出題   |
| JP1認定プロフェッショナル 統合管理            | 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1-システム監視-(Version 12)」(コースコード: JPJ237)、<br>「JP1プロフェッショナル 統合管理 2-システム設定-(Version 12)」(コースコード: JPJ238)のテキスト内容から出題  |
| JP1認定プロフェッショナル パフォーマンス管理       | 「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理(Version 12)」(コースコード: JPJ240)のテキスト内容から出題   |
| JP1認定プロフェッショナル ジョブ管理           | 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-(Version 12)」(コースコード: JPJ241)、<br>「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2-システム設定・運用管理-(Version 12)」(コースコード: JPJ242)のテキスト内容から出題   |
| JP1認定プロフェッショナル 資産・配布管理         | 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1-資産管理編-(Version 12)」(コースコード: JPJ249)、<br>「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2-セキュリティ管理編-(Version 12)」(コースコード: JPJ250)、<br>「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3-配布管理編-(Version 12)」(コースコード: JPJ251)、のテキスト内容から出題   |
| JP1認定プロフェッショナル ネットワーク管理        | 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1-ネットワーク管理基盤-(Version 12)」(コースコード: JPJ246)、<br>「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2-システムリソース管理-(Version 12)」(コースコード: JPJ247)のテキスト内容から出題  |
| JP1認定プロフェッショナル バックアップ管理        | 「JP1プロフェッショナル バックアップ管理(Version 12)」(コースコード: JPJ245)のテキスト内容から出題  |
| JP1認定プロフェッショナル セキュリティ管理        | 「JP1プロフェッショナル セキュリティ管理(Version 12)」(コースコード: JPJ252)のテキスト内容から出題  |
| JP1認定コンサルタント 統合管理              | 「JP1コンサルタント 統合管理(Version 12)」(コースコード: JPJ253)、<br>「JP1プロフェッショナル 統合管理 1-システム監視-(Version 12)」(コースコード: JPJ237)、<br>「JP1プロフェッショナル 統合管理 2-システム設定-(Version 12)」(コースコード: JPJ238)のテキスト内容から出題  |
| JP1認定コンサルタント パフォーマンス管理         | 「JP1コンサルタント パフォーマンス管理(Version 12)」(コースコード: JPJ254)、<br>「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理(Version 12)」(コースコード: JPJ240)のテキスト内容から出題  |
| JP1認定コンサルタント ジョブ管理             | 「JP1コンサルタント ジョブ管理-システム設計編-(Version 12)」(コースコード: JPJ255)、<br>「JP1コンサルタント ジョブ管理-チューニング編-(Version 12)」(コースコード: JPJ256)、<br>「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-(Version 12)」(コースコード: JPJ241)、<br>「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2-システム設定・運用管理-(Version 12)」(コースコード: JPJ242)のテキスト内容から出題 |
| JP1認定コンサルタント 資産・配布管理           | 「JP1コンサルタント 資産・配布管理(Version 12)」(コースコード: JPJ257)、<br>「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1-資産管理編-(Version 12)」(コースコード: JPJ249)、<br>「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2-セキュリティ管理編-(Version 12)」(コースコード: JPJ250)、<br>「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3-配布管理編-(Version 12)」(コースコード: JPJ251)、のテキスト内容から出題    |
| JP1認定コンサルタント ネットワーク管理          | 「JP1コンサルタント ネットワーク管理(Version 12)」(コースコード: JPJ258)、<br>「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1-ネットワーク管理基盤-(Version 12)」(コースコード: JPJ246)、<br>「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2-システムリソース管理-(Version 12)」(コースコード: JPJ247)のテキスト内容から出題  |
| JP1認定セールスコーディネーター <sup>※</sup> | 「JP1セールスコーディネーター (Version 12)」(コースコード: JPJ259)のテキスト内容から出題 ※日立パートナー様のみ受験可能です。  |

自習テキスト 自習書による自己学習 | 休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>







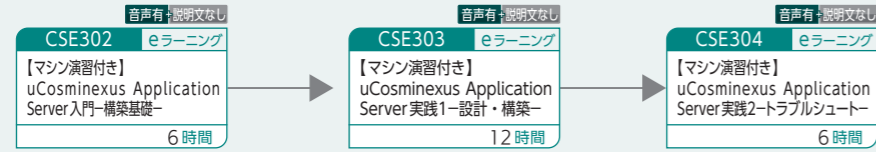




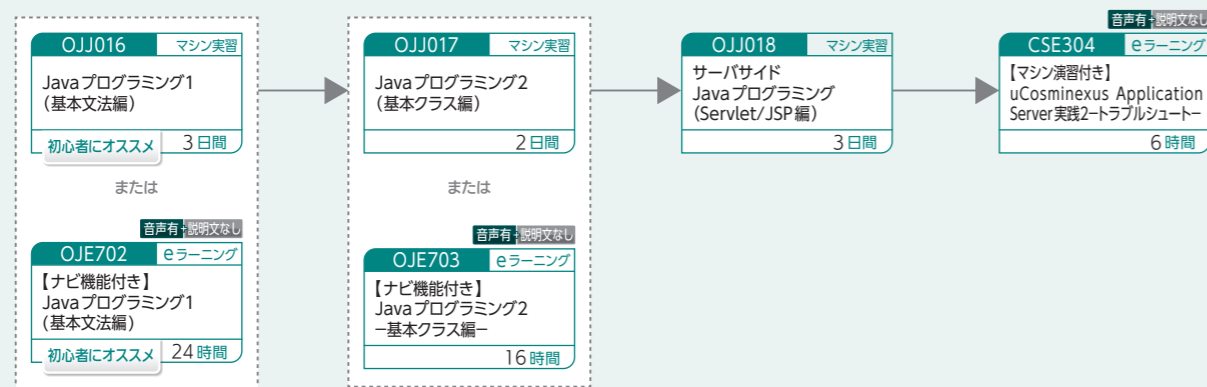
# uCosminexus Application Server

uCosminexus Application Serverを使用したアプリケーション開発やシステム構築を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

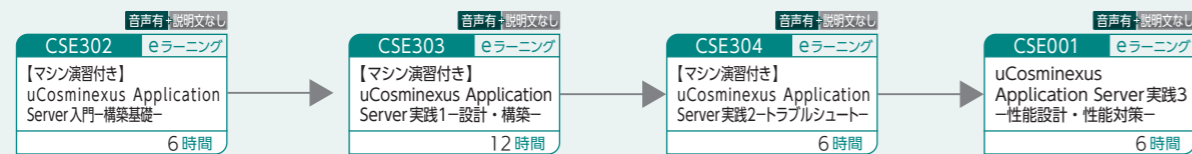
## uCosminexus Application Serverの設計・構築・運用をする方



## uCosminexus Application Serverを使用してWebアプリケーションの開発をする方



## uCosminexus Application Serverを使用したWebシステムの性能設計・性能対策をする方



※下記集合研修のコースについてお問い合わせがある場合は、日立オープンモデルウェア技術者認定センターまでご連絡願います。  
 「CSJ017 uCosminexus Application Server入門-構築基礎-」  
 「CSJ018 uCosminexus Application Server実践1-設計・構築-」  
**【日立オープンモデルウェア技術者認定センター問い合わせ窓口】**  
[https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert\\_contact/form.jsp](https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert_contact/form.jsp)

- 音声有・説明文なし** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文あり** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におススメ** : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

|  |  |
|--|--|
| <b>CSE302</b>  | <b>uCosminexus Application Server</b>  |
|  | <b>&lt;eラーニング&gt;【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 入門-構築基礎-</b>  |
| 平均6時間  |  |
| uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの構築手法を学習します。uCosminexus Application ServerのインストールからWebシステムの構築までを扱います。 |  |
| <b>到達目標</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>uCosminexus Application Serverの機能概要を説明できる。</li> <li>uCosminexus Application Serverを用いて基本的な構成のWebシステムを構築できる。</li> </ul>  |
| <b>対象者</b>   | uCosminexus Application Serverを用いてWebシステムを構築する方、uCosminexus Application Serverの導入を検討している方。   |
| <b>前提知識</b>  | Webアプリケーションに関する基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。  |
| <b>内容</b>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>アプリケーションサーバ概要</li> <li>uCosminexus Application Serverシステム構築の流れ</li> <li>uCosminexus Application Serverのインストール</li> <li>セットアップウィザードを用いたシステム構築</li> <li>運用管理ポータルを用いた操作・設定</li> <li>修了試験</li> </ol>  |
| <b>備考</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>サービス有効期限は21日間です。</li> <li>【お申し込み前に必ずご確認ください】</li> <li>収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)</li> <li>このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。</li> <li>このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。<br/><a href="https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf">https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf</a></li> <li>このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。</li> <li>このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</li> <li>学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。</li> <li>学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。</li> <li>このコースは、集合研修「uCosminexus Application Server 入門-構築基礎-」コース(CSJ017)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。</li> <li>このコースは、「【マシン演習付き】&lt;eラーニング&gt;Cosminexusエンジニア アプリケーションサーバシステム構築基礎-」コースの名称を変更したものです。</li> <li>このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li> </ul> |

|  |   |
|--|---|
| <b>CSE303</b>  | <b>uCosminexus Application Server</b>   |
|  | <b>&lt;eラーニング&gt;【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 実践1-設計・構築-</b>   |
| 平均12時間   |   |
| uCosminexus Application Serverを用いたシステムの設計・構築・運用に必要なノウハウを学習します。 |   |
| <b>到達目標</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>要件にあった運用方法や信頼性確保手順を説明できる。</li> <li>システム構築に使用するパラメータを設計できる。</li> <li>システムの構築・運用ができる。</li> </ul>   |
| <b>対象者</b>   | uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの設計・構築をする方。  |
| <b>前提知識</b>  | 「uCosminexus Application Server 入門-構築基礎-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。さらにWebシステムの構築または運用に携わった経験があること。  |
| <b>内容</b>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>作業概要とシステム基本構成</li> <li>システム基本設計</li> <li>システム詳細設計</li> <li>システム構築</li> <li>修了試験</li> </ol>   |
| <b>備考</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>サービス有効期限は21日間です。</li> <li>【お申し込み前に必ずご確認ください】</li> <li>収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)</li> <li>このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。</li> <li>このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。<br/><a href="https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf">https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf</a></li> <li>このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。</li> <li>このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</li> <li>学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。</li> <li>学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。</li> <li>このコースは、旧「uCosminexus Application Server 実践 2-トラブルシューター」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。</li> <li>このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li> </ul> |

|  |   |
|--|---|
| <b>CSE304</b>  | <b>uCosminexus Application Server</b>   |
|  | <b>&lt;eラーニング&gt;【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 実践2-トラブルシューター-</b>   |
| 平均6時間  |   |
| uCosminexus Application Serverを用いたシステムのトラブルシューターについて学習します。トラブルが発生したときの対処方法を理解できます。 |   |
| <b>到達目標</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>トラブルシューターの流れを説明できる。</li> <li>代表的なトラブルについて、原因を切り分けることができる。</li> </ul>   |
| <b>対象者</b>   | uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの障害対応をする方、JavaEEアプリケーションの開発をする方。   |
| <b>前提知識</b>  | 「uCosminexus Application Server 実践 1-設計・構築-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。さらにJavaEEアプリケーション開発に携わった経験があること。  |
| <b>内容</b>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>トラブルシューターの概要</li> <li>トラブルシューター手順</li> <li>代表的なトラブルの原因切り分け方法</li> <li>修了試験</li> </ol>  |
| <b>備考</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>サービス有効期限は21日間です。</li> <li>【お申し込み前に必ずご確認ください】</li> <li>収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)</li> <li>このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。</li> <li>このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。<br/><a href="https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf">https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf</a></li> <li>このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。</li> <li>このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</li> <li>学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。</li> <li>学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。</li> <li>このコースは、旧「uCosminexus Application Server 実践 2-トラブルシューター」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。</li> <li>このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li> </ul> |

|  |   |
|--|---|
| <b>CSE001</b>  | <b>uCosminexus Application Server</b>   |
|  | <b>&lt;eラーニング&gt;uCosminexus Application Server 実践3-性能設計・性能対策-</b>  |
| 平均6時間  |   |
| uCosminexus Application Server を用いたWebシステムにおいて、要件を満たす性能設計、性能対策について学習します。 |   |
| <b>到達目標</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>性能設計と性能検証の関係について説明できる。</li> <li>要件を満たす性能設計ができる。</li> <li>ボトルネックの要因を分析し、性能対策ができる</li> </ul>   |
| <b>対象者</b>   | uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの性能設計および性能対策をする方。  |
| <b>前提知識</b>  | 「uCosminexus Application Server 実践 1-設計・構築-」および「uCosminexus Application Server 実践 2-トラブルシューター」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。  |
| <b>内容</b>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>性能設計と性能検証</li> <li>性能設計</li> <li>性能検証とチューニング</li> <li>修了試験</li> </ol>  |
| <b>備考</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>終了日は9月30日になります。</li> <li>収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)</li> <li>このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。</li> <li>このコースは、旧「uCosminexus Application Server 実践3-性能設計・性能対策-」コース(集合研修)をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。</li> <li>このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li> </ul> |

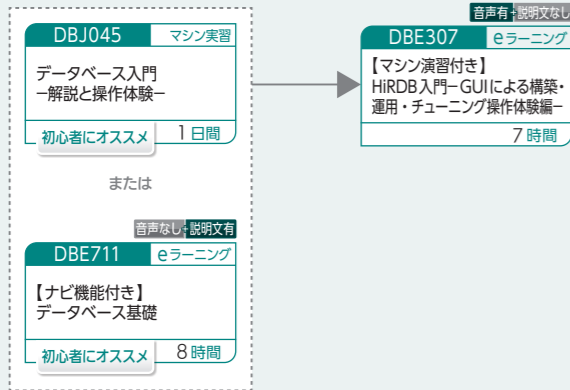
自己学習による自己学習  
 休講 今期の定期開催はありません

マシン演習 マシンを使用しながらの研修  
 グループ演習 グループ演習を中心とした研修  
 レクチャ 座学による研修  
 演習環境 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習  
 研修室自習型 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習  
 eラーニング インターネット接続による自己学習

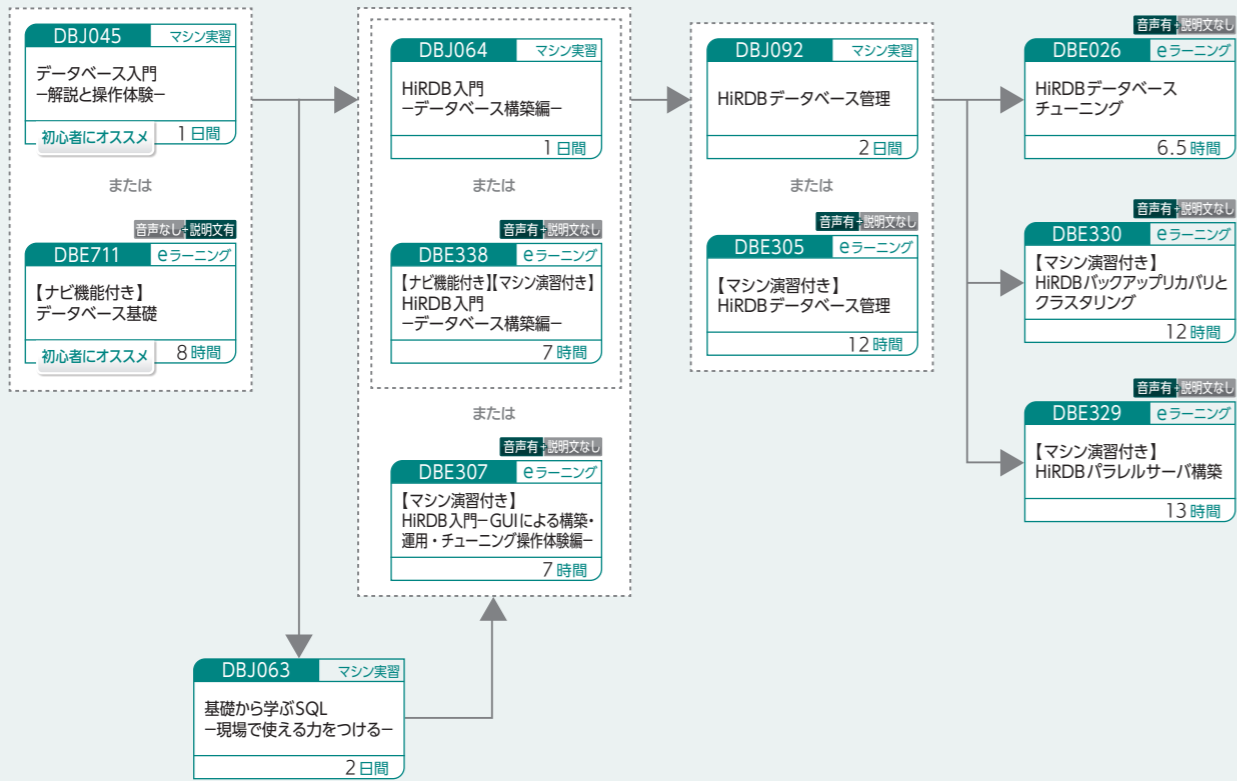
# HiRDB

データベースマネジメントシステムであるHiRDBのシステム運用やアプリケーション開発を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

## ● HiRDBが提供するGUIツールの操作概要を修得したい方



## ● HiRDBを使用してデータベースを構築・運用する方



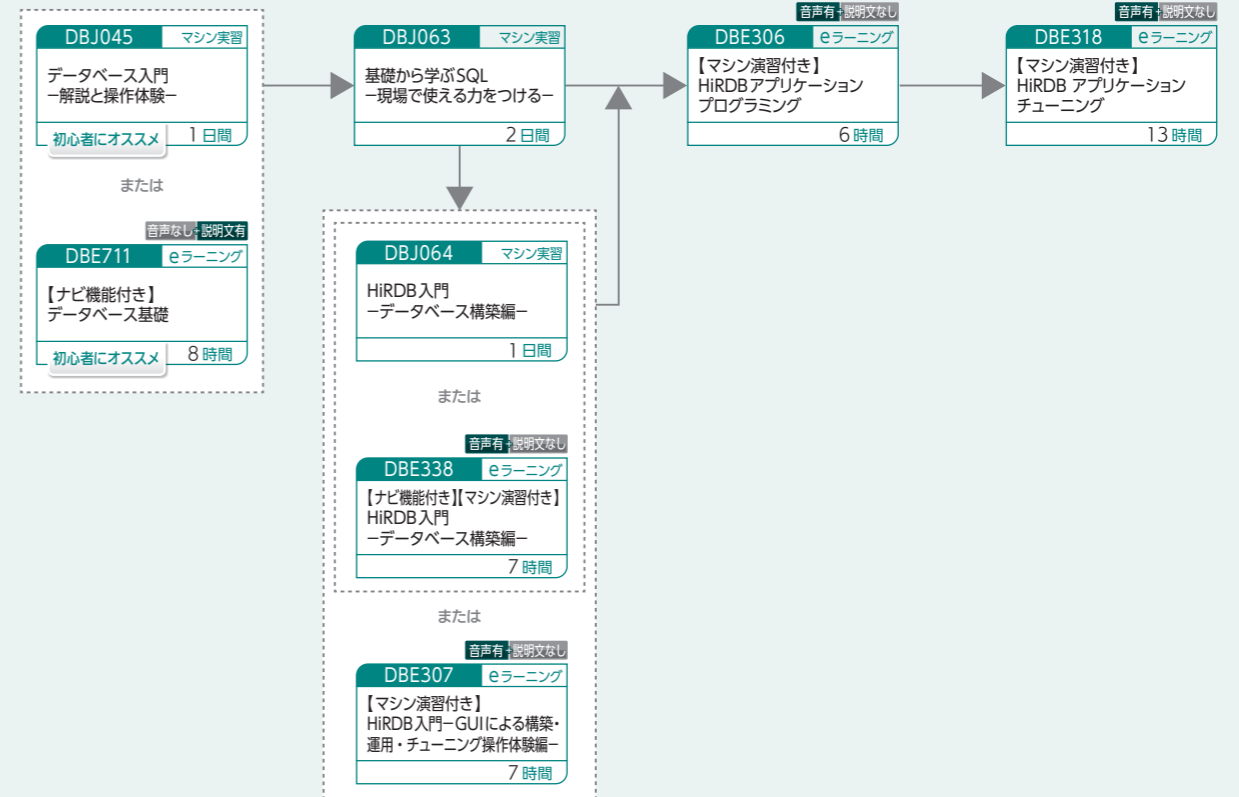
**音声有・説明文有**：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**音声有・説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

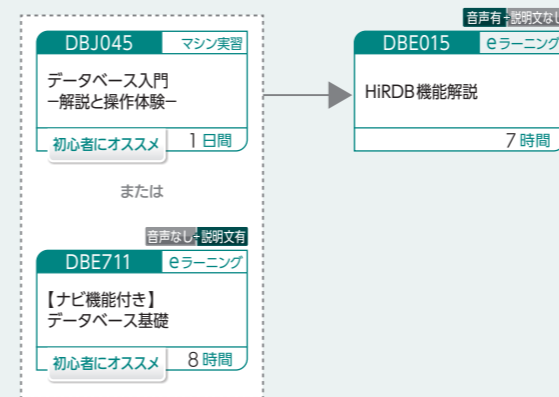
**音声なし・説明文有**：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におすすめ**：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

## ● HiRDBにアクセスするアプリケーションプログラムを開発する方



## ● HiRDBの機能概要を修得したい方

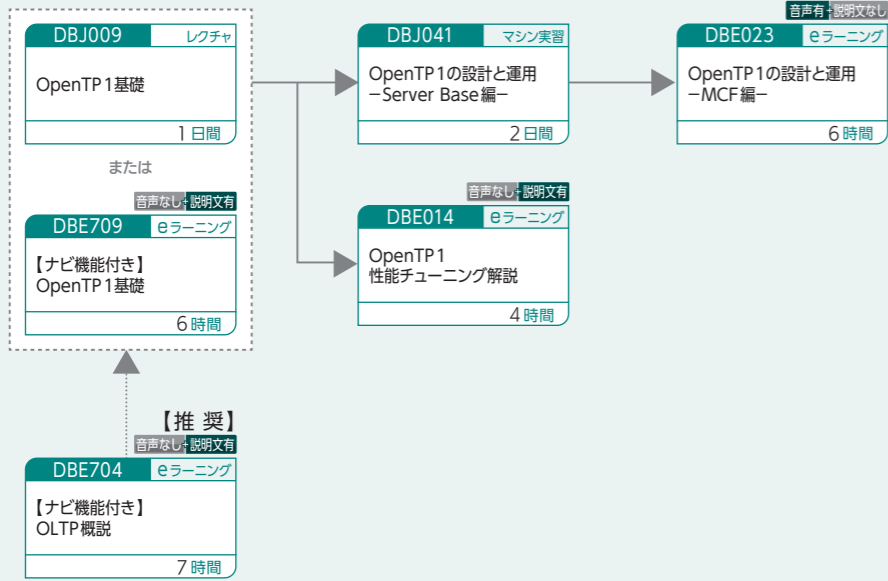




# OpenTP1

TPモニタであるOpenTP1システムの構築や運用、およびアプリケーションを開発するうえで必要となる知識と技術が修得できます。

## ● OpenTP1を使用してOLTPシステムを構築・運用・設計する方



- 音声有・説明文有**：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有**：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におススメ**：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習：マシンを使用しながらの研修  
 グループ演習：グループ演習を中心とした研修  
 レクチャ：座学による研修  
 演習環境：職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習  
 研修室自習型：研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習  
 eラーニング：インターネット接続による自己学習

JP1  
uCosminexus  
Application Server

### OpenTP1

VOS3/VOS1/  
VOSK  
XDM/PDM II

Hitachi Advanced  
Data Binder

日立ストレージ  
Pentaho  
ソフトウェア

デジタルトランス  
フォーメーション

IT 利用

イノベーション

IoT/Al/Lumada

ビッグデータ

データ分析

サイバー  
セキュリティ

クラウド/  
サーバ仮想化

IT サービス  
マネジメント

システム基盤

オープンソース  
ソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画/  
システム設計

IT戦略・IS企画

システム設計

アプリケーション  
開発

Web  
アプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/  
UML

言語

IT基本

IT基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ

プロジェクト  
マネジメント

コンプライアンス

ビジネス/  
ヒューマン

グローバル

|  |   |
|--|---|
| <b>DBJ009</b>  | OpenTP1   |
|  | <b>OpenTP1基礎</b>  |
| 1日間  |   |
| OLTPシステムの構築に必要なOLTPの基礎知識、およびTPモニタとしてのOpenTP1の役割、構成、機能を学習します。 |   |
| <b>到達目標</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>トランザクションの定義を説明できる。</li> <li>OLTPを説明できる。</li> <li>OpenTP1の機能を説明できる。</li> </ul>  |
| <b>対象者</b>   | OpenTP1システムを構築・管理する方、OpenTP1システムにアクセスするアプリケーションを開発する方。  |
| <b>前提知識</b>  | OS、データベースおよびネットワークの基礎知識があること。   |
| <b>内容</b>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>OLTPの基礎知識             <ol style="list-style-type: none"> <li>クライアントサーバシステム</li> <li>OLTPの基礎知識</li> <li>インターネット連携</li> </ol> </li> <li>OpenTP1の機能             <ol style="list-style-type: none"> <li>アプリケーション間の通信形態</li> <li>リモートプロシージャコール (RPC)</li> <li>メッセージ送受信形態</li> <li>メッセージキューイング形態</li> <li>OpenTP1のプロセス制御</li> <li>トランザクション制御</li> </ol> </li> <li>OpenTP1の日常的な運用             <ol style="list-style-type: none"> <li>システムファイル</li> <li>OpenTP1の開始および終了</li> </ol> </li> </ol> |
| <b>備考</b>  | このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。   |

|  |  |
|--|--|
| <b>DBE023</b>                          | OpenTP1  |
|  | <b>&lt;eラーニング&gt;<br/>OpenTP1の設計と運用<br/>-MCF編-</b>   |
| 平均6時間                                  |  |
| MCFを使用するOpenTP1のシステムの作成、運用方法について学習します。 |  |
| <b>到達目標</b>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>OpenTP1のコマンドを用い、MCFの機能を実装したOpenTP1システムを構築できる。</li> <li>MCFの機能を実装したOpenTP1システムの基本的な管理作業ができる。</li> </ul>  |
| <b>対象者</b>                             | OpenTP1システムを構築する方、OpenTP1システムを管理する方。   |
| <b>前提知識</b>                            | 「OpenTP1設計と運用-Server Base編-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。   |
| <b>内容</b>                              | <ol style="list-style-type: none"> <li>メッセージ送受信形態</li> <li>OpenTP1システムの構築</li> <li>ネットワークコミュニケーション定義の作成</li> <li>OpenTP1の運用</li> <li>修了試験</li> </ol>   |
| <b>備考</b>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>終了日は9月30日になります。</li> <li>収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です)</li> <li>このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li> </ul> |

|  |  |
|--|--|
| <b>DBE709</b>  | OpenTP1  |
|  | <b>&lt;eラーニング&gt;【ナビ機能付き】<br/>OpenTP1基礎</b>  |
| 平均6時間  |  |
| OLTPシステムを構築するにあたり必要となるOLTPの基礎知識、およびTPモニタとしてのOpenTP1の役割、構成、機能について学習します。 |  |
| <b>到達目標</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>トランザクションの特徴とOLTPについて理解し説明できる。</li> <li>OpenTP1の役割、構成、機能について理解し説明できる。</li> </ul>   |
| <b>対象者</b>   | OpenTP1システムを構築及び管理する方、OpenTP1システムにアクセスするアプリケーションを開発する方。  |
| <b>前提知識</b>  | OS、データベースおよびネットワークの基礎知識があること。  |
| <b>内容</b>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>OLTPの基礎知識             <ol style="list-style-type: none"> <li>クライアントサーバシステム</li> <li>OLTPの基礎知識</li> <li>OpenTP1の特徴</li> <li>インターネット連携</li> </ol> </li> <li>OpenTP1の機能             <ol style="list-style-type: none"> <li>アプリケーション間の通信形態</li> <li>リモートプロシージャコール</li> <li>メッセージ送受信形態</li> <li>メッセージキューイング形態</li> <li>OpenTP1のプロセス制御</li> <li>トランザクション制御</li> <li>OpenTP1のソフトウェア製品</li> </ol> </li> <li>OpenTP1の日常的な運用             <ol style="list-style-type: none"> <li>システムファイル</li> <li>OpenTP1の運用</li> </ol> </li> <li>修了試験</li> </ol> |
| <b>備考</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>終了日は9月30日になります。</li> <li>説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)</li> <li>このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li> </ul>  |

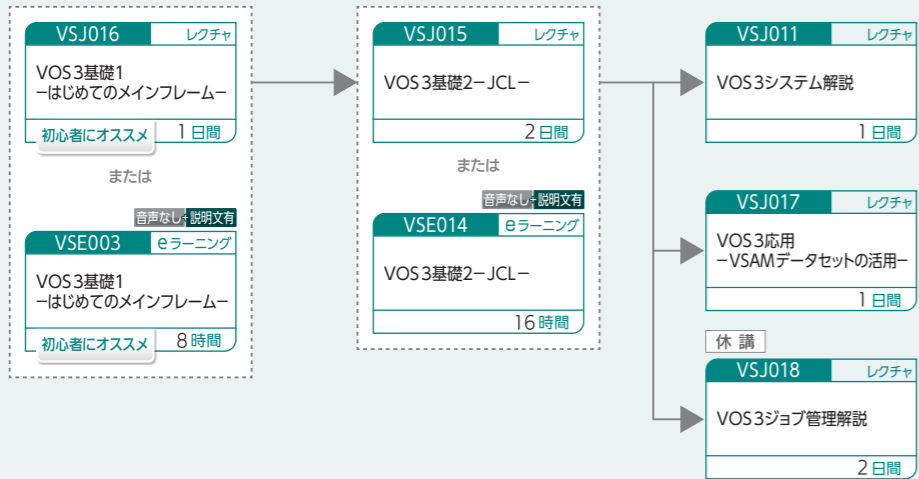
|  |   |
|--|---|
| <b>DBE014</b>                                  | OpenTP1   |
|  | <b>&lt;eラーニング&gt;<br/>OpenTP1性能チューニング解説</b>   |
| 平均4時間  |   |
| OpenTP1における性能見積の考え方と、さまざまな性能チューニング方法について学習します。 |   |
| <b>到達目標</b>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>OpenTP1における性能見積の考え方を理解し説明できる。</li> <li>さまざまな性能チューニング方法を理解し説明できる。</li> </ul>  |
| <b>対象者</b>                                     | OpenTP1システムを管理する方。  |
| <b>前提知識</b>                                    | 「OpenTP1基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。   |
| <b>内容</b>                                      | <ol style="list-style-type: none"> <li>OpenTP1の通信性能</li> <li>OpenTP1のトランザクション性能</li> <li>OpenTP1のプロセス・メモリ性能</li> <li>OpenTP1の性能全般</li> <li>修了試験</li> </ol>  |
| <b>備考</b>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>終了日は9月30日になります。</li> <li>説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)</li> <li>このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li> </ul> |

|  |  |
|--|--|
| <b>DBJ041</b>  | OpenTP1  |
|  | <b>OpenTP1の設計と運用<br/>-Server Base編-</b>  |
| 2日間  |  |
| OpenTP1によるOLTPシステムの構築に必要なOpenTP1のシステムの作成、運用方法を学習します。 |  |
| <b>到達目標</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>OpenTP1のコマンドを用いOpenTP1システムを構築できる。</li> <li>OpenTP1システムの基本的な管理ができる。</li> </ul>   |
| <b>対象者</b>   | OpenTP1システムを構築する方、OpenTP1システムを管理する方。   |
| <b>前提知識</b>  | 「OpenTP1基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。  |
| <b>内容</b>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>OpenTP1の概要</li> <li>OpenTP1システム構築</li> <li>システムファイルの作成</li> <li>システム定義の作成</li> <li>リソースマネージャの登録</li> <li>OpenTP1の運用</li> <li>ユーザサーバの設定と運用</li> <li>システムファイルの障害対策</li> <li>OpenTP1クライアントの開設</li> </ol> |
| <b>備考</b>  | このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。  |

# VOS3/VOS1/VOSK

日立メインフレーム OSである VOS3、VOS1、VOSK の使用方法や機能、システム運用管理技術が修得できます。

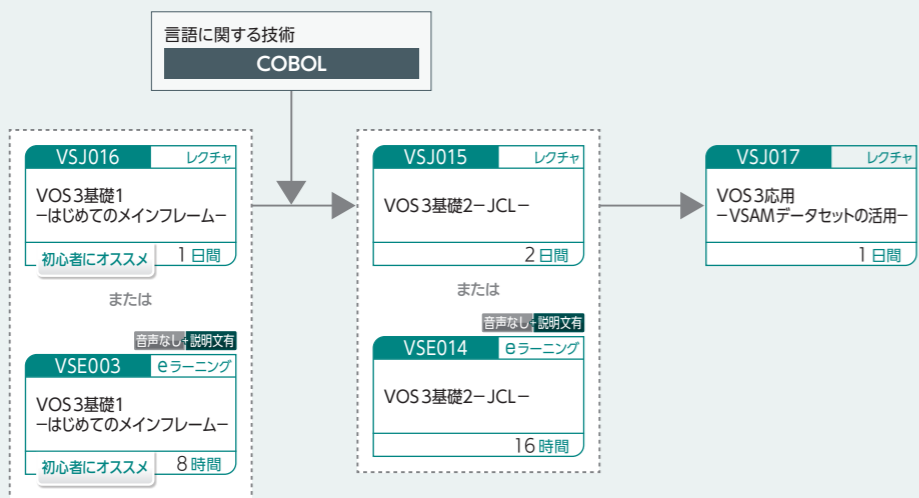
## ● VOS3システムの運用設計および実装・運用する方



## ● VOS1システムの運用設計および実装・運用する方



## ● VOS3システムでアプリケーションを開発する方



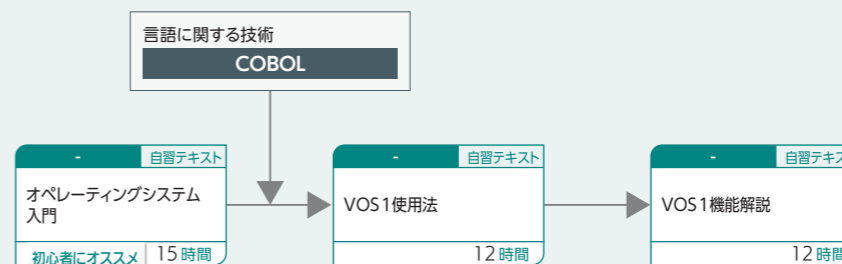
**音声有 + 説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**音声有 + 説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

**音声なし + 説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におすすめ** : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

## ● VOS1システムでアプリケーションを開発する方



## ● VOSKシステムの運用設計および実装・運用する方



**音声有 + 説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。


**音声有 + 説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。


**音声なし + 説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。


**初心者におすすめ** : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。


|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービスマネジメント                  |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT基本                           |
| IT基本                           |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |


|  |  |
|--|--|
| —  | VOS3/VOS1/VOSK   |
|  平均15時間 | <b>オペレーティングシステム入門 (自習テキスト)</b>   |
| オペレーティングシステムの基本概念、構成要素とその機能、およびハードウェアの関連知識を学習します。  |  |
| <b>到達目標</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>オペレーティングシステムの目的や構成を説明できる。</li> <li>プログラムの翻訳、結合・編集を説明できる。</li> <li>入力リーダー、ジョブスケジューラ、出力ライタの役割が説明できる。</li> <li>入出力装置、ボリューム、データセットを説明できる。</li> <li>ファイル編成とアクセス方法を説明できる。</li> <li>マルチプログラミングのしくみを説明できる。</li> </ul> |
| <b>対象者</b>   | VOS3およびVOS1システムのシステム設計、またはプログラミングを行う方。   |
| <b>前提知識</b>  | 特に必要としません。   |
| <b>内 容</b>   | <ol style="list-style-type: none"> <li>オペレーティングシステムとはなにか</li> <li>プログラムの翻訳、結合・編集</li> <li>ジョブの実行過程</li> <li>データ入出力のしくみ</li> <li>マルチプログラミングのしくみ</li> </ol>  |
| <b>備 考</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>お申し込みについては、下記URLをご覧ください。<br/>https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html</li> </ul>   |


|   |   |
|---|---|
| VSJ016  | VOS3/VOS1/VOSK  |
|  1日間 | <b>VOS3基礎1 –はじめてのメインフレーム–</b>   |
| メインフレームシステムの構成要素（ハードウェア/ソフトウェア）、および日立メインフレームのオペレーティングシステムであるVOS3の基本的な機能を学習します。        |   |
| <b>到達目標</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>メインフレームシステムの概要を説明できる。</li> <li>メインフレームシステムのデータ管理方法を説明できる。</li> <li>メインフレームシステムでのプログラム開発手順を説明できる。</li> <li>メインフレームシステムでのジョブの実行手順を説明できる。</li> <li>メインフレームシステムの運用管理機能を説明できる。</li> </ul> |
| <b>対象者</b>  | はじめてVOS3を学習する方で、今後アプリケーション開発や運用・管理をする方。   |
| <b>前提知識</b>   | 特に必要としません。  |
| <b>内 容</b>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>メインフレームシステムの概要</li> <li>メインフレームシステムのデータ管理方式</li> <li>メインフレームシステムでのプログラム開発手順</li> <li>メインフレームシステムでのジョブの実行手順</li> <li>メインフレームシステムの運用管理機能</li> </ol>                                    |
| <b>備 考</b>  | このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。   |


|  |  |
|--|--|
| VSE003   | VOS3/VOS1/VOSK   |
|  平均8時間 | <b>&lt;eラーニング&gt; VOS3基礎1 –はじめてのメインフレーム–</b>   |
| メインフレームシステムの構成要素（ハードウェア/ソフトウェア）、および日立メインフレームのオペレーティングシステムであるVOS3の基本的な機能を学習します。           |  |
| <b>到達目標</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>メインフレームシステムの概要を説明できる。</li> <li>メインフレームシステムのデータ管理方法を説明できる。</li> <li>メインフレームシステムでのプログラム開発手順を説明できる。</li> <li>メインフレームシステムでのジョブの実行手順を説明できる。</li> <li>メインフレームシステムの運用管理機能を説明できる。</li> </ul>  |
| <b>対象者</b>   | はじめてVOS3を学習する方で、今後アプリケーション開発や運用・管理をする方。  |
| <b>前提知識</b>  | 特に必要としません。   |
| <b>内 容</b>   | <ol style="list-style-type: none"> <li>メインフレームシステムの概要</li> <li>メインフレームシステムのデータ管理方式</li> <li>メインフレームシステムでのプログラム開発手順</li> <li>メインフレームシステムでのジョブの実行手順</li> <li>メインフレームシステムの運用管理機能</li> <li>修了試験</li> </ol>   |
| <b>備 考</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>終了日は9月30日になります。</li> <li>説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます）</li> <li>このコースは、集合研修「VOS3基礎1–はじめてのメインフレーム–」コース(VSJ016)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。</li> <li>このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li> </ul> |


|   |   |
|---|---|
| VSJ015  | VOS3/VOS1/VOSK  |
|  2日間 | <b>VOS3基礎2–JCL–</b>   |
| VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL（ジョブ制御文）や、システムメッセージリストの見方を学習します。                              |   |
| <b>到達目標</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>JCL（ジョブ制御文）の役割を説明できる。</li> <li>JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。</li> <li>システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。</li> </ul>  |
| <b>対象者</b>  | VOS3システムでJCL（ジョブ制御文）を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。   |
| <b>前提知識</b>   | 「VOS3基礎1–はじめてのメインフレーム–」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。   |
| <b>内 容</b>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>JCL（ジョブ制御文）の役割</li> <li>ジョブの実行過程</li> <li>ジョブ制御文             <ol style="list-style-type: none"> <li>JOB文</li> <li>EXEC文</li> <li>DD文</li> </ol> </li> <li>システムメッセージリストの見方</li> </ol> |
| <b>備 考</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。</li> <li>このコースは、旧「VOS3使用法」コース（集合研修）と同等の内容です。すでに受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。</li> </ul>   |

|  |  |
|--|--|
| VSE004   | VOS3/VOS1/VOSK   |
|  平均16時間 | <b>&lt;eラーニング&gt; VOS3基礎2–JCL–</b>   |
| VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL（ジョブ制御文）や、システムメッセージリストの見方を学習します。                                 |  |
| <b>到達目標</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>JCL（ジョブ制御文）の役割を説明できる。</li> <li>JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。</li> <li>システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。</li> </ul>   |
| <b>対象者</b>   | VOS3システムでJCL（ジョブ制御文）を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。  |
| <b>前提知識</b>  | 「VOS3基礎1–はじめてのメインフレーム–」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。  |
| <b>内 容</b>   | <ol style="list-style-type: none"> <li>JCL（ジョブ制御文）の役割</li> <li>ジョブの実行過程</li> <li>ジョブ制御文             <ol style="list-style-type: none"> <li>JOB文</li> <li>EXEC文</li> <li>DD文</li> </ol> </li> <li>システムメッセージリストの見方</li> <li>修了試験</li> </ol>  |
| <b>備 考</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>終了日は9月30日になります。</li> <li>説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）</li> <li>このコースは、旧「VOS3使用法」コース（集合研修）、または「VOS3基礎2–JCL–」コース (VSJ015) と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。</li> <li>このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>お申し込みの前に必ず学習利用環境お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li> </ul> |

|  |  |
|--|--|
| VSJ011   | VOS3/VOS1/VOSK   |
|  1日間 | <b>VOS3システム解説</b>  |
| VOS3システムを管理するために必要となるVOS3の基礎知識や機能を学習します。   |  |
| <b>到達目標</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>VOS3システムの処理形態を説明できる。</li> <li>仮想空間の構成について説明できる。</li> <li>仮想空間と記憶装置（主記憶・補助記憶）の関係を説明できる。</li> <li>TRUSTの機能について説明できる。</li> <li>システム運用の自動化機能について説明できる。</li> </ul>   |
| <b>対象者</b>   | VOS3システムを管理する方。  |
| <b>前提知識</b>  | 「VOS3基礎2–JCL–」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。VOS3の利用経験が2年以上あると、より理解が深まります。  |
| <b>内 容</b>   | <ol style="list-style-type: none"> <li>VOS3の概要</li> <li>各種処理形態             <ol style="list-style-type: none"> <li>パッチ</li> <li>TSS</li> <li>DB/DC</li> </ol> </li> <li>仮想記憶装置のしくみ</li> <li>データ処理の高速化機能             <ol style="list-style-type: none"> <li>LPAの利用</li> <li>XPL</li> <li>VSAM HAF</li> <li>VIO</li> <li>SAM ESF</li> </ol> </li> <li>セキュリティ管理機能 (TRUST)</li> <li>システム運用の自動化機能             <ol style="list-style-type: none"> <li>AOMPLUS</li> <li>HOPSS3</li> <li>JP1との連携</li> </ol> </li> </ol> |
| <b>備 考</b>   | このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。  |



|   |  |
|---|--|
| VSJ017  | VOS3/VOS1/VOSK   |
|  1日間 | <b>VOS3応用 –VSAMデータセットの活用–</b>  |
| VOS3システムを管理、およびVOS3システムでアプリケーションプログラムを開発するうえで必要となるVSAMの基礎知識や機能を学習します。                   |  |
| <b>到達目標</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>VSAMデータセットの特長を説明できる。</li> <li>VSAMユーティリティの機能を説明できる。</li> <li>ライブラリ管理システム LIME E2の機能を説明できる。</li> <li>カタログの役割、機能を説明できる。</li> </ul>  |
| <b>対象者</b>  | VOS3システムの運用を行う方、VOS3システムでアプリケーションの開発を行う方。  |
| <b>前提知識</b>   | 「VOS3基礎2–JCL–」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。   |
| <b>内 容</b>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>データセットとディスクボリューム</li> <li>VSAMデータセットの特長</li> <li>ライブラリ管理システム LIME E2の機能</li> <li>データセットのカタログ機能</li> <li>VSAMユーティリティの機能</li> </ol> |
| <b>備 考</b>  | このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。  |

|   |   |
|---|---|
| VSJ018  | VOS3/VOS1/VOSK  |
|  2日間 | <b>VOS3ジョブ管理解説</b>  |
| VOS3のシステム管理をするために必要となるJSS3の機能と設定方法を学習します。   |   |
| <b>到達目標</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>JSS3の機能を説明できる。</li> <li>JSS3の起動の流れや仕組みを説明できる。</li> <li>ジョブ入出力に関するパラメタを説明できる。</li> <li>ジョブの実行スケジュールに関するパラメタを説明できる。</li> </ul>   |
| <b>対象者</b>  | VOS3システムの運用管理に携わる方。   |
| <b>前提知識</b>   | 「VOS3基礎2–JCL–」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。  |
| <b>内 容</b>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>JSS3の概要</li> <li>JSS3の起動と初期設定             <ol style="list-style-type: none"> <li>JSS3起動用カタログプロシジャ</li> <li>JSS3初期設定パラメタ</li> </ol> </li> <li>ジョブの実行管理             <ol style="list-style-type: none"> <li>ジョブの流れ</li> <li>ジョブの入力</li> <li>ジョブの実行スケジュール</li> <li>ジョブの実行制御</li> <li>ジョブ結果の出力</li> <li>スプールとジョブキューの管理</li> </ol> </li> </ol> |
| <b>備 考</b>  | このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。   |
| ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。                                     |   |

|  |   |
|--|---|
| —  | VOS3/VOS1/VOSK  |
|  平均12時間 | <b>VOS1使用法 (自習テキスト)</b>   |
| VOS1のワークステーションを使ったプログラム作成、ジョブ作成、ジョブの実行、ライブラリ操作、ファイル操作およびパネル作成について、その方法を学習します。              |   |
| <b>到達目標</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークステーションの操作ができる。</li> <li>プログラムの作成ができる。</li> <li>JCLプロシジャの作成ができる。</li> <li>ジョブの実行ができる。</li> <li>メンバの操作ができる。</li> <li>ファイルの操作ができる。</li> <li>パッチジョブの実行ができる。</li> <li>パネルの作成ができる。</li> </ul> |
| <b>対象者</b>   | VOS1を使用してワークステーションからジョブを実行する方。  |
| <b>前提知識</b>  | 「オペレーティングシステム入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。  |
| <b>内 容</b>   | <ol style="list-style-type: none"> <li>ワークステーションの操作</li> <li>プログラムの作成</li> <li>JCLプロシジャの作成</li> <li>ジョブの実行</li> <li>メンバの操作</li> <li>ファイルの操作</li> <li>パッチジョブの実行</li> <li>パネルの作成</li> </ol>   |
| <b>備 考</b>   | お申し込みについては、下記URLをご覧ください。<br>https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html   |

|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービスマネジメント                  |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT基本                           |
| IT基本                           |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

|  |  |   |
|--|--|---|
|  マシン実習<br>マシンを使用しながらの研修 |  グループ演習<br>グループ演習を中心とした研修 |  eラーニング<br>座学による研修 |
|--|--|---|

|  |   |
|--|---|
|  演習環境<br>職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習 |  研修室自習型<br>研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 |
|--|---|

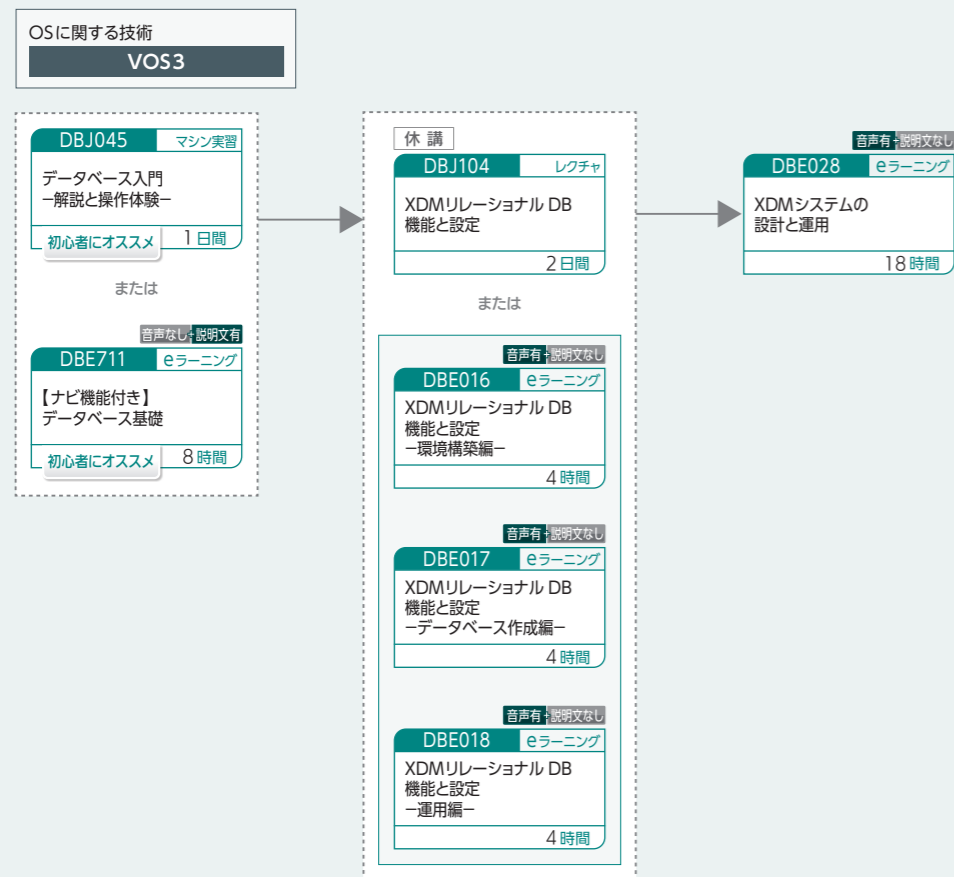
|  |
|--|
|  eラーニング<br>インターネット接続による自己学習 |
|--|

|  |   |
|--|---|
|  自習テキスト<br>自習書による自己学習 |  休講<br>休講<br>今期の定期開催はありません |
|--|---|

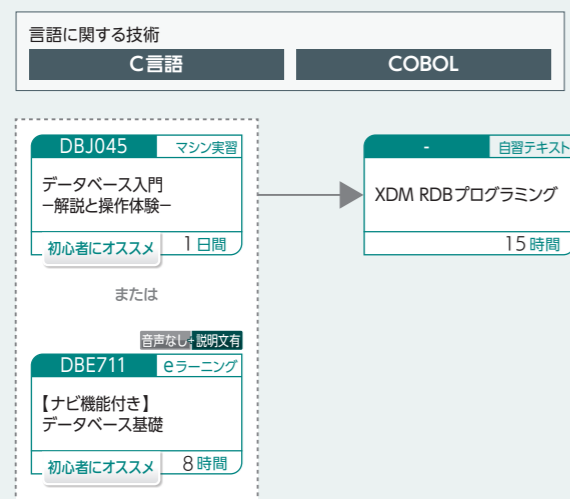
# XDM / PDM II

日立メインフレーム DB/DCであるXDM、PDM IIの機能や設定、システム運用管理技術が修得できます。

## ● XDMを使用してリレーショナルデータベースを構築・運用・設計する方



## ● XDMリレーショナルデータベースを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



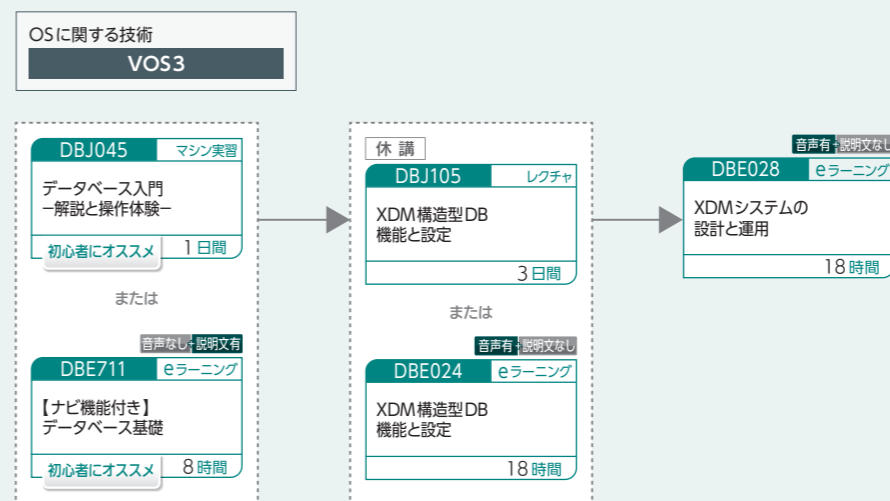
**音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

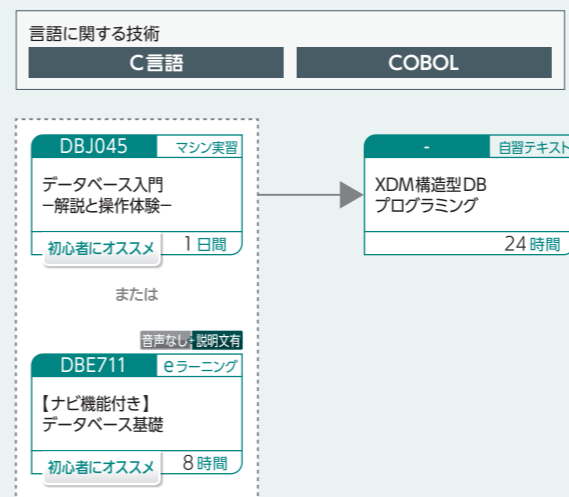
**音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

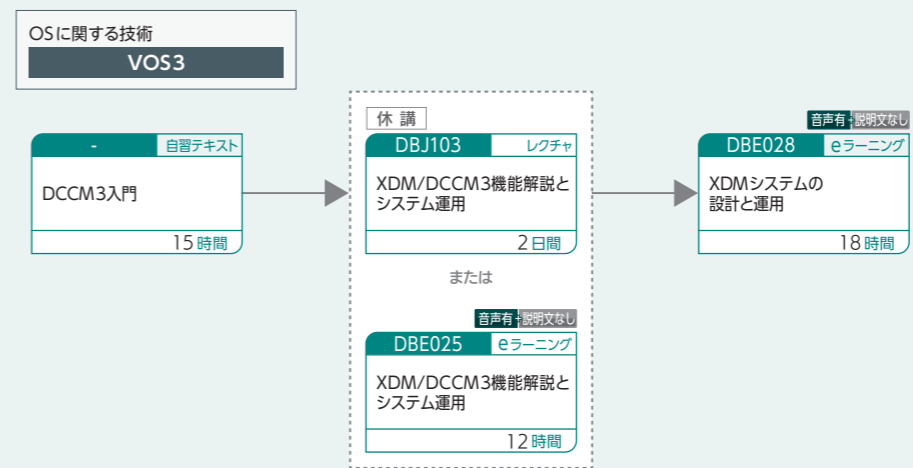
## ● XDMを使用して構造型データベースを構築・運用・設計する方



## ● XDM構造型データベースを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



## ● XDM/DCCM3オンラインシステムを構築・運用・設計する方



**音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

**音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDM II
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho ソフトウェア
- デジタルトランスフォーメーション
- IT 活用
- イノベーション
- IoT/Al/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバーセキュリティ
- クラウド/サーバ仮想化
- IT サービスマネジメント
- システム基盤
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT 戦略・IS 企画/システム設計
- IT 戦略・IS 企画
- システム設計
- アプリケーション開発
- Web アプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT 基本
- IT 基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル



日立製品

JP1  
uCosminexus Application Server  
HIRDB  
OpenTP1  
VOS3/VOS1/VOSK  
XDM/PDMM II  
Hitachi Advanced Data Binder  
日立ストレージ  
Pentaho ソフトウェア  
デジタルトランスフォーメーション  
IT 利活用  
イノベーション  
IoT/AI/Lumada  
ビッグデータ  
データ分析  
サイバーセキュリティ  
クラウド/サーバ仮想化  
IT サービス マネジメント  
システム基盤  
オープンソースソフトウェア(OSS)  
Linux  
Microsoft  
ネットワーク  
セキュリティ  
データベース  
IT 戦略・IS 企画/システム設計  
IT 戦略・IS 企画  
システム設計  
アプリケーション開発  
Web アプリケーション  
スマートデバイス  
オブジェクト指向/UML  
言語  
IT 基本  
IT 基本  
ハードウェア  
情報処理資格  
情報リテラシ  
プロジェクト マネジメント  
コンプライアンス  
ビジネス/ヒューマン  
グローバル

● XDM/DCCM3オンラインシステムを使用してアプリケーションプログラムを開発する方

言語に関する技術  
C言語 COBOL

自習テキスト  
DCCM3入門 15時間  
DCCM3プログラミング 25時間

● PDMIIデータベースを構築・運用する方

OSに関する技術  
VOS1 VOS3

マシン実習  
DBJ045 データベース入門 - 解説と操作体験 - 初心者におススメ 1日間  
または  
DBE711 【ナビ機能付き】データベース基礎 初心者におススメ 8時間

自習テキスト  
PDMIIデータベース機能と設定 15時間

● PDMIIを使用してアプリケーションプログラムを開発する方

言語に関する技術  
C言語 COBOL

マシン実習  
DBJ045 データベース入門 - 解説と操作体験 - 初心者におススメ 1日間  
または  
DBE711 【ナビ機能付き】データベース基礎 初心者におススメ 8時間

自習テキスト  
PDMII入門 10時間  
PDMIIプログラミング 20時間

マシンの実習  
マシンの実習  
グループ演習  
グループ演習を中心とした研修  
レクチャ  
座学による研修  
演習環境  
職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習  
研修室自習型  
研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習  
eラーニング  
インターネット接続による自己学習

DBE016 XDM/PDMM

**<eラーニング>**  
XDMリレーショナルDB機能と設定  
-環境構築編-

平均4時間

XDMリレーショナルデータベース(XDM/RD)システムを構築する際に必要なデータベースの構造と、XDM/RD空間を起動するために必要な定義方法を学習します。

到達目標  
・論理構造と物理構造を理解し説明できる。  
・RD初期設定ユティリティで設定するオペランドを理解し説明できる。

対象者  
XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。

前提知識  
「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容  
1. XDMシステムの概要  
2. データベースの論理構造と物理構造  
(1) データベースの論理構造  
(2) データベースの物理構造  
3. XDM/RDシステムの作成  
(1) 表の定義  
(2) インデックスの定義  
(3) XDM/RDシステムの環境設定  
4. 修了試験

備考  
・終了日は9月30日になります。  
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)  
・このコースは、「XDMリレーショナルDB機能と設定」コース(集合研修)の一部分をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。  
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。  
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE017 XDM/PDMM

**<eラーニング>**  
XDMリレーショナルDB機能と設定  
-データベース作成編-

平均4時間

XDMリレーショナルデータベースシステム(XDM/RD)を構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法を学習します。

到達目標  
・論理構造と物理構造を理解し説明できる。  
・表およびインデックスを定義に必要なオペランドを理解し説明できる。

対象者  
XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。

前提知識  
「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容  
1. XDMシステムの概要  
2. データベースの定義と作成  
(1) データベースの論理構造  
(2) データベースの物理構造  
3. データベースの管理と保守  
(1) データディクショナリ  
(2) 機密保護  
(3) 排他制御  
4. データベースの運用  
(1) XDM/RDシステムの起動と停止  
(2) データベースの再編成

備考  
・終了日は9月30日になります。  
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)  
・このコースは、「XDMリレーショナルDB機能と設定」コース(集合研修)の一部分をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。  
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。  
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE018 XDM/PDMM

**<eラーニング>**  
XDMリレーショナルDB機能と設定  
-運用編-

平均4時間

XDMリレーショナルデータベース(XDM/RD)システムを構築する際に必要なデータベースの構造と、XDM/RD空間を起動するために必要な定義方法を学習します。

到達目標  
・機密保護、排他制御を理解し説明できる。  
・バッチUAP用ユーザ空間の起動制御文に必要なオペランドを理解し説明できる。

対象者  
XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。

前提知識  
「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容  
1. XDMシステムの概要  
2. データベースの定義と作成  
(1) データベースの論理構造  
(2) データベースの物理構造  
3. データベースの管理と保守  
(1) データディクショナリ  
(2) 機密保護  
(3) 排他制御  
4. データベースの運用  
(1) XDM/RDシステムの起動と停止  
(2) データベースの再編成

備考  
・終了日は9月30日になります。  
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)  
・このコースは、「XDMリレーショナルDB機能と設定」コース(集合研修)の一部分をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。  
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。  
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ104 XDM/PDMM

**XDMリレーショナルDB機能と設定** 体講

2日間

XDMリレーショナルデータベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。

到達目標  
・論理構造と物理構造を理解し、説明できる。  
・表およびインデックスを定義できる。  
・機密保護、排他制御を理解し、説明できる。  
・バッチUAP用ユーザ空間を起動できる。

対象者  
XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。

前提知識  
「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容  
1. XDMシステムの概要  
2. データベースの定義と作成  
(1) データベースの論理構造  
(2) データベースの物理構造  
(3) XDM/RDシステムの作成  
3. データベースの管理と保守  
(1) データディクショナリ  
(2) 機密保護  
(3) 排他制御  
4. データベースの運用  
(1) XDM/RDシステムの起動と停止  
(2) データベースの再編成

備考  
・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。  
※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。

DBE024 XDM/PDMM

**<eラーニング>**  
XDM構造型DB機能と設定

平均18時間

XDM構造型データベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。

到達目標  
・スキーマ、格納スキーマの適切な構造を定義できる。  
・データベース実行環境の適切なオプションを選択できる。  
・データベースの構造変更等の保守ができる。

対象者  
XDM構造型データベースシステムを構築・運用する方。

前提知識  
「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容  
1. XDMシステムの概要  
2. データベースの論理構造とデータ操作  
3. データベースの格納構造と定義  
4. データベースの物理構造と定義  
5. プログラムからのデータベース利用  
(1) 仮想構造  
(2) データベースの操作機能  
6. データベースの作成と保守  
7. データベースの管理  
(1) 排他制御  
(2) コミット(同期点)処理  
(3) データベースの障害回復

備考  
・終了日は9月30日になります。  
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)  
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。  
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ105 XDM/PDMM

**XDM構造型DB機能と設定** 体講

3日間

XDM構造型データベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。

到達目標  
・スキーマ、格納スキーマの適切な構造を定義できる。  
・データベース実行環境の適切なオプションを選択できる。  
・データベースの構造変更等の保守ができる。

対象者  
XDM構造型データベースシステムを構築・運用する方。

前提知識  
「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。


内容  
1. XDMシステムの概要  
2. データベースの論理構造とデータ操作  
3. データベースの格納構造と定義  
4. データベースの物理構造と定義  
5. プログラムからのデータベース利用  
(1) 仮想構造  
(2) データベースの操作機能  
6. データベースの作成と保守  
7. データベースの管理  
(1) 排他制御  
(2) コミット(同期点)処理  
(3) データベースの障害回復


備考  
・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。  
※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。


日立製品


JP1  
uCosminexus Application Server  
HIRDB  
OpenTP1  
VOS3/VOS1/VOSK  
XDM/PDMM II  
Hitachi Advanced Data Binder  
日立ストレージ  
Pentaho ソフトウェア  
デジタルトランスフォーメーション  
IT 利活用  
イノベーション  
IoT/AI/Lumada  
ビッグデータ  
データ分析  
サイバーセキュリティ  
クラウド/サーバ仮想化  
IT サービス マネジメント  
システム基盤  
オープンソースソフトウェア(OSS)  
Linux  
Microsoft  
ネットワーク  
セキュリティ  
データベース  
IT 戦略・IS 企画/システム設計  
IT 戦略・IS 企画  
システム設計  
アプリケーション開発  
Web アプリケーション  
スマートデバイス  
オブジェクト指向/UML  
言語  
IT 基本  
IT 基本  
ハードウェア  
情報処理資格  
情報リテラシ  
プロジェクト マネジメント  
コンプライアンス  
ビジネス/ヒューマン  
グローバル


|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDMII                      |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/Al/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービス管理                      |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT基本                           |
| IT基本                           |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |


| DBE025  | XDM/PDMII   |
|---|---|
|  | <b>&lt;eラーニング&gt;<br/>XDM/DCCM3機能解説とシステム運用</b>  |
| 平均12時間  |   |
| XDMによるオンラインシステムを構築、運用するにあたり必要なXDM/DCCM3のメッセージ制御機能とオンラインシステム運用のための機能を説明します。        |   |
| <b>到達目標</b>   | ・メッセージ制御についてさまざまなオプションを選択し、機能設定ができる。<br>・トランザクション定義ができる。  |
| <b>対象者</b>  | XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。   |
| <b>前提知識</b>   | 「DCCM3入門」、「DCCM3プログラミング」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。  |
| <b>内 容</b>  | 1. XDMシステムの概要<br>2. メッセージ制御<br>(1) メッセージ受信/送信処理<br>(2) UAPのローディング方式<br>(3) メッセージ編集など<br>3. オンラインの運用<br>(1) XDMシステムの開始と終了<br>(2) センタ運用<br>(3) 端末運用<br>4. XDM/DCCM3システム定義例                        |
| <b>備考</b>   | ・終了日は9月30日になります。<br>・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)<br>・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。<br>・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 |


| DBJ103  | XDM/PDMII  |
|---|--|
|  | <b>XDM/DCCM3機能解説とシステム運用</b>  |
| 2日間   |  |
| XDMによるオンラインシステムを構築、運用するにあたり必要なXDM/DCCM3のメッセージ制御機能とオンラインシステム運用のための機能を説明します。        |  |
| <b>到達目標</b>   | ・メッセージ制御についてさまざまなオプションを選択し機能設定ができる。<br>・トランザクション定義ができる。  |
| <b>対象者</b>  | XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。  |
| <b>前提知識</b>   | 「DCCM3入門」、「DCCM3プログラミング」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。   |
| <b>内 容</b>  | 1. XDMシステムの概要<br>2. メッセージ制御<br>(1) メッセージ受信/送信処理<br>(2) UAPのローディング方式<br>(3) メッセージ編集など<br>3. オンラインの運用<br>(1) XDMシステムの開始と終了<br>(2) センタ運用<br>(3) 端末運用<br>4. XDM/DCCM3システム定義例 |
| <b>備考</b>   | ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。<br><br>※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。   |


| DBE028   | XDM/PDMII   |
|--|---|
|  | <b>&lt;eラーニング&gt;<br/>XDMシステムの設計と運用</b>   |
| 平均18時間   |   |
| XDMによるオンラインシステムを構築、運用する際に必要な効果的なシステムの定義方法や運用の手順、およびそれらの作業方法を学習します。                 |   |
| <b>到達目標</b>  | ・XDM空間を起動できる。<br>・オンラインのさまざまなオプションを選択し性能改善できる。<br>・センタ運用のさまざまなオプションを選択し省力化が図れる。   |
| <b>対象者</b>   | XDMシステムの管理者としてシステムの定義作成や運用をする方。   |
| <b>前提知識</b>  | [XDM構築型DB機能と設定]コース、または[XDMリレーショナルDB機能と設定]eラーニングコース(3コースすべて)、[XDM/DCCM3機能解説とシステム運用]コースを修了し、かつVOS3の各種用語や機能についての知識があること。   |
| <b>内 容</b>   | 1. 概要<br>2. XDMシステムの構築と運用<br>(1) XDM運用のポイント<br>3. XDMシステムの管理を支援するツール<br>(1) XDM/AOF E2<br>(2) XDM/PAF<br>4. XDMの設計指針<br>(1) 性能設計<br>(2) 信頼性設計<br>(3) DB設計<br>(4) DC設計                           |
| <b>備考</b>  | ・終了日は9月30日になります。<br>・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)<br>・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。<br>・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 |


| -   | XDM/PDMII   |
|---|---|
|        | <b>DCCM3プログラミング<br/>(自習テキスト)</b>  |
| 平均25時間  |   |
| DCCM3、XDM/DCCM3によるオンラインシステムの業務プログラムを作成するにあたり必要なユーザアプリケーションプログラムの作成方法、パネル定義について例を中心に学習します。 |   |
| <b>到達目標</b>   | ・DCCM3とXDM/DCCM3を使用する場合のユーザアプリケーションプログラムでのメッセージ処理の概要を理解し説明できる。<br>・COBOL言語によるユーザアプリケーションプログラムを作成できる。<br>・XMAPを使用したメッセージの基本的な編集ができる。 |
| <b>対象者</b>  | DCCM3、XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムの業務プログラムを作成する方。  |
| <b>前提知識</b>   | COBOL言語を修了し、かつ「DCCM3入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。   |
| <b>内 容</b>  | 1. DCCM3、XDM/DCCM3の特徴<br>2. ユーザアプリケーションプログラムの作成方法<br>3. パネル定義   |
| <b>備考</b>   | ・お申し込みについては、下記URLをご覧ください。<br>https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html  |


| -   | XDM/PDMII  |
|---|--|
|  | <b>PDMII入門(自習テキスト)</b>   |
| 平均10時間  |  |
| PDMIIデータベースシステムの構築や運用、あるいはデータベースを利用する際に必要な基礎知識を学習します。                               |  |
| <b>到達目標</b>   | ・PDMIIシステムのねらいを理解し説明できる。<br>・PDMIIシステムによるデータベースシステムの実現方法を理解し説明できる。<br>・データベース構造を理解し説明できる。<br>・PDMIIシステムが提供する機能を理解し説明できる。 |
| <b>対象者</b>  | PDMIIデータベースシステムの設計・運用を行う方、または業務プログラムを開発する方。  |
| <b>前提知識</b>   | 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「データベース入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。   |
| <b>内 容</b>  | 1. PDMIIの基本機能<br>2. PDMIIデータベースの構造<br>3. データベースの操作機能   |
| <b>備考</b>   | ・お申し込みについては、下記URLをご覧ください。<br>https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html                             |

| -   | XDM/PDMII  |
|---|--|
|  | <b>PDMIIデータベース機能と設定<br/>(自習テキスト)</b>   |
| 平均15時間  |  |
| PDMIIデータベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、またデータベースの管理や維持の方法を紹介します。                  |  |
| <b>到達目標</b>   | ・論理/物理構造についてさまざまなオプションを選択し機能設定できる。<br>・データベース定義/アクセス定義を定義できる。<br>・運用・管理・生成と保守についてさまざまなオプションを選択し機能設定できる。  |
| <b>対象者</b>  | PDMIIデータベースシステムの設計・運用を行う方、または業務プログラムを開発する方。  |
| <b>前提知識</b>   | 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「データベース入門」eラーニングコース、および「PDMII入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。   |
| <b>内 容</b>  | 1. PDMIIデータベースシステムの概要<br>2. データベースの論理構造<br>3. データベースの物理構造<br>4. データベースの定義<br>5. アクセス仕様定義<br>6. PDMIIシステムの運用<br>7. PDMIIシステムの管理<br>8. PDMIIシステムの生成と保守 |
| <b>備考</b>   | ・お申し込みについては、下記URLをご覧ください。<br>https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html   |

| -   | XDM/PDMII   |
|---|---|
|  | <b>XDM RDBプログラミング<br/>(自習テキスト)</b>  |
| 平均15時間  |   |
| XDMリレーショナルDBを使用した業務プログラムを作成する際に必要なデータベースの検索、更新等の操作方法およびプログラムのコーディング方法を学習します。        |   |
| <b>到達目標</b>   | ・リレーショナルデータベースの特長とデータ操作上の留意点を説明できる。<br>・検索処理プログラムを作成できる。<br>・更新処理プログラムを作成できる。<br>・追加/削除処理プログラムを作成できる。 |
| <b>対象者</b>  | XDMリレーショナルDBを使用する業務プログラムを開発する方。   |
| <b>前提知識</b>   | COBOL言語を修了し、かつXDMリレーショナルDBの基礎知識があること。   |
| <b>内 容</b>  | 1. リレーショナルデータベースの特長とデータ操作上の留意点<br>2. 検索処理プログラムの作成方法<br>3. 更新処理プログラムの作成方法<br>4. 追加、削除処理プログラムの作成方法      |
| <b>備考</b>   | ・お申し込みについては、下記URLをご覧ください。<br>https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html          |

| -   | XDM/PDMII   |
|---|---|
|  | <b>XDM構築型DBプログラミング<br/>(自習テキスト)</b>   |
| 平均24時間  |   |
| XDM構築型DBを使用した業務プログラムを作成する際に必要なデータベースの検索、更新等の操作方法およびプログラムのコーディング方法を学習します。            |   |
| <b>到達目標</b>   | ・構築型データベースの特長とデータ操作上の留意点を説明できる。<br>・検索処理プログラムを作成できる。<br>・更新処理プログラムを作成できる。<br>・切り離し、組み入れおよび再組み入れ処理プログラムを作成できる。 |
| <b>対象者</b>  | XDM構築型DBを使用する業務プログラムを開発する方。   |
| <b>前提知識</b>   | COBOL言語を修了し、かつXDM構築型DBの基礎知識があること。   |
| <b>内 容</b>  | 1. 構築型データベースの特長とデータ操作上の留意点<br>2. 検索処理プログラムの作成方法<br>3. 更新処理プログラムの作成方法<br>4. 切り離し、組み入れ処理プログラムの作成方法              |
| <b>備考</b>   | ・お申し込みについては、下記URLをご覧ください。<br>https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html                  |

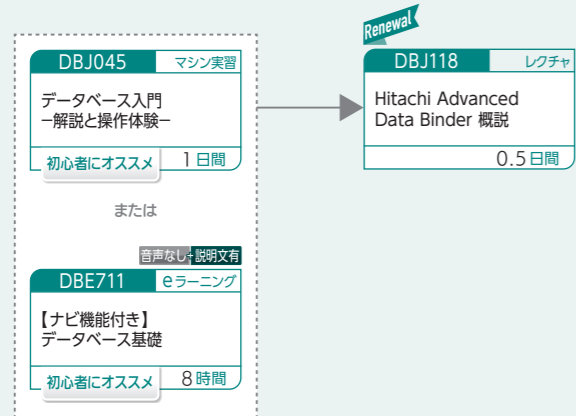
| -  | XDM/PDMII  |
|--|--|
|  | <b>DCCM3入門(自習テキスト)</b>   |
| 平均15時間   |  |
| DCCM3またはXDM/DCCM3のオンラインシステムの構築に必要なとなるメッセージ制御機能およびその流れを基礎的用語を中心に学習します。                |  |
| <b>到達目標</b>  | ・DCCM3の目的および特長を説明できる。<br>・メッセージの処理方法を説明できる。<br>・DCCM3オンラインシステムの障害対策と運用を説明できる。                |
| <b>対象者</b>   | DCCM3、XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。  |
| <b>前提知識</b>  | 特に必要としません。   |
| <b>内 容</b>   | 1. DCCM3、XDM/DCCM3の特徴<br>2. メッセージの処理方法<br>3. オンラインの運用  |
| <b>備考</b>  | ・お申し込みについては、下記URLをご覧ください。<br>https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html |

| -   | XDM/PDMII  |
|---|--|
|  | <b>PDMIIプログラミング<br/>(自習テキスト)</b>   |
| 平均20時間  |  |
| PDMIIデータベースを作成、検索、更新する業務プログラムの作成方法を学習します。   |  |
| <b>到達目標</b>   | ・PDMIIとプログラムのインターフェースを理解し説明できる。<br>・検索・更新・追加/削除処理プログラムを作成できる。                                  |
| <b>対象者</b>  | PDMIIデータベースを使用した業務プログラムを開発する方。   |
| <b>前提知識</b>   | COBOL、PL/IまたはNHHELPのいずれかの言語を理解し、かつ「PDMII入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。                    |
| <b>内 容</b>  | 1. PDMIIの機能概要<br>2. プログラムとPDMIIのインターフェース<br>3. データベースの作成方法<br>4. データベースの検索方法<br>5. データベースの更新方法 |
| <b>備考</b>   | ・お申し込みについては、下記URLをご覧ください。<br>https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html   |

# Hitachi Advanced Data Binder

情報系システム向け超高速データベースエンジン、Hitachi Advanced Data Binderのアーキテクチャや導入までのWBS、設計や構築・運用管理に必要なとなるスキルが修得できます。

## ● Hitachi Advanced Data Binderを使用したシステムを設計・開発する方



**音声有・説明文有**：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**音声有・説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

**音声なし・説明文有**：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におすすめ**：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

**DBJ118** Hitachi Advanced Data Binder

**Hitachi Advanced Data Binder概説**

0.5日間

Hitachi Advanced Data Binderの概要、導入から保守までの作業概要（WBS）および設計・構築・運用の基礎知識を学習します。

**学習目標**

- Hitachi Advanced Data Binderの概要を理解し、説明できる。
- Hitachi Advanced Data Binderの導入から保守までの作業概要（WBS）を理解し、説明できる。
- Hitachi Advanced Data Binderの設計・構築・運用の基礎知識を理解し、説明できる。

**対象者** Hitachi Advanced Data Binderの導入をご検討中の方。

**前提知識** 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

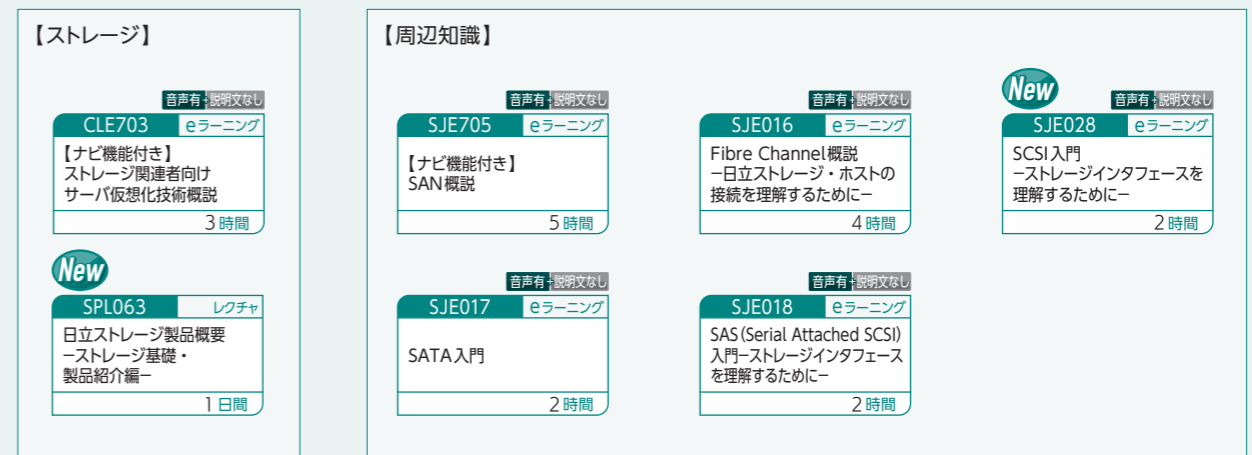
- HADBの概要
- HADBの設計
- HADBの構築の概要
- HADBのテストおよびチューニングの概要

**備考** このコースは、13:00~17:00の開催とさせていただきます。

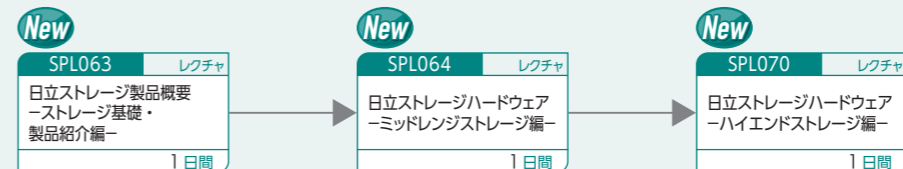
# 日立ストレージ

日立ブロックストレージに関する製品・機能について必要な知識やスキルを修得できます。

## ● ストレージの基礎および周辺知識を知りたい方

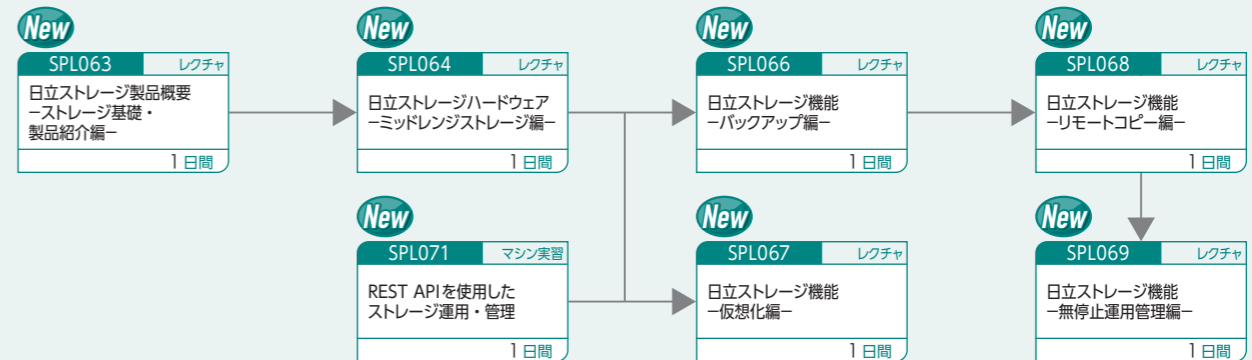


## ● 日立ストレージのハードウェア製品特長・構成を知りたい方



※SPL064は、製品シミュレータを使用したストレージ設定操作が体験できます。

## ● 日立ストレージの各機能を使用したシステムの構築・運用技術を知りたい方



※SPL064、SPL066、SPL067、SPL068は、製品シミュレータを使用したストレージ設定操作が体験できます。



**音声有・説明文有**：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。



**音声有・説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。



**音声なし・説明文有**：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。



**初心者におすすめ**：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。



|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービス マネジメント                 |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT 基本                          |
| IT 基本                          |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクト マネジメント                  |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |



|   |
|---|
| <b>SPL063</b> 日立ストレージ   |
|  <b>日立ストレージ製品概要</b><br>—ストレージ基礎・製品紹介編—  |
| 1日間   |
| Hitachi Storage Solutions製品の基礎知識、提案および見積りの手順について学習します。  |
| <b>到達目標</b> Hitachi Storage Solutionsの基礎知識、提案、見積りに必要な事項を修得し、カタログを用いてHitachi Storage Solutionsの製品説明ができるようになり、かつ顧客のニーズを把握できるようになる。  |
| <b>対象者</b> 顧客に対しHitachi Storage Solutionsに関する最適なシステムの提案技術の修得をめざす営業・SEの方。  |
| <b>前提知識</b> 特に必要としません。  |
| <b>内容</b> 1. ストレージと基礎知識<br>2. ストレージ製品ラインアップと特徴<br>3. 日立ストレージソフトウェアおよびソリューション<br>4. 日立ストレージ管理ソフトウェア<br>5. 日立ストレージ提案・見積り  |
| <b>備考</b> このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。   |



|   |
|---|
| <b>SPL064</b> 日立ストレージ   |
|  <b>日立ストレージハードウェア</b><br>—ミッドレンジストレージ編—                       |
| 1日間   |
| ハードウェアについては、製品ラインアップとオプション構成などハードウェアシステム構成ができる知識、ソフトウェア関連では、基本ソフトウェアの操作・設定ができる知識について学習します。なお、GUI操作も体験していただけます。  |
| <b>到達目標</b> ・ハードウェアシステム構成ができる知識を修得できる。<br>・オープン系ソフトウェアの操作・設定ができる。   |
| <b>対象者</b> 日立ミッドレンジストレージについて基本的な技術の修得をめざす方。   |
| <b>前提知識</b> 「日立ストレージ製品概要—ストレージ基礎・製品紹介編—」コースを修了しているか、同等の知識があること。   |
| <b>内容</b> 1. 日立ストレージ概要<br>2. ハードウェア<br>(1) 全体構成<br>(2) ハードウェアコンポーネント<br>3. 内部動作<br>(1) Read・Write時の内部動作<br>4. 基本ソフトウェア (オープンシステム)<br>(1) LUN Manager (機能・操作)<br>(2) Performance Monitorなど<br>(3) Hitachi Dynamic Provisioning概要 |
| <b>備考</b> このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。   |



|  |
|--|
| <b>SPL070</b> 日立ストレージ  |
|  <b>日立ストレージハードウェア</b><br>—ハイエンドストレージ編—                      |
| 1日間  |
| ハイエンドストレージを担当する初級技術者・SEを対象にミッドレンジストレージとハイエンドストレージの異なりについて解説します。また、ハイエンドストレージの特徴であるメインフレーム接続について、接続構成や機能詳細を解説します。   |
| <b>到達目標</b> ハイエンドストレージのハードウェア・メインフレーム接続を修得し、構成設計ができるようになる。   |
| <b>対象者</b> ハイエンドストレージに関連したハード/ソフト開発を行う技術者、またシステム構成設計を行うSEの方。   |
| <b>前提知識</b> 「日立ストレージハードウェア—ミッドレンジストレージ編—」コースを修了しているか、同等の知識があること。   |
| <b>内容</b> 1. ハイエンドストレージ概要<br>2. ハードウェア<br>(1) ハードウェアアーキテクチャと内部動作<br>(2) 全体構成<br>(3) 各コンポーネント<br>3. ソフトウェア<br>(1) オープンシステム向けソフトウェア<br>(2) メインフレーム向けソフトウェア<br>4. メインフレームサポート<br>(1) メインフレーム接続概要<br>5. Hitachi Command Suiteストレージ設定 |
| <b>備考</b> このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。  |

|  |
|--|
| <b>SPL069</b> 日立ストレージ  |
|  <b>日立ストレージ機能</b><br>—無停止運用管理編—  |
| 1日間  |
| global virtualizationの概要と、global virtualizationをベースとした機能であるnondisruptive migration、global-active deviceの基本機能、システム構成、操作について学習します。   |
| <b>到達目標</b> ・global virtualizationの概要を修得し、操作・設定ができる。<br>・nondisruptive migrationやglobal-active deviceの知識を修得し、操作・設定ができる。  |
| <b>対象者</b> ストレージの仮想化機能global virtualizationの技術の修得をめざす方。  |
| <b>前提知識</b> 「日立ストレージ機能—リモートコピー編—」コースを修了しているか、同等の知識があること。   |
| <b>内容</b> 1. global virtualization<br>(1) 仮想ストレージ概要、仮想ストレージの作成<br>2. nondisruptive migration<br>(1) 基本機能 システム構成 操作(データ移行)<br>3. global-active device<br>(1) 基本機能 システム構成、操作                             |
| <b>備考</b> このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。  |

|  |
|--|
| <b>SPL071</b> 日立ストレージ  |
|  <b>REST APIを使用した</b><br>—ストレージ運用・管理—  |
| 1日間  |
| REST APIの基本的な使用方法から、ストレージの設定・管理方法をマシン実習を通して学習します。  |
| <b>到達目標</b> ・REST APIの基本的な使用方法が理解できる。<br>・REST APIを使用してストレージの設定ができる。<br>・REST APIを使用してストレージの情報を確認できる。  |
| <b>対象者</b> ストレージの運用・管理を行う方。  |
| <b>前提知識</b> 日立ストレージに関する知識をお持ちのこと。  |
| <b>内容</b> 1. REST APIとは<br>(1) REST API概要<br>2. REST API操作<br>(1) RESTクライアントインストール<br>(2) 認証(ベーシック認証、セッション認証)<br>(3) ストレージ情報確認、設定操作<br>3. REST API演習<br>(1) ストレージ設定、情報の確認などの演習                               |
| <b>備考</b> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。  |

|   |
|---|
| <b>SPL066</b> 日立ストレージ   |
|  <b>日立ストレージ機能</b><br>—バックアップ編—  |
| 1日間   |
| ShadowImage、Thin Imageの基本機能、ペア操作(Storage Navigator、RAID Manager)について学習します。なお、GUIおよびCLI操作も体験していただけます。  |
| <b>到達目標</b> ・ShadowImageの知識を修得し、操作・設定ができる。<br>・Thin Imageの知識を修得し、操作・設定ができる。   |
| <b>対象者</b> 日立ブロックストレージのボリュームコピー系機能ShadowImage、Thin Imageの技術の修得をめざす方。  |
| <b>前提知識</b> 「日立ストレージハードウェア—ミッドレンジストレージ編—」コースを修了しているか、同等の知識があること。  |
| <b>内容</b> 1. ShadowImage<br>(1) 基本機能 状態遷移 ペア操作<br>(2) RAID Managerを使用したシステム構成(構成定義ファイルなどを含む)<br>2. Thin Image<br>(1) 基本機能 状態遷移 ペア操作<br>3. GUIによる基本操作(ボリュームコピー系機能)<br>4. Hitachi Command Suiteペア設定     |
| <b>備考</b> このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。   |

|  |
|--|
| <b>SPL067</b> 日立ストレージ  |
|  <b>日立ストレージ機能</b><br>—仮想化編—    |
| 1日間  |
| 日立ストレージの仮想化機能Universal Volume Manager、Dynamic Provisioning、Dynamic Tieringの基本機能、システム構成、設定について学習します。なお、GUI操作も体験していただけます。  |
| <b>到達目標</b> ・Universal Volume Managerの知識を修得し、操作・設定ができる。<br>・Dynamic Provisioningの知識を修得し、操作・設定ができる。<br>・Dynamic Tieringの知識を修得し、操作・設定ができる。   |
| <b>対象者</b> 日立ブロックストレージの仮想化機能Universal Volume Manager、Dynamic Provisioning、Dynamic Tieringの技術の修得をめざす方。  |
| <b>前提知識</b> 「日立ストレージハードウェア—ミッドレンジストレージ編—」コースを修了しているか、同等の知識があること。   |
| <b>内容</b> 1. Universal Volume Manager (UVM)<br>(1) 基本機能 内部動作 システム構成 操作<br>2. Dynamic Provisioning (HDP)<br>(1) 基本機能 システム構成、操作(仮想ボリューム、プール作成、閾値設定)<br>3. Dynamic Tiering (HDT)<br>(1) 基本機能 システム構成、操作<br>4. active flash<br>(1) 基本機能 設定 操作<br>5. Hitachi Command Suite階層管理 |
| <b>備考</b> このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。  |

|   |
|---|
| <b>SPL068</b> 日立ストレージ   |
|  <b>日立ストレージ機能</b><br>—リモートコピー編—  |
| 1日間   |
| 日立ストレージリモートコピー機能(TrueCopy、Universal Replicator)の基本機能、システム構成、ペア操作について学習します。なお、GUIおよびCLI操作も体験していただけます。  |
| <b>到達目標</b> ・TrueCopyの知識を修得し、操作・設定ができる。<br>・Universal Replicatorの知識を修得し、操作・設定ができる。  |
| <b>対象者</b> 日立ブロックストレージのリモートコピー機能TrueCopy、Universal Replicatorの技術の修得をめざす方。   |
| <b>前提知識</b> 「日立ストレージ機能—バックアップ編—」コースを修了しているか、同等の知識があること。   |
| <b>内容</b> 1. TrueCopy<br>(1) 基本機能 状態遷移 システム構成(RAID Manager含む)ペア操作<br>2. Universal Replicator<br>(1) 基本機能 状態遷移 システム構成(RAID Manager含む)ペア操作  |
| <b>備考</b> このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。   |

|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービス マネジメント                 |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT 基本                          |
| IT 基本                          |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクト マネジメント                  |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

# Pentaho ソフトウェア

データ統合・分析基盤であるPentahoソフトウェアを使用したデータの統合処理や、分析・可視化に必要な機能や操作等の技術が修得できます。

## ● Pentahoソフトウェアを使ってデータ操作・参照したい方

|  |       |
|--|-------|
| <b>PTD001</b>                            | マシン実習 |
| (Pentaho 認定)<br>ビジネスアナリティクス<br>ユーザーコンソール |       |
| 1 日間                                     |       |

## ● PentahoソフトウェアのBI機能を使ったデータ分析をしたい方

|  |       |
|--|-------|
| <b>PTD002</b>                            | マシン実習 |
| (Pentaho 認定)<br>ビジネスアナリティクス<br>レポートデザイナー |       |
| 2 日間                                     |       |

|   |       |
|---|-------|
| <b>PTD003</b>                           | マシン実習 |
| (Pentaho 認定)<br>ビジネスアナリティクス<br>データモデリング |       |
| 2 日間                                    |       |

|                           |       |
|---------------------------|-------|
| <b>PTD004</b>             | マシン実習 |
| (Pentaho 認定)<br>CToolsの基本 |       |
| 2 日間                      |       |

## ● Pentahoソフトウェアを使用してデータ統合をしたい方

|                          |       |    |  |       |
|--------------------------|-------|----|--|-------|
| <b>PTD005</b>            | マシン実習 | 休講 | <b>PTD006</b>                                | マシン実習 |
| (Pentaho 認定)<br>データ統合の基本 |       | →  | (Pentaho 認定)<br>PentahoとHadoopフレーム<br>ワークの基本 |       |
| 3 日間                     |       |    | 2 日間   |       |

**音声有・説明文有**：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**音声有・説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

**音声なし・説明文有**：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におススメ**：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

|  |   |
|--|---|
| <b>PTD001</b>  | Pentahoソフトウェア                           |
|  | (Pentaho認定)<br>ビジネスアナリティクス<br>ユーザーコンソール |
|  |   |
| <p>ビジネス上の意思決定にビジネスインテリジェンスを利用するユーザーに対して、Pentaho製品の円滑なスタートを提供します。また、このコースはすべてのビジネス・アナリティクスとデータ統合の学習のための出発点となり、より高度なトピックのための前提条件となります。</p> |   |

|             |   |
|-------------|---|
| <b>到達目標</b> | インタラクティブレポート、アナライザ、レポートデザイナー、およびダッシュボードデザイナーの主な機能を説明できる。  |
| <b>対象者</b>  | ビジネスユーザーの方、ビジネスアナリストをめざす方、データアナリスト・Pentaho管理者・Pentahoサポートを担当する方。  |
| <b>前提知識</b> | 特に必要としません。  |
| <b>内容</b>   | 1. Pentahoビジネスアナリティクス入門<br>2. インタラクティブレポートによるレポート作成<br>3. アナライザによるレポート作成<br>4. ダッシュボードデザイナーによるダッシュボード作成 |
| <b>備考</b>   | ・このコースは、10:00～17:00の開催とさせていただきます。<br>・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。                                  |

※別途ご案内いたします。

|   |                          |
|---|--------------------------|
| <b>PTD004</b>   | Pentahoソフトウェア            |
|   | (Pentaho認定)<br>CToolsの基本 |
|   |                          |
| <p>リッチなユーザー体験を提供するピクセルパーフェクトなダッシュボードの作成方法について学習します。</p> |                          |

|             |   |
|-------------|---|
| <b>到達目標</b> | ・ダッシュボードデザインのためのトップ・ボトムアプローチが説明できる。<br>・DCFのようなダッシュボードフレームワークの目的を説明できる。<br>・コアのCTools（CDA、CDE、CCC）が使えて、その目的が説明できる。<br>・CToolsの中で使用されるテクノロジが説明できる。<br>・CToolsトレーニング環境が説明できる。<br>・CDEを使ったダッシュボードのためのレイアウトが作成できる。<br>・CDEのライフサイクルの背景となる主要コンセプトが説明できる。<br>・CDEデータソースパースペクティブが説明できる。<br>・Mondrianデータソースをダッシュボードに追加できる。<br>・CCCとCCC2が説明できる。<br>・チャートや表がダッシュボードに追加できる。<br>・チャートカスタマイズのための拡張ポイントを見つけるためドキュメントを使える。<br>・パラメータコンポーネントをダッシュボードに追加できる。<br>・セレクトターやウィジェットをダッシュボードに追加できる。 |
| <b>対象者</b>  | ビジネスアナリストをめざす方。   |
| <b>前提知識</b> | (Pentaho認定) ビジネスアナリティクスコースを修了しているか、同等の知識があること。  |
| <b>内容</b>   | 1. ダッシュボードデザイン<br>2. CToolsのアーキテクチャ<br>3. CDF/CDE入門<br>4. CDAによるダッシュボードデータソースの作成<br>5. ダッシュボードへのコンポーネント追加<br>6. CCCによるチャートの設定<br>7. コンポーネント間の相互利用<br>8. CGGとCDAのエクスポート機能  |
| <b>備考</b>   | ・このコースは、10:00～17:00の開催とさせていただきます。<br>・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。  |

※別途ご案内いたします。

|   |   |
|---|---|
| <b>PTD002</b>   | Pentahoソフトウェア                           |
|   | (Pentaho認定)<br>ビジネスアナリティクス<br>レポートデザイナー |
|   |   |
| <p>Pentahoレポートデザイナーにより、レポートのデザイン、作成、パブリッシュ方法を修得します。また、データソースへのアクセスからデザイン要素の追加までビジネスレポート作成に必要なすべてのステップを学習できます。</p> |   |

|             |  |
|-------------|--|
| <b>到達目標</b> | ・レポートデザイナーの主要な特徴を説明できる。<br>・データソースに接続してクエリ・デザインツールによりレポートのためのクエリが書ける。<br>・さまざまなデータを使用して要素をデザインできる。<br>・レポート要素をフォーマットして、条件フォーマットをレポート要素に適用できる。<br>・ハイパーリンクとパラメータをレポートに追加できる。<br>・レポートデザイナーでチャートとサブレポートを使える。<br>・レポート内でリソースファイルを使うことができる。<br>・レポートウィザードを使ってレポートを作成できる。 |
| <b>対象者</b>  | ビジネスアナリストをめざす方、Pentahoサポートを担当する方。  |
| <b>前提知識</b> | 特に必要としません。   |
| <b>内容</b>   | 1. Pentahoビジネスアナリティクス入門<br>2. レポートデザイナーによるレポート作成<br>3. 高度なレポートングトピック<br>4. レポートウィザードによるレポート作成  |
| <b>備考</b>   | ・このコースは、10:00～17:00の開催とさせていただきます。<br>・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。   |

※別途ご案内いたします。

|  |                         |
|--|-------------------------|
| <b>PTD005</b>  | Pentahoソフトウェア           |
|  | (Pentaho認定)<br>データ統合の基本 |
|  |                         |
| <p>Pentahoデータ統合を活用し、生産性を向上させるスキルを修得できます。また、Pentahoのデータ統合機能を使用して、さまざまなアプリケーションにデータを配信する方法を学習できます。</p> |                         |

|             |   |
|-------------|---|
| <b>到達目標</b> | ・ステップやホップを含む基本的なデータ変換の作成、プレビュー、実行ができる。<br>・データ変換の結果をメトリクスビューやログビューで確認できる。<br>・基本的なセキュリティを含むPentahoエンタープライズレポジトリを設定できる。<br>・Pentahoエンタープライズレポジトリを使用できる。<br>・データ変換ステップのためのエラーハンドリングができる。<br>・データベース接続を作成してデータベース探索が行える。<br>・データ変換の作成が行える。<br>・ストリーム上での複雑な計算を行うデータ変換の作成できる。<br>・パラメータや環境変数を使った繰り返しのデータ変換を作成できる。<br>・データ補正データクレンジングにPentahoデータ統合を使用できる。<br>・異なるデータソースへデータをロードできる。<br>・ジョブを作成できる。<br>・データ変換やジョブのためのログを設定し、結果を検証できる。<br>・Pentahoデータ統合、Pentahoエンタープライズコンソールから、スケジュールしてモニタリングできる。 |
| <b>対象者</b>  | データアナリストをめざす方。  |
| <b>前提知識</b> | 特に必要としません。  |
| <b>内容</b>   | 1. 基本的なデータ変換の作成、プレビュー、実行<br>2. メトリクスビューやログビュー<br>3. Pentahoエンタープライズレポジトリ<br>4. エラーハンドリング<br>5. データベース接続<br>6. 各種データ変換<br>7. データ統合<br>8. ジョブの作成  |
| <b>備考</b>   | ・このコースは、10:00～17:00の開催とさせていただきます。<br>・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。  |

※別途ご案内いたします。

|  |  |
|--|--|
| <b>PTD003</b>  | Pentahoソフトウェア                          |
|  | (Pentaho認定)<br>ビジネスアナリティクス<br>データモデリング |
|  |  |
| <p>Pentahoメタデータエディターやスキーマワークベンチを使って、インタラクティブレポートやアナライザで使用するデータモデルの作成を行います。</p> |  |

|             |   |
|-------------|---|
| <b>到達目標</b> | ・データソースウィザードを使用してCSVファイルからデータモデルを作成できる。<br>・Pentahoメタデータエディターを使って、複雑なDBテーブルやレポートデータに対するセキュリティパラメータの設定するためのビジネス言語定義が行える。<br>・OLAP、ROLAP、ディメンジョナル・モデリングを説明できる。<br>・Mondrianスキーマの機能と目的を説明できる。<br>・Pentahoアナライザの基本的なキューブを作成するために、スキーマワークベンチを使える。<br>・ヒエラルキー・レベル・計算メンバーを含むスタースキーマを作成するために、スキーマワークベンチを使える。<br>・スキーマワークベンチ内でMondrianスキーマをテストするために基本的なMDXクエリを書ける。<br>・Mondrianスキーマへのアクセスを管理するため、どのようにスキーマワークベンチのロールを使うか説明できる。 |
| <b>対象者</b>  | ビジネスアナリスト、データアナリストをめざす方、Pentahoサポートを担当する方。  |
| <b>前提知識</b> | 特に必要としません。  |
| <b>内容</b>   | 1. Pentahoビジネスアナリティクス入門<br>2. Pentahoによるデータソースの働き<br>3. OLAP/ROLAPとディメンジョナル・モデリング<br>4. スキーマワークベンチの使用   |
| <b>備考</b>   | ・このコースは、10:00～17:00の開催とさせていただきます。<br>・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。  |

※別途ご案内いたします。

|  |   |    |
|--|---|----|
| <b>PTD006</b>  | Pentahoソフトウェア                               | 休講 |
|  | (Pentaho認定)<br>Pentahoと<br>Hadoopフレームワークの基本 |    |
|  |   |    |
| <p>HadoopフレームワークのテクノロジとPentaho製品によるさまざまなビッグデータのコンセプトについて紹介し、PentahoがどのようにHadoop関連テクノロジ（HDFS、MapReduce、YARNなど）と連携するかを学習します。</p> |   |    |

|             |  |
|-------------|--|
| <b>到達目標</b> | ・コマンドラインやPentahoデータ統合から、Hadoopテクノロジを使用できる。<br>・データインジェクション（データの取込み・加工）やデータ処理のベストプラクティスを用いることができる。  |
| <b>対象者</b>  | データアナリストをめざす方。   |
| <b>前提知識</b> | [(Pentaho認定) データ統合の基本] コースを修了しているか、または同等の知識があること。  |
| <b>内容</b>   | 1. Pentahoとビッグデータ<br>2. ビッグデータソリューションのアーキテクチャ<br>3. Hadoop と HDFS<br>4. Hadoop DATA INGESTION TOOLS<br>5. MapReduceを使ったときのHadoopのデータプロセス<br>6. CARTE/YARNを使用しているHadoopのデータプロセス<br>7. DATA PROCESSINGとPIG<br>8. PDIとOOZIEによるJOB ORCHESTRATION<br>9. HadoopでSQLを実行するベストプラクティス<br>10. HBASE概要<br>11. SPARK概要<br>12. BIG DATA<br>13. PDIとAmazon Hadoop |
| <b>備考</b>   | ・このコースは、10:00～17:00の開催とさせていただきます。<br>・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。   |

※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービス マネジメント                 |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション 開発                    |
| Web アプリケーション                   |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT 基本                          |
| IT 基本                          |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクト マネジメント                  |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

日立製品

JP1

uCosminexus Application Server

HIRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/VOSK

XDM/PDM II

Hitachi Advanced Data Binder

日立ストレージ

Pentaho ソフトウェア

デジタルトランスフォーメーション

IT 利活用

イノベーション

IoT/AI/Lumada

ビッグデータ

データ分析

サイバーセキュリティ

クラウド/サーバ仮想化

IT サービスマネジメント

システム基盤

オープンソースソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画/システム設計

IT戦略・IS企画

システム設計

アプリケーション開発

Webアプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/UML

言語

IT 基本

IT 基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ

プロジェクトマネジメント

コンプライアンス

ビジネス/ヒューマン

グローバル

# IT利活用

デジタルソリューション(IoT/AI/Lumada)の概要を理解し、ビジネスを展開するためのスキルが修得できます。

● **イノベーションとデジタルビジネスの概要を知りたい方**

音声有 + 説明文なし

IOE001 eラーニング

デジタルソリューションで活用するIT技術概説

8時間

《オーダー研修》  
イノベーションとデジタル化にどう向き合うか

《オーダー研修》：ご希望に応じて個別開催いたします。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。

音声有 + 説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。  
音声有 + 説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。  
音声なし + 説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におススメ**：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

# イノベーション

イノベーションのプロセス、思考技法、必要な事業戦略の知識が修得できます。

● **イノベティブな考え・行動を強化したい方**

イノベティブな思考の進め方、思考法を知りたい

HSJ170 グループ演習  
イノベティブ思考  
-単なるアイデアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた-

2日間

HSJ163 グループ演習  
クリエイティブシンキング

1日間

未来の社会の姿をどう想像するのか、その方法を知りたい

HSJ158 グループ演習  
イノベーションプロセスを強化するシナリオプランニング

1日間

考えているエコシステムをどのように図で表現するとよいか知りたい

HSJ157 グループ演習  
システムシンキング基礎  
-問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化する-

2日間

データを利活用したビジネスのアイデア出しがしたい

HSJ175 レクチャ  
データ利活用のパターンとビジネス着想

0.5日間

ビジネスモデルを検討する際の考慮すべき要素や進め方を知りたい

ビジネスモデルキャンパス活用関連4コース

HSJ159 グループ演習  
顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン

2日間

HSJ177 グループ演習  
実現可能性を高める「ユーザー」の意見を捉えて解決する成長志向型のサービスデザイン-事業開始の失敗リスクを最小化するための事業・競争戦略、内部プロセスの検討-

1日間

HSJ178 グループ演習  
新事業における利益の健全性評価と収益性の高いビジネスモデルのデザイン-不確実性の高いビジネスにおける仮設検証、顧客ベースのライティングを身に付ける-

1日間

HSJ176 グループ演習  
顧客との関係を深め続けられる顧客接点のビジネスモデルデザイン-モバイル時代の消費者行動の変化を捉え、経験価値をデザインする-

1日間

音声有 + 説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。  
音声有 + 説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。  
音声なし + 説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におススメ**：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

IOE001 IT利活用

**<eラーニング>**  
デジタルソリューションで活用するIT技術概説

平均8時間

社会イノベーション事業などITを活用したビジネスを企画・提案する方に必要となるIT技術の概要を学習します。

**学習目標**

- 各ビジネス領域でIT化を実現するためにどのようなIT技術が活用されているかを説明できる。
- ビジネスに活用される主なIT技術を説明できる。
- IT化を実現するための体制、プロセス、提供モデルが説明できる。

**対象者**

業務にITを活用する方、ITを活用したビジネスを企画・提案する方。

**前提知識**

特に必要としません。

**内 容**

- IT活用の変遷とビジネスへのかかわり
  - ITとは何か
  - ソリューションの変遷
- 各種ビジネス領域で活用されるIT
  - ITシステムのアーキテクチャ
  - IoT
  - クラウドコンピューティング
  - ビッグデータ
  - AI、BI
  - セキュリティ
- 提供形態
  - ソリューション
  - 提供形態
  - サービス
- 提供プロセス
  - 開発プロセス
  - デジタルソリューション開発プロセス
  - PoC
  - アジャイル開発
- まとめ
  - 技術の整理

**備 考**

- 終了日は9月30日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

マシン実習  
マシンを使用しながらの研修

グループ演習  
グループ演習を中心とした研修

レクチャ  
座学による研修

演習環境  
職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習

研修室自習型  
研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習

eラーニング  
インターネット接続による自己学習

目録テキスト  
目録テキストによる自己学習

休講  
休講  
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

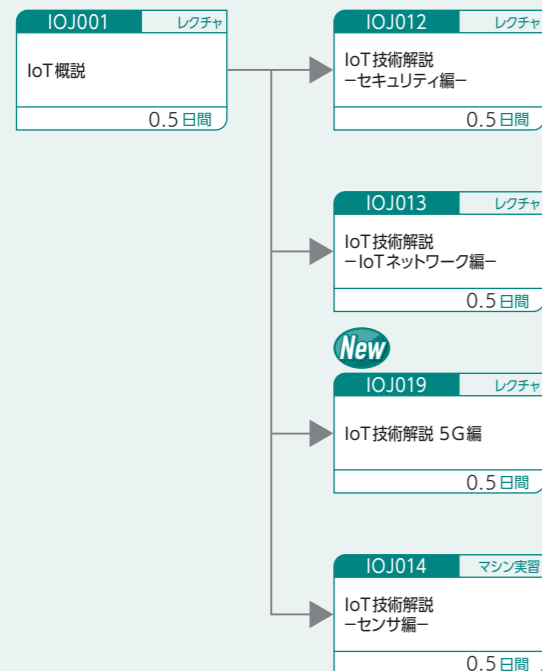
105



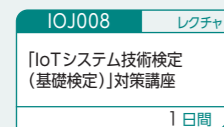
## IoT/AI/Lumada

IoTやAIなどのデジタル化に必要なシステム開発技術が修得できます。

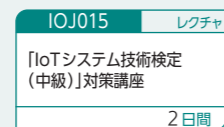
## IoT技術を身につけたい方



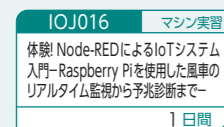
<基礎検定受検者向け>



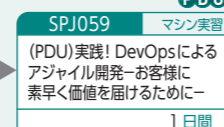
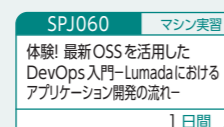
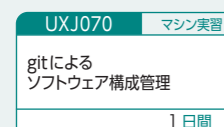
<中級検定受検者向け>



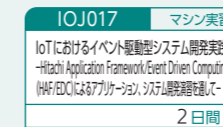
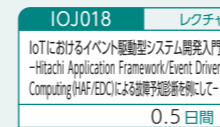
## OSSを活用したIoTシステムを開発したい方



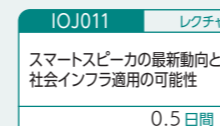
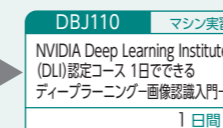
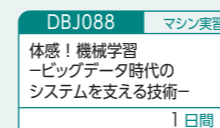
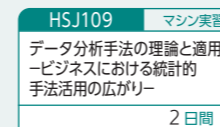
## 最新OSSを活用したDevOpsを知りたい方



## Hitachi Application Framework/Event Driven Computingを利用したシステムを開発したい方



## AIを活用したビジネスに携わる方



音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション (説明テキスト) で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。


音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。


初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。


PDU : PMP® 資格更新に必要なポイント (PDU) を取得できます。






|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDMⅡ                       |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービス マネジメント                 |
| システム基盤                         |
| オープンソース ソフトウェア(OSS)            |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション 開発                    |
| Web アプリケーション                   |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/ UML                  |
| 言語                             |
| IT 基本                          |
| IT 基本                          |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクト マネジメント                  |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ ヒューマン                    |
| グローバル                          |


| 10JO01 IoT/AI/Lumada  |
|---|
|  <b>IoT概説</b><br>0.5日間 |
| <b>IoTの全体像を理解します。</b>   |
| <b>到達目標</b>   |
| ・IoTとは何かを理解できる。<br>・IoTのシステム構成を理解できる。<br>・各社のIoTの動向を理解できる。<br>・IoTの技術的なポイントを理解できる。                      |
| <b>対象者</b>  |
| IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。   |
| <b>前提知識</b>   |
| 特に必要としません。  |
| <b>内 容</b>  |
| 1. IoTとは<br>2. IoTシステムと関連技術<br>3. IoT技術動向<br>4. 各社の動向   |
| <b>備 考</b>  |
| このコースは、9:00～12:00の開催とさせていただきます。   |

| 10JO12 IoT/AI/Lumada   |
|--|
|  <b>IoT技術解説<br/>ーセキュリティ編ー</b><br>0.5日間  |
| <b>IoTシステムでのセキュリティの重要性とセキュリティの適用事例を学習します。</b>  |
| <b>到達目標</b>  |
| ・IoTでのセキュリティの重要性を説明できる。<br>・IoTでのセキュリティの考え方を説明できる。<br>・IoTシステムに即したセキュリティを提案できる。  |
| <b>対象者</b>   |
| IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。  |
| <b>前提知識</b>  |
| 「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。  |
| <b>内 容</b>   |
| 1. IoTセキュリティの重要性<br>2. ITセキュリティとの異なり<br>3. IoTシステムでのセキュリティ適用事例<br>4. 業界ごとのセキュリティ技術（自動車・製造関連・医療関連など）<br>5. セキュリティ技術：ホワイトリスト、SSL/TLSなど<br>6. その他<br>(1) 各種セキュリティガイドライン |
| <b>備 考</b>   |
| ・このコースの開催時間は以下の通りです。<br>【東京(大森)地区】<br>5/31 9:00～12:00<br>7/31 9:00～12:00<br>8/28 9:00～12:00<br>【大阪地区】<br>8/20 13:00～16:00<br>【名古屋地区】<br>7/ 4 13:00～16:00             |

| 10JO13 IoT/AI/Lumada   |
|--|
|  <b>IoT技術解説<br/>ーIoTネットワーク編ー</b><br>0.5日間  |
| <b>IoTネットワークの構築に必要な基礎知識（電波特性・関連法令・ネットワークの種類）とともに、LPWAを使用したネットワークのシステム構成・セキュリティについて学習します。</b>   |
| <b>到達目標</b>  |
| ・IoT広域ネットワークで使用される技術について理解できる。<br>・IoTエリアネットワークで使用される技術について理解できる。<br>・IoTネットワークを構築するための関連知識について理解できる。  |
| <b>対象者</b>   |
| IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。  |
| <b>前提知識</b>  |
| 「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。  |
| <b>内 容</b>   |
| 1. 無線関連の基礎知識<br>(1) 電波特性<br>(2) 関連法令<br>(3) その他<br>2. 広域ネットワーク技術<br>(1) LPWA<br>LoRa, Sigfox, NB-IoT等<br>(2) その他<br>3. エリアネットワーク技術<br>(1) Wi-Fi<br>(2) その他 Wi-SUNなど<br>4. ネットワークセキュリティ技術概要 |
| <b>備 考</b>   |
| このコースは、9:00～12:00の開催とさせていただきます。  |


| 10JO19 IoT/AI/Lumada   |
|--|
|  <b>IoT技術解説 5G編</b><br>0.5日間   |
| <b>IoTシステム構築・関連製品の企画・構築を行う方を対象に、高速・低遅延の無線ネットワークとして、各種IoTシステムやコネクテッドカーへの適用が進む5Gの構成と機能を学習します。</b>  |
| <b>到達目標</b>  |
| 5Gを使用したIoTシステムの構築について説明できる。  |
| <b>対象者</b>   |
| IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。  |
| <b>前提知識</b>  |
| 「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。  |
| <b>内 容</b>   |
| 1. 5Gとは<br>(1) 5Gとは<br>(2) 4G (LTE)や既存LPWA (Sigfoxなど)との異なり<br>(3) 今後の適用<br>2. 5G詳細技術<br>(1) 5G New Radio<br>(2) Massive MIMO<br>(3) その他関連技術<br>3. IoTへの適用<br>(1) 自動車関連(コネクテッドカー・オートノマスカ―)<br>(2) 医療関連<br>(3) その他<br>4. 関連事項<br>(1) 3GPPや業界の動向<br>(2) 各社の5Gサービス |
| <b>備 考</b>   |
| このコースは、9:30～12:00の開催とさせていただきます。  |

| 10JO14 IoT/AI/Lumada  |
|---|
|  <b>IoT技術解説<br/>ーセンサ編ー</b><br>0.5日間                  |
| <b>センサの使い方を理解するとともに、IoTデバイスでのセンサ制御やIoTサーバでのデータ活用など、センサを使用したIoTシステム全体を理解します。</b>   |
| <b>到達目標</b>   |
| センサを使用したIoTシステムの全体像を理解できる。  |
| <b>対象者</b>  |
| IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。   |
| <b>前提知識</b>   |
| 「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。   |
| <b>内 容</b>  |
| 1. センサの基礎知識<br>(1) センサの種類<br>(2) センサの塗装<br>(3) センサ動作概要<br>2. センサシステム構築実習<br>(1) センサとマイコンボードの接続<br>(2) センサ用プログラムの作成<br>(3) サーバでのデータの見える化 |
| <b>備 考</b>  |
| このコースは、13:00～17:00の開催とさせていただきます。  |

| 10JO08 IoT/AI/Lumada   |
|--|
|  <b>「IoTシステム技術検定（基礎検定）」<br/>対策講座</b><br>1日間                              |
| <b>IoTの提案・企画を今後行う営業・SEに対して、「IoTシステムのデモンストレーション」「座学」「模擬試験」を使用し、IoTに関する基礎知識（考え方・用語）を紹介し、なお、このコースは「MCPC主催 IoTシステム技術検定 基礎検定」についての対策講座です。</b>                     |
| <b>到達目標</b>  |
| ・IoTシステム技術検定(基礎検定)に合格できる。<br>・IoTシステムの概要、技術的なキーワードが理解できる。  |
| <b>対象者</b>   |
| IoT基礎知識の保有を認する「IoTシステム技術検定(基礎検定)」の合格をめざす方。   |
| <b>前提知識</b>  |
| 特に必要としません。   |
| <b>内 容</b>   |
| 1. デモンストレーション (IoTデバイスなど)<br>2. 技術ポイント解説<br>(1) IoTシステム構築<br>(2) センサ・アクチュエータ<br>(3) IoTデータ活用 (ビッグデータ・AI)<br>(4) IoTセキュリティ<br>(5) IoTシステムプロトタイプینگ<br>3. 模擬試験 |
| <b>備 考</b>   |
| ・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。<br>・テキストとして IoT技術テキスト 基礎編 [MCPC IoTシステム技術検定基礎対応]公式ガイドを配布します。(受講料に含まれます)   |


| 10JO15 IoT/AI/Lumada  |
|---|
|  <b>「IoTシステム技術検定（中級）」<br/>対策講座</b><br>2日間  |
| <b>検定出題分野における技術力の向上と試験対策を学習します。</b>   |
| <b>到達目標</b>   |
| MCPC主催「IoTシステム技術検定(中級)」に合格できる技術力を修得できる。   |
| <b>対象者</b>  |
| 「IoTシステム技術検定(中級)」の合格をめざす方。  |
| <b>前提知識</b>   |
| 「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。   |
| <b>内 容</b>  |
| 1. 試験の概要<br>2. IoTシステム構築と構築技術<br>(1) IoTシステムアーキテクチャ<br>(2) IoTサービスプラットフォーム<br>3. センサ/アクチュエータと通信方式<br>(1) IoTデバイス<br>(2) ネットワーク<br>(3) プロトコル<br>4. AI分析とデータ活用<br>(1) ビッグデータ分析技術<br>(2) IoTデータ活用事例<br>5. セキュリティ対策とプライバシー保護<br>(1) セキュリティ対策<br>(2) 情報セキュリティと法制度<br>6. IoTのプロトタイプینگ<br>(1) プロトタイプینگ |
| <b>備 考</b>  |
| このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。   |


| 10JO16 IoT/AI/Lumada  |
|---|
|  <b>体験！Node-REDによるIoTシステム入門<br/>ーRaspberry Piを使用した風車のリアルタイム監視から予兆診断までー</b><br>1日間  |
| <b>ハードウェアデバイス/APIやオンラインサービスを接続するツールであるNode-REDを活用し、機器の監視から予兆診断、保守までを実行するIoTシステムの実装方法を学習します。IoTシステムのエッジとして使用されることが多いRaspberry Piを使用し、機器からセンサでデータ収集・処理を行います。風車のメンテナンスを事例に、顧客にとって有益なIoTシステムの設計、実装する演習を行い、実践力の強化を図ります。</b>  |
| <b>到達目標</b>   |
| ・IoTシステムにおけるデータ収集、加工、分析、可視化、予兆診断、保守などの処理の流れを説明できる。<br>・Node-RED上で簡単なフローを作成できる。<br>・Node-REDとRaspberry Piを連携させた、簡単なIoTシステムを設計、実装できる。   |
| <b>対象者</b>  |
| Node-REDを使用して、データ収集、加工、分析などの処理を行うIoTシステムを提案、設計、開発、実装する方。  |
| <b>前提知識</b>   |
| ・Windowsの操作ができること。<br>・Linuxの基本的な操作 (ls, cd, moreコマンド) ができること。  |
| <b>内 容</b>  |
| 1. LumadaとNode-RED<br>(1) Lumadaの概要<br>(2) LumadaにおけるNode-RED<br>2. 風車の予兆診断デモ<br>(1) 風車保守最適化ソリューション<br>(2) 風車の予兆診断デモ<br>3. Node-REDの処理フローとノード<br>(1) Node-REDの概要<br>(2) 処理フローの作成<br>(3) ノードの紹介と主なフロー処理<br>4. Raspberry PiとNode-RED<br>(1) Raspberry Pi, Sense HATとNode-RED<br>(2) MQTTによるセンサデータ収集<br>(3) データレイクとしてのElasticsearchの利用<br>5. 風車の予兆診断デモアプリケーション<br>(1) 風車の予兆診断デモアプリケーションの概要<br>(2) 風車の予兆診断デモアプリケーションの詳細 |
| <b>備 考</b>  |
| ・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。<br>・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。  |
| ※別途ご案内いたします。  |


| SPJ060 IoT/AI/Lumada   |
|--|
|  <b>体験！最新OSSを活用したDevOps入門<br/>ーLumadaにおけるアプリケーション開発の流れー</b><br>1日間  |
| <b>OSS (Redmine, Rocket.Chat, Git, Jenkins, Docker, Hubot)を活用したDevOps環境において、頻繁に設計・開発、テストを行うアプリケーション開発手法を体験しながら学習します。DevOps環境の体験は、Lumada Competency Centerを使います。</b>  |
| <b>到達目標</b>  |
| ・DevOpsの概要を説明できる。<br>・DevOps環境で基本的なアプリケーションの開発の流れを説明できる。   |
| <b>対象者</b>   |
| DevOpsによるアプリケーション開発を行う予定の方。  |
| <b>前提知識</b>  |
| システム開発に関する基礎知識があること。   |
| <b>内 容</b>   |
| 1. 概要<br>(1) デジタルソリューションとシステム開発における課題<br>(2) DevOpsとは<br>(3) 最新OSSを活用したDevOps環境の概要<br>2. DevOps環境でのアプリケーション開発デモ<br>(1) デモ環境(研修環境)の概要<br>(2) アプリケーション開発の流れ<br>(3) アプリケーション開発デモ<br>3. DevOps環境のツールの機能と操作<br>(1) プロジェクト管理 (Redmine)<br>(2) コミュニケーション (Rocket.Chat)<br>(3) ソースコード管理・ソースコードレビュー (Git/GitHub)<br>(4) 継続的インテグレーション (Jenkins)<br>(5) ChatOps (Hubot)<br>4. サンプルによるDevOps体験<br>(1) DevOps環境での開発フロー<br>(2) 演習 (プロジェクト管理)<br>(3) 演習 (開発)<br>(4) 演習 (リリース) |
| <b>備 考</b>   |
| このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。<br><br>※別途ご案内いたします。  |

|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDMⅡ                       |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービス マネジメント                 |
| システム基盤                         |
| オープンソース ソフトウェア(OSS)            |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション 開発                    |
| Web アプリケーション                   |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/ UML                  |
| 言語                             |
| IT 基本                          |
| IT 基本                          |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクト マネジメント                  |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ ヒューマン                    |
| グローバル                          |

|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービスマネジメント                  |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT基本                           |
| IT基本                           |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

|   |   |
|---|---|
| DBJ088  | IoT/AI/Lumada   |
|  | <b>体感！機械学習<br/>ービッグデータ時代のシステムを支える技術ー</b>  |
| 1日間   | ビッグデータでは収集したデータを活用する技術が必要です。このコースでは、データ活用技術の一つとして機械学習の導入を学習します。データを活用したシステムに向けた技術を修得できます。   |
| 到達目標  | ・機械学習の概要が説明できる。<br>・ツールを用いて簡単な機械学習を用いた分析ができる。   |
| 対象者   | ビッグデータ関連事業に携わる方。  |
| 前提知識  | 基本的なプログラムの文法（言語は問いません）を理解しており、かつ「ビッグデータ概説」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。  |
| 内容  | 1. 機械学習の概要<br>(1) 機械学習とは<br>(2) 機械学習の種類<br>(3) 機械学習のプロセス<br>(4) ビッグデータにおける機械学習の位置づけ<br>(5) 機械学習とデータマイニング<br>2. 分析ツールを利用した機械学習<br>(1) Rの概要<br>(2) 事例1 最適化<br>(3) 事例2 異常検知<br>(4) 事例3 数値予測<br>(5) 精度の確認<br>3. 機械学習の実装 |
| 備考  | ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。<br>・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。  |

|   |  |
|---|--|
| DBJ110  | IoT/AI/Lumada  |
|  | <b>NVIDIA Deep Learning Institute (DLI)<br/>認定コース 1日できるディープラーニング<br/>ー画像認識入門ー</b>  |
| 1日間   | ディープラーニングの概要、ニューラルネットワークの基礎、画像認識によく使われる畳み込みニューラルネットワークを学習します。さらに、ハンズオンでは、NVIDIA DLI のGPUディープラーニング学習システム「DIGITS」を使った実環境での画像認識を体験します。ディープラーニングの基礎から精度向上のテクニックまでを紹介します。   |
| 到達目標  | ・ディープラーニングによるモデル構築の一連の流れを具体的に説明できる。<br>・CaffeとNVIDIA DIGITSを利用した画像認識の学習プロセスの概略を説明できる。  |
| 対象者   | 人工知能のブーム到来を受けて興味はあるが、ディープラーニングの適用イメージ、構築イメージが分からないITエンジニア（若手・中堅）の方。これからデータ活用案件において、ディープラーニング利用を要望されており、初歩・中級レベルで理解したい、使えるようにしたい方。  |
| 前提知識  | 特に必要としません。   |
| 内容  | 1. ディープラーニング概論<br>(1) ディープラーニングとは<br>(2) ディープラーニングによる恩恵<br>(3) ディープラーニングの適用領域<br>2. ニューラルネットワーク<br>(1) ニューラルネットワークとは<br>(2) ディープラーニングにおける学習プロセス<br>(3) 学習プロセスでのさまざまなテクニック<br>3. 畳み込みニューラルネットワーク<br>(1) 畳み込みニューラルネットワークとは<br>(2) 畳み込み層 (3) プーリング層<br>4. ディープラーニング学習システム<br>(1) DIGITS (2) Caffe<br>5. ハンズオン<br>(1) DIGITSによる画像分類  |
| 備考  | ・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。<br>【事前準備のお願い】<br>研修開始までに、NVIDIAアカウントの作成が必要です。事前にアカウントを作成した上で、ご受講ください。<br>[1] <a href="http://courses.nvidia.com/joinへアクセス">http://courses.nvidia.com/joinへアクセス</a><br>[2] [Create an account]をクリック<br>[3] 右下、言語をEnglish [US] から日本語へ、「アカウントをお持ちでないですか?」の右、「アカウントを作成する」をクリック<br>[4] 必要事項を入力し、「アカウントを作成する」をクリック<br>[5] プライバシー設定承認画面にて「許可する」をクリック<br>[6] 確認用メールが届きます。メールを確認します。<br>[7] [電子メールアドレスの確認]をクリック<br>[8] 姓名、組織名、場所、職種、興味分野を入力(英語)<br>[9] [Submit]をクリック<br>[10] [Public Username]を任意の名前で入力<br>[11] [Create Account]をクリックで完了 |
|   | ・株式会社日立インフォメーションアカデミーは、NVIDIA社の Deep Learning Institute (DLI) トレーニングパートナーです。   |

|  |   |
|--|---|
| IOJ011   | IoT/AI/Lumada   |
|  | <b>スマートスピーカの最新動向と<br/>社会インフラ適用の可能性</b>  |
| 0.5日間  | スマートスピーカを用いたビジネスのモデルからその実装までを概観するコースです。技術革新の激しい分野のため、業界に精通する外部講師に登壇いただき最新動向を解説します。  |
| 到達目標   | ・スマートスピーカの機能が理解できる。<br>・スマートスピーカの業界動向や個人や社会に与える影響が理解できる。<br>・スマートスピーカ関連のビジネスモデルや商機が理解できる。<br>・スマートスピーカ関連サービス/アプリ開発の雰囲気や理解できる(実機体験)。   |
| 対象者  | スマートスピーカに関する最新動向を把握したいSE、営業職の方。   |
| 前提知識   | 特に必要としません。  |
| 内容   | 1. スマートスピーカの最新動向<br>(1) 市場動向<br>(2) 基本機能と主な利用シーン<br>(3) 基本構造と低価格実現の背景<br>2. プラットフォーマー各社の動向とねらい<br>(1) Amazon Alexa：EC注文増<br>(2) Google Assistant：新しい検索手段<br>(3) LINE Clova：新しいコミュニケーションスタイルの提案<br>3. スマートスピーカ周辺ビジネス<br>(1) SKILL開発、SKILLストア<br>(2) プラットフォームを利用したハードウェア開発<br>4. SKILL開発の全体像<br>(1) チャットボットからの発展<br>(2) 従来アプリとの違い、SKILLに向いている機能<br>(3) 対話AIをはじめとする関連要素技術<br>(4) Dialog flowでのSKILL開発<br>(5) 起動、終了コマンドの重要性<br>5. ボイスコンピューティングにおけるマネタイズの可能性<br>(1) SKILLストア<br>(2) 広告<br>(3) 家庭以外での活用<br>(4) スマホユーザー以外へのリーチ |
| 備考   | このコースは、9:30～12:00の開催とさせていただきます。   |

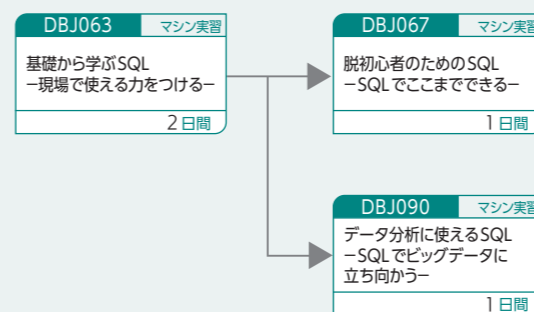
# ビッグデータ

ビッグデータの概要と、関連する要素技術や活用手法の概要が修得できます。

## ● ビッグデータとは何か?や既存技術との違いを理解し、関連するIT技術/分析技術の概要を修得したい方

|                      |        |
|----------------------|--------|
| DBJ081               | レクチャ   |
| ビッグデータ概説             |        |
| 初心者におすすめ             | 0.5日間  |
| または                  |        |
| DBE701               | eラーニング |
| 【ナビ機能付き】<br>ビッグデータ概説 |        |
| 8時間                  |        |

## ● ビッグデータの分析に役立つSQLを修得したい方



## ● AIを活用したビジネスに携わる方

|   |       |
|---|-------|
| HSJ109                                      | マシン実習 |
| データ分析手法の理論と適用<br>ービジネスにおける統計的<br>手法活用の広がりにー |       |
| 2日間   |       |

|                                      |       |
|--------------------------------------|-------|
| DBJ088                               | マシン実習 |
| 体感！機械学習<br>ービッグデータ時代の<br>システムを支える技術ー |       |
| 1日間                                  |       |

|  |       |
|--|-------|
| DBJ110   | マシン実習 |
| NVIDIA Deep Learning Institute (DLI)認定コース 1日できる<br>ディープラーニング-画像認識入門- |       |
| 1日間  |       |

|                                |      |
|--------------------------------|------|
| IOJ011                         | レクチャ |
| スマートスピーカの最新動向と<br>社会インフラ適用の可能性 |      |
| 0.5日間                          |      |

音声+説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

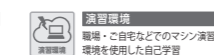
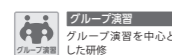
音声なし+説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

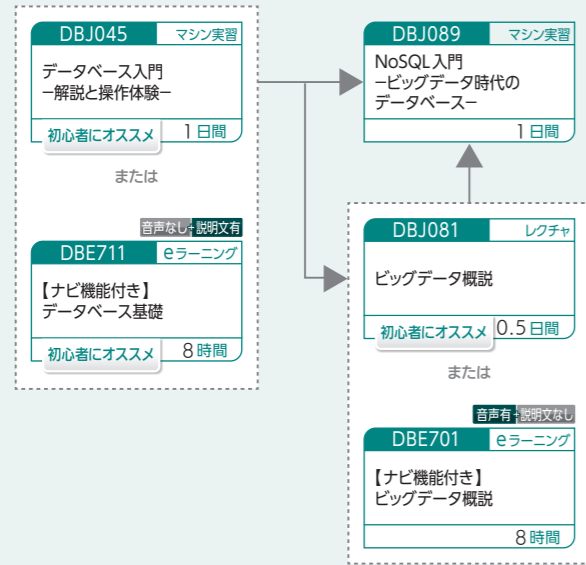


コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.com.jp/>

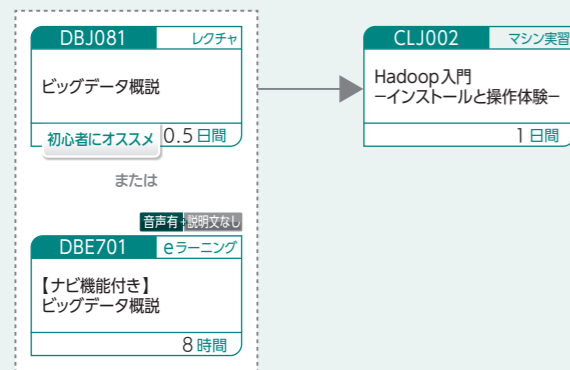
|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービスマネジメント                  |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT基本                           |
| IT基本                           |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |



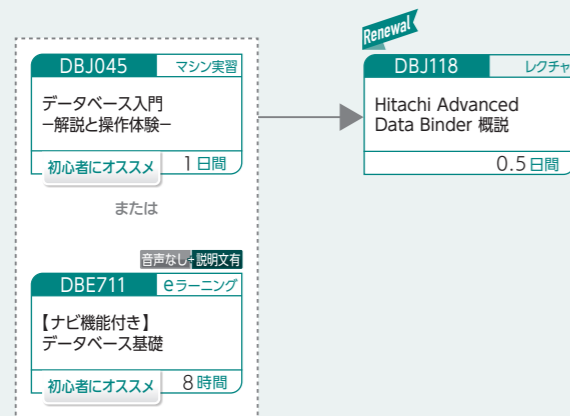
● NoSQLを使用したシステムを設計・開発する方



● Hadoopを使用したシステムを設計・開発する方



● Hitachi Advanced Data Binderを使用したシステムを設計・開発する方



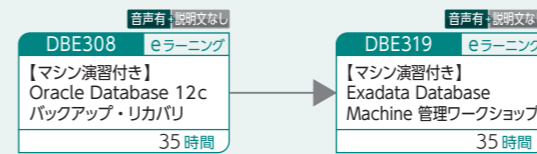
**音声有・説明文有**：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**音声有・説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

**音声なし・説明文有**：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● Oracle Exadataを使用してデータベースを管理する方



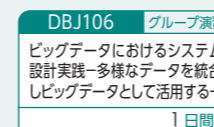
● OSS-DBを活用する技術を修得したい方



● データウェアハウスの概要や設計技術を修得したい方



● データ活用に向けシステムを設計する力を修得したい方



|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービスマネジメント                  |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT基本                           |
| IT基本                           |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

**DBJ081** ビッグデータ

**ビッグデータ概説**

0.5日間

ビッグデータができることや活用事例を通して、さまざまな関連技術や活用手法の基礎を半日で学習します。

**到達目標**

- ・ビッグデータの概要を説明できる。
- ・ビッグデータの関連技術とその必要性を説明できる。
- ・ビッグデータの活用方法を説明できる。

**対象者**

ビッグデータの概要を修得したい方、ビッグデータ関連事業に従事する方。

**前提知識**

特に必要としません。

**内容**

1. ビッグデータ概要
  - (1) ビッグデータで何ができるのか
  - (2) ビッグデータとは
  - (3) なぜ、ビッグデータが注目されているのか
2. ビッグデータ関連技術
  - (1) 並列・分散処理
  - (2) NoSQL
  - (3) ストリームデータ処理
  - (4) 超高速データベースエンジン
3. データの活用～データ分析～
  - (1) データマイニング
  - (2) 機械学習
4. ビッグデータに求められる人材
  - (1) ビッグデータに求められるスキル
  - (2) 企業における取り組み

**備考**

- ・このコースは、13:00～17:00の開催とさせていただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

**DBE701** ビッグデータ

**<eラーニング>【ナビ機能付き】**  
**ビッグデータ概説**

平均8時間

ビッグデータができることや活用事例を通して、さまざまな関連技術や活用手法の基礎を学習します。

**到達目標**

- ・ビッグデータの概要を説明できる。
- ・ビッグデータの関連技術とその必要性を説明できる。
- ・ビッグデータの活用方法を説明できる。

**対象者**

ビッグデータの概要を修得したい方、ビッグデータ関連事業に従事する方。

**前提知識**

特に必要としません。

**内容**

1. ビッグデータ概要
  - (1) ビッグデータで何ができるのか
  - (2) ビッグデータとは
  - (3) なぜ、ビッグデータが注目されているのか
2. ビッグデータ関連技術
  - (1) 並列・分散処理
  - (2) NoSQL
  - (3) ストリームデータ処理
  - (4) 超高速データベースエンジン
3. データの活用～データ分析～
  - (1) データマイニング
  - (2) 機械学習
4. ビッグデータに求められる人材
  - (1) ビッグデータに求められるスキル
  - (2) 企業における取り組み
5. 修了試験

**備考**

- ・終了日は9月30日になります。
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**DBJ089** ビッグデータ

**NoSQL入門**  
**—ビッグデータ時代のデータベース—**

1日間

NoSQLの基礎知識を、マシン実習を通して学習します。

**到達目標**

- ・NoSQLのデータモデルを説明できる。
- ・さまざまなNoSQL製品の特長を説明できる。

**対象者**

これからNoSQLを使用したシステム構築を行う開発者や管理者の方。

**前提知識**

「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または【【ナビ機能付き】データベース基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

1. NoSQLの概要
2. データモデル
3. データ分散
4. NoSQL製品の紹介

**備考**

- ・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

**DBJ106** ビッグデータ

**ビッグデータにおけるシステム設計実践**  
**—多様なデータを統合し**  
**ビッグデータとして活用する—**

1日間

設備保守支援システム、業務最適化支援システムからテーマを選択し、それを実現するためのシステムの初期設計を行います。どこにどのような装置やソフトウェアを配置し、それらをどのようにつなげるか検討し、議論することでデータ活用システムの設計力を身につけます。

**到達目標**

- ・システムを構成するうえで必要となる要素技術の全体像を説明できる。
- ・ビッグデータシステムにおいて顧客要件から必要な技術を選択しシステムを設計できる。
- ・設計したシステムの意図を他者に説明できる。

**対象者**

ITエンジニア職、若手・中堅の方。  
基幹DBや他のデータを、分析用に加工および統合するシステムを設計する方。  
分析に適したデータ設計をする方。

**前提知識**

データベース、仮想環境、ビッグデータに関する基礎知識があること。  
基幹業務システムを構成する技術要素の基礎知識があること。

**内容**

1. オリエンテーション
2. 利用する技術要素の概要
3. グループワーク
4. 発表

**備考**

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

**CLJ002** ビッグデータ

**Hadoop入門**  
**—インストールと操作体験—**

1日間

Hadoopの概要、構築作業の実際について学習します。

**到達目標**

- ・Hadoop/MapReduceの概要と基本的な機能を理解できる。
- ・Linux上でHadoopを実装できる。

**対象者**

クラウドやビッグデータ技術に興味があるSE・運用管理者の方。

**前提知識**

「ビッグデータ概説」および「Linuxシステム管理 前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

1. Hadoopの概要
2. ネットワーク構成 (演習)
3. Hadoopの構成 (演習)
4. 問題判別
5. HBase演習 (オプション)、Spark on YARN演習 (オプション)

**備考**

このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

**DBE706** ビッグデータ

**<eラーニング>【ナビ機能付き】**  
**データウェアハウス概説**

平均6時間

データウェアハウスの概念やデータウェアハウスの設計・構築方法および利用方法の基礎を学習します。

**到達目標**

- ・データウェアハウスの概念を理解し説明できる。
- ・データウェアハウスの利用方法について理解し説明できる。
- ・データウェアハウスに適する設計方法を理解し説明できる。

**対象者**

DSSシステムの管理者として、基本的な知識を必要とする方。

**前提知識**

「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または【【ナビ機能付き】データベース基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

1. データウェアハウス登場の背景
2. 意思決定支援システムにおけるデータウェアハウス
3. データウェアハウスとは
4. OLAPとデータマイニング
5. 修了試験

**備考**

- ・終了日は9月30日になります。
- ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**DBE705** ビッグデータ

**<eラーニング>【ナビ機能付き】**  
**データウェアハウスにおける**  
**データモデリング解説**

平均6時間

基幹系データベース設計との相違点をふまえながら、データウェアハウスの設計手順について学習します。

**到達目標**

- ・トランザクションのACID特性について理解し説明できる。
- ・さまざまなOLTPシステム構成について理解し説明できる。
- ・DTPモデルの各種ソフトウェアの役割とAPIについて理解し説明できる。

**対象者**

データウェアハウスの設計・構築を行うための知識を必要とする方。

**前提知識**

【【ナビ機能付き】データウェアハウス概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

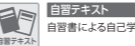
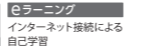
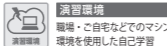
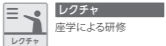
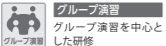
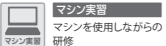
**内容**

1. データウェアハウス概要
2. 基幹系データベース設計との相違点
3. データウェアハウスの概念設計
4. 修了試験

**備考**

- ・終了日は9月30日になります。
- ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

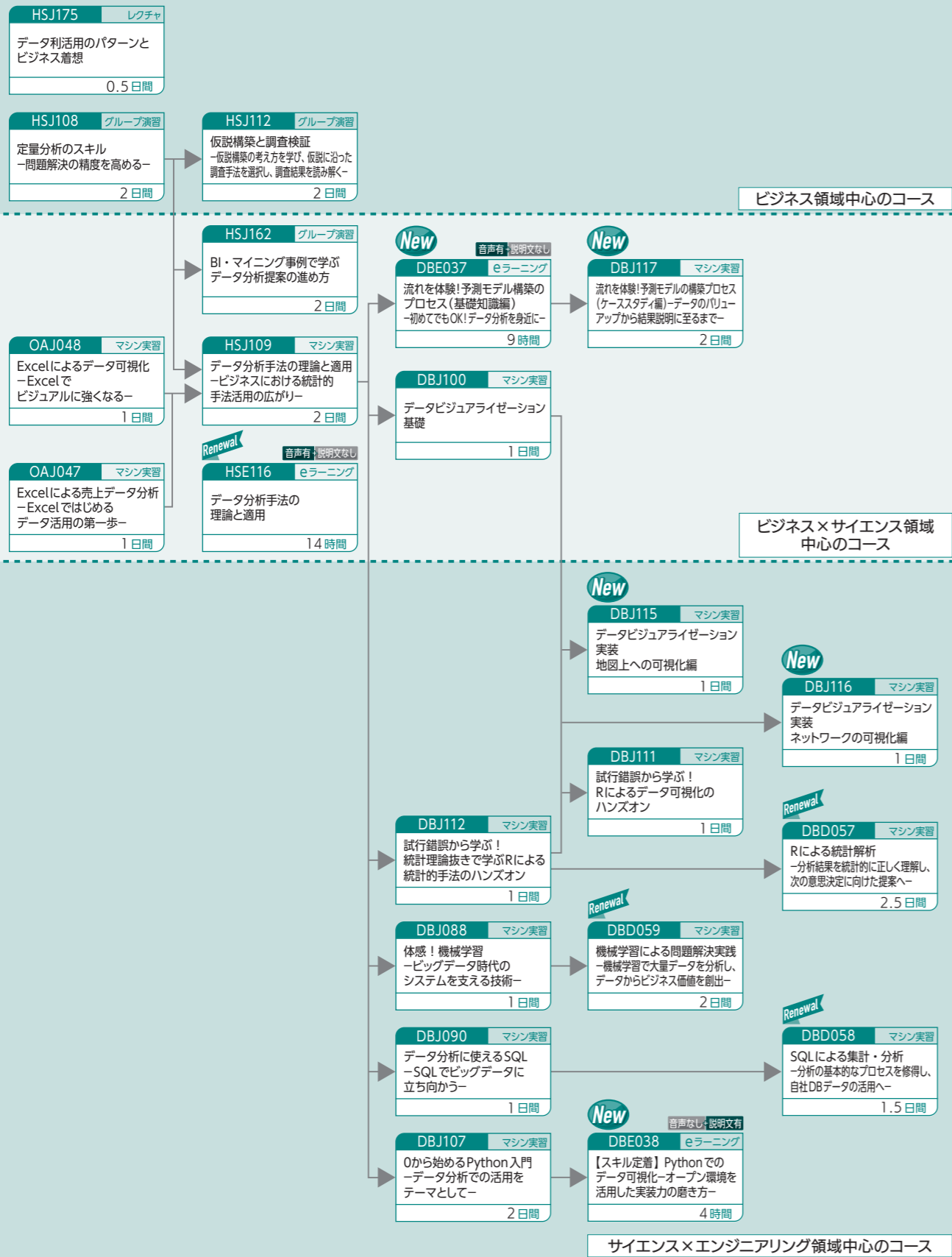
|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービスマネジメント                  |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT基本                           |
| IT基本                           |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |



# データ分析

データ可視化、統計的機械学習手法の計画の立て方、手法、考察の仕方が修得できます。

## ● 定量的な分析能力を高めたい方



### HSJ108 データ分析

**定量分析のスキル**  
-問題解決の精度を高める-

2日間

データ分析には一般的な分析の流れがあり、ビッグデータのような大量のデータを分析する時にこそ、その流れを意識する必要があります。このコースは、ビジネスにおける問題発見と解決の具体的な流れに従い、お客様の課題を捉え、具体的に提案・解決する能力を高めることを目的としています。

**到達目標** 問題発見と解決とは、課題の構造化と仮説立案、分析結果(グラフ・チャート)をイメージしたデータ収集、多面的な評価軸で比較・分析することであり、これらも含めて、問題発見と解決のステップ全体を具体的に学習します。問題発見と解決の概念やスキルに関する講義だけではなく、サプライチェーンの実事例をもとに「どの地域を重点におくべきか、売り逃しはどこか、どこまで改善できるか」といったことを考えるケース演習と、ミニ演習を組み合わせており、大変実践的なものとなっています。ケース演習やミニ演習での失敗、気づき、成功体験を通して、大量のデータに自身が感ずられる何を読み取るか、またデータの意味をどう考え、扱うかということについて学習します。

**到達目標** 問題発見、解決のプロセスを理解し問題を定量的に捉えることができる。  
・お客様のビジネス上の課題を構造的に捉え企画、提言ができる。

**対象者** 論理的思考を活用しながらビジネスにおける課題を数値的に捉えたい方、大量のデータを読み解き企画・提案につなげたい方、現状の業務課題を数値的に捉え解決したい方。

**前置知識** 「ロジカルシンキング基礎-論理的可視化と論理チェックのポイント」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容** 1. はじめに(ケース学習の概要と経験学習のご説明)  
2. 目的の明確化と意味合いの抽出の重要性  
3. 仮説立案の重要性と合理的決定の方法  
4. 仮説立案、解析準備、解析・検証のサイクル  
5. そして実務へ-実務での適用に向けた分析計画-  
6. 2日間の振り返り

**備考** ・このコースは、9:00~17:30の開催とさせていただきます。  
・データ操作などの作業効率向上をめざす方は、「データ分析手法の理論と適用-ビジネスにおける統計的手法活用の広がり」コースのご受講を推奨します。  
・定量分析の実事例をもとに開発したケースを使用しています。  
・ケース演習、ミニ演習はすべてグループ演習となっており、問題解決や定量分析の視点を広げながら学習します。  
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

### OAJ048 データ分析

**Excelによるデータ可視化**  
-Excelでビジュアルに強くなる-

1日間

データを活用するための第一歩はデータの可視化です。Excelを使用して、データを図やグラフに可視化する手順をマシン操作を通して学習します。業務で発生したデータの持つ意味や役割を自ら解釈し、他者が見てわかりやすい見やすいグラフを作る手法を紹介します。

**到達目標** ・Excelを用いた基本的なデータ可視化ができる。  
・業務で発生したデータに対し、Excelによる可視化手法を用いて意味づけができる。

**対象者** ・業務データを解釈してその意味を見出し、他者が見てわかりやすい図やグラフに可視化するスキルを修得したい方。  
・業務データはExcelにまとめたが、その活用方法を模索している方。

**前置知識** 特に必要としません。

**内容** 1. グラフ作成に必要な知識  
(1)ビジネスの用途にあったグラフを選択する  
2. グラフ作成の基本  
(1)グラフの基本的な作り方  
(2)グラフの種類  
3. 変わるグラフを作る  
(1)複合グラフ  
(2)絵グラフ  
4. グラフィカルなグラフを作る  
(1)魅力あるグラフ

**備考** ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。  
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

### OAJ047 データ分析

**Excelによる売上データ分析**  
-Excelではじめるデータ活用の第一歩-

1日間

業務で利用するデータをどのように分析するか、一連の分析プロセスを理解しながら、Excelの分析機能を活用してその手順を、マシン操作を通して学習します。考察に活用できる法則や、データの意味づけ、データ間のつながりを整理する分析手法を紹介します。

**到達目標** 売上データに対する基本的なデータ分析ができる。

**対象者** ・売上データに対し、データ分析する基礎的なスキルを修得したい方。  
・売上データは手元にあるが、その活用方法を模索している方。

**前置知識** 特に必要としません。

**内容** 1. 売上データ分析の基本  
(1)既存の売上データから法則性を見出す  
(2)売上データのまとめ方  
2. 売上データを分析する  
(1)さまざまな法則性  
(2)自社において必要な法則性とは  
3. 売上予測の立て方の基本  
(1)売上予測の本来の目的とは  
(2)売上予測の仕方  
(3)さまざまな関数  
4. 相関分析を使って売上予測をする  
(1)相関分析とは  
5. 重回帰分析を使って売上予測をする  
(1)重回帰分析とは  
(2)重回帰分析で注目すべき数字

**備考** ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。  
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

### HSJ112 データ分析

**仮説構築と調査検証**  
-仮説構築の考え方を学び、仮説に沿った調査手法を選択し、調査結果を読み解く-

2日間

ビッグデータの分析であっても、分析結果から意味を読み解き、活用するのは人間です。このコースでは、問題解決における仮説構築と調査検証を具体的に遂行する思考力を高めることを目的としています。仮説構築とは、すでに分かっている事実から、帰納・演繹の思考体系を用い、仮説を構造的に展開する思考力です。また、調査検証とは、仮説を検証するためのデータ収集、仮説と収集したデータから分析手法を選択すること、適用結果と仮説の対比・解釈から成ります。これらを実践演習を通して学習します。

**到達目標** ・得られている事実から仮説を構造化できる。  
・仮説構築と調査検証を繰り返し深い洞察ができる。  
・検証のための各調査手法を理解し目的にあわせて実行できる。

**対象者** 仮説構築の考え方を身につけビジネスデータの利用につなげたい方、調査手法を知り漠然とした問題を解決したい方。

**前置知識** 「ロジカルシンキング基礎-論理的可視化と論理チェックのポイント」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容** 1. 初期仮説構築のための思考と二次情報収集  
(1)仮説構築のための情報収集前の思考  
(2)情報収集結果から仮説構築する思考  
(3)仮説を検証するための検証計画を立てる際の思考  
(4)二次調査のソース(官公庁資料/市販出版物/IR資料/ソーシャルメディア/社内情報)  
2. 初期仮説の立案とヒアリング調査による検証  
(1)ヒアリング設計の考え方  
(2)ヒアリング技法(U&A調査/ラダリング法/コンセプトテスト)  
3. 解決策仮説の立案とアンケート調査による検証  
(1)仮説・調査票・アンケート結果の可視化・考察の関連付け(購買行動分析/ブランドイメージ調査/コレスポンス分析/PSM分析/クラスター分析/重回帰分析/ロジコイント分析)

**備考** ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。  
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

### HSJ162 データ分析

**BI・マイニング事例で学ぶ**  
データ分析提案の進め方

2日間

データ活用提案をする際には、顧客要望や顧客の持つデータのターゲットに応じて、分析のストーリーを提示する必要があります。このコースでは、どのような点に注意して提案活動を進めていくのかを実例の紹介・BIツール(qlikSense)やテキストマイニングツール(Core Explorer)を用いた演習を交えて学習します。

**到達目標** ・BIツールやテキストマイニングツールでできることが理解できる。  
・BIツールを含めた分析提案のパターンを理解できる。  
・BIツールを含めた分析提案の各ターゲットの注意点を理解できる。  
・データを前にして、ステークホルダーに提示する可視化(図表)が複数パターンイメージできる。

**対象者** ・データ分析の企画・提案をする/される立場の方。  
・BIツールやテキストマイニングツールを活用した分析提案を検討および実行している方。  
・BIツールやテキストマイニングツールの社内導入を検討および実行している方。

**前置知識** 提案書作成に関する基礎知識があり、かつ一般的な分析手法の知識があること。

**内容** 1. はじめに  
(1)データ分析ツールの分類と各ツールの特徴  
(2)データ分析提案の進め方と各フェーズでの注意点  
2. BIツールを中心とした分析提案の進め方  
(1)分析提案のプロセス  
要件ヒアリング/PoC(Proof of Concept:概念検証)/提案スベックの確定/見積の作成  
(2)分析事例に見る気をつけるポイント  
特定APPへの帳票・分析機能追加事例  
既存BI環境のリプレイス事例  
SaaS型サービスへの機能付加事例  
UPへの分析機能追加事例  
3. データ・テキストマイニング提案の進め方  
(1)分析におけるソリューション提案のプロセス  
要件ヒアリング/PoC/業務プロセスへの導入(システム化)提案  
(2)分析事例に見る気をつけるポイント  
知財データのテキストマイニング事例  
故障報告書データのテキストマイニング事例  
小売でのVOC(Voice of customer:顧客の声)分析事例  
ログデータ分析による故障予測事例

**備考** ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。  
・ツールにはBIツール(qlikSense)、テキストマイニングツール(Core Explorer)を用います。  
・演習内容、ご紹介する事例は、予告なく変更する場合があります。  
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

### HSJ109 データ分析

**データ分析手法の理論と適用**  
-ビジネスにおける統計的手法活用の広がり-

2日間

このコースでは、ビッグデータの分析やデータマイニングの根拠にある、データ分析の理論や作業スキルを学習します。また、理論や作業スキルにとどまらず、各分析手法をビジネスデータに適用する際の考え方とあわせて学習します。例えば、分析手法適用の際のインプットデータは、目的や仮説に基づいて抽出する必要があります。また、アウトプットの図表からは、「だから何と言えるのか」という、提言につながる考察を抽出する必要があります。このような、データを入力してからレポート作成するまでの一連の思考過程と作業を、Excelを利用した演習を通して学習します。

**到達目標** ・分析の目的と仮説を分析手法適用のインプットに反映できる。  
・分析結果から意味を抽出し、提案や企画に活かすことができる。  
・統計における各種数式の意味が理解できる。  
・Excelを用いて効率よく分析ができる。

**対象者** データ分析におけるExcel活用を学びたい方、Excel操作にとどまらずデータ分析における考え方のポイントを知りたい方。

**前置知識** 「ロジカルシンキング基礎-論理的可視化と論理チェックのポイント」コースを修了しているか、または同等の知識があり、かつExcelの基本的な操作経験があること。


**内容** 1. データ分析手法の分類  
(1)目的によるデータ分析手法の分類  
(2)データの種類によるデータ分析手法の分類  
2. データ分析手法  
(1)分析のアウトプットの意味を考える  
(2)分析のインプットデータをどうすべきか考える(ヒストグラム/基本統計量/時系列分析/パレート分析/単回帰分析/散布図/重回帰分析/数量化1類/主成分分析/判別分析/クラスター分析)  
3. 確率と検定  
(1)区間推定  
(2)検定(t検定/独立性の検定/分散分析)  
(3)シミュレーションへの確率分布の適用  
4. そして実務へ  
(1)分析計画の策定

**備考** ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。  
・このコースは、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。



|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| <b>データ分析</b>                   |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービスマネジメント                  |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT基本                           |
| IT基本                           |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

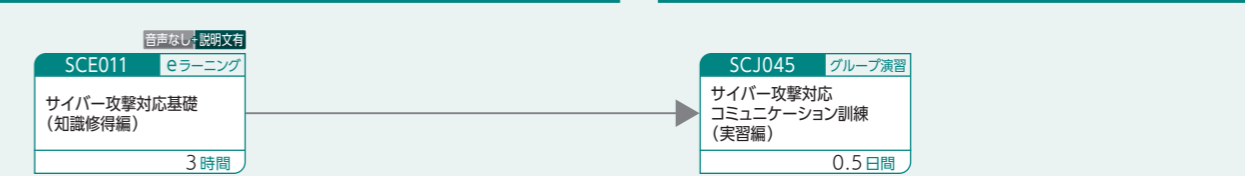
## データ分析

|   |  |
|---|--|
| DBD058  | データ分析  |
|  マシン実習 | <b>SQLによる集計・分析</b><br>分析の基本的なプロセスを修得し、 <b>自社DBデータの活用へ</b>  |
| 1.5日間   |  |
| 分析の設計（指標やKPI、クロス集計の集計軸の考え方など）や、分析の際のデータハンドリング方法など、一連のデータ分析のプロセスをケーススタディを通して、実践的に学習します。  |  |
| <b>到達目標</b>   | <ul style="list-style-type: none"><li>SQLを用いて大量データのハンドリングができる。</li> <li>問題解決のための分析設計(集計軸の設計)ができる。</li> <li>自社DB上のデータに対し、集計・分析ができる。</li> <li>集計・分析を通して、データに基づく改善提案ができる。</li></ul>   |
| <b>対象者</b>  | <ul style="list-style-type: none"><li>データ分析のプロセスの知識を実践に結びつけたい方。</li> <li>DB上の自社データを活用したい方。</li></ul>   |
| <b>前提知識</b>   | Excelでのピボットテーブル操作、もしくはAccessの利用経験をお持ちのこと、かつ「定量分析のスキル-問題解決の精度を高める-」コース、および「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。  |
| <b>内 容</b>  | <ol style="list-style-type: none"><li>分析の基本 <ol style="list-style-type: none"><li>分析とは?/ 基本的な分析プロセス</li></ol></li> <li>分析とDB、SQL <ol style="list-style-type: none"><li>Database / SQLとは?</li> <li>検索操作の基本</li></ol></li> <li>分析視点でのSQL演習 <ol style="list-style-type: none"><li>分析プロセスのおさらい</li> <li>推移/利用/属性別集計</li></ol></li> <li>総合演習(新規事業担当のビジネスケーススタディ) <ol style="list-style-type: none"><li>分析設計 - 現状把握と課題抽出</li> <li>中間発表 - 課題の要因探索 - 改善提案作成</li> <li>最終発表 - 発表/ディスカッション/まとめ</li></ol></li></ol> <p>※このコースは実事例をもとにしたケーススタディ演習が中心です。スマホアプリの実データ(欠損や不整合を含む)を利用します。研修で利用する実データは予告なく変更することがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>このコースは、初日は14:00～18:00、2日目は9:00～18:00の開催とさせていただきます。</li> <li>このコースは、ブレインパッド社との提携コースのため、ブレインパッド社の研修会場にて開催します。</li> <li>コース実施に必要なご受講者の個人情報をブレインパッド社へ提供いたします。</li> <li>開始日10営業日前を過ぎでのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。</li> <li>このコースは、実事例をもとにしたケーススタディによる演習が中心です。</li> <li>このコースで利用する実データは、予告なく変更することがあります。</li> <li>このコースは、マシン実習を通し、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。</li></ul> |
| <b>備 考</b>  |  |

# サイバーセキュリティ

サイバー攻撃に伴う予防およびインシデント発生時の初動の対応するためのスキルが修得できます。

## ● エンドユーザに対してよくある攻撃と、その対処方法を修得したい方



※コース詳細はセキュリティ講座をご覧ください。

## ● インシデント発生時の対処方法を修得したい方

|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |

デジタルトランスフォーメーション

IT 利活用

イノベーション

IoT/AI/Lumada

ビッグデータ

データ分析

**サイバーセキュリティ**

クラウド/サーバ仮想化

IT サービスマネジメント

システム基盤

オープンソースソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画/システム設計

IT戦略・IS企画

システム設計

アプリケーション開発

Webアプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/UML

言語

IT基本

IT基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ

プロジェクトマネジメント

コンプライアンス

ビジネス/ヒューマン


グローバル

**音声有**・**説明文有**：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**音声有**・**説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。


**音声なし**・**説明文有**：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におすすめ**：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

目録テキスト  
自習書による自己学習


**休 講** **休 講**  
今期の定期開催はありません


コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.com.jp/>

マシン実習  
マシンを使用しながらの研修

グループ演習  
グループ演習を中心とした研修

レクチャ  
座学による研修

演習環境  
職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習

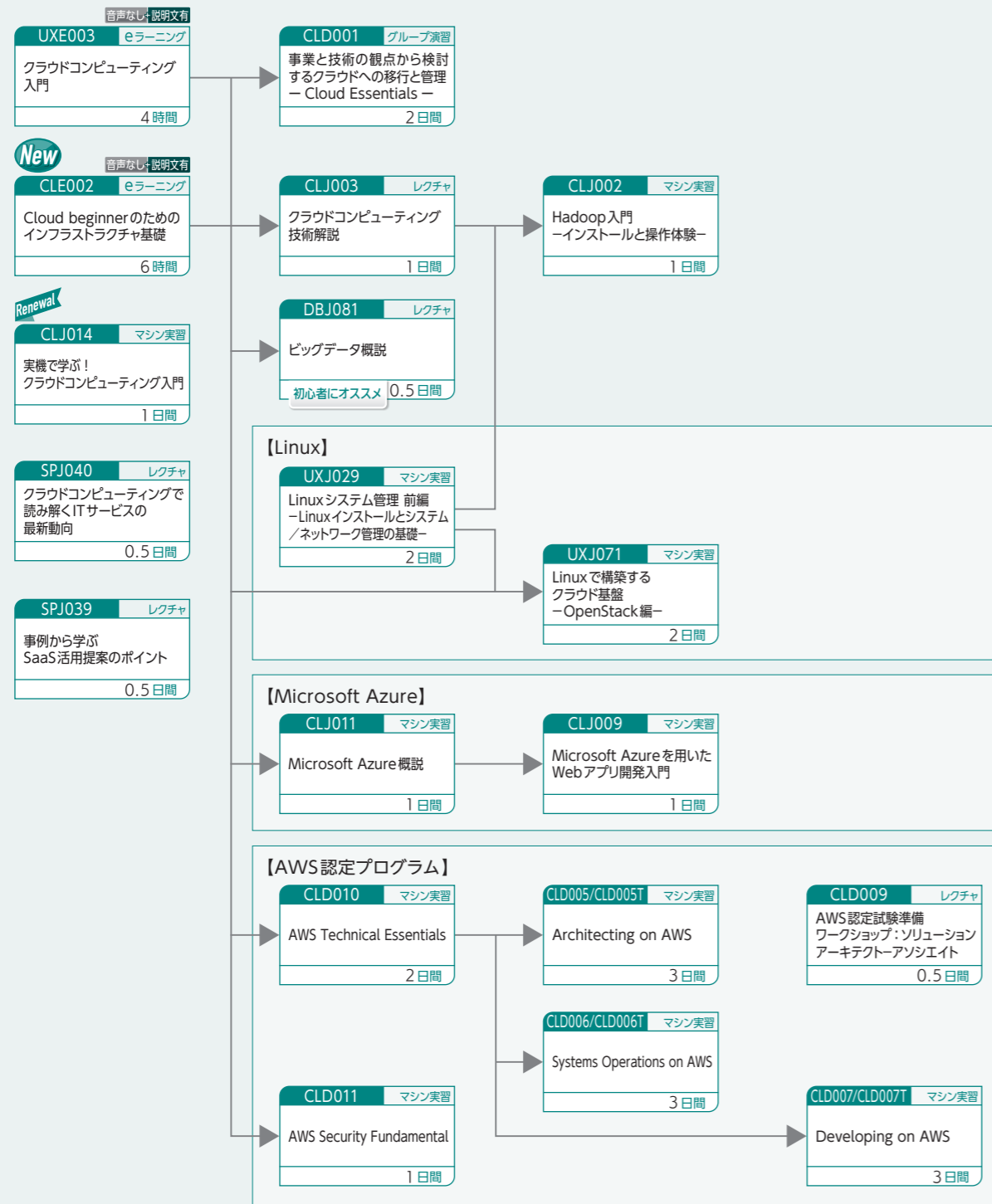
研修室自習型  
研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習

eラーニング  
インターネット接続による自己学習

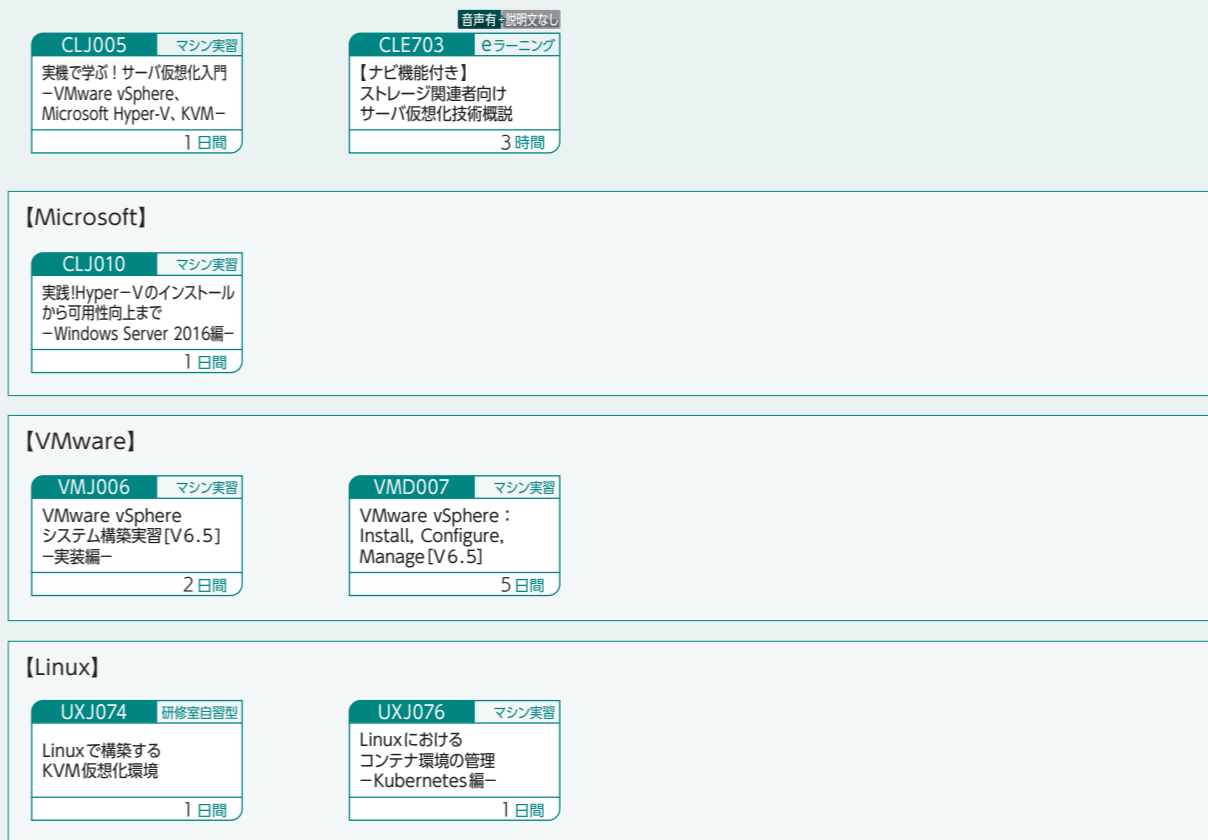
# クラウド/サーバ仮想化

サーバ仮想化やクラウドという最新システムについての基礎知識と技術が修得できます。

## ● クラウド基盤の基礎知識や技術を修得したい方



## ● サーバ仮想化の基礎知識や技術を修得したい方



## ● VMware認定資格の取得をめざす方

<VMware Certified Professional (VCP : VMware 認定プロフェッショナル)>

**VMD007 マシン実習**  
VMware vSphere : Install, Configure, Manage [V6.5] (5日間)

- 音声有・説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におすすめ:** コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

## 資格 VMware 認定資格

VMware認定資格とは、VMwareソリューションの導入・展開を担う技術者を育成するために、VMware社が提供している認定プログラムです。主なVMware認定資格には、VMware Certified Professional (VCP) - VMware認定プロフェッショナルがあります。

詳しくは、日立インフォメーションアカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/license/vmware/index.html>



## 資格 アマゾン ウェブ サービス(AWS) 認定資格

AWS認定資格は、AWSプラットフォームで稼働するアプリケーションの設計、デプロイ、管理に必要なスキルと技術知識を有するITプロフェッショナルであることを証明します。認定資格を取得することによりAWSに関してスキルや知識を有していることを証明できるだけでなく、所属組織がAWSベースのアプリケーションを運用構築ができる人材を有していることを証明します。

詳しくは、日立インフォメーションアカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/license/aws/index.html>

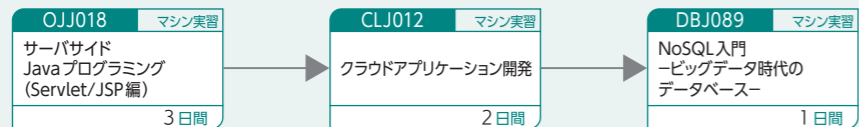
- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDM II
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho ソフトウェア
- デジタルトランスフォーメーション
- IT 利活用
- イノベーション
- IoT/AI/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバーセキュリティ
- クラウド/サーバ仮想化
- IT サービス マネジメント
- システム基盤
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT 戦略・IS 企画/システム設計
- IT 戦略・IS 企画
- システム設計
- アプリケーション 開発
- Web アプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT 基本
- IT 基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクト マネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル



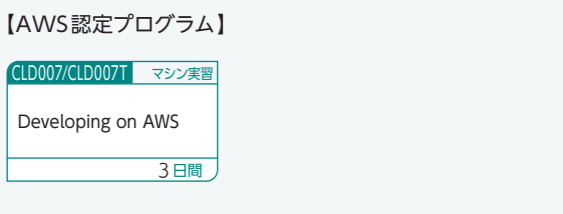
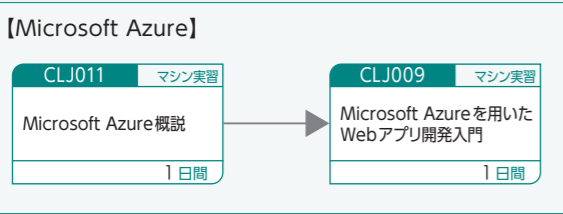
● デスクトップ仮想化の基礎知識や技術を修得したい方



● クラウド環境で動作するアプリケーションを開発する方



【Javaテクノロジーの基礎トレーニング】



- 音声有 + 説明文有** : 学習の説明画面とナレーション (説明テキスト) で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有 + 説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし + 説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におススメ** : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

**CLE703** クラウド/サーバ仮想化

**<eラーニング>【ナビ機能付き】**  
**ストレージ関連者向け**  
**サーバ仮想化技術概説**

平均3時間

VMware・Hyper-Vなどのサーバ仮想化環境で日立ストレージを動作させる場合のシステム構成・ポイントサーバ仮想化の基本技術を交えて学習します。

**到達目標** VMware・Hyper-Vなどのサーバ仮想化環境で日立ストレージを動作させる場合のシステム構成・ポイントサーバ仮想化の基本技術を理解できる。

**対象者** 特に必要としません。

**前提知識** 特に必要としません。

**内容** 1. サーバ仮想化概要  
2. 代表的なサーバ仮想化製品  
3. サーバ仮想化環境でのストレージ関連設定  
4. 修了試験

**備考** ・終了日は9月30日になります。  
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)  
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。  
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**CLJ005** クラウド/サーバ仮想化

**実機で学ぶ! サーバ仮想化入門**  
**-VMware vSphere、**  
**Microsoft Hyper-V、KVM-**

1日間

サーバ仮想化の基礎を解説し、市場で大きなシェアを持っているVMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVMを利用したサーバ仮想化方法を実機で学習します。

**到達目標** ・サーバ仮想化の概要を説明できる。  
・各種製品 (VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVM) をインストールしそれらの製品を使用して仮想サーバを作成できる。

**対象者** サーバ仮想化の提案、構築を行う営業、SEの方。

**前提知識** 特に必要としません。

**内容** 1. サーバ仮想化の概要  
2. VMware vSphereの概要と特徴  
(1) 演習1: VMware vSphereのインストールと仮想サーバの作成  
3. Hyper-Vの概要と特徴  
(1) 演習2: Microsoft Hyper-Vのインストールと仮想サーバの作成  
4. KVMの概要と特徴  
(1) 演習3: KVMのインストールと仮想サーバの作成

**備考** ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。  
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

**CLJ007** クラウド/サーバ仮想化

**実機で学ぶ! デスクトップ仮想化入門**  
**-Citrix XenDesktopと**  
**VMware vSphere-**

1日間

・仮想デスクトップ用仮想マシンの作成から、管理、クライアントでの接続までの一連の作業を実機ベースで行い、デスクトップ仮想化環境を構成する各種サーバ類の役割を学習します。  
・複数の仮想デスクトップ構成パターンを実装し、各方式の特徴 (長所/短所) を学習します。

**到達目標** デスクトップ仮想化の実現に必要なシステムインフラの構成と役割を説明できる。

**対象者** デスクトップ仮想化ソリューションを提案・構築する営業、SEの方。

**前提知識** サーバ仮想化の基礎知識があること。

**内容** 1. デスクトップ仮想化の仕組み  
(1) デスクトップ仮想化とは  
(2) デスクトップ仮想化のシステム構成  
2. 仮想デスクトップの作り方  
(1) 仮想デスクトップへの接続の流れ  
(2) 仮想デスクトップ用仮想マシンの作成  
(3) 仮想デスクトップ接続用クライアント  
3. デスクトップ仮想化 導入の注意点  
(1) ライセンス  
(2) デスクトップ仮想化システムのボトルネックについて

**備考** ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。  
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

**CLJ014** クラウド/サーバ仮想化

**実機で学ぶ!**  
**クラウドコンピューティング入門**

1日間

AWSとMicrosoft Azureの概要や違いを実機を操作しながら学習します。

**到達目標** ・AWSとMicrosoft Azureの概要を理解し、基本的な違いを説明できる。  
・仮想マシンの起動など、AWSとMicrosoft Azureの操作コンソールで基本的な操作ができる。

**対象者** これからクラウドを利用・提案するうえで、主要なパブリッククラウドを比較検討したい方。

**前提知識** コンピュータの基礎知識をお持ちのこと。

**内容** 1. クラウドコンピューティングの概要  
2. AWS  
3. Microsoft Azure  
4. AWSとMicrosoft Azureの比較

**備考** このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。  
※別途ご案内いたします。

**CLE702** クラウド/サーバ仮想化

**<eラーニング>【ナビ機能付き】**  
**デスクトップ仮想化概説**

平均4時間

デスクトップを仮想化することで得られるメリット/デメリットと、その実現の仕組みを学習します。また、デスクトップ仮想化の2大製品であるVMware ViewとCitrix XenDesktopの特徴を紹介します。

**到達目標** ・デスクトップを仮想化することで得られるメリット/デメリットが説明できる。  
・デスクトップ仮想化の実現に必要な機能・役割を説明できる。  
・デスクトップ仮想化の2大製品であるVMware ViewとCitrix XenDesktopの特徴を理解できる。

**対象者** デスクトップ仮想化製品をこれから扱うSEおよび営業の方。

**前提知識** 特に必要としません。

**内容** 1. デスクトップ仮想化の概念  
(1) この章で学ぶこと  
(2) デスクトップの仮想化とは  
(3) デスクトップ仮想化のメリット・デメリット  
2. デスクトップ仮想化のシステム構成  
(1) この章で学ぶこと  
(2) デスクトップ仮想化のシステム構成  
3. 代表的なデスクトップ仮想化製品について  
(1) この章で学ぶこと  
(2) VMware Horizon (with View)  
(3) Citrix XenDesktop  
(4) 日立SPC  
(5) VDIライセンスについて

**備考** ・終了日は9月30日になります。  
・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)  
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。  
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**UXE003** クラウド/サーバ仮想化

**<eラーニング>**  
**クラウドコンピューティング入門**

平均4時間

クラウドコンピューティングの基本的な内容、適用技術を学習します。

**到達目標** クラウドコンピューティングの概要を説明できる。

**対象者** クラウドコンピューティングに関する基礎的な知識を必要とする方。

**前提知識** 特に必要としません。

**内容** 1. クラウドコンピューティングとは  
(1) クラウドコンピューティングの定義  
(2) クラウドコンピューティングの背景と出現  
(3) クラウドコンピューティングの提供形態  
(4) クラウドコンピューティングのサービスモデル  
(5) クラウドコンピューティングの歴史  
(6) クラウドコンピューティングのメリット、デメリット  
(7) クラウドコンピューティングの動向  
2. クラウドコンピューティングの適用  
(1) パブリッククラウドの適用  
(2) プライベートクラウドの構築と運用  
(3) クラウドを支える基礎技術  
3. 修了試験

**備考** ・終了日は9月30日になります。  
・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)  
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。  
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。



- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDM II
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho ソフトウェア
- デジタルトランスフォーメーション
- IT 利活用
- イノベーション
- IoT/AI/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバーセキュリティ
- クラウド / サーバ仮想化
- IT サービス マネジメント
- システム基盤
- オープンソース ソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画 / システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション 開発
- Web アプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向 / UML
- 言語
- IT基本
- IT基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクト マネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス / ヒューマン
- グローバル

VMJ006 クラウド/サーバ仮想化

### VMware vSphere システム構築実習[V6.5]—実装編—

2日間

VMware vSphere 6.5を使用した仮想環境の構築方法を、マシン実習を通して学習します。

**到達目標**

- ・サーバ仮想化に関連するVMware製品の概要を説明できる。
- ・VMware vSphere 6.5を使用して、基本的な仮想環境を構築できる。
- ・仮想マシンを作成し、リソース割当ての適正な管理ができる。
- ・vSphere DRSを使用して、ESXiホスト間の負分散ができる。
- ・VMware vSphere環境における信頼性の考え方を説明でき、vSphere HAを使用して、仮想マシンの可用性を確保できる。
- ・VMware vSphereシステムのセキュリティ対策の概要を説明できる。
- ・VMware vSphereシステムの運用、保守の概要を説明できる。

**対象者** VMware vSphereを使用した仮想環境を提案・構築予定の方。

**前提知識** サーバやSANの基礎知識があること。

**内容**

1. VMware製品概要
2. VMware vSphere環境の構築
3. 仮想マシンの作成
4. VMware vSphereによる仮想化の仕組み
5. 仮想環境ならではの機能
6. リソースの管理と監視
7. ESXiホスト間の負分散
8. VMware vSphere環境における可用性の確保
9. セキュリティの強化
10. VMware vSphereシステムの運用、保守

**備考**

- ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、日立講習会オリジナルコースです。VMware社認定コースではありません。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

VMD007 クラウド/サーバ仮想化

### VMware vSphere : Install, Configure, Manage [V6.5]

5日間

ESXiとvCenter Serverを含むVMware vSphere 6.5のインストール、構成、管理を、マシン実習を通して5日間で学習します。VCP6-DCV資格受験のために、受講必須のVMware社認定コースです。

**到達目標**

- ・ESXiとvCenter Serverのインストールと構成ができる。
- ・vCenter Serverを使用して、ESXiを構成、管理できる。
- ・仮想マシンを管理、展開できる。
- ・vCenter Serverを使用して、信頼性、拡張性を向上できる。

**対象者** ITエンジニア職、若手・中堅の方でVMware vSphere v6.5を初めて学習する方。  
VCP-DCV 6.5を受験する方。

**前提知識** サーバ、LAN、SANの基礎知識があり、WindowsやLinuxのシステム管理経験があること。

**内容**

1. コースについて
2. Software-Defined Data Center
3. 仮想マシンの作成
4. vCenter Server
5. 仮想ネットワークの設定および管理
6. ストレージの設定および管理
7. 仮想マシンの管理
8. リソースの管理および監視
9. vSphere HAおよびvSphere FT
10. ホストのスケラビリティ
11. vSphere Update Managerおよびホストのメンテナンス

**備考**

- ・このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、VMware社の認定コースです。
- ・このコースは、VMware社が提供する電子教材を使用します。
- ・このコースは「研修のみ」です。VCP試験および受験費用は含まれていません。資格を取得するには、別途ピアソンVUEでの受験が必要となります。
- ・このコースは、研修受講にあたりVMware社のアカウント登録が必要です。事前登録の詳細は別途ご連絡します。登録いただいた情報は、VMware社へ提供いたします。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

# ITサービスマネジメント

情報システムを活用し、ビジネスを支援するITサービスの業務プロセスを管理・改善するITサービスマネジメントの基礎知識・手法が修得できます。

## ● システム運用管理に関する基礎知識を身につけたい方

|                    |                            |        |
|--------------------|----------------------------|--------|
| 音声なし・説明文有          | ITJ008                     | グループ演習 |
| ITJ008             | eラーニング                     |        |
| 【ナビ機能付き】<br>運用管理概説 | 情報システム運用入門<br>→運用からITサービスへ |        |
| 初心者におすすめ           | 6時間                        | 1日間    |

## ● ITIL®に関する知識を修得したい方

|        |                                    |      |
|--------|------------------------------------|------|
| PDU    | ITJ012                             | レクチャ |
| ITJ012 | (PDU)<br>ITIL® ファンデーション<br>(認定試験付) |      |
|        | 3日間                                |      |

## ● システム開発・運用を担当する方

|           |  |        |
|-----------|--|--------|
| 音声なし・説明文有 | ITE006   | eラーニング |
| ITE006    | SLAにおける<br>サービスレベル設計の基礎                            |        |
|           | 4時間  | 1日間    |
| HSJ062    | グループ演習   |        |
| HSJ062    | 事例から学ぶ<br>システムトラブル対策の考え方<br>→高信頼性システム実現のために        |        |
|           | 1日間  | 2日間    |
| ITJ004    | グループ演習   |        |
| ITJ004    | システム運用の現状分析・<br>設計力養成ワークショップ                       |        |
|           | 2日間  | 2日間    |
| CLD001    | グループ演習   |        |
| CLD001    | 事業と技術の観点から検討<br>するクラウドへの移行と管理<br>→Cloud Essentials |        |
|           | 2日間  |        |

音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



目録テキスト  
目録による自己学習

休講

休講  
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

日立製品

JP1

uCosminexus  
Application Server

HiRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/  
VOSK

XDM/PDM II

Hitachi Advanced  
Data Binder

日立ストレージ

Pentaho  
ソフトウェア

デジタルトランス  
フォーメーション

IT活用

イノベーション

IoT/AI/Lumada

ビッグデータ

データ分析

サイバー  
セキュリティ

クラウド/  
サーバ仮想化

ITサービス  
マネジメント

システム基盤

オープンソース  
ソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画/  
システム設計

IT戦略・IS企画

システム設計

アプリケーション  
開発

Web  
アプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/  
UML

言語

IT基本

IT基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ

プロジェクト  
マネジメント

コンプライアンス

ビジネス/  
ヒューマン

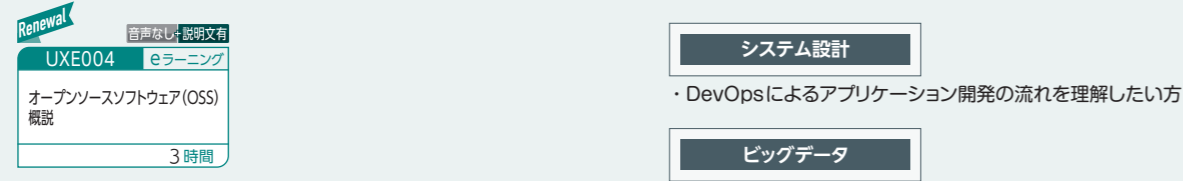
グローバル



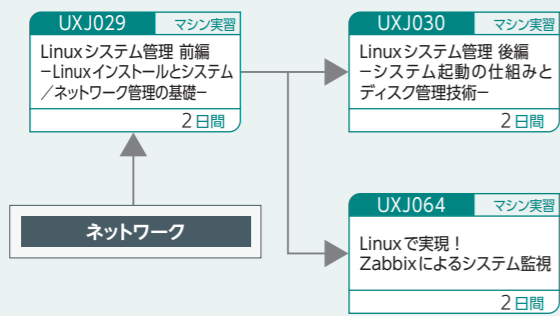
# オープンソースソフトウェア(OSS)

OSSの概要や活用方法を理解し、OSSによるシステム運用やサーバ構築に関する技術が修得できます。

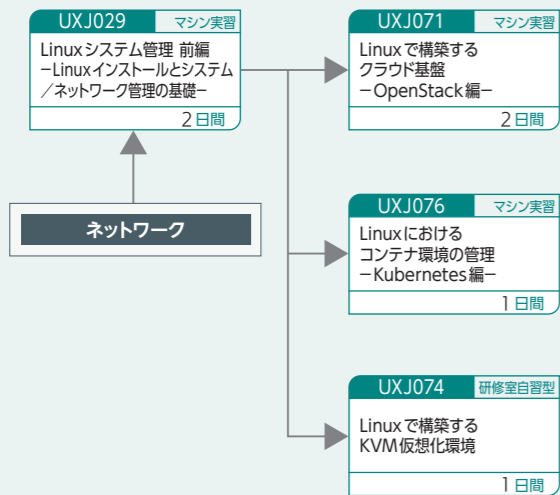
## ● OSSを利用する方



## ● OSSを使用してシステムを運用・管理する方



## ● 仮想環境を構築・管理する方



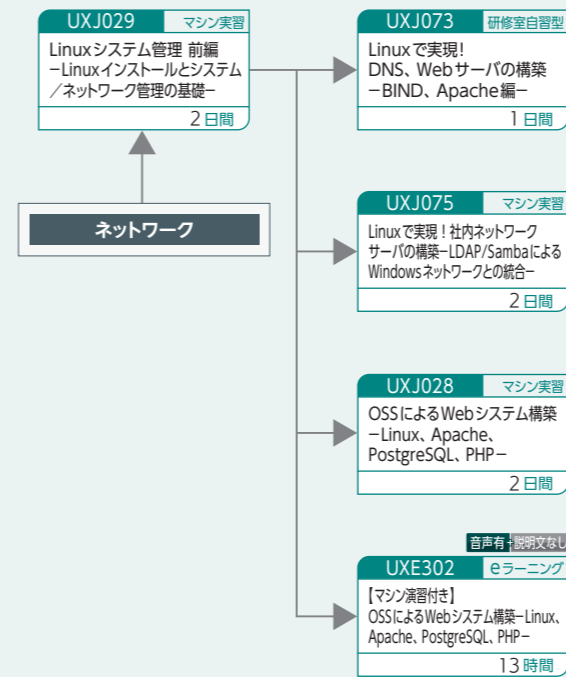
**音声有・説明文有**：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**音声有・説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

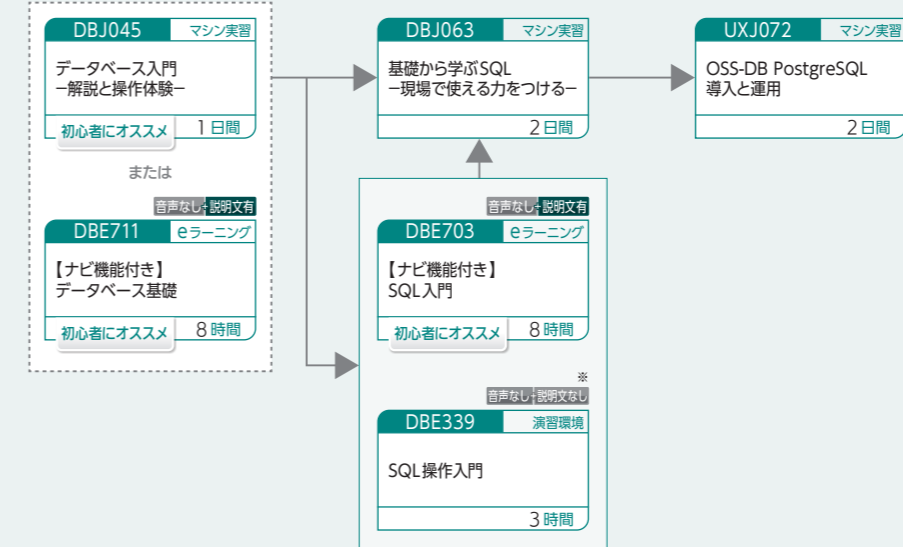
**音声なし・説明文有**：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におすすめ**：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

## ● OSSによるサーバ構築をする方



## ● PostgreSQL を使用してデータベースを管理・運用する方



※：「DBE339<演習環境>SQL操作入門」は「DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門」の修了後のご受講をお薦めします。

**UXE004** オープンソースソフトウェア(OSS)

**<eラーニング>**  
**オープンソースソフトウェア(OSS)** *Renewal*  
**概説**

平均3時間

OSSのビジネスモデルや活用領域の紹介を通して、さまざまな分野におけるOSSの利活用手法の基礎を学習します。

**到達目標**

- ・OSSの概要を説明できる。
- ・OSSの活用方法を説明できる。
- ・OSSが活用されている分野を理解できる。

**対象者**

- ・OSSの概要を修得したい方。
- ・OSS関連事業に従事する方。

**前提知識**

特に必要としません。

**内容**

1. OSSとは
2. OSSの活用領域
3. OSS活用におけるコンプライアンス

**備考**

- ・終了日は9月30日になります。
- ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**UXJ064** オープンソースソフトウェア(OSS)

**Linuxで実現!**  
**Zabbixによるシステム監視**  
**概説**

2日間

LinuxシステムでZabbixを用いたシステム監視を学習します。また、マシン実習を通して、Zabbixの設定および操作を体験します。

**到達目標**

- ・システム監視でよく使う監視項目について説明できる。
- ・Zabbixによる監視システムをインストールできる。

**対象者**

Linuxシステムを運用・管理する方。

**前提知識**

「Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

1. システム監視の概要
2. Zabbixの概要
3. Zabbixのインストールおよび設定
4. 運用監視

**備考**

- ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

**UXJ071** オープンソースソフトウェア(OSS)

**Linuxで構築するクラウド基盤**  
**-OpenStack編-**

2日間

LinuxシステムでOpenStackを使用したクラウド環境を構築・運用・管理するための必要な知識を、マシン実習を通して学習します。

**到達目標**

- ・仮想化およびクラウドの仕組みを説明できる。
- ・OpenStackを使用したクラウド環境の構築・運用・管理ができる。

**対象者**

LinuxシステムでOpenStackを使用したクラウド環境を構築・運用・管理する方。

**前提知識**

「Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。[<研修室自習型>Linuxで構築するKVM仮想化環境]コースを修了していることが望ましい。

**内容**

1. クラウドとは
2. OpenStackの概要
3. OpenStack環境の構成
4. Keystone (認証)
5. Glance (イメージ管理)
6. Neutron (ネットワーク)
7. Nova (仮想マシン)
8. Cinder (仮想ディスク)
9. Horizon (ユーザインタフェース)
10. 環境構築
11. OpenStackの運用管理

**備考**

- ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

**UXJ076** オープンソースソフトウェア(OSS)

**Linuxにおけるコンテナ環境の管理**  
**-Kubernetes編-**

1日間

コンテナの概要と、コンテナ環境の自動展開やスケールングといった運用を行うためのツールとして良く利用されるKubernetesを学習し、マシン演習で実際に体験します。

**到達目標**

コンテナの概要を修得し、コンテナの管理の環境をKubernetesで構築できる。

**対象者**

ITエンジニア職、若手・中堅の方でコンテナを使ったマイクロサービスアーキテクチャが採用されることが多くなっている。そのコンテナを効率よく管理するツールとしてKubernetesを使用したい方。

**前提知識**

「Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

1. コンテナ
  - (1) コンテナ概要
  - (2) Dockerの基本機能
  - (3) Dockerの構築と操作
2. Kubernetes
  - (1) Kubernetesの概要
  - (2) Kubernetesのアーキテクチャ
  - (3) Kubernetesの構築
  - (4) Kubernetesの操作

**備考**

このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

**UXJ074** オープンソースソフトウェア(OSS)

**<研修室自習型>**  
**Linuxで構築するKVM仮想化環境**

1日間

このコースは、マシン環境と教材を提供して受講者の方が自習で進める形式とし、ご自身のペースで学習いただけます。講師によるレクチャーはありませんので、ご注意ください。ただし、質問があれば適宜対応いたします。

マシン実習内容：KVMを使用した仮想化環境の構築や運用管理のためのコマンド操作

**到達目標**

- ・仮想化の仕組みを説明できる。
- ・KVMを使用した仮想化環境の構築・運用ができる。

**対象者**

- ・実際の職場環境で試すことができない方。
- ・複数のサービスが連携している環境について、自力での構築は困難な方。
- ・演習で譲った場合など、講師へ質問ができる環境が欲しい方。

**前提知識**

「Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

1. 仮想化とは
2. KVMの概要
3. KVMのインストール
4. KVMのネットワーク環境
5. 仮想マシンの作成と編集
6. 仮想NICの追加とVLAN設定
7. 仮想ディスク
8. バックアップとデータ抽出
9. マイグレーション

**備考**

- ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、マシン演習を使用した自習型のコースです。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

**UXJ073** オープンソースソフトウェア(OSS)

**<研修室自習型>**  
**Linuxで実現!DNS、Webサーバの構築**  
**-BIND、Apache編-**

1日間

このコースは、マシン環境と教材を提供して受講者の方が自習で進める形式とし、ご自身のペースで学習いただけます。講師によるレクチャーはありませんので、ご注意ください。ただし、質問があれば適宜対応いたします。

マシン実習内容：BIND (DNSサーバ)、Apache (Webサーバ)の構築や各サービスを起動、連携させるためのコマンド操作

**到達目標**

- ・DNSサーバ、Webサーバ、プロキシサーバの概要を説明できる。
- ・KVMを使用した仮想化環境の構築・運用ができる。

**対象者**

- ・実際の職場環境で試すことができない方。
- ・複数のサービスが連携している環境について、自力での構築は困難な方。
- ・演習で譲った場合など、講師へ質問ができる環境が欲しい方。

**前提知識**

「Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

1. Linuxネットワークの基礎
2. DNSサーバの構築
3. Webサーバの構築
4. プロキシサーバの構築

**備考**

- ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、マシン演習を使用した自習型のコースです。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

**UXJ075** オープンソースソフトウェア(OSS)

**Linuxで実現!社内ネットワークサーバの構築**  
**-LDAP/SambaによるWindowsネットワークとの統合-**

2日間

Linuxシステムを社内ネットワークサーバとして利用するためのサーバ構築方法を学習します。マシン演習では、Samba、LDAP、DHCPのサーバ構築や、Windowsネットワークとの統合環境の構築を体験します。OSはRHEL7対応となります。

**到達目標**

- ・Windowsネットワーク上でLinuxのファイルサーバを構築できる。
- ・LDAPを利用して、ユーザー情報を一元管理できる。
- ・DHCPを利用して、ネットワーククライアントへIPアドレスを配布できる。

**対象者**

ITエンジニア職、若手・中堅の方でLinuxシステムを運用・管理する方。

**前提知識**

「Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

1. Linuxネットワークの基礎
2. ネットワークアドレス構成の自動化 (DHCP)
3. ディレトリサーバの構築 (LDAP)
4. ユーザー認証の一元管理
5. Windowsとのファイル共有 (Samba)
6. Windowsネットワークとの統合

**備考**

このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

**UXJ028** オープンソースソフトウェア(OSS)

**OSSによるWebシステム構築**  
**-Linux、Apache、PostgreSQL、PHP-**

2日間

OSからアプリケーションソフトウェアまでOSSだけを使用したWeb・DB連携サーバの構築方法を紹介します。各OSSの利用時の注意事項、WebサーバやDBサーバの設定方法などを紹介します。

**到達目標**

Linux上で、Apache、PostgreSQL、PHPを使ったWeb・DB連携システムを構築できる。

**対象者**

OSSでWebシステムを導入を検討している方。

**前提知識**

「Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

1. オープンソースソフトウェア(OSS)概要
2. Linuxとは
3. Apache
  - (1) Apacheのインストール
  - (2) Apacheの起動
  - (3) Apacheの設定
4. PostgreSQL
  - (1) PostgreSQLのアーキテクチャ
  - (2) PostgreSQLの環境構築
  - (3) psqlによる基本操作
  - (4) PostgreSQLの管理
5. PHP
  - (1) PHPのアーキテクチャ
  - (2) PHPの処理の流れ
  - (3) PHPの設定
  - (4) PHPプログラミングの基礎
  - (5) PostgreSQLとの連携

**備考**

- ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

**UXE302** オープンソースソフトウェア(OSS)

**<eラーニング> [マシン演習付き]**  
**OSSによるWebシステム構築**  
**-Linux、Apache、PostgreSQL、PHP-**

平均13時間

OSからアプリケーションソフトウェアまで、OSSのみを使用したWebシステムの構築方法を学習します。また、OSSを利用する時の注意事項やDBサーバの構築方法なども学習します。

**到達目標**

Linux上で、Apache、PostgreSQL、PHPを使ったWeb・DB連携システムを構築できる。

**対象者**

OSSでWebシステムを構築する方。

**前提知識**

「Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-」を修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

1. オープンソースソフトウェア(OSS)概要
2. Linux
3. Apache
4. PostgreSQL
5. PHP
6. 修了試験

**備考**

- ・サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。  
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**UXJ072** オープンソースソフトウェア(OSS)

**OSS-DB PostgreSQL 導入と運用**

2日間

これからPostgreSQLを使用したシステム構築を行う開発者や管理者の方を対象に、PostgreSQLのインストールや基本的な設定、基本的な使い方について解説します。更にバックアップやリストア、PITRなどの運用管理、性能チューニング、障害対応について解説します。

**到達目標**

PostgreSQLを用いたデータベースシステムの構築や管理作業を行うことができる。

**対象者**

PostgreSQLを用いたデータベースシステムの構築や管理作業を行う方。

**前提知識**

データベースについての基礎知識があること。

**内容**

1. オープンソースデータベースの一般的特徴
2. インストール
3. 標準付属ツール
4. トランザクションとスキーマ
5. アーキテクチャ
6. セキュリティ
7. メンテナンス
8. 実行計画
9. 性能分析
10. 性能改善
11. 障害対応
12. PITR
13. Streaming Replication

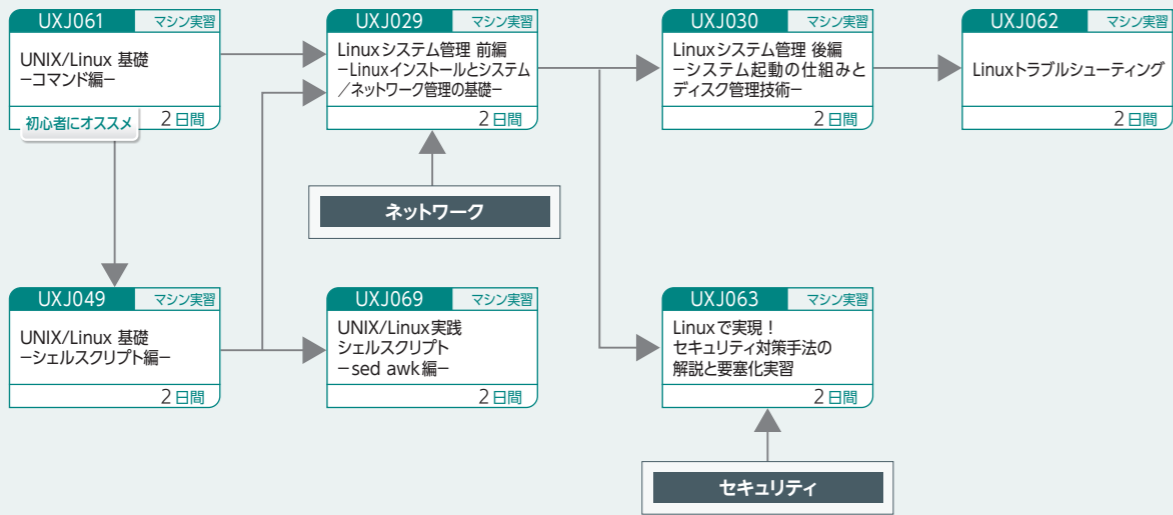
**備考**

このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。

## ● UNIX/Linuxを利用する方



## ● Linuxを使用してシステムを構築・運用・管理する方



**音声有・説明文有**：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**音声有・説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

**音声なし・説明文有**：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におススメ**：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

**UXJ061** Linux

**UNIX/Linux 基礎 -コマンド編-**

2日間

UNIXおよびLinuxOSの基本機能とコマンドの基本操作を、マシン実習を通して学習します。

**到達目標**

- UNIX/Linuxの基本的な操作ができる。
- ネットワークの基本コマンドを実行できる。

**対象者** UNIXまたはLinux OSの初心者の方で基礎から学習したい方。

**前提知識** コンピュータの基礎知識があること。

**内容**

- 概要
- コマンドの基本操作
- ファイルシステム
- viエディタ
- シェル
- 知っておくと便利なシェルの機能
- ネットワークの利用

**備考**

- このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

**UXJ069** Linux

**UNIX/Linux実践シェルスクリプト -sed awk編-**

2日間

システム運用を効率化する実践的なシェルスクリプトを理解し、システム運用に必要なシェルスクリプトの作成方法を学習します。

**到達目標**

- 正規表現が理解できる。
- sed、awkのシェルスクリプトを業務で活用できる。
- 実践的なシェルスクリプトを作成できる。

**対象者** 既存コースと同様UNIX/Linuxでシェルスクリプトの作成をする方。

**前提知識** UNIX/Linuxシステムを管理する方。

**内容**

- パターンマッチングと正規表現
  - シエルの種類とシェルスクリプト
  - 変数による文字列の取り扱い
  - 正規表現
- sed
  - sedとは
  - sedを用いたテキスト編集
  - sedの応用的な機能
- awk
  - awkとは
  - 基本的なawkプログラミング
  - awkの編集処理の流れと制御文
  - awkの関数
- 実践的なシェルスクリプトの作成

**備考**

- このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

**UXJ049** Linux

**UNIX/Linux 基礎 -シェルスクリプト編-**

2日間

シェルスクリプトの作成に必要なプログラミング技術を修得するとともに、シェルの機能をより深く理解することができます。

**到達目標**

- シェルスクリプトの概要を説明できる。
- 変数、配列、算術、文字列操作の基本操作ができる。
- 制御文の基本を説明できる。
- 関数を利用した簡単な応用スクリプトを作成できる。

**対象者** UNIX/Linuxでシェルスクリプトの作成をする方、システム管理者の方。

**前提知識** 「UNIX/Linux基礎-コマンド編-」コース、または「【ナビ機能付き】【マシン演習付き】UNIX/Linux基本使用法」eラーニングを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

- シェルとシェルスクリプトの概要
- パラメータの取り扱い
- 算術評価と文字列操作
- 制御文(分岐/繰り返しなど)
- 関数の利用
- 実践的なシェルスクリプト

**備考**

- このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

**UXE303** Linux

**<eラーニング> 【ナビ機能付き】【マシン演習付き】 UNIX/Linux基本使用法**

平均8時間

UNIX/Linuxの基本的なコマンドの機能、使用方法を学習します。

**到達目標**

- UNIX/Linuxの基本的な操作ができる。
- ネットワークの基本コマンドを実行できる。

**対象者** UNIX/Linux初心者の方で、基礎から学習したい方。

**前提知識** オペレーティングシステムおよびネットワークに関する基本的な知識があること。

**内容**

- UNIX/Linux概要
- ファイルシステムとコマンド
- ファイルとディレクトリのパーミッション
- viエディタ
- シェルの機能
- UNIX/Linuxのネットワーク操作
- 修了試験

**備考**

- サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。  
https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- 学習開始日10営業日前を過ぎたキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**UXJ029** Linux

**Linuxシステム管理 前編 -Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-**

2日間

Linuxシステムの管理や運用に必要な基礎知識を学習します。また、マシン実習を通して、インストール、ユーザ管理、およびネットワーク設定方法などのシステム管理作業を体験します。

**到達目標**

- Linuxをインストールできる。
- Linuxシステムの運用・管理が必要となる、ユーザ管理、パッケージ管理およびログ管理などができる。
- Linuxにてネットワークを利用するための設定ができる。

**対象者** Linuxシステムをはじめ運用・管理する方。

**前提知識** 「UNIX/Linux基礎-コマンド編-」および「ネットワーク基礎II-TCP/IPの仕組み」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

- Linuxシステム管理の基礎
- Linuxのインストール
- ネットワークの基本設定とサービス制御
- ユーザ・グループ管理
- パッケージ管理
- ログの取得と管理
- バックアップとリストア

**備考**

- このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
- Linuxシステムの管理を行う方には、あわせて「Linuxシステム管理 後編-システム起動の仕組みとディスク管理技術-」コースのご受講を推奨します。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

**UXJ030** Linux

**Linuxシステム管理 後編 -システム起動の仕組みとディスク管理技術-**

2日間

Linuxシステムの起動の方法、およびディスク管理に必要な知識を学習します。また、マシン実習を通して、ファイルシステムの構築方法やLVMのディスク管理方法を体験します。

**到達目標**

- Linuxシステムの起動の仕組みを説明できる。
- 新規にパーティションやファイルシステムの作成ができる。
- LVMやiSCSIによる高度なディスク管理ができる。

**対象者** Linuxシステムを運用・管理する方。

**前提知識** 「Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

- システムの起動
- ファイルシステムの作成と管理
  - ファイルシステムの作成の手順
  - ファイルシステムの修復
  - ファイルシステムの管理
  - ファイルシステムの使用量の制限
- LVM概要と環境構築
- LVMの管理
  - LVMの特性変更
  - LVMの拡張
  - LVMの縮小
  - LVMの削除
- iSCSI
  - ストレージの共有
  - iSCSIとは
  - iSCSIの設定
  - iSCSIの冗長化

**備考**

- このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。



|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/Al/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービス マネジメント                 |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT 戦略・IS 企画/システム設計             |
| IT 戦略・IS 企画                    |
| システム設計                         |
| アプリケーション 開発                    |
| Web アプリケーション                   |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT 基本                          |
| IT 基本                          |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクト マネジメント                  |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

**UXJ062** Linux

**Linuxトラブルシューティング**

2日間

Linuxで発生するトラブルの原因分析方法と解決策を学習します。マシン実習では、運用中に実際に発生する可能性のあるトラブルを再現し、原因の分析と復旧作業を行います。

**到達目標**

- ・トラブル発生時の対応手順を説明できる。
- ・Linuxシステムのトラブル発生時に、緊急ブート手段でブートできる。
- ・Linuxシステムのトラブル発生状況から原因を究明し復旧できる。

**対象者** Linuxシステムを運用・管理する方。

**前提知識** 「Linuxシステム管理 後編-システム起動の仕組みとディスク管理技術-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

1. トラブルシューティング概要
  - (1) トラブルの種類
  - (2) トラブルシューティングの流れ
  - (3) 情報の収集手段
  - (4) バックアップとリストア
  - (5) トラブル発生時のLinux起動
2. ブート時のトラブルシューティング
  - (1) ブートの仕組み
  - (2) ブートデバイス関連のトラブルシューティング
  - (3) ブートローダ関連のトラブルシューティング
  - (4) init/systemd関連のトラブルシューティング
3. システム稼働中のトラブルシューティング
  - (1) ログインの仕組み
  - (2) ログイン関連のトラブルシューティング
  - (3) ファイルシステムの仕組み
  - (4) ファイルシステム関連のトラブルシューティング
4. ネットワークのトラブルシューティング
  - (1) ネットワークコマンドと設定ファイル
  - (2) ネットワークトラブルの原因と調査方法
  - (3) ネットワーク設定関連のトラブルシューティング

**備考**

- ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

**UXJ063** Linux

**Linuxで実現！セキュリティ対策手法の解説と要案化実習**

2日間

Linuxシステムを用いたセキュリティ対策手法を学習します。また、マシン実習を通して、SSH、Netfilter、Snort、Tripwireの設定および操作を体験します。

**到達目標**

- ・SSHを利用して、安全な通信ができる。
- ・Netfilterを利用して、パケットフィルタリングを実装できる。
- ・Snortを利用して、IDSを実装できる。
- ・Tripwireを利用して、ファイルの改ざん検知ができる。

**対象者** Linuxシステムを運用・管理する方。

**前提知識** 「Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

1. セキュリティの概要とLinuxにおけるセキュリティ対策
2. SSHによるセキュアリモートアクセス
3. NetfilterによるパケットフィルタリングとNAT
4. Snortによる侵入検知
5. Tripwireによるファイルの改ざんチェック

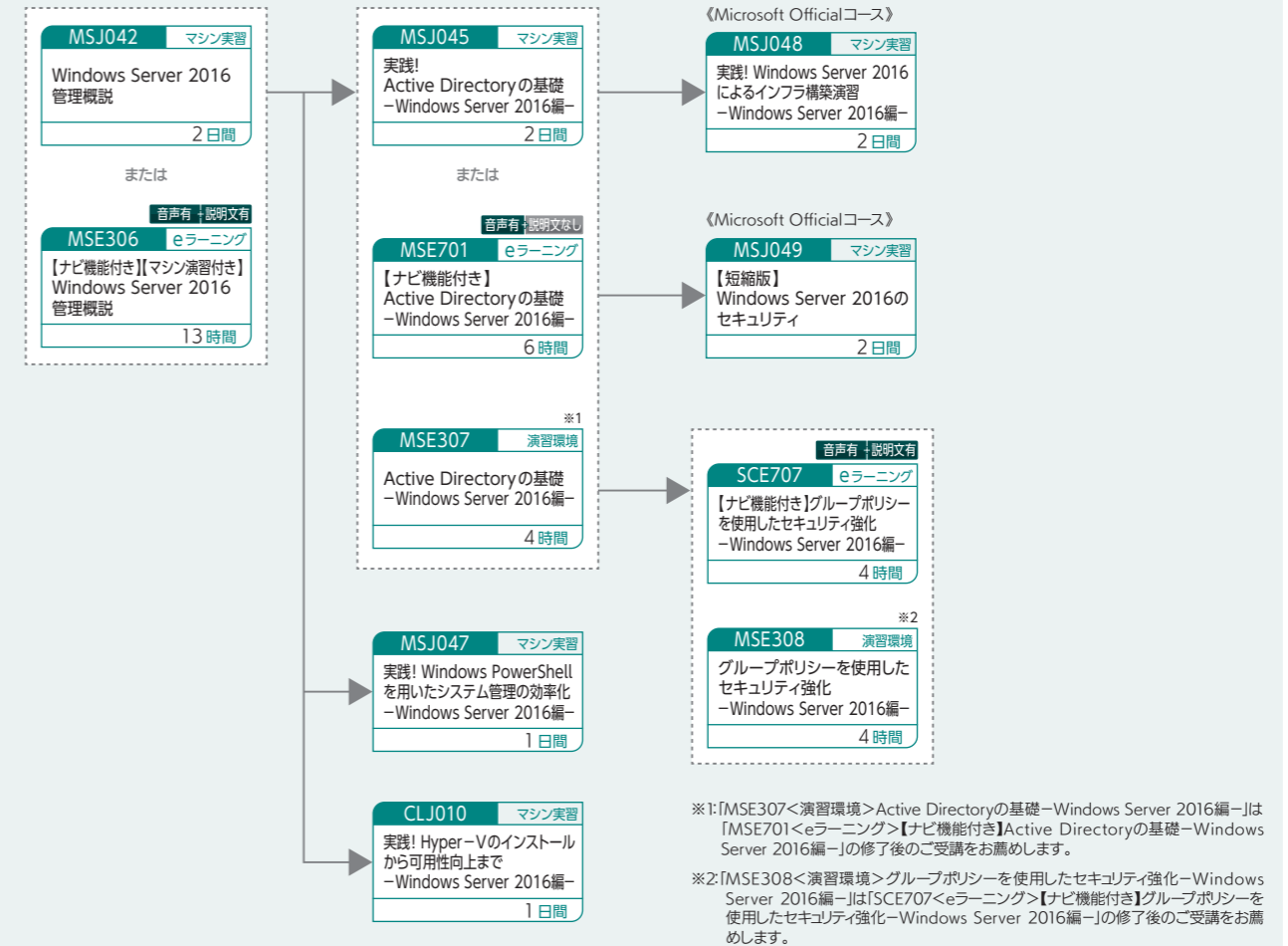
**備考**

- ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

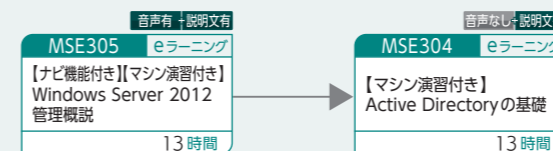
# Microsoft

Windows ServerなどのMicrosoft製品を使用した、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

## Windows Server 2016を使用してシステムを構築・運用・管理する方



## Windows Server 2012を使用してシステムを構築・運用・管理する方



## Microsoft Azureを使用してシステムを構築する方



- 音声有+説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有+説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし+説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におすすめ** : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

自習テキスト  
自習書による自己学習

休講  
休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.com.jp/>

|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/Al/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービス マネジメント                 |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT 戦略・IS 企画/システム設計             |
| IT 戦略・IS 企画                    |
| システム設計                         |
| アプリケーション 開発                    |
| Web アプリケーション                   |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT 基本                          |
| IT 基本                          |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクト マネジメント                  |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

マシン実習  
マシン実習  
マシン実習

グループ演習  
グループ演習  
グループ演習

レクチャ  
レクチャ  
レクチャ


演習環境  
演習環境  
演習環境


研修室自習型  
研修室自習型  
研修室自習型


eラーニング  
eラーニング  
eラーニング


eラーニング  
eラーニング  
eラーニング




|  |  |
|--|--|
| <b>MSJ048</b>  | <b>Windows Server 2016</b>   |
|   | <b>実践!Windows Server 2016による<br/>インフラ構築演習<br/>-Windows Server 2016編-</b>   |
| 2日間  |  |
| Microsoft社の認定テキストを事前配布し、反転学習による知識の修得後に、Windows Server 2016を使用して、要件に基づいたインフラの設計・実装を行う総合演習を実施します。<br>※受講前に事前配布テキストの内容を必ずご確認ください。 |  |
| <b>到達目標</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Server 2016のインストールと構成ができる。</li> <li>DNSサーバーを構築できる。</li> <li>Active Directoryを構築できる。</li> <li>DHCPサーバーを構築できる。</li> <li>フェールオーバークラスターを構成できる。</li> </ul>   |
| <b>対象者</b>   | Windows Serverについて基本的な知識を持っているが、より実践的な実装スキルを身につけたい方。   |
| <b>前提知識</b>  | 「実践!Active Directoryの基礎-Windows Server 2016-」コース、または【【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。  |
| <b>内容</b>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>Windows Server 2016のインストールと構成</li> <li>DNSの実装</li> <li>ドメインコントローラのインストールと構成</li> <li>AD DSでのオブジェクトの管理</li> <li>DHCPの実装</li> <li>フェールオーバークラスタリングの実装</li> </ol>   |
| <b>備考</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。</li> <li>このコースは、マイクロソフト認定コースより、テーマごとに内容の一部を抽出し、再構成したコースです。</li> <li>このコースは、arvato社の電子テキストを使用します。事前に氏名とメールアドレスによるskillpipeのアカウント登録をお願いします。</li> <li>【事前学習のお願い】このコースでは、事前にダウンロードした電子テキストを学習したうえで、演習中心のコースをご受講いただけます。事前学習には概ね6時間を必要とします。</li> <li>このコースは、開始日の20営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。</li> </ul> |

|  |  |
|--|--|
| <b>MSJ049</b>  | <b>Windows Server 2016</b>   |
|   | <b>【短縮版】<br/>Windows Server 2016のセキュリティ</b>  |
| 2日間  |  |
| Microsoft社の認定テキストを事前配布し、反転学習による知識の修得後に、Windows Server 2016を使用して、要件に基づいたセキュリティの設計・実装を行う演習を実施します。<br>※受講前に事前配布テキストの内容を必ずご確認ください。 |  |
| <b>到達目標</b>  | Windowsサーバーの堅牢化に際し、ガイドラインやベストプラクティスを理解したうえで、適切なセキュリティの実装ができる。  |
| <b>対象者</b>   | Windows Serverについて基本的な知識を持っているが、より具体的なセキュリティの実装スキルを身につけたい方。  |
| <b>前提知識</b>  | 「実践!Active Directoryの基礎-Windows Server 2016-」コース、または【【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。  |
| <b>内容</b>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>攻撃と侵害の検出とSysinternals ツール</li> <li>資格情報の保護と特権アクセス</li> <li>Just Enough Administrationによる管理者権限の制限</li> <li>特権アクセス管理と管理フォレスト</li> <li>マルウェアおよび脅威の軽減</li> <li>詳細な監査とログ分析によるアクティビティの分析</li> <li>Microsoft Advanced Threat AnalyticsとMicrosoft Operations Management Suiteの展開と構成</li> <li>仮想化インフラストラクチャのセキュリティ保護</li> <li>アプリケーション開発およびサーバーワークロードインフラストラクチャのセキュリティ保護</li> <li>データの保護と計画</li> <li>ファイル サービスの最適化およびセキュリティ保護</li> <li>ファイアウォールと暗号化によるネットワークトラフィックのセキュリティ保護</li> <li>Windows Server の更新</li> </ol> |
| <b>備考</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。</li> <li>このコースは、arvato社の電子テキストを使用します。事前に氏名とメールアドレスによるskillpipeのアカウント登録をお願いします。</li> <li>【事前学習のお願い】このコースでは、事前にダウンロードした電子テキストを学習したうえで、演習中心のコースをご受講いただけます。事前学習には概ね14時間を必要とします。</li> <li>このコースは、開始日の20営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。</li> </ul>   |

|  |   |
|--|---|
| <b>MSE305</b>  | <b>Windows Server 2012</b>  |
|  | <b>&lt;eラーニング&gt;<br/>【ナビ機能付き】【マシン演習付き】<br/>Windows Server 2012管理概説</b>   |
| 平均13時間   |   |
| Windows Server 2012 (R2)を使用してWindowsシステムを構築・運用・管理するために必要な技術の概要を、マシン実習を通して学習します。    |   |
| <b>到達目標</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Server 2012 (R2)の概要が説明できる。</li> <li>ローカルユーザー、ドメインユーザーを管理できる。</li> <li>ファイルサーバーを構成し、資源を管理できる。</li> <li>Windows Server 2012 (R2)のトラブルシューティングを実施できる。</li> </ul>   |
| <b>対象者</b>   | Windows Server 2012(R2)を使用してシステムを管理される方、またはWindows Server 2012(R2)の導入を検討している方。  |
| <b>前提知識</b>  | Windowsインターフェイスの十分な使用経験があり、「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎 II-TCP/IPの仕組み-Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。   |
| <b>内容</b>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>Windows Server 2012 (R2) 概要</li> <li>Windows Server 2012 (R2)のインストール</li> <li>サーバー管理ツール</li> <li>ワークグループ環境のアカウント管理</li> <li>ドメイン環境のアカウント管理</li> <li>ポリシーの概要</li> <li>ディスクの管理</li> <li>アクセス許可の設定</li> <li>ファイルサーバーの構築</li> <li>サーバーの監視</li> <li>サーバーのバックアップ</li> <li>修了試験</li> </ol>  |
| <b>備考</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>サービス有効期限は21日間です。</li> <li>【お申し込み前に必ずご確認ください】</li> <li>説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）</li> <li>このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。</li> <li>このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。</li> <li>https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf</li> <li>このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</li> <li>学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。</li> <li>学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。</li> <li>このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li> </ul> |

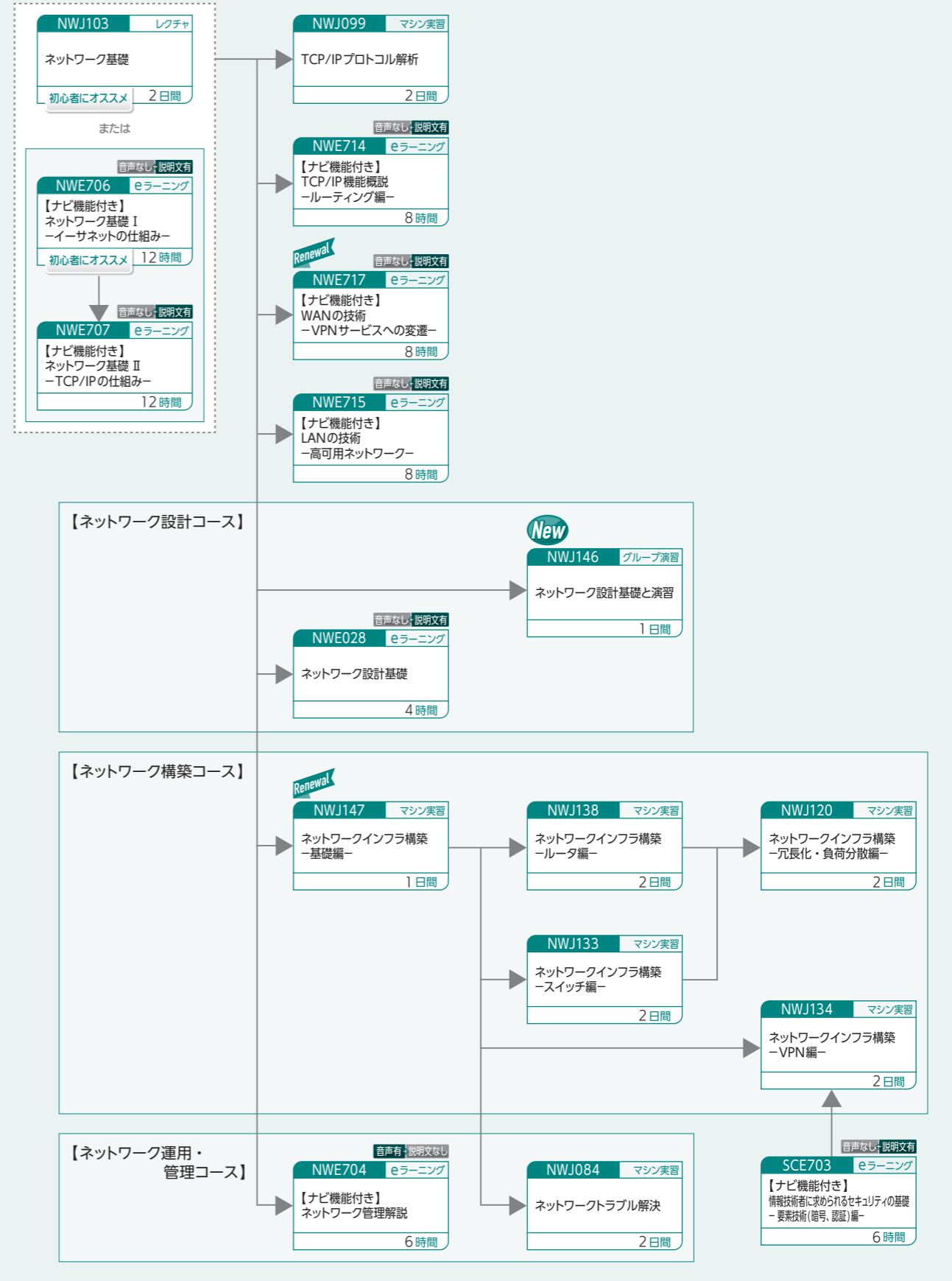
|  |   |
|--|---|
| <b>MSE304</b>  | <b>Windows Server 2012</b>  |
|         | <b>&lt;eラーニング&gt;【マシン演習付き】<br/>Active Directoryの基礎</b>  |
| 平均13時間   |   |
| Windows Server 2012 (R2)にActive Directoryをインストールし、ドメインの構築・運用・管理するために必要な技術と、マシン実習を通して学習します。 |   |
| <b>到達目標</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>Active Directoryの概要と実装方法が説明できる。</li> <li>Active Directoryを使用してドメイン環境を管理できる。</li> <li>グループポリシーを実装できる。</li> <li>Active Directoryのバックアップと復元ができる。</li> </ul>   |
| <b>対象者</b>   | Active Directoryを設計・構築・管理する方。   |
| <b>前提知識</b>  | 【【ナビ機能付き】【マシン演習付き】Windows Server 2012 管理概説Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。   |
| <b>内容</b>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>Active Directoryドメインサービスの概要</li> <li>Active Directoryドメインサービスの実装</li> <li>Active Directoryドメインのオブジェクト管理</li> <li>グループポリシーの実装と管理</li> <li>Active DirectoryドメインサービスとDNS</li> <li>サイトとグローバルカタログサーバーの構成</li> <li>複数ドメイン環境の構成</li> <li>Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元</li> <li>修了試験</li> </ol>  |
| <b>備考</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>サービス有効期限は21日間です。</li> <li>【お申し込み前に必ずご確認ください】</li> <li>説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）</li> <li>このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。</li> <li>このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。</li> <li>https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf</li> <li>このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</li> <li>学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。</li> <li>学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。</li> <li>このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li> </ul> |

|   |   |
|---|---|
| <b>0AE026</b>   | <b>SharePoint</b>   |
|  | <b>&lt;eラーニング&gt;<br/>SharePointによる<br/>社内ポータル作成入門</b>  |
| 平均3時間   |   |
| SharePointを利用したポータルサイトの構築を学習します。  |   |
| <b>到達目標</b>   | SharePointを利用して、ポータルサイトを構築することができる。   |
| <b>対象者</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>職種、年齢層にかかわらずSharePointでサイトを構築される方。</li> <li>SharePointでサイトを構築する必要があるが、サイトを構築する方法がわからない方。</li> </ul>  |
| <b>前提知識</b>   | 特に必要としません。  |
| <b>内容</b>   | <ol style="list-style-type: none"> <li>SharePointの概要</li> <li>SharePointの代表的なアプリ</li> <li>SharePointのサイト構築</li> <li>SharePointのサイト管理</li> <li>Outlookとの連携</li> <li>SharePoint 2010ベースのワークフローの実装</li> <li>修了試験</li> </ol>  |
| <b>備考</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>終了日は9月30日になります。</li> <li>説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）</li> <li>このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li> </ul> |

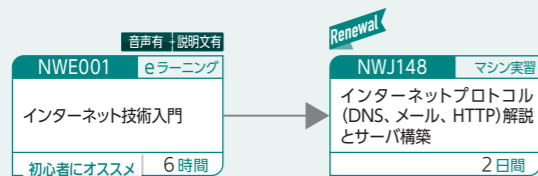
# ネットワーク

ネットワークの構成を理解し、LANおよびWANに接続したシステム設計・構築・運用管理に関する技術が修得できます。

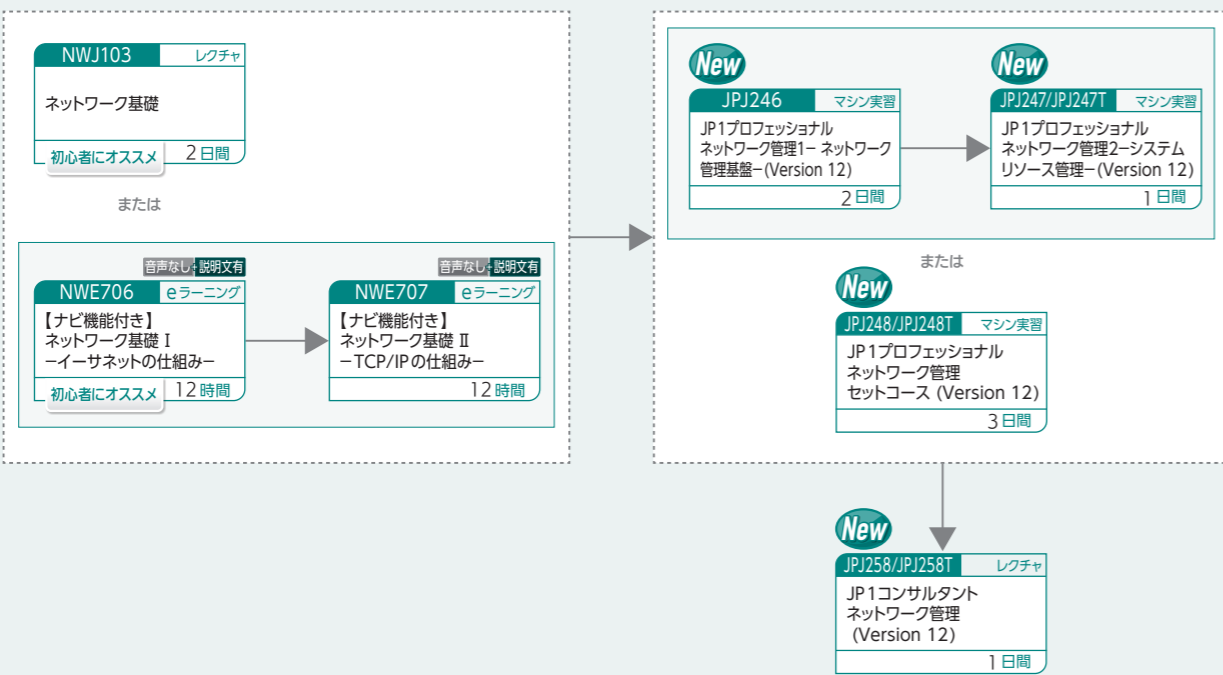
## ● ネットワークを設計・構築・運用する方、技術を詳しく学びたい方



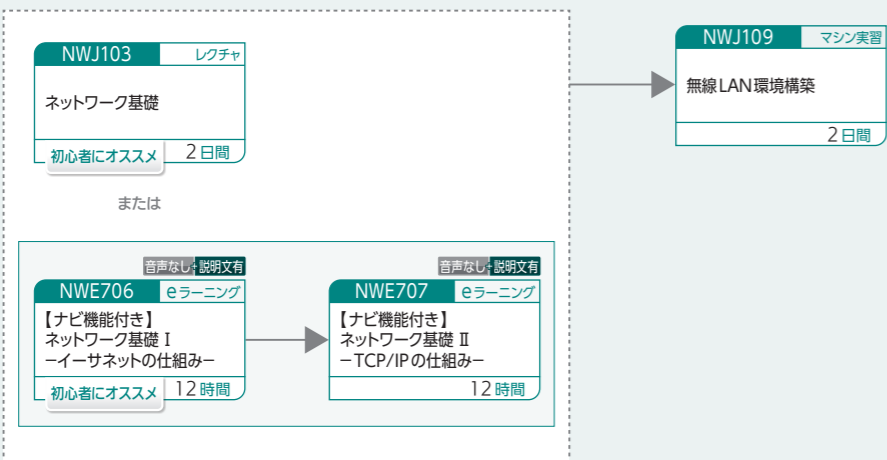
インターネットサーバを構築・運用・管理する方



JP1 ネットワーク管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



ワイヤレスネットワークを設計・構築・運用する方、技術を幅広く学びたい方



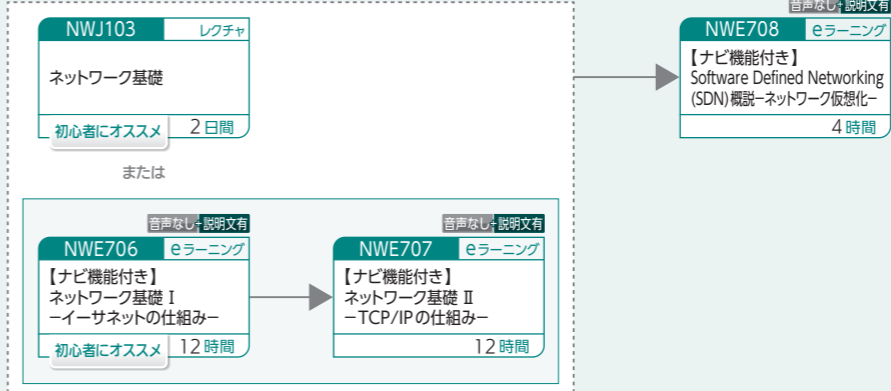
音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

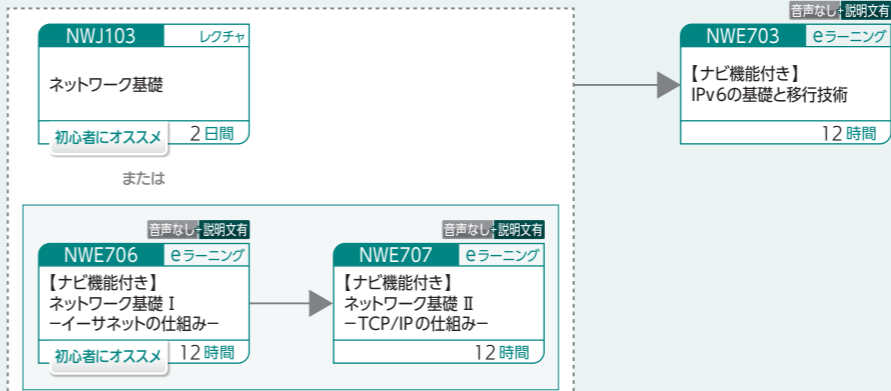
音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

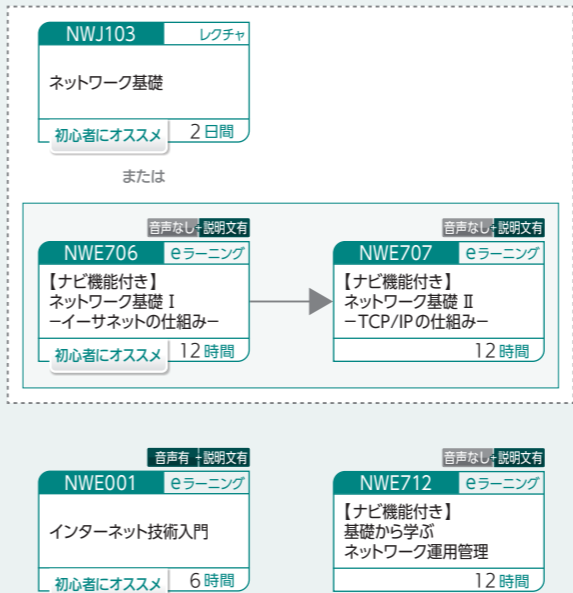
ネットワークの最新動向を学びたい方



IPv6ネットワークを構築・運用・管理する方、技術を詳しく学びたい方



ネットワークシステム、インターネットを利用する方



- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDM II
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho ソフトウェア
- デジタルトランスフォーメーション
- IT 利活用
- イノベーション
- IoT/AI/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバーセキュリティ
- クラウド/サーバ仮想化
- IT サービス マネジメント
- システム基盤
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT 戦略・IS 企画/システム設計
- IT 戦略・IS 企画
- システム設計
- アプリケーション開発
- Web アプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT 基本
- IT 基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクト マネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDM II
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho ソフトウェア
- デジタルトランスフォーメーション
- IT 利活用
- イノベーション
- IoT/AI/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバーセキュリティ
- クラウド/サーバ仮想化
- IT サービス マネジメント
- システム基盤
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT 戦略・IS 企画/システム設計
- IT 戦略・IS 企画
- システム設計
- アプリケーション開発
- Web アプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT 基本
- IT 基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクト マネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

|  |
|--|
| 日立製品   |
| <p>JP1</p> uCosminexus Application Server      |
| HIRDB  |
| <p>OpenTP1</p> VOS3/VOS1/ VOSK                 |
| <p>XDM/PDM II</p> Hitachi Advanced Data Binder |
| <p>日立ストレージ</p> Pentaho ソフトウェア                  |
| <p>デジタルトランスフォーメーション</p> IT 利活用                 |
| <p>イノベーション</p> IoT/AI/Lumada                   |
| <p>ビッグデータ</p> データ分析                            |
| <p>サイバーセキュリティ</p> クラウド/サーバ仮想化                  |
| <p>IT サービス マネジメント</p> システム基盤                   |
| <p>オープンソース ソフトウェア(OSS)</p> Linux               |
| <p>Microsoft</p> ネットワーク                        |
| <p>セキュリティ</p> データベース                           |
| <p>IT戦略・IS企画/システム設計</p> IT戦略・IS企画              |
| <p>システム設計</p> アプリケーション開発                       |
| <p>Web アプリケーション</p> スマートデバイス                   |
| <p>オブジェクト指向/UML</p> 言語                         |
| <p>IT 基本</p> IT 基本                             |
| <p>ハードウェア</p> 情報処理資格                           |
| <p>情報リテラシ</p> プロジェクト マネジメント                    |
| <p>コンプライアンス</p> ビジネス/ヒューマン                     |
| <p>グローバル</p>                                   |

|  |
|--|
| <p><b>NWJ103</b> ネットワーク</p> <div><div><span><span></span></span></div><div><span>ネットワーク基礎</span></div></div> <div><div>2日間</div><div>平均12時間</div></div>  |
| <p>コンピュータネットワークで利用される技術や、コンピュータネットワークの構築に必要な基礎知識を総合的に学習します。</p>  |
| <p><b>到達目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>LANの構成要素（ハード/ソフト）について説明できる。</li> <li>OSI基本参照モデルに対応したネットワークの基本動作を説明できる。</li> <li>イーサネット、IPv4、TCP/UDPの基本について説明できる。</li></ul>                            |
| <p><b>対象者</b></p> ネットワーク技術者をめざす方、業務の中でネットワークの基礎知識を必要とする方、小規模なネットワークを構築・運用する方。  |
| <p><b>前置知識</b></p> 特に必要としません。  |
| <p><b>内 容</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>ネットワークの基礎知識</li> <li>プロトコル</li> <li>ネットワークインタフェース層</li> <li>インターネット層</li> <li>トランスポート層</li> <li>アプリケーション層</li> <li>ネットワーク機器</li> <li>インターネット</li></ol> |
| <p><b>備考</b></p> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。   |

|  |
|--|
| <p><b>NWE715</b> ネットワーク</p> <div><div><span><span></span></span></div><div><span>&lt;eラーニング&gt;【ナビ機能付き】LANの技術</span></div></div> <div><div>平均8時間</div><div>—高可用ネットワーク—</div></div>   |
| <p>VLAN、無線LAN、負荷分散装置など、LANを構築するうえで必要な知識を学習します。</p>   |
| <p><b>到達目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>VLAN、無線LANの基礎を説明できる。</li> <li>負荷分散装置、冗長化技術の基礎について説明できる。</li></ul> LAN技術の基礎的な知識を必要とする方。  |
| <p><b>対象者</b></p> LAN技術の基礎的な知識を必要とする方。   |
| <p><b>前置知識</b></p> 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ－TCP/IPの仕組み－」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。  |
| <p><b>内 容</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>LANの構築</li> <li>リンクアグリゲーション</li> <li>STP</li> <li>VRRP</li> <li>負荷分散</li> <li>VLAN</li> <li>ネットワーク・ストレージ</li> <li>無線LAN</li> <li>LANデバイス</li> <li>修了試験</li></ol>   |
| <p><b>備考</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>終了日は9月30日になります。</li> <li>説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）</li> <li>このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li></ul> |

|  |
|--|
| <p><b>NWE706</b> ネットワーク</p> <div><div><span><span></span></span></div><div><span>&lt;eラーニング&gt;【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅰ</span></div></div> <div><div>平均12時間</div><div>—イーサネットの仕組み—</div></div>  |
| <p>ネットワークの階層構造、および各階層におけるプロトコルの概要、LANで使われる基礎技術について、イーサネットを中心に学習します。</p>  |
| <p><b>到達目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>ネットワークの階層構造、プロトコルの役割について説明できる。</li> <li>イーサネットの基礎技術、機器について説明できる。</li></ul>  |
| <p><b>対象者</b></p> ネットワークに関する基礎的な知識を必要とする方。   |
| <p><b>前置知識</b></p> 特に必要としません。  |
| <p><b>内 容</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>ネットワークの基礎知識</li> <li>プロトコル</li> <li>ネットワークの通信例</li> <li>アプリケーションプロトコル</li> <li>TCP/UDP</li> <li>IP</li> <li>伝送媒体</li> <li>イーサネット</li> <li>LANデバイス</li> <li>修了試験</li></ol>  |
| <p><b>備考</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>終了日は9月30日になります。</li> <li>説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）</li> <li>このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li></ul> |

|  |
|--|
| <p><b>NWE707</b> ネットワーク</p> <div><div><span><span></span></span></div><div><span>&lt;eラーニング&gt;【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ</span></div></div> <div><div>平均8時間</div><div>—TCP/IPの仕組み—</div></div>   |
| <p>TCP/IPの概要をインターネット層、トランスポート層、アプリケーション層を中心に解説します。</p>   |
| <p><b>到達目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>TCP/IPの基礎的な説明ができる。</li> <li>IP関連プロトコルの基礎的な説明ができる。</li> <li>TCP/IP上のアプリケーションの基礎的な説明ができる。</li></ul>   |
| <p><b>対象者</b></p> TCP/IPの基礎的な知識を必要とする方。  |
| <p><b>前置知識</b></p> 「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅰ－イーサネットの仕組み－」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。   |
| <p><b>内 容</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>TCP/IPの概要</li> <li>IP</li> <li>アドレス解決（ARP）</li> <li>ICMP</li> <li>TCP/UDP</li> <li>IP関連技術</li> <li>リモート・ログイン(Telnet)</li> <li>ファイル転送（FTP）</li> <li>名前解決（DNS）</li> <li>WWW（HTTP）</li> <li>電子メール</li> <li>IPv6</li> <li>修了試験</li></ol> |
| <p><b>備考</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>終了日は9月30日になります。</li> <li>説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）</li> <li>このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li></ul>           |

|  |
|--|
| <p><b>NWJ099</b> ネットワーク</p> <div><div><span><span></span></span></div><div><span>TCP/IPプロトコル解析</span></div></div> <div><div>2日間</div><div>平均4時間</div></div>  |
| <p>LANアナライザを用いてTCP/IPのシーケンスを視覚的にとらえることにより、TCP/IPの内部的な動作を学習します。</p>   |
| <p><b>到達目標</b></p> TCP/IPの内部的な動作を説明できる。  |
| <p><b>対象者</b></p> TCP/IPについてネットワーク内部での動作を把握し、知識を深めたい方。   |
| <p><b>前置知識</b></p> 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ－TCP/IPの仕組み－」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。  |
| <p><b>内 容</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>TCP/IPの構造</li> <li>TCP/IPのデータの流れ</li> <li>各プロトコルヘッダの構造</li> <li>ICMPメッセージの種類 <ol style="list-style-type: none"><li>Echo Request、Echo Reply</li> <li>Redirect</li> <li>Time Exceeded</li></ol></li> <li>各アプリケーションの動作 <ol style="list-style-type: none"><li>ftp</li> <li>telnet</li></ol></li> <li>シーケンス確認（演習） <ol style="list-style-type: none"><li>TCP/IPレベルのシーケンス</li> <li>アプリケーションのシーケンス</li></ol></li></ol> |
| <p><b>備考</b></p> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。   |

|  |
|--|
| <p><b>NWE717</b> ネットワーク</p> <div><div><span><span></span></span></div><div><span>&lt;eラーニング&gt;【ナビ機能付き】WANの技術</span></div></div> <div><div>平均8時間</div><div>—VPNサービスへの変遷—</div></div>   |
| <p>VPNをはじめとするWANサービスの概要と、サービスを構成する基礎技術を学習します。</p>  |
| <p><b>到達目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>代表的なWANサービスの基礎技術を説明できる。</li> <li>VPN（広域イーサネット、IP-VPN、インターネットVPN）について技術とサービスの特性を説明できる。</li></ul>   |
| <p><b>対象者</b></p> WANサービスの基礎的な知識を必要とする方。   |
| <p><b>前置知識</b></p> 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ－TCP/IPの仕組み－」コースを修了しているか、または同等の知識があること。  |
| <p><b>内 容</b></p> 序章. WANサービスの変遷 <ol style="list-style-type: none"><li>WANの利用</li> <li>伝送技術とデータリンク層プロトコル</li> <li>専用線</li> <li>PSTN・ISDN</li> <li>xDSL・FTTH</li> <li>無線アクセス回線</li> <li>広域イーサネット</li> <li>IP-VPN</li> <li>インターネットVPN</li> <li>修了試験</li></ol>                        |
| <p><b>備考</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>終了日は9月30日になります。</li> <li>説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）</li> <li>このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li></ul> |

|  |
|--|
| <p><b>NWE001</b> ネットワーク</p> <div><div><span><span></span></span></div><div><span>&lt;eラーニング&gt;インターネット技術入門</span></div></div> <div><div>平均6時間</div><div></div></div>   |
| <p>WWWや電子メールの仕組み、WebアプリケーションやFTPの概要を学習します。</p>   |
| <p><b>到達目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>Webアプリケーションの概要を説明できる。</li> <li>Webページ記述言語の概要について説明できる。</li> <li>インターネットでの通信の仕組みについて説明できる。</li> <li>FTPの概要について説明できる。</li></ul>   |
| <p><b>対象者</b></p> インターネットの基礎的な知識を必要とする方。   |
| <p><b>前置知識</b></p> 特に必要としません。  |
| <p><b>内 容</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>インターネットの基礎知識</li> <li>インターネットでの通信の仕組み <ol style="list-style-type: none"><li>ドメイン名</li> <li>インターネットでの通信の仕組み</li></ol></li> <li>電子メールの仕組み <ol style="list-style-type: none"><li>電子メールとは</li></ol></li> <li>WWWの仕組み <ol style="list-style-type: none"><li>Webページの記述言語</li></ol></li> <li>Webアプリケーションの技術概要</li> <li>Webのセキュリティに関わる基礎知識</li> <li>修了試験</li></ol> |
| <p><b>備考</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>終了日は9月30日になります。</li> <li>説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）</li> <li>このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li></ul>   |

|   |
|---|
| <p><b>NWJ148</b> ネットワーク</p> <div><div><span><span></span></span></div><div><span>インターネットプロトコル（DNS、メール、HTTP）解説とサーバ構築</span></div></div> <div><div>2日間</div><div>平均6時間</div></div>  |
| <p>インターネットプロトコルの動作とインターネットサーバの構築方法について理解を深めます。</p>  |
| <p><b>到達目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>DNSプロトコルの動作と基本的なメッセージが説明できる。</li> <li>SMTP/POP3の動作と基本的なメッセージが説明できる。</li> <li>HTTPの動作と基本的なメッセージが説明できる。</li></ul> ネットワークサーバの構築・運用に携わる方。  |
| <p><b>対象者</b></p> 「インターネット技術入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。   |
| <p><b>前置知識</b></p> 特に必要としません。   |
| <p><b>内 容</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>インターネットの概要</li> <li>DNSの仕組みとサーバ構築 <ol style="list-style-type: none"><li>名前解決の概要</li> <li>DNSの動作</li> <li>DNSプロトコルメッセージ</li></ol></li> <li>メールの仕組みとサーバ構築 <ol style="list-style-type: none"><li>メールシステム概要</li> <li>メールデータフォーマット</li> <li>SMTPプロトコルメッセージ</li> <li>POP3プロトコルメッセージ</li></ol></li> <li>Webの仕組みとサーバ構築 <ol style="list-style-type: none"><li>Webの仕組みとHTMLファイル</li> <li>HTTPプロトコルメッセージ</li></ol></li></ol> |
| <p><b>備考</b></p> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。  |

|   |
|---|
| <p>日立製品</p> <p>JP1</p> uCosminexus Application Server |
| HIRDB   |
| <p>OpenTP1</p> VOS3/VOS1/ VOSK                        |
| <p>XDM/PDM II</p> Hitachi Advanced Data Binder        |
| <p>日立ストレージ</p> Pentaho ソフトウェア                         |
| <p>デジタルトランスフォーメーション</p> IT 利活用                        |
| <p>イノベーション</p> IoT/AI/Lumada                          |
| <p>ビッグデータ</p> データ分析                                   |
| <p>サイバーセキュリティ</p> クラウド/サーバ仮想化                         |
| <p>IT サービス マネジメント</p> システム基盤                          |
| <p>オープンソース ソフトウェア(OSS)</p> Linux                      |
| <p>Microsoft</p> ネットワーク                               |
| <p>セキュリティ</p> データベース                                  |
| <p>IT戦略・IS企画/システム設計</p> IT戦略・IS企画                     |
| <p>システム設計</p> アプリケーション開発                              |
| <p>Web アプリケーション</p> スマートデバイス                          |
| <p>オブジェクト指向/UML</p> 言語                                |
| <p>IT 基本</p> IT 基本                                    |
| <p>ハードウェア</p> 情報処理資格                                  |
| <p>情報リテラシ</p> プロジェクト マネジメント                           |
| <p>コンプライアンス</p> ビジネス/ヒューマン                            |
| <p>グローバル</p>  |

|                                     |
|-------------------------------------|
| <p><b>マシン実習</b></p> マシンを使用しながらの研修   |
| <p><b>グループ演習</b></p> グループ演習を中心とした研修 |
| <p><b>レクチャ</b></p> 座学による研修          |

|   |
|---|
| <p><b>演習環境</b></p> 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習 |
| <p><b>研修室自習型</b></p> 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習  |

|                                       |
|---------------------------------------|
| <p><b>eラーニング</b></p> インターネット接続による自己学習 |
|---------------------------------------|



# セキュリティ

個人情報保護や情報セキュリティに関する基礎知識、セキュリティを考慮したシステム構築・管理に必要な技術が修得できます。

## ● セキュリティの最新動向を知りたい方

**SCJ041** レクチャ

セキュリティ最新動向

0.5 日間

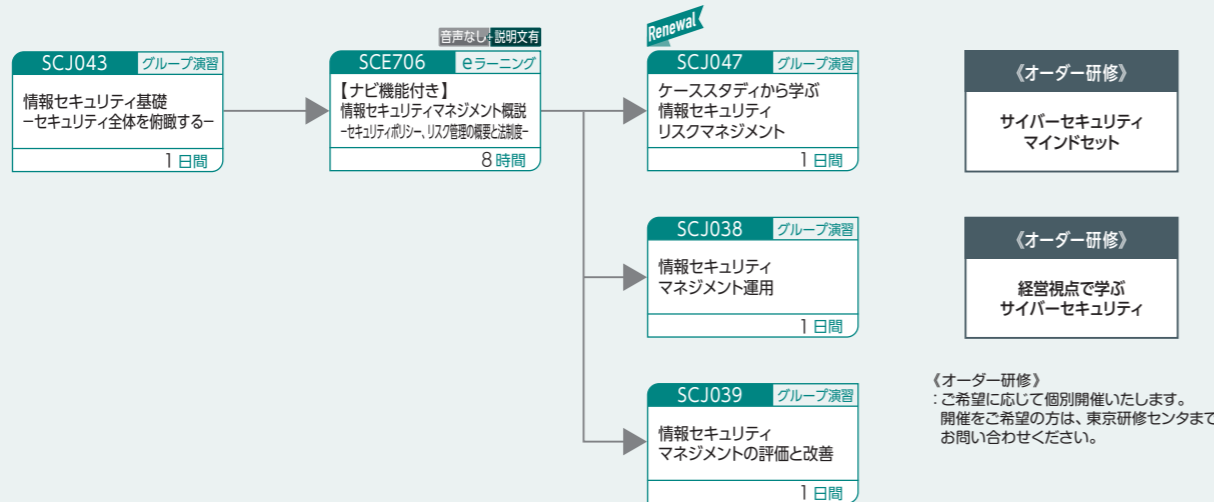
## ● 社会人としてのセキュリティ意識を身につけたい方

**SCE708** eラーニング

【ナビ機能付き】  
情報セキュリティリテラシー  
～セキュリティの必要性と対策～

初心者におすすめ 4 時間

## ● 企業内の情報セキュリティを管理する方



## ● セキュリティインシデント対応の基礎を身につけたい方

**SCE011** eラーニング  
サイバー攻撃対応基礎  
(知識修得編)  
3 時間

**SCJ045** グループ演習  
サイバー攻撃対応  
コミュニケーション訓練  
(実習編)  
0.5 日間

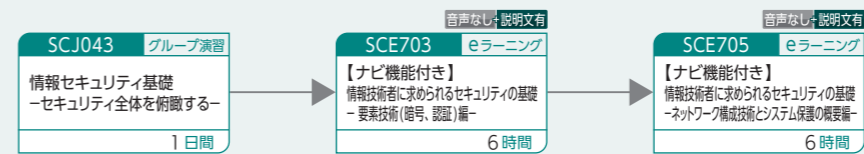
**音声有・説明文有**：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**音声有・説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

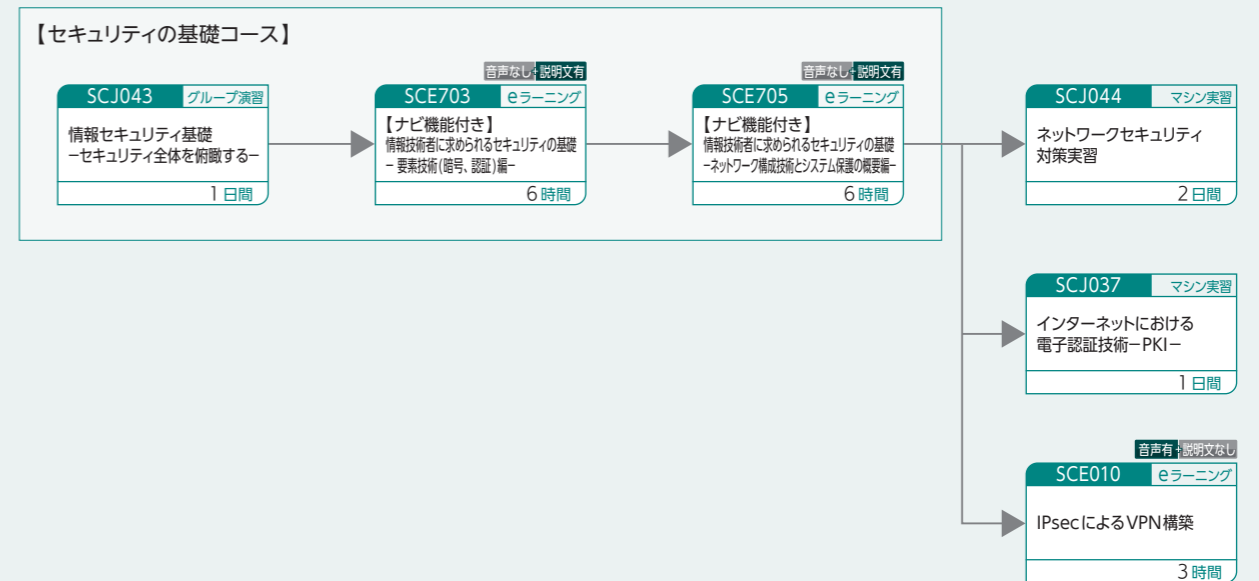
**音声なし・説明文有**：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におすすめ**：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

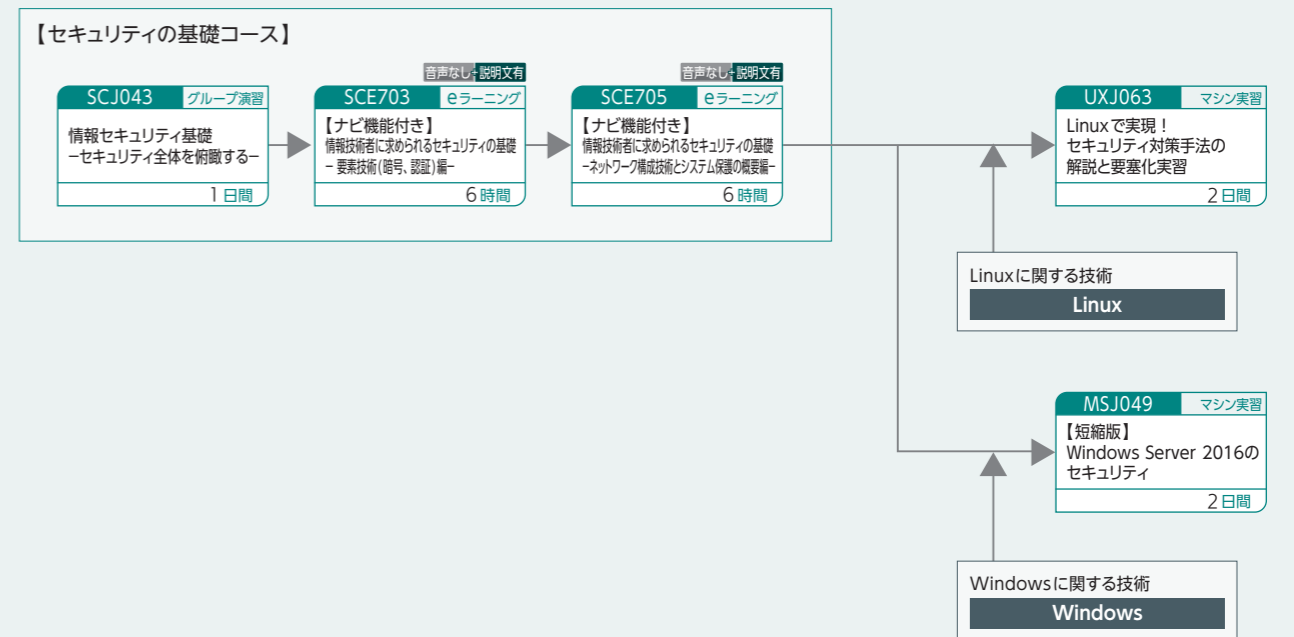
## ● 情報システムを構築・運用する方（セキュリティの基礎）



## ● ネットワークシステムを構築・運用する方



## ● Windows、Linuxで情報システムを構築・運用・管理する方

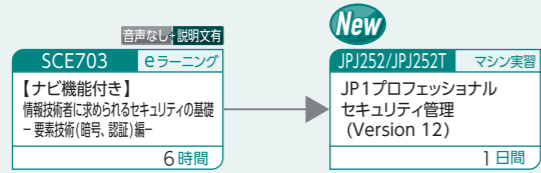


- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDM II
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho ソフトウェア
- デジタルトランスフォーメーション
- IT 利活用
- イノベーション
- IoT/AI/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバーセキュリティ
- クラウド/サーバ仮想化
- IT サービスマネジメント
- システム基盤
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT 戦略・IS 企画/システム設計
- IT 戦略・IS 企画
- システム設計
- アプリケーション開発
- Web アプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT 基本
- IT 基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

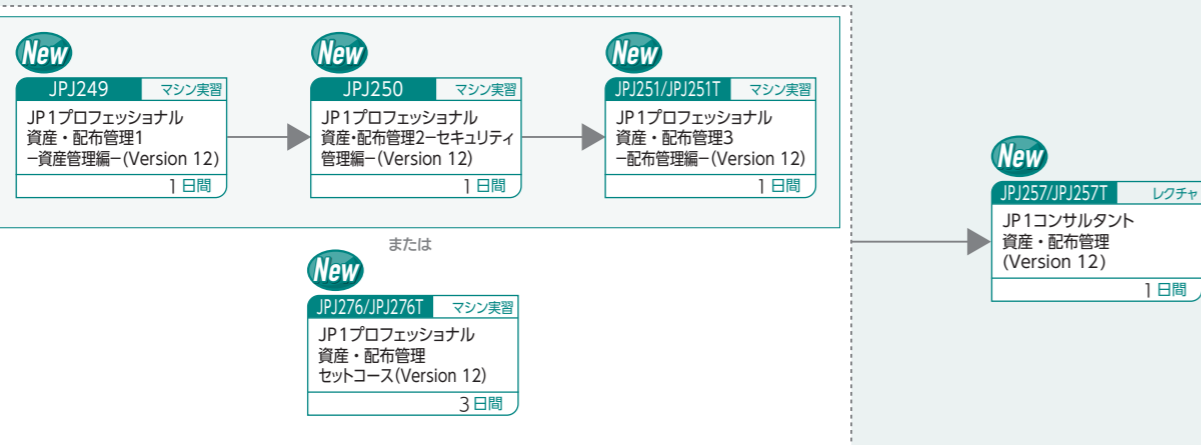
- 日立製品
- JP1
- uCOSminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDM II
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho ソフトウェア
- デジタルトランスフォーメーション
- IT 利活用
- イノベーション
- IoT/AI/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバーセキュリティ
- クラウド/サーバ仮想化
- IT サービス マネジメント
- システム基盤
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT 戦略・IS 企画/システム設計
- IT 戦略・IS 企画
- システム設計
- アプリケーション開発
- Web アプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT 基本
- IT 基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクト マネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

- 日立製品
- JP1
- uCOSminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDM II
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho ソフトウェア
- デジタルトランスフォーメーション
- IT 利活用
- イノベーション
- IoT/AI/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバーセキュリティ
- クラウド/サーバ仮想化
- IT サービス マネジメント
- システム基盤
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT 戦略・IS 企画/システム設計
- IT 戦略・IS 企画
- システム設計
- アプリケーション開発
- Web アプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT 基本
- IT 基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクト マネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

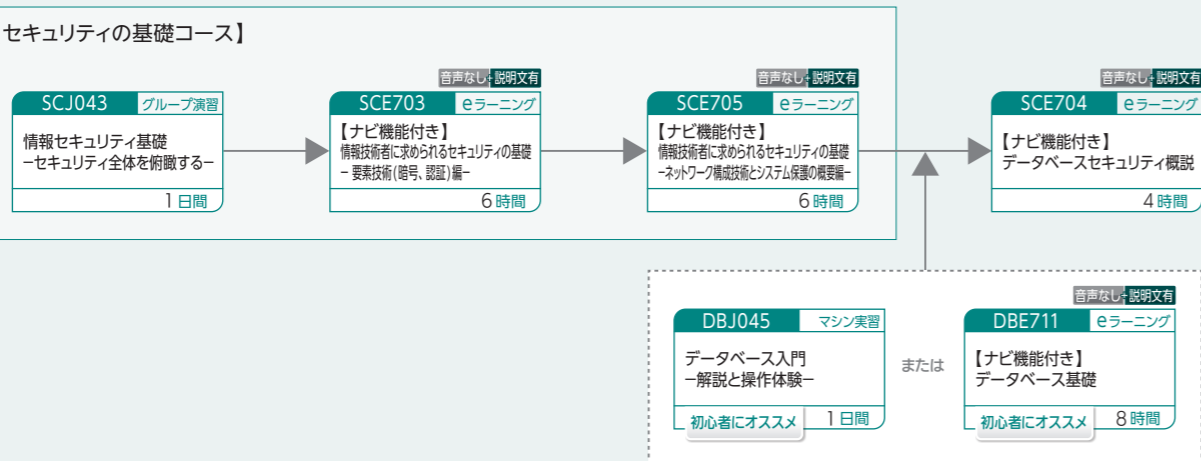
● JP1セキュリティ管理製品を使用してシステムを構築・運用する方



● JP1資産・配布管理製品を使用してシステムを構築・運用する方



● データベースを構築・運用する方



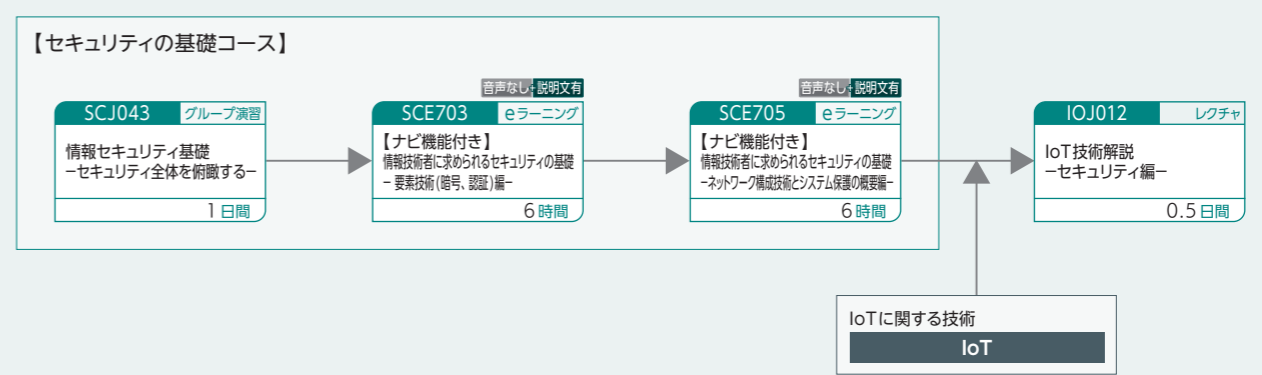
**音声有・説明文有**：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**音声有・説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

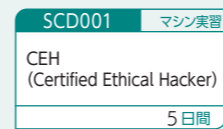
**音声なし・説明文有**：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におすすめ**：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● IoTのシステムを構築・運用・管理する方



● ホワイトハッカーをめざす方



資格 EC-Council認定資格

EC-Council認定資格は、EC-Council Internationalが「情報セキュリティ技術者として、一定水準以上の技術力を持つこと」を認定する資格です。

詳しくは、日立インフォメーションアカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/license/ecc/index.html>



コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>



|  |
|--|
| 日立製品   |
| <p>JP1</p> uCosminexus Application Server      |
| HIRDB  |
| <p>OpenTP1</p> VOS3/VOS1/VOSK                  |
| <p>XDM/PDM II</p> Hitachi Advanced Data Binder |
| 日立ストレージ  |
| <p>Pentaho</p> ソフトウェア                          |
| <p>デジタルトランスフォーメーション</p>                        |
| IT活用   |
| <p>イノベーション</p>                                 |
| <p>IoT/AI/Lumada</p>                           |
| ビッグデータ   |
| <p>データ分析</p> サイバーセキュリティ                        |
| <p>クラウド/サーバ仮想化</p>                             |
| ITサービスマネジメント                                   |
| <p>システム基盤</p> オープンソースソフトウェア(OSS)               |
| Linux  |
| Microsoft                                      |
| ネットワーク   |
| <p>セキュリティ</p> データベース                           |
| <p>IT戦略・IS企画/システム設計</p>                        |
| IT戦略・IS企画                                      |
| システム設計   |
| <p>アプリケーション開発</p> Webアプリケーション                  |
| <p>スマートデバイス</p> オブジェクト指向/UML                   |
| 言語   |
| IT基本   |
| IT基本   |
| ハードウェア   |
| 情報処理資格   |
| 情報リテラシ   |
| プロジェクトマネジメント                                   |
| コンプライアンス                                       |
| ビジネス/ヒューマン                                     |
| グローバル  |

## セキュリティ

|   |  |
|---|--|
| <p>SCJ078</p> 情報セキュリティ  | <p><b>&lt;eラーニング&gt;【ナビ機能付き】情報セキュリティリテラシー—セキュリティの必要性と対策—</b></p> 平均4時間 |
| <p>情報システムの利用者が理解しておくべき、セキュリティ上の対策の必要性、および基礎的なセキュリティ用語について学習します。</p>   |  |
| <p><b>到達目標</b></p> ・情報システムにおけるセキュリティの必要性について説明できる。 ・情報システムの利用者が理解しておくべき、セキュリティ上のリスクとその対策方法を説明できる。 ・基礎的な情報セキュリティ用語を説明できる。  |  |
| <p><b>対象者</b></p> 情報セキュリティに関する基礎知識を必要とする方。  |  |
| <p><b>前提知識</b></p> 特に必要としません。   |  |
| <p><b>内容</b></p> 1. 情報セキュリティ概要 2. 通常業務におけるリスクと対策 3. Web利用におけるリスクと対策 4. メール利用におけるリスクと対策 5. コンプライアンス 6. 修了試験  |  |
| <p><b>備考</b></p> ・終了日は9月30日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 |  |

|   |   |
|---|---|
| <p>SCJ043</p> 情報セキュリティ  | <p><b>情報セキュリティ基礎—セキュリティ全体を俯瞰する—</b></p> 1日間 |
| <p>近年、高度化・多様化するセキュリティの脅威の紹介を通し、日常業務の中で扱っているシステムやサービスに潜むセキュリティのリスクや対策手法の全体像について学習します。</p>  |   |
| <p><b>到達目標</b></p> ・日々取り組む業務やお客様に提供するサービスに潜むセキュリティの脅威について、概要を説明できる。 ・自分の関わる業務において、どこにどのようなセキュリティ対策が必要となるのか、その全体感を説明できる。   |   |
| <p><b>対象者</b></p> ・SIベンダー、情報システム部門の担当者の方。 ・日々取り組む業務やお客様に提供するサービスにおいてセキュリティは大切な要件だという認識がある一方で、常にセキュリティの脅威に晒されており不安を抱えている方。   |   |
| <p><b>前提知識</b></p> ITの基礎知識があること。  |   |
| <p><b>内容</b></p> 1. セキュリティの概要とインシデント事例 2. サイバー攻撃の手法とその対策 3. システムへのアクセスに関するセキュリティ 4. サーバやネットワークに関するセキュリティ 5. データの保護に関するセキュリティ 6. 不正操作に関するセキュリティ 7. セキュリティマネジメント 8. IT技術の動向とセキュリティ 9. セキュリティに関する法規や制度 |   |
| <p><b>備考</b></p> ・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。   |   |

|  |   |
|--|---|
| <p>SCJ011</p> 情報セキュリティ   | <p><b>&lt;eラーニング&gt;サイバー攻撃対応基礎（知識修得編）</b></p> 平均3時間 |
| <p>サイバー攻撃に関して最低限必要な基礎知識の解説と、インシデント発生時の対応方法を解説します。</p>  |   |
| <p><b>到達目標</b></p> ・サイバー攻撃に伴う予防の対応を説明できる。 ・サイバー攻撃に伴うインシデント発生時の初動の対応を説明できる。   |   |
| <p><b>対象者</b></p> 情報システムを運用・管理する方。   |   |
| <p><b>前提知識</b></p> ITに関する基礎的な知識があること。  |   |
| <p><b>内容</b></p> 1. 基礎知識修得編 (1) 日常業務での注意点 (2) サイバー攻撃への対処 (3) 開発時の注意点 (4) 脆弱性情報の収集と対策検討 (5) インシデント発生時の備え (6) まとめ 2. 体験学習編 (1) 標的型攻撃による情報漏えい (2) ランサムウェア感染による業務妨害 (3) Webアプリケーションの脆弱性とサービス妨害攻撃 (4) 内部不正、過失による自社からの情報漏えい (5) サイバー攻撃を防ぐために   |   |
| <p><b>備考</b></p> ・終了日は9月30日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |   |

|   |                                |
|---|--------------------------------|
| <p>SCJ041</p> 情報セキュリティ  | <p><b>セキュリティ最新動向</b></p> 0.5日間 |
| <p>セキュリティの基本概念からセキュリティ対策の最新動向を学習します。</p>  |                                |
| <p><b>到達目標</b></p> ・セキュリティの必要性が説明できる。 ・最新のセキュリティ脅威を説明できる。 ・セキュリティ対策における最新動向を説明できる。                        |                                |
| <p><b>対象者</b></p> セキュリティの最新動向を知りたい方。  |                                |
| <p><b>前提知識</b></p> オペレーティングシステム、及びネットワークに関する基本的な知識があること。  |                                |
| <p><b>内容</b></p> 1. 情報セキュリティの基礎 2. 最新の攻撃方法と対策 3. セキュリティ対策の実際 4. 今後増加すると考えられる攻撃 5. 新しい対策技術 6. さらに知りたい人のために |                                |
| <p><b>備考</b></p> このコースは、13:00～16:30の開催とさせていただきます。   |                                |

|   |  |
|---|--|
| <p>SCJ045</p> 情報セキュリティ  | <p><b>サイバー攻撃対応コミュニケーション訓練（実習編）</b></p> 0.5日間 |
| <p>グループディスカッションを交えて、実際に起こりうるセキュリティインシデントケースを題材としたインシデント対応を疑似体験します。</p>  |  |
| <p><b>到達目標</b></p> サイバー攻撃に伴うインシデント発生時の初動の対応ができる。  |  |
| <p><b>対象者</b></p> 情報システムを運用・管理する方。  |  |
| <p><b>前提知識</b></p> ITに関する基礎的な知識があること。   |  |
| <p><b>内容</b></p> 1. セキュリティインシデントとは 2. グループワークによるコミュニケーション訓練 3. 各グループ発表 4. 講評  |  |
| <p><b>備考</b></p> ・このコースは、13:00～16:00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 |  |

|   |   |
|---|---|
| <p>SCE706</p> 情報セキュリティ  | <p><b>&lt;eラーニング&gt;【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説—セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度—</b></p> 平均8時間 |
| <p>情報セキュリティ維持、個人情報保護のための管理システムと情報セキュリティに関連する規格、法律制度など管理的対策に関する概要を学びます。</p>  |   |
| <p><b>到達目標</b></p> ・情報セキュリティ、コンプライアンスの概念を説明できる。 ・情報セキュリティ維持、個人情報保護のマネジメントシステムの概要を説明できる。 ・情報セキュリティに関連する規格、法律制度を説明できる。  |   |
| <p><b>対象者</b></p> ・情報システムを運用・管理する方。 ・情報セキュリティを計画・立案する方。   |   |
| <p><b>前提知識</b></p> コンピュータシステムの基礎知識があること。  |   |
| <p><b>内容</b></p> 1. 情報セキュリティの概要 2. 情報セキュリティマネジメントの基本概念 (1) 情報セキュリティマネジメントの概要 (2) 情報セキュリティポリシーの概要 3. リスクマネジメント (1) リスクアセスメント (2) リスク対応 4. 情報セキュリティの維持 (1) ISMS認証基準 (2) インシデントレスポンス 5. 情報セキュリティ関連の法規と規格 (1) 個人情報保護 (2) サイバー犯罪関連法規 6. 修了試験 |   |
| <p><b>備考</b></p> ・終了日は9月30日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。                             |   |

|   |  |
|---|--|
| <p>SCJ047</p> 情報セキュリティ  | <p><b>ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスクマネジメント</b></p> 1日間 |
| <p>部門の情報セキュリティマネジメントを構築するための基本事項・部門で守るべき情報資産の洗い出し・リスクアセスメントの実施、管理台帳の作成について、部門の情報セキュリティマネジメントの観点からケーススタディを通して修得します。</p>  |  |
| <p><b>到達目標</b></p> ・部門の情報セキュリティマネジメントの位置づけ、体制、構築対象、プロセスを説明できる。 ・部門の情報資産の捉え方を理解し、リスクアセスメントができる。  |  |
| <p><b>対象者</b></p> 情報セキュリティを計画・立案する方。  |  |
| <p><b>前提知識</b></p> 【【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説—セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度—】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。  |  |
| <p><b>内容</b></p> 1. 情報セキュリティマネジメントの構築 (1) 情報セキュリティ対策の基本 (2) 情報セキュリティ規程の体系と部門ルール 2. 情報資産の調査と分類、管理台帳 (1) 守るべき情報資産の洗い出し (2) 情報資産の分類 3. リスクアセスメントの実施 (1) リスクアセスメントの流れ (2) アプローチ方法と例 (3) 情報セキュリティ対策 4. ケーススタディ |  |
| <p><b>備考</b></p> ・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。   |  |

|   |  |
|---|--|
| <p>SCE703</p> セキュリティ技術  | <p><b>&lt;eラーニング&gt;【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎—要素技術（暗号、認証）編—</b></p> 平均6時間 |
| <p>安全性の高い情報システムの実現に利用される、セキュリティ要素技術の基礎について学習します。</p>  |  |
| <p><b>到達目標</b></p> ・セキュリティ技術の必要性について説明できる。 ・共通鍵暗号や公開鍵暗号などの暗号技術について説明できる。 ・認証の分類や代表的な方式について説明できる。  |  |
| <p><b>対象者</b></p> 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理/構築する方。  |  |
| <p><b>前提知識</b></p> 「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ—TCP/IPの仕組み—】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。   |  |
| <p><b>内容</b></p> 1. セキュリティの概要 2. 暗号技術 (1) 共通鍵暗号方式 (2) 公開鍵暗号方式 3. 認証技術 (1) ユーザ認証 (2) データ認証 4. 暗号や認証の利用例 (1) 公開鍵の信頼 (2) Web通信における利用例 (3) メール通信における利用例 5. 修了試験   |  |
| <p><b>備考</b></p> ・終了日は9月30日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 |  |

|   |                                    |
|---|------------------------------------|
| <p>SCJ038</p> 情報セキュリティ  | <p><b>情報セキュリティマネジメント運用</b></p> 1日間 |
| <p>このコースでは、部門の情報セキュリティマネジメントの運用に必要な項目とインシデントへの具体的な対応方法について、部門の情報セキュリティマネジメントの観点から、ケーススタディを通して修得します。</p>   |                                    |
| <p><b>到達目標</b></p> ・部門の情報セキュリティを維持するために欠かせない作業ができる。 ・部門担当者として重要となるインシデントへの対応について、部門状況やインシデントの種類に従った適切な行動ができる。 ・運用において重要である、インシデントの種類に応じた状況の把握と判断および初動、緊急対応、緊急対応後の措置、報告ができる。                                     |                                    |
| <p><b>対象者</b></p> ・現在部門内の情報セキュリティ管理を担当している方。 ・IPAの「情報セキュリティマネジメント試験」を受験したい方。  |                                    |
| <p><b>前提知識</b></p> 【【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説—セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度—】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。  |                                    |
| <p><b>内容</b></p> 1. 部門の情報セキュリティマネジメント運用の概要 (1) 情報セキュリティ環境変化の把握 (2) 部門で対応すべき事項 2. インシデントへの対応 (1) インシデント種別ごとの対応 (2) インシデント時の初動と対策の強化 (3) インシデントの報告 3. ケーススタディ ・インシデント発生への対応 ・インシデントの判断 ・緊急的対応 ・緊急対応後の措置 ・インシデント報告 |                                    |
| <p><b>備考</b></p> ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・開催にあたっては、最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。   |                                    |


|   |  |
|---|--|
| <p>SCJ039</p> 情報セキュリティ  | <p><b>情報セキュリティマネジメントの評価と改善</b></p> 1日間 |
| <p>このコースでは、情報セキュリティの評価の基準や部門の情報セキュリティ監査への対応、特に不適合への対応方法について、部門の情報セキュリティマネジメントの観点から、ケーススタディを通して修得します。</p>  |  |
| <p><b>到達目標</b></p> ・評価基準、情報セキュリティ監査、セキュリティ対策の有効性評価ができる。 ・是正処置、再発防止策、情報セキュリティ監査への対応や不適合への対応ができる。 ・情報セキュリティ事故や情報セキュリティ監査からの改善指示などに適切に対応するための不適合への処置や再発防止の施策を決定することができる。   |  |
| <p><b>対象者</b></p> ・現在部門内の情報セキュリティ管理を担当している方。 ・IPAの「情報セキュリティマネジメント試験」を受験したい方。  |  |
| <p><b>前提知識</b></p> 【【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説—セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度—】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。  |  |
| <p><b>内容</b></p> 1. 情報セキュリティの評価 (1) 情報セキュリティ評価の基準 (2) 各種情報セキュリティ基準の活用場面 2. 情報セキュリティ監査への対応と改善 (1) 情報セキュリティの評価活動の分類 (2) 情報セキュリティ監査で問われること (3) 情報セキュリティ監査への対応 (4) 不適合への対応 3. ケーススタディ ・不適合への対応 ・情報セキュリティ監査の不適合の理解 ・不適合への対処 ・再発防止策 ・不適合対策の報告 |  |
| <p><b>備考</b></p> ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・開催にあたっては、最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。   |  |


|   |   |
|---|---|
| <p>SCE705</p> セキュリティ技術  | <p><b>&lt;eラーニング&gt;【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎—ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編—</b></p> 平均6時間 |
| <p>ネットワークセキュリティの実現に使用される技術や、コンピュータを保護するためのOSのセキュリティ機能、コンピュータウイルス対策の概要について学習します。</p>   |   |
| <p><b>到達目標</b></p> ・ファイアウォールの機能や種類について説明できる。 ・OSの機能設定によるシステム強化の手法について説明できる。 ・コンピュータウイルスの概要と対策について説明できる。   |   |
| <p><b>対象者</b></p> 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理/構築する方。  |   |
| <p><b>前提知識</b></p> 【【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎—要素技術（暗号、認証）編—】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。   |   |
| <p><b>内容</b></p> 1. ファイアウォール (1) ファイアウォールの役割 (2) ファイアウォールの種類 2. VPN (Virtual Private Network) (1) VPNとは (2) VPNの種類 3. OSの機能設定によるセキュリティ 4. コンピュータウイルス (1) コンピュータウイルスの種類 (2) コンピュータウイルス対策 5. 修了試験             |   |
| <p><b>備考</b></p> ・終了日は9月30日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 |   |


|  |                                    |
|--|------------------------------------|
| <p>SCJ044</p> セキュリティ技術   | <p><b>ネットワークセキュリティ対策実習</b></p> 2日間 |
| <p>実機を用いて、ネットワークセキュリティにおける攻撃手法および防御手法を学びます。</p>  |                                    |
| <p><b>到達目標</b></p> ・不正アクセスの手法や危険性が説明できる。 ・ファイアウォールや侵入検知システムが構成できる。 ・ユーザ認証の仕組みやTLS/SSLの動作が説明できる。  |                                    |
| <p><b>対象者</b></p> 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理する方。  |                                    |
| <p><b>前提知識</b></p> 「情報技術者に求められるセキュリティの基礎—ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編—】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 |                                    |
| <p><b>内容</b></p> 1. 攻撃方法とセキュリティ対策 2. ファイアウォール 3. ユーザ認証 4. 侵入検知システム 5. 安全な通信の実現                   |                                    |
| <p><b>備考</b></p> このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。   |                                    |


|  |
|--|
| 日立製品   |
| <p>JP1</p> uCosminexus Application Server      |
| HIRDB  |
| <p>OpenTP1</p> VOS3/VOS1/VOSK                  |
| <p>XDM/PDM II</p> Hitachi Advanced Data Binder |
| 日立ストレージ  |
| <p>Pentaho</p> ソフトウェア                          |
| <p>デジタルトランスフォーメーション</p>                        |
| IT活用   |
| <p>イノベーション</p>                                 |
| <p>IoT/AI/Lumada</p>                           |
| ビッグデータ   |
| <p>データ分析</p> サイバーセキュリティ                        |
| <p>クラウド/サーバ仮想化</p>                             |
| ITサービスマネジメント                                   |
| <p>システム基盤</p> オープンソースソフトウェア(OSS)               |
| Linux  |
| Microsoft                                      |
| ネットワーク   |
| <p>セキュリティ</p> データベース                           |
| <p>IT戦略・IS企画/システム設計</p>                        |
| IT戦略・IS企画                                      |
| システム設計   |
| <p>アプリケーション開発</p> Webアプリケーション                  |
| <p>スマートデバイス</p> オブジェクト指向/UML                   |
| 言語   |
| IT基本   |
| IT基本   |
| ハードウェア   |
| 情報処理資格   |
| 情報リテラシ   |
| プロジェクトマネジメント                                   |
| コンプライアンス                                       |
| ビジネス/ヒューマン                                     |
| グローバル  |

|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 活用                          |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービス マネジメント                 |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT基本                           |
| IT基本                           |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

| SCE704 セキュリティ技術   |
|---|
|  <b>&lt;eラーニング&gt;【ナビ機能付き】データベースセキュリティ概説</b><br>平均4時間  |
| データベース管理システムの構築、運用において発生するセキュリティ脅威、対策および具体的なデータベースセキュリティ機能を学習します。   |
| <b>到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユーザ認証やユーザ管理、アクセス制御方法が説明できる。</li> <li>・ネットワーク経由でデータベースアクセスする際に必要となるセキュリティ技術が説明できる。</li> <li>・データベースへのアクセス監視が必要となる考え方が説明できる。</li> </ul>   |
| <b>対象者</b> 情報システムを運営・管理する方。   |
| <b>前提知識</b> 【【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎要素技術(暗号、認証)編-】eラーニングコースおよび【データベース入門-解説と操作体験-】コース、または【【ナビ機能付き】データベース基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。   |
| <b>内容</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. データベースセキュリティ概要</li> <li>2. ユーザ認証とユーザ管理</li> <li>3. アクセス制御</li> <li>4. セキュリティ監査</li> <li>5. データ暗号化</li> <li>6. SQLインジェクション対策</li> <li>7. 修了試験</li> </ol>   |
| <b>備考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終了日は9月30日になります。</li> <li>・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)</li> <li>・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li> </ul> |







| SCE101 セキュリティ技術   |
|---|
|  <b>&lt;eラーニング&gt;IPsecによるVPN構築</b><br>平均3時間   |
| IPsecを利用したVPN構築方法について学習します。   |
| <b>到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・VPNの概要やメリットが説明できる。</li> <li>・IPsecの仕組みが説明できる。</li> </ul>  |
| <b>対象者</b> 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理/構築する方。   |
| <b>前提知識</b> 【【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎要素技術(暗号、認証)編-】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。   |
| <b>内容</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. VPN概要                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) VPNを実現する技術</li> <li>(2) VPNの接続形態</li> <li>(3) VPNプロトコル</li> </ol> </li> <li>2. IPsec解説                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) IPsecの概要</li> <li>(2) セキュリティアソシエーション(SA)とパラメータ</li> <li>(3) SA管理と鍵管理</li> </ol> </li> <li>3. 修了試験</li> </ol> |
| <b>備考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終了日は9月30日になります。</li> <li>・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)</li> <li>・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li> </ul>   |

| SCJ037 セキュリティ技術   |
|---|
|  <b>インターネットにおける電子認証技術 -PKI-</b><br>1日間  |
| このコースでは、マイナンバー制度などの公共情報システムやインターネット上の電子商取引において、取引相手やデータの信頼性・安全性を確保するために不可欠な電子認証技術であるPKI(Public Key Infrastructure)の概要を学習します。  |
| <b>到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PKIとは何か、機能や役割の概要を説明できる。</li> <li>・PKIの構成要素である、電子署名、電子証明書、暗号化の仕組みや技術の概念を説明できる。</li> <li>・情報システムにおいてPKIがどのように利用されているかについて説明できる。</li> </ul>        |
| <b>対象者</b> 情報システムを運営・管理する方、電子商取引システムを構築する方。   |
| <b>前提知識</b> 【【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎要素技術(暗号、認証)編-】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。   |
| <b>内容</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. PKIの概要</li> <li>2. 暗号技術と電子署名</li> <li>3. 認証局と電子証明書</li> <li>4. PKIによる電子認証のしくみ</li> <li>5. PKIの活用</li> <li>6. 電子認証関連法規と公共機関におけるPKIの利用</li> </ol> |
| <b>備考</b> このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。   |

| SCD001 セキュリティ技術   |
|---|
|  <b>CEH (Certified Ethical Hacker)</b><br>5日間  |
| ・最新のセキュリティ脅威、高度の攻撃ベクトルと、最新のハッキングの技術、手法、ツール、巧みな技、情報セキュリティ対策のリアルタイムでの実演/実用に重点を置いた、エシカル・ハッキング/情報システム・セキュリティ監査の統合型プログラムを学習します。<br>・18のモジュールから、最新のセキュリティ脅威、ハッキング技術を構造的に学習します。  |
| <b>到達目標</b> 最新のセキュリティ脅威、ハッキング技術を構造的に理解できる。  |
| <b>対象者</b> 情報セキュリティの責任者/監査人/専門家、サイト管理者の方。   |
| <b>前提知識</b> 「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎II-TCP/IPの仕組み-】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。   |
| <b>内容</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. エシカル・ハッキング概論</li> <li>2. フットプリンティングおよび偵察</li> <li>3. ネットワークのスキャン</li> <li>4. 列挙</li> <li>5. システムのハッキング</li> <li>6. マルウェアの脅威</li> <li>7. スニッフィング</li> <li>8. ソーシャル・エンジニアリング</li> <li>9. サービス妨害攻撃(DoS攻撃)</li> <li>10. セッション・ハイジャック</li> <li>11. Webサーバのハッキング</li> <li>12. Webアプリケーションのハッキング</li> <li>13. SQLインジェクション</li> <li>14. 無線ネットワークのハッキング</li> <li>15. モバイル・プラットフォームのハッキング</li> <li>16. IDS、ファイアウォール、ハニーポットの回避</li> <li>17. クラウド・コンピューティング</li> <li>18. 暗号化</li> </ol> |
| <b>備考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このコースは、10:00~18:00の開催とさせていただきます。</li> <li>・このコースは、EC-Councilの認定コースです。</li> <li>・このコースは、グローバルセキュリティエキスパート(株)(GSX社)との提携コースのため、GSX社の研修会場にて開催いたします。</li> <li>・開始日10営業日前を過ぎでのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。</li> <li>・受講料の中に受験料(1回分)が含まれています。受験は後日となります。申込み方法等は研修中に説明があります。</li> <li>・コースの受講登録には、会社名、氏名(漢字およびローマ字)、E-mailアドレスが必要です。これらの登録情報は、GSX社に提供いたします。</li> <li>・開催にあたっては、最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。</li> </ul>  |

| SCD001 セキュリティ技術   |
|---|
|  <b>CEH (Certified Ethical Hacker)</b><br>5日間  |
| ・最新のセキュリティ脅威、高度の攻撃ベクトルと、最新のハッキングの技術、手法、ツール、巧みな技、情報セキュリティ対策のリアルタイムでの実演/実用に重点を置いた、エシカル・ハッキング/情報システム・セキュリティ監査の統合型プログラムを学習します。<br>・18のモジュールから、最新のセキュリティ脅威、ハッキング技術を構造的に学習します。  |
| <b>到達目標</b> 最新のセキュリティ脅威、ハッキング技術を構造的に理解できる。  |
| <b>対象者</b> 情報セキュリティの責任者/監査人/専門家、サイト管理者の方。   |
| <b>前提知識</b> 「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎II-TCP/IPの仕組み-】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。   |
| <b>内容</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. エシカル・ハッキング概論</li> <li>2. フットプリンティングおよび偵察</li> <li>3. ネットワークのスキャン</li> <li>4. 列挙</li> <li>5. システムのハッキング</li> <li>6. マルウェアの脅威</li> <li>7. スニッフィング</li> <li>8. ソーシャル・エンジニアリング</li> <li>9. サービス妨害攻撃(DoS攻撃)</li> <li>10. セッション・ハイジャック</li> <li>11. Webサーバのハッキング</li> <li>12. Webアプリケーションのハッキング</li> <li>13. SQLインジェクション</li> <li>14. 無線ネットワークのハッキング</li> <li>15. モバイル・プラットフォームのハッキング</li> <li>16. IDS、ファイアウォール、ハニーポットの回避</li> <li>17. クラウド・コンピューティング</li> <li>18. 暗号化</li> </ol> |
| <b>備考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このコースは、10:00~18:00の開催とさせていただきます。</li> <li>・このコースは、EC-Councilの認定コースです。</li> <li>・このコースは、グローバルセキュリティエキスパート(株)(GSX社)との提携コースのため、GSX社の研修会場にて開催いたします。</li> <li>・開始日10営業日前を過ぎでのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。</li> <li>・受講料の中に受験料(1回分)が含まれています。受験は後日となります。申込み方法等は研修中に説明があります。</li> <li>・コースの受講登録には、会社名、氏名(漢字およびローマ字)、E-mailアドレスが必要です。これらの登録情報は、GSX社に提供いたします。</li> <li>・開催にあたっては、最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。</li> </ul>  |

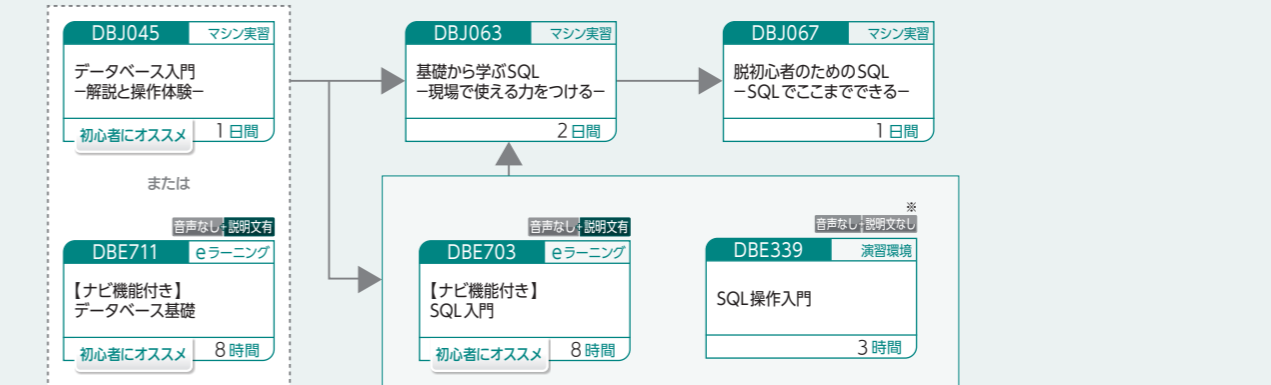
| SCD001 セキュリティ技術   |
|---|
|  <b>CEH (Certified Ethical Hacker)</b><br>5日間   |
| ・最新のセキュリティ脅威、高度の攻撃ベクトルと、最新のハッキングの技術、手法、ツール、巧みな技、情報セキュリティ対策のリアルタイムでの実演/実用に重点を置いた、エシカル・ハッキング/情報システム・セキュリティ監査の統合型プログラムを学習します。<br>・18のモジュールから、最新のセキュリティ脅威、ハッキング技術を構造的に学習します。  |
| <b>到達目標</b> 最新のセキュリティ脅威、ハッキング技術を構造的に理解できる。  |
| <b>対象者</b> 情報セキュリティの責任者/監査人/専門家、サイト管理者の方。   |
| <b>前提知識</b> 「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎II-TCP/IPの仕組み-】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。   |
| <b>内容</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. エシカル・ハッキング概論</li> <li>2. フットプリンティングおよび偵察</li> <li>3. ネットワークのスキャン</li> <li>4. 列挙</li> <li>5. システムのハッキング</li> <li>6. マルウェアの脅威</li> <li>7. スニッフィング</li> <li>8. ソーシャル・エンジニアリング</li> <li>9. サービス妨害攻撃(DoS攻撃)</li> <li>10. セッション・ハイジャック</li> <li>11. Webサーバのハッキング</li> <li>12. Webアプリケーションのハッキング</li> <li>13. SQLインジェクション</li> <li>14. 無線ネットワークのハッキング</li> <li>15. モバイル・プラットフォームのハッキング</li> <li>16. IDS、ファイアウォール、ハニーポットの回避</li> <li>17. クラウド・コンピューティング</li> <li>18. 暗号化</li> </ol> |
| <b>備考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このコースは、10:00~18:00の開催とさせていただきます。</li> <li>・このコースは、EC-Councilの認定コースです。</li> <li>・このコースは、グローバルセキュリティエキスパート(株)(GSX社)との提携コースのため、GSX社の研修会場にて開催いたします。</li> <li>・開始日10営業日前を過ぎでのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。</li> <li>・受講料の中に受験料(1回分)が含まれています。受験は後日となります。申込み方法等は研修中に説明があります。</li> <li>・コースの受講登録には、会社名、氏名(漢字およびローマ字)、E-mailアドレスが必要です。これらの登録情報は、GSX社に提供いたします。</li> <li>・開催にあたっては、最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。</li> </ul>  |

|   |  |   |   |   |  |
|---|--|---|---|---|--|
|  マシン実習<br>マシンを使用した研修 |  グループ演習<br>グループ演習を中心とした研修 |  レクチャ<br>座学による研修 |  演習環境<br>職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習 |  研修室自習型<br>研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 |  eラーニング<br>インターネット接続による自己学習 |
|---|--|---|---|---|--|

# データベース

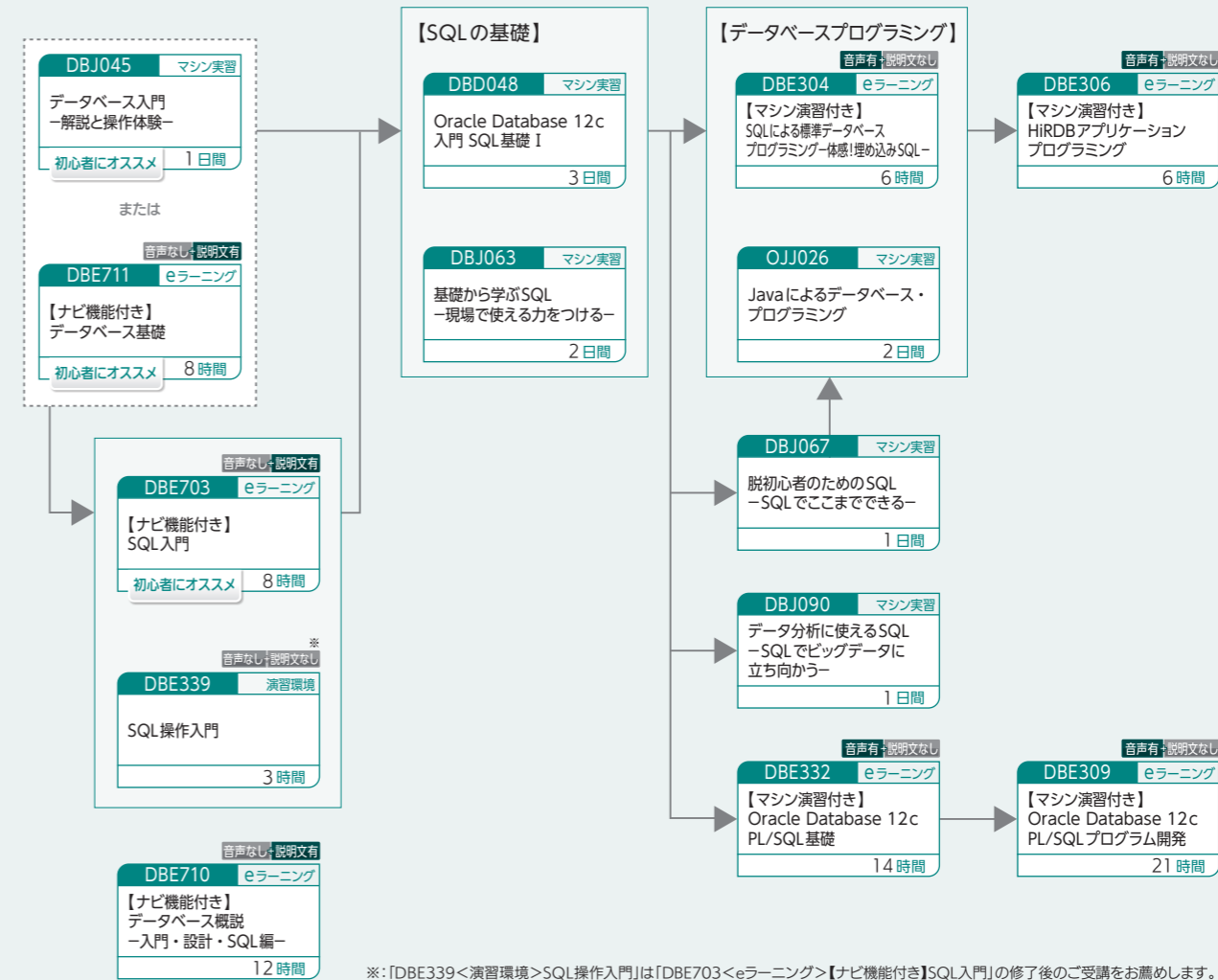
データベースの概念を理解し、データベースシステムを構築するための技術が修得できます。

## ● データベースを利用する方




※:「DBE339<演習環境>SQL操作入門」は「DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門」の修了後のご受講をお勧めします。

## ● データベースを利用したアプリケーションを開発する方

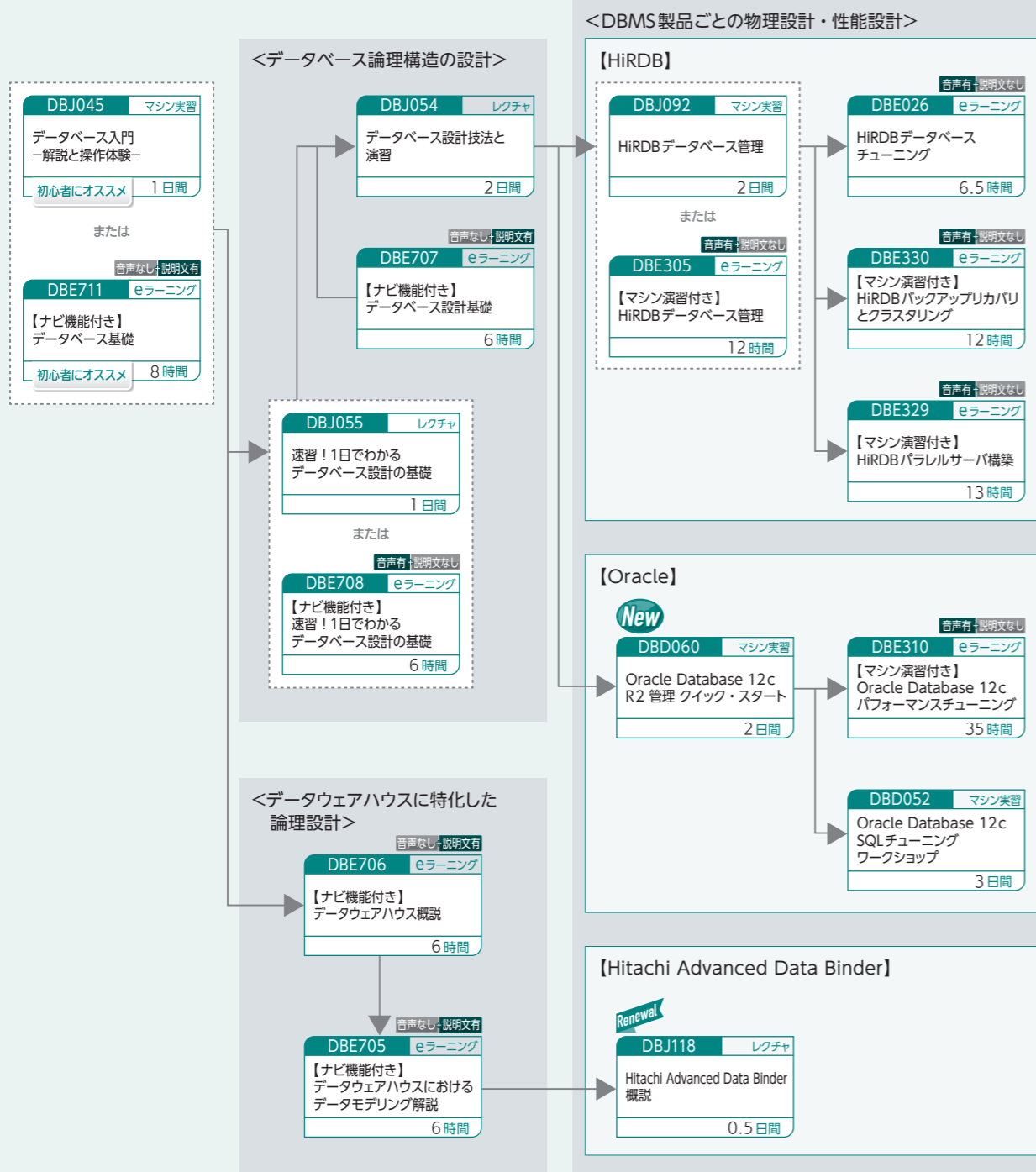


※:「DBE339<演習環境>SQL操作入門」は「DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門」の修了後のご受講をお勧めします。

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
|  自習テキスト<br>自習書による自己学習 |  休講<br>休講 |  休講<br>休講 | コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <a href="https://www.hitachi-ia.co.jp/">https://www.hitachi-ia.co.jp/</a> |
|--|--|--|--|

|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 活用                          |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービス マネジメント                 |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT基本                           |
| IT基本                           |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

データベースを設計する方



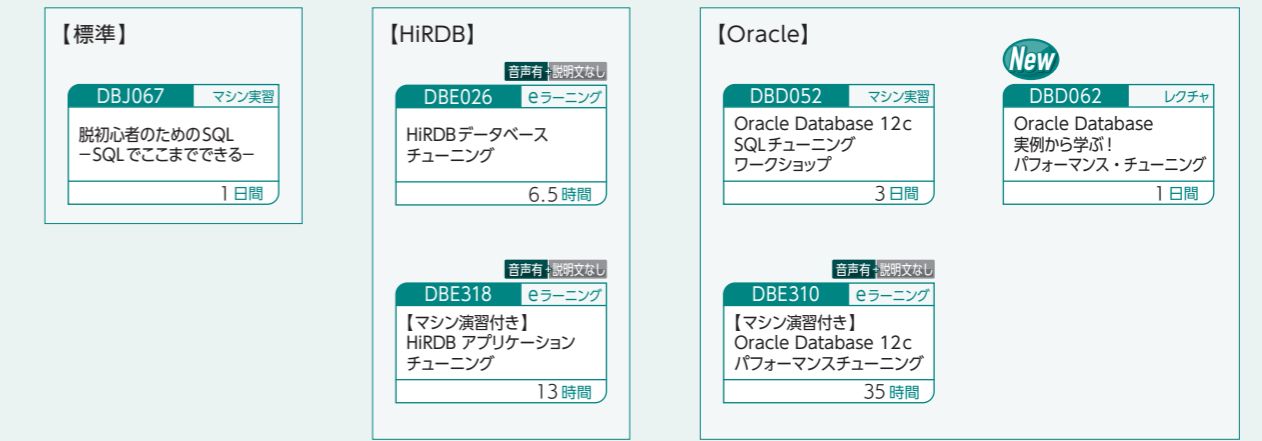
**音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

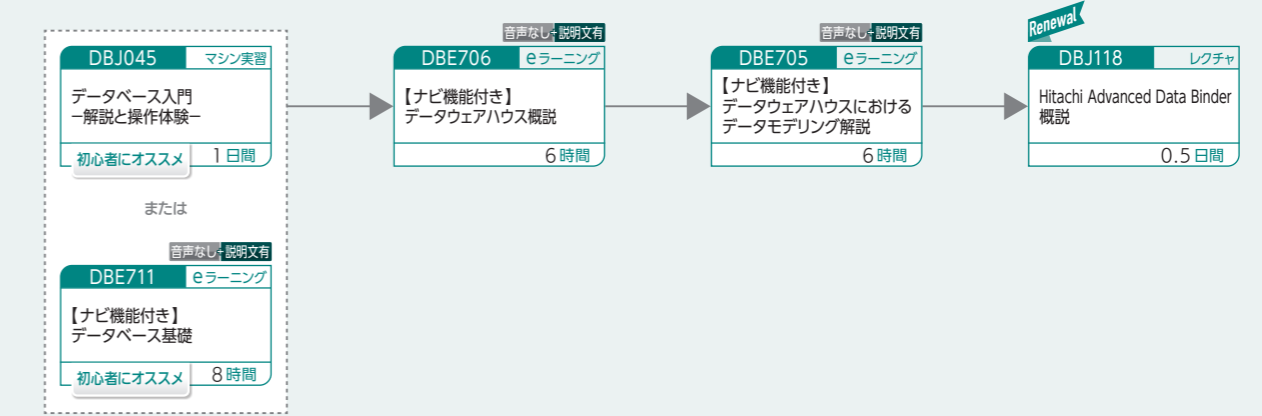
**音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におすすめ** : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

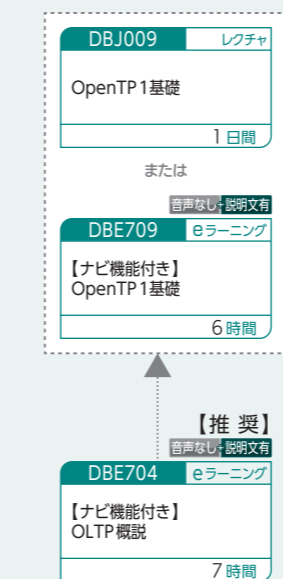
データベースのチューニング方法を修得したい方



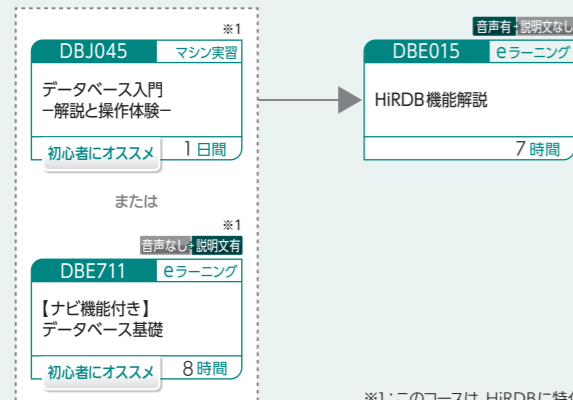
データウェアハウスに特化した論理設計を修得したい方



オンライントランザクション処理 (OLTP) やTPモニターの概要を修得したい方

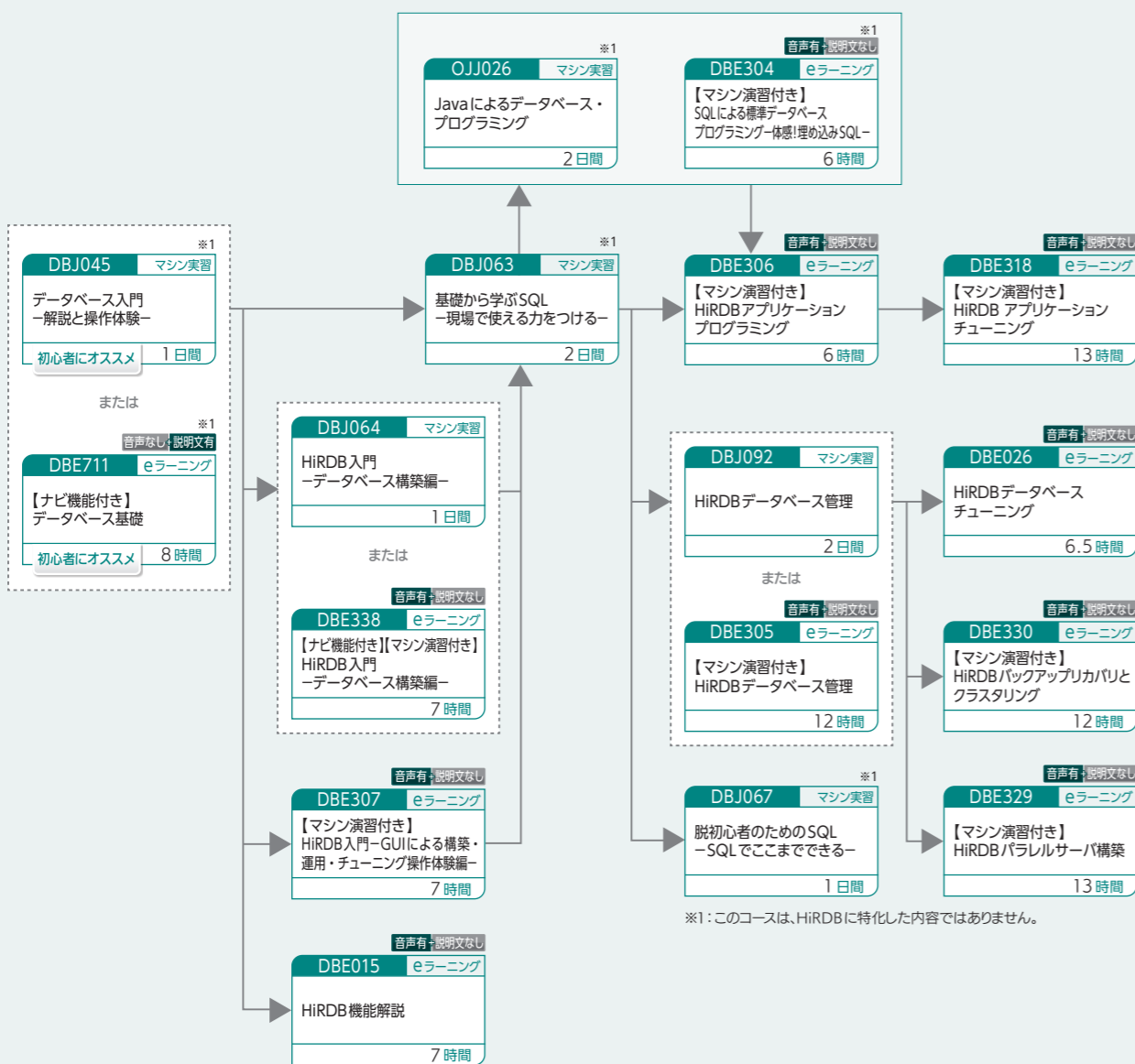


● HiRDBの概要を修得したい方



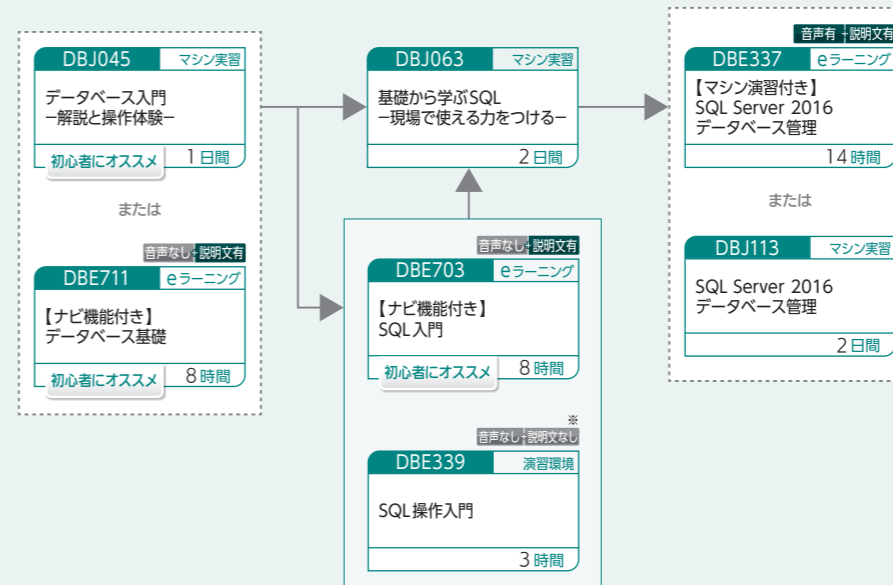
※1: このコースは、HiRDBに特化した内容ではありません。

● HiRDBを使用してデータベースを構築・運用・アプリケーションプログラム開発をする方



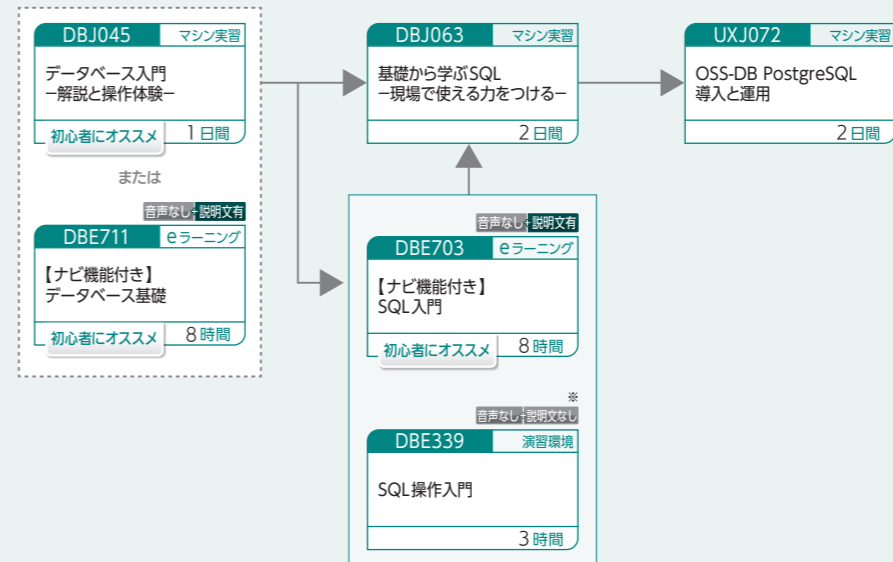
※1: このコースは、HiRDBに特化した内容ではありません。

● SQL Server 2016 を使用してデータベースを管理・運用する方



※: 「DBE339<演習環境>SQL操作入門」は「DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門」の修了後のご受講をお勧めします。

● PostgreSQL を使用してデータベースを管理・運用する方



※: 「DBE339<演習環境>SQL操作入門」は「DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門」の修了後のご受講をお勧めします。

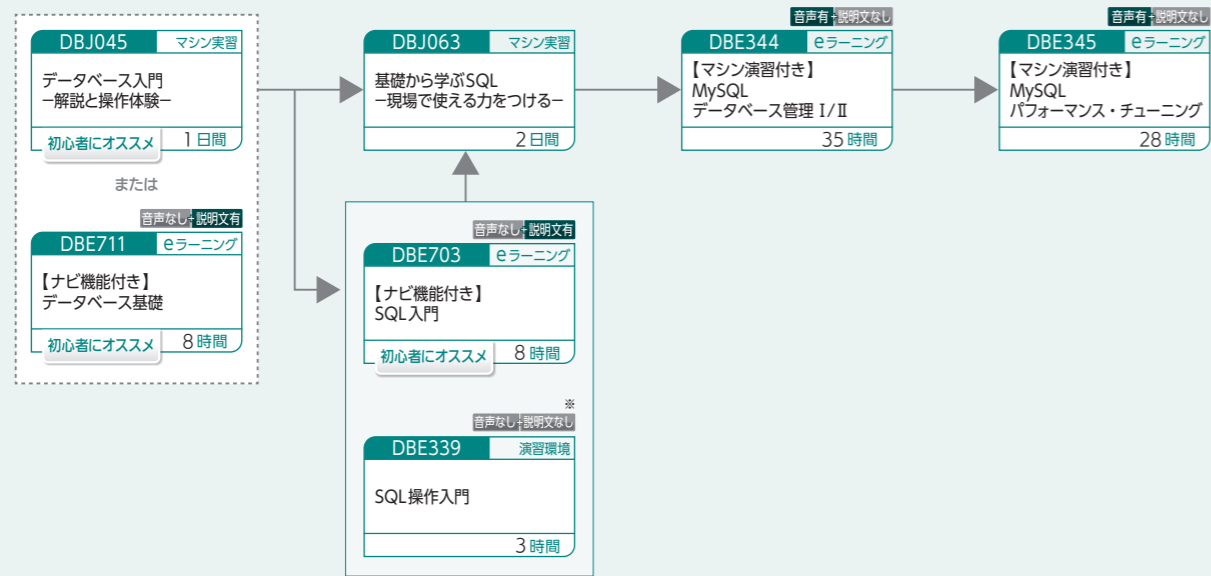
音声有+説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

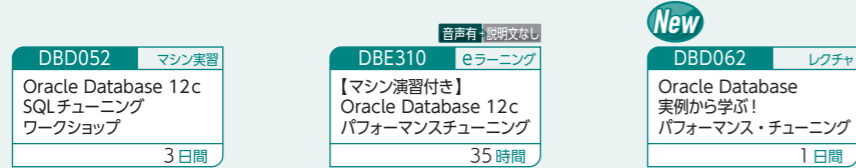
初心者にオススメ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

MySQL を使用してデータベースを管理・運用する方

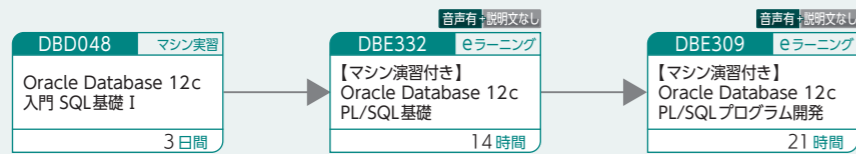


※: [DBE339<演習環境>SQL操作入門]は[DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門]の修了後のご受講をお薦めします。

Oracleのチューニング方法を修得したい方



Oracleを使用してPL/SQLによるアプリケーションを開発する方



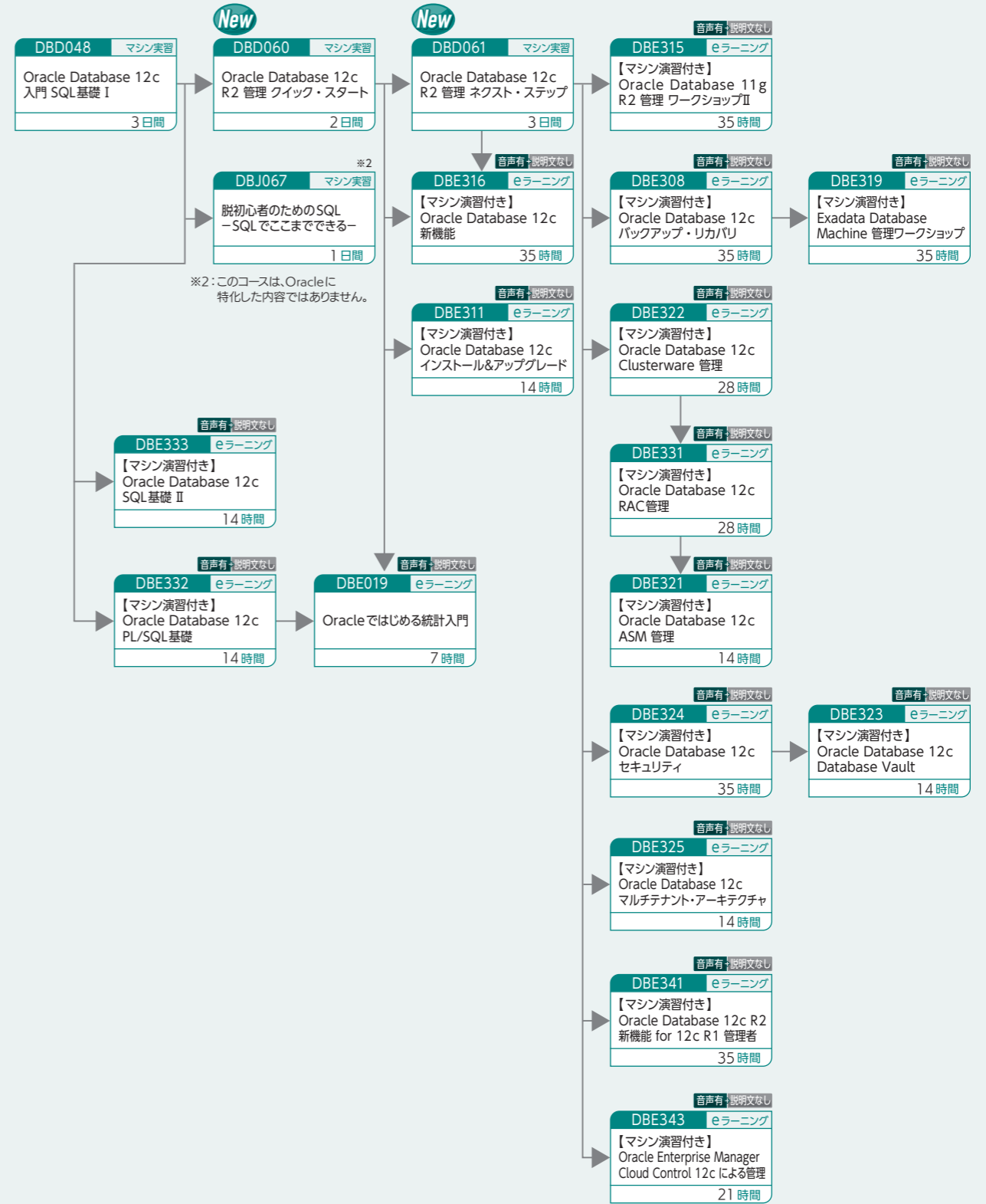
音声有・説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

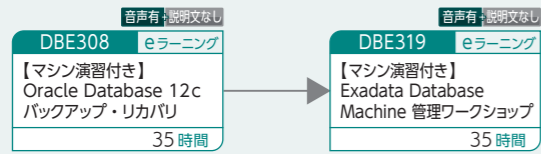
初心者におすすめ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

Oracleを使用してデータベースを設計・運用する方

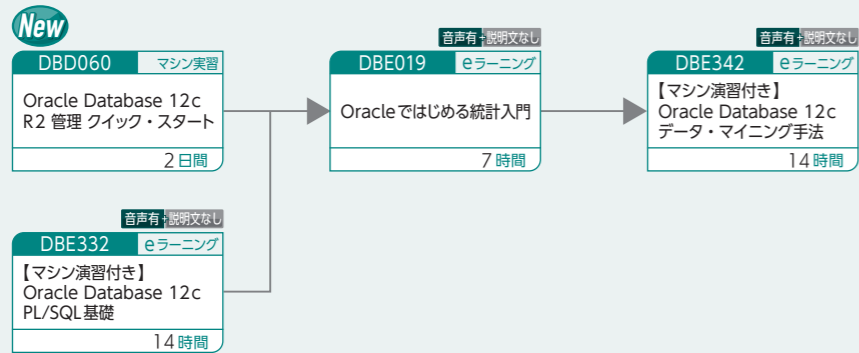


※2: このコースは、Oracleに特化した内容ではありません。

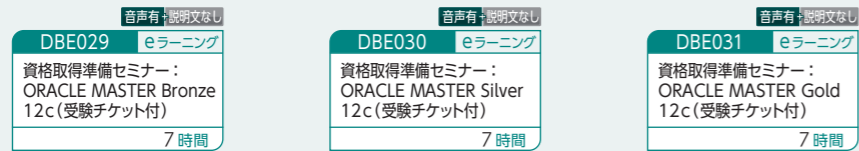
● Oracle Exadataを使用してデータベースを管理・運用する方



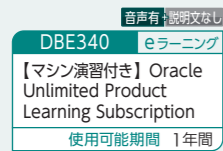
● Oracleを使用してデータ分析をする方



● ORACLE MASTER 資格取得をめざされている方



● Oracle全般の技術を修得したい方



**音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。  
**音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。  
**音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におススメ** : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 オラクル認定技術者制度

オラクル認定技術者制度とは、日本オラクル社が世界で高い評価を受けているOracle製品に関する技術者を認定する制度です。認定を受けるためには、日本オラクル社の試験に合格する必要がある、合格した試験科目の組み合わせにより認定技術資格を取得できます。

詳しくは、日立インフォメーションアカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/license/oramas/index.html>



**DBJ045** 共通

**データベース入門**  
-解説と操作体験-

1日間

データベースの基礎知識やDBMSの基本機能、SQLによるデータ操作方法を、マシン実習を通して学習します。

**到達目標**

- データベースとデータモデルを理解し説明できる。
- DBMSの基本機能を理解し説明できる。
- 基本的なSQLを発行しリレーショナルデータベースを操作できる。

**対象者** データベースにアクセスするアプリケーションを開発する方、データベースを管理・運用する方。

**前提知識** 特に必要としません。

**内容**

- データベースとデータモデル
- DBMSの基本機能
  - データ独立性
  - データの機密保護
  - トランザクション
  - 同時実行制御
  - 整合性制約
  - 障害回復
  - インデックス
- SQL概要
  - リレーショナルデータベースの基本操作
  - SQLの種類
  - SQL構文

**備考**

- このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。

**DBE711** 共通

**<eラーニング>【ナビ機能付き】**  
**データベース基礎**

平均8時間

データベースの基礎やDBMSの基本機能を学習します。

**到達目標**

- データベースとデータモデルを理解し説明できる。
- DBMSの基本機能を理解し説明できる。

**対象者** データベースにアクセスするアプリケーションを開発する方、データベースを管理、運用する方。

**前提知識** 特に必要としません。

**内容**

- データベースの概念
- DBMS基本機能
- データモデル
- データベース設計
- 修了試験

**備考**

- 終了日は9月30日になります。
- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**DBJ063** 共通

**基礎から学ぶSQL**  
-現場で使える力をつける-

2日間

リレーショナルデータベースを操作するためのSQL、トランザクションを制御するためのSQL、オブジェクトを作成するためのSQLの文法と機能を学習します。

**到達目標**

- リレーショナルデータベースの表の検索ができる。
- リレーショナルデータベースに行の追加、削除、値の更新ができる。
- SQLを用いてトランザクションの制御ができる。
- リレーショナルデータベース上にオブジェクトの作成ができる。

**対象者** SQLの知識を必要とする方。

**前提知識** 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

- リレーショナルデータベースとSQLの概要
- SQLによるデータ検索
  - 全件検索
  - 探索条件
  - 結合
  - 集合関数
  - グループ化
  - 並び替え
  - 集合演算
  - 副問合せ
- SQLによるデータ追加/更新/削除
- SQLによるトランザクションの制御
- SQLによるデータ定義
  - 表の定義
  - ビューの定義
  - インデックスの定義

**備考**

- このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- このコースでは、ISO標準のSQL文法を解説します。
- 演習ではPostgreSQLを用いますが、学習内容はいかなる製品でも使用可能です。

**DBE703** 共通

**<eラーニング>【ナビ機能付き】**  
**SQL入門**

平均8時間

リレーショナルデータベースを操作するためのSQLの基礎を学習します。

**到達目標**

- データ操作をするSQLについて、基本的な機能と文法を理解し説明できる。
- データ定義をするSQLについて、基本的な機能と文法を理解し説明できる。
- トランザクション制御をするSQLについて、基本的な機能と文法を理解し説明できる。

**対象者** リレーショナルデータベースを管理・運用する方、リレーショナルデータベースのアプリケーションを開発する方。

**前提知識** リレーショナルデータベースの基礎知識があること。

**内容**

- リレーショナルデータベースとSQL
  - 検索処理
  - 追加処理
  - 更新処理
  - 削除処理
- データ操作文 (DML)
  - 表の定義
  - 参照制約
  - ビュー表
- データ定義文 (DDL)
  - テーブルの作成
  - 領域配置図の作成
- データ制御文 (DCL)
  - データの確定
  - データの取り消し
- 修了試験

**備考**

- 終了日は9月30日になります。
- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**DBE339** 共通

**<演習環境>SQL操作入門**

平均3時間

基本的なSQL文の構築や実行方法を、マシン操作を通して学習します。このコースは、クラウド上に演習環境をセットアップしたマシンと、演習題材を利用できるマシン演習環境サービスです。

**到達目標** SQLによる基本的なデータ操作ができる。

**対象者** 基本的なSQL文の構築や実行方法を、マシン操作を通して学習したい方。

**前提知識** 「【ナビ機能付き】SQL入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

- SQL実行環境
- SQL実行演習

**備考**

- サービス有効期限は21日間です。
- このコースは、演習問題と、それに必要なデータ、マシン環境が利用できるマシン演習環境サービスです。
- このコースの学習要領・学習利用環境をご確認のうえ、お申し込みください。  
<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/mc/index.html>
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

**DBJ055** 共通

**速習!1日でわかる**  
**データベース設計の基礎**

1日間

具体的な業務を想定しながら、リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に必要な基礎知識を、机上演習を通して学習します。

**到達目標** リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に関する基礎的な手法を理解し説明できる。

**対象者** リレーショナルデータベースの設計に関する知識を必要とする方。

**前提知識** 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

- データベース設計の概要
- ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計
  - ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計の流れ
  - 正規化
  - ER図の作成
  - 確認作業-トップダウンアプローチの観点からの確認-
- データベース物理設計
  - テーブル関連図とテーブル定義書の作成
  - 領域配置図の作成
- データベース性能設計
  - インデックス設計

**備考** このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

**DBE710** 共通

**<eラーニング>【ナビ機能付き】**  
**データベース概説**  
**―入門・設計・SQL編―**  
平均12時間

データベースの入門として、データベース分野全般の概要を学習します。さらに、データベース設計、およびSQLを用いたデータベース操作について、具体的な例を用いて学習します。

**到達目標**

- データベース全般の基礎的な知識・技術について理解ができる。
- ニーズに応じたデータベースを適切に設計し、構築したデータベース上でデータを操作できる。

**対象者**

データベースのデータを活用するにあたり、データベース分野全般の基礎知識について効率よく学習したい方。

**前提知識**

特に必要としません。

**内容**

- データベースの基礎知識
- データベース設計
- SQLの操作法
- 修了試験

**備考**

- 終了日は9月30日になります。
- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**DBE708** 共通

**<eラーニング>【ナビ機能付き】**  
**速習!1日でわかる**  
**データベース設計の基礎**  
平均6時間

具体的な業務を想定しながら、リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に必要な基礎知識を、机上演習を通して学習します。

**到達目標**

リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に関する基礎的な手法を理解し説明できる。

**対象者**

リレーショナルデータベースの設計に関する知識を必要とする方。

**前提知識**

「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または【【ナビ機能付き】データベース基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

- データベース設計の概要
- ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計
  - ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計の流れ
  - 正規化
  - ER図の作成
  - 確認作業-トップダウンアプローチの観点からの確認-
- データベース物理設計
  - テーブル関連図とテーブル定義書の作成
  - 領域配置図の作成
- データベース性能設計
  - インデックス設計
- 修了試験

**備考**

- 終了日は9月30日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**DBJ054** 共通

**データベース設計技法と演習**  
2日間

演習を通し、データベース論理構造の適切な設計手順について学習します。

**到達目標**

- データベース設計技法について理解し説明できる。
- データベースの論理構造の設計ができる。

**対象者**

データベースシステムの設計・構築をする方、または予定している方。

**前提知識**

「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または【【ナビ機能付き】データベース基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

- データモデル
  - データモデルとは
  - ERモデル
  - リレーショナルモデル
- 正規化
  - 正規化のねらい
  - 正規化理論の前提知識
  - 正規化手順
- 論理構造の設計手順
  - 論理構造の設計手順概要
  - トップダウンアプローチ例題
  - ボトムアップアプローチ例題
- RDBMSへの実装および性能を考慮した変形操作
  - RDBMSへ実装可能な形式への変形
  - 非正規化

**備考**

このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

**DBE707** 共通

**<eラーニング>【ナビ機能付き】**  
**データベース設計基礎**  
平均6時間

データベース設計手順についての基礎理論を、e-ラーニングでの演習を通して学習します。

**到達目標**

- 基本的なデータベース設計手順を理解し説明できる。
- 設計手順に基づいて、簡単なデータベース設計ができる。

**対象者**

リレーショナルデータベースの設計の知識を必要とする方。

**前提知識**

「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または【【ナビ機能付き】データベース基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

- データベース設計概要
- ERモデルとER図
- 正規化
- ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計例題
- トップダウンアプローチによるデータベース論理設計例題
- 修了試験

**備考**

- 終了日は9月30日になります。
- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**DBE304** 共通

**<eラーニング>【マシン演習付き】**  
**SQLによる標準データベースプログラミング**  
**―体感!理め込みSQL―**  
平均6時間

理め込みSQLによるアプリケーションを開発するための基礎知識について、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

**到達目標**

理め込みSQLを用いてデータベースにアクセスするプログラムを開発できる。

**対象者**

理め込みSQLを用いてDBMSにアクセスするアプリケーションを開発する方。

**前提知識**

SQL、RDBMSの基礎知識があり、かつC言語の基本的な文法に関する知識があること。

**内容**

- SQLの基礎
- 理め込みSQLを用いたAP作成
- 修了試験

**備考**

- サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。  
https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf
- 操作演習用テキストは、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、旧「演習で学ぶ理め込みSQLプログラミング」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**DBJ067** 共通

**脱初心者のためのSQL**  
**―SQLでここまでできる―**  
1日間

ショッピングサイトを題材にして、システムに実装済みのSQL文を、性能、可読性、保守性の観点から改善することにより、CASE式や自己結合といった、高度なSQL文の使いどころを学習します。

**到達目標**

- EXISTS述語の使用方法を理解し説明できる。
- NOT EXISTS述語の使用方法を理解し説明できる。
- 相関副問合せの使用方法を理解し説明できる。
- 自己結合の使用方法を理解し説明できる。
- CASE式の使用方法を理解し説明できる。

**対象者**

高度なSQL文の知識を修得したい方。

**前提知識**

「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

- 演習環境概要
- 高度なSQL文
  - EXISTS述語を使用した存在チェック
  - 相関副問合せを使用したランキング表示
  - 分析関数を使用したランキング表示
  - CASE式を使用したSELECT句での条件分岐
  - 自己結合を使用した組み合わせ表示
  - NOT EXISTS述語と相関副問合せを使用した更新処理

**備考**

- このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。
- 演習ではPostgreSQLを用いますが、学習内容はいかなる製品でも使用可能です。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

**マシン演習**  
マシンを使用しながらの研修

**グループ演習**  
グループ演習を中心とした研修

**レクチャ**  
座学による研修

**演習環境**  
職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習

**研修室自習型**  
研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習

**eラーニング**  
インターネット接続による自己学習

**自己テキスト**  
自習書による自己学習

**休講**  
休講

**休講**  
休講

休講 今期の定期開催はありません

**DBJ090** 共通

**データ分析に使えるSQL**  
**―SQLでビッグデータに立ち向かう―**  
1日間

高度なSQL文やSQL分析関数を使用して、データベースに格納されたデータを分析する手法を、マシン実習を通して学習します。

**到達目標**

- SQLによるデータ分析の概要を説明できる。
- 高度なSQL文・SQL分析関数の文法を理解し説明できる。
- 高度なSQL文・SQL分析関数を利用したデータ集計・分析を理解し説明できる。

**対象者**

SQLを用いたデータ分析手法を修得したい方。

**前提知識**

「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

- データ分析概要
- 高度なSQL文
  - CASE式
  - 相関副問合せ
- SQL分析関数
  - ウィンドウ関数
  - レポート関数
  - LAG/LEAD関数
  - 中間データの加工-副問合せと共通表式(WITH句)-

**備考**

- このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

**DBE704** 共通

**<eラーニング>【ナビ機能付き】**  
**OLTP概説**  
平均14時間

OLTP(オンライントランザクション処理)の基本的な概念や機能、および分散トランザクションシステムを実現するために必要なソフトウェアとAPIを規定した、DTPモデルについて学習します。

**到達目標**

- トランザクションのACID特性について理解し、説明できる。
- さまざまなOLTPシステム構成について理解し、説明できる。
- DTPモデルの各種ソフトウェアの役割とAPIについて理解し、説明できる。
- 分散トランザクションやDTPモデルの知識を必要とする方。

**対象者**

- オンライントランザクションシステムを構築する方。
- 分散トランザクションやDTPモデルの知識を必要とする方。

**前提知識**

特に必要としません。

**内容**

- トランザクション処理とは
- トランザクション処理の変遷
- OLTPの特徴
- OLTPのシステム要件
- OLTPのシステム構成
- The Open Group DTPモデル
- OLTPシステムの基本機能
- 修了試験

**備考**

- 終了日は9月30日になります。
- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**DBE337** SQL Server

**<eラーニング>【マシン演習付き】**  
**SQL Server 2016**  
**データベース管理**  
平均14時間

SQL Serverのデータベースとしての基本機能、およびSQL Serverを用いたデータベースシステムの構築方法について学習します。

**到達目標**

- SQL Serverのデータベース機能を理解し説明できる。
- SQL Serverを用いたデータベースシステムを構築できる。
- SQL Serverのデータベースの障害から回復できる。
- SQL Serverを管理する方。
- アプリケーション開発者としてSQL Serverの基本的な知識を必要とする方。

**前提知識**

「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または【【ナビ機能付き】データベース基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

- SQL Server 2016概要
- インストールと環境設定
- データベースファイルの管理
- データベースコンポーネントの管理
- ユーザーの管理
- バックアップと障害回復

**備考**

- サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。  
https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf
- 操作演習用テキストは、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**DBJ113** SQL Server

**SQL Server 2016**  
**データベース管理**  
2日間

SQL Serverのデータベースとしての基本機能、およびSQL Serverを用いたデータベースシステムの構築方法について学習します。

**到達目標**

- SQL Serverのデータベース機能を理解し説明できる。
- SQL Serverを用いたデータベースシステムを構築できる。
- SQL Serverのデータベースの障害から回復できる。

**対象者**

- SQL Serverを管理する方。
- アプリケーション開発者としてSQL Serverの基本的な知識を必要とする方。

**前提知識**

「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

- SQL Server 2016概要
- インストールと環境設定
- データベースファイルの管理
- データベースコンポーネントの管理
- ユーザーの管理
- バックアップと障害回復

**備考**

このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

**DBE344** Oracle

**<eラーニング>【マシン演習付き】**  
**MySQL データベース管理 I/II**  
平均35時間

MySQLデータベース管理者および開発者向けの基礎となる内容について学習します。

**到達目標**

ユーザー権限の保護、リソースの制限事項とアクセス制御の設定、およびバックアップとリカバリ、の基礎、ストアド・プロシージャ、トリガーおよびビューの作成および使用方法について修得できる。

**対象者**

MySQLの知識修得をされた方。

**前提知識**

「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

- 概要
- MySQLアーキテクチャ
- システム管理
- サーバ構成
- クライアントおよびツール
- データ型
- データの取得
- トランザクションおよびロック
- InnoDBストレージ・エンジン
- 他のストレージ・エンジン
- パーティショニング
- ユーザー管理
- セキュリティ
- データの保護
- データのエクスポートおよびインポート
- MySQLでのプログラミング
- ビュー
- MySQLのバックアップおよびリカバリ
- リプケーションの概要
- パフォーマンス・チューニングの概要
- まとめ

**備考**

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習環境を必ずご確認ください。  
http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf
- このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。
- このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日以内の連続した6日間です。
- このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。
- このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日以内の連続した6日間です。
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**DBE345** Oracle

**<eラーニング>【マシン演習付き】**  
**MySQL パフォーマンス・チューニング**  
平均28時間

さまざまなツールを使用して、サーバ、データベース、およびクエリを構成、モニタリングおよびトラブルシューティングするためのベスト・プラクティスを学習します。

**到達目標**

MySQLツールを使用してアプリケーションの速度、効率および安全性を保つためのさまざまな構成オプション、モニタリング・ツールおよび技術の使用法を修得できる。

**対象者**

MySQLのパフォーマンスチューニングを担当される方。

**前提知識**

【【マシン演習付き】MySQL データベース管理 I/II】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

- 概要
- パフォーマンス・チューニングの概念
- パフォーマンス・チューニングのツール
- パフォーマンス・スキーマ
- メモリ、接続およびスレッド
- テーブル、ファイルおよびログ
- ステートメントのモニタリング、ソート・バッファおよびクエリ・キャッシュ
- InnoDB ストレージ・エンジン
- スキーマ設計およびパフォーマンス
- クエリの最適化
- パフォーマンス問題のトラブルシューティング
- アプリケーション環境に合わせたMySQLの最適化
- ハードウェアの最適化
- まとめ

**備考**

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。
- お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習環境を必ずご確認ください。  
http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf
- このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。
- このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日以内の連続した6日間です。
- このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。
- このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日以内の連続した6日間です。
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。





|                                |
|--------------------------------|
|                                |
| 日立製品                           |
| <span></span>                  |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
|                                |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS17/VOSK                |
| XDM/PDMⅡ                       |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/Al/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
|                                |
| IT サービス マネジメント                 |
|                                |
| <b>システム基盤</b>                  |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| <b>データベース</b>                  |
|                                |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT 戦略・IS 企画                    |
| システム設計                         |
|                                |
| アプリケーション 開発                    |
| Web アプリケーション                   |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT 基本                          |
| IT 基本                          |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
|                                |
| 情報リテラシ                         |
|                                |
| プロジェクト マネジメント                  |
|                                |
| コンプライアンス                       |
|                                |
| ビジネス/ヒューマン                     |
|                                |
| グローバル                          |

## データベース

| DBE311   | Oracle   |
|--|--|
| <div><div><div><div><span></span><div><div><span><span></span></span></div><div><div><span><b>データベース</b></span></div></div></div></div><div>受講コース</div></div></div></div> 平均14時間 | <b>&lt;eラーニング&gt;【マシン演習付き】 Oracle Database 12c インストール&amp;アップグレード</b>  |
| <span></span>  | Oracle Database 12c ソフトウェアのインストールの詳細や、既存の Oracle Database から Oracle Database 12c へのアップグレード方法を学習します。  |
| 到達目標   | <div> <ul style="list-style-type: none"><li>スタンドアロン・サーバー用の Oracle Grid Infrastructure のインストールができる。</li> <li>Oracle Restart を使用したコンポーネントの管理ができる。</li> <li>Oracle Database 12c へのアップグレードができる。</li></ul> </div>   |
| 対象者  | Oracle Databaseの管理やサポートを担当する方。   |
| 前提知識   | 「Oracle Database 12c 管理 クイック・スタート」コースを修了しているか、または同等の知識があること。   |
| 内 容  | 1. Oracle Database 12c 概要 2. スタンドアロン・サーバー用の Oracle Grid Infrastructure のインストール 3. Oracle Databaseソフトウェアのインストール 4. DBCA を使用した Oracle Database の作成 5. Oracle Restart の使用 6. Oracle Database 12c へのアップグレードの概要 7. Oracle Database 12c へのアップグレードの準備 8. Oracle Database 12c へのアップグレード 9. アップグレード後の作業の実行 10. Oracle Data Pump を使用したデータの移行 |
| 備考   | 右ページ右下※1をご参照ください。  |

| DBE322   | Oracle  |
|--|---|
| <div><div><div><div><span></span><div><div><span><span></span></span></div><div><div><span><b>データベース</b></span></div></div></div></div><div>受講コース</div></div></div></div> 平均28時間 | <b>&lt;eラーニング&gt;【マシン演習付き】 Oracle Database 12c Clusterware 管理</b>   |
| <span></span>  | 一般的なクラスタの概念と Oracle Clusterware のアーキテクチャについて学習します。  |
| 到達目標   | <div> <ul style="list-style-type: none"><li>Grid Infrastructure をインストールし、標準的なクラスタおよび Oracle Flex Cluster を構成できる。</li> <li>クラスタ内のノード管理について理解し、ポリシー・ベースのクラスタ管理を行うことができる。</li></ul> </div> |
| 対象者  | Oracle Database 12cを管理する方。  |
| 前提知識   | Clusterware、ASM および RAC を含む、Oracle Database 12cに関する十分な知識があること。  |
| 内 容  | 1. Oracle Clusterware のアーキテクチャ 2. Grid Infrastructure のインストール 3. クラスタ・ノードの管理 4. 従来 Clusterware の管理 5. ポリシーベースのクラスタ管理 6. Oracle Clusterware のトラブルシューティング 7. アプリケーションの高可用性                |
| 備考   | 右ページ右下※1をご参照ください。   |

| DBE315   | Oracle   |
|--|--|
| <div><div><div><div><span></span><div><div><span><span></span></span></div><div><div><span><b>データベース</b></span></div></div></div></div><div>受講コース</div></div></div></div> 平均35時間 | <b>&lt;eラーニング&gt;【マシン演習付き】 Oracle Database 11g R2 管理 ワークショップⅡ</b>  |
| <span></span>  | バックアップ・リカバリのアーキテクチャおよびテクニックや、メモリーを効果的に管理する方法、パフォーマンスの評価およびチューニング・タスクを行う方法について学習します。  |
| 到達目標   | <div> <ul style="list-style-type: none"><li>Recovery Managerを使用したDBのBackUpおよびリカバリができる。</li> <li>最適なリカバリのためのOracle Databaseの構成ができる。</li> <li>データベースに適した柔軟なメモリー構成が使用できる。</li> <li>リソースを適切に割り当てるためのDB・インスタンスの構成ができる。</li></ul> </div> |
| 対象者  | Oracleデータベースを運用する方、ORACLE MASTER Gold Oracle Database 11gの資格取得をめざす方。   |
| 前提知識   | 「Oracle Database 11g 管理 クイック・スタート」および「Oracle Database 11g 管理 ネット・ステップ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。   |
| 内 容  | 1. Oracle Databaseの主要な概念およびツール 2. リカバリ可能性のための構成 3. Recovery Managerのリカバリ・カタログの使用   |
| 備考   | ・このコースは、旧「Oracle Database 11g R2 管理 ワークショップⅡ」コース（集合研修）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・右ページ右下※1をご参照ください。   |

| DBE319   | Oracle  |
|--|---|
| <div><div><div><div><span></span><div><div><span><span></span></span></div><div><div><span><b>データベース</b></span></div></div></div></div><div>受講コース</div></div></div></div> 平均35時間 | <b>&lt;eラーニング&gt;【マシン演習付き】 Exadata Database Machine 管理ワークショップ</b>   |
| <span></span>  | Exadata Database Machine (X3/X4/X5対応) のさまざまな機能と構成、およびExadata Storage Serverによって実現される独自の機能に重点を置いて学習します。  |
| 到達目標   | ExaDataのベスト・プラクティスを理解し、実装することによってExadata Database Machineの効率性と効果を最大化する事ができる。  |
| 対象者  | Exadata Database Machine(X3/X4/X5対応) を管理する方。  |
| 前提知識   | Clusterware、ASM および RAC を含む、Oracle Database 12cに関する十分な知識があること、および Unix/Linuxの実用的な知識があること。   |
| 内 容  | 1. Exadata Storage Serverの構成 2. I/Oリソース管理 3. データベース・パフォーマンスを最適化するための推奨事項 4. スマート・スキャンの使用 5. 統合の推奨ストレージ構成 6. Exadata Database Machine へのデータベースの移行 7. Oracle DBFS を使用したバルク・データ・ロード 8. Exadata Database Machine のプラットフォーム 監視: はじめに 9. Exadata Database Machineを監視するための Enterprise Manager Cloud Control 12cの構成 10. Exadata Storage Servers の監視 11. データベース・サーバーの監視 12. InfiniBandネットワークの監視 13. その他のExadata Database Machineコンポーネントの監視 14. その他の役立つ監視ツール 15. バックアップとリカバリ 16. Exadata Database Machineのメンテナンス・タスク 17. Exadata Database Machineのパッチ適用 |
| 備考   | 右ページ右下※1をご参照ください。   |

| DBE321   | Oracle   |
|--|--|
| <div><div><div><div><span></span><div><div><span><span></span></span></div><div><div><span><b>データベース</b></span></div></div></div></div><div>受講コース</div></div></div></div> 平均14時間 | <b>&lt;eラーニング&gt;【マシン演習付き】 Oracle Database 12c ASM 管理</b>  |
| <span></span>  | Oracle ASMのアーキテクチャやACSFの管理方法について、Oracle Database 12cでの機能強化点を含めて学習します。  |
| 到達目標   | <div> <ul style="list-style-type: none"><li>Oracle ASM や ACSF の 管理を行うことができる。</li> <li>Flex ASM を構成することができる。</li> <li>ACSF監査やACSF暗号化、高可用性NFSなど Oracle Cloud File System の高度なデータ・サービスについて説明できる。</li></ul> </div> |
| 対象者  | Oracle Database 12cを管理する方。   |
| 前提知識   | Clusterware、ASM および RAC を含む、Oracle Database 12cに関する十分な知識があること。   |
| 内 容  | 1. Oracle ASM インスタンスの管理 2. Flex ASM 3. ASM ディスク・グループの管理 4. ASM ファイル、ディレクトリおよびテンプレートの管理 5. Oracle Cloud File System の管理   |
| 備考   | 右ページ右下※1をご参照ください。  |

| DBE324   | Oracle   |
|--|--|
| <div><div><div><div><span></span><div><div><span><span></span></span></div><div><div><span><b>データベース</b></span></div></div></div></div><div>受講コース</div></div></div></div> 平均35時間 | <b>&lt;eラーニング&gt;【マシン演習付き】 Oracle Database 12c セキュリティ</b>  |
| <span></span>  | Oracleの認証、権限とロールの管理に加えて、Oracle Label Security、データベース暗号化、およびOracle Data Reduction などを使用した機密データを保護する方法を学習します。  |
| 到達目標   | OracleのOracle Label Security、データベース暗号化、およびOracle Label Reductionなどを使用した、機密データ保護の方法を理解できる。  |
| 対象者  | Oracle Database 12cを運用する方、Oracle Database 12cを管理する方。   |
| 前提知識   | Oracle Database 12cに関する十分な知識があること。   |
| 内 容  | 1. セキュリティ要件について 2. セキュリティ・ソリューションの選択 3. 基本的なデータベース・セキュリティの実装 4. ネットワーク上のデータの保護 5. ユーザーの基本認証および厳密認証の資料 6. グローバル・ユーザー認証の構成 7. プロキシ認証の使用 8. 権限とロールの使用 9. 権限分析の使用 10. アプリケーション・コンテキストの使用 11. 仮想プライベート・データベースの実装 12. Oracle Label Security の実装 13. データのリダクション 14. Oracle データ・マスキングの使用 15. 透過的機密データ保護の使用 16. 暗号化の概念とソリューション 17. DBMS_CRYPTO パッケージによる暗号化 18. 透過的データ暗号化の使用 19. データベース・ストレージのセキュリティ 20. 統合監査の使用 21. ファイングレイン監査の使用 |
| 備考   | 本ページ右下※1をご参照ください。  |

目録テスト  
自習者による自己学習

休講

休講  
今期の定期開催はありません

| DBE323   | Oracle   |
|--|--|
| <div><div><div><div><span></span><div><div><span><span></span></span></div><div><div><span><b>データベース</b></span></div></div></div></div><div>受講コース</div></div></div></div> 平均14時間 | <b>&lt;eラーニング&gt;【マシン演習付き】 Oracle Database 12c Database Vault</b>  |
| <span></span>  | Oracle Database Vaultを有効化し、レルム、ルール・セット、コマンド・ルール、セキュア・アプリケーション・ロールを用いてデータベース・インスタンスのセキュリティを管理する方法を学習します。  |
| 到達目標   | Oracle Database Vaultを使ったデータベースのセキュリティ管理ができる。  |
| 対象者  | Oracle Database 12cを運用する方、Oracle Database 12cを管理する方。   |
| 前提知識   | SQLおよびPL/SQLに対する基本的な知識があること。   |
| 内 容  | 1. Database Vaultの概要 2. Database Vaultの構成 3. 権限の分析Configuring Realms 4. レルムの構成 5. ルール・セットの定義 6. コマンド・レルムの構成 7. ルール・セットの拡張 8. セキュア・アプリケーション・ロールの構成 9. Database Vaultレポートによる監査 10. ベスト・プラクティスの実装 |
| 備考   | 本ページ右下※1をご参照ください。  |

| DBE325   | Oracle   |
|--|--|
| <div><div><div><div><span></span><div><div><span><span></span></span></div><div><div><span><b>データベース</b></span></div></div></div></div><div>受講コース</div></div></div></div> 平均14時間 | <b>&lt;eラーニング&gt;【マシン演習付き】 Oracle Database 12c マルチテナント・アーキテクチャ</b>   |
| <span></span>  | Oracle Database 12c の新機能であるマルチテナント・アーキテクチャの概念を学習します。   |
| 到達目標   | マルチテナント・コンテナ・データベースの作成、管理ができる。   |
| 対象者  | Oracle Database 12cを管理する方、Oracle Database 12cを設計する方。   |
| 前提知識   | Oracle Database 12c、Linux OSに関する十分な知識があること。  |
| 内 容  | 1. コンテナおよびプラグブル・データベースのアーキテクチャ 2. CDBおよびPDBの作成 3. CDBおよびPDBの管理 4. CDBおよびPDBの記憶域の管理 5. CDBおよびPDBのセキュリティの管理 6. 可用性の管理 7. パフォーマンスの管理 8. その他 |
| 備考   | 本ページ右下※1をご参照ください。  |

目録テスト  
自習者による自己学習

休講

休講  
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

|                                |
|--------------------------------|
|                                |
| 日立製品                           |
| <span></span>                  |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
|                                |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS17/VOSK                |
| XDM/PDMⅡ                       |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/Al/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
|                                |
| IT サービス マネジメント                 |
|                                |
| <b>システム基盤</b>                  |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| <b>データベース</b>                  |
|                                |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT 戦略・IS 企画                    |
| システム設計                         |
|                                |
| アプリケーション 開発                    |
| Web アプリケーション                   |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT 基本                          |
| IT 基本                          |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
|                                |
| 情報リテラシ                         |
|                                |
| プロジェクト マネジメント                  |
|                                |
| コンプライアンス                       |
|                                |
| ビジネス/ヒューマン                     |
|                                |
| グローバル                          |

173

|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDMII                      |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービスマネジメント                  |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT基本                           |
| IT基本                           |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

**DBE019 Oracle**

**<eラーニング> Oracleではじめる統計入門**

平均7時間

Oracle製品ユーザを対象に、データベースに格納されている膨大なデータの活用方法や、統計に関する基本的な知識および分析関数を活用したデータ分析を、レクチャ形式で学習します。

**到達目標** ・Big Dataを取り巻く環境を説明できる。  
・基本的統計手法について説明できる。  
・Oracle Databaseにおけるデータ分析ができる。

**対象者** Oracleデータベースを運用する方、Oracleデータベースのアプリケーション開発やデータ分析業務に携わる方。

**前置知識** 「Oracle Database 11g 入門 SQL基礎I」、「Oracle Database 11g 管理 クイック・スタート」および「Oracle Database 11g PL/SQL基礎I」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容** 1. Big Dataを取り巻く環境  
2. 統計概要  
3. 平均  
4. 度数分布と標準偏差  
5. 散布図とバブル、チャート  
6. 時系列分析 (傾向分析)  
7. 多次元分析  
8. Oracle Databaseで提供される分析関数

**備考** ・このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子教材「eKit」(PDF)を使用します。  
・このコースのサービス有効期間は90日間です。  
・このコースは、旧「Oracleではじめる統計入門」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。  
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)  
・このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。  
お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。  
<http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf>  
・受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。  
・このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をご提供する必要があります。  
・学習開始日10営業日以前を過ぎてもキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。  
・このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。  
・ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。  
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。  
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**DBE342 Oracle**

**<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c データ・マイニング手法**

平均14時間

データ・マイニングの基本的な概念から、Oracle Advanced AnalyticsオプションのコンポーネントであるOracle Data Miningによる予測分析まで、Oracle Database 機能を活用したアナリティクスの実践方法を学習します。

**到達目標** Oracle Data MiningのGUIツールであるOracle Data Miner 4.1を使用できるように、データのグラフィカルな調査、複数のデータ・マイニング・モデルの作成と評価、新しいデータへのOracle Data Miningモデルの適用およびOracle Data Miningの予測および洞察の企業全体へのデプロイを行うことができる。

**対象者** Oracleデータベースを用いたデータ・マイニング作業について携わる方。

**前置知識** 「Oracleではじめる統計入門」eラーニングコースを修了しているか、同等の知識があること。

**内容** 1. はじめに  
2. 予測分析とデータ・マイニングの概念  
3. データ・マイニングのプロセス  
4. Oracle Data Miner 4.1 の紹介  
5. 分類モデルの使用  
6. 回帰モデルの使用  
7. クラスターリング・モデルの使用  
8. マーケット・バスケット分析の実行  
9. 異常検出の使用  
10. 構造化データ及び非構造化データのマイニング  
11. 予測問合せの使用  
12. 予測モデルのデプロイ

**備考** ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)  
・このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。  
お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。  
<http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf>  
・このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子教材「eKit」(PDF)を使用します。  
・このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日以内の連続した6日間です。  
・受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。  
・このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をご提供する必要があります。  
・学習開始日10営業日以前を過ぎてもキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。  
・このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。  
・ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。  
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。  
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**DBE029 Oracle**

**<eラーニング>資格試験準備セミナー： ORACLE MASTER Bronze 12c (受験チケット付)**

平均7時間

ORACLE MASTER Bronze Oracle Database 12c 資格試験 (12c SQL、Bronze DBA 12c)の頻出トピックを模擬問題とインストラクターによるポイント解説で学習します。また、試験をご受験いただけるように、受験チケット：Oracle認定資格オンライン試験用が1枚付いてきます。

**到達目標** ORACLE MASTER Bronze Oracle Database 12c 資格試験のポイントを理解できる。

**対象者** Oracle Master Bronze 12c の資格取得をめざす方。

**前置知識** 「Oracle Database 12c 入門 SQL基礎I」および「Oracle Database 12c 管理 クイック・スタート」コースを修了されているか、同等の知識があること。

**内容** 1. ORACLE MASTER Bronze試験の受験準備  
(1) 12c SQL  
・SQLのSELECT文の使用によるデータの取得  
・データの制限とソート  
・単一行関数の使用による出力のカスタマイズ  
・変換関数と条件式の使用  
・グループ関数の使用によるレポート  
・結合の使用による複数の表のデータの出力  
・前問合せの使用による問合せの解決  
・DMW文の使用による表の管理  
・集合演算子  
・データ定義言語の概要  
(2) Bronze DBA 12c  
・Oracleデータベース管理の概要  
・Oracleデータベースのインストールおよびデータベースの作成  
・Oracle Enterprise Manager Database Express およびSQL管理ツールの使用  
・Enterprise Manager 管理者権限の付与  
・Oracle Network環境の構成  
・Oracleインスタンスの管理  
・データベース記憶域構造の管理  
・ユーザーおよびセキュリティの管理  
・スキーマ・オブジェクトの管理  
・データベースの監視およびパフォーマンスの管理  
・Oracleデータベース・ソフトウェアの管理

**備考** ・このコースのサービス有効期間は180日間です。  
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)  
・このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。  
お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。  
<http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf>  
・受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。  
・このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をご提供する必要があります。  
・学習開始日10営業日以前を過ぎてもキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。  
・このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。  
・ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。  
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。  
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**DBE030 Oracle**

**<eラーニング>資格試験準備セミナー： ORACLE MASTER Silver 12c (受験チケット付)**

平均7時間

ORACLE MASTER Silver Oracle Database 12c 資格試験の頻出トピックを模擬問題とインストラクターによるポイント解説で学習します。また、試験をご受験いただけるように、受験チケット：Oracle認定資格会場試験用が1枚付いてきます。

**到達目標** ORACLE MASTER Silver Oracle Database 12c 資格試験のポイントを理解できる。

**対象者** ORACLE MASTER Silver 12c認定資格取得をめざす方。

**前置知識** ORACLE MASTER Bronze 12cの試験範囲に関する十分な知識があること。

**内容** 1. インストール、アップグレード  
(1) Oracle Grid Infrastructure およびOracleデータベースのインストールとデータベースの作成  
(2) Oracleデータベースのアップグレード  
2. Oracle Databaseの管理  
(1) インスタンスの管理、Oracleネットワーク環境の構成  
(2) ユーザー・セキュリティの管理、同時実行性の管理  
(3) データベース記憶域構造の管理  
(4) バックアップ・リカバリ、データ移動、リソース・マネージャ、Oracle Schedulerの使用  
(5) データベースのメンテナンス、パフォーマンスの管理

**備考** ・このコースのサービス有効期間は180日間です。  
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)  
・このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。  
お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。  
<http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf>  
・受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。  
・このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をご提供する必要があります。  
・学習開始日10営業日以前を過ぎてもキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。  
・このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。  
・ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。  
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。  
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**DBE031 Oracle**

**<eラーニング>資格試験準備セミナー： ORACLE MASTER Gold 12c (受験チケット付)**

平均7時間

ORACLE MASTER Gold Oracle Database 12c 資格試験の頻出トピックを模擬問題とインストラクターによるポイント解説で学習します。また、ORACLE MASTER資格の試験をご受験いただけるように、受験チケット：Oracle認定資格会場試験用が1枚付いてきます。

**到達目標** ORACLE MASTER Gold Oracle Database 12c 資格試験のポイントを理解できる。

**対象者** ORACLE MASTER Gold 12c認定資格取得をめざす方。

**前置知識** ORACLE MASTER Silver 12cの試験範囲に関する十分な知識があること。

**内容** 1. バックアップとリカバリ  
(1) Oracle データ保護ソリューション  
(2) 基本的なバックアップとリカバリの実行  
(3) リカバリ計画の構成 (4) RMAN リカバリ・カタログの使用  
(5) バックアップ言語のインストール、実行  
(6) RMAN バックアップ・オプションの設定および非データベース・ファイルのバックアップの作成  
(7) RMAN 暗号化バックアップの使用 (8) 障害の診断  
(9) リストアおよびリカバリ操作の実行・RMAN を使用したファイルのリカバリ  
(10) Oracle Secure Backup の使用  
(11) フラッシュバック・テクノロジーの使用・フラッシュバック・データベースの使用  
(12) データの転送  
(13) データベースの複製  
(14) RMAN の操作の監視と調整  
2. プラガブル・データベースとコネクタ・データベースの管理  
(1) マルチテナント・コネクタ・データベースとプラガブル・データベースのアーキテクチャと作成  
(2) CDB と PDB の記憶域の管理・セキュリティの管理  
(3) 可用性の管理 (4) パフォーマンスの管理  
(5) データの移動、セキュリティ操作の実行、他のOracle製品との統合

**備考** ・このコースのサービス有効期間は180日間です。  
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)  
・このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。  
お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。  
<http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf>  
・受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。  
・このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をご提供する必要があります。  
・学習開始日10営業日以前を過ぎてもキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。  
・このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。  
・ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。  
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。  
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**DBE340 Oracle**

**<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Unlimited Product Learning Subscription**

対象のOracleトレーニング・オンデマンドを、期間中自由に学習します。

**到達目標** 担当するOracleデータベース技術分野についての実践的な知識・技術について理解できる。

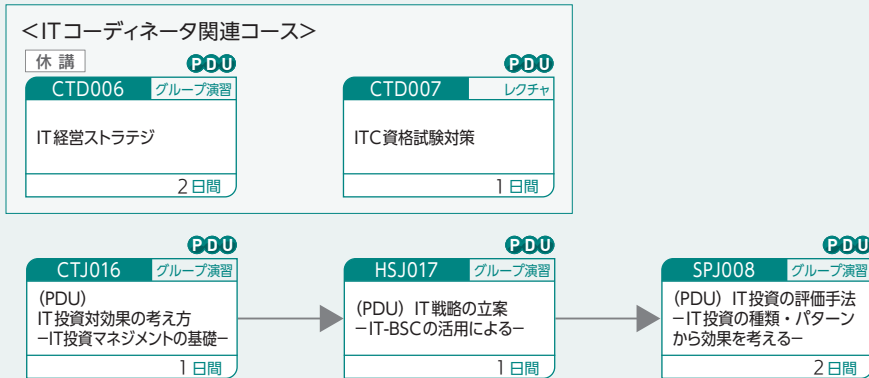
**対象者** Oracleデータベース製品について、全般的な技術力の向上をめざす方。

**前置知識** 特に必要としません。ただし、コンテンツごとに前提知識が設定されている場合があります。

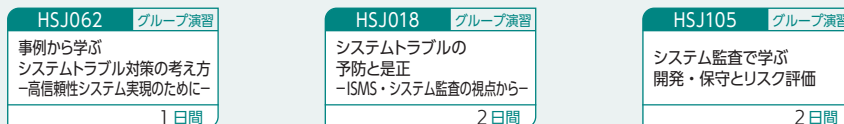
**内容** 1. 任意のOracle トレーニング・オンデマンドコース  
2. 各種の関連する技術についての動画

**備考** ・提供されているコンテンツの種類や詳細につきましては、以下のページをご覧ください。  
[http://education.oracle.com/pls/web\\_prod-plq-dad/db\\_pages.getpage?page\\_id=1034](http://education.oracle.com/pls/web_prod-plq-dad/db_pages.getpage?page_id=1034)  
・このコースのサービス有効期間は365日間です。  
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)  
・このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。  
お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。  
<http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf>  
・受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。  
・このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をご提供する必要があります。  
・学習開始日10営業日以前を過ぎてもキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。  
・このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。  
・ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。  
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。  
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

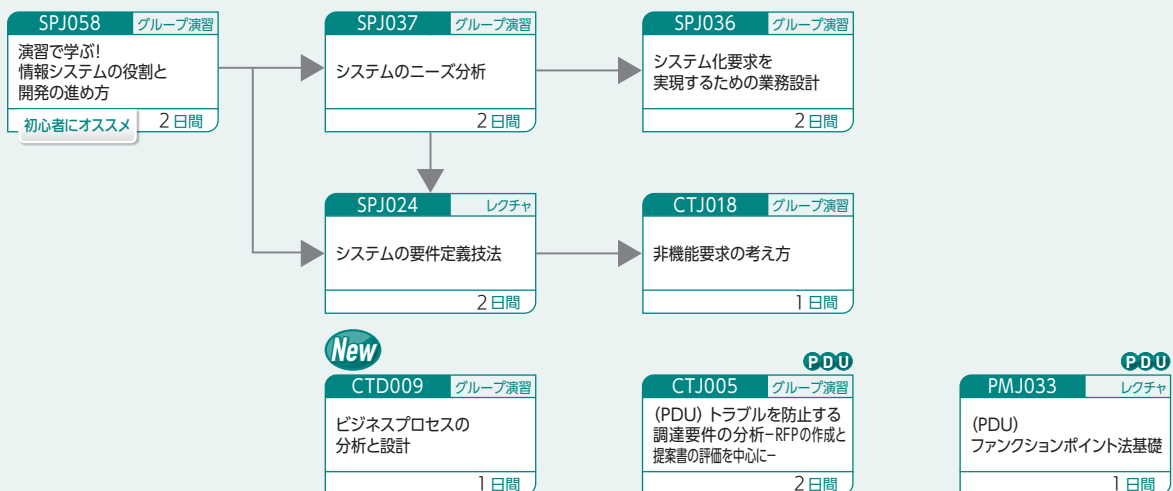
## ● 経営戦略／IT戦略の立案・強化をお考えの方



## ● 内部統制の向上・強化をお考えの方



## ● システム企画／要件定義に携わる方



音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におススメ** : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

**PDU** : PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

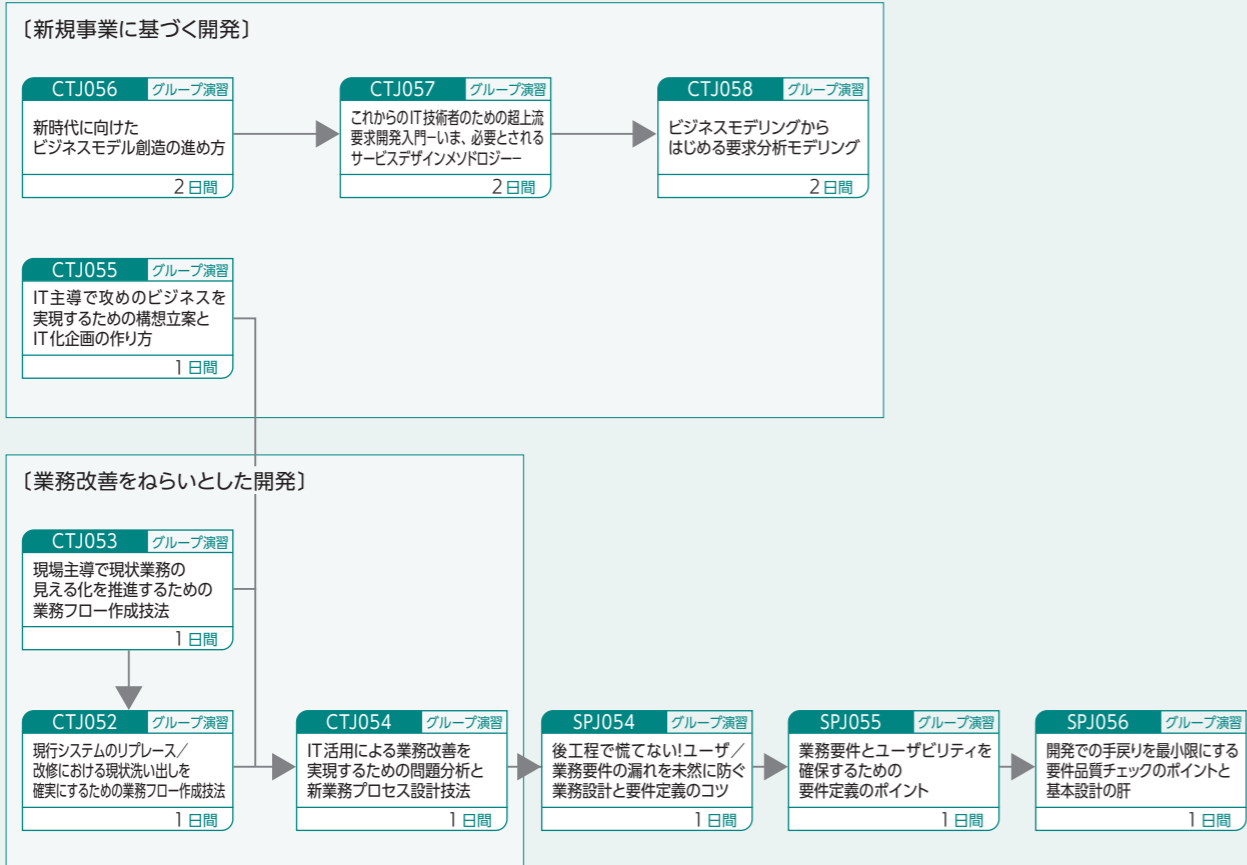


目録テキスト  
目録書による自己学習

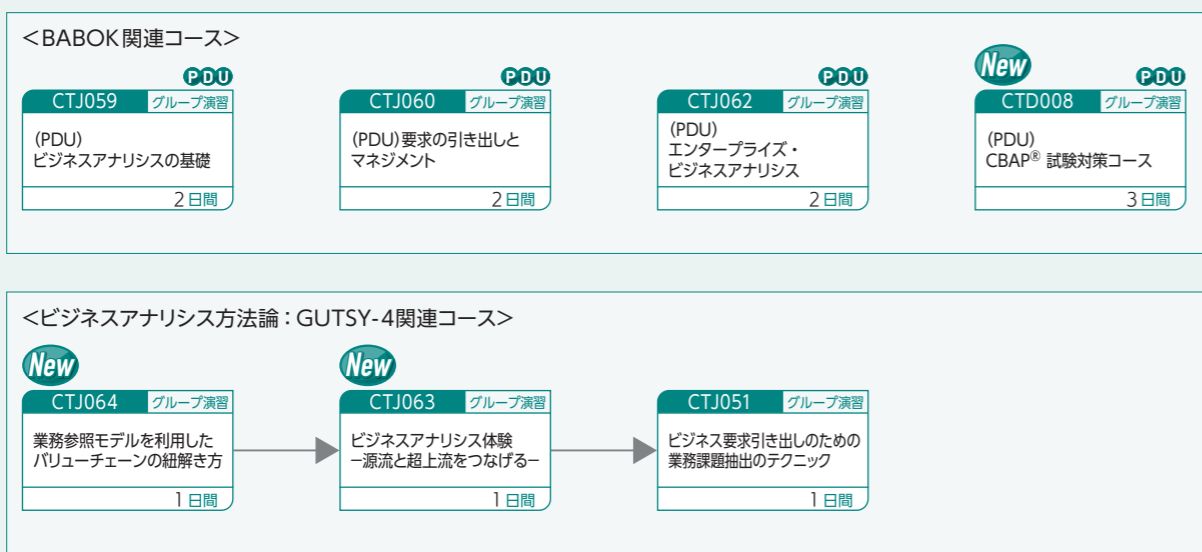
休講

休講  
今期の定期開催はありません

● システム企画/要件定義に携わる方(特に、現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたってお悩みの方向け)



● ビジネスアナリシスに取り組まれる方、関心をお持ちの方



音声有・説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

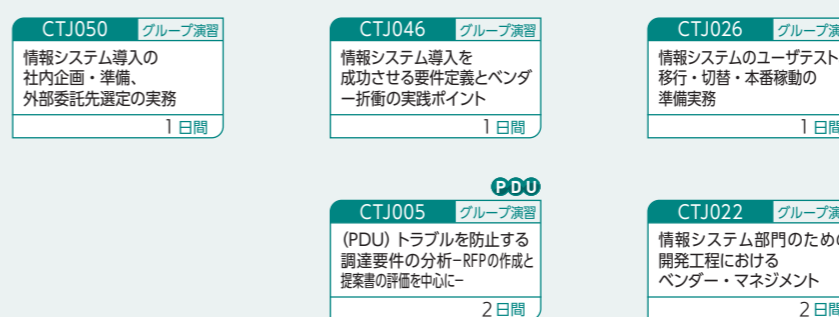
音声有・説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

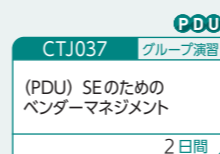
初心者におススメ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

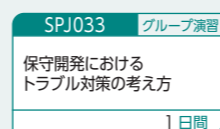
● 情報システム部門でベンダー・マネジメントに携わる方



● システムエンジニア(SE)でサブベンダーのマネジメントに携わる方



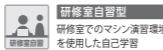
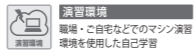
● 保守開発に携わる方







|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDMⅡ                       |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービスマネジメント                  |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT基本                           |
| IT基本                           |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |



|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDMⅡ                       |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービスマネジメント                  |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT基本                           |
| IT基本                           |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

## CTJ057 IT戦略・IS企画

|  |  |
|--|--|
|  | <b>これからのIT技術者のための超上流要求開発入門</b><br><b>ーいま、必要とされるサービスデザインメソドロジーー</b> |
| 2日間  |  |
| <p>今後、お客様やビジネスパートナーとのやり取りがデジタル化されるDX（デジタルトランスフォーメーション）が大きく進展することが見込まれています。そのために、お客様やパートナーに、サービスとして新しいCX（カスタマーエクスペリエンス）を提供するための、サービスデザインとしての要求開発プラクティスが求められるようになってきました。このコースでは、ワークショップを通して、顧客に対する提供価値をアイデア発想し、斬新なCXを生み出すサービスをデザインする方法（プロセス・メソドロジー・ツール）を学びます。この提供価値をアイデア発想する方法は、「システム思考・分析的思考と直観思考・アナロジカルシンキング」を統合した「アナロジカルメソッド」と呼ぶ独自の方法であり、サービスのイノベーション創出という難しい問題に対して、わかりやすくとっつきやすい方法である高い評価をいただけてきたものです。</p> |  |

**研修目的** 斬新なCXを生み出すサービスをデザインする方法（プロセス・メソドロジー・ツール）を説明できる。

**対象者** 斬新なCXを生み出すサービスをデザイン・提案する必要があるIT技術者や営業・企画担当者などの方。

**前提知識** 3年以上の実務経験があること。またITに関する基本的な知識があること。

- 内 容**
- サービスデザインプロセス入門
  - サービスデザイン・ワークショップ
    - 目的・テーマを定めるー与件の整理 与件の整理ヒアリングの実施 共感・洞察力を高める
    - 状況を理解する 対象の「もの・こと」を理解する カスタマーバリューチェーンのシステム分析 どの価値の流れに注目するのか
    - 問題を発見する How might we ?
    - サービス・コンセプトの創出 アイデア発想法 ブルーオーシャン戦略の活用 アナロジカルメソッド
    - サービスデザインを総合する CXプロセスのデザイン サービスプロセスのデザイン

**備 考**

- このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしく願いたします。
- このコースは、予告なく内容を変更することがあります。

## CTJ058 IT戦略・IS企画

|   |                                 |
|---|---------------------------------|
|   | <b>ビジネスモデリングからはじめる要求分析モデリング</b> |
| 2日間   |                                 |
| <p>今後、お客様やビジネスパートナーとのやり取りがデジタル化されるDX（デジタルトランスフォーメーション）が大きく進展することが見込まれています。このDXにおける要求分析は、お客様やパートナーに、どのようなサービスを提供するかというビジネスモデリングからはじめて要求分析につなげるプラクティスが必要とされます。ところが、この要求分析プラクティスには、業務プロセス分析にもとづいた業務設計から始めるという最初のステップが欠落していることが良くあります。結果、個別の要求にとらわれて全体的な整合性を欠いた要求分析を行うこととなります。このコースでは、ビジネスモデリングからはじめて、業務プロセス分析からの業務設計の成果にもとづく要求分析モデリングの方法をワークショップで実践します。加えて、複数の要求分析モデルを相互すりあわせることで、「もれがなくだぶりがない」要求分析モデルの実現もめざします。</p> |                                 |

**研修目的** ビジネスモデリングからはじめて、業務プロセス分析からの業務設計の成果にもとづいて、経営効率化・迅速化に寄与し信頼性の高い基幹システムの導入開発を実現するための、要求分析モデリングの方法を説明できる。

**対象者** 経営効率化・迅速化に寄与し信頼性の高い基幹システムの導入開発のために、要求定義・要求分析を行う提案・企画担当者やIT技術者の方。

**前提知識** 3年以上の実務経験があること。またITに関する基本的な知識があること。

- 内 容**
- ビジネスモデリングからはじめる要求分析モデリング入門
    - デジタルトランスフォーメーションの要求分析に求められること
    - デジタルトランスフォーメーションとバイモーダルIT
    - ビジネスモデルとビジネスデザインプロセス入門
  - ビジネスモデリングからはじめる要求分析モデリング・ワークショップ
    - お客様やビジネスパートナーへのサービスデザイン
    - Design Structure Matrixによるワークフローモデリング
    - イベントモデルやデータモデルによる最適化
    - 詳細な要求分析モデルの作成
  - なぜビジネスモデリングからはじめる要求分析モデリングか
    - 日本のIT経営の重要課題
    - 業務設計からの要求分析モデリングの最適化
    - ビジネスモデリングと要求分析モデリングの親密な関係

**備 考**

- このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしく願いたします。
- このコースは、予告なく内容を変更することがあります。

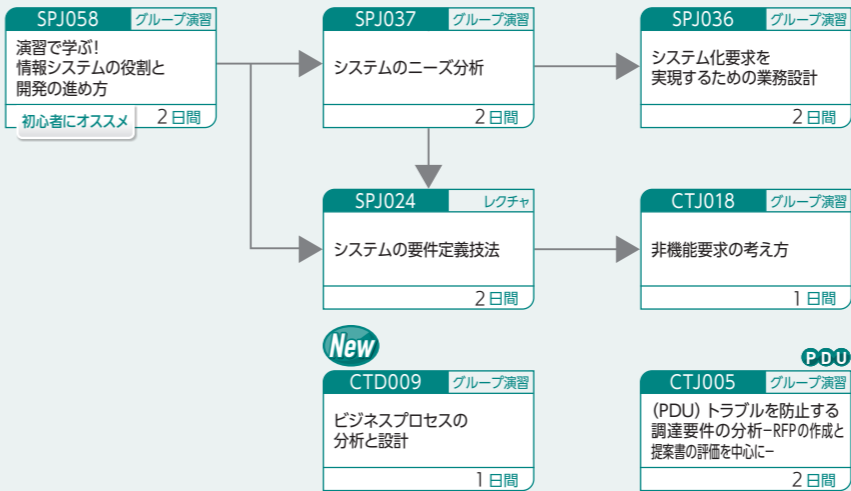
# システム設計

情報システムの開発に必要な基礎知識や、開発手順、分析、設計技法が修得できます。

## 初めて情報システムの開発に携わる方

|                               |        |           |                          |        |
|-------------------------------|--------|-----------|--------------------------|--------|
| SPJ058                        | グループ演習 | 音声なし・説明文有 | SJE707                   | eラーニング |
| <b>演習で学ぶ！情報システムの役割と開発の進め方</b> |        |           | <b>【ナビ機能付き】システム開発の基礎</b> |        |
| 初心者におすすめ                      | 2日間    |           | 初心者におすすめ                 | 4時間    |

## システムの分析・要件定義を担当する方



**音声有・説明文有**：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

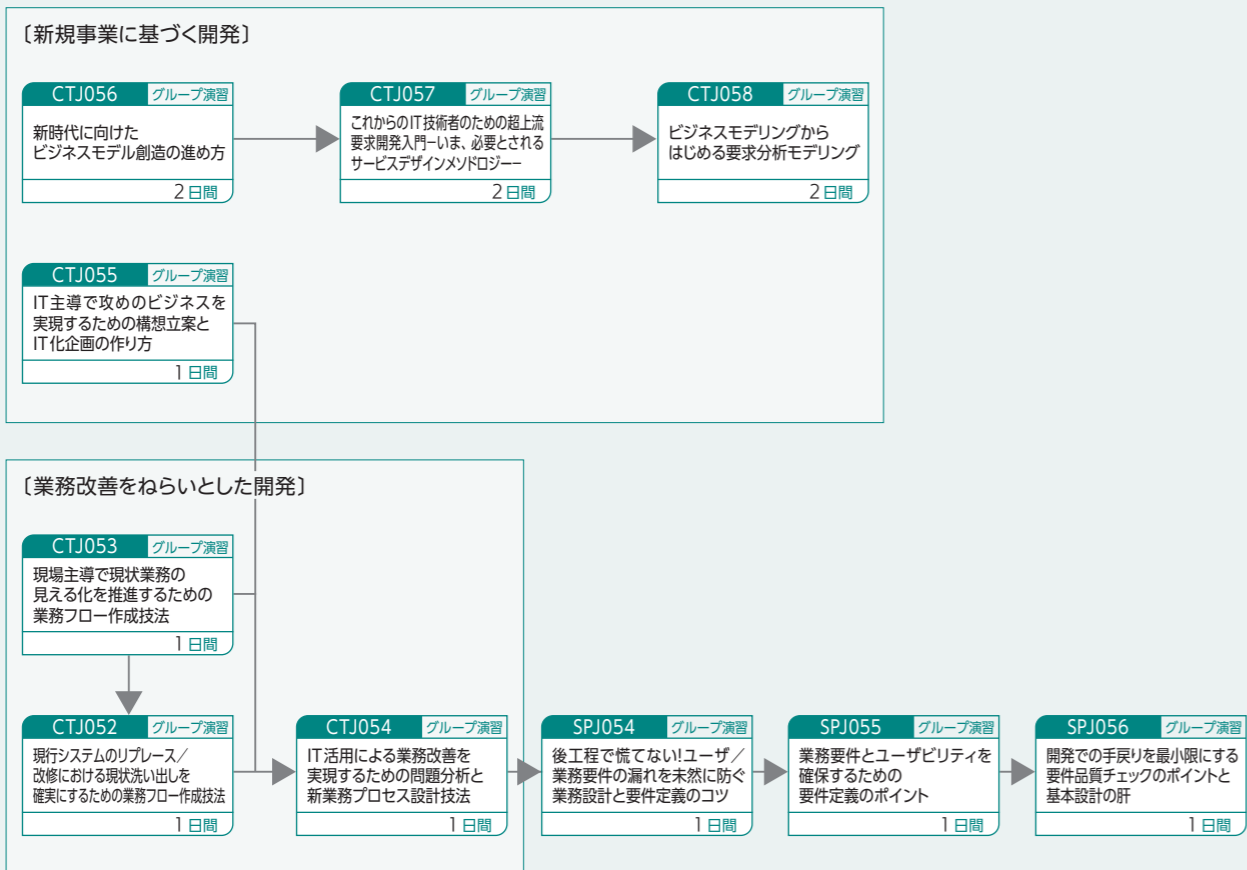
**音声有・説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

**音声なし・説明文有**：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

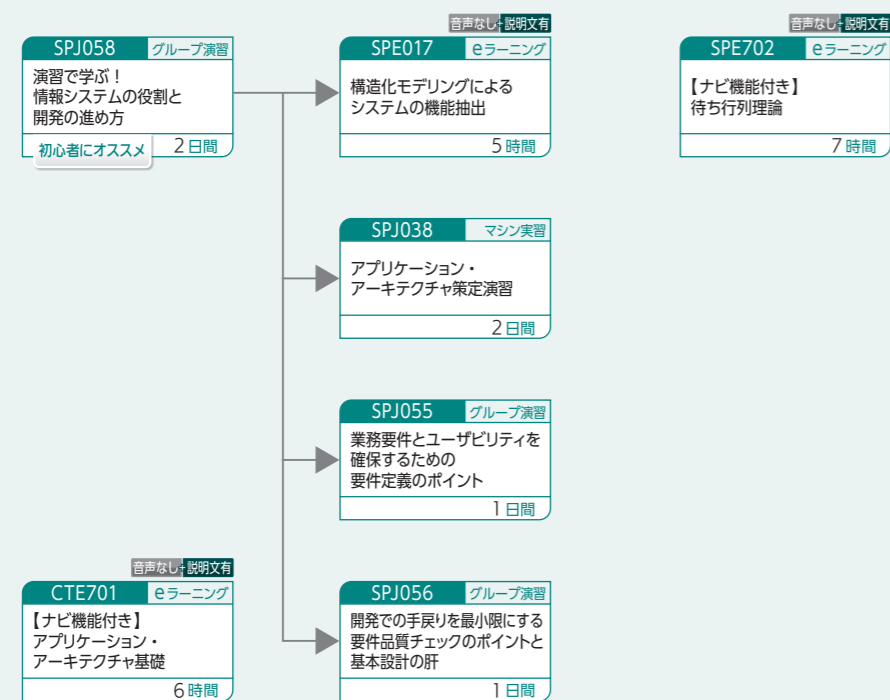
**初心者におすすめ**：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

**PDU**：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。

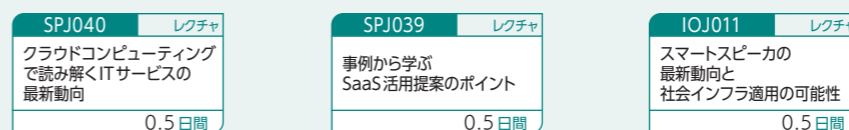
● システム企画／要件定義に携わる方 (特に、現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたってお悩みの方向け)



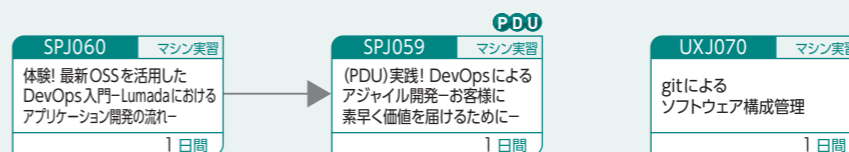
● システム開発の設計を担当する方



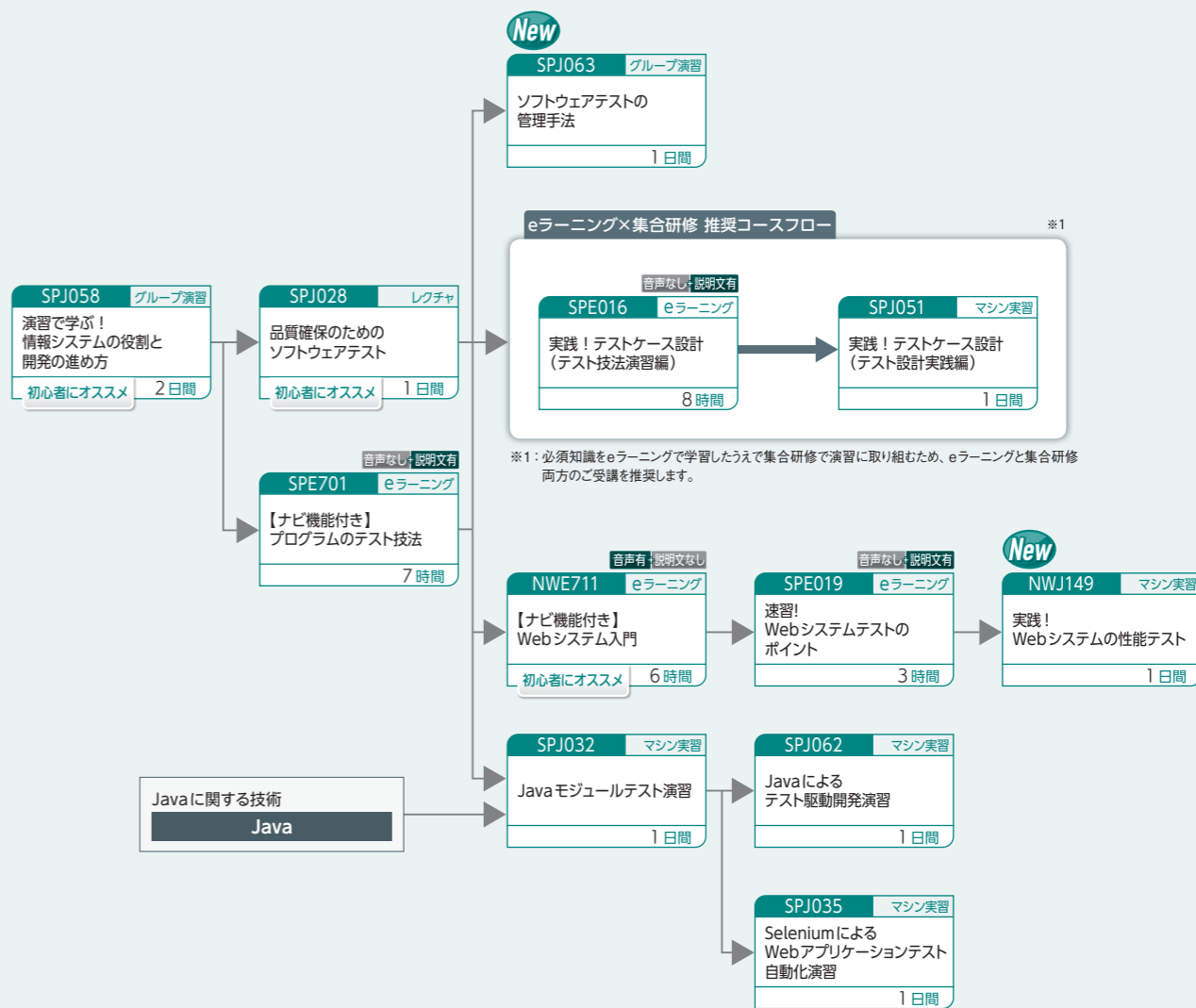
● システムの最新動向や事例を把握したい方



● DevOpsによるアプリケーション開発の流れを理解したい方



● システムまたはプログラムのテストを担当する方



音声有+説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



|   |
|---|
| 日立製品                                      |
| <p>JP1</p> uCosminexus Application Server |
| HIRDB                                     |
| OpenTP1                                   |
| VOS3/VOS17/VOSK                           |
| XDM/PDM II                                |
| Hitachi Advanced Data Binder              |
| 日立ストレージ                                   |
| Pentaho ソフトウェア                            |
| デジタルトランスフォーメーション                          |
| IT 利活用                                    |
| イノベーション                                   |
| IoT/Al/Lumada                             |
| ビッグデータ                                    |
| データ分析                                     |
| サイバーセキュリティ                                |
| クラウド/サーバ仮想化                               |
| IT サービスマネジメント                             |
| システム基盤                                    |
| オープンソースソフトウェア(OSS)                        |
| Linux                                     |
| Microsoft                                 |
| ネットワーク                                    |
| セキュリティ                                    |
| データベース                                    |
| IT戦略・IS企画/システム設計                          |
| IT戦略・IS企画                                 |
| システム設計                                    |
| アプリケーション開発                                |
| Webアプリケーション                               |
| スマートデバイス                                  |
| オブジェクト指向/UML                              |
| 言語  |
| IT 基本                                     |
| IT 基本                                     |
| ハードウェア                                    |
| 情報処理資格                                    |
| 情報リテラシ                                    |
| プロジェクトマネジメント                              |
| コンプライアンス                                  |
| ビジネス/ヒューマン                                |
| グローバル                                     |

| SPJ058  | システム設計   |
|---|--|
| <div><div><div><div><div><span></span></div><div>グループ演習</div></div></div><div><div><div><span></span></div><div>2日間</div></div></div></div></div> | <b>演習で学ぶ!</b> <b>情報システムの役割と開発の進め方</b>  |
| <span></span>   | 情報システムを開発・発注するうえで必要な基礎知識として、工程別に作業内容や作業目的を学習します。加えて開発プロジェクトの計画・統制・終結の側面から、代表的な仕事（見積り、契約など）についても学習します。  |
| <b>到達目標</b>   | <ul style="list-style-type: none"><li>情報システムの役割を説明できる。</li> <li>開発プロセスおよび作業工程における作業概要を説明できる。</li> <li>開発方法論、代表的な成果物の表記法を説明できる。</li></ul>   |
| <b>対象者</b>  | これからシステムを企画、開発する方。   |
| <b>前提知識</b>   | 「コンピュータ基礎」コースを修了しているか、またはコンピュータの基礎知識があること。   |
| <b>内 容</b>  | <ol style="list-style-type: none"><li>情報システムとは <ol style="list-style-type: none"><li>市場、定義、役割</li> <li>情報システムの開発 <ol style="list-style-type: none"><li>作業と作業順序</li> <li>開発プロセス</li> <li>開発方式</li></ol></li></ol></li> <li>情報システムの維持・メンテナンス <ol style="list-style-type: none"><li>情報システムの寿命と保管場所</li> <li>必要な作業</li></ol></li> <li>情報システムに関わる人 <ol style="list-style-type: none"><li>プロジェクト・ステークホルダ</li> <li>職種</li></ol></li> <li>情報システムのコスト <ol style="list-style-type: none"><li>見積り</li> <li>契約</li></ol></li> <li>情報システムを支える技術 <ol style="list-style-type: none"><li>サーバ、冗長化、クラウド、ビッグデータ</li></ol></li> <li>演習 <ol style="list-style-type: none"><li>業務分析、データ分析、機能分析</li></ol></li></ol> |
| <b>備 考</b>  | <ul style="list-style-type: none"><li>このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。</li> <li>このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。</li></ul>  |

| SPJ036  | システム設計   |
|---|--|
| <div><div><div><div><div><span></span></div><div>グループ演習</div></div></div><div><div><div><span></span></div><div>2日間</div></div></div></div></div> | <b>システム化要求を実現するための業務設計</b>   |
| <span></span>   | ニーズ分析に基づく業務アプリケーションの基本設計トレーニングです。システム設計の前提となる要求仕様定義を、業務の仕組みを念頭に確実に行うための手法を修得します。   |
| <b>到達目標</b>   | <ul style="list-style-type: none"><li>業務設計の進め方を説明できる。</li> <li>要求仕様定義を、業務の仕組みを念頭に確実に行うことができる。</li></ul>  |
| <b>対象者</b>  | 業務モデリングに関心のある方。  |
| <b>前提知識</b>   | 特に必要としません。   |
| <b>内 容</b>  | <ol style="list-style-type: none"><li>業務設計の位置づけと意義 <ol style="list-style-type: none"><li>「上流工程」で行うべきこと</li> <li>業務設計の全体プロセス</li> <li>業務設計の意義</li></ol></li> <li>業務設計のプロセス <ol style="list-style-type: none"><li>業務プロセスデザインフェーズ</li> <li>アプリケーションデザインフェーズ</li></ol></li></ol> |
| <b>備 考</b>  | <ul style="list-style-type: none"><li>このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。</li> <li>このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。</li> <li>このコースは、「ビジネスアプリケーション設計」コースの内容改訂および名称を変更したものです。</li></ul>  |

| SJE707  | システム設計  |
|---|---|
| <div><div><div><div><div><span></span></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div><span></span></div><div>平均4時間</div></div></div></div></div> | <b>&lt;eラーニング&gt;[ナビ機能付き]</b> <b>システム開発の基礎</b>  |
| <span></span>   | システム設計の手法について基礎的な知識を学習します。  |
| <b>到達目標</b>   | システム設計に必要な作業について、手順や内容を説明できる。   |
| <b>対象者</b>  | <ul style="list-style-type: none"><li>システム設計をこれからはじめる方。</li> <li>システム設計の基礎知識を身につけたい方。</li></ul>   |
| <b>前提知識</b>   | 特に必要としません。  |
| <b>内 容</b>  | <ol style="list-style-type: none"><li>システム開発と設計の役割</li> <li>システムの品質と設計手法</li> <li>基本から詳細設計概略 <ol style="list-style-type: none"><li>段階的詳細化のレベル</li> <li>業務機能設計</li> <li>実現方式設計（アーキテクチャ）</li> <li>外部インタフェース設計（遷移、レイアウト）</li> <li>バッチ処理設計</li> <li>データ基本設計（論理DB設計）</li> <li>プログラム詳細設計</li> <li>共通部品設計</li> <li>データ詳細設計</li></ol></li> <li>その他の開発手法</li> <li>修了試験</li></ol> |
| <b>備 考</b>  | <ul style="list-style-type: none"><li>終了日は9月30日になります。</li> <li>説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）</li> <li>このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li></ul>   |

| SPJ037  | システム設計   |
|---|--|
| <div><div><div><div><div><span></span></div><div>グループ演習</div></div></div><div><div><div><span></span></div><div>2日間</div></div></div></div></div> | <b>システムのニーズ分析</b>  |
| <span></span>   | 顧客の業務に一步踏み込み、的確なシステム化要件を導き出すまでの一連の基本動作を、ニーズ分析の進め方の解説と演習を通して学習します。  |
| <b>到達目標</b>   | <ul style="list-style-type: none"><li>ニーズ分析の基礎を説明できる。</li> <li>顧客の業務に一步踏み込み的確なシステム化要件を導き出すまでの一連の基本動作を理解できる。</li></ul>  |
| <b>対象者</b>  | システム開発プロジェクトにおいて、システムのニーズ分析を行う方。   |
| <b>前提知識</b>   | 情報システムに関する基礎知識があること。   |
| <b>内 容</b>  | <ol style="list-style-type: none"><li>ニーズ分析の位置づけと意義 <ol style="list-style-type: none"><li>「上流工程」で行うべきこと</li> <li>ニーズ分析の全体プロセス</li> <li>ニーズ分析の意義</li></ol></li> <li>ニーズ分析のプロセス <ol style="list-style-type: none"><li>準備フェーズ</li> <li>分析フェーズ</li></ol></li></ol> |
| <b>備 考</b>  | <ul style="list-style-type: none"><li>このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。</li> <li>このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。</li></ul>  |

| CTD009  | システム設計  |
|---|---|
| <div><div><div><div><div><span></span></div><div>グループ演習</div></div></div><div><div><div><span></span></div><div>1日間</div></div></div></div></div> | <b>ビジネスプロセスの分析と設計</b>   |
| <span></span>   | ビジネスプロセスに着目した業務設計の重要性と、モデリング技法を紹介しします。そのうえで、UMLなどを用いたビジネスプロセスの設計手順を学習します。   |
| <b>到達目標</b>   | <ul style="list-style-type: none"><li>ビジネスプロセスの概要を説明できる。</li> <li>ビジネスプロセスの設計手順を説明できる。</li></ul>  |
| <b>対象者</b>  | 業務の設計、あるいは情報システムの計画を行う方。  |
| <b>前提知識</b>   | 特に必要としません。  |
| <b>内 容</b>  | <ol style="list-style-type: none"><li>ビジネスプロセスとは</li> <li>ビジネスプロセスモデリング</li> <li>ビジネスプロセス設計</li> <li>ケース演習</li></ol>  |
| <b>備 考</b>  | <ul style="list-style-type: none"><li>このコースは、9:30～18:00の開催とさせていただきます。</li> <li>このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。</li></ul> |

| CTE701  | システム設計  |
|---|---|
| <div><div><div><div><div><span></span></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div><span></span></div><div>平均6時間</div></div></div></div></div> | <b>&lt;eラーニング&gt;[ナビ機能付き]</b> <b>アプリケーション・アーキテクチャ基礎</b>   |
| <span></span>   | アプリケーションのアーキテクチャを設計するための基本的な考え方を学習します。本コンテンツではレイヤー・キテクチャを例に、それぞれの層の役割、代表的なコンポーネントについて説明します。   |
| <b>到達目標</b>   | <ul style="list-style-type: none"><li>アーキテクチャの重要性を説明できる。</li> <li>アーキテクチャを設計するための基本的な手段を説明できる。</li></ul>  |
| <b>対象者</b>  | これからアプリケーション開発に携わる方。  |
| <b>前提知識</b>   | プログラミングの経験があること。  |
| <b>内 容</b>  | <ol style="list-style-type: none"><li>アーキテクチャ設計</li> <li>論理アーキテクチャ</li> <li>プレゼンテーション層のアーキテクチャ設計</li> <li>アプリケーション層のアーキテクチャ設計</li> <li>データ層のアーキテクチャ設計</li> <li>その他のアーキテクチャ設計</li> <li>論理アーキテクチャ設計の効果</li> <li>まとめ</li> <li>修了試験</li></ol>                         |
| <b>備 考</b>  | <ul style="list-style-type: none"><li>終了日は9月30日になります。</li> <li>説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）</li> <li>このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li></ul> |

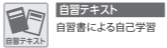
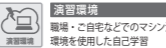
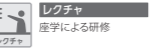
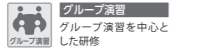
| SPJ038   | システム設計   |
|--|--|
| <div><div><div><div><div><span></span></div><div>マシン演習</div></div></div><div><div><div><span></span></div><div>2日間</div></div></div></div></div> | <b>アプリケーション・アーキテクチャ策定演習</b>  |
| <span></span>  | 演習を通して、アプリケーション・アーキテクチャの策定要領を学習します。  |
| <b>到達目標</b>  | <ul style="list-style-type: none"><li>アプリケーション分野の機能要件、およびアプリケーション実行の土台となるシステム分野の非機能要件の整理の仕方を説明できる。</li> <li>アプリケーション構築のための道具立てについて説明できる。</li> <li>業務処理に適した業務オブジェクトの構成方法を説明できる。</li></ul> |
| <b>対象者</b>   | アプリケーション・アーキテクチャの策定をお考えの方。   |
| <b>前提知識</b>  | 情報システム開発の経験があること。  |
| <b>内 容</b>   | <ol style="list-style-type: none"><li>要件定義と方式（アーキテクチャ）設計</li> <li>演習対象システムの概要</li> <li>要件定義</li> <li>システム方式</li> <li>アプリケーション方式</li></ol>  |
| <b>備 考</b>   | <ul style="list-style-type: none"><li>このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。</li> <li>このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</li></ul>   |

| SPJ039  | システム設計  |
|---|---|
| <div><div><div><div><div><span></span></div><div>レクチャ</div></div></div><div><div><div><span></span></div><div>0.5日間</div></div></div></div></div> | <b>事例から学ぶSaaS活用提案のポイント</b>  |
| <span></span>   | 最新のWebサービスの動向をSaaS概要を中心に解説し、主要なWebサービス提供者の取り組みや、企業における活用事例を解説します。   |
| <b>到達目標</b>   | <ul style="list-style-type: none"><li>SaaSの概要を理解できる。</li> <li>今後のWebサービスの方向性がわかる。</li></ul>   |
| <b>対象者</b>  | 最近のIT動向を把握したいとお考えの営業/SE/プログラマの方。  |
| <b>前提知識</b>   | 特に必要としません。  |
| <b>内 容</b>  | <ol style="list-style-type: none"><li>SaaS（Software as a Service）とは何か</li> <li>SaaS登場までの経緯</li> <li>SaaSを実現する技術</li> <li>SaaSによって大きな変革を求められるITベンダー・主要プレーヤーの取り組み</li> <li>SaaS導入事例解説</li> <li>SaaS導入にあたって注意すべきこと</li> <li>今後のWebサービスの方向性</li></ol> |
| <b>備 考</b>  | <ul style="list-style-type: none"><li>このコースは、13:00～15:30の開催とさせていただきます。</li> <li>「クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向」コースとあわせてのご受講を推奨します。</li></ul>  |

## システム設計


## システム設計


|   |
|---|
| 日立製品                                      |
| <p>JP1</p> uCosminexus Application Server |
| HIRDB                                     |
| OpenTP1                                   |
| VOS3/VOS17/VOSK                           |
| XDM/PDM II                                |
| Hitachi Advanced Data Binder              |
| 日立ストレージ                                   |
| Pentaho ソフトウェア                            |
| デジタルトランスフォーメーション                          |
| IT 利活用                                    |
| イノベーション                                   |
| IoT/Al/Lumada                             |
| ビッグデータ                                    |
| データ分析                                     |
| サイバーセキュリティ                                |
| クラウド/サーバ仮想化                               |
| IT サービスマネジメント                             |
| システム基盤                                    |
| オープンソースソフトウェア(OSS)                        |
| Linux                                     |
| Microsoft                                 |
| ネットワーク                                    |
| セキュリティ                                    |
| データベース                                    |
| IT戦略・IS企画/システム設計                          |
| IT戦略・IS企画                                 |
| システム設計                                    |
| アプリケーション開発                                |
| Webアプリケーション                               |
| スマートデバイス                                  |
| オブジェクト指向/UML                              |
| 言語  |
| IT 基本                                     |
| IT 基本                                     |
| ハードウェア                                    |
| 情報処理資格                                    |
| 情報リテラシ                                    |
| プロジェクトマネジメント                              |
| コンプライアンス                                  |
| ビジネス/ヒューマン                                |
| グローバル                                     |






|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービス マネジメント                 |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT基本                           |
| IT基本                           |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

| SPJ062 システム設計   |
|---|
|  <h3>Javaによるテスト駆動開発演習</h3> <p>1日間</p>  |
| <p>テストを活用した開発手法であるテスト駆動開発について学習します。Javaによるアプリケーション開発を通して、テスト駆動開発の進め方やJUnitなどを利用した自動化の仕組みを学習します。</p>   |
| <p><b>到達目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト駆動開発の進め方を説明できる。</li> <li>・テスト駆動開発を進めるうえでの重要点を説明できる。</li> <li>・実装前にテストコードを作成し、テストファーストの開発を実践できる。</li> </ul>                  |
| <p><b>対象者</b> テスト駆動開発を利用して開発を進める方。</p>  |
| <p><b>前提知識</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「Javaプログラミング2-基本クラス編-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</li> <li>2. 「Javaモジュールテスト演習」コースを修了しているか、または同等の知識があること。</li> </ol> |
| <p><b>内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに</li> <li>2. テスト駆動開発</li> <li>3. 効率的にテスト駆動開発を進めるために</li> <li>4. テスト駆動開発演習</li> </ol>                                       |
| <p><b>備考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。</li> <li>・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</li> </ul>   |

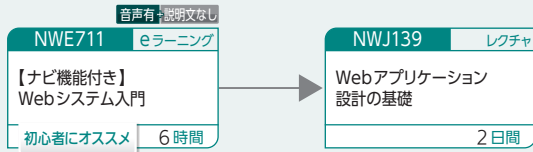
| SPJ035 システム設計  |
|--|
|  <h3>SeleniumによるWebアプリケーションテスト自動化演習</h3> <p>1日間</p>   |
| <p>SeleniumによりWebアプリケーションテストを自動化し、JUnitとSelenium WebDriverを用いてテストコードを作成して、効率的にテストを実施する方法について学習します。</p>   |
| <p><b>到達目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Selenium WebDriverのJava用APIを利用してブラウザの操作を行うプログラムを作成できる。</li> <li>・Selenium WebDriverとJUnitフレームワークを利用して、Webアプリケーションの自動テストを実施できる。</li> </ul> |
| <p><b>対象者</b> Webアプリケーションのテストを行う方、Webアプリケーション自動操作のツールを作成する方。</p>   |
| <p><b>前提知識</b> 「Javaプログラミング 2(基本クラス編)」コース/eラーニングコースおよび「Javaモジュールテスト演習」コースを修了しているか、または同等の知識があること。</p>   |
| <p><b>内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Seleniumとは</li> <li>2. Selenium WebDriver使用方法</li> <li>3. JUnitフレームワークを利用したWebアプリケーションのテスト作成</li> <li>4. Webアプリケーションのテスト自動化演習</li> </ol>  |
| <p><b>備考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。</li> <li>・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</li> </ul>  |

| SPE701 システム設計  |
|--|
|  <h3>&lt;eラーニング&gt;【ナビ機能付き】プログラムのテスト技法</h3> <p>平均7時間</p>  |
| <p>プログラムのテスト作業における手順、技法についての基本的な考え方を学習します。</p>   |
| <p><b>到達目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムのテストを実施する手順を説明できる。</li> <li>・テスト実施時に必要なテスト技法の概要と種類を説明できる。</li> </ul>   |
| <p><b>対象者</b> これからプログラムのテストに携わる方。</p>  |
| <p><b>前提知識</b> コンピュータおよびプログラミングの基礎知識があること。</p>   |
| <p><b>内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. プログラムテストの概要             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) テスト作業の位置づけ</li> <li>(2) テストの必要性</li> <li>(3) テスト作業の内容</li> </ol> </li> <li>2. プログラムのテスト技法             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) テストデータの設計方法 (ホワイトボックステスト、ブラックボックステスト)</li> <li>(2) テスト・デバッグの方法</li> </ol> </li> <li>3. テストの管理</li> <li>4. 修了試験</li> </ol> |
| <p><b>備考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終了日は9月30日になります。</li> <li>・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)</li> <li>・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li> </ul>   |

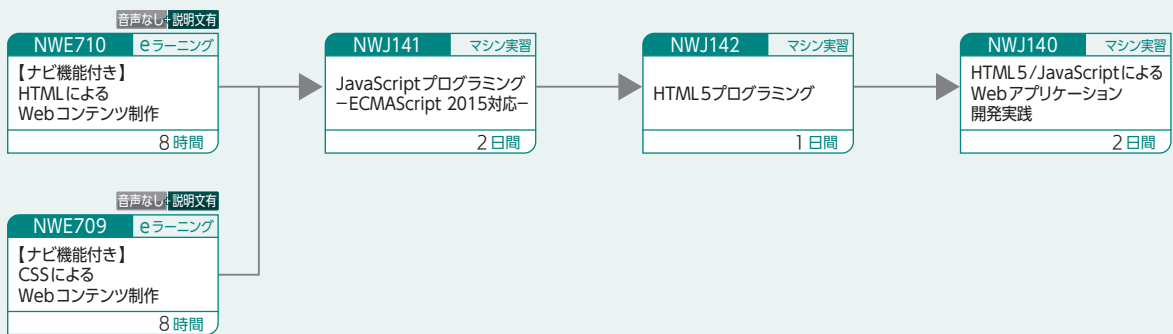
# Web アプリケーション

各種プログラミング言語を使用したWebアプリケーションの開発技術が修得できます。

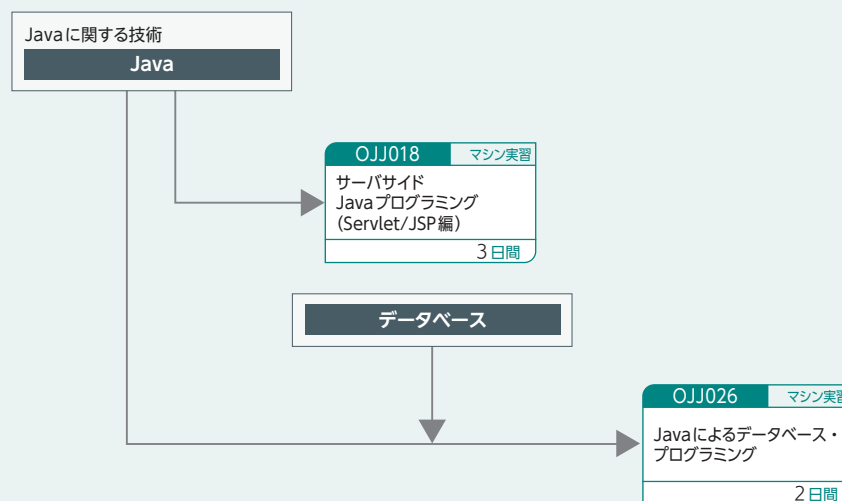
## ● Webアプリケーションの開発技術について幅広く知りたい方



## ● Webコンテンツを制作する方



## ● Java EEテクノロジーのトレーニング (サーバサイド・テクノロジーを使用してアプリケーションを開発する方)



音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。



目録テキスト  
目録による自己学習

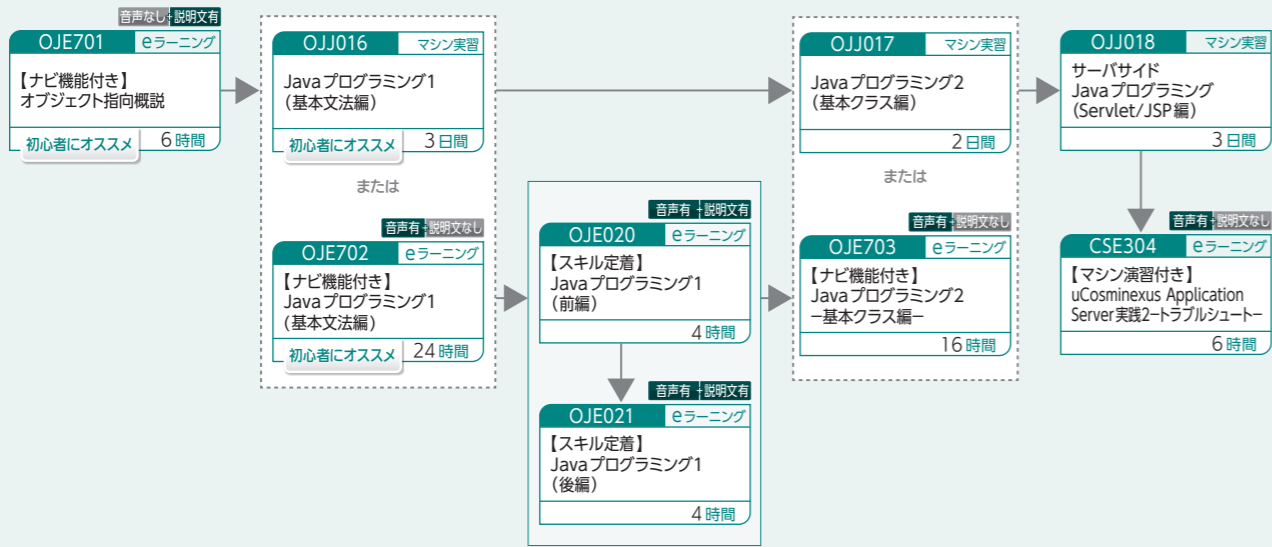
休講

休講  
今期の定期開催はありません

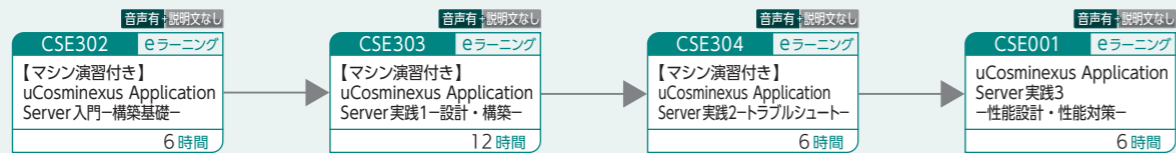
コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus  
Application Server
- HiRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/  
VOSK
- XDM/PDM II
- Hitachi Advanced  
Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho  
ソフトウェア
- デジタルトランス  
フォーメーション
- IT 利活用
- イノベーション
- IoT/AI/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバー  
セキュリティ
- クラウド/  
サーバ仮想化
- IT サービス  
マネジメント
- システム基盤
- オープンソース  
ソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画/  
システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション  
開発
- Web  
アプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/  
UML
- 言語
- IT 基本
- IT 基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクト  
マネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/  
ヒューマン
- グローバル

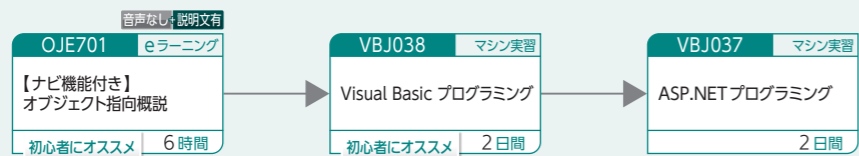
uCosminexus Application Serverを使用してWebアプリケーションの開発をする方



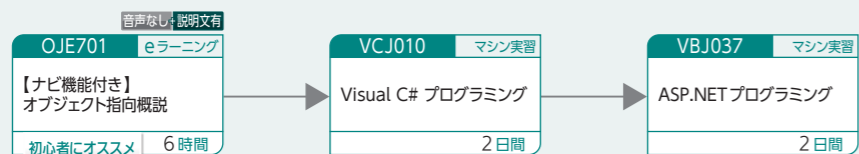
uCosminexus Application Serverを使用したWebシステムの性能設計・性能対策をする方



Visual Basicを使用してWebアプリケーションを開発する方



Visual C#を使用してWebアプリケーションを開発する方



- 音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

<eラーニング>[ナビ機能付き] Webシステム入門

Webシステムの構成要素と代表的なアプリケーション開発技術を学習します。加えて、開発時における留意点を学習します。

- 学習目標
  - Webシステムにおけるクライアントとサーバの役割を説明できる。
  - Webシステムにおけるサーバの種類と代表的な製品を説明できる。
  - Webシステムにおける開発時の留意点を説明できる。

対象者 これからWebシステムを構築、管理する方。これからWebアプリケーションを開発する方。

- 前提知識 特に必要なありません。
- 内容
  - Webシステムを取り巻く環境
  - 構成要素と動作イメージ
  - システム構成
  - アプリケーションの実装技術
  - 開発時の留意点
  - 修了試験

- 備考
  - 終了日は9月30日になります。
  - 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。）
  - このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
  - お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

Webアプリケーション設計の基礎

Webアプリケーション開発に関わるに当たり、設計の観点からの基本的な知識や留意点を学習する入門コースです。ユーザビリティ向上と実装難易度をふまえた画面設計、開発効率や保守性を考慮したフレームワークの必要性、実行効率向上のためのデータと画面設計の対応について学習します。

- 学習目標
  - Webシステムの画面設計時に、ユーザビリティ向上にあたっての留意点を説明できる。
  - 保守性、開発効率をふまえたフレームワーク導入の意義を説明できる。

対象者 これからWebアプリケーション開発に関わる方。【【ナビ機能付き】Webシステム入門】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識をお持ちの方。

- 前提知識 特に必要なありません。
- 内容
  - Webシステム概要
    - サーバ/クライアント
  - Webアプリケーションの設計とは
    - 設計フェーズの確認・機能要件/非機能要件
  - 画面設計
    - ユーザビリティへの配慮
    - ウィンドウサイズ/スクロールバー/画面部品/画面遷移
  - プログラムの設計
    - フレームワークの利用・セッション管理
  - データ設計
    - 画面設計との整合性
  - 多様化するクライアントの役割
    - 非同期通信、多様なデータ形式

- 備考
  - このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
  - このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

<eラーニング>[ナビ機能付き] CSSによるWebコンテンツ制作

CSSを用いたスタイルシートの効果的な指定方法を学習します。

- 学習目標 CSSを使ってWebコンテンツ（画面レイアウト）を作成できる。

対象者 JavaScriptやWebアプリケーション開発技術を学習する前提として、CSSを学ぶ方。

- 前提知識 【【ナビ機能付き】HTMLによるWebコンテンツ制作】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識をお持ちの方。
- 内容
  - CSSの概要
  - CSSの基本文法
  - CSSの主要なプロパティ
  - 修了試験

- 備考
  - 終了日は9月30日になります。
  - 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
  - このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
  - お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
  - HTML5によるWebコンテンツ作成については「HTML5プログラミング」コースにてご案内しています。

<eラーニング>[ナビ機能付き] HTMLによるWebコンテンツ制作

HTMLによるリンク、テーブル、フォームなどを用いたWebコンテンツの作成方法を学習します。

- 学習目標
  - HTML、スタイルシートの基礎を説明できる。
  - リンク、マルチメディアデータ、テーブル、フォームを用いたWebコンテンツをHTMLで作成できる。

対象者 JavaScriptやWebアプリケーション開発技術を学習する前提として、HTMLを学ぶ方。

- 前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。
- 内容
  - HTMLの概要
  - HTMLの基本文法（テーブル・フォーム・リンク等）
  - HTMLの主要な要素
  - 修了試験

- 備考
  - 終了日は9月30日になります。
  - 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
  - このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
  - お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
  - HTML5によるWebコンテンツ作成については「HTML5プログラミング」コースにてご案内しています。

JavaScriptプログラミング -ECMAScript 2015対応-

JavaScriptの基本文法と、DOM、イベント、ライブラリの使用方法、Ajaxについて学習します。従来の文法だけでなく、ECMAScript 2015からの文法・機能についても学習します。さらに演習を通して、JavaScriptを使用したアプリケーション開発の方法を学習します。

- 学習目標
  - JavaScriptの特徴を説明できる。
  - JavaScriptのライブラリを用いたアプリケーション開発ができる。
  - DOMの概要を説明できる。
  - Ajaxの概要を説明できる。

対象者 JavaScriptによるアプリケーション開発に携わる方。【【ナビ機能付き】HTMLによるWebコンテンツ制作】および【【ナビ機能付き】CSSによるWebコンテンツ制作】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。プログラミング経験があること。

- 前提知識 特に必要なありません。
- 内容
  - JavaScript概要
  - JavaScriptの基本文法
  - DOM
  - JavaScriptのイベント
  - JavaScriptのライブラリ
  - JavaScriptとAjax

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

HTML5プログラミング

HTML5の概要を知り、マシン実習を通してHTML5の使用方法を学習します。


- 学習目標
  - HTML5の各規格の概要を説明できる。
  - HTML5の新機能の概要を説明できる。

対象者 HTML5によるアプリケーション開発に携わる方。

- 前提知識 【JavaScriptプログラミング-ECMAScript 2015対応-】コースを修了しているか、または同等の知識があること。
- 内容
  - HTML5概要
  - HTML5によるマークアップ
    - HTML5の基本文法
    - HTML5で廃止になった要素
    - HTML5の新要素
    - 演習
  - HTML5のAPI
    - ドラッグ&ドロップAPI
    - FileAPI
    - WebSocketAPI
    - WebWorkersAPI
    - ServiceWorkerAPI
    - WebStrageAPI
    - HistoryAPI
    - 演習

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービスマネジメント                  |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT基本                           |
| IT基本                           |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

|   |
|---|
| <b>NWJ140</b> コンテンツ   |
|  <b>HTML5/JavaScriptによるWebアプリケーション開発実践</b>   |
| <b>2日間</b>  |
| HTML5、JavaScriptを用いたWebアプリケーションの設計と実装を学習します。設計演習では、テキストで紹介した技術だけでなくインターネットを用いた自主的な技術調査も実施し、適用技術を各自で検討します。また、検討結果を共有し、与えられた要件をどのように実現するかといった観点で議論します。実装演習では、各自の設計を実際の実装することで、選択した各技術に対する理解を深めます。 |
| <b>到達目標</b> HTML5、JavaScriptの技術を組み合わせ、Webアプリケーションの設計と実装ができる。  |
| <b>対象者</b> ITエンジニア職、若手・中堅の方でHTML5、JavaScript等の技術を組み合わせてWebアプリケーションを開発したい方。  |
| <b>前提知識</b> 「JavaScriptプログラミング基礎からAjaxまで」および「HTML5プログラミング」コースを修了しているか、または同等の知識があること。  |
| <b>内容</b> 1. Webアプリケーションの変遷<br>2. サンプルプログラムの確認<br>3. 設計演習<br>(1) 要件の確認<br>(2) アーキテクチャ、実装技術の調査検討<br>(3) 検討結果の共有<br>4. 実装演習<br>(1) プログラミング<br>(2) 成果物の共有  |
| <b>備考</b> ・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。<br>・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。  |

# スマートデバイス

スマートデバイスをビジネスに活用するための基礎知識や、アプリケーションを設計開発する技術が修得できます。

## ● スマートデバイスの導入を検討する方

|                      |
|----------------------|
| 音声有・説明文なし            |
| <b>NWE029</b> eラーニング |
| スマートデバイス活用システムの提案概説  |
| <b>3時間</b>           |

## ● スマートデバイスに対応したWebアプリケーションを設計する方

|                                  |
|----------------------------------|
| <b>NWJ144</b> マシン実習              |
| スマートフォンの特性を踏まえたWebアプリケーション設計の考え方 |
| <b>1日間</b>                       |

## ● iPhone・iPadアプリケーションを開発する方

|                           |
|---------------------------|
| <b>NWJ129</b> マシン実習       |
| 体験！iPhone・iPadアプリケーションの開発 |
| <b>1日間</b>                |

|                                |
|--------------------------------|
| <b>NWJ131</b> マシン実習            |
| 体験！SwiftではじめるiPhoneアプリケーションの開発 |
| <b>1日間</b>                     |

## ● Androidアプリケーションを開発する方

|                       |
|-----------------------|
| <b>NWJ135</b> マシン実習   |
| 体験！Androidアプリケーションの開発 |
| <b>1日間</b>            |

## ● スマートスピーカを用いたシステムの企画や開発に携わる方

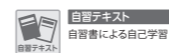
|                            |
|----------------------------|
| <b>IOJ011</b> レクチャ         |
| スマートスピーカの最新動向と社会インフラ適用の可能性 |
| <b>0.5日間</b>               |

**音声有・説明文有**：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**音声有・説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

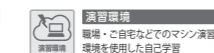
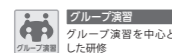
**音声なし・説明文有**：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におすすめ**：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。



コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.com.jp/>

|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービスマネジメント                  |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT基本                           |
| IT基本                           |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |



|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービス マネジメント                 |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT基本                           |
| IT基本                           |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

**NWE029 スマートデバイス**

**<eラーニング> スマートデバイス活用システムの提案概説**

平均3時間

スマートデバイスの概要と、エンタープライズ分野でスマートデバイスを活用するうえで検討すべきポイントを学習します。

**到達目標** スマートデバイスの特徴や、エンタープライズシステムへ適用するうえで検討すべき事項を説明できる。

**対象者** スマートデバイスに関心のある方、スマートデバイスの導入に携わる方。

**前置知識** 特に必要としません。

**内容** 1. スマートデバイスの概要  
2. 目的の明確化  
3. スマートデバイスの管理  
4. システムへの導入方式  
5. アプリケーション開発方式  
6. アプリケーション開発を支える技術

**備考** ・終了日は9月30日になります。  
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)  
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。  
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。  
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。  
・このコースは、「スマートデバイス概説と導入の考え方」eラーニングコースの内容改訂および名称を変更したものです。

**NWJ144 スマートデバイス**

**スマートフォンの特性を踏まえた Webアプリケーション設計の考え方**

1日間

スマートフォン用Webブラウザから利用するWebアプリケーションを開発するうえで必要となる、スマートフォンの特性を踏まえた画面設計や高速化手法の考え方を学習します。

**到達目標** ・スマートフォンに対応したWebアプリケーションにおける画面設計の留意点を説明できる。  
・非同期通信やキャッシュを用いて、スマートフォンに対応したWebアプリケーションを高速化する手法を説明できる。

**対象者** スマートフォンに対応したWebアプリケーションを設計する方。

**前置知識** 「Webアプリケーション設計の基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容** 1. スマートフォンに対応したWebアプリケーションとは  
(1) PC向けWebアプリケーションとの比較  
(2) ネイティブアプリケーションとの比較  
2. スマートフォンの特性を踏まえた画面設計  
(1) UIレイアウト・デザイン  
(2) 代表的なライブラリ  
3. Webアプリケーションの高速化  
(1) ネットワーク環境に留意したWebアプリケーション設計の考え方  
(2) 非同期通信と事前読み込み  
(3) キャッシュ  
4. セキュリティへの配慮

**備考** このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

**NWJ135 スマートデバイス**

**体験! Androidアプリケーションの開発**

1日間

PC環境を用いたAndroidアプリケーション開発の体験を通して、Androidアプリケーションの開発手順を学習します。

**到達目標** ・Androidが提供するアプリケーションフレームワークの役割を説明できる。  
・Androidアプリケーション開発の流れについて説明できる。  
これらAndroidを利用したアプリケーションの開発に携わる方。

**対象者** Java言語に関する基本的な知識があることが望ましい。

**前置知識** Java言語に関する基本的な知識があることが望ましい。

**内容** 1. Android開発環境構築  
2. Android開発環境構築  
3. Androidアプリケーション開発の流れ  
4. Androidアプリケーションの作成  
(1) 画面遷移を伴うプログラムを作る  
(2) バックグラウンドで動作するプログラムを作る  
(3) データストアへのアクセスを伴うプログラムを作る  
(4) 何らかの通知により起動するプログラムを作る

**備考** ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。  
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

**NWJ129 スマートデバイス**

**体験! iPhone・iPadアプリケーションの開発**

マシン実習 1日間

iPhone・iPadアプリケーションの開発に必要な基礎知識を学習するとともに、Objective-Cの基礎知識についても学習します。

**到達目標** ・iOSアーキテクチャの概要を説明できる。  
・iOSアプリケーション作成の手順を説明できる。

**対象者** iPhone・iPadアプリケーションを設計・開発する方。

**前置知識** 何らかの言語を使用したアプリケーション開発の経験があること。

**内容** 1. iOSアーキテクチャ  
2. Objective-C概要  
3. アプリケーション開発の手順  
4. 画面遷移  
5. 色々なUIの紹介

**備考** ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。  
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

**NWJ131 スマートデバイス**

**体験! Swiftではじめる iPhoneアプリケーションの開発**

マシン実習 1日間

Swiftを使って基本的なiPhoneアプリケーションを開発できるスキルを修得します。

**到達目標** Swiftを使って基本的なiPhoneアプリケーションを開発できる。

**対象者** これからiPhoneアプリケーションの開発をはじめの方。

**前置知識** 特に必要としません。

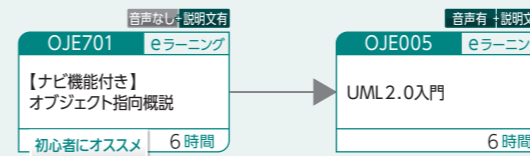
**内容** 1. iOS概要  
2. Swift概要  
3. アプリケーション開発の手順  
4. 画面遷移  
5. 基本的な機能の紹介

**備考** ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。  
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

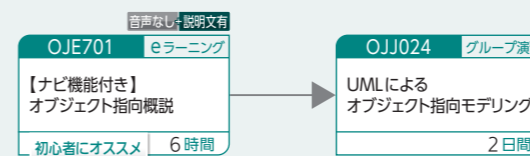
# オブジェクト指向/UML

オブジェクト指向の基本概念やUMLによるシステム分析、設計、プログラミングが修得できます。

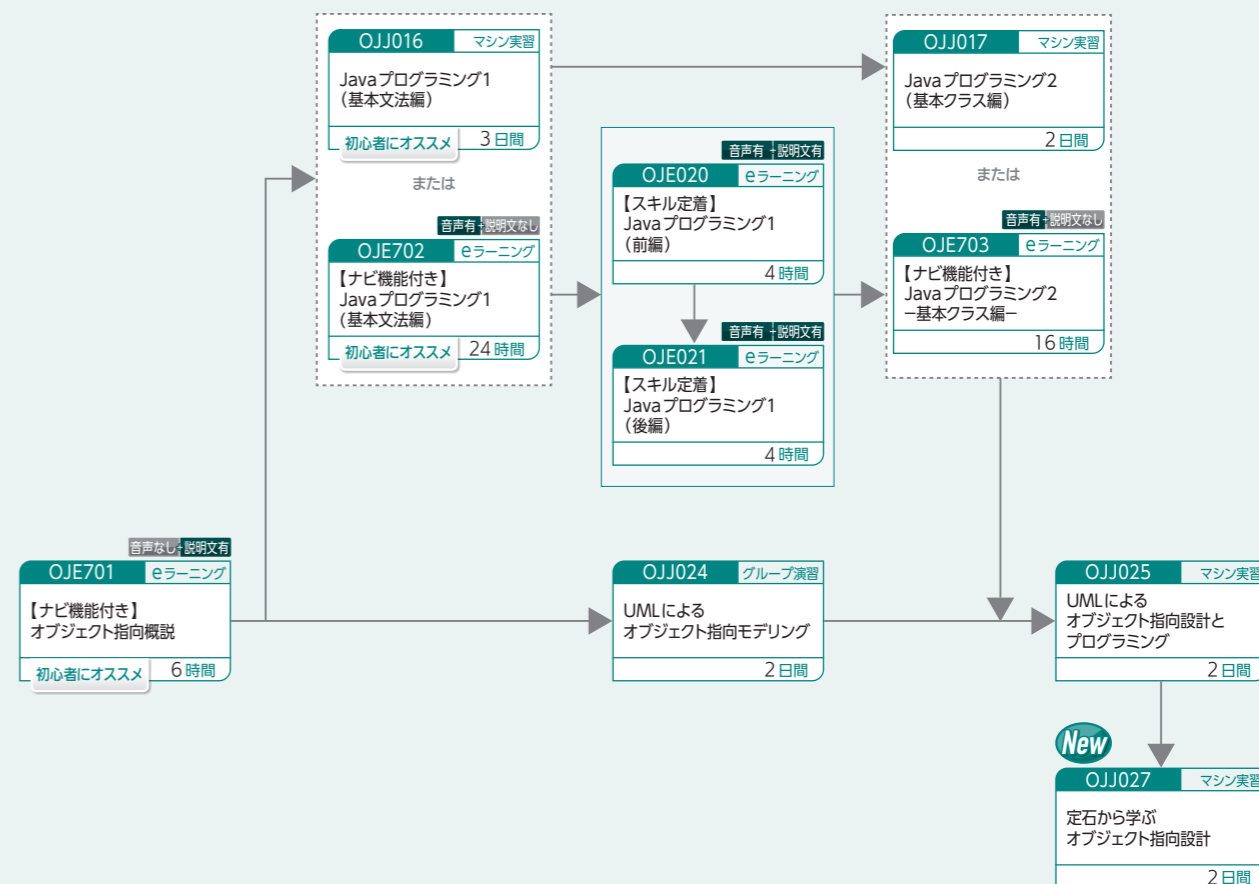
## UMLを初めて学習する方、または導入を検討する方



## UMLを適用してシステム分析をする方



## UMLを適用したシステム開発で設計・プログラミングをする方



- 音声有 + 説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有 + 説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし + 説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におススメ** : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービス マネジメント                 |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT基本                           |
| IT基本                           |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

**OJE701** オブジェクト指向/UML

**<eラーニング>【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説**

平均6時間

オブジェクト指向の考え方と基本概念、およびオブジェクト指向による開発の流れを学習します。

**到達目標**

- オブジェクト指向の基本概念（オブジェクト、クラス、カプセル化、継承、ポリモフィズムなど）を説明できる。
- オブジェクト指向による開発の流れを説明できる。
- UML (Unified Modeling Language) の役割、概要を説明できる。

**対象者** これからオブジェクト指向による情報システム開発に携わる方。

**前提知識** 特に必要としません。

**内容**

- オブジェクト指向概要
- UML概要
- オブジェクト指向の基本概念
  - オブジェクト
  - クラス
  - 関連
  - 継承
  - 多態性
- オブジェクト指向開発手順の概要
- 修了試験

**備考**

- 終了日は9月30日になります。
- 説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**OJE005** オブジェクト指向/UML

**<eラーニング>UML2.0入門**

平均6時間

UML (Unified Modeling Language) のユースケース図、クラス図、シーケンス図の書き方・読み方を学習します。

**到達目標** UML (Unified Modeling Language) の各種ダイアグラムについて、役割、記述内容を説明できる。

**対象者** これからUMLを利用する方。

**前提知識** 【【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

- UMLとは
- UMLリファレンス
- オブジェクト指向言語 (Java, C++) へのマッピング
- UMLの導入
- 修了試験

**備考**

- 終了日は9月30日になります。
- 説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**OJJ024** オブジェクト指向/UML

**UMLによるオブジェクト指向モデリング**

2日間

UMLを用いたモデリングによるシステム分析の手順および技法を紹介します。

**到達目標**

- UMLのクラス図を読み理解できる。
- 問題記述からUMLのクラス図を作成できる。

**対象者** オブジェクト指向を適用した情報システム開発プロジェクトに参画し、分析モデリングを行う方。

**前提知識** 【【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

- 背景
  - 現実とソフトウェアのギャップ
  - 要求とソフトウェアのギャップ
  - ソフトウェアの開発に必要な作業
- 思考方法
- モデリングスキルの修得
  - UMLを知る
  - UMLを読む
  - UMLを書く
  - モデルを作る
- モデリングスキルの向上

**備考**

- このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

**OJJ025** オブジェクト指向/UML

**UMLによるオブジェクト指向設計とプログラミング**

マシン実習 2日間

UMLで記述された分析モデルを設計モデルへ洗練する手順と、設計モデルをJavaでプログラミングする手順を紹介します。

**到達目標**

- UMLのクラス図、シーケンス図を基にJavaでプログラミングできる。
- 分析モデルを基に、実装できるレベルまで洗練し設計モデルを作成できる。

**対象者** オブジェクト指向を適用した情報システム開発プロジェクトに参画し、分析・設計モデリングを行う方。

**前提知識** 「UMLによるオブジェクト指向モデリング」コースを修了（同コースで作成した分析モデルを利用します）し、かつJavaのプログラミング経験があること。

**内容**

- モデリングの概要
  - モデルの価値
  - モデルの種類
  - モデラーの種類
- モデリングスキルの修得
  - UMLを知る
  - 分析モデルを読む
  - 分析モデルを洗練する
  - モデルを実装する
- モデリングスキルの向上

**備考**

- このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
- 前提コースとなる「UMLによるオブジェクト指向モデリング」コースで作成した分析モデルを設計・実装します。
- このコースでは、ソフトウェア開発支援ツールを使用します。
- このコースは、マシン実習を通し、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

**OJJ027** オブジェクト指向/UML

**定石から学ぶオブジェクト指向設計** **New**

マシン実習 2日間

アプリケーションの仕様変更・追加、およびリファクタリングを行う過程を通して、デザインパターンを理解し、より良いモデルやプログラムを作成する手順を学習します。

**到達目標**

- デザインパターンの学習方法を説明できる。
- クラス設計における留意点を説明できる。
- インタフェース、抽象クラスの効果的な使い方を説明できる。

**対象者** オブジェクト指向を適用した情報システム開発プロジェクトに参画し、設計・プログラミングを行う方。

**前提知識** 「UMLによるオブジェクト指向モデリング」コース、および「UMLによるオブジェクト指向設計とプログラミング」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

- 理論から学ぶ
  - 結合度と凝縮度など
- デザインパターンから学ぶ
  - 導入するうえでの留意点
  - 学習するうえでの留意点
- 導き出した設計・実装におけるセオリー

**備考** このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

**OJJ024** オブジェクト指向/UML

**UMLによるオブジェクト指向モデリング**

2日間

UMLを用いたモデリングによるシステム分析の手順および技法を紹介します。

**到達目標**

- UMLのクラス図を読み理解できる。
- 問題記述からUMLのクラス図を作成できる。

**対象者** オブジェクト指向を適用した情報システム開発プロジェクトに参画し、分析モデリングを行う方。

**前提知識** 【【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

- 背景
  - 現実とソフトウェアのギャップ
  - 要求とソフトウェアのギャップ
  - ソフトウェアの開発に必要な作業
- 思考方法
- モデリングスキルの修得
  - UMLを知る
  - UMLを読む
  - UMLを書く
  - モデルを作る
- モデリングスキルの向上

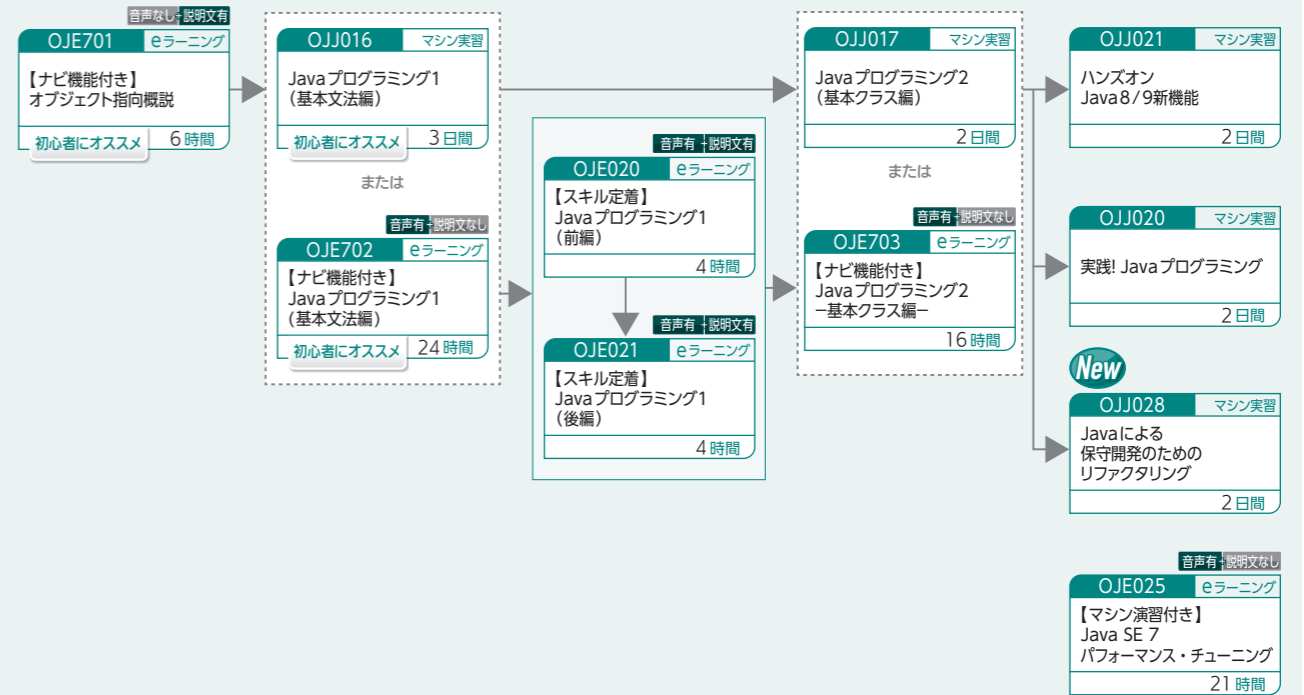
**備考**

- このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

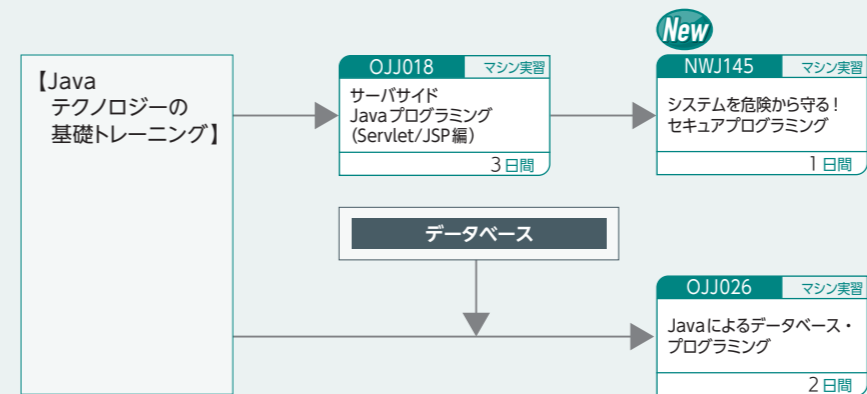
# 言語

各種プログラミング言語を使用したプログラム開発を行うために必要な基本文法や、プログラミング技術が修得できます。

## ● Java言語を使用してプログラムを開発する方 (Javaテクノロジーの基礎トレーニング)



## ● サーバサイド・テクノロジーを使用してアプリケーションを開発する方 (Java EEテクノロジーのトレーニング)



## ● Python言語を使ってアプリケーション開発する方

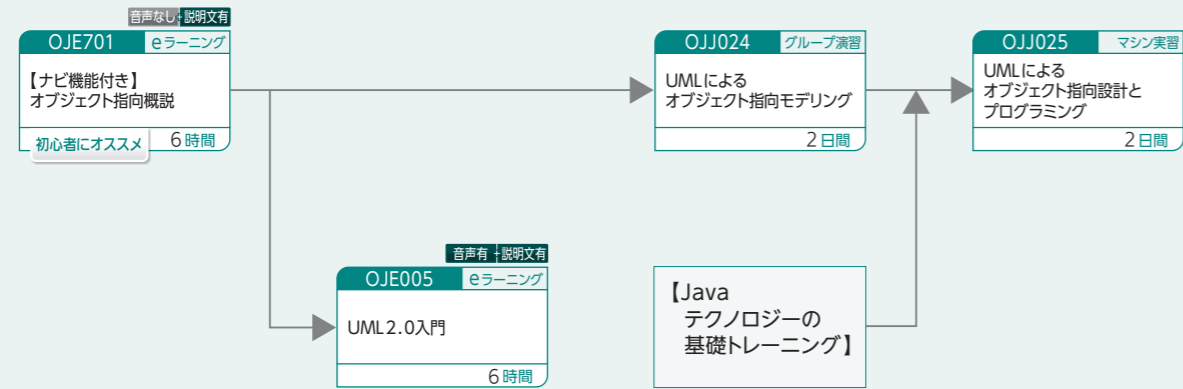
**DBJ107** **マシン実習** 0から始めるPython入門 -データ分析での活用をテーマとして- 2日間

- 音声有 + 説明文有** : 学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有 + 説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし + 説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

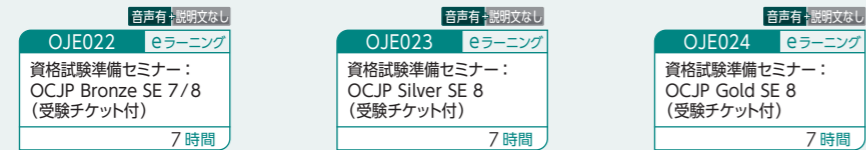
**初心者におすすめ** : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。



### ● Javaオブジェクト技術を使用してシステムを分析・設計する方



### ● Java言語の資格取得をめざす方



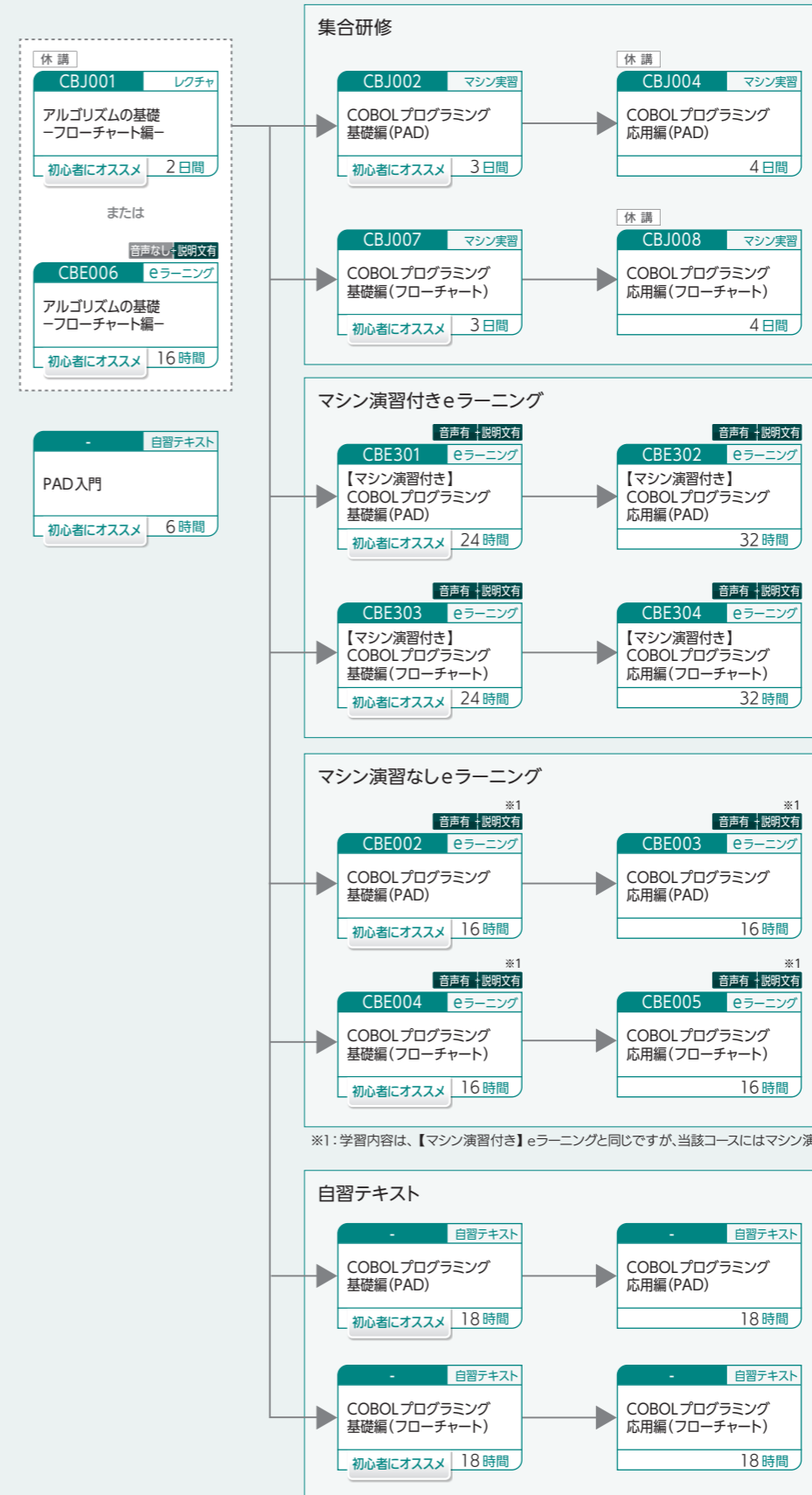
**音声有・説明文有**：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**音声有・説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

**音声なし・説明文有**：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

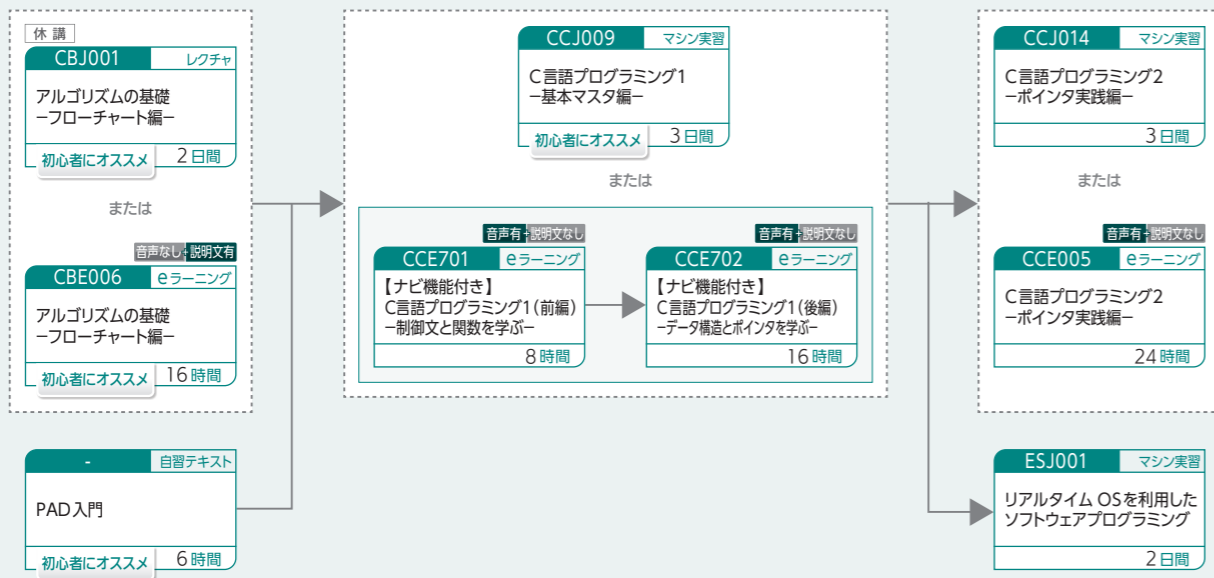
**初心者におすすめ**：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

### ● COBOLを使用してプログラムを開発する方

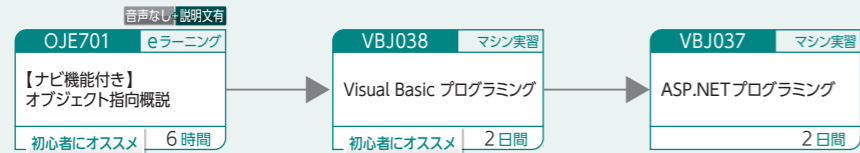


※1：学習内容は、【マシン演習付き】eラーニングと同じですが、当該コースにはマシン演習はありません。

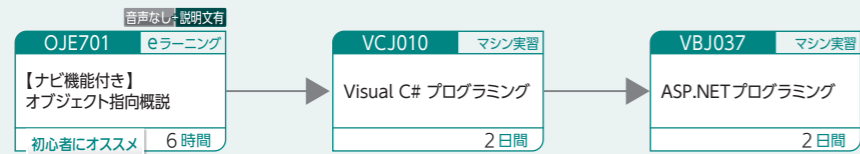
● C言語を使用してプログラムを開発する方



● Visual Basic を使用してアプリケーションを開発する方



● Visual C# を使用してアプリケーションを開発する方



- 音声有・説明文有**：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有**：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におススメ**：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

**CBJ001** 共通 **アルゴリズムの基礎 - フローチャート編 -** 2日間

プログラミングに必要なアルゴリズムの基礎を、フローチャートを用いた演習を通して学習します。

**到達目標**

- フローチャートの処理記号を説明できる。
- 合計と平均を求めるアルゴリズムを説明できる。
- 最大値、最小値を求めるアルゴリズムを説明できる。
- スタックのアルゴリズムを説明できる。
- 素数を求めるアルゴリズムを説明できる。
- 探索（逐次探索、二分探索）のアルゴリズムを説明できる。
- 整列（交換法、選択法、挿入法）のアルゴリズムを説明できる。
- 文字列検索のアルゴリズムを説明できる。

**対象者** プログラム設計やプログラム開発を行う方。

**前提知識** 特に必要としません。

**内容**

- アルゴリズムとは
- フローチャートの書き方
- 基本的なアルゴリズム
  - 合計・平均
  - 最大値・最小値
- 探索
  - 逐次探索
  - 二分探索
- 整列
  - 整列（交換法）
  - 整列（選択法）
  - 整列（挿入法）
- 文字列の処理

**備考** このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。

**OJE702** Java **<eラーニング>【ナビ機能付き】Javaプログラミング1（基本文法編）** 平均24時間

Java言語の基本文法とオブジェクト指向プログラミングの基本知識を学習します。演習ファイルをダウンロードし、ご自身のPCでの実機演習を通して、より理解を深めます。

**到達目標**

- Java言語の特徴を説明できる。
- Java言語でオブジェクト指向プログラミングができる。

**対象者** これからJava言語でアプリケーションを開発する方。

**前提知識** 【【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

- Javaの概要
- 基本文法
- クラスとオブジェクト
- 継承
- ポリモフィズム
- 例外処理
- 修了試験

**備考**

- 終了日は9月30日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。）
- ダウンロードした演習ファイルを使って演習するためには、お使いのPCにJDKがインストールされている必要があります。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、集合研修「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース(OJJ016)とは内容が異なります。

**CBE006** 共通 **<eラーニング>アルゴリズムの基礎 - フローチャート編 -** 平均16時間

プログラミングに必要なアルゴリズムの基本的な考え方をフローチャートを利用して学習します。

**到達目標**

- フローチャートの処理記号を説明できる。
- 合計・平均、最大値・最小値など基本的なアルゴリズムを説明できる。
- 基本的な探索、整列のアルゴリズムを説明できる。
- 文字列検索のアルゴリズムを説明できる。
- コントロールブレイク、マッチングのアルゴリズムを説明できる。

**対象者** プログラム設計やプログラム開発を行う方。

**前提知識** 特に必要としません。

**内容**

- アルゴリズムとは
- フローチャートの書き方
- 基本的なアルゴリズム
  - 合計、平均の求め方
  - 最大値、最小値の求め方
  - スタックの考え方
  - 素数の求め方
- 探索
  - 逐次探索
  - 二分探索
- 整列
  - 整列（交換法）
  - 整列（選択法）
  - 整列（挿入法）
- 事務処理での活用
  - コントロールブレイク
  - ファイル併合、照合、更新
- 修了試験

**備考**

- 終了日は9月30日になります。
- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**OJJ016** Java **Javaプログラミング1（基本文法編）** 3日間

Java言語の基本文法とオブジェクト指向プログラミングの基本知識を、マシン実習を通して学習します。

**到達目標**

- Java言語の基本的な文法が説明できる。
- Java言語でオブジェクト指向プログラミングができる。

**対象者** これからJava言語でアプリケーションを開発する方。

**前提知識** コンピュータの基礎知識があること。

**内容**

- Java言語とははじめ
- 基本文法
- クラス
- インタフェース
- ポリモフィズム
- 継承
- 例外
- パッケージ

**備考**

- このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、Java SE7以降に対応しています。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースは、【【ナビ機能付き】Javaプログラミング1（基本文法編）】eラーニングコース(OJE702)とは内容が異なります。

**OJE020** Java **<eラーニング>【スキル定着】Javaプログラミング1（前編）** 平均4時間

複数のテーマでJavaプログラム作成とリファクタリングの演習を繰り返し、プログラミングスキルの定着化をめざします。

**到達目標**

- オブジェクト指向を考慮した、拡張性、保守性の高いJavaプログラムを作成できる。
- Javaプログラム作成の際に、必要な情報を自身で調べることができる。

**対象者**

- これからJava言語によるアプリケーション開発を行う方。
- Javaのプログラミングスキルの定着をめざす方。

**前提知識** 「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

- 分岐構文、繰り返し構文を用いたプログラム
- オブジェクト指向プログラミング
- 例外を用いたプログラム
- パッケージを用いたプログラム
- プログラムのリファクタリング

**備考**

- 終了日は9月30日になります。
- 説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースはスマートデバイス（iPad推奨）に対応しています。

**OJE021** Java **<eラーニング>【スキル定着】Javaプログラミング1（後編）** 平均4時間

複数のテーマでJavaプログラム作成とリファクタリングの演習を繰り返し、プログラミングスキルの定着化をめざします。また、単純なプログラミングスキルだけでなく、設計書に基づいて仕様を把握するスキルの向上を同時にめざします。

**到達目標**

- オブジェクト指向を考慮した、拡張性、保守性の高いJavaプログラムを作成できる。
- Javaプログラム作成の際に、設計書を元に必要な情報を自身で調べてプログラムを作成できる。
- Javaのプログラミングスキルの定着をめざす方。

**対象者**

- これからJava言語によるアプリケーション開発を行う方。
- Javaのプログラミングスキルの定着をめざす方。

**前提知識** 「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

- オブジェクト指向プログラミング
- プログラムのリファクタリング
- 設計書に基づいたプログラム

**備考**

- 終了日は9月30日になります。
- 説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースはスマートデバイス（iPad推奨）に対応しています。





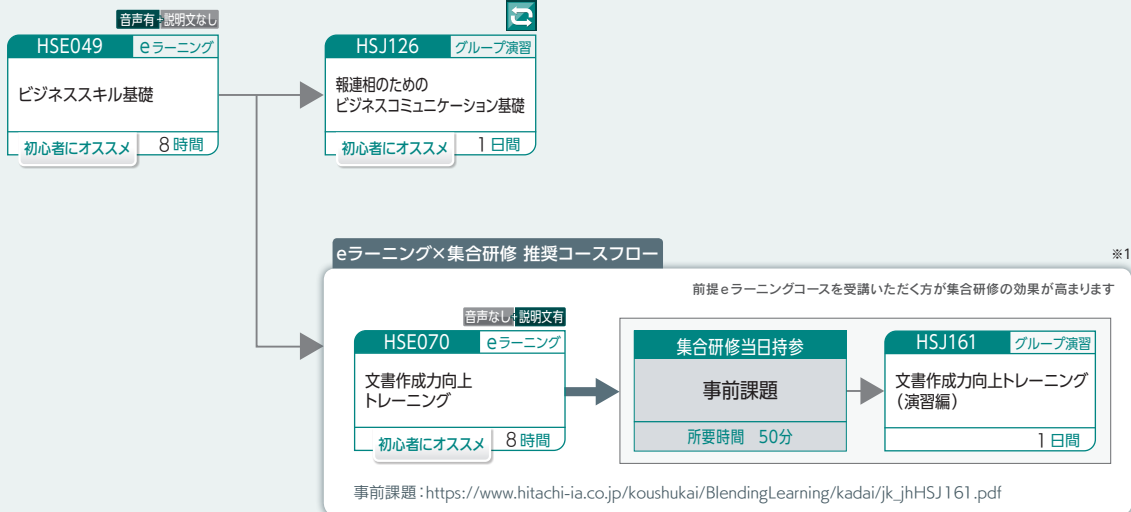


- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDM II
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho ソフトウェア
- デジタルトランスフォーメーション
- IT 利活用
- イノベーション
- IoT/AI/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバーセキュリティ
- クラウド/サーバ仮想化
- IT サービス マネジメント
- システム基盤
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画/システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション開発
- Webアプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT基本
- IT基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

|  |
|--|
| <b>VBJ037</b> VB/VC#   |
| <b>ASP.NETプログラミング</b>  |
| 2日間  |
| <p>ASP.NETによるWebアプリケーションを作成するために必要な知識を学習します。</p>   |
| <p><b>到達目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ASP.NET Webフォームの特徴を理解し、Webアプリケーションのライフサイクルやポストバックについて説明できる。</li> <li>・サーバコントロールを使用したWebフォームを作成できる。</li> <li>・ステート管理の重要性を理解し、セッション管理をするWebアプリケーションを作成できる。</li> <li>・ASP.NET MVCについて概要を説明できる。</li> <li>・ADO.NETによるデータベース連携の実装方法を説明できる。</li> </ul> |
| <p><b>対象者</b></p> <p>これからASP.NETによるWebアプリケーションの開発に携わる方。</p>  |
| <p><b>前提知識</b></p> <p>インターネットの基礎知識があり、「Visual Basic プログラミング」または「Visual C# プログラミング」コースを修了しているか、または同等の知識があること。</p>   |
| <p><b>内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ASP.NET概要</li> <li>2. Webフォームの基本実装</li> <li>3. サーバコントロール</li> <li>4. ステート管理</li> <li>5. ASP.NET MVCの基本</li> <li>6. ADO.NETの利用</li> </ol>  |
| <p><b>備考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。</li> <li>・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</li> <li>・使用するプログラミング言語は、Visual Basic.NETおよびVisual C# から選択可能です。</li> </ul>  |

|   |
|---|
| <b>VCJ010</b> VB/VC#  |
| <b>Visual C#プログラミング</b>   |
| 2日間   |
| <p>.NET Frameworkの概要、Visual C#によるオブジェクト指向プログラミングの基本文法、およびVisual StudioによるWindowsアプリケーションの作成方法を、マシン実習を通して学習します。</p>  |
| <p><b>到達目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスやオブジェクト、継承などオブジェクト指向の基本用語を説明できる。</li> <li>・Visual C#の基本文法を理解し、オブジェクト指向プログラミング(クラスの定義・継承)ができる。</li> <li>・例外処理の必要性を理解し、例外処理を実装できる。</li> <li>・Windowsアプリケーションの制作から実行までの一連の操作ができる。</li> </ul> |
| <p><b>対象者</b></p> <p>Visual C#によるオブジェクト指向プログラミングを身につけたい方、これからVisual C#を使用してアプリケーションを開発する方。</p>  |
| <p><b>前提知識</b></p> <p>Windowsの基本的な操作経験があり、「【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p>  |
| <p><b>内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Visual Studioを利用したアプリケーション開発</li> <li>2. Visual C#プログラミングの基本</li> <li>3. Visual C#の基本文法</li> <li>4. クラス</li> <li>5. 構造体</li> <li>6. 継承</li> <li>7. 例外処理</li> </ol>                           |
| <p><b>備考</b></p> <p>このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。</p>   |

## ● 社会人としての基本動作を身につけたい方



※1: 必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組みため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。集合研修は事前課題に取り組むことが前提となります。

### 🔄 学び直しシリーズ eラーニングとしてもご提供しています。

過去に受講した研修内容を再確認したい方や、既に業務を遂行するために独学で学び実践しているが、知識の抜け漏れがないかを体系的に学ぶことで整理したい方にお薦めのeラーニングです。集合研修のレクチャ部分を収録、抜粋しダイジェストコースとして、eラーニングで提供します。

- 音声有+説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有+説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし+説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におすすめ** : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。



自学テキスト  
目録による自己学習

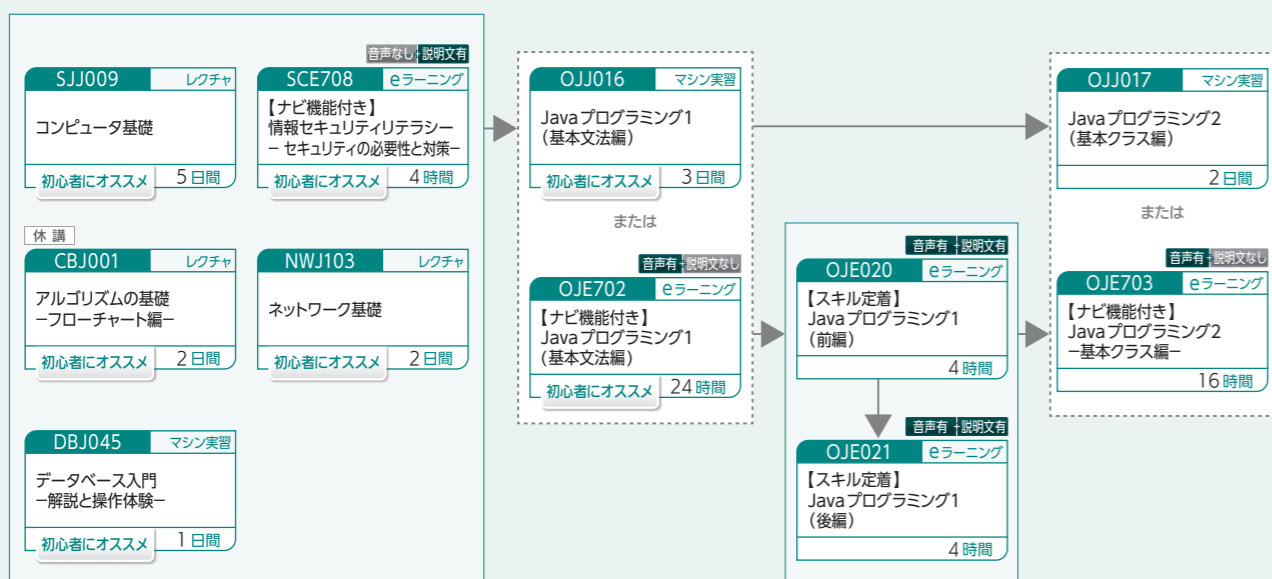
休講

休講  
今期の定期開催はありません

● ITの基礎力を身につけたい方



● ITエンジニアをめざす方



- 音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシ実習: マシンを使用した研修 | グループ演習: グループ演習を中心とした研修 | レクチャ: 座学による研修 | 演習環境: 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習 | 研修室自習型: 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 | eラーニング: インターネット接続による自己学習

**SJJ009 IT基本**  
**コンピュータ基礎**  
 5日間  
 情報処理技術者として必要となる基礎知識を学習します。  
**到達目標** コンピュータの動作原理や情報システムの仕組みを説明できる。  
**対象者** これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。  
**前提知識** 特に必要としません。  
**内容** 1. コミュニケーションネットワークとコンピュータシステム 2. 入出力装置 3. 記憶装置 4. 中央処理装置 5. オペレーティングシステム 6. 情報処理技術の基礎と理論 7. ファイル編成とデータベース 8. 通信ネットワークシステム 9. 情報セキュリティ 10. 情報システムとRASIS 11. 情報システムの開発  
**備考** このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

**SJE701 IT基本**  
**<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-ハードウェア編-**  
 平均8時間  
 情報処理技術者として必要なハードウェアの基礎知識を学習します。  
**到達目標** 情報処理技術者として必要なハードウェアの基礎知識について説明できる。  
**対象者** これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。  
**前提知識** 特に必要としません。  
**内容** 1. コンピュータとは (1) コンピュータとは (2) コンピュータの5大基本機能(装置) 2. 記憶装置 (1) 記憶階層 (2) 主記憶装置 (3) 半導体(IC)メモリ (4) ハードディスクドライブ(HDD) (5) その他の補助記憶装置 3. CPU (1) CPUの構成要素 (2) 制御装置 (3) 演算装置 (4) バス (5) CPUの高速化 4. 入出力装置 (1) 入力装置 (2) 出力装置 (3) I/O (Input/Output) 5. 修了試験  
**備考** ・終了日は9月30日になります。  
 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)  
 ・このコースは、集合研修「コンピュータ基礎」コース(SJJ009)と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。  
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。  
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**SJE702 IT基本**  
**<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-ソフトウェア編-**  
 平均8時間  
 情報処理技術者として必要なソフトウェアの基礎知識を学習します。  
**到達目標** 情報処理技術者として必要なソフトウェアの基礎知識について説明できる。  
**対象者** これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。  
**前提知識** 特に必要としません。  
**内容** 1. OSの制御プログラム (1) タスク管理 (2) 記憶管理 (3) ジョブ管理 (4) ファイル管理 2. 言語 (1) 言語プロセッサ (2) 主記憶装置 (3) プログラムの作成と実行 (4) プログラム言語の種類とプログラムの性質 3. 修了試験  
**備考** ・終了日は9月30日になります。  
 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)  
 ・このコースは、集合研修「コンピュータ基礎」コース(SJJ009)と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。  
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。  
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**SJE703 IT基本**  
**<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-情報の基礎理論編-**  
 平均4時間  
 情報処理技術者として必要な情報基礎理論の基礎知識を学習します。  
**到達目標** 情報処理技術者として必要な情報基礎理論の基礎知識について説明できる。  
**対象者** これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。  
**前提知識** 特に必要としません。  
**内容** 1. データの表現 2. 基数 3. 固定小数点数 4. 浮動小数点数 5. 精度 6. 論理演算 7. 論理回路 8. 修了試験  
**備考** ・終了日は9月30日になります。  
 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)  
 ・このコースは、集合研修「コンピュータ基礎」コース(SJJ009)と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。  
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。  
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。


**SJE704 IT基本**  
**<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-情報システム編-**  
 平均4時間  
 情報処理技術者として必要な情報システムの基礎知識を学習します。  
**到達目標** 情報処理技術者として必要な情報システムの基礎知識について説明できる。  
**対象者** これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。  
**前提知識** 特に必要としません。  
**内容** 1. システム構成 (1) システムの形態 (2) 処理形態 2. システム性能 (1) CPUの性能 (2) システムの性能 3. システムの信頼性 (1) RASIS (2) 稼働率 (3) 高信頼システム (4) RAID 4. 修了試験  
**備考** ・終了日は9月30日になります。  
 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)  
 ・このコースは、集合研修「コンピュータ基礎」コース(SJJ009)と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。  
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。  
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**SJJ030 IT基本**  
**アプリケーション開発者のための文字コード入門-アプリケーションの文字化けを防ぐ-**  
 マシ実習 1日間  
 代表的な文字セットと符号化方式、バイナリエディタを使用した演習を通して学習します。外字や重複文字、改行コードの扱いなど、文字コードが関係するさまざまな問題について扱います。  
**到達目標** ・代表的な符号化文字集合と符号化方式を説明できる。  
 ・符号化された文字の実体を確認し文字化けの理由を説明できる。  
 ・外字や改行コード、全角半角など、ソフトウェアでの文字の扱いに関する諸問題を説明できる。  
**対象者** コンピュータ上での文字の扱いに関する基礎的な知識を修得したい方。  
**前提知識** Windowsの基本的な操作経験があり、2進数や16進数への基数変換について理解していること。  
**内容** 1. はじめに 2. コンピュータでの文字の扱い方 3. 代表的な符号化文字集合 4. 代表的な文字符号化方式 5. 文字コードが関係する諸問題 6. プログラミング言語と文字コード  
**備考** このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

自習テキスト: 自習者による自己学習 | 休講: 休講の定期開催はありません



|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDMⅡ                       |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービスマネジメント                  |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT基本                           |
| IT基本                           |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

| ESE701 IT基本   |
|---|
|  <b>&lt;eラーニング&gt;【ナビ機能付き】<br/>組込みシステムとは</b>   |
| <b>平均7時間</b>  |
| <b>組込みシステム技術者の全体的な技術基礎力向上のために、組込みシステムで用いられるハードウェア、ソフトウェアに関する技術を学習します。</b>   |
| <b>到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組込みシステムで用いられるハードウェア、ソフトウェアに関して説明できる。</li> <li>・組込みソフトウェアが動作するしくみを説明できる。</li> <li>・リアルタイムOSの概要を説明できる。</li> </ul>   |
| <b>対象者</b> 組込みソフトウェアを開発する方。   |
| <b>前提知識</b> 特に必要としません。  |
| <b>内 容</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 組込みシステムとは</li> <li>2. 組込みシステムの基本アーキテクチャ</li> <li>3. 組込み製品の開発に必要な知識</li> <li>4. マイコンを利用したソフトウェア開発の基礎               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 組込みソフトの開発環境</li> <li>(2) 入出力制御の概要</li> <li>(3) 割り込み</li> </ol> </li> <li>5. リアルタイムOSとは               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) リアルタイムOSの機能と役割</li> <li>(2) タスクと状態遷移</li> <li>(3) リアルタイムOSの種類</li> <li>(4) リアルタイムOSを使用したシステム構築手順</li> </ol> </li> <li>6. 組込みシステムに関する新技術</li> <li>7. 修了試験</li> </ol> |
| <b>備 考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終了日は9月30日になります。</li> <li>・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。）</li> <li>・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li> </ul>  |

# ハードウェア

サーバ・ストレージシステムの構築・活用に有効なハードウェア技術が修得できます。

## ● SAN関連業務に携わる方

音声有・説明文なし

**SJE705** eラーニング

【ナビ機能付き】  
SAN概説

5 時間

## ● サーバ・ストレージシステムを活用・構築する方

音声有・説明文なし

**SJE016** eラーニング

Fibre Channel概説  
—日立ストレージ・ホストの接続を理解するために—

4 時間

**New** 音声有・説明文なし

**SJE028** eラーニング

SCSI入門  
—ストレージインタフェースを理解するために—

2 時間

## ● サーバ製品の設計・システム構築に携わる方

音声有・説明文なし

**SJE018** eラーニング

SAS (Serial Attached SCSI)  
入門—ストレージインタフェースを理解するために—

2 時間

## ● HDDを含む製品の開発に携わる方

音声有・説明文なし

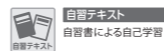
**SJE017** eラーニング

SATA入門

2 時間

- 音声有・説明文有**：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有**：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

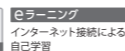
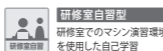
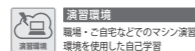
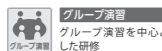
**初心者におすすめ**：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。



**休 講** 休 講  
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.com.jp/>

|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDMⅡ                       |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービスマネジメント                  |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT基本                           |
| IT基本                           |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |



|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利用                          |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービス管理                      |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT基本                           |
| IT基本                           |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクト管理                       |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

## ハードウェア

| SJE075   | ハードウェア  |
|--|---|
|  | <b>&lt;eラーニング&gt;【ナビ機能付き】SAN概説</b>  |
| 平均4時間  |   |
| SAN (Storage Area Network) およびSAN関連製品に携わっていくためのSANの基礎知識を学習します。 |   |
| <b>到達目標</b>  | SANの全体像が説明できる。  |
| <b>対象者</b>   | SAN関連業務に従事する方。  |
| <b>前提知識</b>  | 特に必要としません。  |
| <b>内 容</b>   | 1. SANとは<br>2. SANトポロジ (FC-SAN、IP-SAN)<br>3. SANソリューション バックアップ、ディザスタリカバリ、ストレージ仮想化<br>4. ストレージ管理<br>5. NAS (Network Attached Storage) / データアーカイブ<br>6. 修了試験                                      |
| <b>備考</b>  | ・終了日は9月30日になります。<br>・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)<br>・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。<br>・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 |

| SJE016  | ハードウェア  |
|---|---|
|   | <b>&lt;eラーニング&gt;Fibre Channel概説 - 日立ストレージ・ホストの接続を理解するために-</b>  |
| 平均4時間   |   |
| ホスト・ストレージ間接続に使用されるFibre Channelについての基礎知識を学習します。 |   |
| <b>到達目標</b>                                     | ・Fibre Channelに関する用語を使いこなすことができる。<br>・サーバ・ストレージ製品で使用されているFibre Channel技術を理解できる。   |
| <b>対象者</b>                                      | 日立ストレージに関する業務を担当している方。  |
| <b>前提知識</b>                                     | 特に必要としません。  |
| <b>内 容</b>                                      | 1. Fibre Channelの歴史と特徴<br>2. Fibre Channelハードウェア<br>(1) メディアタイプ<br>(2) FC-Switch<br>3. Fibre Channel基本事項<br>(1) トポロジ<br>(2) アドレス構成<br>4. 覚えておきたいキーワード<br>5. Fibre Channel詳細/各レイヤの詳細<br>6. 修了試験  |
| <b>備考</b>                                       | ・終了日は9月30日になります。<br>・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)<br>・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。<br>・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 |

| SJE028  | ハードウェア  |
|---|---|
|   | <b>&lt;eラーニング&gt;SCSI入門 - ストレージインタフェースを理解するために-</b> <span style="float:right">New</span>  |
| 平均2時間   |   |
| ホスト (UNIX・Windows) とストレージ (HDD) を接続するインタフェースであるSCSIの基本事項について、パラレルSCSIを中心に学習します。 |   |
| <b>到達目標</b>   | ・パラレルSCSIのシステム構成を説明できる。<br>・パラレルSCSIの動作概要を説明できる。<br>・シリアルSCSIの種類と特徴を説明できる。  |
| <b>対象者</b>  | サーバ・ストレージなどSCSIを使用した製品に関する業務を担当する方。   |
| <b>前提知識</b>   | 特に必要としません。  |
| <b>内 容</b>  | 1. SCSIとは<br>2. パラレルSCSI概要<br>(1) ハードウェア<br>(2) システム構成<br>3. パラレルSCSI詳細<br>(1) コマンド体系<br>(2) ステータス、センスデータ<br>(3) コマンドシーケンス<br>4. 関連事項<br>Command Queuing機能<br>5. 修了試験                               |
| <b>備考</b>   | ・終了日は9月30日になります。<br>・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)<br>・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。<br>・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 |

| SJE017                     | ハードウェア  |
|----------------------------|---|
|                            | <b>&lt;eラーニング&gt;SATA入門</b>   |
| 平均2時間                      |   |
| SATAの機能・システム構成・内部動作を学習します。 |   |
| <b>到達目標</b>                | ・SATAの機能、システム構成を説明できる。<br>・SATAの内部動作を理解できる。   |
| <b>対象者</b>                 | サーバ・ストレージなどHDDを使用した製品に関する業務を担当する方。  |
| <b>前提知識</b>                | PCの構造を理解していること。   |
| <b>内 容</b>                 | 1. ATAとは<br>(1) 歴史<br>(2) ATAのシステムのな位置づけ<br>2. パラレルATA<br>(1) システム構成<br>(2) レジスタインタフェース<br>(3) 基本的なシーケンス<br>3. シリアルATA (SATA)<br>(1) パラレルATAとの異なり/システム構成<br>(2) 基本的なシーケンス<br>(3) 独自機能 コマンドキューイング・SAS連携<br>4. 修了試験 |
| <b>備考</b>                  | ・終了日は9月30日になります。<br>・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)<br>・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。<br>・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。                   |

| SJE018          | ハードウェア  |
|-----------------|---|
|                 | <b>&lt;eラーニング&gt;SAS (Serial Attached SCSI) 入門 - ストレージインタフェースを理解するために-</b>  |
| 平均2時間           |   |
| SASの基本知識を学習します。 |   |
| <b>到達目標</b>     | ・SASのシステム構成を説明できる。<br>・SASの動作概要を説明できる。<br>・SASのSATAデバイスサポートを説明できる。  |
| <b>対象者</b>      | サーバ・ストレージなどHDDを使用した製品に関する業務を担当する方。  |
| <b>前提知識</b>     | 特に必要としません。  |
| <b>内 容</b>      | 1. SASとは<br>2. SAS概要<br>(1) ハードウェア<br>(2) システム構成<br>3. SAS詳細<br>(1) データ転送<br>(2) コマンド体系<br>(3) コマンドシーケンス<br>4. SASのSATAデバイスサポート<br>5. 修了試験  |
| <b>備考</b>       | ・終了日は9月30日になります。<br>・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)<br>・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。<br>・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 |

# 情報処理資格

資格取得に向け、知識や解答技法が修得できます。

## ● 情報処理技術者試験の取得をめざす方

### <eラーニング 春期秋期試験対策>

**【IP】ITパスポート試験対策**

**SJE284** eラーニング

集中演習 2019年 秋期 ITパスポート試験【IP】

80 時間

**【FE】基本情報技術者試験対策**

**SJE286** eラーニング

集中演習 2019年 秋期 基本情報技術者試験【FE】

200 時間

**【AP】応用情報技術者試験対策**

**SJE287** eラーニング

集中演習 2019年 秋期 応用情報技術者試験【AP】

162 時間

**【SG】情報セキュリティマネジメント試験対策**

**SJE285** eラーニング

集中演習 2019年 秋期 情報セキュリティマネジメント試験【SG】

162 時間

**【SC】情報処理安全確保支援士試験対策**

**SJE288** eラーニング

集中演習 2019年 秋期 情報処理安全確保支援士試験【SC】

162 時間

### <eラーニング 秋期試験対策>

**【NW】ネットワークスペシャリスト試験対策**

**SJE289** eラーニング

集中演習 2019年 秋期 ネットワークスペシャリスト試験【NW】

162 時間

**【ST】ITストラテジスト試験対策**

**SJE290** eラーニング

集中演習 2019年 秋期 ITストラテジスト試験【ST】

162 時間

**【SA】システムアーキテクト試験対策**

**SJE291** eラーニング

集中演習 2019年 秋期 システムアーキテクト試験【SA】

162 時間

**【SM】ITサービスマネージャ試験対策**

**SJE292** eラーニング

集中演習 2019年 秋期 ITサービスマネージャ試験【SM】

162 時間

- 音声有 + 説明文有** : 学習の説明画面とナレーション (説明テキスト) で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有 + 説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし + 説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声なし + 説明文なし** : 学習の説明画面で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におすすめ** : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

## 資格 情報処理技術者試験・情報処理安全確保支援士試験

情報処理技術者試験、および情報処理安全確保支援士試験は、「情報処理の促進に関する法律」に基づき、情報処理に関する一定水準以上の「知識・技能」を持っていることを、経済産業省が認定する国家試験です。

詳しくは、日立インフォメーションアカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/license/hcom/index.html>

自己学習による自己学習 **休講** 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利用                          |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービス管理                      |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT基本                           |
| IT基本                           |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクト管理                       |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

マシン実習 マシンを使用しながらの研修 グループ演習 グループ演習を中心とした研修 レクチャ 座学による研修 演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習 研修室自習型 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 eラーニング インターネット接続による自己学習

|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービスマネジメント                  |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| <b>IT 基本</b>                   |
| IT 基本                          |
| ハードウェア                         |
| <b>情報処理資格</b>                  |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

<集合研修 春期秋期試験対策>

**【AP】応用情報技術者試験対策**

|                                     |               |      |
|-------------------------------------|---------------|------|
| <b>New</b>                          | <b>SJD002</b> | レクチャ |
| 応用情報技術者試験【AP】対策講座 (合格に必要な知識と解答力を養う) |               |      |
| 3日間                                 |               |      |

→

|                                       |               |      |
|---------------------------------------|---------------|------|
| <b>New</b>                            | <b>SJD003</b> | レクチャ |
| 応用情報技術者試験【AP】対策講座 (試験直前に模擬試験で得点をUPする) |               |      |
| 1日間                                   |               |      |

**【SC】情報処理安全確保支援士試験対策**

|   |               |      |
|---|---------------|------|
| <b>New</b>                              | <b>SJD006</b> | レクチャ |
| 情報処理安全確保支援士試験【SC】対策講座 (合格に必要な知識と解答力を養う) |               |      |
| 3日間                                     |               |      |

→

|   |               |      |
|---|---------------|------|
| <b>New</b>                                | <b>SJD007</b> | レクチャ |
| 情報処理安全確保支援士試験【SC】対策講座 (試験直前に模擬試験で得点をUPする) |               |      |
| 1日間                                       |               |      |

<集合研修 秋期試験対策>

**【NW】ネットワークスペシャリスト試験対策**

|   |               |      |
|---|---------------|------|
| <b>New</b>                                | <b>SJD008</b> | レクチャ |
| ネットワークスペシャリスト試験【NW】対策講座 (合格に必要な知識と解答力を養う) |               |      |
| 3日間                                       |               |      |

→

|   |               |      |
|---|---------------|------|
| <b>New</b>                                  | <b>SJD009</b> | レクチャ |
| ネットワークスペシャリスト試験【NW】対策講座 (試験直前に模擬試験で得点をUPする) |               |      |
| 1日間   |               |      |

**【ST】ITストラテジスト試験対策**  
**【SA】システムアーキテクト試験対策**  
**【SM】ITサービスマネージャ試験対策**

|                                   |               |      |
|-----------------------------------|---------------|------|
| <b>New</b>                        | <b>SJD001</b> | レクチャ |
| 高度試験受験者向け論文の書き方・問題文の読み方から論文構成方法まで |               |      |
| 1日間                               |               |      |

→

|  |               |      |
|--|---------------|------|
| <b>New</b>   | <b>SJD010</b> | レクチャ |
| 秋期高度試験【SM】【SA】【ST】対策講座 実践！論文を書く・添削指導で合格するための論述力を養成する |               |      |
| 2日間  |               |      |

**SJE284** 春秋期実施試験対策

**<eラーニング>**  
**集中演習 2019年 秋期**  
**ITパスポート試験【IP】**

平均80時間

eラーニングを使用し、ITパスポート試験【IP】の合格に必要な知識を学習します。

**到達目標** ・職業人が共通に備えておくべき情報技術に関する基礎的な知識を持ち、担当業務に対して情報技術を活用できる。  
 ・ITパスポート試験【IP】に合格できる実力を身につけることができる。

**対象者** ITパスポート試験【IP】合格をめざす方。

**前提知識** 情報技術の基礎知識があること。

**内容** 1. 基礎事項の学習  
 2. 問題演習  
 3. 小テスト

**備考** ・説明画面で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)  
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。  
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。  
 ・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。  
 ・学習開始日15営業日前を過ぎるキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。  
 ・このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。終了日はすべて10月30日になります。サービス有効期間は開始日によって異なります。2019年7月4日開始分は119日間、2019年7月18日開始分は105日間、2019年8月1日開始分は91日間、2019年8月29日開始分は63日間、2019年9月12日開始分は49日間ご利用できます。

**SJE286** 春秋期実施試験対策

**<eラーニング>**  
**集中演習 2019年 秋期**  
**基本情報技術者試験【FE】**

平均200時間

eラーニングを使用し、基本情報技術者試験【FE】の合格に必要な知識を学習します。

**到達目標** ・高度IT人材となるために必要な基本知識・技能を持ち、実践的な活用能力を身につけることができる。  
 ・基本情報処理技術者試験【FE】に合格できる実力を身につけることができる。

**対象者** 基本情報技術者試験【FE】合格をめざす方。

**前提知識** ITパスポート試験【IP】に合格しているか、あるいは基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事していること。

**内容** 1. 基礎事項の学習  
 2. 問題演習  
 3. 小テスト

**備考** ・説明画面で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)  
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。  
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。  
 ・このコースは、アイテック社より提供いたします。  
 ・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。  
 ・学習開始日15営業日前を過ぎるキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。  
 ・このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。終了日はすべて10月30日になります。サービス有効期間は開始日によって異なります。2019年7月4日開始分は119日間、2019年7月18日開始分は105日間、2019年8月1日開始分は91日間、2019年8月29日開始分は63日間、2019年9月12日開始分は49日間ご利用できます。

**SJE287** 春秋期実施試験対策

**<eラーニング>**  
**集中演習 2019年 秋期**  
**応用情報技術者試験【AP】**

平均162時間

eラーニングを使用し、応用情報技術者試験【AP】の合格に必要な知識を学習します。

**到達目標** ・高度IT人材となるために必要な応用的知識・技能を持ち、高度IT人材としての方向性を確立できる。  
 ・応用情報技術者試験【AP】に合格できる実力を身につけることができる。

**対象者** 応用情報技術者試験【AP】合格をめざす方。

**前提知識** 基本情報技術者試験【FE】に合格しているか、あるいは基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事していること。

**内容** 1. 基礎事項の学習  
 2. 問題演習  
 3. 小テスト

**備考** ・説明画面で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)  
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。  
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。  
 ・このコースは、アイテック社より提供いたします。  
 ・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。  
 ・学習開始日15営業日前を過ぎるキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。  
 ・このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。終了日はすべて10月30日になります。サービス有効期間は開始日によって異なります。2019年7月4日開始分は119日間、2019年7月18日開始分は105日間、2019年8月1日開始分は91日間、2019年8月29日開始分は63日間、2019年9月12日開始分は49日間ご利用できます。

**SJE285** 春秋期実施試験対策

**<eラーニング>**  
**集中演習 2019年 秋期**  
**情報セキュリティマネジメント試験【SG】**

平均162時間

eラーニングを使用し、情報セキュリティマネジメント試験【SG】の合格に必要な知識を学習します。

**到達目標** ・高度IT人材となるために必要な基本知識・技能を持ち、実践的な活用能力を身につけることができる。  
 ・情報セキュリティマネジメント試験【SG】に合格できる実力を身につけることができる。

**対象者** 情報セキュリティマネジメント試験【SG】の合格をめざす方。

**前提知識** ITパスポート試験【IP】に合格しているか、同等の知識/技術があること。

**内容** 1. 基礎事項の学習  
 2. 問題演習  
 3. 小テスト

**備考** ・説明画面で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)  
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。  
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。  
 ・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。  
 ・学習開始日15営業日前を過ぎるキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。  
 ・このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。終了日はすべて10月30日になります。サービス有効期間は開始日によって異なります。2019年7月4日開始分は119日間、2019年7月18日開始分は105日間、2019年8月1日開始分は91日間、2019年8月29日開始分は63日間、2019年9月12日開始分は49日間ご利用できます。

**SJE288** 春秋期実施試験対策

**<eラーニング>**  
**集中演習 2019年 秋期**  
**情報処理安全確保支援士試験【SC】**

平均162時間

eラーニングを使用し、情報処理安全確保支援士試験【SC】の合格に必要な知識を学習します。

**到達目標** ・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、情報セキュリティ技術の専門家として情報セキュリティ管理を支援できる。  
 ・情報処理安全確保支援士試験【SC】に合格できる実力を身につけることができる。

**対象者** 情報処理安全確保支援士試験【SC】合格をめざす方。

**前提知識** 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはセキュリティ機能の企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

**内容** 1. 基礎事項の学習  
 2. 問題演習  
 3. 小テスト

**備考** ・説明画面で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)  
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。  
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。  
 ・このコースは、アイテック社より提供いたします。  
 ・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。  
 ・学習開始日15営業日前を過ぎるキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。  
 ・このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。終了日はすべて10月30日になります。サービス有効期間は開始日によって異なります。2019年7月4日開始分は119日間、2019年7月18日開始分は105日間、2019年8月1日開始分は91日間、2019年8月29日開始分は63日間、2019年9月12日開始分は49日間ご利用できます。

**SJE289** 秋期実施試験対策

**<eラーニング>**  
**集中演習 2019年 秋期**  
**ネットワークスペシャリスト試験【NW】**

平均162時間

eラーニングを使用し、ネットワークスペシャリスト試験【NW】の合格に必要な知識を学習します。

**到達目標** ・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、ネットワーク技術の専門家として、情報システムへの技術支援を行うことができる。  
 ・ネットワークスペシャリスト試験【NW】に合格できる実力を身につけることができる。

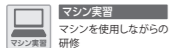
**対象者** ネットワークスペシャリスト試験【NW】合格をめざす方。

**前提知識** 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはネットワークシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

**内容** 1. 基礎事項の学習  
 2. 問題演習  
 3. 小テスト

**備考** ・説明画面で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)  
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。  
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。  
 ・このコースは、アイテック社より提供いたします。  
 ・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。  
 ・学習開始日15営業日前を過ぎるキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。  
 ・このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。終了日はすべて10月30日になります。サービス有効期間は開始日によって異なります。2019年7月4日開始分は119日間、2019年7月18日開始分は105日間、2019年8月1日開始分は91日間、2019年8月29日開始分は63日間、2019年9月12日開始分は49日間ご利用できます。

|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービスマネジメント                  |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| <b>IT 基本</b>                   |
| IT 基本                          |
| ハードウェア                         |
| <b>情報処理資格</b>                  |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |



**マシンの実習**  
マシンを使用しながらの研修

**グループ演習**  
グループ演習を中心とした研修

**レクチャ**  
座学による研修

**演習環境**  
職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習

**研修室自習型**  
研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習

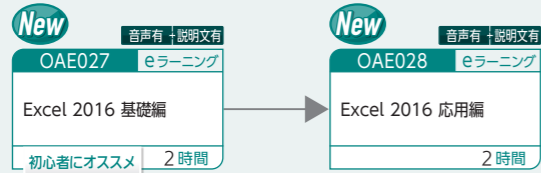
**eラーニング**  
インターネット接続による自己学習

**自己テスト**  
自習者による自己学習

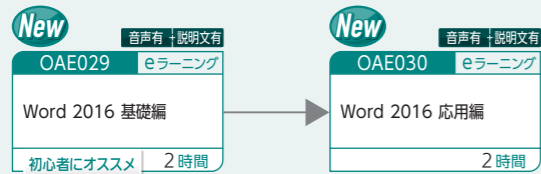
**休講**  
休講の定期開催はありません



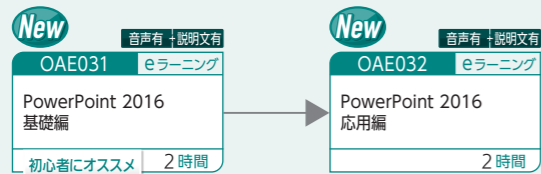
## Excelを使用して表やグラフを作成する方



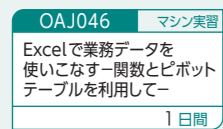
## Wordを使用して文書を作成する方



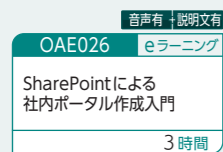
## PowerPointを使用してプレゼンテーション資料を作成する方



## Excelを使用してデータ活用をしたい方



## SharePointを使用してポータルサイトを作成する方



- 音声有 + 説明文有** : 学習の説明画面とナレーション (説明テキスト) で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有 + 説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし + 説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におすすめ** : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

**OAE027** Office 2016  
**<eラーニング>**  
**Excel 2016 基礎編** New  
 平均2時間

Microsoft Excel 2016の基礎的な知識・操作方法を学習します。

- 到達目標**
- データを入力できる。
  - 表の体裁を整えることができる。
  - 目的に応じて印刷できる。
  - 表計算機能を活用できる。

**対象者** Microsoft Excel 2016を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。

**前提知識** 特に必要としません。

- 内容**
- はじめに
  - Microsoft Excel 2016の画面
  - データ入力の基本
  - 目的に応じた印刷
  - 表計算機能の活用
  - その他の便利な機能

- 備考**
- サービス有効期限は30日間です。
  - 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft Excel 2016がなくても学習できます。)
  - このコースは、ライトワークス社より提供いたします。
  - コース実施に必要なご受講者の個人情報をライトワークス社へ提供いたします。
  - このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
  - お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**OAE028** Office 2016  
**<eラーニング>**  
**Excel 2016 応用編** New  
 平均2時間

Microsoft Excel 2016について、より深い知識や効率的な操作方法を学習します。

- 到達目標**
- グラフを作成できる。
  - データベースを管理できる。
  - 関数を利用できる。
  - マクロを作成できる。

**対象者** Microsoft Excel 2016の基礎的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに高度な学習を必要とする方。

**前提知識** 「Excel 2016 基礎編」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

- 内容**
- はじめに
  - グラフの作成
  - データベースの管理
  - 関数の基礎知識
  - マクロの作成
  - Excel VBA
  - Excel Online

- 備考**
- サービス有効期限は30日間です。
  - 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft Excel 2016がなくても学習できます。)
  - このコースは、ライトワークス社より提供いたします。
  - コース実施に必要なご受講者の個人情報をライトワークス社へ提供いたします。
  - このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
  - お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**OAJ046** Office 2010  
**<eラーニング>**  
**Excelで業務データを使いこなす関数とピボットテーブルを利用して**  
 1日間

関数を使用してExcelにインポートしたダウンロードデータを整形する方法、ピボットテーブルを使用してデータの集計や分析をする方法を学習します。

- 到達目標**
- 関数を効率よく入力し、データの整形ができる。
  - ピボットテーブルを使用してデータの集計や分析ができる。

**対象者** 業務で扱うデータを活用できるようになりたい方、Excelの関数やピボットテーブルを使いこなしたい方。

**前提知識** Microsoft Excelの基礎的な知識・操作方法を修得されていること。

- 内容**
- ダウンロードデータをExcelにインポートする
  - 関数を効率よく入力する
  - ダウンロードデータを整形する
  - ピボットテーブルを使用してデータの集計や分析をする

**備考** このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

※開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

**OAE029** Office 2016  
**<eラーニング>**  
**Word 2016 基礎編** New  
 平均2時間

Microsoft Word 2016の基礎的な知識・操作方法を学習します。

- 到達目標**
- 文書を作成できる。
  - 文書の体裁を整えることができる。
  - 文書の保存と印刷ができる。

**対象者** Microsoft Word 2016を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。

**前提知識** 特に必要としません。

- 内容**
- はじめに
  - Microsoft Word 2016の画面
  - 文書作成の基本
  - 文書の体裁を整える
  - 文書の保存と印刷
  - その他の便利な機能

- 備考**
- サービス有効期限は30日間です。
  - 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft Word 2016がなくても学習できます。)
  - このコースは、ライトワークス社より提供いたします。
  - コース実施に必要なご受講者の個人情報をライトワークス社へ提供いたします。
  - このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
  - お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**OAE030** Office 2016  
**<eラーニング>**  
**Word 2016 応用編** New  
 平均2時間

Microsoft Word 2016について、より深い知識や効率的な操作方法を学習します。

- 到達目標**
- 図形や画像を挿入できる。
  - 文書の校閲ができる。
  - 長文文書を作成できる。

**対象者** Microsoft Word 2016の基礎的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに高度な学習を必要とする方。

**前提知識** 「Word 2016 基礎編」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

- 内容**
- はじめに
  - 図形や画像の挿入
  - 文書の校閲
  - 長文文書作成のサポート
  - Word Online
  - その他の便利な機能

- 備考**
- サービス有効期限は30日間です。
  - 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft Word 2016がなくても学習できます。)
  - このコースは、ライトワークス社より提供いたします。
  - コース実施に必要なご受講者の個人情報をライトワークス社へ提供いたします。
  - このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
  - お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**OAE031** Office 2016  
**<eラーニング>**  
**PowerPoint 2016 基礎編** New  
 平均2時間

Microsoft PowerPoint 2016の基礎的な知識・操作方法を学習します。

- 到達目標**
- プレゼンテーションを構成できる。
  - スライドの作成とデザインができる。
  - 図形や画像を挿入できる。
  - スライドショーの準備と実行ができる。

**対象者** Microsoft PowerPoint 2016を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。


**前提知識** 特に必要としません。

- 内容**
- はじめに
  - Microsoft PowerPoint 2016の画面
  - プレゼンテーションの構成
  - スライドの作成とデザイン
  - 図形や画像の挿入
  - スライドショーの準備と実行
  - その他の便利な機能


- 備考**
- サービス有効期限は30日間です。
  - 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft PowerPoint 2016がなくても学習できます。)
  - このコースは、ライトワークス社より提供いたします。
  - コース実施に必要なご受講者の個人情報をライトワークス社へ提供いたします。
  - このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
  - お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDM II
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho ソフトウェア
- デジタルトランスフォーメーション
- IT 利活用
- イノベーション
- IoT/AI/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバーセキュリティ
- クラウド/サーバ仮想化
- IT サービス マネジメント
- システム基盤
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画/システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション開発
- Webアプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT基本
- IT基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

OAE032 Office 2016



**<eラーニング>**  
**PowerPoint 2016 応用編**



Microsoft PowerPoint 2016について、より深い知識や効率的な操作方法を学習します。

**到達目標**

- ・表やグラフを挿入できる。
- ・アニメーションを活用できる。
- ・動画を挿入、編集できる。
- ・マスターとテンプレートを活用できる。

**対象者** Microsoft PowerPoint 2016の基礎的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに高度な学習を必要とする方。

**前提知識** 「PowerPoint 2016 基礎編」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

**内容**

1. はじめに
2. 表やグラフの挿入
3. アニメーションの活用
4. 動画の挿入、編集
5. マスターとテンプレートの活用
6. PowerPoint Online
7. その他の便利な機能

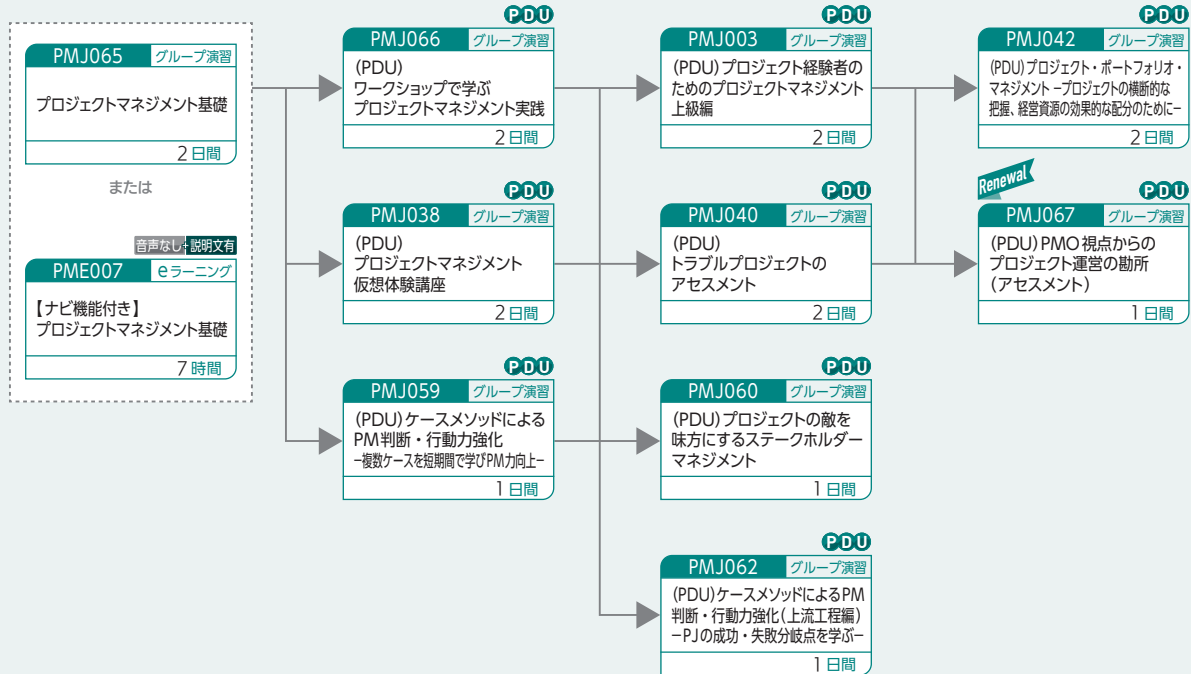
**備考**

- ・サービス有効期限は30日間です。
- ・音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft PowerPoint 2016がなくても学習できます。)
- ・このコースは、ライトワークス社より提供いたします。
- ・コース実施に必要となる受講者の個人情報をライトワークス社へ提供いたします。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

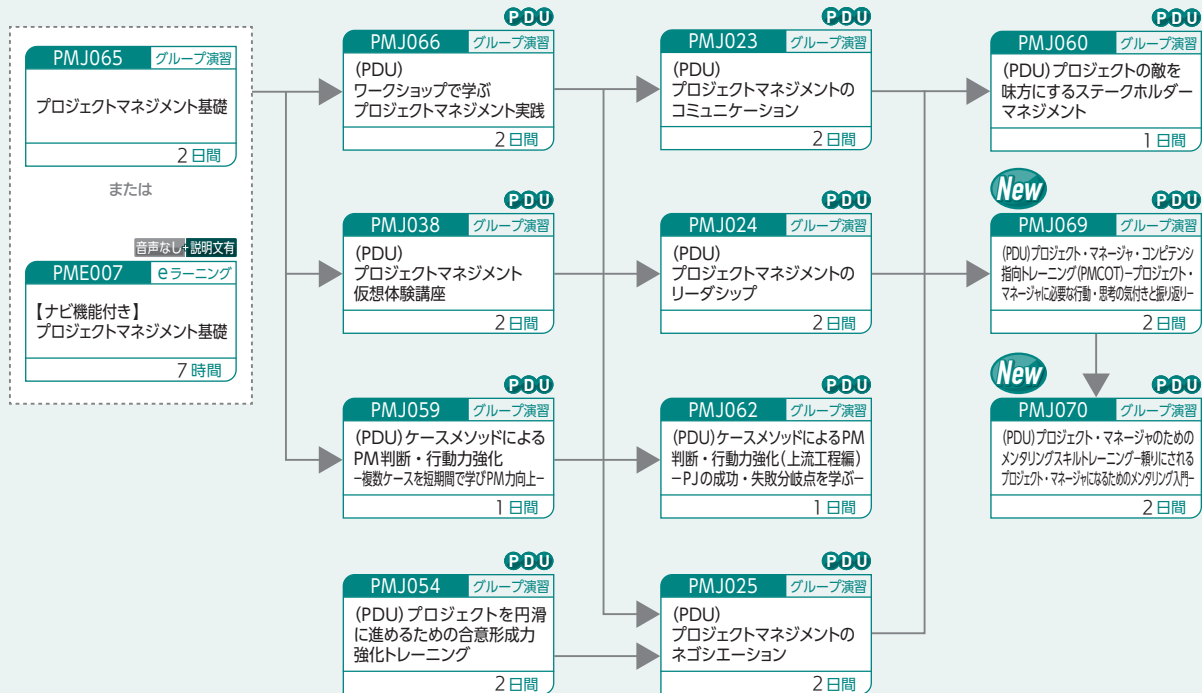
# プロジェクトマネジメント

情報システム開発プロジェクトの計画・実行を行うために必要な知識や手順、技法が修得できます。

## ● プロジェクトマネージャをめざす方



## ● プロジェクトマネージャに必要なヒューマン系能力向上をめざす方



- 音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



目録テキスト  
目録による自己学習

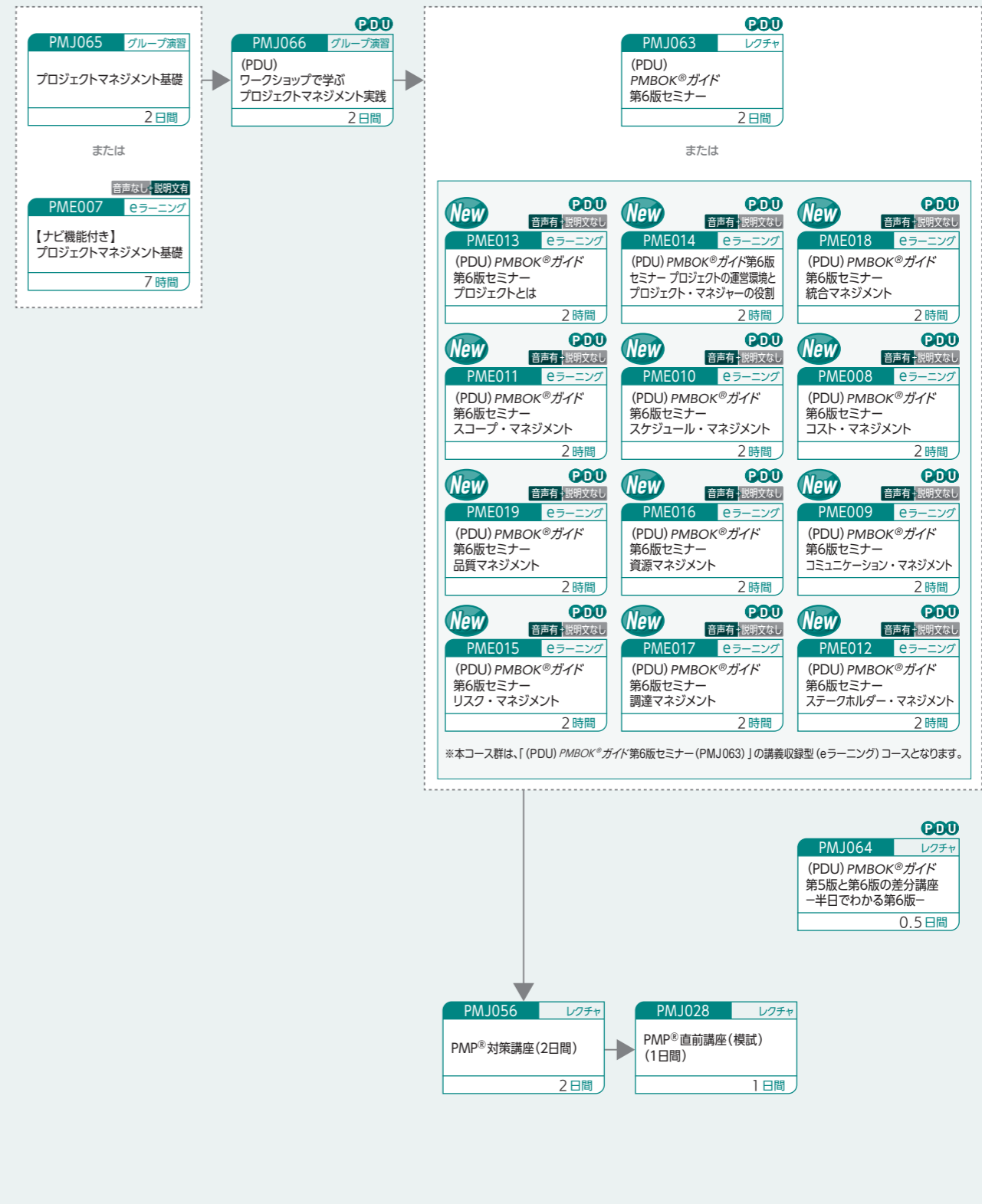
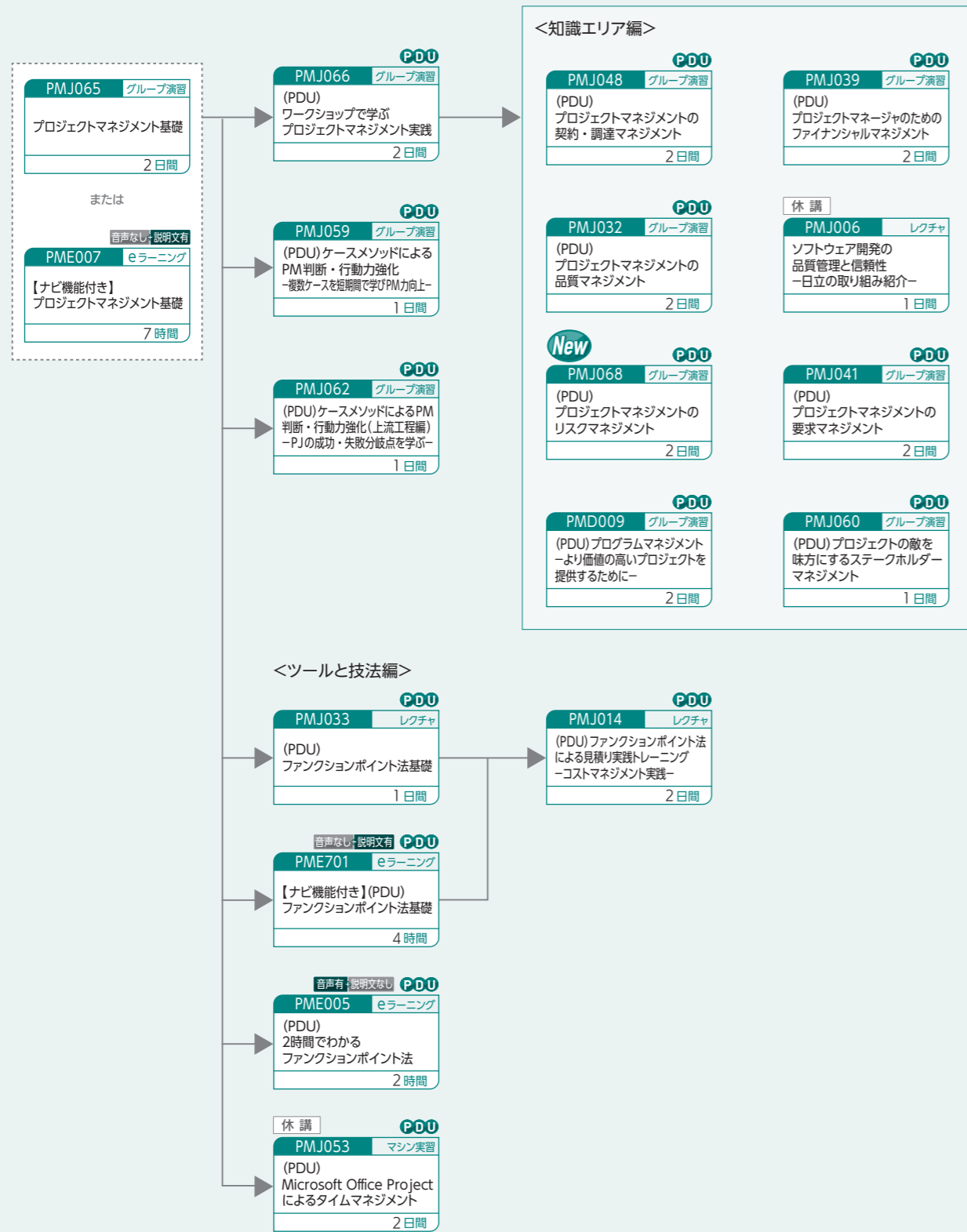
休講

休講  
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

● プロジェクトマネージャに必要な専門能力向上をめざす方

● プロジェクトマネージャの国際資格PMP®の取得をめざす方



PMP® : Project Management Professionalの略で、米国PMI®(Project Management Institute)が認定する国際資格です。  
 PDU : Professional Development Unitの略で、PMP®資格維持に必要な単位です。  
 PMBOK®ガイドはプロジェクトマネジメント協会発行のA Guide to the Project Management Body of knowledgeの略称です。  
 PMI®, PMP®, PMBOK®ガイド、PM Network®, PMI Today®, PMCDF®, R.E.P.ロゴは、プロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。

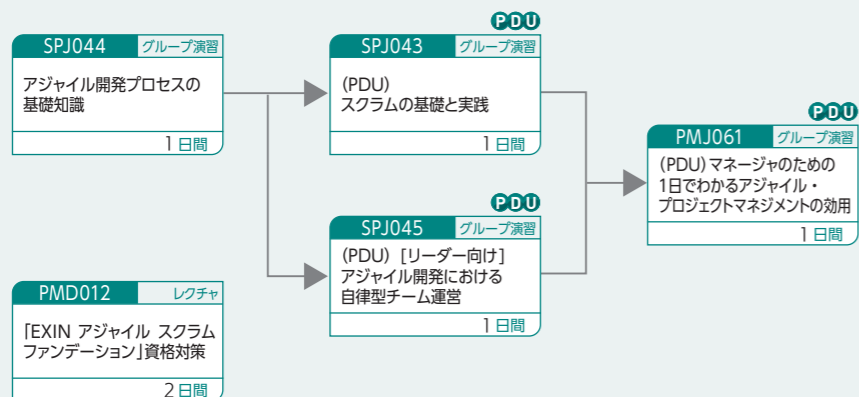
音声有、説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。  
 音声有、説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。  
 音声なし、説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



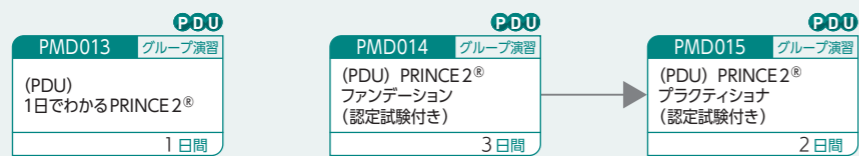
● アジャイル開発に携わる方、関心のある方



● PMP®資格維持を図る方 (PMP®資格維持に必要なPDUが取得できます)

日立講習会では、PMP®資格(米国PMI®認定)に対応したコースを多数提供しています。詳細は、ホームページをご覧ください。  
<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/license/pmp/index.html>

● イギリス発祥プロジェクトマネジメント方法論～事業計画立案から事業の価値創造まで～



- 音声有・説明文有**：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有**：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におススメ**：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

**PDU**：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

資格 PMP®資格(米国PMI®認定)

- Project Management Professional (PMP)®資格は、プロジェクトマネジメントの専門知識を有していることを証明するために、米国Project Management Institute (PMI)®が認定する資格です。
- PMP®の人気は世界的に非常に高く、資格受験者は年々増加を続けています。
- PMP®は、システム発注条件に記載されるケースも増えており、また、各社のプロジェクト・マネージャ資格認定制度においても認定要件である公的資格の一つに位置付けられることが多く、プロジェクト・マネージャをめざす方にとって人気の高い資格となっています。

詳しくは、日立インフォメーションアカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/license/pmp/index.html>



PMI R.E.P. ロゴはプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。

● PDU 対象コース一覧

| 分野                      | コースコード | 区分  | コース名  | 日数* | PDU合計 | テクニカル・プロジェクトマネジメント | リーダーシップ | ストラテジック&ビジネスマネジメント |
|-------------------------|--------|-----|---|-----|-------|--------------------|---------|--------------------|
| <b>デジタルトランスフォーメーション</b> |        |     |   |     |       |                    |         |                    |
| IoT/AI/Lumada           | SPJ059 |     | (PDU) 実践! DevOpsによるアジャイル開発 - お客様に素早く価値を届けるために - | 1日  | 6.5   | 6.5                | 0       | 0                  |
| <b>ITサービスマネジメント</b>     |        |     |   |     |       |                    |         |                    |
| ITIL®                   | ITJ012 |     | (PDU) ITIL® ファンデーション(認定試験付)                     | 3日  | 18    | 5                  | 8       | 5                  |
| <b>IT戦略・IS企画/システム設計</b> |        |     |   |     |       |                    |         |                    |
| IT戦略・IS企画               | HSJ017 |     | (PDU) IT戦略の立案-IT-BSCの活用による-                     | 1日  | 6.5   | 0                  | 0       | 6.5                |
|                         | SPJ008 |     | (PDU) IT投資の評価手法-IT投資の種類・パターンから効果を考える-           | 2日  | 13    | 0                  | 0       | 13                 |
|                         | CTJ016 |     | (PDU) IT投資対効果の考え方-IT投資マネジメントの基礎-                | 1日  | 6     | 0                  | 0       | 6                  |
|                         | CTJ005 |     | (PDU) トラブルを防止する調達要件の分析 -RFPの作成と提案書の評価を中心に-      | 2日  | 12    | 0                  | 0       | 12                 |
|                         | CTD006 | 休講  | IT経営ストラテジ                                       | 2日  | 16    | 0                  | 0       | 16                 |
|                         | CTD007 |     | ITC資格試験対策                                       | 1日  | 8     | 0                  | 0       | 8                  |
|                         | CTJ059 |     | (PDU) ビジネスアナリシスの基礎                              | 2日  | 14    | 5                  | 0       | 9                  |
|                         | CTJ060 |     | (PDU) 要求の引き出しとマネジメント                            | 2日  | 14    | 13                 | 0       | 1                  |
|                         | CTJ062 |     | (PDU) エンタープライズ・ビジネスアナリシス                        | 2日  | 15    | 5                  | 0       | 10                 |
|                         | CTD008 | New | (PDU) CBAP® 試験対策コース                             | 3日  | 24    | 24                 | 0       | 0                  |
|                         | CTJ037 |     | (PDU) SEのためのベンダーマネジメント                          | 2日  | 14    | 10                 | 0       | 4                  |

プロジェクトマネジメント

|        |         |   |    |    |    |    |    |
|--------|---------|---|----|----|----|----|----|
| PMJ066 |         | (PDU) ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践  | 2日 | 12 | 6  | 4  | 2  |
| PMJ038 |         | (PDU) プロジェクトマネジメント仮想体験講座  | 2日 | 14 | 8  | 6  | 0  |
| PMJ059 |         | (PDU) ケースメソッドによるPM判断・行動力強化 -複数ケースを短期間で学びPM力向上-                            | 1日 | 7  | 3  | 2  | 2  |
| PMJ062 |         | (PDU) ケースメソッドによるPM判断・行動力強化(上流工程編) -PJの成功・失敗分岐点を学ぶ-                        | 1日 | 7  | 3  | 2  | 2  |
| PMJ003 |         | (PDU) プロジェクト経験者のためのプロジェクトマネジメント上級編  | 2日 | 12 | 6  | 4  | 2  |
| PMJ040 |         | (PDU) トラブルプロジェクトのアセスメント   | 2日 | 14 | 0  | 0  | 14 |
| PMJ060 |         | (PDU) プロジェクトの敵を味方にするステークホルダーマネジメント  | 1日 | 7  | 1  | 4  | 2  |
| PMJ069 | New     | (PDU) プロジェクト・マネージャ・コンピテンシ指向トレーニング (PMCO) -プロジェクト・マネージャに必要な行動・思考の気付きと振り返り- | 2日 | 14 | 0  | 14 | 0  |
| PMJ070 | New     | (PDU) プロジェクト・マネージャのためのメンタリングスキルトレーニング -頼りにされるプロジェクト・マネージャになるためのメンタリング入門-  | 2日 | 14 | 0  | 14 | 0  |
| PMJ042 |         | (PDU) プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント -プロジェクトの横断的な把握、経営資源の効果的な配分のために-               | 2日 | 14 | 0  | 0  | 14 |
| PMJ067 | Renewal | (PDU) PMO視点からのプロジェクト運営の勘所(アセスメント)   | 1日 | 6  | 3  | 2  | 1  |
| PMJ023 |         | (PDU) プロジェクトマネジメントのコミュニケーション  | 2日 | 14 | 10 | 4  | 0  |
| PMJ024 |         | (PDU) プロジェクトマネジメントのリーダーシップ  | 2日 | 14 | 0  | 14 | 0  |
| PMJ054 |         | (PDU) プロジェクトを円滑に進めるための合意形成力強化トレーニング                                       | 2日 | 13 | 5  | 3  | 5  |
| PMJ025 |         | (PDU) プロジェクトマネジメントのネゴシエーション   | 2日 | 14 | 0  | 14 | 0  |
| PMJ048 |         | (PDU) プロジェクトマネジメントの契約・調達マネジメント  | 2日 | 14 | 0  | 0  | 14 |
| PMJ032 |         | (PDU) プロジェクトマネジメントの品質マネジメント   | 2日 | 14 | 14 | 0  | 0  |
| PMJ068 | New     | (PDU) プロジェクトマネジメントのリスクマネジメント  | 2日 | 14 | 10 | 4  | 0  |
| PMD009 |         | (PDU) プログラムマネジメント -より価値の高いプロジェクトを提供するために-                                 | 2日 | 16 | 8  | 0  | 8  |
| PMJ039 |         | (PDU) プロジェクトマネージャのためのファイナンシャルマネジメント                                       | 2日 | 14 | 0  | 0  | 14 |
| PMJ041 |         | (PDU) プロジェクトマネジメントの要求マネジメント   | 2日 | 14 | 10 | 4  | 0  |

|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービスマネジメント                  |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT基本                           |
| IT基本                           |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービスマネジメント                  |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT基本                           |
| IT基本                           |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

New: 新設コース Renewal: 改訂コース 休講: 今期の定期開催はありません

New: 新設コース Renewal: 改訂コース 休講: 今期の定期開催はありません

| 分野 | コースコード | 区分  | コース名   | 日数※  | PDU合計 | テクニカル・プロジェクトマネジメント | リーダーシップ | ストラテジック&ビジネスマネジメント |
|----|--------|-----|--|------|-------|--------------------|---------|--------------------|
|    | PMJ033 |     | (PDU)ファンクションポイント法基礎  | 1日   | 6     | 6                  | 0       | 0                  |
|    | PME701 |     | <eラーニング>【ナビ機能付き】(PDU)ファンクションポイント法基礎                          | 4時間  | 4     | 4                  | 0       | 0                  |
|    | PMJ014 |     | (PDU)ファンクションポイント法による見積り実践トレーニング<br>-コストマネジメント実践-             | 2日   | 12    | 10                 | 0       | 2                  |
|    | PME005 |     | <eラーニング>(PDU)2時間でわかるファンクションポイント法                             | 2時間  | 2     | 2                  | 0       | 0                  |
|    | PMJ053 | 休講  | (PDU)Microsoft Office Projectによるタイムマネジメント                    | 2日   | 14    | 14                 | 0       | 0                  |
|    | PMJ063 |     | (PDU)PMBOK®ガイド第6版セミナー  | 2日   | 14    | 14                 | 0       | 0                  |
|    | PME013 | New | <eラーニング>(PDU)PMBOK®ガイド第6版セミナー<br>プロジェクトとは                    | 2時間  | 2     | 2                  | 0       | 0                  |
|    | PME014 | New | <eラーニング>(PDU)PMBOK®ガイド第6版セミナー<br>プロジェクトの運営環境とプロジェクト・マネジャーの役割 | 2時間  | 2     | 2                  | 0       | 0                  |
|    | PME018 | New | <eラーニング>(PDU)PMBOK®ガイド第6版セミナー<br>統合マネジメント                    | 2時間  | 2     | 2                  | 0       | 0                  |
|    | PME011 | New | <eラーニング>(PDU)PMBOK®ガイド第6版セミナー<br>スコープ・マネジメント                 | 2時間  | 2     | 2                  | 0       | 0                  |
|    | PME010 | New | <eラーニング>(PDU)PMBOK®ガイド第6版セミナー<br>スケジュール・マネジメント               | 2時間  | 2     | 2                  | 0       | 0                  |
|    | PME008 | New | <eラーニング>(PDU)PMBOK®ガイド第6版セミナー<br>コスト・マネジメント                  | 2時間  | 2     | 2                  | 0       | 0                  |
|    | PME019 | New | <eラーニング>(PDU)PMBOK®ガイド第6版セミナー<br>品質マネジメント                    | 2時間  | 2     | 2                  | 0       | 0                  |
|    | PME016 | New | <eラーニング>(PDU)PMBOK®ガイド第6版セミナー<br>資源マネジメント                    | 2時間  | 2     | 2                  | 0       | 0                  |
|    | PME009 | New | <eラーニング>(PDU)PMBOK®ガイド第6版セミナー<br>コミュニケーション・マネジメント            | 2時間  | 2     | 2                  | 0       | 0                  |
|    | PME015 | New | <eラーニング>(PDU)PMBOK®ガイド第6版セミナー<br>リスク・マネジメント                  | 2時間  | 2     | 2                  | 0       | 0                  |
|    | PME017 | New | <eラーニング>(PDU)PMBOK®ガイド第6版セミナー<br>調達マネジメント                    | 2時間  | 2     | 2                  | 0       | 0                  |
|    | PME012 | New | <eラーニング>(PDU)PMBOK®ガイド第6版セミナー<br>ステークホルダー・マネジメント             | 2時間  | 2     | 2                  | 0       | 0                  |
|    | PMJ064 |     | (PDU)PMBOK®ガイド第5版と第6版の差分講座-半日でわかる第6版-                        | 0.5日 | 4     | 4                  | 0       | 0                  |
|    | SPJ043 |     | (PDU)スクラムの基礎と実践  | 1日   | 7     | 5.5                | 1.5     | 0                  |
|    | SPJ045 |     | (PDU)[リーダー向け]アジャイル開発における自律型チーム運営                             | 1日   | 6     | 4.5                | 1.5     | 0                  |
|    | PMJ061 |     | (PDU)マネージャのための1日でわかる<br>アジャイル・プロジェクトマネジメントの効用                | 1日   | 7     | 4                  | 2       | 1                  |
|    | PMD013 |     | (PDU)1日でわかるPRINCE2®  | 1日   | 7     | 2                  | 4       | 1                  |
|    | PMD014 |     | (PDU)PRINCE2®ファンデーション(認定試験付き)                                | 3日   | 21    | 6                  | 10      | 5                  |
|    | PMD015 |     | (PDU)PRINCE2®プラクティシオン(認定試験付き)                                | 2日   | 14    | 4                  | 5       | 5                  |

| ビジネス/ヒューマン        |        |         |  |      |     |   |     |   |
|-------------------|--------|---------|--|------|-----|---|-----|---|
| 2Way<br>コミュニケーション | HSE117 | New     | <eラーニング>(PDU)リーダー向け報連相                                     | 4時間  | 4   | 1 | 2   | 1 |
|                   | HSJ174 |         | (PDU)ストラクチャード・コミュニケーション<br>-会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える- | 1日   | 7   | 0 | 7   | 0 |
|                   | HSJ125 |         | (PDU)アサーティブ・コミュニケーション<br>-職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上-       | 1日   | 6.5 | 0 | 6.5 | 0 |
| リーダーシップ           | HSJ147 |         | (PDU)目標達成のためのコーチング実践                                       | 2日   | 14  | 1 | 5   | 8 |
|                   | HSJ148 |         | (PDU)会議/プロジェクトを円滑に進めるための<br>ファシリテーション・スキル向上                | 2日   | 14  | 4 | 5   | 5 |
| 戦略・<br>マーケティング    | HSE107 | Renewal | <eラーニング>(PDU)知っておくべきビジネスモデルの基本<br>-顧客のビジネスをより理解するために-      | 10時間 | 8   | 0 | 0   | 8 |

※eラーニングコースの日数欄には、平均学習時間を記載しています。

| 分野             | コースコード | 区分      | コース名  | 日数※  | PDU合計 | テクニカル・プロジェクトマネジメント | リーダーシップ | ストラテジック&ビジネスマネジメント |
|----------------|--------|---------|---|------|-------|--------------------|---------|--------------------|
| 戦略・<br>マーケティング | HSJ181 | Renewal | (PDU)ソリューション提案のための経営と情報戦略<br>-経営・事業・情報戦略のあるべき関係性-         | 1日   | 6.5   | 0                  | 0       | 6.5                |
|                | HSJ182 | Renewal | (PDU)ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向<br>-イノベーション実現のために-              | 1日   | 6.5   | 0                  | 0       | 6.5                |
| 業務知識           | HSE705 |         | <eラーニング>【ナビ機能付き】(PDU)財務諸表の基礎知識                            | 4時間  | 4     | 3                  | 0       | 1                  |
|                | HSE118 | Renewal | <eラーニング>(PDU)よくわかるビジネス・ミクロ経済1<br>-経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論- | 6時間  | 3     | 0                  | 0       | 3                  |
|                | HSE098 | Renewal | <eラーニング>(PDU)よくわかるビジネス・ミクロ経済2<br>-不完全な情報、期待効用、行動経済学-      | 4時間  | 2.5   | 0                  | 0       | 2.5                |
|                | HSE099 | Renewal | <eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済1<br>-効率性と公平性、アダムスミスとケインズ-         | 4時間  | 2.5   | 0                  | 0       | 2.5                |
|                | HSE100 | Renewal | <eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済2<br>-GDP、為替、財政-                   | 6時間  | 4     | 0                  | 0       | 4                  |
|                | HSE101 | Renewal | <eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済3<br>-金融政策、ハイエク、フリードマン、シュンペーター-    | 4時間  | 2.5   | 0                  | 0       | 2.5                |
|                | HSE102 | Renewal | <eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済4<br>-景気循環、経済成長、格差社会と少子高齢化-        | 6時間  | 3.5   | 0                  | 0       | 3.5                |
|                | HSE103 | Renewal | <eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス1<br>-投資の判断、リスクとリターン-             | 4時間  | 3.5   | 0                  | 0       | 3.5                |
|                | HSE104 | Renewal | <eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス2-<br>企業価値評価-                     | 4時間  | 2.5   | 0                  | 0       | 2.5                |
|                | HSE105 | Renewal | <eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス3<br>-資金調達の方法-                    | 6時間  | 3.5   | 0                  | 0       | 3.5                |
|                | HSE106 | Renewal | <eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス4<br>-M&A、コーポレートガバナンス、財務計画-       | 6時間  | 3.5   | 0                  | 0       | 3.5                |
| ビジネスセンス<br>アップ | HSE115 | Renewal | <eラーニング>(PDU)中国古典に見る指導者の条件                                | 10時間 | 7     | 0                  | 7       | 0                  |
|                | HSE113 | Renewal | <eラーニング>(PDU)「貞観政要」に学ぶリーダーの心得                             | 10時間 | 5     | 0                  | 5       | 0                  |
|                | HSE114 | Renewal | <eラーニング>(PDU)「書経」に学ぶリーダーの心得                               | 10時間 | 6     | 0                  | 6       | 0                  |
|                | HSE112 | Renewal | <eラーニング>(PDU)「韓非子」のリーダー学                                  | 10時間 | 5     | 0                  | 5       | 0                  |
|                | HSE111 | Renewal | <eラーニング>(PDU)孫子の兵法を現代に役立てる方法                              | 10時間 | 8     | 0                  | 8       | 0                  |
|                | HSE110 | Renewal | <eラーニング>(PDU)リーダーに必要な人間力 三国志から学ぶリーダー学                     | 10時間 | 7     | 0                  | 7       | 0                  |
| グローバル          |        |         |   |      |       |                    |         |                    |
|                | GBE010 |         | <eラーニング>(PDU)グローバルビジネスの基礎<br>-ビジネスルールと多様性-(基本セット)         | 4時間  | 4     | 0                  | 2       | 2                  |
|                | GBE023 | Renewal | <eラーニング>(PDU)中国ビジネスの鉄則                                    | 10時間 | 7     | 0                  | 0       | 7                  |
|                | GBE024 | Renewal | <eラーニング>(PDU)インドビジネスの鉄則                                   | 10時間 | 6     | 0                  | 0       | 6                  |

※eラーニングコースの日数欄には、平均学習時間を記載しています。









|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS1/VOSK                 |
| XDM/PDMII                      |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービス マネジメント                 |
| システム基盤                         |
| オープンソース ソフトウェア(OSS)            |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Web アプリケーション                   |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT 基本                          |
| IT 基本                          |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

| PMJ061 プロジェクトマネジメント   |
|---|
| <b>(PDU) マネージャのための 1日でわかるアジャイル・プロジェクトマネジメントの効用 PDU</b>  |
| <p>マネジメント視点でのアジャイル開発の利点を理解し、顧客に提案できる。行われてきた計画重視型のプロジェクトマネジメントから、アジャイル開発導入への変化をマネジメント視点で学びます。経営管理上のメトリクスを残しながら、プロジェクトガバナンスをどのように確立するかを理解し、顧客に提案できる知識を身につけます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 7ポイント)の取得が可能です。</p>   |
| <p><b>到達目標</b> マネジメント視点でのアジャイル開発の利点を理解し、顧客に提案できる。</p> <p><b>対象者</b> アジャイル開発の導入を検討しているマネジャー、リーダーの方。</p> <p><b>前提知識</b> プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p><b>内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アジャイルの背景             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) なぜアジャイルが生まれたのか</li> <li>(2) 従来の「ウォーターフォール」との相違</li> </ol> </li> <li>2. アジャイルによるマネジメント             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) アジャイルマネジメントの導入</li> <li>(2) 失敗例からの教訓</li> <li>(3) アジャイルマネジメントの事例から</li> </ol> </li> <li>3. まとめ</li> </ol> <p><b>備考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。</li> <li>・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。</li> <li>・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。</li> </ul> |

| PMD012 プロジェクトマネジメント  |
|--|
| <b>「EXIN アジャイル スクラム ファンデーション」資格対策</b>  |
| <p>EXIN (www.exin.com) 本部が公開する試験要件に沿ったカリキュラムにより基本事項の概念や用例を学習します。なお、研修の最後にアジャイル スクラム ファンデーション認定試験(60分)を用意しています。</p>   |
| <p><b>到達目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジャイル手法の重要性と、アジャイルがどのように付加価値を付けられるかを説明できる。</li> <li>・アジャイルの原則とアジャイルマニフェストについて説明できる。</li> <li>・アジャイル・プロジェクトマネジメント・フレームワークを説明できる。</li> <li>・アジャイル スクラム ファンデーション認定試験に合格できる。</li> </ul> <p><b>対象者</b> アジャイル・プロジェクトマネジメント、スクラムの基本を体系的に把握したい方。</p> <p><b>前提知識</b> プロジェクトマネジメントに関する基本的な知識・技術があること。</p> <p><b>内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アジャイルとスクラム</li> <li>2. 役割、儀式、タイムボックス</li> <li>3. 手法とプラクティス</li> <li>4. バックログ</li> <li>5. 上級概念</li> <li>6. 計画とリリース</li> <li>7. モニタリング</li> <li>8. アジャイル スクラム ファンデーション認定試験(60分)</li> </ol> <p><b>備考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このコースは、9:30~18:00の開催とさせていただきます。</li> <li>・このコースは、株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック主催の「EXIN アジャイル スクラム ファンデーションコース」を実施するものです。</li> <li>・コース実施に必要なご受講者の個人情報をITプレナーズ社へ提供いたします。</li> </ul> |

| PMD013 プロジェクトマネジメント   |
|---|
| <b>(PDU) 1日でわかるPRINCE2® PDU</b>   |
| <p>PRINCE2®の考え方を理解し、組織の全てのプロジェクトで使用できる共通のプロセス、役割、および用語を提供し、効率的で有効なプロジェクト管理方法を学びます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 7ポイント)の取得が可能です。</p>  |
| <p><b>到達目標</b> PRINCE2®の概要を説明できる。</p> <p><b>対象者</b> ITエンジニア職、若手・中堅の方でPRINCE2®の資格は不要だが、概要を知りたい方。</p> <p><b>前提知識</b> 特に必要としません。</p> <p><b>内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. プロジェクトとは             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) プロジェクトの定義</li> <li>(2) プロジェクトと通常の業務との違い</li> <li>(3) プロジェクトマネジメント手法の例</li> </ol> </li> <li>2. プロジェクトマネジメントの課題             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) どのような課題があると考えられるか</li> <li>(2) プロジェクトマネジメントでよくある課題</li> <li>(3) 課題に対してPM手法がどう対応できるか</li> </ol> </li> <li>3. PRINCE2®             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 歴史・背景</li> <li>(2) 特徴</li> <li>(3) コントロールの対象</li> <li>(4) 組織レベル</li> <li>(5) 役割</li> <li>(6) PRINCE2®手法の流れ</li> <li>(7) プロセスモデル、成果物</li> </ol> </li> <li>4. まとめ</li> </ol> <p><b>備考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。</li> <li>・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。</li> <li>・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。</li> </ul> |

| PMD014 プロジェクトマネジメント  |
|--|
| <b>(PDU) PRINCE2®ファンデーション (認定試験付き) PDU</b>   |
| <p>プロジェクト管理の手法として国際的なデファクトスタンダードであるPRINCE2®を学習します。PRINCE2®の基礎知識の修得を目的としています。研修の最後にPRINCE2®ファンデーション認定試験を受験します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 21ポイント)の取得が可能です。</p>   |
| <p><b>到達目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PRINCE2®の概要を理解し、PRINCE2®でのプロジェクト管理の原則を理解できる。</li> <li>・品質管理、リスク管理、ビジネスケースや予算、納期の範囲でプロジェクトを完了する方法を理解できる。</li> </ul> <p><b>対象者</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトマネジメントに従事している方。</li> <li>・PRINCE2®の導入を考えている方。</li> </ul> <p><b>前提知識</b> 特に必要としません。</p> <p><b>内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. PRINCE2®のプロジェクト管理の手法</li> <li>2. PRINCE2®の使用と実施の意味</li> <li>3. プロジェクトへのPRINCE2®の原則の適用</li> <li>4. 品質、リスク、および利益の管理方法</li> <li>5. 既定のビジネス・ケースや予算、納期の範囲内でプロジェクトを完了する方法</li> <li>6. さまざまなプロジェクト環境に合わせてPRINCE2®を調整する方法</li> </ol> <p><b>備考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このコースは、9:30~18:00の開催とさせていただきます。</li> <li>・このコースは、株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック主催の「PRINCE2®ファンデーションコース」を実施するものです。</li> <li>・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。</li> <li>・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。</li> </ul> |

| PMD015 プロジェクトマネジメント   |
|---|
| <b>(PDU) PRINCE2®プラクティシオン (認定試験付き) PDU</b>  |
| <p>PRINCE2®の考え方を理解し、組織の全てのプロジェクトで使用できる共通のプロセス、役割、および用語を提供し、効率的で有効なプロジェクト管理方法を学びます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 14ポイント)の取得が可能です。</p>   |
| <p><b>到達目標</b> 組織の全てのプロジェクトで使用できる共通のプロセス、役割、および用語を提供し、効率的で有効なプロジェクト管理方法を理解できる。</p> <p><b>対象者</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトマネジメントに従事している方。</li> <li>・PRINCE2®の導入を考えている方。</li> </ul> <p><b>前提知識</b> PRINCE2®ファンデーション認定資格をお持ちの方、またはPMP®資格をお持ちの方。</p> <p><b>内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに</li> <li>2. 原則、テーマ、およびプロセス</li> <li>3. ビジネスケース</li> <li>4. 組織</li> <li>5. 課題のレビュー</li> <li>6. 品質</li> <li>7. 計画</li> <li>8. リスク</li> <li>9. 変更</li> <li>10. 進捗と試験準備ガイド</li> <li>11. プロセスを利用したテーマのレビュー</li> </ol> <p><b>備考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このコースは、9:30~18:00の開催とさせていただきます。</li> <li>・このコースは、株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック主催の「PRINCE2®プラクティシオンコース」を実施するものです。</li> <li>・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。</li> <li>・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。</li> </ul> |

# コンプライアンス

個人情報保護や情報セキュリティ、内部統制といった、コンプライアンス意識向上に不可欠な知識が修得できます。

## ● モニタリング：内部統制が有効に機能しているかを継続的に監視する

**HSJ062** グループ演習  
事例から学ぶ  
システムトラブル対策の考え方  
-高信頼性システム実現のために-  
1 日間

**HSJ018** グループ演習  
システムトラブルの予防と是正  
-ISMS・システム監査の  
視点から-  
2 日間

**HSJ105** グループ演習  
システム監査で学ぶ  
開発・保守とリスク評価  
2 日間

## ● 記録管理：内部統制の状況の確認、不正の発見、不正の抑止効果、内部統制の有効性の説明のために、企業活動を網羅的かつ正確に記録として残し管理する

音声有、説明文なし  
**DBE015** eラーニング  
HIRDB機能解説  
7 時間

**DBJ092** マシン実習  
HIRDBデータベース管理  
2 日間  
または  
音声有、説明文なし  
**DBE305** eラーニング  
【マシン演習付き】  
HIRDBデータベース管理  
12 時間

## ● セキュリティ管理：内部統制を実現するシステムが不正にアクセスされることを防止・抑止するためのセキュリティを管理する

音声なし、説明文有  
**SCE708** eラーニング  
【ナビ機能付き】  
情報セキュリティリテラシー  
-セキュリティの必要性と対策-  
初心者におススメ 4 時間

音声なし、説明文有  
**SCE706** eラーニング  
【ナビ機能付き】  
情報セキュリティマネジメント概説  
-セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-  
8 時間

音声なし、説明文有  
**SCE703** eラーニング  
【ナビ機能付き】  
情報技術者に求められるセキュリティの基礎  
-要素技術(暗号、認証)編-  
6 時間

音声有、説明文有：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有、説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし、説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



自習テキスト  
自習書による自己学習

休講

休講  
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

日立製品

JP1

uCosminexus  
Application Server

HiRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/  
VOSK

XDM/PDMII

Hitachi Advanced  
Data Binder

日立ストレージ

Pentaho  
ソフトウェア

デジタルトランス  
フォーメーション

IT 利活用

イノベーション

IoT/AI/Lumada

ビッグデータ

データ分析

サイバー  
セキュリティ

クラウド/  
サーバ仮想化

IT サービス  
マネジメント

システム基盤

オープンソース  
ソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画/  
システム設計

IT戦略・IS企画

システム設計

アプリケーション  
開発

Web  
アプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/  
UML

言語

IT 基本

IT 基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ

プロジェクト  
マネジメント

コンプライアンス

ビジネス/  
ヒューマン

グローバル



● システム運用管理：内部統制を実現する各システムが正しく導入・運用されることを保証するために管理する

Grid of course cards for system management. Includes titles like 'JP1 プロフェッショナル 統合管理1-システム監視', 'JP1 プロフェッショナル パフォーマンス管理', and '情報システム運用入門'.

音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

Bottom navigation bar with icons for various learning methods: マシン実習, グループ演習, レクチャ, 演習環境, 研修室自習型, eラーニング.

Course card for 'HSJ062 コンプライアンス 事例から学ぶ システムトラブル対策の考え方'. Includes details on objectives, content, and instructor information.

Course card for 'HSJ018 モニタリング システムトラブルの予防と是正 -ISMS・システム監査の視点から-'. Includes details on objectives, content, and instructor information.

Course card for 'HSJ105 モニタリング システム監査で学ぶ 開発・保守とリスク評価'. Includes details on objectives, content, and instructor information.

# ビジネス/ヒューマン

仕事を進めるうえで必要となるスキル(ロジカルシンキング、コミュニケーション、ライティング、リーダーシップ、業務知識など)が修得できます。

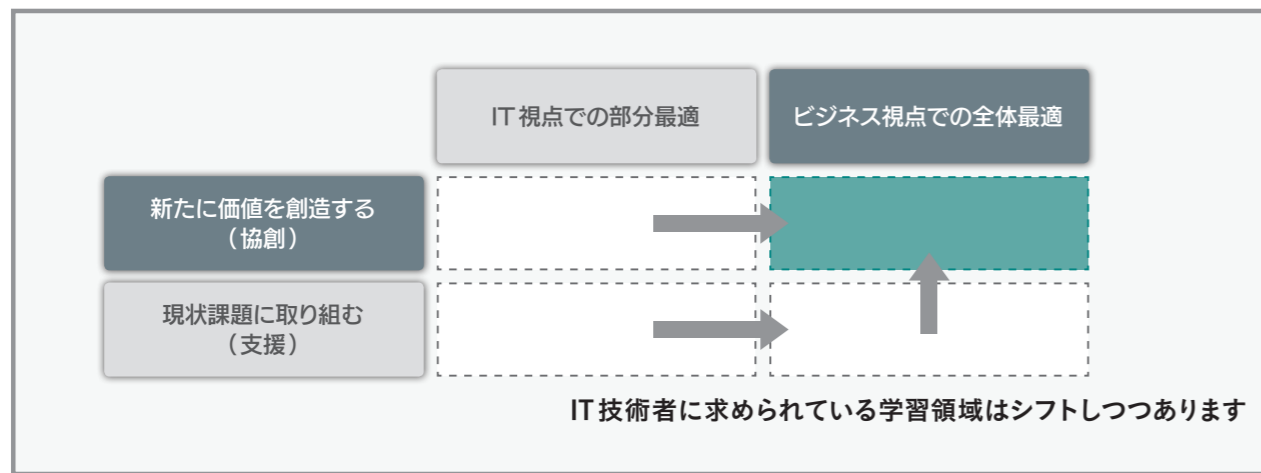
## ビジネススキル修得のための推奨講座体系～変化の激しい時代を生き抜くために～

### 今後、IT技術者は何を学ぶべきか

ITが融合した市場・社会でのパラダイムシフトに企業が応えるためには、企業活動とITとの融合を継続的に進化(深化)させていく必要があります。ビジネスプロセス=ITシステムという現在、IT部門・技術者は「ITシステムを作るだけの人」で良いのでしょうか。ITがビジネスのあらゆる場面を支えるインフラとなり、ユーザー部門がIT部門・技術者に期待する関わり方は、「支援」ではなく「一体」に、そして「結果の共有」まで、全工程をマネジメントすることが求められるようになりました。

また、経営戦略の具現化・課題解決のために、ITの知見を軸としながらも、ITのみの視点にとどまらず、ビジネスの視点で全体最適な解決策を提案することが期待されています。

ITという技術を社会やビジネスで役立たせるには、「現実の場」とITを結びつけ、協創することが不可欠です。ビジネス推進と一体となって、ビジネスでの結果の共有を実践するために、IT技術者は使命の拡大に合わせて学習の領域を広げていくことが望まれています。



### 確実なスキルアップを促す講座体系の特長

上記のような要請を踏まえ日立講習会では、システム計画系やプロジェクトマネジメント系の講座体系に、ビジネススキル系のコースを追加し、段階的に拡充を図って参りました。

ビジネススキルの修得は「なかなか効果が見えないもの」といわれます。そこで日立講習会では、日立グループ向けのビジネス教育のノウハウを活用し、最短期間で修得できるよう、各項目の最終的な到達レベルを定義したうえで、その修得までに最適な時間を導き出しています。また、修得内容に一貫性を持たせつつ、必要最小限の項目で構成しています。

### 講座体系を活用したコースの選び方

次ページの講座体系では、ビジネス推進のスキルとして欠かせない四分野(問題解決、人・組織・リーダーシップ、戦略・マーケティング・セールス、財務)を縦軸に採り、横軸にレベル感や難易度を表現しました。お客様内での階層別育成の実施状況や、対象者の方の経験年数・業務経験・職位と照らし合わせて、コースをご検討ください。

また、P.246以降では、ビジネススキルの講座群を目的別のコースフローで掲載しています。こちらでは、今必要なスキル修得に最適なコース選択のために、「速引き」でコースを見つけていただけるように整理しました。

実績豊富な日立講習会のビジネス/ヒューマン講座をご活用いただければ幸いです。

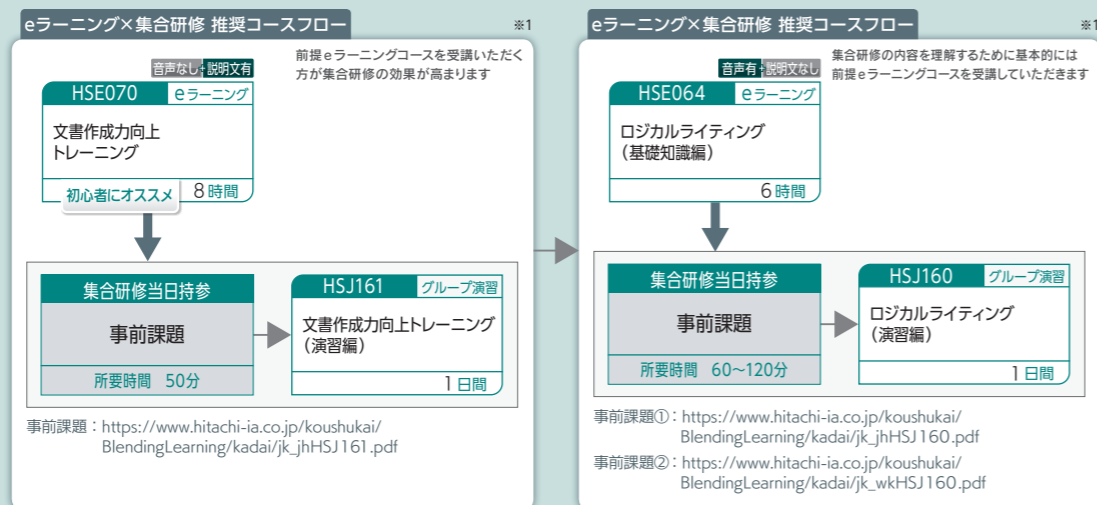
| 問題解決能力修得の共通ステップ | ビジネスの問題解決の基本を理解し、意識を高める   | 各自のビジネスにおける問題解決を実行する  | 先の見えない困難な状況下でも合理的な解を立案し、組織を導く   |  |
|-----------------|---|---|---|--|
| レベル             | 入門  | 基礎  | 応用・中級   | 上級   |
| 問題解決            | <b>思考法</b><br>HSJ116 / 2日間<br>ロジカルシンキング基礎<br>論理の可視化と論理チェックのポイント<br>→<br>HSJ170 / 2日間<br>イノベティブ思考-単なるアイデアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた- | <b>ライティング</b><br>HSE070 / 8時間<br>文書作成力向上トレーニング<br>→<br>HSJ161 / 1日間<br>文書作成力向上トレーニング(演習編)<br>→<br>HSE064 / 4時間<br>ロジカルライティング(基礎知識編)<br>→<br>HSJ160 / 1日間<br>ロジカルライティング(演習編) | <b>プレゼンテーション</b><br>HSJ154 / 2日間<br>ロジカルプレゼンテーション基礎<br>→<br>HSE072 / 4時間<br>意思決定のスキル-合理と心理を理解したうえでの意思決定-<br>→<br>HSJ137 / 1日間<br>意思決定のスキルII-ディビジョンマネジメントを実践するために- | <b>意思決定</b><br>HSE072 / 4時間<br>意思決定のスキル-合理と心理を理解したうえでの意思決定-<br>→<br>HSJ137 / 1日間<br>意思決定のスキルII-ディビジョンマネジメントを実践するために- |
| 交渉              | HSE071 / 4時間<br>【ナビ機能付き】協創を生み出す交渉(基礎知識編)<br>→<br>HSJ145 / 1日間<br>協創を生み出す交渉(基礎演習編)   | HSJ146 / 1.5日間<br>協創を生み出す交渉(実践演習編)  | HSJ185 / 1日間<br>行動経済学を応用したパースェイション(説得)のスキル-ハード交渉術を越えて-  | 問題解決のための<br>コンセプチュアル総合コース  |
| コミュニケーション       | HSE049 / 8時間<br>ビジネススキル基礎<br>→<br>HSJ126 / 1日間<br>報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎<br>→<br>HSJ127 / 2日間<br>情報を整理して伝えるコミュニケーション技法-ロゴス・パリス・エトスを高める-     | HSJ124 / 1日間<br>リスニング力を高めるコミュニケーションスキルアップ-現場に活かせる建設的コミュニケーションの向上-<br>→<br>HSJ125 / 1日間<br>(PDU)アサーティブ・コミュニケーション-現場に活かせる建設的コミュニケーションの向上-                                     | HSJ124 / 1日間<br>リスニング力を高めるコミュニケーションスキルアップ-現場に活かせる建設的コミュニケーションの向上-<br>→<br>HSJ125 / 1日間<br>(PDU)アサーティブ・コミュニケーション-現場に活かせる建設的コミュニケーションの向上-                           | コミュニケーション系総合コース<br>(各人・各組織の価値観や、非言語部分までを含んだ、「人の情念の変容に踏み込む総合的ファシリテーション講座」)  |
| 人・組織・リーダーシップ    | HSJ079 / 1日間<br>コーチング基礎<br>→<br>HSJ114 / 1日間<br>リーダーシップの原理・原則<br>→<br>HSJ187 / 1日間<br>共に勝つ人生戦略 ウィナーシップ研修-ビジネスパーソンとして「本気づくり」に挑戦する-           | HSJ186 / 1日間<br>部下のパフォーマンスを高める One on Oneミーティングとフィードバック<br>→<br>HSJ179 / 0.5日間<br>半日でレベルアップ! コーチング実習  | HSJ186 / 1日間<br>部下のパフォーマンスを高める One on Oneミーティングとフィードバック<br>→<br>HSJ179 / 0.5日間<br>半日でレベルアップ! コーチング実習<br>→<br>HSJ147 / 2日間<br>(PDU)目標達成のためのコーチング実践                 | HSJ166 / 1日間<br>マインドフルリーダーシップ基礎  |
| 戦略・マーケティング・セールス | <b>マーケティング</b><br>戦略的思考基礎<br>(コンサルタントの顧客対応ノウハウを学ぶ)  | HSJ182 / 1日間<br>(PDU)ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向-イノベーション実現のために-  | マーケティング基礎理論と応用<br>→<br>戦略基礎理論と応用  | マーケティング基礎理論と応用<br>→<br>戦略基礎理論と応用   |
| 財務              | HSE709 / 8時間<br>【ナビ機能付き】WHYで学ぶアカウンティング(基礎知識編)   | HSJ180 / 1日間<br>顧客協創を促すディスカッションペーパーの作成・活用の仕方  | 財務系総合コース  | 財務系総合コース   |

### 確実なスキルアップを促す4つの講座群

- 問題解決スキル**  
 ビジネスパーソンが修得すべき論理的思考をベースとした問題解決のためのスキルを身につけることができます。
- 人・組織・リーダーシップスキル**  
 個人と組織が連携していくための真の対人能力を身につけ、「組織マネジメント」と「変革のリーダーシップ」を修得できます。
- 戦略・マーケティング・セールススキル**  
 顧客の環境変化や顧客との協創を考え、ビジネスアイデアを創造するスキルを修得できます。
- 財務スキル**  
 アカウンティングの本質から、連結経営、ファイナンス、経営分析を用いた経営改革のスキルを修得できます。

● 文書作成、プレゼンテーション力を高めたい方

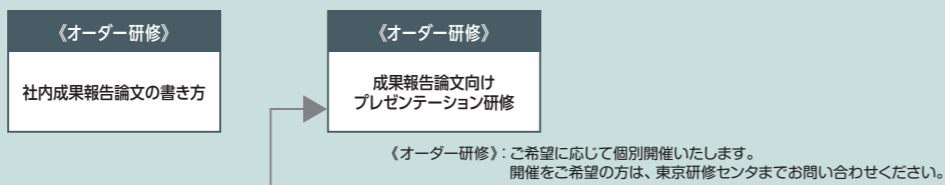
文書作成の基本を押さえたい/押さえさせたい



指導・添削のポイントが知りたい

HSJ153 グループ演習  
リーダー向け「文書添削と指導法」  
1 日間

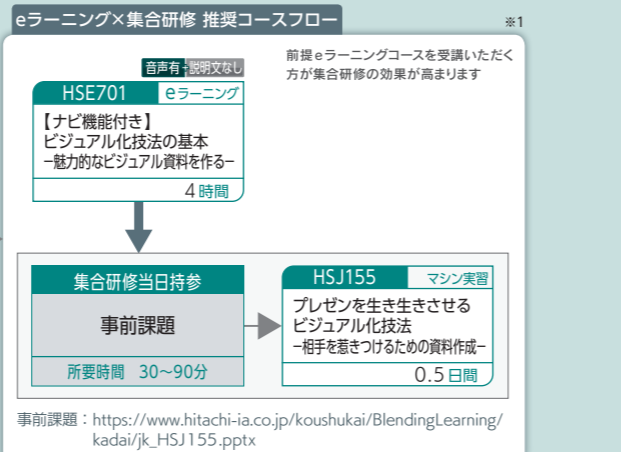
社内成果報告論文を書く



プレゼンテーションの準備プロセスを知りたい

HSJ154 グループ演習  
ロジカルプレゼンテーション基礎  
2 日間

資料のデザインのポイントを知りたい



グローバルビジネスシーン

GBD001 グループ演習  
情理と論理のグローバルコミュニケーション  
-日本文化を軸とし、人間力で考える機会を-  
1 日間

● 論理的思考、問題発見・解決能力、発想力を高めたい方

問題解決のプロセス、論理的思考の技法を知りたい

HSJ116 グループ演習  
ロジカルシンキング基礎 -論理の可視化と論理チェックのポイント-  
初心者におすすめ 2 日間

HSE302 eラーニング  
【スキル定着】相手を納得させる論理構成力を磨く  
4 時間

論理的にアイデアを発想する手順を知りたい

HSE037 eラーニング  
TRIZで学ぶ発想のパターン -科学的な強制発想法-  
4 時間

HSE066 eラーニング  
思考技法の概要  
4 時間

イノベティブに新しいことを考え出す必要性・考え方を知りたい

HSJ163 グループ演習  
クリエイティブシンキング  
1 日間

イノベティブな問題解決の場合の手順、思考技法を知りたい

HSJ170 グループ演習  
イノベティブ思考 -異なるアイデアで視るためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせ-  
2 日間

相互に関連する要因から成る問題の可視化を知りたい

HSJ157 グループ演習  
システムシンキング基礎 -問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化する-  
2 日間

問題解決の適用シーンを拡大するために、チーム・組織などのさまざまな立場（視座）で問題を捉えます

シーン別学習

戦略マップ/KPIツリーを作成することに応用する

HSJ181 グループ演習  
(PDU)ソリューション提案のための経営と情報戦略-経営・事業・情報戦略のあるべき関係性-  
1 日間

プレゼンテーションの構成づくりに応用する

HSJ154 グループ演習  
ロジカルプレゼンテーション基礎  
2 日間

📖：学び直しシリーズeラーニングとしてもご提供しています。  
過去に受講した研修内容を再確認したい方や、既に業務を遂行するために独学で学び実践しているが、知識の抜け漏れがないかを体系的に学ぶことで整理したい方にお薦めのeラーニングです。集合研修のレクチャ部分を収録、抜粋しダイジェストコースとして、eラーニングで提供します。

🗣️：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。  
🗣️：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。  
🗣️：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

👤：初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

🎓：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

日立製品

JP1

uCosminexus Application Server

HIRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/VOSK

XDM/PDM II

Hitachi Advanced Data Binder

日立ストレージ

Pentaho ソフトウェア

デジタルトランスフォーメーション

IT 利用

イノベーション

IoT/Al/Lumada

ビッグデータ

データ分析

サイバーセキュリティ

クラウド/サーバ仮想化

IT サービス マネジメント

システム基盤

オープンソースソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

セキュリティ

データベース

IT 戦略・IS 企画/システム設計

IT 戦略・IS 企画

システム設計

アプリケーション開発

Web アプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/UML

言語

IT 基本

IT 基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ

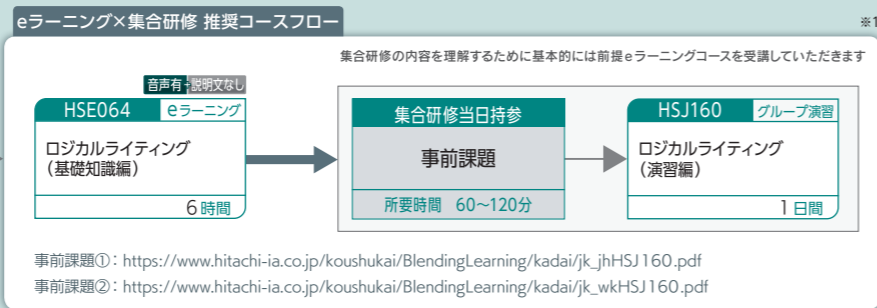
プロジェクト マネジメント

コンプライアンス

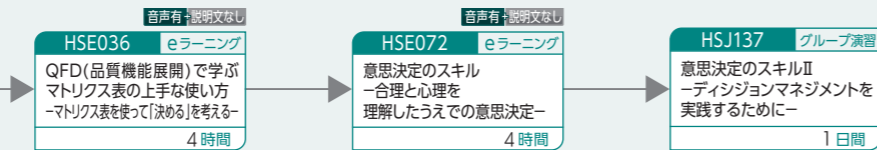
ビジネス/ヒューマン

グローバル

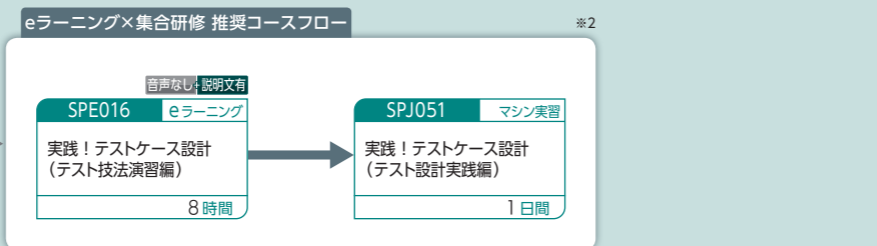
文書構成に応用する



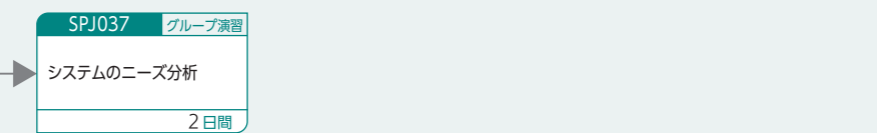
意思決定に応用する



テストケースの作成に応用する



ニーズ分析に応用する



仮説をもとに顧客と検証する



※1: 必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。集合研修は事前課題に取り組むことが前提となります。

※2: 必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。

音声有+説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

マシン実習: マシンを使用しながらの研修  
 グループ演習: グループ演習を中心とした研修  
 レクチャ: 座学による研修  
 演習環境: 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習  
 研修室自習型: 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習  
 eラーニング: インターネット接続による自己学習

サービスマインドを高めたい方

HSJ152 (グループ演習) SEのためのサービスマインド醸成-顧客対応の質を高め、他社と差別化を図る- (1日間)

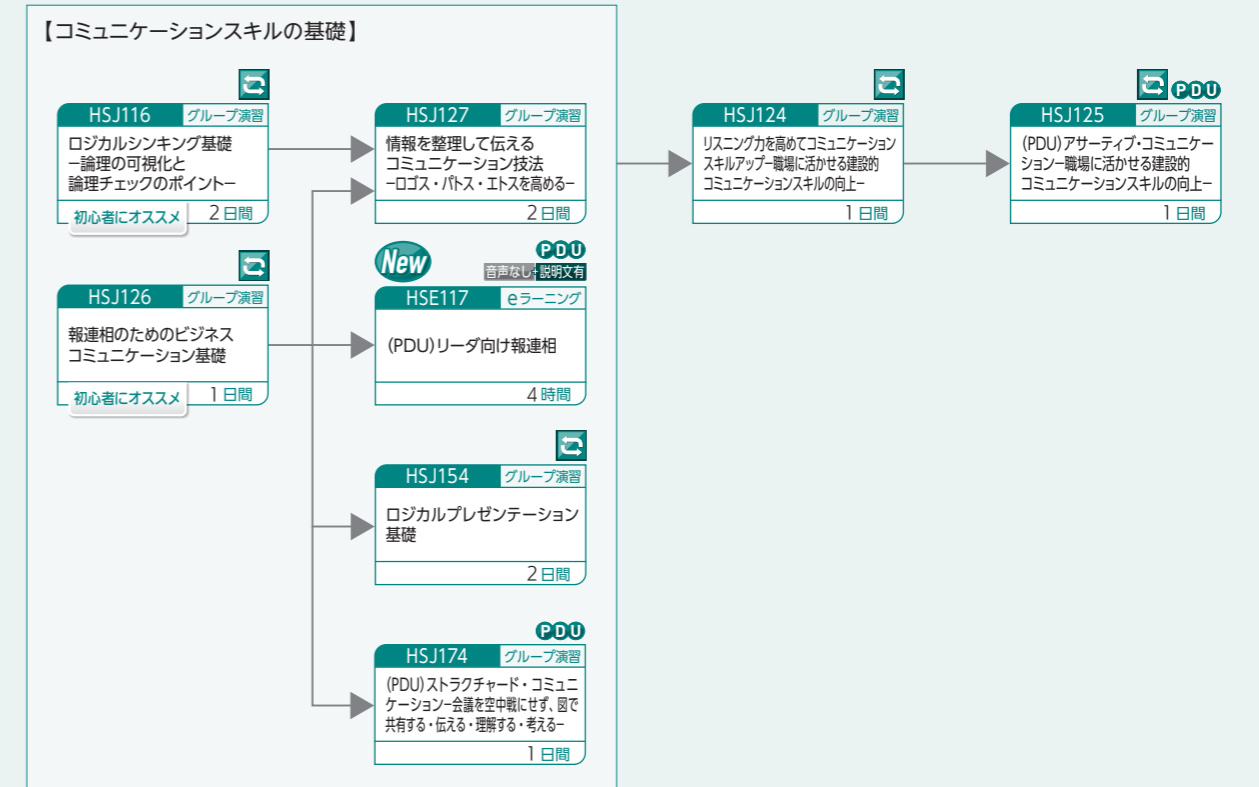
社会人としての基本動作を身につけたい方

HSE049 (eラーニング) ビジネススキル基礎 (初心者におススメ) (8時間)

HSJ126 (グループ演習) 報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎 (初心者におススメ) (1日間)

HSE070 (eラーニング) 文書作成能力向上トレーニング (初心者におススメ) (8時間)

コミュニケーションスキルを高めたい方



New HSJ188 (レクチャ) わたしを活かすキャリアデザイン -人生100年時代のキャリアを考える- (1日間)

学び直しシリーズ eラーニングとしてもご提供しています。

過去に受講した研修内容を再確認したい方や、既に業務を遂行するために独学で学び実践しているが、知識の抜け漏れがないかを体系的に学ぶことで整理したい方にお薦めのeラーニングです。集合研修のレクチャ部分を収録、抜粋しダイジェストコースとして、eラーニングで提供します。

目標テキスト: 目標テキストによる自己学習  
 休講: 休講 (今期の定期開催はありません)

日立製品

JP1

uCosminexus Application Server

HIRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/VOSK

XDM/PDM II

Hitachi Advanced Data Binder

日立ストレージ

Pentaho ソフトウェア

デジタルトランスフォーメーション

IT 利用

イノベーション

IoT/Al/Lumada

ビッグデータ

データ分析

サイバーセキュリティ

クラウド/サーバ仮想化

IT サービス マネジメント

システム基盤

オープンソースソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

セキュリティ

データベース

IT 戦略・IS 企画/システム設計

IT 戦略・IS 企画

システム設計

アプリケーション開発

Web アプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/UML

言語

IT 基本

IT 基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ

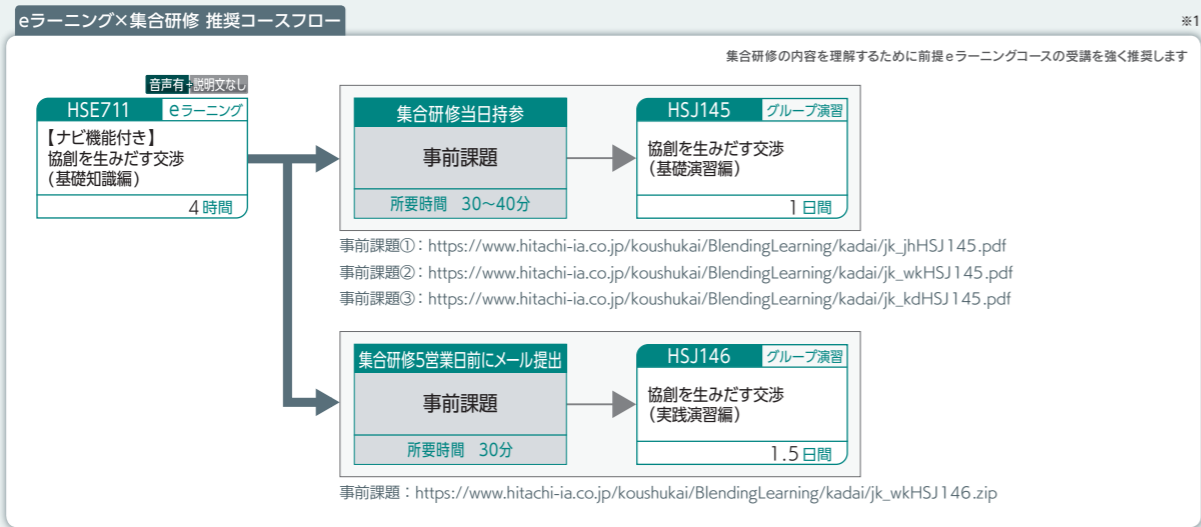
プロジェクト マネジメント

コンプライアンス

ビジネス/ヒューマン

グローバル

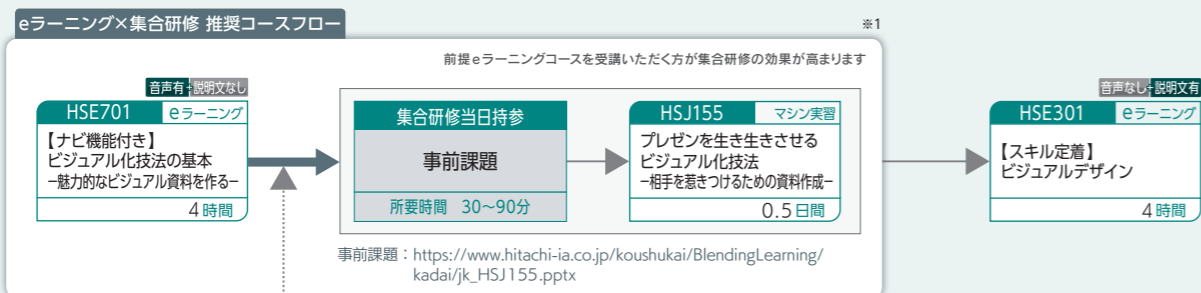
● ネゴシエーションスキルを高めたい方



**New**

**HSJ185** グループ演習 1日間  
行動経済学を応用したパースエイション(説得)のスキル  
-ハーバード流交渉術を越えて-

● ビジュアルデザインの基本スキルを身につけたい方



**HSE708** eラーニング 2時間  
【ナビ機能付き】グラフィカルトレーニング  
-思考を図解で強化する-

※1: 必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。集合研修は事前課題に取り組むことが前提となります。

**音声有・説明文有**: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

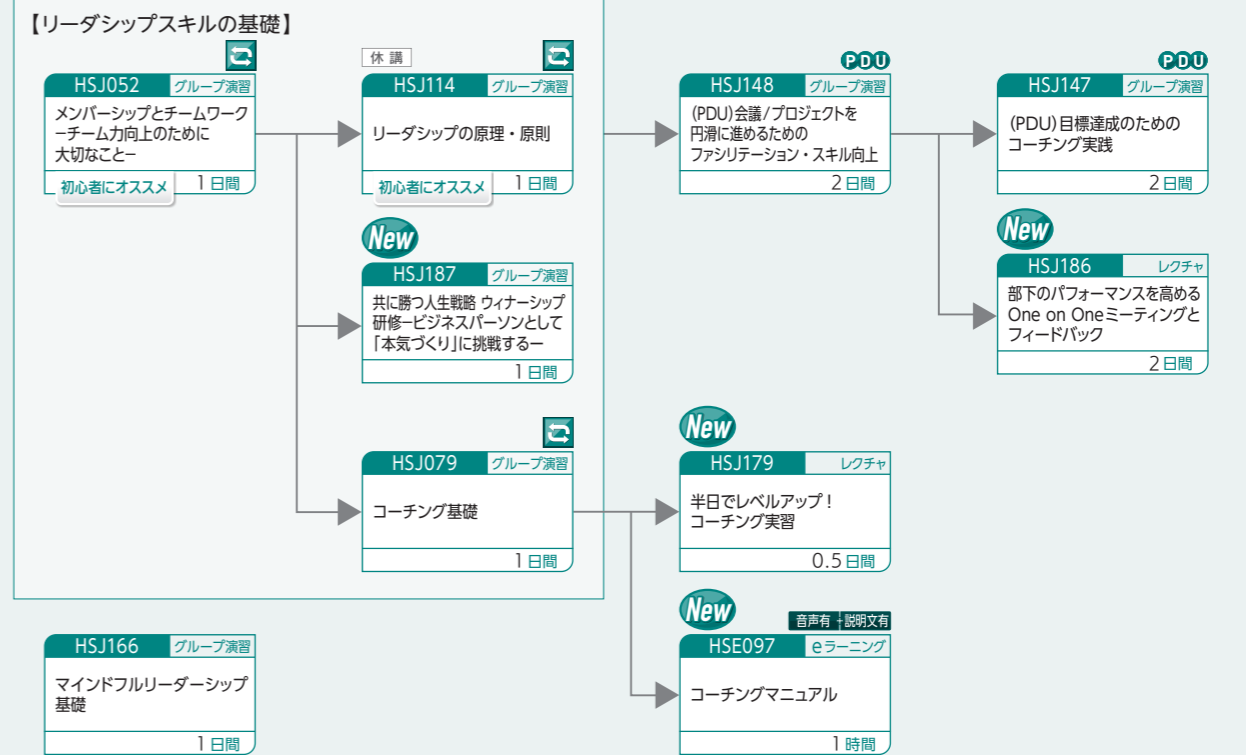
**音声有・説明文なし**: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

**音声なし・説明文有**: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

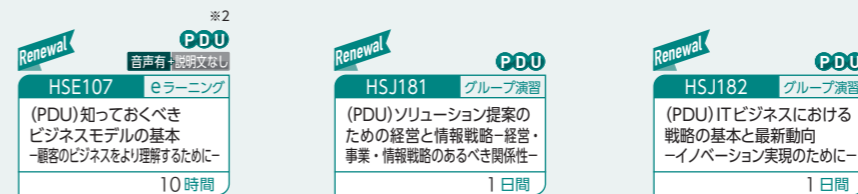
**初心者におススメ**: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

**PDU**: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

● リーダシップ能力を向上し、チームをマネジメントしたい方



● 事業、マーケティング戦略、セールスを学びたい方

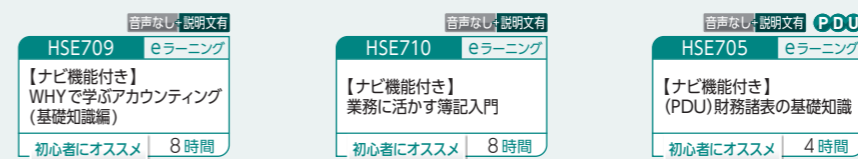


※2: SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

**New**

**HSJ180** グループ演習 1日間  
顧客協創を促すディスカッションペーパーの作成・活用の仕方

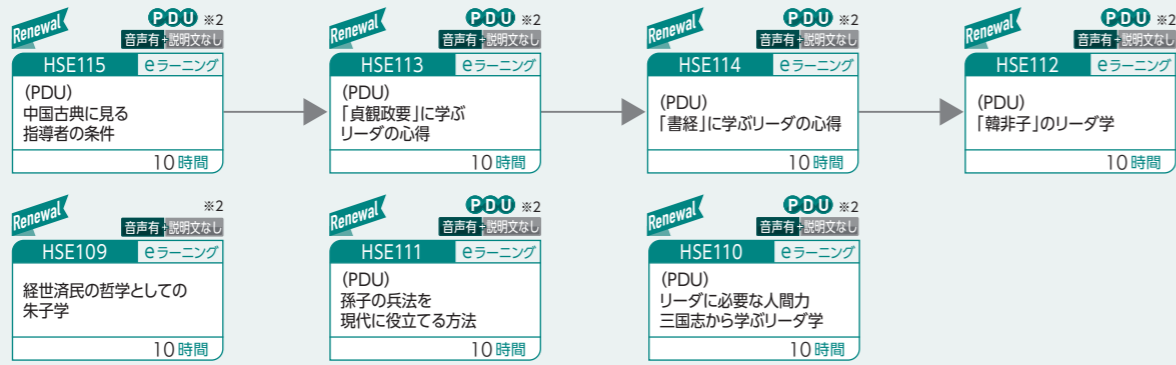
● アカウンティングに関するスキルを高めたい方



**📖**: 学び直しシリーズeラーニングとしてもご提供しています。

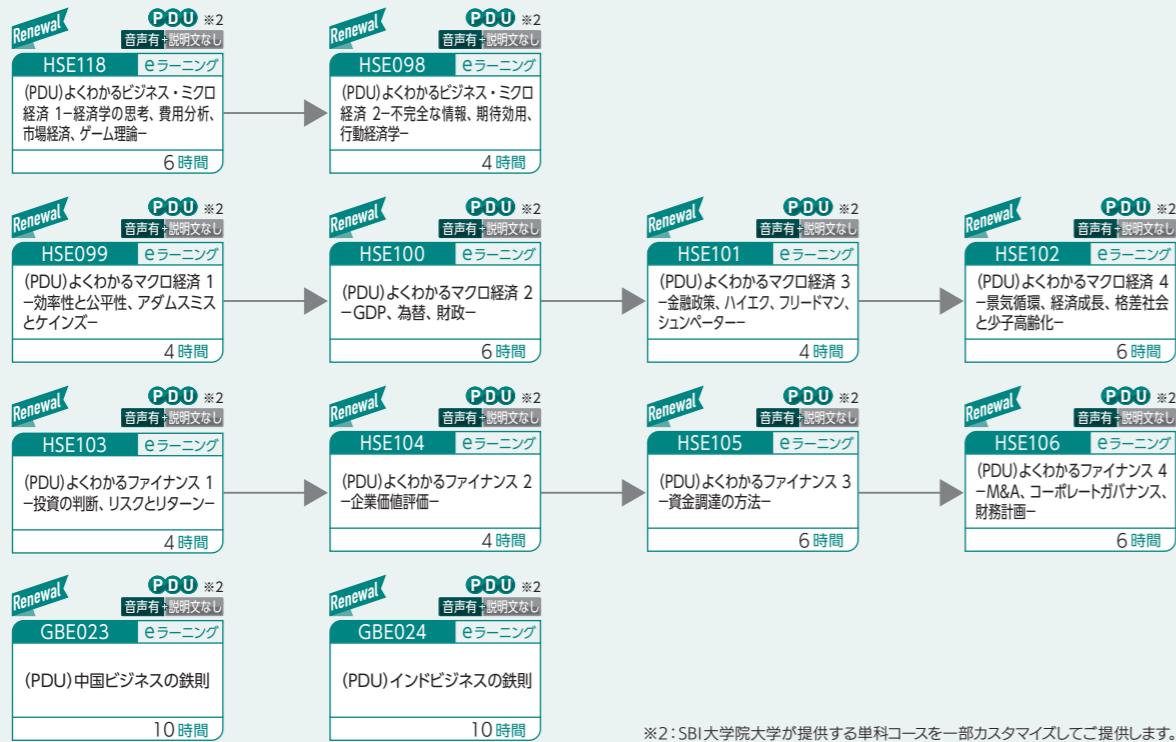
過去に受講した研修内容を再確認したい方や、既に業務を遂行するために独学で学び実践しているが、知識の抜け漏れがないかを体系的に学ぶことで整理したい方にお薦めのeラーニングです。集合研修のレクチャ部分を収録、抜粋しダイジェストコースとして、eラーニングで提供します。

● 中国古典を通して経営人間学を学びたい方



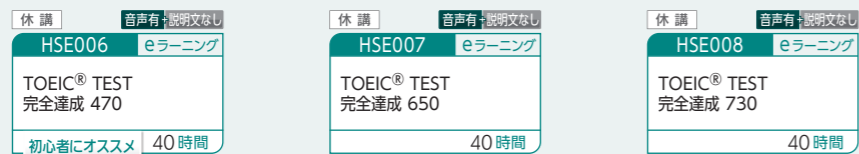
※2: SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

● ビジネス教養を身につけたい方



※2: SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

● 英語力を高めたい方



音声有・説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

**HSJ116** 思考法

**ロジカルシンキング基礎**  
-論理の可視化と論理チェックのポイント-

2日間

問題解決の際や、相手の納得を得られるために伝える際に必要となる、論理的思考の標準的なプロセスと構成を学習します。日々の業務での出来事・経験と自己の成長と結び付けながら思考技術を学習します。

**到達目標**

- 論理展開の基本が理解できる。
- 前提から結論までの論理のつながりを理解できる。
- 事実としての正しさを考える論理的問題解決のプロセスを理解できる。
- 本当にそれは問題か、本当にそれは真の原因か、本当にそれは最もよい解決策か、本当にその解決策は実行して成果を生むかをクリティカルマインドを持って確認できる。

**対象者** 問題解決の標準的な進め方を身につけたい方、うまく相手に伝えられないと感じている方、仕事のやり方を概念的に見つめ直したい方。

**前提知識** 特に必要としません。

**内容**

- オリエンテーション
- 論理的思考の基礎知識
  - 意味論と構文論
  - 論点と切り口
  - 問題解決のプロセス
  - 仮説検証サイクル
  - 挙げる(拡散思考)/絞る(収束思考)/確かめる(事実による検証)
  - クリティカルマインドでの問題解決
- 構文論の基本
  - 演繹法のポイント
  - 帰納法のポイント
- 構文論力の向上の方法
  - ピラミッドストラクチャによる論理構成の可視化
  - 「なぜそう言えるの?」「だから何が言えるの?」「なぜ大事な論点が漏れていないと言えるの?」
- 意味論力向上の方法
  - 選択肢を挙げる/絞り込む手法
  - 問題解決のプロセスへの論理思考の適用
- そして実務へ

**備考**

- このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
- このコースは、「ロジカルシンキング基礎」コースの内容改訂および名称を変更したものです。

**HSE066** 思考法

**<eラーニング>思考技法の概要**

平均4時間

これまで以上に業務における「思考」のウェイトが増えています。このような状況に対応するため、古今東西のあらゆる思考技法を、発想と情報整理の技法を中心に広く深く学習します。

**到達目標**

- 業務における思考の重要性を理解し、思考に時間を割く意識が持てる。
- 各思考法の特長とそれぞれの適用シーンを理解できる。
- 自己業務で有効な思考法を特定し、その技法の修得計画を立案できる。

**対象者** 思考法についてこれから学習をはじめの方、アイデア出しや情報を整理する必要があり、その手法を知りたい方。

**前提知識** 特に必要としません。

**内容**

- 発散技法
  - ブレインストーミング
  - ブレインライティング ほか多数
- 収束技法
  - KJ法
  - 特性要因図 ほか多数
- 統合技法
  - ケプナートリゴ法
  - TOC思考プロセス
  - パランススコアカード
  - ロジックツリー ほか多数
- 態度技法
  - 修了試験

**備考**

- 終了日は9月30日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**HSE036** 思考法

**<eラーニング>QFD(品質機能展開)で学ぶマトリクス表の上手な使い方**  
-マトリクス表を使って「決める」を考える-

平均4時間

QFD(品質機能展開)の手法を学習します。

**到達目標** QFD(品質機能展開)の概要を説明できる。

**対象者** 「決める」プロセスを知りたい方、QFDに興味のある方。特に必要としません。

**前提知識**

**内容**

- QFDの基礎知識
  - QFDとは何か?
  - QFDはどう役立つのか?
  - QFDはどう進めるのか?
  - 品質って何?
- 要求分析の手順とポイント
  - 要求品質の抽出
  - 品質企画の設定
  - 品質特性の抽出
  - 要求品質と品質特性の関連付け
  - 品質設計の設定
- 考える手順の応用
  - どんな横軸・縦軸が考えられるか?
  - 決めたいことには何があるか?

**備考**

- 終了日は9月30日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**HSE037** 思考法

**<eラーニング>TRIZで学ぶ発想のパターン**  
-科学的な強制発想法-

平均8時間

TRIZの手法を学習します。

**到達目標** TRIZの概要を説明できる。

**対象者** 「発想する」プロセスを知りたい方、TRIZに興味のある方。特に必要としません。

**前提知識** 特に必要としません。

**内容**

- TRIZの基礎知識
  - TRIZとは何か?
  - TRIZはどう役立つのか?
  - TRIZはどう進めるのか?
- 矛盾を定義する
  - 何を良くしたいのか?
  - 誰の究極の理想解なのか?
  - 何が妨げになるのか?
- 解決策を考える
  - 40の発明原理
  - 矛盾解決マトリクス(48のパラメータ)

**備考**

- 終了日は9月30日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**HSE302** 思考法

**<eラーニング>【スキル定着】**  
**相手を納得させる論理構成力を磨く**  
(スマートデバイス対応)

平均8時間

ロジックツリーやピラミッドストラクチャを何度も作って練習します。例えば、相手を納得させなければならない企画・提案の状況をケースとして設定し、その中で相手を納得させる論理構成をピラミッドストラクチャで作ります。

**到達目標** ロジックツリーやピラミッドストラクチャに対して自分なりの活用シーン、活用の型をイメージできるようになる。

**対象者** 営業・ITエンジニア(若手・中堅)の方。ロジカルシンキング基礎を学び、ロジックツリーやピラミッドストラクチャを理解したが、練習の機会が研修だけで実務に適用するには不安のある方。もっとさまざまな問題を解いて活用に使いたい方。

**前提知識** 「ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント」コースを修了しているか、または同等の知識(ロジックツリーやピラミッドストラクチャの理解)があること。

**内容**

- 論拠をつなげて主張をとす
- 論拠を事実で支える
- 結論を支える枠組みを考える
- 結論を納得させるうえで何が言えればよいかを考える
- 何が言えればよいか、を構造的に整理する

**備考**

- 終了日は9月30日になります。
- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

**HSE070** ライティング

**<eラーニング>**  
**文書作成力向上トレーニング**

平均8時間

読み手に正しく理解していただくためのビジネス文書の書き方のポイントを学習します。

**到達目標** 読み手を意識したわかりやすい文章を作成するためのポイントを説明できる。

**対象者** 分かりやすい文書作成のための構造を理解したい方。

**前提知識** 特に必要としません。

**内容**

- ビジネス文書に求められること
  - 求められる文書作成スキル
  - 読み手を意識した文書
  - ビジネス文書の目的
- 読み手を意識した文書作成のポイント
  - 分かりやすい文書
  - 簡潔な文書
  - 正しい文書
  - 読み手を意識した文書構造
  - 文書の要約
- 文書作成サイクル
  - 文書作成サイクル
  - 文書作成の準備
  - 文書の作成
- ビジネスメールの書き方
  - メール文の書き方
  - メールのマナー
- 社内・社外文書の書き方
  - 社内・社外文書の基本構造
  - 社内文書と社外文書の違い
  - 社内文書の書き方
  - 社外文書の書き方
- 修了試験

**備考**

- 終了日は9月30日になります。
- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。集合研修「文書作成力向上トレーニング(演習編)」コース(HSJ116)とあわせてのご受講を推奨します。eラーニングで基礎知識を学習しながら、後続の集合研修の事前課題に取り組むための知識を修得します。
- 詳細につきましては、ホームページの「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。<https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/index.html>
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。







|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| <span></span>                  |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS17/VOSK                |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービスマネジメント                  |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT 基本                          |
| IT 基本                          |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| <span></span>                  |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS17/VOSK                |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービスマネジメント                  |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT 基本                          |
| IT 基本                          |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

|   |  |            |
|---|--|------------|
| <b>HSJ052</b>   | <b>リーダーシップ</b>   |            |
| <span></span>   |  |            |
| <span></span>   |  |            |
| <b>メンバーシップとチームワークーチーム力向上のために大切なことー</b>                                      |  | <b>休 講</b> |
| 1日間   |  |            |
| チームのメンバーとして求められる、情報共有・責任性・実行力などの基本的資質を学習します。さらにチーム力向上のために必要な要素を、体験演習で学習します。 |  |            |
| <b>到達目標</b>   | ・組織の一員であるメンバーとしての行動基準を実践できる。 <p>・チーム力向上のための、重要な要素を説明できる。</p>   |            |
| <b>対象者</b>  | 新入社員、若手社員の方、チーム力を向上したいと考えている方。   |            |
| <b>前置知識</b>   | 特に必要としません。   |            |
| <b>内 容</b>  | 1. メンバーシップの基本 <p>(1)メンバーシップとは</p> <p>(2)フォロワーシップ</p> <p>(3)仕事に取り組む姿勢</p> 2. 情報共有 3. コミュニケーションの基本 <p>(1)コミュニケーションの3V</p> <p>(2)効果的なコミュニケーションのために</p> <p>(3)報連相の基本</p> 4. 仕事の基本 (PDCAサイクル) 5. チームワーク <p>(1)チームとは</p> <p>(2)欲求とモチベーション</p> <p>(3)チームワークとは</p> <p>(4)チームビルディング</p> 6. まとめ (振り返りとフィードバック) |            |
| <b>備 考</b>  | ・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 <p>・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。</p>   |            |

|  |   |            |
|--|---|------------|
| <b>HSJ071</b>  | <b>リーダーシップ</b>  |            |
| <span></span>  |   |            |
| <span></span>  |   |            |
| <b>個人と組織のマネジメントー部長・課長コースー</b>  |   | <b>休 講</b> |
| 1泊3日   |   |            |
| MBAでは「組織行動学」の範疇に入り、「個人と組織の効率を最大化し、かつ生き甲斐を持って活動できる」ために必要な知識・スキル・ノウハウを、講義と演習を通して学習します。さらに、管理職が組織リーダーとして果たすべき役割とそのために必要な行動の基本原則と知識を学習します。 |   |            |
| <b>到達目標</b>  | 人とチームを生き生きと運営するとともに最大の効率を上げるための知識・スキル・ノウハウおよびリーダーシップを修得できる。   |            |
| <b>対象者</b>   | ベテラン課長から新任部長の方。   |            |
| <b>前置知識</b>  | 特に必要としません。  |            |
| <b>内 容</b>   | 1. 時代の変化と管理職のスタンスの変化 <p>2. 組織と個人</p> <p>3. 人組織のマネジメント・リーダーシップ理論</p> <p>4. 業務の遂行</p> <p>5. 人材育成の考え方と方法</p> 6. まとめ  |            |
| <b>備 考</b>   | ・このコースは、[1日目]13:00～18:30、[2日目]9:00～夕食後進捗により継続あり、[3日目]9:00～13:00の開催とさせていただきます。 <p>・このコースでは、研修で学習する原論以外に、IT産業特有の事情に関わる対応・ノウハウ集 (例:年上の部下への対応)を、研修終了後にホームページからアクセスできるようになっています。</p> <p>・このコースは、研修2日目において宿泊 (1泊3日)が付いております。宿泊先は当社が用意しておりますので、宿泊に必要な物は各自にてご用意ください。なお、宿泊代は受講料に含まれています。</p> <p>・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。</p> |            |
|  |   |            |
|  |   |            |
| ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。  |   |            |

|   |  |            |
|---|--|------------|
| <b>HSJ114</b>                                       | <b>リーダーシップ</b>   |            |
| <span></span>                                       |  |            |
| <span></span>                                       |  |            |
| <b>リーダーシップの原理・原則</b>                                |  | <b>休 講</b> |
| 1日間   |  |            |
| リーダーシップの原理・原則を理解し、状況に合わせた行動のノウハウを学習します。             |  |            |
| <b>到達目標</b>   | ・多様性に富む組織の中でリーダーシップを自分なりに高められる。 <p>・リダ―として部下/上司との関係の中で適切な組織行動を取れる。</p> <p>・部下および自分自身がいかにして成長していくかのポイントを理解できる。</p>                                |            |
| <b>対象者</b>  | リーダーシップの原理・原則を理解したい方、リダ―またはこれからリダ―になる方。  |            |
| <b>前置知識</b>   | リダ―またはサブリーダーとしての経験があることが望ましい。  |            |
| <b>内 容</b>  | 1. 世の中の変化と一人ひとりがめざすべきものを理解し、自分の行動を振り返る <p>2. 人を動かすために身につけるべき事柄</p> <p>3. 主要なリーダーシップ理論の変遷と背景</p> <p>4. 自分を成長させ、他人を伸ばす方法を理解し、自分の行動を振り返る</p> 5. まとめ |            |
| <b>備 考</b>  | ・このコースは、9:00～17:20の開催とさせていただきます。 <p>・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。</p>                             |            |
|   |  |            |
| ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。 |  |            |

|   |  |  |
|---|--|--|
| <b>HSJ166</b>   | <b>リーダーシップ</b>   |  |
| <span></span>   |  |  |
| <span></span>   |  |  |
| <b>マインドフルリーダーシップ基礎</b>  |  |  |
| 1日間   |  |  |
| 忙しい現代ビジネスパーソンが集中力を高め記憶力や思考力を増進し、些事に悩まない強靱なリーダーシップが発揮できるようにするための手がかりです。グーグルやインテルのみならず世界のトップ企業において実践され始めている、マインドフルネスについて学習します。基本的な方法論を学び、実践できるようにします。 |  |  |
| <b>到達目標</b>   | マインドフルネスという概念と手法について理解し、実践できるようになる。  |  |
| <b>対象者</b>  | ビジネスリーダーを志す方。  |  |
| <b>前置知識</b>   | 特に必要としません。   |  |
| <b>内 容</b>  | 1. はじめに <p>(1)全体像</p> <p>(2)ウォーミングアップ</p> <p>(3)マインドフルネスの定義</p> 2. マインドフルネスの必要性 <p>(1)これからのリーダーに必要なコンピテンシー</p> <p>(2)自己認知に基づくリーダーシップ</p> <p>(3)情報爆発の中でのセルフマネジメント</p> 3. マインドフルネスの実践1 <p>(1)フォーマルな訓練とインフォーマルな訓練</p> <p>(2)アテンショントレーニング</p> <p>(3)注意力を高める</p> 4. 意思決定の科学 <p>(1)ポジティブティと創造性</p> <p>(2)情動と意思決定</p> <p>(3)レジリエンスが生まれるプロセス</p> 5. マインドフルネスの実践2 <p>(1)アテンショントレーニング</p> <p>(2)情動を制御するエクササイズ</p> <p>(3)これからの仕事へのヒント</p> 6. これからのセルフマネジメントに向けて <p>(1)マインドフルワークの練習</p> <p>(2)マインドフルコミュニケーション</p> <p>(3)アクションプラン</p> |  |
| <b>備 考</b>  | ・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 <p>・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。</p>   |  |

|  |  |            |
|--|--|------------|
| <b>HSJ179</b>  | <b>リーダーシップ</b>   |            |
| <span></span>  |  |            |
| <span></span>  |  |            |
| <b>半日でレベルアップ！コーチング実習</b>   |  | <b>New</b> |
| 0.5日間  |  |            |
| GROWのフレームを再確認しながら、コーチングセッション時につまづきやすいポイントを再確認します。信頼関係の構築、傾聴、承認、質問、フィードバック、提案の基本スキルも学び直します。 |  |            |
| <b>到達目標</b>  | ・GROWフレームでコーチングができる。 <p>・クライアントと信頼関係を築きながらコーチングができる。</p>   |            |
| <b>対象者</b>   | 全職種  技師・課長・部長・コーチング基礎は受講したものの、うまくいかない方・フレームは学んだものの、GROWをうまく回せない方・部下やステークホルダーとの信頼関係を強化したい方                |            |
| <b>前置知識</b>  | 「コーチング基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があり、GROWフレームでコーチングを実施した経験があること。   |            |
| <b>内 容</b>   | 1. GROWセッション Part1 <p>2. 撮影動画と基本スキルの振り返り</p> <p>3. GROWセッション Part2</p> <p>4. 学びの統合と適用へ向けてのアクションプラン作成</p> |            |
| <b>備 考</b>   | このコースは、13:00～17:30の開催とさせていただきます。   |            |

|   |   |            |
|---|---|------------|
| <b>HSE097</b>   | <b>リーダーシップ</b>  |            |
| <span></span>   |   |            |
| <span></span>   |   |            |
| <b>&lt;eラーニング&gt;コーチングマニュアル</b>   |   | <b>New</b> |
| 平均1時間   |   |            |
| クライアントとのセッション時に何をすればよいか、がガイドとして確認できます。相手のモチベーションを上げ、目標を明確にし、クライアントが解決策を導き出すための後押しになります。 |   |            |
| <b>到達目標</b>   | ・GROWフレームでコーチングができる。 <p>・クライアントに質問すべき事項がわかる。</p>  |            |
| <b>対象者</b>  | 全職種：技師～課長～部長。 <p>・「コーチング基礎」コースは受講したものの、うまくいかない方。</p> <p>・フレームは学んだものの、GROWをうまく回せない方。</p> <p>・部下やステークホルダーとの信頼関係を強化したい方。</p>   |            |
| <b>前置知識</b>   | 「コーチング基礎」コースを修了しているか、同等の知識があること。または、GROWフレームでコーチングを実施した経験があること。   |            |
| <b>内 容</b>  | 1. セッションを始めるとき心構え <p>2. GROWの簡易マニュアル</p> <p>3. 勇気づけのメッセージ集</p> <p>4. “こんな部下がいます、あなたならどうする”パターン集</p> <p>5. ラボールの重要性</p> <p>6. フィードバック事例集</p>   |            |
| <b>備 考</b>  | ・終了日は9月30日になります。 <p>・説明の画面とナレーション (説明テキスト) で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)</p> <p>・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</p> <p>・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</p> |            |

|   |  |  |
|---|--|--|
| <b>HSJ152</b>   | <b>リーダーシップ</b>   |  |
| <span></span>   |  |  |
| <span></span>   |  |  |
| <b>SEのためのサービスマインド醸成ー顧客対応の質を高め、他社と差別化を図るー</b>                                |  |  |
| 1日間   |  |  |
| CSやサービスとは何か、そして満足とは何かを、サービスサイエンスと心理学と経験則から学び、お客様や組織内の人間同士でのサービス応対スキルを学習します。 |  |  |
| <b>到達目標</b>   | ・CS (お客様の満足) 向上の必要性を認識できる。 <p>・CS向上対策/付加価値戦略を認識し、対策を立てられる。</p> <p>・サービス対応の質による他社との差別化ができる。</p>   |  |
| <b>対象者</b>  | SEまたは営業の方で、顧客と接する機会のある方。   |  |
| <b>前置知識</b>   | 3年以上の業務経験があること。  |  |
| <b>内 容</b>  | 1. 満足のモデル/サービスの特徴 <p>2. サービスサイエンスとCSとは</p> <p>3. 苦手なお客様 (グループ研究)</p> <p>4. 心に残るサービス (グループ研究)</p> <p>5. 自己管理</p> <p>6. 満足感を与えるためのロールプレイング</p> <p>7. 4つの状態に対する交流スキル</p> <p>8. 交流の終わりにすること</p> <p>9. 状態ごとのロールプレイング</p> <p>10. 対応ルール</p> |  |
| <b>備 考</b>  | ・このコースは、9:00～17:30の開催とさせていただきます。 <p>・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。</p>   |  |

|   |   |  |
|---|---|--|
| <b>HSJ147</b>   | <b>リーダーシップ</b>  |  |
| <span></span>   |   |  |
| <span></span>   |   |  |
| <b>(PDU) 目標達成のためのコーチング実践 PDU</b>  |   |  |
| 2日間   |   |  |
| 部下後輩の目標達成を支援するためのコーチングのスキルを学習します。また、キャリアコーチングを学習することで、部下後輩の中長期的キャリア達成を支援できます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント (PDU：14ポイント) の取得が可能です。 |   |  |
| <b>到達目標</b>   | ・部下後輩が目標を達成するためのコーチングの方法を身につけることができる。 <p>・部下後輩との面談や、中長期的キャリア支援に活用することができる。</p> <p>・メンバーの能力や可能性を最大限に引き出すビジネスコーチングのスキルを身につけることができる。</p>   |  |
| <b>対象者</b>  | メンパの指導、育成に携わる方。   |  |
| <b>前置知識</b>   | 「コーチング基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。   |  |
| <b>内 容</b>  | 1. 自身のコーチングの現状を振り返る <p>2. コーチングに必要なスキル</p> <p>3. 目標達成のために必要なこと</p> <p>4. パフォーマンスコーチング</p> <p>(1)目標設定のコーチング</p> <p>(2)目標達成につながる行動へのフィードバック</p> <p>(3)中間の達成状況確認コーチング</p> <p>(4)振り返りのコーチング</p> <p>(5)コーチング演習</p> 5. キャリアコーチング <p>(1)メンパのキャリアの考え方</p> <p>(2)キャリアコーチング</p> <p>(3)キャリアプランニング</p> <p>(4)キャリア面談</p> <p>(5)キャリアコーチング演習</p> 6. ロールプレイング <p>7. アクションプランの作成</p> |  |
| <b>備 考</b>  | ・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 <p>・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>・このコースは、「(PDU) 個を活かし、チームをまとめるコーチングスキルアップ研修ーコーチングを学びファシリテーションスキルを活かした協働の場づくり」コースの内容改訂および名称を変更したものです。</p> <p>・PMI®、PMP®、<i>PMBOK®</i>ガイド、はプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute、Inc.) の登録商標です。</p>                                     |  |

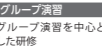
|  |  |  |
|--|--|--|
| <b>HSJ148</b>  | <b>リーダーシップ</b>   |  |
| <span></span>  |  |  |
| <span></span>  |  |  |
| <b>(PDU) 会議/プロジェクトを円滑に進めるためのファシリテーション・スキル向上 PDU</b>  |  |  |
| 2日間  |  |  |
| 効率的、効果的な会議/プロジェクトを運営するために有効である、ミーティング・コミュニケーションと対応法を学習します。さらに、生産的な会議に必要なファシリテーション・スキルを理解し、適切なコミュニケーション技術を修得できます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント (PDU：14ポイント) の取得が可能です。 |  |  |
| <b>到達目標</b>  | ・会議やミーティングにおけるファシリテーションの基礎ならびに一对多数型のコミュニケーションスキルを改善し、強化することができる。 <p>・成果を上げる会議とは何かを理解し、効率的・効果的な会議運営に必要なノウハウを修得できる。</p>  |  |
| <b>対象者</b>   | 会議/プロジェクト運営に悩んでいる方。 <p>2年以上の業務経験があること。</p>   |  |
| <b>前置知識</b>  |  |  |
| <b>内 容</b>   | 1. 成果を上げる会議とは <p>2. 効果的な「伝え方」</p> <p>3. 効果的な「聴き方」</p> <p>4. 効果的な「場づくり」</p> <p>5. 効果的な会議の進め方 (会議進行編)</p> <p>6. 効果的な会議の進め方 (問題解決編)</p>   |  |
| <b>備 考</b>   | ・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 <p>・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>・PMI®、PMP®、<i>PMBOK®</i>ガイド、はプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute、Inc.) の登録商標です。</p> |  |

|  |  |            |
|--|--|------------|
| <b>HSJ187</b>  | <b>リーダーシップ</b>   |            |
| <span></span>  |  |            |
| <span></span>  |  |            |
| <b>共に勝つ人生戦略 ウィナーシップ研修ービジネスパーソンとして「本気づくり」に挑戦するー</b>                                 |  | <b>New</b> |
| 1日間  |  |            |
| 誰もが陥りがちなコンフォートゾーン (心地よい自己領域) を自ら破り、関わる人達とさらに高度な人間関係を構築するために「本気力」で自己変革をめざすために学習します。 |  |            |
| <b>到達目標</b>  | 「本気による人との関わりあい」を認識することにより、しつかりとした「パートナーシップ」を身につけることができる。 <p>・自分の可能性に蓋をしているのは自分であることに気づき、今後の自分の職場人生における挑戦力をつけることができる。</p>   |            |
| <b>対象者</b>   | 「本気」で自己変革に挑戦したい方。  |            |
| <b>前置知識</b>  | 特に必要としません。   |            |
| <b>内 容</b>   | 1. 自己理解と現状認識 <p>2. 反省の原則</p> <p>3. リーダシップの定義</p> <p>4. 成果集団への実践項目</p> <p>5. 3つの責任</p> <p>6. 本気人間の生き方</p> <p>7. 感謝の法則</p> <p>8. リーダシップを超えるウィナーシップへ</p> <p>9. ストローク</p> <p>10. 他律と自律</p> <p>11. 成果を創る8大機能</p> <p>12. 意志の9段階</p> <p>13. 職場の現状分析</p> |            |
| <b>備 考</b>   | ・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 <p>・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。</p>   |            |

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| <span></span>                  |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS17/VOSK                |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービスマネジメント                  |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT 基本                          |
| IT 基本                          |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |

|                                |
|--------------------------------|
| 日立製品                           |
| <span></span>                  |
| JP1                            |
| uCosminexus Application Server |
| HIRDB                          |
| OpenTP1                        |
| VOS3/VOS17/VOSK                |
| XDM/PDM II                     |
| Hitachi Advanced Data Binder   |
| 日立ストレージ                        |
| Pentaho ソフトウェア                 |
| デジタルトランスフォーメーション               |
| IT 利活用                         |
| イノベーション                        |
| IoT/AI/Lumada                  |
| ビッグデータ                         |
| データ分析                          |
| サイバーセキュリティ                     |
| クラウド/サーバ仮想化                    |
| IT サービスマネジメント                  |
| システム基盤                         |
| オープンソースソフトウェア(OSS)             |
| Linux                          |
| Microsoft                      |
| ネットワーク                         |
| セキュリティ                         |
| データベース                         |
| IT戦略・IS企画/システム設計               |
| IT戦略・IS企画                      |
| システム設計                         |
| アプリケーション開発                     |
| Webアプリケーション                    |
| スマートデバイス                       |
| オブジェクト指向/UML                   |
| 言語                             |
| IT 基本                          |
| IT 基本                          |
| ハードウェア                         |
| 情報処理資格                         |
| 情報リテラシ                         |
| プロジェクトマネジメント                   |
| コンプライアンス                       |
| ビジネス/ヒューマン                     |
| グローバル                          |



|                                   |
|-----------------------------------|
| <span></span>                     |
| 日立製品                              |
|                                   |
| JP1                               |
| uCosminexus<br>Application Server |
| HIRDB                             |
|                                   |
| OpenTP1                           |
| VOS3/VOS1/<br>VOSK                |
| XDM/PDMⅡ                          |
| Hitachi Advanced<br>Data Binder   |
| 日立ストレージ                           |
| Pentaho<br>ソフトウェア                 |
| デジタルトランス<br>フォーメーション              |
| IT 利活用                            |
| イノベーション                           |
| IoT/Al/Lumada                     |
| ビッグデータ                            |
| データ分析                             |
| サイバー<br>セキュリティ                    |
| クラウド/<br>サーバ仮想化                   |
| IT サービス<br>マネジメント                 |
|                                   |
| システム基盤                            |
| オープンソース<br>ソフトウェア(OSS)            |
| Linux                             |
| Microsoft                         |
| ネットワーク                            |
| セキュリティ                            |
| データベース                            |
|                                   |
| IT戦略・IS企画/<br>システム設計              |
| IT戦略・IS企画                         |
| システム設計                            |
|                                   |
| アプリケーション<br>開発                    |
| Web<br>アプリケーション                   |
| スマートデバイス                          |
| オブジェクト指向/<br>UML                  |
| 言語                                |
|                                   |
| IT 基本                             |
| IT 基本                             |
| ハードウェア                            |
| 情報処理資格                            |
|                                   |
| 情報リテラシ                            |
|                                   |
| プロジェクト<br>マネジメント                  |
|                                   |
| コンプライアンス                          |
|                                   |
| ビジネス/<br>ヒューマン                    |
|                                   |
| グローバル                             |

## ビジネス/ヒューマン

|   |                                  |
|---|----------------------------------|
| <div><div><span><span></span></span></div><div><div>HSE107</div></div></div>  | <div><div>戦略・マーケティング</div></div> |
| <div><div><div><span></span></div><div><div><span><span></span></span></div><div><span><span></span></span></div><div><span><b>&lt;eラーニング&gt; (PDU)</b></span></div><div><span><b>知っておくべきビジネスモデルの基本</b></span></div><div><span><b>—顧客のビジネスをより理解するために—</b></span></div></div></div><div><span>平均10時間</span></div><span><b> PDU </b></span></div> |                                  |

|  |                                  |
|--|----------------------------------|
| <div><div><span><span></span></span></div><div><div>HSJ181</div></div></div>   | <div><div>戦略・マーケティング</div></div> |
| <div><div><div><span></span></div><div><div><span><span></span></span></div><div><span><b>&lt;eラーニング&gt; (PDU)</b></span></div><div><span><b>ソリューション提案のための経営と情報戦略—経営・事業・情報戦略のあるべき関係性—</b></span></div></div></div><div><span>1日間</span></div><span><b> PDU </b></span></div> |                                  |


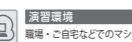

|  |                                  |
|--|----------------------------------|
| <div><div><span><span></span></span></div><div><div>HSJ182</div></div></div>   | <div><div>戦略・マーケティング</div></div> |
| <div><div><div><span></span></div><div><div><span><span></span></span></div><div><span><b>&lt;eラーニング&gt; (PDU)</b></span></div><div><span><b>ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向</b></span></div><div><span><b>—イノベーション実現のために—</b></span></div></div></div><div><span>1日間</span></div><span><b> PDU </b></span></div> |                                  |

|   |                            |
|---|----------------------------|
| <div><div><span><span></span></span></div><div><div>HSE709</div></div></div>  | <div><div>業務知識</div></div> |
| <div><div><div><span></span></div><div><div><span><b>&lt;eラーニング&gt;[ナビ機能付き]</b></span></div><div><span><b>WHYで学ぶアカウンティング</b></span></div><div><span><b>(基礎知識編)</b></span></div></div></div><div><span>平均8時間</span></div><span><b> PDU </b></span></div> |                            |

|   |                            |
|---|----------------------------|
| <div><div><span><span></span></span></div><div><div>HSE710</div></div></div>  | <div><div>業務知識</div></div> |
| <div><div><div><span></span></div><div><div><span><b>&lt;eラーニング&gt;[ナビ機能付き]</b></span></div><div><span><b>業務に活かす簿記入門</b></span></div></div></div><div><span>平均8時間</span></div><span><b> PDU </b></span></div> |                            |

|  |                            |
|--|----------------------------|
| <div><div><span><span></span></span></div><div><div>HSE705</div></div></div>   | <div><div>業務知識</div></div> |
| <div><div><div><span></span></div><div><div><span><b>&lt;eラーニング&gt;[ナビ機能付き]</b></span></div><div><span><b>(PDU) 財務諸表の基礎知識</b></span></div></div></div><div><span>平均4時間</span></div><span><b> PDU </b></span></div> |                            |

|  |  |   |
|--|--|---|
|  マシン実習<br>マシンを使用したからの研修 |  グループ演習<br>グループ演習を中心とした研修 |  レクチャ<br>座学による研修 |
|--|--|---|

|   |   |  |
|---|---|--|
|  演習環境<br>職場・ご自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習 |  研修室自習型<br>研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 |  eラーニング<br>インターネット接続による自己学習 |
|---|---|--|

|   |   |  |
|---|---|--|
|  eラーニング<br>インターネット接続による自己学習 |  マシン実習<br>マシンを使用した研修 |  グループ演習<br>グループ演習を中心とした研修 |
|---|---|--|

|   |                            |
|---|----------------------------|
| <div><div><span><span></span></span></div><div><div>HSE118</div></div></div>  | <div><div>業務知識</div></div> |
| <div><div><div><span></span></div><div><div><span><b>&lt;eラーニング&gt; (PDU)</b></span></div><div><span><b>よくわかるビジネス・マイクロ経済1</b></span></div><div><span><b>—経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論—</b></span></div></div></div><div><span>平均6時間</span></div><span><b> PDU </b></span></div> |                            |

|  |                            |
|--|----------------------------|
| <div><div><span><span></span></span></div><div><div>HSE100</div></div></div>   | <div><div>業務知識</div></div> |
| <div><div><div><span></span></div><div><div><span><b>&lt;eラーニング&gt; (PDU)</b></span></div><div><span><b>よくわかるマクロ経済2</b></span></div><div><span><b>—GDP、為替、財政—</b></span></div></div></div><div><span>平均6時間</span></div><span><b> PDU </b></span></div> |                            |

|  |                            |
|--|----------------------------|
| <div><div><span><span></span></span></div><div><div>HSE098</div></div></div>   | <div><div>業務知識</div></div> |
| <div><div><div><span></span></div><div><div><span><b>&lt;eラーニング&gt; (PDU)</b></span></div><div><span><b>よくわかるビジネス・マイクロ経済2</b></span></div><div><span><b>—不完全な情報、期待効用、行動経済学—</b></span></div></div></div><div><span>平均4時間</span></div><span><b> PDU </b></span></div> |                            |

|  |                            |
|--|----------------------------|
| <div><div><span><span></span></span></div><div><div>HSE099</div></div></div>   | <div><div>業務知識</div></div> |
| <div><div><div><span></span></div><div><div><span><b>&lt;eラーニング&gt; (PDU)</b></span></div><div><span><b>よくわかるマクロ経済1</b></span></div><div><span><b>—効率性と公平性、アダムスミスとケインズ—</b></span></div></div></div><div><span>平均4時間</span></div><span><b> PDU </b></span></div> |                            |

## ビジネス/ヒューマン

|                                   |
|-----------------------------------|
| <span></span>                     |
| 日立製品                              |
|                                   |
| JP1                               |
| uCosminexus<br>Application Server |
| HIRDB                             |
|                                   |
| OpenTP1                           |
| VOS3/VOS1/<br>VOSK                |
| XDM/PDMⅡ                          |
| Hitachi Advanced<br>Data Binder   |
| 日立ストレージ                           |
| Pentaho<br>ソフトウェア                 |
| デジタルトランス<br>フォーメーション              |
| IT 利活用                            |
| イノベーション                           |
| IoT/Al/Lumada                     |
| ビッグデータ                            |
| データ分析                             |
| サイバー<br>セキュリティ                    |
| クラウド/<br>サーバ仮想化                   |
| IT サービス<br>マネジメント                 |
|                                   |
| システム基盤                            |
| オープンソース<br>ソフトウェア(OSS)            |
| Linux                             |
| Microsoft                         |
| ネットワーク                            |
| セキュリティ                            |
| データベース                            |
|                                   |
| IT戦略・IS企画/<br>システム設計              |
| IT戦略・IS企画                         |
| システム設計                            |
|                                   |
| アプリケーション<br>開発                    |
| Web<br>アプリケーション                   |
| スマートデバイ                           |
| オブジェクト指向/<br>UML                  |
| 言語                                |
|                                   |
| IT 基本                             |
| IT 基本                             |
| ハードウェア                            |
| 情報処理資格                            |
|                                   |
| 情報リテラシ                            |
|                                   |
| プロジェクト<br>マネジメント                  |
|                                   |
| コンプライアンス                          |
|                                   |
| ビジネス/<br>ヒューマン                    |
|                                   |
| グローバル                             |



日立製品

JP1

uCosminexus  
Application Server

HIRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/  
VOSK

XDM/PDM II

Hitachi Advanced  
Data Binder

日立ストレージ

Pentaho  
ソフトウェア

デジタルトランス  
フォーメーション

IT 利活用

イノベーション

IoT/AI/Lumada

ビッグデータ

データ分析

サイバー  
セキュリティ

クラウド/  
サーバ仮想化

IT サービス  
マネジメント

システム基盤

オープンソース  
ソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画/  
システム設計

IT戦略・IS企画

システム設計

アプリケーション  
開発

Web  
アプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/  
UML

言語

IT基本

IT基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ

プロジェクト  
マネジメント

コンプライアンス

ビジネス/  
ヒューマン

グローバル

|   |  |  |                             |    |
|---|--|--|-----------------------------|----|
| <b>HSE007</b>                                       | 英語   |  | <b>&lt;eラーニング&gt;</b>       | 休講 |
|   |  |  | <b>TOEIC® TEST 完全達成 650</b> |    |
| 平均40時間  |  |  |                             |    |
| TOEIC® TESTに向けてListening、Readingを学習します。             |  |  |                             |    |
| <b>到達目標</b>   | TOEIC® TESTのスコア500点台後半を取得できる。  |  |                             |    |
| <b>対象者</b>  | TOEIC® TESTのスコア600点台突破をめざす中級者の方。   |  |                             |    |
| <b>前提知識</b>   | Windowsの基本的な操作経験があること。   |  |                             |    |
| <b>内容</b>   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Listening                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) エクササイズとクイズ</li> <li>(2) 章末テスト</li> </ol> </li> <li>2. Reading                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) エクササイズとクイズ</li> <li>(2) 章末テスト</li> </ol> </li> <li>3. Vocabulary                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) エクササイズとクイズ</li> </ol> </li> </ol>      |  |                             |    |
| <b>備考</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・終了日は9月30日になります。</li> <li>・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)</li> <li>・Listening、Reading、Vocabularyの三つのセクションがあります。各セクションは、12個のユニットで構成されています。各ユニットには、エクササイズとクイズを収録しています。</li> <li>・このコースの内容は、20~30時間の学習を想定しています。</li> <li>・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li> </ul> |  |                             |    |
| ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。 |  |  |                             |    |

|   |  |  |                             |    |
|---|--|--|-----------------------------|----|
| <b>HSE008</b>                                       | 英語   |  | <b>&lt;eラーニング&gt;</b>       | 休講 |
|   |  |  | <b>TOEIC® TEST 完全達成 730</b> |    |
| 平均40時間  |  |  |                             |    |
| TOEIC® TESTに向けてListening、Readingを学習します。             |  |  |                             |    |
| <b>到達目標</b>   | TOEIC® TESTのスコア600点台後半を取得できる。  |  |                             |    |
| <b>対象者</b>  | TOEIC® TESTのスコア700点台突破をめざす中上級者の方。  |  |                             |    |
| <b>前提知識</b>   | Windowsの基本的な操作経験があること。   |  |                             |    |
| <b>内容</b>   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Listening                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) エクササイズとクイズ</li> <li>(2) 章末テスト</li> </ol> </li> <li>2. Reading                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) エクササイズとクイズ</li> <li>(2) 章末テスト</li> </ol> </li> <li>3. Vocabulary                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) エクササイズとクイズ</li> </ol> </li> </ol>      |  |                             |    |
| <b>備考</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・終了日は9月30日になります。</li> <li>・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)</li> <li>・Listening、Reading、Vocabularyの三つのセクションがあります。各セクションは、12個のユニットで構成されています。各ユニットには、エクササイズとクイズを収録しています。</li> <li>・このコースの内容は、20~30時間の学習を想定しています。</li> <li>・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li> </ul> |  |                             |    |
| ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。 |  |  |                             |    |



**マンシム実習**  
マンシムを使用しながらの研修



**グループ演習**  
グループ演習を中心とした研修



**レクチャ**  
座学による研修



**演習環境**  
職場・自宅などのマンシム演習環境を使用した自己学習



**研修室自習型**  
研修室でのマンシム演習環境を使用した自己学習

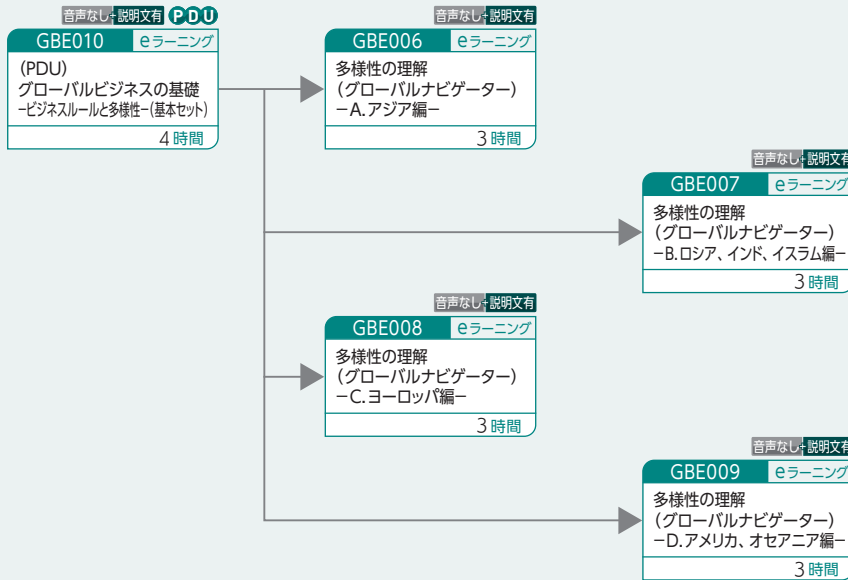


**eラーニング**  
インターネット接続による自己学習

# グローバル

グローバルでビジネスを進めるうえで必要となるスキル（グローバルマインドセット、各国の動機付け要因、反発要因など）が修得できます。

## ● 多様性について理解を深めたい方



## ● グローバルなコミュニケーション力をつけたい方

**GBD001** グループ演習  
情理と論理のグローバルコミュニケーション-日本文化に根ざし、人間力で考える戦略思考-  
1日間

## ● 中国ビジネスを学びたい方

**Renewal** **PDU** ※1  
音声有+説明文なし  
**GBE023** eラーニング  
(PDU)中国ビジネスの鉄則  
10時間

※1: SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

## ● インドビジネスを学びたい方

**Renewal** **PDU** ※1  
音声有+説明文なし  
**GBE024** eラーニング  
(PDU)インドビジネスの鉄則  
10時間

※1: SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

- 音声有+説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有+説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし+説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

**初心者におすすめ**: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

**PDU**: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



目録テキスト  
目録による自己学習

休講

休講  
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

日立製品

JP1

uCosminexus  
Application Server

HiRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/  
VOSK

XDM/PDM II

Hitachi Advanced  
Data Binder

日立ストレージ

Pentaho  
ソフトウェア

デジタルトランス  
フォーメーション

IT 利活用

イノベーション

IoT/AI/Lumada

ビッグデータ

データ分析

サイバー  
セキュリティ

クラウド/  
サーバ仮想化

IT サービス  
マネジメント

システム基盤

オープンソース  
ソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

セキュリティ

データベース

IT 戦略・IS 企画/  
システム設計

IT 戦略・IS 企画

システム設計

アプリケーション  
開発

Web  
アプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/  
UML

言語

IT 基本

IT 基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ


プロジェクト  
マネジメント


コンプライアンス


ビジネス/  
ヒューマン


グローバル


|  |
|--|
| 日立製品   |
| <p><span>JP1</span></p> uCosminexus Application Server |
| <p>HIRDB</p>   |
| <p>OpenTP1</p>   |
| <p>VOS3/VOS1/VOSK</p>                                  |
| <p>XDM/PDM II</p>                                      |
| <p>Hitachi Advanced Data Binder</p>                    |
| <p>日立ストレージ</p>   |
| <p>Pentaho ソフトウェア</p>                                  |
| <p>デジタルトランスフォーメーション</p>                                |
| <p>IT 利活用</p>  |
| <p>イノベーション</p>   |
| <p>IoT/AI/Lumada</p>                                   |
| <p>ビッグデータ</p>  |
| <p>データ分析</p>   |
| <p>サイバーセキュリティ</p>                                      |
| <p>クラウド/サーバ仮想化</p>                                     |
| <p>IT サービスマネジメント</p>                                   |
| <p>システム基盤</p>  |
| <p>オープンソースソフトウェア(OSS)</p>                              |
| <p>Linux</p>   |
| <p>Microsoft</p>                                       |
| <p>ネットワーク</p>  |
| <p>セキュリティ</p>  |
| <p>データベース</p>  |
| <p>IT戦略・IS企画/システム設計</p>                                |
| <p>IT戦略・IS企画</p>                                       |
| <p>システム設計</p>  |
| <p>アプリケーション開発</p>                                      |
| <p>Webアプリケーション</p>                                     |
| <p>スマートデバイス</p>  |
| <p>オブジェクト指向/UML</p>                                    |
| <p>言語</p>  |
| <p>IT 基本</p>   |
| <p>IT 基本</p>   |
| <p>ハードウェア</p>  |
| <p>情報処理資格</p>  |
| <p>情報リテラシ</p>  |
| <p>プロジェクトマネジメント</p>                                    |
| <p>コンプライアンス</p>  |
| <p>ビジネス/ヒューマン</p>                                      |
| <p>グローバル</p>   |


| GBE010 グローバル   |
|--|
| <div><div><span>eラーニング</span></div><div><b>&lt;eラーニング&gt;(PDU)グローバルビジネスの基礎－ビジネスルールと多様性－(基本セット) <span>PDU</span></b></div></div> <div>平均4週間</div>  |
| <p>グローバル化モデルの7つの思考パターンを理解し、身につけるとともに、多様な人たちの心の構図を読み解く土台となる「文化の世界地図」、各国別の動機付け要因、反発要因に関する辞書を身につけます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：4ポイント)の取得が可能です。</p>   |
| <div><b>到達目標</b></div> <ul style="list-style-type: none"><li>・1990年代に起こった世界のグローバル市場化の意味合いを理解し、そこで生きていくためのルールが分かる。</li> <li>・民族のアイデンティティや文化のDNAを把握できるようになる。</li> <li>・グローバル人材度のチェックを行い、今後の修得必要分野を知る。</li></ul>  |
| <div><b>対象者</b></div> <p>グローバルビジネスに関わる方。</p>   |
| <div><b>前提知識</b></div> <p>特に必要としません。</p>   |
| <div><b>内 容</b></div> <ol style="list-style-type: none"><li>1. グローバル時代のモデルチェンジ－新しい方程式へのコベルニクスの転換を1－</li> <li>2. グローバルマインドの設定 <ul style="list-style-type: none"><li>世界市場で競争力を持つ7つの思考パターンを身につける</li></ul></li> <li>3. 文化の世界地図 <ul style="list-style-type: none"><li>70億の多様な人たちの心の構図を読み解く</li></ul></li> <li>4. グローバルナビゲーター <ul style="list-style-type: none"><li>国別理解による事例の分析</li> <li>一人の中の世界地図に具体性を持たせる－</li> <li>(1)米国</li> <li>(2)中国</li> <li>(3)日本</li></ul></li> <li>5. グローバル人材度アセスメント <ul style="list-style-type: none"><li>30問のアセスメントでグローバル人材度をセルフチェック(解説付き)</li></ul></li></ol> |
| <div><b>備 考</b></div> <ul style="list-style-type: none"><li>・終了日は9月30日になります。</li> <li>・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)</li> <li>・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li> <li>・PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。</li></ul>  |


| GBE008 グローバル  |
|---|
| <div><div><span>eラーニング</span></div><div><b>&lt;eラーニング&gt;多様性の理解(グローバルナビゲーター) C.ヨーロッパ編</b></div></div> <div>平均3週間</div>   |
| <p>ドイツ、スイス、フランス、イタリア、オーストリア、ポーランド、オランダ、スペイン、イギリスの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「(PDU)グローバルビジネスの基礎－ビジネスルールと多様性－(基本セット)」eラーニングコース(コースコード：GBE010)のオプションです。</p>  |
| <div><b>到達目標</b></div> <p>ドイツ、スイス、フランス、イタリア、オーストリア、ポーランド、オランダ、スペイン、イギリスの史的文化層、動機付け要因、反発、要因をふまえて行動できる。</p>   |
| <div><b>対象者</b></div> <p>グローバルビジネスに現在または将来関わる方。</p>   |
| <div><b>前提知識</b></div> <p>「(PDU)グローバルビジネスの基礎－ビジネスルールと多様性－(基本セット)」eラーニングコースを修了していること。</p>  |
| <div><b>内 容</b></div> <p>ドイツ、スイス、フランス、イタリア、オーストリア、ポーランド、オランダ、スペイン、イギリスそれぞれについての、</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 史的文化層</li> <li>2. カルチャラル・モティベータ</li> <li>3. カルチャラル・ディモティベータ</li></ol>   |
| <div><b>備 考</b></div> <ul style="list-style-type: none"><li>・終了日は9月30日になります。</li> <li>・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)</li> <li>・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li></ul> |

| GBE006 グローバル  |
|---|
| <div><div><span>eラーニング</span></div><div><b>&lt;eラーニング&gt;多様性の理解(グローバルナビゲーター) A.アジア編</b></div></div> <div>平均3週間</div>   |
| <p>日本、中国、台湾、香港、韓国、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「(PDU)グローバルビジネスの基礎－ビジネスルールと多様性－(基本セット)」eラーニングコース(コースコード：GBE010)のオプションです。</p>  |
| <div><b>到達目標</b></div> <p>日本、中国、台湾、香港、韓国、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイの史的文化層や動機付け要因、反発要因をふまえて行動できる。</p>  |
| <div><b>対象者</b></div> <p>グローバルビジネスに現在または将来関わる方。</p>   |
| <div><b>前提知識</b></div> <p>「(PDU)グローバルビジネスの基礎－ビジネスルールと多様性－(基本セット)」eラーニングコースを修了していること。</p>  |
| <div><b>内 容</b></div> <p>日本、中国、台湾、香港、韓国、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイそれぞれについての、</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 史的文化層</li> <li>2. カルチャラル・モティベータ</li> <li>3. カルチャラル・ディモティベータ</li></ol>   |
| <div><b>備 考</b></div> <ul style="list-style-type: none"><li>・終了日は9月30日になります。</li> <li>・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)</li> <li>・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li></ul> |

| GBE009 グローバル  |
|---|
| <div><div><span>eラーニング</span></div><div><b>&lt;eラーニング&gt;多様性の理解(グローバルナビゲーター) D.アメリカ、オセアニア編</b></div></div> <div>平均3週間</div>  |
| <p>カナダ、米国、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、オーストラリア、ニュージーランドの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「(PDU)グローバルビジネスの基礎－ビジネスルールと多様性－(基本セット)」eラーニングコース(コースコード：GBE010)のオプションです。</p>   |
| <div><b>到達目標</b></div> <p>カナダ、米国、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、オーストラリア、ニュージーランドの史的文化層、動機付け要因、反発要因をふまえて行動できる。</p>   |
| <div><b>対象者</b></div> <p>グローバルビジネスに現在または将来関わる方。</p>   |
| <div><b>前提知識</b></div> <p>「&lt;eラーニング&gt;(PDU)グローバルビジネスの基礎－ビジネスルールと多様性－(基本セット)」を修了していること。</p>   |
| <div><b>内 容</b></div> <p>カナダ、米国、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、オーストラリア、ニュージーランドそれぞれについての、</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 史的文化層</li> <li>2. カルチャラル・モティベータ</li> <li>3. カルチャラル・ディモティベータ</li></ol>  |
| <div><b>備 考</b></div> <ul style="list-style-type: none"><li>・終了日は9月30日になります。</li> <li>・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)</li> <li>・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li></ul> |

| GBE007 グローバル  |
|---|
| <div><div><span>eラーニング</span></div><div><b>&lt;eラーニング&gt;多様性の理解(グローバルナビゲーター) B.ロシア、インド、イスラム編</b></div></div> <div>平均3週間</div>   |
| <p>ロシア、インド、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、カザフスタン、パキスタン、サウジアラビアの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「(PDU)グローバルビジネスの基礎－ビジネスルールと多様性－(基本セット)」eラーニングコース(コースコード：GBE010)のオプションです。</p>   |
| <div><b>到達目標</b></div> <p>ロシア、インド、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、カザフスタン、パキスタン、サウジアラビアの史的文化層、動機付け要因、反発要因をふまえて行動できる。</p>   |
| <div><b>対象者</b></div> <p>グローバルビジネスに現在または将来関わる方。</p>   |
| <div><b>前提知識</b></div> <p>「(PDU)グローバルビジネスの基礎－ビジネスルールと多様性－(基本セット)」eラーニングコースを修了していること。</p>  |
| <div><b>内 容</b></div> <p>ロシア、インド、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、カザフスタン、パキスタン、サウジアラビアそれぞれについての、</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 史的文化層</li> <li>2. カルチャラル・モティベータ</li> <li>3. カルチャラル・ディモティベータ</li></ol>  |
| <div><b>備 考</b></div> <ul style="list-style-type: none"><li>・終了日は9月30日になります。</li> <li>・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)</li> <li>・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li></ul> |

| GBD001 グローバル   |
|--|
| <div><div><span>グループ演習</span></div><div><b>情理と論理のグローバルコミュニケーション－日本文化に根ざし、人間力で考える戦略思考ー</b></div></div> <div>1日間</div>   |
| <p>一般的な「勝つ」ためのディベートではなく、情理と論理を総動員しながら相手の意見を尊重し、学びながら自分の意見もしっかりと主張する体験の場を提供します。講師の深い経験と実践に裏づけされたファシリテーションにより、グローバルビジネスパーソンとして無理なくレベルアップできます。キーワードは、空(くう)(ハラ)で考えることであり、日本文化に根ざした、お互いを啓発しあうディベートを通して新たなビジネス領域(道)を切り拓きます。</p>  |
| <div><b>到達目標</b></div> <p>・英語環境の中で、情理と論理を総動員した議論を通して相互に学びあい真理を探究することが自然なこととしてとらえられ、実践できる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・グローバルコミュニケーションの中で、日本人としての強みを発揮できるようになる。</li></ul>   |
| <div><b>対象者</b></div> <p>中堅のITエンジニア職、営業職、新事業、新サービス創出、グローバル事業に携わる方。</p>   |
| <div><b>前提知識</b></div> <p>特に必要としません。</p>   |
| <div><b>内 容</b></div> <ol style="list-style-type: none"><li>1. はじめに <ol style="list-style-type: none"><li>(1)日本のビジネスパーソンに求められるもの</li> <li>(2)グローバルコミュニケーション能力とは</li></ol></li> <li>2. 論理の基本を体感する <ol style="list-style-type: none"><li>(1)「Why Because」の解説</li> <li>(2)「Why Because」ゲーム</li></ol></li> <li>3. 情理と論理が融合するディベート <ol style="list-style-type: none"><li>(1)情理と論理が融合するディベート体験</li> <li>(2)納得をめざす六角ディベート体験</li></ol></li> <li>4. まとめ</li></ol> |
| <div><b>備 考</b></div> <ul style="list-style-type: none"><li>・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。</li> <li>・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承ください。ご了承ください。</li> <li>・このコースは日本語、英語(TOEIC500点程度(目安))両方で実施されます。</li></ul>   |

 **マシン実習**  
マシンを使用しながらの研修

 **グループ演習**  
グループ演習を中心とした研修

 **レクチャ**  
座学による研修


 **演習環境**  
職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習


 **研修室自習型**  
研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習

 **eラーニング**  
インターネット接続による自己学習

 **自学テキスト**  
自習書による自己学習

 **休講**  
今期の定期開催はありません

| GBE023 グローバル  |
|---|
| <div><div><span>eラーニング</span></div><div><b>&lt;eラーニング&gt;(PDU)中国ビジネスの鉄則 <span>PDU</span></b></div></div> <div>平均10週間</div>   |
| <p>中国人はビジネスに際し、他人に対しては敵対的、友人に対しては寛容であり、信頼できる相手であるかどうかを慎重に見極めようとしています。中国ビジネス成功の鍵は、中国社会でうまくネットワークを築くことにあります。このコースでは中国ビジネスを理解するために、まず中国社会・経済の特色について学習します。そして中国企業の企業形態や株式市場を詳しく見ていきながら、中国でのビジネスについて学習します。さらに、国有企業、民間企業、外資系企業それぞれについて特徴を詳しく見ていきながら、グローバルな環境で活動を行うための組織の政治的風土・文化について学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:7ポイント)の取得が可能です。</p>   |
| <div><b>到達目標</b></div> <p>中国企業の実態を理解するための基礎知識を身につけ、中国企業とビジネスで関わる場合に必要知識を修得できる。</p>  |
| <div><b>対象者</b></div> <p>中国とのビジネスに現在および将来関わる方。</p>  |
| <div><b>前提知識</b></div> <p>特に必要としません。</p>  |
| <div><b>内 容</b></div> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 企業を取り巻く社会環境</li> <li>2. 産業の特徴</li> <li>3. 企業形態と株式市場の成長</li> <li>4. 国有企業</li> <li>5. 民間企業</li> <li>6. 外資系企業</li> <li>7. 中国企業のグローバル経営</li></ol>  |
| <div><b>備 考</b></div> <ul style="list-style-type: none"><li>・サービス有効期限は56日間です。</li> <li>・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)</li> <li>・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。</li> <li>・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li> <li>・PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。</li></ul> |

| GBE024 グローバル  |
|---|
| <div><div><span>eラーニング</span></div><div><b>&lt;eラーニング&gt;(PDU)インドビジネスの鉄則 <span>PDU</span></b></div></div> <div>平均10週間</div>  |
| <p>インドは近年、その人口による巨大な市場と経済発展から、世界的な存在感を高めています。また一方で古くから日本との交流があり、近年でも各分野において経済提携が進んでいます。しかし、ビジネスを交流させるに至るまでの理解に至っていない場合も多く見ることができません。このコースではインドにビジネス進出するために必要な考え方(歴史・文化・宗教等)について学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:6ポイント)の取得が可能です。</p>  |
| <div><b>到達目標</b></div> <ul style="list-style-type: none"><li>・インドにおいてビジネスを展開する場合に必要な、文化的背景や歴史、現在のインド事情について説明できる。</li> <li>・インドへ進出してビジネスを成功させるにおいて必要なポイントについて理解を深める。</li> <li>・インド人との交渉の方法、インド人の考え方、などについて日本人が誤解しがちな注意点に言及し、インドビジネスを成功に導く戦略的思考について学ぶ。</li></ul>  |
| <div><b>対象者</b></div> <p>インドとのビジネスに現在および将来関わる方。</p>   |
| <div><b>前提知識</b></div> <p>特に必要としません。</p>  |
| <div><b>内 容</b></div> <ol style="list-style-type: none"><li>1. インドの紹介、歴史</li> <li>2. インドの各地域の文化とビジネスの関係</li> <li>3. インドの宗教とビジネスの関係</li> <li>4. インドの優秀な人材を作る、教育制度</li> <li>5. 日印関係</li> <li>6. インドの国際関係</li> <li>7. 実際の手順とケーススタディ</li></ol>  |
| <div><b>備 考</b></div> <ul style="list-style-type: none"><li>・サービス有効期限は56日間です。</li> <li>・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)</li> <li>・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。</li> <li>・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</li> <li>・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</li> <li>・PMI®、PMP®、<i>PMBOK®ガイド</i>、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。</li></ul> |

|  |
|--|
| 日立製品   |
| <p><span>JP1</span></p> uCosminexus Application Server |
| <p>HIRDB</p>   |
| <p>OpenTP1</p>   |
| <p>VOS3/VOS1/VOSK</p>                                  |
| <p>XDM/PDM II</p>                                      |
| <p>Hitachi Advanced Data Binder</p>                    |
| <p>日立ストレージ</p>   |
| <p>Pentaho ソフトウェア</p>                                  |
| <p>デジタルトランスフォーメーション</p>                                |
| <p>IT 利活用</p>  |
| <p>イノベーション</p>   |
| <p>IoT/AI/Lumada</p>                                   |
| <p>ビッグデータ</p>  |
| <p>データ分析</p>   |
| <p>サイバーセキュリティ</p>                                      |
| <p>クラウド/サーバ仮想化</p>                                     |
| <p>IT サービスマネジメント</p>                                   |
| <p>システム基盤</p>  |
| <p>オープンソースソフトウェア(OSS)</p>                              |
| <p>Linux</p>   |
| <p>Microsoft</p>                                       |
| <p>ネットワーク</p>  |
| <p>セキュリティ</p>  |
| <p>データベース</p>  |
| <p>IT戦略・IS企画/システム設計</p>                                |
| <p>IT戦略・IS企画</p>                                       |
| <p>システム設計</p>  |
| <p>アプリケーション開発</p>                                      |
| <p>Webアプリケーション</p>                                     |
| <p>スマートデバイス</p>  |
| <p>オブジェクト指向/UML</p>                                    |
| <p>言語</p>  |
| <p>IT 基本</p>   |
| <p>IT 基本</p>   |
| <p>ハードウェア</p>  |
| <p>情報処理資格</p>  |
| <p>情報リテラシ</p>  |
| <p>プロジェクトマネジメント</p>                                    |
| <p>コンプライアンス</p>  |
| <p>ビジネス/ヒューマン</p>                                      |
| <p>グローバル</p>   |

## 東京地区

## 東京(大森)

## 大森ベルポートD館5階・12階・13階

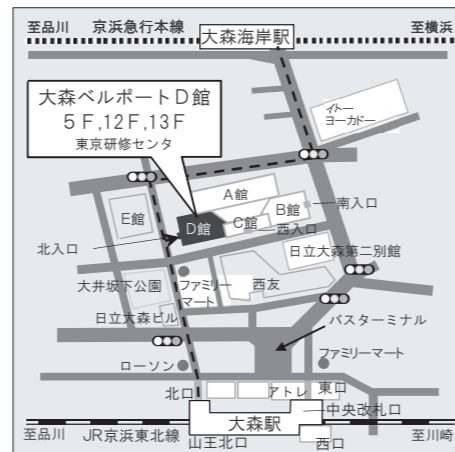
(株)日立インフォメーションアカデミー  
東京研修センター

品川区南大井6丁目26番3号(〒140-0013)  
電話 (03) 5471-8962  
FAX (03) 5471-2564

- JR京浜東北線 大森駅北口(改札を出て右)より徒歩約3分
- 京浜急行線 大森海岸駅より徒歩約5分

※当ビル西入口、または北入口、南入口よりアトリウムに入り、D館入口のエレベータにてご来場ください。  
※エレベータは、7:30~9:30、12:00~13:00の時間帯は特別運転となりますので、ご入館の際にはご注意くださいようお願いいたします。

- 12階/13階へお越しの方 ▶ D館正面入口の左側エレベータをご利用ください。
  - 5階へお越しの方 ▶ D館正面入口の右側エレベータをご利用ください。
- ※「日立講習会受講ご案内(受講券)」に記載の研修室をご確認の上、直接研修室へお入りください。  
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



## 大阪地区

## 大阪

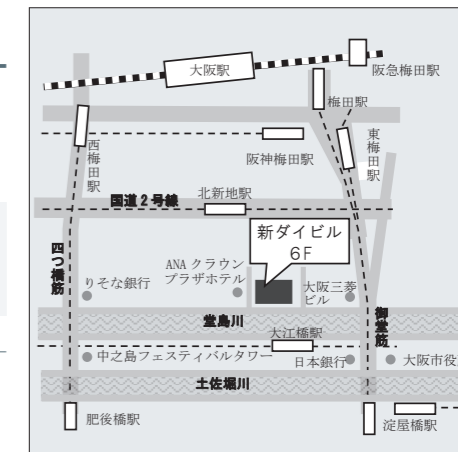
## 新ダイビル6階

(株)日立インフォメーションアカデミー  
大阪研修センター

大阪市北区堂島浜1丁目2番1号(〒530-0004)  
電話 (06) 4797-7360  
FAX (06) 4797-7361

- 京阪中之島線 大江橋駅より徒歩約2分
- 地下鉄御堂筋線/京阪本線 淀屋橋駅より徒歩約5分
- JR東西線 北新地駅より徒歩約5分
- 地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より徒歩約7分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。  
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



## 東京地区

## 提携コースの研修会場

会場地図は、当社Webサイト(<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/bureau/index.html>)よりご確認ください。

## 開催地区

## 住所・会場名

六本木(FXLI) 〒106-0032 東京都港区六本木3-1-1 六本木ティーキューブ14階  
(株)富士ゼロックス総合教育研究所

白金台(BrainPad) 〒108-0071 東京都港区白金台3-2-10 白金台ビル3階  
(株)ブレインパッド

浜松町(GSX) 〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエビメディアム4階  
グローバルセキュリティエキスパート(株)東京本社

麹町(ITプレナーズ) 〒102-0083 東京都千代田区麹町2-3-3 FDC麹町ビル5階  
(株)ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック

## 名古屋地区

## 名古屋

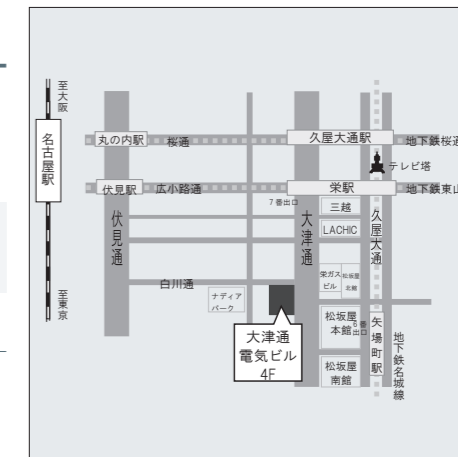
## 大津通電気ビル4階

(株)日立インフォメーションアカデミー  
名古屋研修センター

名古屋市中区栄3丁目17番12号(〒460-8435)  
電話 (052) 269-8940  
FAX (052) 261-8276

- 地下鉄名城線 矢場町駅6番出口から西へ徒歩2分
- 地下鉄東山線 栄駅 サカエチカ7番出口から南へ徒歩5分

※4階にてコース別会場案内をご確認の上、直接研修室にお入りください。  
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



## 広島地区

## 広島

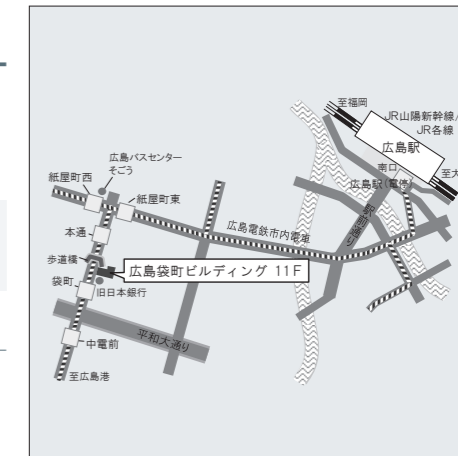
## 広島袋町ビルディング11階

(株)日立インフォメーションアカデミー  
広島研修センター

広島市中区袋町5番25号(〒730-0036)  
電話 (082) 546-6172  
FAX (082) 546-6173

- 広島電鉄(市内電車)宇品線 袋町(電停)より徒歩約1分
- 広島バスセンターより徒歩約8分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。  
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



## 福岡地区

## 福岡

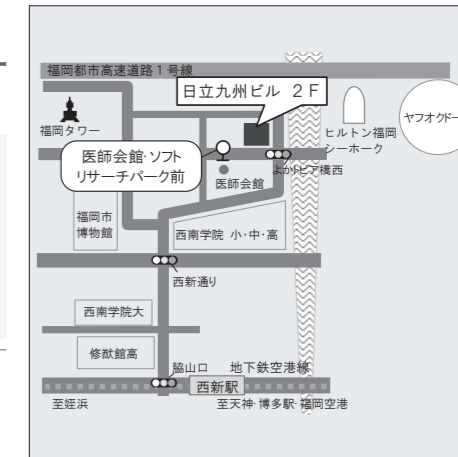
## 日立九州ビル2階

(株)日立インフォメーションアカデミー  
福岡研修センター

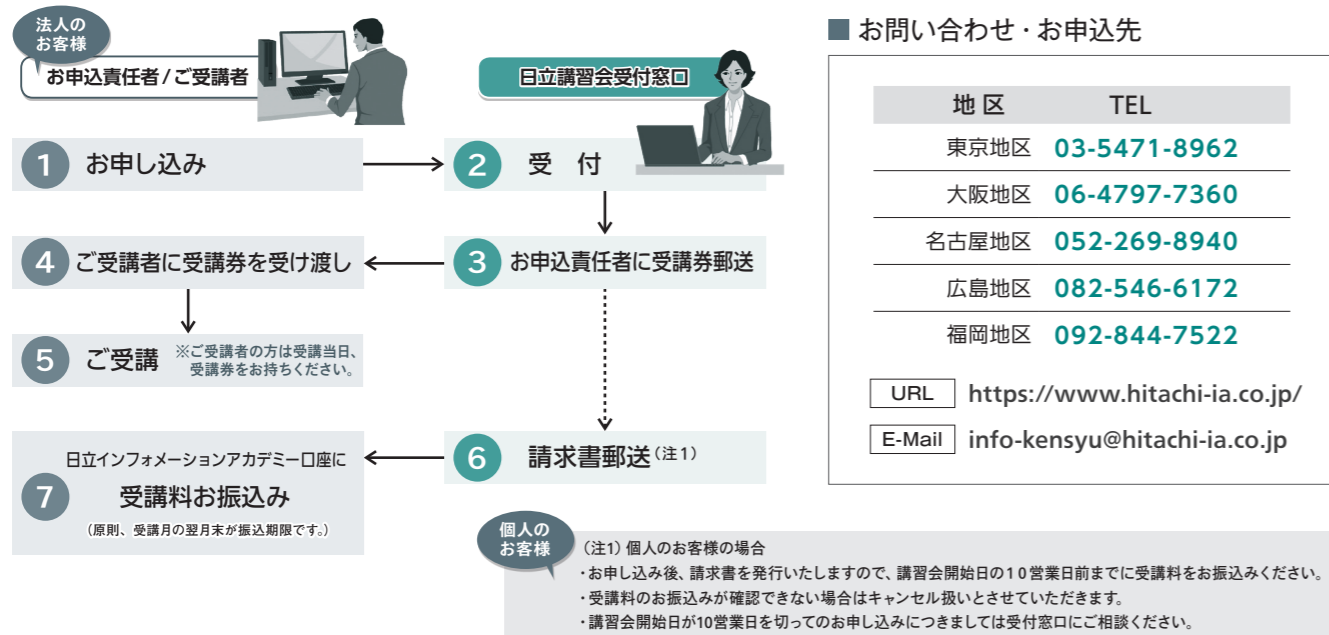
福岡市早良区百道浜2丁目1番1号(〒814-8577)  
電話 (092) 844-7522  
FAX (092) 844-7580

- 天神高速バスターミナル前(1A)のりばより、[302][W1][W2]などのバスに乗り、医師会館・ソフトリサーチパーク前にて下車。<所要時間:約20分>
- 博多バスターミナル1F(5)(6)のりばより、[306][312][直行]などのバスに乗り、医師会館・ソフトリサーチパーク前にて下車。<所要時間:約30分>(地下鉄の場合は、西新駅より約1.5kmです。バスまたは徒歩にてお越しください。)

※1階受付で「日立講習会受講ご案内(受講券)」を提示し、入館証をお受け取りのうえ、該当研修室にお入りください。  
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



## 日立講習会 集合研修のお申し込みからご受講までの流れ



## お申し込み

●お申込責任者の方は、(株)日立インフォメーションアカデミーのホームページ(URL >>> <https://www.hitachi-ia.co.jp/>)からお申し込みいただくか、または「日立講習会お申込書(集合研修用)」をダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、ご受講希望地区の上記受付窓口までメール、または日立営業経由にてお申し込みください。ホームページをご利用できない場合は、ご受講希望地区の上記受付窓口までお問い合わせください。  
なお、お申し込みの前には必ずコース内容および以下についてご確認ください。

## ■日立製品研修

- ・「日立製品研修受講規約」
- ・「株式会社日立製作所個人情報保護に関して(保護方針と要旨)」
- ・「株式会社日立インフォメーションアカデミー個人情報保護に関して」

## ■IT/ビジネス研修

- ・「IT/ビジネス研修受講規約」
- ・「株式会社日立インフォメーションアカデミー個人情報保護に関して」

上記についてお申込責任者および受講される本人がこれらについてご了承または同意のうえお申し込みください。

- お申し込みは、原則として講習会開始日の10営業日前までにお願いたします。
- お申し込みの受付は、先着順にしておりますので、定員になり次第締め切らせていただきます。
- ご希望の講習会が最少開催人数に達しない場合には、やむを得ず中止にさせていただきます。あらかじめご了承ください。

## 受講料お支払い

- 法人のお客様の場合は、原則として受講月の月末締めで、請求書をお申込責任者の方にお送りいたします。請求書に記載のお振込み口座、期限(原則、受講月の翌月末)までにお振込みください。
- 個人のお客様の場合は、お申し込み後、請求書を発行いたしますので、講習会開始日の10営業日前までに受講料を請求書に記載の口座にお振込みください。受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセル扱いとさせていただきます。講習会開始日が10営業日を超えてお申し込みにつきましては受付窓口にご相談ください。
- お振込手数料は、お客様のご負担をお願いいたします。

## ご受講にあたって

- お申し込み受付後、「日立講習会受講ご案内」(以下、「受講券」といいます。)を、お申込責任者の方へお送りします。
- 「受講券」には、お申込地区の地図や会場(研修室)、開催時間等を記載しておりますので、内容をご確認のうえ、ご受講当日に必ずお持ちください。

- 「受講券」が講習会開始日の1週間前までに到着しない場合には、お申し込みの受付窓口まで、お問い合わせください。
- 「受講券」発送後に諸事情により講習会の開催を中止させていただく場合がありますので、あらかじめご承知おきください。
- 講習会で使用するテキスト教材等は、当日会場にてお渡ししております。事前のお引き渡しは行っておりません。
- 駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。
- ご受講の方との連絡は「ご伝言」とさせていただきます。お電話でのお取り次ぎはできませんので、あらかじめご了承ください。また、ご受講中に携帯電話等の使用は、他のお客様へのご迷惑となりますので、ご遠慮いただいております。
- 研修会場内での撮影または録音は、禁止させていただきます。
- あらかじめ体調をご確認のうえ、講習会にご参加いただくようお願いいたします。インフルエンザなどの感染が懸念される場合は参加をお控えくださいますようお願いいたします。

## 変更・キャンセル

- ご都合により、受講者・受講日を変更、もしくはキャンセルされる場合は「日立講習会変更/キャンセル連絡票」をホームページからダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、講習会開始日の10営業日前までに、お申し込みの受付窓口までメールにてご連絡ください。

## &lt;キャンセル規定&gt;

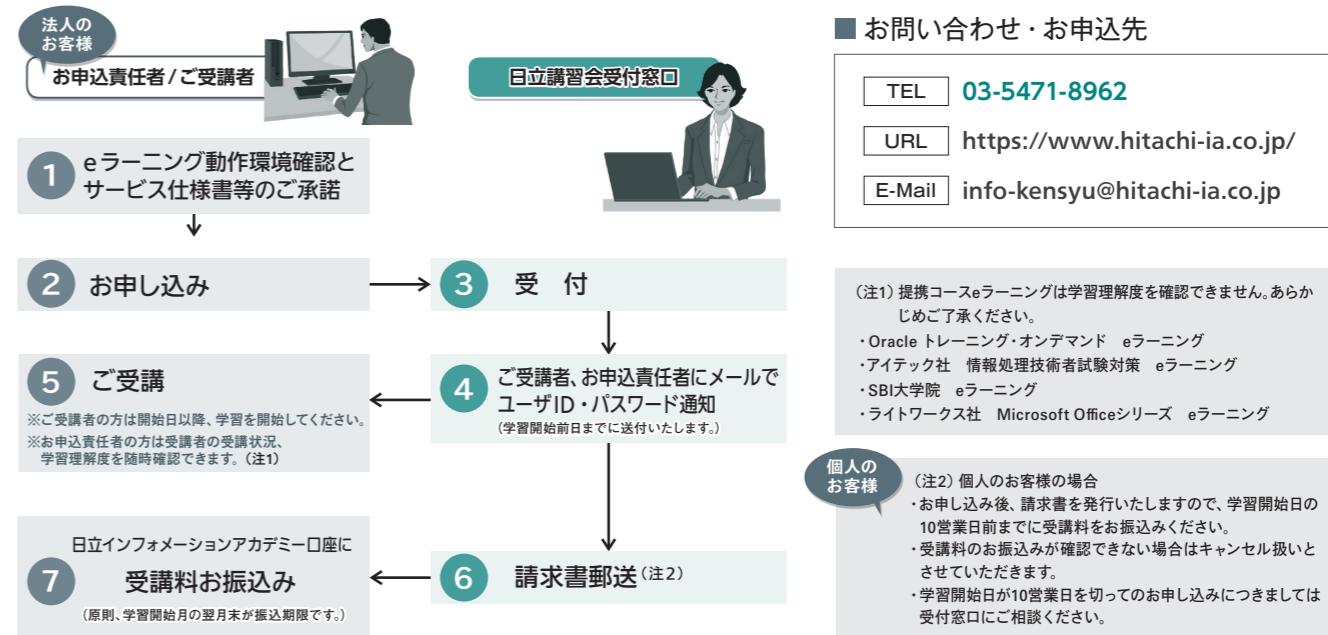
| 学習形態   | 受講者、受講日変更およびキャンセル締切日 |
|--------|----------------------|
| 集合研修   | 講習会開始日の10営業日前        |
| eラーニング | 学習開始日の10営業日前         |

- 変更・キャンセル締切日を過ぎての変更・キャンセルにつきましては、受講料を全額請求させていただきます。すでに受講料をお支払いいただいている場合は、受講料は返金いたしません。また、下記コースは個別に変更・キャンセル締切日を設定しております。詳細はホームページのコース詳細ページの備考に明記しておりますのでご確認ください。
- ・事前課題/事前学習ありコース

## 講習会開催時間

- コースカリキュラムの備考欄に開催時間をご案内しています。正式には、ご受講前に送付いたします「日立講習会受講ご案内」(受講券)をご確認ください。
- 講習会の進捗により終了時間が予定時刻を超える場合があります。あらかじめご了承ください。
- 開催時間が変更になる場合には「受講券」にてお知らせいたします。

## 日立講習会 eラーニングのお申し込みからご受講までの流れ



## お申し込み

●お申込責任者の方は、(株)日立インフォメーションアカデミーのホームページ(URL >>> <https://www.hitachi-ia.co.jp/>)からお申し込みいただくか、または「日立講習会お申込書(eラーニング用)」をダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、上記のお申込先までメール、または日立営業経由にてお申し込みください。  
なお、お申し込みの前には必ずコース内容、動作環境、eラーニングサービス仕様書(上記ホームページに掲載)、および以下についてご確認ください。

## ■日立製品研修

- ・「日立製品研修受講規約」
- ・「株式会社日立製作所個人情報保護に関して(保護方針と要旨)」
- ・「株式会社日立インフォメーションアカデミー個人情報保護に関して」

## ■IT/ビジネス研修

- ・「IT/ビジネス研修受講規約」
- ・「株式会社日立インフォメーションアカデミー個人情報保護に関して」

上記についてお申込責任者および受講される本人がこれらについてご了承または同意のうえお申し込みください。

- 動作環境はコースによって異なりますので、上記ホームページから各コースの動作環境をご確認ください。
- お申し込みは、原則として学習開始日の10営業日前までにお願いたします。一部のコースにおきましては、人数制限がありますので定員になり次第締め切らせていただきます。
- ご受講にあたって、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となりますので、ご了承ください。

## 受講料お支払い

- 法人のお客様の場合は、原則として学習開始月の月末締めで、請求書をお申込責任者の方にお送りいたします。請求書に記載のお振込み口座、期限(原則、学習開始月の翌月末)までにお振込みください。
- 個人のお客様の場合は、お申し込み後、請求書を発行いたしますので、学習開始日の10営業日前までに受講料を請求書に記載の口座にお振込みください。受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセル扱いとさせていただきます。学習開始日が10営業日を超えてお申し込みにつきましては受付窓口にご相談ください。
- お振込手数料は、お客様のご負担をお願いいたします。
- ご入金のご確認ができなかった場合、やむを得ずご利用を停止させていただきます。あらかじめご了承ください。
- eラーニングの中止・変更等(株)日立製作所および(株)日立インフォメーションアカデミーの責に帰すべき場合は、お振込みいただいた受講料を返金いたします。

## ご受講にあたって

●お申し込み受付後、学習開始日の前日までに、ご受講者とお申込責任者の方へ「ユーザID」と「パスワード」をメールにてご通知いたします。

●「ユーザID」と「パスワード」の通知が届かない場合は、早急にご申込先までお問い合わせください。

●お申込責任者の方は、受講者の受講状況や学習理解度を随時確認できます。なお、提携コースeラーニングにつきましては、学習理解度を随時確認できません。あらかじめご了承ください。

- ・Oracle トレーニング・オンデマンド eラーニング
- ・アイテック社 情報処理技術者試験対策 eラーニング
- ・SBI大学院 eラーニング
- ・ライトワークス社 Microsoft Officeシリーズ eラーニング

- eラーニングのご利用に際して通信に関わる費用は、お客様のご負担をお願いいたします。
- 演習用データ、テキストサンプル等のWeb教材、プラグインソフトのダウンロードは、お客様の責任で実施するものであり、その結果生じる障害や損害はお客様のご負担をお願いいたします。

## 変更・キャンセル

- ご都合により、受講者・受講日を変更、もしくは、キャンセルされる場合は「日立講習会変更/キャンセル連絡票」をホームページからダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、学習開始日の10営業日前までに、お申し込みの受付窓口までメールにてご連絡ください。

## &lt;キャンセル規定&gt;

| 学習形態   | 受講者、受講日変更およびキャンセル締切日 |
|--------|----------------------|
| 集合研修   | 講習会開始日の10営業日前        |
| eラーニング | 学習開始日の10営業日前         |

- 変更・キャンセル締切日を過ぎての変更・キャンセルにつきましては、受講料を全額請求させていただきます。すでに受講料をお支払いいただいている場合は、受講料は返金いたしません。また、下記コースは個別に変更・キャンセル締切日を設定しております。詳細はホームページのコース詳細ページの備考に明記しておりますのでご確認ください。
- ・アイテック社情報処理技術者試験対策eラーニングコース

## 基本動作環境

- eラーニングをご利用の場合には、パソコン、Web環境が必要となります。詳細につきましては、(株)日立インフォメーションアカデミーのホームページに各コースの動作環境を掲載しておりますので、お申し込みの前には必ずご確認ください。



# 受講規約

日立講習会のうち、日立製品研修（株式会社日立製作所（以下、「日立」といいます。）が発行する研修サービスガイド（以下、「日立製品研修ガイド」といいます。）の日立製品研修に指定されているコース群）は、日立が提供する研修サービスです。株式会社日立インフォメーションアカデミー（以下、「日立IA」といいます。）は日立からの委託を受けて日立製品研修の実施・運営を行い、また、日立製品研修の申込み受付、請求書発行および受講料の受領については日立の代理人として対応します。日立製品研修のご受講に際しては、「株式会社日立製作所個人情報保護に関して（保護方針と要旨）」、「株式会社日立インフォメーションアカデミー個人情報保護に関して」、および本規約の「**1**日立製品研修受講規約」をご了承のうえ、お申し込みください。

日立講習会のうち、IT／ビジネス研修（日立IAが発行する研修サービスガイド（以下、「IT／ビジネス研修ガイド」といいます。）のIT／ビジネス研修に指定されているコース群）は、日立IAが提供する研修サービスです。IT／ビジネス研修のご受講に際しては、「株式会社日立インフォメーションアカデミー個人情報保護に関して」、および本規約のうち「**2**IT／ビジネス研修受講規約」をご了承のうえ、お申し込みください。

## 1 日立製品研修受講規約

### 1-1 日立製品研修

日立製品研修は、日立が指定する研修施設・設備を利用して開催する集合研修、およびeラーニング等の総称であり、日立製品研修ガイドに記載されたもの、またはその他日立が指定するものに限られます。ただし、日立は、これらを予告なしに追加、変更または廃止することがあります。

### 1-2 お申し込み・開催延期／中止

日立製品研修の受講お申し込みについては日立製品研修ガイド「お申込方法」に定めるとおりとしますので、ご参照ください。日立製品研修は日立製品研修ガイド「開催スケジュール」に記載されている日程で開催されますが、日立がこの日程で都合のつかない場合には「日立講習会受講ご案内」（受講券）に記載する別の日程で開催するものとします。日立はお申し込み済のお客様に対して少なくとも5営業日前の予告をもって日立製品研修の開催を延期または中止をする権利を留保します。

### 1-3 受講料・消費税

日立製品研修ガイドに記載されている受講料は、少なくとも開始日の10営業日前までに書面（電子メールを含みます。）による通知で変更される場合があります。日立製品研修の受講料は開始日における日立所定の受講料が適用されます。お客様のお申し込みを日立IAがお受けした後に、受講料が変更され新受講料が発効される場合は、お客様が当該お申し込みを、少なくとも開始日の5営業日前に書面により取り消さない限り、新受講料が適用されます。受講料には日立製品研修で使用する教材の代金および機械使用料を含みますが、ご受講者の交通費および宿泊費は含みません。日立製品研修の受講料に課せられる消費税等の租税公課は、お客様のご負担とします。なお、消費税率等が変更になった場合は、日立製品研修の開始日時点の新税率を適用した金額となります。

### 1-4 受講料のお支払いおよび返金

受講料につきましては法人のお客様は日立製品研修ご受講後のお支払い（後払い）、個人のお客様はご受講前のお支払い（前払い）になります。日立製品研修の受講料は、お客様が日立IAからの請求書を受領後、お振込指定期日までにお支払いいただくこととします。前払いのお客様はお振込指定期日までにご入金の確認ができなかった場合は、ご受講できないことがあります。お振込手数料は、お客様のご負担とします。日立製品研修が、日立の責に帰すべき事由で中止された場合で、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合には、お振込みいただいた受講料を返金いたします。

### 1-5 キャンセル料

キャンセル料発生日前日までにご受講お申し込みのキャンセルお申し出があった場合は、キャンセル料は発生いたしません。また、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合は、お支払いいただいている受講料からお振込手数料を差し引いた金額を返金いたします。キャンセル料発生日以降にキャンセルのお申し出があった場合はキャンセル料が発生いたします。前払いの場合はお支払いいただいた受講料は返金いたしません。また、後払いの場合は受講料全額を請求いたします。

キャンセル料発生日はお申し込みになられたコースによって異なりますので、詳しくは「5.お申込方法」の「変更・キャンセル」の項をご覧ください。

### 1-6 責任の制限

日立は、日立製品研修ガイドに記載された範囲（講座の内容等）で日立製品研修に関するテキスト教材、eラーニングコンテンツ等（以下、「日立製品研修教材等」といいます。）の更新と提供を行います。ただし、日立は、これらのサービスの有用性、目的適合性、正確性その他一切の結果を保証するものではありません。また、日立製品研修教材等もしくは日立製品研修における質疑応答の内容を合理的範囲で正確性を保つよう努力するものとはしますが、すべての誤りが訂正されることを保証するものではありません。また、日立はサービスを提供するにあたり、インターネット、データセンター、クラウドサービス等を利用しています。日立は、商慣習において合理的な努力を払って本サービスを提供しており、日立および日立IAの責に帰すことができない事由によるサービス提供の停止については、損害賠償その他いかなる責任も負わないものとします。

### 1-7 著作権・その他知的財産権

日立が日立製品研修で提供または使用を許諾する文書・印刷物・ソフトウェア・Webサイト・コンテンツ等（以下「日立製品研修提供資料等」といいます。）の著作権またはその他知的財産権は、すべて日立または日立IA、または日立がテキスト教材、eラーニングコンテンツ、日立製品研修ガイドに記載する第三者に帰属しており、お客様は日立の事前の書面による許諾がない限り、いかなる形態においても日立製品研修提供資料等の全部、または一部について転載および複製並びに改変を行ってはならず、また日立製品研修提供資料等を第三者へ開示または提供（貸与や使用許諾を含みます）もしくは譲渡してはならないものとします。

### 1-8 損害賠償

日立製品研修に関してお客様が被った損害に対する日立の損害賠償責任は、債務不履行、法律上の瑕疵担保責任、不当利得、不法行為、その他請求原因・訴訟形態のいかんにかかわらず、お客様に当該日立製品研修の受講料としてお支払いいただいた金額を限度とします。日立は、いかなる場合にも逸失利益、無体物に生じた損害、第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害、特別損害等について、一切責任を負わないものとします。なお、日立は、当該損害賠償責任に代えて、日立が合理的と判断した日立製品研修の再提供を行うことができるものとします。

### 1-9 暴力団等の排除

日立は、お客様またはその関係者が次の各号のいずれか一つに該当したときは、お客様へ何ら催告することなく、直ちに本契約を解除することができるものとします。

- ①日立および講師等の指示に従わないとき、または他の受講者に迷惑になるような行為、言動を行ったとき。
- ②公序良俗に違反、または犯罪に結びつくおそれのある言動を行ったとき。
- ③日立または日立の利害関係者へ誹謗中傷をしたと認められる事実があるとき。
- ④暴力団員、準構成員、暴力団関係企業、特殊知能暴力団その他これに準じる者、またはこれらの者と密接なかわりを持つ者であることが判明したとき。
- ⑤自ら、または第三者を利用して、暴力的な要求行為、法的責任を超える不当な要求行為、詐欺・脅迫行為、業務妨害行為その他これに準じる行為を行ったとき。
- ⑥その他、お客様が日立製品研修を利用することについて不適切と日立が判断した場合。

### 1-10 受講規約の変更

日立は、本規約その他の日立製品研修に関するお客様と日立との契約を必要に応じて変更できるものとし、お客様への通知をもって変更の効力が適用されることとします。また、日立は、本規約に別に定める場合を除き、日立製品研修ガイドを予告なしに変更できるものとします。

### 1-11 その他

- ・当事者の一方に、本規約その他の日立製品研修に関するお客様と日立との契約上の不履行がある場合には、書面による通知により日立製品研修のお申し込みを取り消すことができるものとします。
- ・日立は、日立製品研修の受講により、お客様が特定の知識や技術等を修得されることを保証するものではありません。また、日立製品研修がお客様保有の特定の目的に対し、適合・有益・最適等であることを保証するものではありません。これらはお客様の責任で決定いただきたくお願い申し上げます。
- ・本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取ります。
- ・日立製品研修教材等もしくは日立製品研修における質疑応答の内容を合理的範囲で正確性を保つよう努力するものとはしますが、すべての誤りが訂正されることを保証するものではありません。また、日立はサービスを提供するにあたり、インターネット、データセンター、クラウドサービス等を利用しています。日立は、商慣習において合理的な努力を払って本サービスを提供しており、日立および日立IAの責に帰すことができない事由によるサービス提供の停止については、損害賠償その他いかなる責任も負わないものとします。

## 2 IT／ビジネス研修受講規約

### 2-1 IT／ビジネス研修

IT／ビジネス研修は、日立IAが指定する研修施設・設備を利用して開催する集合研修、およびeラーニング等の総称であり、IT／ビジネス研修ガイドに記載されたもの、またはその他日立IAが指定するものに限られます。ただし、日立IAは、これらを予告なしに追加、変更または廃止することがあります。

### 2-2 お申し込み・開催延期／中止

IT／ビジネス研修の受講お申し込みについてはIT／ビジネス研修ガイド「お申込方法」に定めるとおりとしますので、ご参照ください。IT／ビジネス研修はIT／ビジネス研修ガイド「開催スケジュール」に記載されている日程で開催されますが、日立IAがこの日程で都合のつかない場合には「日立講習会受講ご案内」（受講券）に記載する別の日程で開催するものとします。日立IAはお申し込み済のお客様に対して少なくとも5営業日前の予告をもってIT／ビジネス研修の開催を延期または中止をする権利を留保します。

### 2-3 受講料・消費税

IT／ビジネス研修ガイドに記載されている受講料は、少なくとも開始日の10営業日前までに書面（電子メールを含みます。）による通知で変更される場合があります。IT／ビジネス研修の受講料は開始日における日立IA所定の受講料が適用されます。お客様のお申し込みを日立IAがお受けした後に、受講料が変更され新受講料が発効される場合は、お客様が当該お申し込みを、少なくとも開始日の5営業日前に書面により取り消さない限り、新受講料が適用されます。受講料にはIT／ビジネス研修で使用する教材の代金および機械使用料を含みますが、ご受講者の交通費および宿泊費は含みません。IT／ビジネス研修の受講料に課せられる消費税等の租税公課は、お客様のご負担とします。なお、消費税率等が変更になった場合は、IT／ビジネス研修の開始日時点の新税率を適用した金額となります。

### 2-4 受講料のお支払いおよび返金

受講料につきましては法人のお客様はIT／ビジネス研修ご受講後のお支払い（後払い）、個人のお客様はご受講前のお支払い（前払い）になります。IT／ビジネス研修の受講料は、お客様が日立IAからの請求書を受領後、お振込指定期日までにお支払いいただくこととします。前払いのお客様はお振込指定期日までにご入金の確認ができなかった場合は、ご受講できないことがあります。お振込手数料は、お客様のご負担とします。IT／ビジネス研修が、日立IAの責に帰すべき事由で中止された場合で、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合には、お振込みいただいた受講料を返金いたします。

### 2-5 キャンセル料

キャンセル料発生日前日までにご受講お申し込みのキャンセルお申し出があった場合は、キャンセル料は発生いたしません。また、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合は、お支払いいただいている受講料からお振込手数料を差し引いた金額を返金いたします。キャンセル料発生日以降にキャンセルのお申し出があった場合はキャンセル料が発生いたします。前払いの場合はお支払いいただいた受講料は返金いたしません。また、後払いの場合は受講料全額を請求いたします。キャンセル料発生日はお申し込みになられたコースによって異なりますので、詳しくは「5.お申込方法」の「変更・キャンセル」の項をご覧ください。

### 2-6 責任の制限

日立IAは、IT／ビジネス研修ガイドに記載された範囲（講座の内容等）でIT／ビジネス研修に関するテキスト教材、eラーニングコンテンツ等（以下、「IT／ビジネス研修教材等」といいます。）の更新と提供を行います。ただし、日立IAは、これらのサービスの有用性、目的適合性、正確性その他一切の結果を保証するものではありません。また、IT／ビジネス研修教材等もしくはIT／ビジネス研修における質疑応答の内容を合理的範囲で正確性を保つよう努力するものとはしますが、すべての誤りが訂正されることを保証するものではありません。また、日立IAはサービスを提供するにあたり、インターネット、データセンター、クラウドサービス等を利用しています。日立IAは、商慣習において合理的な努力を払って本サービスを提供しており、日立IAの責に帰すことができない事由によるサービス提供の停止については、損害賠償その他いかなる責任も負わないものとします。

# 株式会社日立製作所 個人情報保護に関して（保護方針と要旨）

## Privacy Notice Highlights

制定日 2005年4月1日  
改定日 2010年4月1日  
株式会社 日立製作所 代表執行役 執行役社長  
東原 敏昭

### 1. 個人情報保護に関する当社の考え方

株式会社日立製作所（以下「当社」といいます。）は、トータルソリューションを提供できるグローバルサプライヤーとして、当社の技術情報や、お客さまからお預かりする情報ははじめ様々な情報を取扱っております。このことから、当社ではこれら情報価値を尊重するために、情報管理体制の確立とその徹底に努めて参りました。このような経緯を踏まえ、当社における個人情報保護について、規則の制定および管理体制の確立を図ると共に、個人情報保護方針を定め、役員および従業員に周知させるとともに、一般の方が、容易に入手できる措置を講じるものとします。そして、この方針に従い個人情報の適切な保護に努めます。

### 2. 個人情報保護方針

#### (1) 個人情報管理規則の策定および個人情報保護マネジメントシステムの継続的改善

当社は、役員および従業員に個人情報保護の重要性を認識させ、個人情報を適切に利用し、保護するための個人情報管理規則を策定し、個人情報保護マネジメントシステムを着実に実施します。更に、維持し、継続的に改善します。

#### (2) 個人情報の収集・利用・提供および目的外利用の禁止

当社は、事業活動において、個人情報をお預かりしていることを考慮し、それぞれの業務実態に応じた個人情報保護のための管理体制を確立すると共に、個人情報の収集、利用、提供において所定の規則に従い適切に取扱います。また、目的外利用は行わない、およびそのための措置を講じます。

#### (3) 安全対策の実施並びに是正

当社は、個人情報の正確性および安全性を確保するため、情報セキュリティに関する諸規則に則り、個人情報へのアクセス管理、個人情報の持ち出し手段の制限、外部からの不正アクセスの防止等の対策を実施し、個人情報の漏洩、滅失またはき損の防止に努めます。また、安全対策上の問題が確認された場合など、その原因を特定し、是正措置を講じます。

#### (4) 法令・規範の遵守

当社は、個人情報の取扱いに関する法令、国が定める指針その他の規範を遵守します。また、当社の個人情報管理規則を、これらの法令および指針その他の規範に適合させます。

#### (5) 個人情報に関する本人の権利尊重

当社は、個人情報に関して本人から情報の開示、訂正もしくは削除、または利用もしくは提供の拒否を求められたとき、および苦情、相談の申し出を受けたときは、個人情報に関する本人の権利を尊重し、誠意をもって対応します。

### 3. プライバシーマークについて



当社は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会より、個人情報の適切な取扱いを行う事業者が付与されるプライバシーマークの付与認定を受けています。

10300031(06)

### 4. 適用範囲

当社が事業で取扱う全ての個人情報に関する取扱いを定めるものです。

### 5. 個人情報保護の取組み

当社は、「個人情報保護に関する当社の考え方」および「個人情報保護方針」に基づき、個人情報を取り扱っている部門ごとに管理責任者を設置し、個人情報について細心の注意と最大限の努力をもって、保護、管理を行っております。

この取扱い要旨において「個人情報」とは、次の各号に該当する情報のうち、ご本人さまを識別することができる情報をいうものとします。

- 「お問い合わせ入力フォーム」その他の方法で入力され、ご本人さまから当社に提供された情報
- 前号の他、当社がご本人さまから提供を受けた情報

### 6. 個人情報の取扱い方針(取得・利用目的、第三者提供)

- 当社は、電機機械器具・情報通信機械器具・電子部品製造業および情報サービス業を主とした事業活動に関して、個人情報を各号の目的の達成に必要な範囲でのみ取得し、利用するものとします。また、ご本人さまに個人情報を提供いただく場合には事前にその使用目的を明示し、ご本人さまに同意をいただくものとします。
- 当社は、特定の条件のものを除き、あらかじめご本人さまの事前の同意を得ないで、ご本人さまの個人情報を第三者に提供しません。
- 当社は、当社のグループ会社と共同して事業活動を行う場合に必要となる、お名前並びに職場およびご自宅の住所、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス等のご本人さまの個人情報につき、当該グループ会社に提供することがあります。

### 7. 個人情報の開示等の請求、または苦情のお申し出

当社が保有しているご本人さまの個人情報について、開示、訂正、追加、削除、利用停止、第三者提供の停止、若しくは利用目的の通知（以下「開示等」といいます。）を請求される場合または苦情をお申し出になる場合は、所定の手続きに則り請求をお願い致します。

### 8. その他重要事項

- ご本人さまからの個人情報の提供、事前同意の取得等、個人情報保護に関してご本人さまへのお願いがございます。
- 「個人情報保護に関して」の取扱いに関する連絡事項がございます。
- ウェブサイトににおけるクッキーおよび Web ビーコンの利用についての注意事項がございます。
- ご本人さまが当社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を録音させていただいております。
- 当社が提供している個々の個人情報取扱いサイトに関するご連絡がございます。

### 9. 認定個人情報保護団体

当社を管掌する認定個人情報保護団体<sup>※</sup>は、下記となります。

認定個人情報保護団体名  
一般財団法人日本情報経済社会推進協会  
個人情報保護苦情相談室

所在地  
〒106-0032 東京都港区六本木 1-9-9 六本木ファーストビル 12F  
電話番号  
03-5860-7565, 0120-700-779

※個人情報保護法で規定されている、個人情報に関する苦情処理や情報提供を行う第三者機関。  
当社の商品・サービスに関する問い合わせ先ではございません。

### 10. 連絡先

個人情報の開示等の請求および苦情のお申し出を除く、本取扱要旨に関するご質問・お問い合わせは、下記の方法にてご連絡ください。

郵送によるご連絡  
〒101-8608 東京都千代田区外神田一丁目 18 番 13 号  
株式会社日立製作所 情報セキュリティリスク統括本部  
情報リスクマネジメント部

株式会社日立製作所 個人情報保護に関して（保護方針と要旨）  
詳細は当社ホームページ  
<http://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index.html>  
をご覧ください。

# 株式会社日立インフォメーションアカデミー個人情報保護に関して

制定年月日 2004年6月23日  
最終改定年月日 2017年4月1日  
株式会社 日立インフォメーションアカデミー  
取締役社長 石川 拓夫

### 個人情報保護の理念

株式会社日立インフォメーションアカデミー（以下、「当社」といいます。）は IT を中核に戦略的人材育成のためのトータルソリューションの提供を通じて社会に貢献してまいります。

そうした中で、当社は氏名、生年月日のような個人を特定できる情報（以下、「個人情報」と総称します。）が従業員のみならずお客様にとりまして重要な情報であり、適切に扱われるべき情報であると認識しております。また、これら個人情報を利用し、保護することが当社の社会的責任であり、当社の事業の基本であると考えております。

当社では個人情報を適切に取扱うべく役員、従業員に「個人情報保護方針」の周知徹底を図り、その実行、維持、改善に努めます。

### 株式会社 日立インフォメーションアカデミー 個人情報保護方針

#### 1. 個人情報の取得・利用・提供

当社は、事業活動において、お客様の情報をお預かりしていることを考慮し、各事業に応じた個人情報保護のための管理体制を確立します。また、個人情報の取得、利用、提供において、特定された利用目的の達成に必要な範囲を超えた個人情報の取扱いを行わないための適切な措置を講じます。

#### 2. 法令・規範の遵守

当社は、個人情報の取扱いにおいて、当該個人情報の保護に適用される法令及び国が定める指針その他の規範を遵守します。また、これらの法令及び指針その他の規範に適合した、当社の個人情報管理規則を作成し、遵守致します。

#### 3. 安全対策の実施

当社は、個人情報の正確性及び安全性を確保するため、当社の情報セキュリティに関する諸規則に則り、個人情報へのアクセス管理、個人情報の持ち出し手段の制限、外部からの不正アクセスの防止等の対策を実施し、個人情報の漏えい、滅失またはき損の防止及び是正に努めます。

#### 4. 個人情報に関する本人の権利尊重

当社は、個人情報に関する本人から求められる開示、内容の訂正、追加または削除、または苦情及び相談を求められた時は、個人情報に関する本人の権利を尊重し、誠意を持って対応致します。

#### 5. 個人情報保護マネジメントシステムの確立及び継続的改善

当社は、役員及び従業員に個人情報保護の重要性を認識させ、個人情報を適切に利用し、保護するための個人情報保護マネジメントシステムを確立し、これを着実に実施します。更に、これを維持し、継続的に改善致します。

### 開示対象個人情報に関する事項

当社は「開示対象個人情報」に関して下記の通り本人の知り得る状態に置きます。

#### (1) 開示対象個人情報の利用目的（個人情報保護法第 18 条第 4 項第 1 号から第 3 号までに該当する場合を除きます。）

当社が提供する研修サービスをご利用いただくために開示いただいた個人情報は、当社が提供する各種サービスの運用業務・改善、研修サービスガイド等の送付、メールでの研修サービスご案内、ニーズ調査、製品・ソリューション情報のご案内などに利用させていただきます。

#### (2) 開示対象個人情報の開示等または苦情のお申し出先

開示対象個人情報の開示等または苦情のお申し出については、下記までご連絡ください。  
株式会社 日立インフォメーションアカデミー コンプライアンス推進センタ E-Mail : [hia-privacy@hitachi-ia.co.jp](mailto:hia-privacy@hitachi-ia.co.jp)

#### (3) 開示等の手続き

当社ホームページ〈<https://www.hitachi-ia.co.jp/utility/privacy/index.html>〉をご覧ください。

### その他個人情報の取扱いについて

- お客様の申込状況、受講実績、受講履歴、受講成績、受講進捗状況をお客様のお申込責任者の方に提供する場合がございます。
- 当社が契約を締結している他社教育機関の講習会については、講習会実施及び資格管理・維持に必要となるお客様の個人情報項目（例えば、会社名、氏名、E-Mail アドレス、お電話番号など）を、受講される教育機関に提供致します。
- 当社からの受講券、教材、請求書、研修サービスガイドなどの発送作業や研修の運営等について、お客様の個人情報を業務委託先に委託する場合がございます。
- 日立講習会受講お申し込みのためにご入力いただきました個人情報の取扱いについては、お申込責任者の方が受講されるご本人の同意をいただいたものと致します。
- 日立講習会受講お申し込みによって受講者の個人情報取扱いをお申込責任者の方から、株式会社 日立製作所及び株式会社 日立インフォメーションアカデミーに委託されたものと致します。
- 当社のホームページからリンクされている当社外のホームページにおけるご本人の個人情報の安全性確保については、当社では責任を負いかねますので、ご承知おきください。
- 当社では、より良い個人情報保護を実現するために、また、法令、政省令、及びその他の規範の制改定に伴い、本ページに掲載致しております個人情報保護方針を改定することがございます。定期的に当社のホームページにてご確認いただきますようお願い致します。

### 個人情報に関するお問い合わせ先（個人情報保護管理者）

株式会社 日立インフォメーションアカデミー  
コンプライアンス推進センタ センタ長  
(所在地) : 〒140-0013 東京都品川区南大井 6 丁目 2 番 3 号  
大森ベルポート D 館 1 3 階  
(E-Mail) : [hia-privacy@hitachi-ia.co.jp](mailto:hia-privacy@hitachi-ia.co.jp)



当社は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会より個人情報の適切な取り扱いを行う事業者が付与されるプライバシーマークの付与認定を受けています。

10860958(07)

# 雇用関係助成金のご案内

## 人材開発支援助成金

人材開発支援助成金は、事業主等が雇用する労働者に対して、職務に関連した専門的な知識及び技能の習得を目的とした職業訓練等を計画に沿って実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。

### ●人材開発支援助成金

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html)  
(厚生労働省ホームページ)

※上記は2018年12月現在の内容です。

最新情報は、日立インフォメーションアカデミーのホームページをご覧ください。<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/support/crjo/index.html>

### 他社所有商標に対する表示

- ・ Adobe, Adobe ロゴ, Adobe Flash Player, Adobe Reader, Flash, Flex, MXML, ActionScript は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
  - ・ アマゾン ウェブ サービス, Amazon Web Services, Amazon EC2 および Amazon Web Services ロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
  - ・ Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。
  - ・ BABOK® および Business Analysis Body of Knowledge®, CCBA®, CBAP® は、International Institute of Business Analysis の登録商標です。
  - ・ Ethernet/イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
  - ・ Ethernet は、米国 Xerox Corp. の商品名称です。
  - ・ Hadoop は、Apache Software Foundation の米国およびその他の国における商標です。
  - ・ IBM, IBM ロゴ, ibm.com, AIX, DataStage は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。
  - ・ ITIL®, PRINCE2® は、AXELOS Limited の登録商標です。The Swirl logo は AXELOS 社の商標です。
  - ・ iPhone, iPad, iOS, iBooks, Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
  - ・ Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
  - ・ Microsoft, Azure, Visual Basic, Visual C++, Visual Studio, Windows, Windows Server, Windows PowerShell, SQL Server, Active Directory, Hyper-V, Excel, PowerPoint, Access, SharePoint, Internet Explorer, Silverlight は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
  - ・ NVIDIA は、米国 NVIDIA Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
  - ・ OCUP, オーカップ, UML 技術者資格試験は、(株) UML 教育研究所の商標、または登録商標です。
  - ・ OMG, UML, Unified Modeling Language, UML ロゴ, UML Certification ロゴ, MDA, Model Driven Architecture は、Object Management Group Inc. の商標または登録商標です。
  - ・ Oracle, Oracle Database 11g, Oracle Database 12c, Java, JavaScript, Solaris は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国 およびその他の国における登録商標または商標です。
  - ・ PMI®, PMP®, PMBOK® ガイド, OPM3®, CAPM®, PgMP®, PMI-ACP®, PMI-SP®, PMI-RMP®, PM Network®, PMI Today®, PMCDF®, R.E.P. ロゴはプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute Inc.) の登録商標です。
  - ・ Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, JBoss は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標です。
  - ・ SAP は、SAP AG のドイツおよびその他の国における登録商標または商標です。
  - ・ TOEIC® は、Educational Testing Service (ETS) の登録商標です。
  - ・ UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。
  - ・ VMware, VMware vSphere, ESXi, VMware vCenter, VMware View は、VMware, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

**HITACHI**  
Inspire the Next

